都道府県番号　28

文部科学省研究開発学校

令和6年度　研究開発実施報告書
(根拠資料)

第一年次

研究開発課題

幼稚園教育要領における５領域の構成と要領上の用語の不一致が、小学校教師の幼児教育への理解を停滞させている一因と考える。そこで、領域の枠組みを資質・能力の観点から再編し、要領上の用語の整合性を図ることにより、幼小双方の教師の理解を促進し、幼小の接続を推進するカリキュラムと指導方法の研究開発を行う。

令和7年2月

神戸大学附属幼稚園　外9園

本報告書に記載されている内容は、教育課程の改善のために文部科学大臣の指定を受けて実施した実証的研究です。

したがって、この研究内容の全てが直ちに一般の学校における教育課程の編成・実施に適用できる性格のものでないことに留意してお読みください。

目　　次

教育課程資料

神戸大学附属幼稚園　資質・能力定義　（令和６年４月）…… 1
神戸大学附属幼稚園　入園から修了までのねらい一覧（令和６年４月）… 2
神戸大学附属幼稚園　教育課程及び月の指導計画と初等教育要領との
関連表（令和６年４月 11 日）…… 4

遊びや生活のまとまりの計画

令和６年度　３歳児　「運動会リズム表現」 …… 45
令和６年度　４歳児　「運動会リズム表現」 …… 54
令和６年度　５歳児　「運動会リズム表現」 …… 62
令和６年度　３歳児　「運動会かけっこ」 …… 71
令和６年度　４歳児　「運動会玉入れ」 …… 76
令和６年度　５歳児　「運動会リレー」 …… 82
令和６年度　５歳児　「たき火」 …… 89
令和６年度　５歳児　「お店屋さんごっこ」 …… 96
令和６年度　４歳児　「こま回し」（実践前） …… 110
令和６年度　３歳児　「発表会」（実践前） …… 116
令和６年度　４歳児　「発表会」（実践前） …… 126
令和６年度　５歳児　「発表会」（実践前） …… 137
令和６年度　４歳児　「５歳進級に向けて」（実践前） …… 149
令和６年度　４歳児　「野菜の栽培」（実践前） …… 155
令和６年度　５歳児　「野菜の栽培」（実践前） …… 160

短期の指導計画（令和６年６月４日の保育指導案）

３歳児　うめ１組 …… 168
３歳児　うめ２組 …… 174
４歳児　もも１組 …… 180
４歳児　もも２組 …… 186
５歳児　さくら１組 …… 192
５歳児　さくら２組 …… 198

短期の指導計画（令和７年１月 30 日の保育指導案）

３歳児　うめ１組 …… 204
３歳児　うめ２組 …… 210
４歳児　もも１組 …… 216
４歳児　もも２組 …… 222
５歳児　さくら組 …… 228

実践記録（一部掲載）

３歳児６月　「用意をして一緒に遊ぼう！」 …… 238
４歳児６月　「ドキドキする時はどうする？」 …… 247
４歳児６月　「言い方きつくなっちゃってた？」 …… 255
４歳児６月　「お部屋に戻ろう」 …… 260
５歳児７月　「的を倒されないようにするために」 …… 267
５歳児７月　「どうしてトウモロコシは黄色くなるの？」 …… 274

ドキュメンテーション（一部掲載）

３歳児１～２月 「あんとんせんせいごっこ」…… 280
３歳児２月 「おふろごっこ」…… 288
４歳児 10 月「忍者ごっこ」…… 294
４歳児２月 「ももたろうごっこ」…… 300
５歳児４～７月 「野菜の育ち」…… 306
５歳児６～７月 「５・６歳　まとあてあそび」…… 317
５歳児９～10 月 「みんなで たのしく がんばる さくらすぽうつりれえ」 …… 328

幼児教育を考える研究会（令和６年 11 月 30 日）　資料

幼児教育を考える研究会　表紙 …… 335
取り上げる遊び・場所 …… 336
学びのカード　記入例 …… 337
グループ協議の進め方 …… 338
グループ協議用紙について …… 339
アンケート項目 …… 340
アンケート結果 …… 341
保育指導案　うめ１組 …… 346
保育指導案　うめ２組 …… 352
保育指導案　もも１組 …… 358
保育指導案　もも２組 …… 364
保育指導案　さくら組 …… 370

神戸大学附属幼稚園　　資質・能力の定義（令和６年４月現在）

資質・能力の大きなまとまり定義	【資質・能力のまとまり】定義	資質・能力	資質・能力の定義
社会的資質・能力 人格形成の基礎となる資質・能力	【自分の生き方】 様々な関わり合いの中で、自分を見つめ、したいことやすべきことを自分で決め、よりよい生き方を目指そうとする	自ら決める・選ぶ	興味・関心をもったり、目的や目標を定めたりして、その実現に向けて見通しをもち、やり遂げようとする
		自分に満足する	自分の成長を自覚し、自らの価値に気付く
		気持ちをコントロールする	よりよい方向に向けて、自分の気持ちに折り合いをつけようとする
		自分のことを知る	自分に関心を寄せ、自分の思いや状態、性格などに気付いたり、それを認めようとしたりする
	【人とのつながり】 人と関わることを通して、他者の思いや考えに気付き、よりよい関係をつくろうとする	他者といる喜びを感じる	他者と関わる心地よさや嬉しさ、よさを感じてつながりを大切にしようとする
		他者のことを知る	他者に関心をもち、思いや考え、個性を認めようとする
		自分のことを伝える	相手に分かるように、自分の思いや考えを行動や言葉で伝えようとする
		他者のことを考えて行動する	他者に寄り添い、相手にとってよいと思うことをしようとする
		人と物事を進める	人と共通の目的や目標に向かって、自分にできることをしようとしたり、見通しをもって必要なことを決めたり、互いの役割を意識しながら責任を果たそうとしたりする
固有的資質・能力 知性につながる資質・能力		体の健康を保つ	健康の保持・増進に関心をもち、必要なことを考え、自分ができることをしようとする
		身を守る	自分の状態や周囲の状況に気付き、安全について考え行動しようとする
		身体を操作する	運動の特性に応じた身体の使い方をしようとする
	【人と自然とのあり方を見つめる】 豊かな自然体験を通して、その美しさや不思議さに触れる中で、自然や生命に対する理解を深め、望ましい自然観・生命観を養う	自然環境を見つめる	空や雲、土、天体など、自然環境の美しさや不思議さに触れる中で、自然に対する理解を深める
		生き物・命を見つめる	生き物の美しさや不思議さに触れる中で、生命に対する理解を深める
		事物・現象を捉える	科学的に分析・思考しながら、性質や特徴を見出したり、ものやこと同士の関係性を捉えたりする
	【感動を表現する】 思いや世界観が表現されているもののよさを感じたり、イメージを膨らませ自分らしく表現することを楽しんだりしながら、豊かな感性を養う	造形に表す	色や形、素材の生かされ方のよさを感じたり、それらを使って表現しようとしたりする
		音楽に表す	音の響き、リズム、テンポやメロディーのよさを感じたり、それらを使って表現しようとしたりする
		文芸に表す	話の展開や内容、話や役などの設定、言葉のよさを感じたり、それらを使って表現しようとしたりする
		身体の動きに表す	動作や表情、声の調子などのよさを感じたり、それらを使って表現しようとしたりする
		演出に表す	配役や場のとり方、プログラムの順序などのよさを感じたり、表現方法を考えたり、それらを使って表現しようとしたりする
	【言語を活用する】 文字言語や音声言語を獲得し、思いや考えを伝えようとする	語彙・語句を活用する	語彙・語句を豊富に獲得し、活用しようとする
		文章の構成を整える	文章の構成を考えて、整えようとする
	【事象を数理的に捉える】 数・量や図形、場を対象とした思考を通して、身の回りの事象を分析的に判断しようとする	形を捉える	図形を対象とした思考を通して、身の回りの事象を分析的に判断しようとする
		数・量を捉える	数・量を対象とした思考を通して、身の回りの事象を分析的に判断しようとする
		空間を捉える	場を対象とした思考を通して、身の回りの事象を分析的に判断しようとする
	【暮らしをつくる】 暮らしを豊かにするための要素や方法について考え、取り組もうとする	食を見つめる	食べることの楽しさを感じたり、様々な食文化について知り、取り入れようとしたりする
		場や状況を整える	快適で心地よい生活空間を知り、整えようとする
		財を活用する	売買の仕組みやサービスについて知り、お金を適切に扱おうとする
		多様な文化を尊重する	自国の文化や他国の文化のよさや互いの文化の違いを知り、認めようとする
	【社会とのつながりを築く】 自分達の生活を支える人・もの・ことについて知り、持続可能な社会の実現を目指そうとする	施設や働く人とつながりをもつ	施設や働く人の役割を知り、自分の関わり方を考える
		資源の活用を見つめる	限りあるものの適切な使い方や使う量を考え、大切に扱おうとする
汎用的資質・能力 思考力	【論理的思考力】 物事を整理し、順序よく考える力	比較する	対象と視点を明確にしながら、差異点や共通点を見付け出す
		関連付ける	対象と視点を明確にしながら、その間にあるつながりを見付け出す
		総合する	比較したり関連付けたりしたことをもとに、考えをまとめる
		再構成する	自分の知識や考えを、より妥当性の高いものに更新する
		推論する	比較・関連付けして得られた明確な根拠を基に、何らかの考えに至る
		論点を抽出する	話の中心になるところを探り、目的に応じて絞り込み、確定する
		批判的に考える	思考・判断に必要な情報の確かさを疑う
	【問題解決力】 問題を見出し、解決方法を導き出し、実行する力	問題を認識する	ある目的を達成するための問いを生む
		豊かに発想し、追求の手立てを構想する	ある目的を達成するための方法を直感的・論理的に考え、最適な考えを選ぶ
		実行し、その結果を基に判断する	実行を基に、目的が達成されたかどうかその過程が適切であったかどうかを評価する

神戸大学附属幼稚園　入園から修了までのねらい一覧（No.1）　令和６年４月現在

		３歳児											４歳児											５歳児										
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
自分の生き方	自ら決める・選ぶ	したいと思ったり、好きなことを選んだり、したいと思ったことをしたりする					好きなことやしたいことを意識して、選んだりしたりする										できるようになりたい、上手になりたい、こうしたいなどの具体的な目的をもって考えたり試したりして、何度も取り組もうとする										できるようになりたい、上手になりたい、こうしたいなどの具体的な目的をもったり、上達や難しさを感じながら自分の力に見合った目標を決めたり、目的に向けて見通しをもったりして、考え続けたり、何度も試したりし、あきらめずにやり遂げようとする									
	自分に満足する	したいことや必要なことができて嬉しいと思う			したいことや必要なことができたり、できるようになったりして、嬉しいと思う				したいことができたり、できるようになったり、自分の考えのよさを感じたりして、嬉しいと思ったり、自信をもったりする								少しずつできるようになってきていることや自分の頑張り、自分の考えのよさを感じて嬉しいと思ったり、自信をもったりする						できなかったことや苦労したことを振り返ったり友達に認めてもらったりして、自分の頑張りや自分の考えや行動のよさを感じたり前とは違う自分を自覚したりすることで、自信をもったりやり遂げたことに満足したりする											
	気持ちをコントロールする	先生に手伝ってもらって、自分の気持ちを落ち着かせようとする											自分なりの方法で、自分の気持ちを落ち着かせようとする										人の気持ちを聞いたり周りの状況を知らされたりして、気持ちを落ち着けたり、折り合いをつけたりしようとする										人の気持ちを聞いたり周りの状況を見たり感じたりして、気持ちを落ち着けたり、よりよい方向にむけて自分の気持ちに折り合いをつけようとしたりする									
	自分のことを知る																																	
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
人とのつながり	他者という喜びを感じる	先生や友達に親しみをもったり、一緒にいる心地よさを感じたりする			先生や友達に親しみをもったり、一緒にいる心地よさや触れたり触れられたりする嬉しさ、一緒に遊ぶ嬉しさを感じたりする								気の合う友達や今まであまりかかわりのなかった友達と一緒にいる心地よさや誘ったり誘われたりする嬉しさ、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる								気の合う友達や今まであまりかかわりのなかった友達と、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる								いろいろな人と一緒に遊んだり生活したりする嬉しさを感じる								いろいろな人と一緒に遊んだり生活したりする嬉しさを感じたり、仲間とのつながりを喜んだりする						
	他者のことを知る	気になる人の顔や名前を知ろうとする				気になる友達や先生のことを知ろうとしたり、友達や先生の好きなこと、素敵なところなどに気付いたり、いろいろな友達や先生の顔や名前を知ろうとしたり、いろいろな人の存在に気付いたりする				いろいろな友達のことを知ろうとしたり、いろいろな友達の個性に気付いたりする			いろいろな友達の気持ちや考えを知ろうとしたり、いろいろな友達の個性に気付いたり、年長児を身近に感じたりする						いろいろな友達の気持ちや考えを知ろうとしたり、今まで知らなかった個性に気付いたり、年長児の優しさを感じたりする							他者の気持ちや考えを知ろうとしたり、友達の考えや今まで知らなかった個性に気付いたり認めたりする											
	自分のことを伝える	自分の気持ちを表情や態度で表し、伝えることのよさを感じる			先生や友達にしたいことやしてほしいこと、自分の気持ちを、行動や言葉で伝えようとする								友達に自分の気持ちを言葉や行動で伝えようとしたり、先生や友達に自分の話をしようとしたりし、伝えることのよさを感じる								友達に自分の気持ちや考えを言葉で伝えようとしたり、先生や友達に自分の話をしようとしたりし、伝えることのよさを感じる								友達に自分の気持ちや考えを分かるように伝えようとしたり、分かってもらえるまで伝えようとしたりし、伝えることのよさを感じる								自分の気持ちや考えを相手にきちんと伝えたいと思って、伝え方を工夫したり、適当な伝え方を選んだりして、分かってもらったり受け入れてもらったりするまで伝えようとしたりし、伝えることのよさを感じる						
	他者のことを考えて行動する	先生や友達の様子を気にする						友達の様子を見たり、話を聞いたりして、気にかける								友達の様子を見たり、話を聞いたりして、してあげたいと思うことをしようとする							自分がどうかかわればよいのかを考えて、友達のためになることをしようとする											
	人と物事を進める																	友達と同じしたいことやすべきことに向けて、思いついたことをしようとしたり、友達の考えを聞いて自分のすることを考えてしようとしたりする											友達と同じしたいことやすべきことに向けて、状況や友達の考え、動きを見たり聞いたりして、自分のできることをしようとする									
																				気持ちや考えを伝え合いながら、遊び方や遊びに必要なルールを、友達と一緒に考えようとする								みんなが楽しくできるように、気持ちや考えを伝え合いながら、遊びや生活のすすめ方や必要なルールを友達と一緒に考えたり、決めたり、見通しをもったりしようとする								友達と共通の目的に向かって、納得するまで一緒に考えたり、試したり、話し合ったりして、遊びや生活のすすめ方や必要なルールを決めたり、守ったり、見通しをもったり、自分の責任を果たしたりしようとする						
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
体の健康を保つ		健康に過ごすためにしたほうがいいことがあると知り、仕方を聞いて、しようとする					健康に過ごすためにしたほうがいいことや、なぜしなければならないかを知り、しようとしたり、自分の体に興味をもったりする						体や健康に関心をもったり、健康に過ごすために必要なことや必要な理由を知り、自分からしようとしたりする												体や健康に関心をもったり、体の成長を喜んだり、健康に過ごすために必要なことや必要な理由が分かり、丁寧にしようとしたりする											
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
身を守る		初めて出合う環境の中で、どうすると危ない状況になるかを聞き、危なくない方法を知り、その通りにしようとする					どうすると危ない状況になるかを聞き、危なくない方法を知り、危なくないようにしようとする			どうすると危ない状況になるかを聞いたり、驚いたり痛い思いをしたりして危ないことを感じたりし、危なくない方法を知り、危なくないようにしようとする			新しい遊具や環境の中で、どうすると危ない状況になるかを知ったり、危ない時に身を守る方法を考えたり知ったりして、危なくないようにしようとする						どうすると危ない状況になるかを知ったり、痛い思いや怖い思いをして危ないことを感じたり、危ない時に身を守る方法を考えたり知ったりして、周りの人やものに注意を向けて確かめ、危なくないようにしようとする							新しい遊具や環境の中で、具体的な場や状況を見聞きしてどうすると危ないかを考えたりどうすると危ない状況になるかを知ったり、危ない時に身を守る方法を考えたり知ったり、どうして危なくなったのかを振り返って考えたりし、周りの人やものに注意を向けて確かめ、危なくないようにしようとする					どうすると危ない状況になるかや危ない時に身を守る方法を考えたり知ったり、どうして危なくなったのかを振り返って考えたりし、周りの人やものに注意を向けて確かめ、危なくないようにしようとする									
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
身体を操作する		遊具を使う中で、いろいろな体の動かし方や使い方を感じ、体を動かす楽しさや心地よさを味わう						いろいろな遊具で遊ぶ中で、遊具を使う時の体の動かし方や使い方をしてみたり、いろいろに体を動かしたりしながら、体を動かす楽しさや心地よさを味わう						新しい遊具や用具で遊んだり、いろいろな遊びをしたりしたりする中で、存分に体を動かすことを楽しんだり、友達の動きや遊具、用具、様々な場所や空間、地形に対応した体の動かし方や使い方を試したり、体で覚えたりしようとする						遊具や用具で遊んだり、いろいろな遊びをしたりする中で、存分に体を動かすことを楽しんだり、友達の動きや遊具、用具、様々な場所や空間、地形に対応した体の動かし方や使い方、力加減を、見たり、考えたり、試したり、体で覚えたりしようとする							新しい遊具や用具で遊んだり、友達と一緒にルールのある遊びをしたりする中で、友達の動きや遊具、用具、様々な場所や空間、地形に対応した体の動かし方や使い方、力加減を、見たり、考えたり、試したり、体で覚えたりしようとする							いろいろな運動遊びに挑戦したり、友達と一緒にルールのある遊びをしたりする中で、見たり考えたり試したりしてコツや感覚をつかみ、意識して体を動かしたり、友達の動きや遊具、用具、様々な場所や空間、地形に対応した体の動かし方や使い方を調整したりしようとする						
		遊びや生活をする中で、いろいろな動きの感覚や動くことで生じる感覚を感じる																																
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
人と自然とのかかわり方を見つめる	自然環境を見つめる	身近な自然環境に触れ、興味・関心をもったり、好奇心をいだいたり、驚き、面白さ、美しさ、不思議さ、心地よさ、厳しさを感じたりする																																
	生き物・命を見つめる	身近な動植物を見たり触ったり嗅いだりなどして、美しさや匂い、感触などを感じたり、色やかたち、大きさ、模様、動きの面白さや不思議さ、違いを感じたりする																																
		身近な動植物を見たり触ったりして、色や大きさ、姿の変化に驚いたり、愛らしさを感じたり、世話の仕方を知り、世話をしてみようとしたりする																						身近な動物を見たり触ったり調べたりしながら、色や大きさ、姿の変化に驚いたり、愛らしさを感じたり、世話の仕方を知り、動物の気持ちを考え、命に責任をもって大切に世話をしようとしたりする 身近な植物を見たり触ったり匂ったり世話をしたり調べたりする中で、色や形、模様、匂い、感触、育ち方、なり方などの特徴や変化、生長する様子に感動したり、命に責任をもって大切に世話をしようとしたりする											
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
事物・現象を捉える		身の回りのものを五感で感じたり、使ったり、使って遊んだりする中で、そのものの性質を感じて楽しんだり、面白いと思ったり、驚いたり、遊びに使おうとしたりする																																
		自分のしたことや使ったものによって、ものの様子が違うことに驚いたり、面白いと思ったりして、何度もしようとする																						したことや使ったものによって、ものの様子が違うことに驚いたり、不思議に思ったりして、予想したり、確かめたりしながら、何度もしようとする											ものやことどの関係による違いや変化に気付いたり、原因と結果を結び付けて考えたり、経験から予想したり、試したり、確かめたりしようとする						
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
		３歳児											４歳児											５歳児										

神戸大学附属幼稚園　入園から修了までのねらい一覧（No.2）　令和６年４月現在

		３歳児												４歳児												５歳児											
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
感動を表現する	造形に表す	素材に触れているうちに表現が生まれていく楽しさを感じたり、生まれたもののよさを感じたり、思い描いたものや、しているうちに思い付いたものを描いたり作ったりする楽しさを感じたり、色や形の美しさや面白さを味わったりする					描きたいもの、作りたいものを思い浮かべて、色や形を考えて描いたり作ったり、身近なものをいろいろなものに見立てたりすることを楽しんだり、色や形の美しさや面白さを味わったりする							描きたいもの、作りたいもの、遊びに必要なものを思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、いろいろな素材を使ったり、友達の表現のよさを感じて取り入れたりしながら、工夫して描いたり作ったりすることを楽しむ。また、色や形、組み合わせ方、質感の美しさや面白さを味わう							描きたいもの、作りたいもの、遊びに必要なものを思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴をいかしたり、友達の表現のよさを感じて取り入れたりしながら、工夫して描いたり作ったりすることを楽しむ							描きたいもの、作りたいもの、遊びに必要なものを思い浮かべたりその特徴を捉え直したりして、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴をいかしたり、友達がすることを真似たり、友達の表現のよさを感じて取り入れたりしながら、細部までこだわって工夫して描いたり作ったりしようとし、その楽しさを感じる							
	音楽に表す	身の回りの音の響き、言葉、歌や曲のリズムやテンポ、メロディーを感じながら、聴いたり、歌ったり、体を動かしたり、音を鳴らしたりすることを楽しむ																	歌や曲のリズムやテンポ、メロディー、曲調を感じたり、歌の情景を思い浮かべたりしながら、聴いたり、歌をうたったり、歌や曲に合わせて楽器を鳴らしたりすることを楽しむ																	リズムやテンポ、メロディー、曲調を感じたり、歌の情景を思い浮かべたりしながら、それらを意識して、聴いたり、歌をうたったり、体を動かしたり、楽器を鳴らすタイミングを考えて合奏したりすることを楽しむ													歌詞の意味を自分の状況や心境と重ね合わせてうたったり、友達と気持ちを合わせてうたったりする充実感を味わう			
		身の回りの音の響きを感じたり、身の回りのもので音を鳴らしたりすることを楽しむ																																			
	文芸に表す	絵本を見たりお話を聞いたりして、繰り返しの展開を楽しんだり、次はどうなるかを楽しみにしたりする					絵本を見たりお話を聞いたり歌を歌ったりして、話が展開していくことを楽しんだり、情景を思い浮かべたり、登場人物の気持ちを感じたりする																			絵本を見たりお話を聞いたり歌を歌ったりして、話の展開を予想したり、情景を思い浮かべたり、登場人物の気持ちを感じたりする												
		先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話や役の設定を考えながら遊ぶ楽しさを感じる												先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話や役の設定を考えながらお話を作って遊ぶ楽しさを感じる												イメージを膨らませて、役や設定を考えたり、友達の考えを取り入れたりしながら、友達と一緒にお話を作って遊ぶ楽しさを感じる												イメージを膨らませて話の設定や展開を考えて、設定を生かしてお話を作ったり、気持ちや状況に合った歌詞を作ったりする楽しさを感じる											
		言葉のリズムや響きの心地よさや面白さ、擬音語・擬態語の音（おん）の面白さを感じる												言葉のリズムや響きの心地よさや面白さ、擬音語・擬態語の音（おん）や例えなどの言い回しの表現の面白さを感じ、それを使って表現する楽しさを感じる												言葉のリズムや韻を踏む響きの心地よさや面白さ、擬音語・擬態語を使っての表現の面白さ、例えなどのいろいろな言い回しをしての表現の面白さを感じ、それを使って表現する楽しさを感じる																							
	身体の動きに表す	自分のなりたいものの姿や動きなどを思い浮かべて、なって遊ぶことを楽しむ					自分のなりたいものの姿や動きなどを思い浮かべたり、友達の表現のよさを感じたり真似をしたりしながら、なって遊ぶことを楽しむ							自分のなりたいものになりきり、具体的な場面を思い浮かべたり、友達の表現のよさを感じたり真似をしたりしながら、動き方や話し方などを考えて身体で表現することを楽しむ							自分のなりたいものになりきったり、気持ちや性格、具体的な場面を思い浮かべたり、友達の表現のよさを感じたり真似をしてみたりしながら、自分なりの表情や言葉、話し方、動き方などで表現したりすることを楽しむ							自分のなりたいものの気持ちや性格、生態から、表情や言葉、話し方、動き方などを考えたり、場面設定に合わせた動き方や話し方などを考えたり、友達の表現のよさや考えを取り入れたりして、表現することを楽しむ																			
		感じたことや考えたことを身体で表現しようとしたり、それを楽しんだりする																																			
	演出に表す	自分のなりたいものになるために、小道具や大道具、衣装を使ったり身につけたりして、遊ぶことを楽しむ																	自分のなりたいものをよりそれらしく表現するために、使いたい小道具や大道具、衣装など必要なものを考えたり、それを使ったり身につけたり、友達の衣装や鉢形のよさを感じたり取り入れたりして、遊ぶことを楽しむ												自分のなりたいものをよりそれらしく表現するために、また、見ている人がどう感じるかを考えながら、自分たちが感じてほしいことをより効果的に表現するために、小道具や大道具、衣装、言葉、話し方、動き、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり、試したり、友達がしていることのよさを感じたり取り入れたりして、表現しようとする												
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
言語を活用する	語彙・語句を活用する	身近なものの名前や園生活で使う言葉、自分の気持ちを表す言葉を知ったり、使ったりする												言葉の意味を知ったり、知って選んだりする												いろいろな語彙にふれながら、言葉が音の集まりであることを知ったり、音のつながりを楽しんだりする												いろいろな語彙にふれながら、言葉を構成している音の数や並び、組み合わせを使ったり、音を置き換えたりして遊びながら、いろいろな言葉や言葉のつくり、音に興味・関心をもつ											
																										「てにをは」の違いを感じて、選んで使おうとする												「てにをは」を使い分けようとする											
																		自分の名前に使われているひらがなを、興味をもって見ようとする					身の回りの記号や文字を、興味をもって見たり読もうとしたりする									遊びの必要から、知りたいことや書かれていることを読もうとしたり、人に伝えたいことや覚えておきたいことを書こうとしたり、書いて残しておくことのよさを感じたりする									遊びの必要から、知りたいことや書かれていることを読もうとしたり、人に伝えたいことや覚えておきたいことを書こうとしたり、書いて残しておくことのよさを感じたり、文字には、決まった形や向き、筆順があることを感じたりする											
		場に応じた丁寧な言葉にふれる						場に応じた言葉の丁寧さを感じる																	場に応じた丁寧な言葉を使おうとする												場に応じた丁寧な言葉を考えて使おうとする											
	文章の構成を整える	先生や友達の言葉や言い方を聞いたり、自分の言いたいことを自分の言い方で言ったりしようとする						先生や友達の言葉や言い方を聞いたり、自分の気持ちや思い、考え、言いたいことを自分の言い方や先生に教えてもらった言い方で言ったり、相手に伝えるために必要なポイントを毎ねてもらって言ったりしようとする							先生や友達の言葉や言い方を聞いたり、自分の気持ちや思い、考えを、相手に伝えるために必要なポイントを教えてもらって話したりしようとする							先生や友達の言葉や言い方を聞いたり、自分の思いや考えを、相手に分かるように繰り返す、言葉を足す、理由を添える、聞かれたことに答えるなどして話したりしようとする							言い方による分かりやすさを感じたり、自分の思いや考えを、相手に分かるように繰り返す、言葉を足す、理由を添える、聞かれたことに答えるなどして話そうとしたりする							言い方による分かりやすさを感じたり、自分の思いや考えを、相手に分かるように言葉を選ぶ、つなげる、順序立てる、理由を添えるなどして伝えようとしたりする							
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
事象を数理的に捉える	形を捉える	形の面白さを感じたり、いろいろな形に親しんだりする												いろいろな形に親しみ、比べたり組み合わせたりしながら、形の特徴を感覚で捉える												いろいろな形を比べたり、組み合わせたりしながら、形の特徴を感覚で捉えたり、遊びや生活に形の特徴をいかそうとしたりする											
	数・量を捉える	数・量（数、長さ、重さ、大きさ）の多い少ないを感じたり、ものと対応させて数えたりして、数・量に親しむ												数えたり並べたりはかったりして比べ、数・量（数、長さ、重さ、大きさ）の多少を感じる												数・量（数・長さ・重さ・大きさ・時間）の多少や速さを捉えたり、まとまりで捉えたり、操作したりしようとする											
	空間を捉える	高さ、広さ、距離、位置を身体で感じる																	高さ、広さ、距離、位置を感覚で捉えようとする							高さ、広さ、距離、位置を感覚で捉えたり、操作したりしようとする											
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
暮らしをつくる	食を見つめる	幼稚園でおやつを食べることを楽しみにする			幼稚園でおやつを食べることや、収穫した野菜を持ち帰って食べることを楽しみにする		いろいろな食材に親しみをもったり、幼稚園で先生や友達、お家の人とおやつや弁当を食べる楽しさを感じたりする							いろいろな食材に興味をもったり、幼稚園で先生や友達、お家の人とおやつや弁当を食べたり、収穫した野菜を家に持って帰って食べたりする楽しさを感じたりする												旬の食べ物があることや食べ物の働きを知ったり、喜んで食べたり、食べることを楽しみにして野菜を育てたり、いろいろな食材について知り、いろいろな料理があると感じたり、自分で手を加えて食べられるようにしたり、それを食べたりする喜びを感じたりする												
		楽しく心地よく食べるためにした方がよいことを知ったり、自分でしたりしようとする				楽しく心地よく食べるためにした方がよいことを知ったり、自分で気付いたり、先生に確かめたりしてしようとする							楽しく心地よく食べるためにした方がよいことと、その意味を知ったり、自分なりに考えたりしてしようとする												楽しく心地よく食べるためにすべきことの意味が分かってしようとする												
	場や状況を整える	自分の周りが気持ちよく使いやすくなる物の始末の仕方を感じたり、手伝ってもらってしたり、自分でしようとしたりする						自分の周りや、みんなで使う場所が気持ちよく使いやすくなるような遊びや生活の場の整え方や物の始末の仕方を感じたり、気付いたり、自分なりに考えたりして、整えたり、作ったりしようとする																			気持ちよく使いやすく楽しくしたいことがしやすくなるように、物の始末をしたり、遊びや生活の場を選んだり、整えたり、作ったり、作りかえたりしようとする											
	財を活用する							ごっこ遊びを通して、先生や友達と、売ったり買ったりするやりとりを楽しむ																	ごっこ遊びを通して、先生や友達とお金やカード、チケットを使って売ったり買ったりすることを楽しむ											
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
多様な文化を尊重する			身近な伝統行事に興味をもつ												身近な伝統行事、祝祭日に触れ、関心をもつ												身近な伝統行事、祝祭日に触れ、日本の風習や生活の節目を感じる											
															他の地方や他国の存在を感じる												他の地方や他国の存在を知ったり、その地の生活の仕方や言葉、衣類などの違いを感じたり、面白いと思ったり、よさを感じたりする											
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
社会とのつながりを築く	施設や働く人とつながりをもつ	幼稚園の施設や生活を教えてもらったり感じたりして、幼稚園がどんなところかを知る												幼稚園や園外保育先の施設、そこにある物に興味・関心をもち、それらがみんなの物であることを知る												施設や施設にある物を使う時にはきまりごとがあると知り、その意味が分かり、きまりごとを守って使おうとする												施設や施設にある物を使う時にはそこでのきまりごとの意味を考えて過ごそうとする							
								興味・関心をもって見たり関わったりして、幼稚園のいろいろな人と自分との関係を知る												興味・関心をもって見たり関わったりして、幼稚園のいろいろな人と自分との関係や幼稚園に関わる人の役割を知る												自分の生活に関わる社会の人の役割を考える											
	資源の活用を見つめる	見たり、聞いたり、教えてもらったりして、無駄になることはもったいないと感じる						見たり、聞いたり、教えてもらったりして、無駄になることはもったいないと感じ、大切にしようとする							まだ使えるものを捨ててしまうことや必要以上に使うことをもったいないと感じたり、大切にしようとしたりする							まだ使えるものを捨ててしまうことや必要以上に使うことをもったいないと感じた												まだ使えるものを取っておこうとしたり、ものや労力、時間などが無駄にならない使い方を考えて大切に使おうとしたりする											
資質・能力のまとまり	資質・能力	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
		３歳児												４歳児												５歳児											

神戸大学附属幼稚園　教育課程及び月の指導計画と初等教育要領との関連表（令和６年４月１１日現在）

自分の生き方【自ら決める・選ぶ】興味・関心をもったり、目的や目標を定めたりして、その実現に向けて見通しをもち、やり遂げようとする

年齢	３歳児	４歳児	５歳児
初等教育要領	好きなことやしたいことを意識して、選んだりしたりする	できるようになりたい、上手になりたい、こうしたいなどの具体的な目的をもって考えたり試したりして、何度も取り組もうとする	できるようになりたい、上手になりたい、こうしたいなどの具体的な目的をもったり、上達や難しさを感じながら自分の力に見合った目標を決めたり、目的に向けて見通しをもったりして、考え続けたり、何度も試したりし、あきらめずにやり遂げようとする

年齢	３歳児												４歳児												５歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	したいと思ったり、好きなことを選んだり、したいと思ったことをしたりする					好きなことやしたいことを意識して、選んだりしたりする							できるようになりたい、上手になりたい、こうしたいなどの具体的な目的をもって考えたり試したりして、何度も取り組もうとする												できるようになりたい、上手になりたい、こうしたいなどの具体的な目的をもって					できるようになりたい、上手になりたい、こうしたいなどの具体的な目的をもったり、上達や難しさを感じながら自分の力に見合った目標を決めたり、目的に向けて見通しをもったりして、考え続けたり、何度も試したりし、あきらめずにやり遂げようとする						
月のねらい	遊んだことのある好きなものや、友達が使っているものを、じっと見たり、触れたり、手にとって使ってみようとしたりする		先生や友達がしていることや遊びの場、用意している遊具や玩具を見てしたいと思ってしたり、楽しいと思ったことをしたり、初めてのこともしてみようとしたりする			好きなことやしたいことを見付けたり、先生や友達がしているのを見たりして、したい、こんな風にしたいと思ってしようとする						初めての玩具や遊具をみて、使ってみたいと思ったり、昨日楽しかったことを思い出したり、先生や友達がしていることに刺激を受けて、いろいろ試したりしようとする		遊具や玩具を使ってみたいと思って使ったり、昨日楽しかったことを思い出したり、先生や友達がすることから刺激を受けたりして、したいことを決めたり、こんな風にしたいと考えてしたり、続けてしたり、新しいことをしたりしようとする			楽しかった日のことを思い出し、友達がしていることや頑張っている姿から刺激を受け、少しずつできるようになりたい、上手になりたい、こうしたいと思ったりしたことを決めたり、もっとこんな風にしたいと考えてしたり、何度もしようとする			昨日の続きをしようと思ったり、友達がしていることや頑張っている姿から刺激を受けたり、少しずつできるようになりたい、上手になりたい、こうしたいと思ったりしたことを決めたり、もっとこんな風にしたいと考えてしたり、何度もしようとしたり、必要なものや必要なことを考えて用意したりしようとする			昨日の続きをしようと思ったり、目指す回数を決めたり、具体的にできるようになりたいと思ったり、友達が頑張っている姿から刺激を受けたり、昨日の続きをしようと思ったり具体的な目標を決めたりして、何度もしたり、もっとこんな風にしたいと考えてしたり、必要なものや必要なことを考えて用意したりしようとする			新しい遊具や道具を使いたいと思ったり、友達の頑張りやしていることから刺激を受けたりして、実現したいことに向けて、考えたり試したりして何度も取り組もうとしたり、何度も挑戦しようとしたりする		実現したいことに向けて、考えたり試したりして何度も取り組もうとしたり、友達の頑張りや先生のしていることから刺激を受け、何度も挑戦しようとしたりする			実現したいという思いを強くもって、考えたり試したりして何度も取り組もうとしたり、自分の上達を感じたり、友達の頑張りに刺激を受けたりして、何度も挑戦しようとしたりする。また、友達と一緒に実現したい目的をもったり、目的に向けて見通しをもったりして、やり遂げようととする			上達や難しさを感じながら、自分の力に見合った目標を決めて何度も挑戦しようとしたり、友達と一緒に実現したい目的をもったり目的に向けて見通しをもったりして、実現に向けて、考え続けたり、何度も試したりし、うまくいかなくともやり遂げるまで取り組もうとしたりする		
													物に愛着をもったり、丁寧に扱おうとしたりする												物に愛着をもったり、丁寧に扱おうとしたり、最後まで始末しようとしたりする											

自分の生き方【自分に満足する】自分の成長を自覚し、自らの価値に気付く

「自分のことを知る」との棲み分け、関連の明確化を

年齢	３歳児											４歳児											５歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
初等教育要領	したいことができたりできるようになったり前よりも上手になったりして、嬉しいと思ったり自信をもったりする																						自分のできるようになったことや前よりも上手になっていること、前とは違う自分を自覚して、自信をもったりやり遂げたことに満足したりする										
教育課程	したいことや必要なことができて嬉しいと思う			したいことや必要なことができたり、できるようになったりして、嬉しいと思う			したいことができたり、できるようになったり、自分の考えのよさを感じたりして、嬉しいと思ったり、自信をもったりする									少しずつできるようになってきていることや自分の頑張り、自分の考えのよさを感じて嬉しいと思ったり、自信をもったりする					できなかったことや苦労したことを振り返ったり自分の考えや行動のよさを感じたり前とは違う自分を自覚したりすることで、自信をもったりやり遂げたことに満足したりする					友達に受け入れて認めてもらったりして、自分の頑張りや									
年齢	３歳児											４歳児											５歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい	したいことや必要なことができて嬉しいと思う			したいことや必要なことができたり、できるようになったりして、嬉しいと思う			したいことや必要なことができたり、できるようになったり、自分の考えのよさを感じたりして、嬉しいと思ったり、自信をもったりする									少しずつできるようになってきていることや自分の頑張り、自分の考えのよさを感じて嬉しいと思ったり、自信をもったりする					できなかったことや苦労したことを振り返ったり自分の考えや行動のよさを感じたり前とは違う自分を自覚したりすることで、自信をもったりやり遂げたことに満足したりする					友達に受け入れて認めてもらったりして、自分の頑張りや									

自分の頑張りを感じる、自分の素敵さを感じることでの嬉しさを入れる。

生活習慣や道具等の扱いなど、各時期に抜け落ちのないようにしたい事項について集約していく様式を作成する。事例検討やカリマネ時に確認、修正、加筆していく。この欄は様式作成後削除。

年中になり、新しい遊具や玩具が使えたり、年少児の姿を見たりして、大きくなった自分を意識したりして喜ぶ

年少児が遊ぶ姿を見て、大きくなった自分を意識して喜ぶ

修了のお祝いの準備をしたり、うさぎのお世話の仕方を教えてもらったりして、もうすぐ５歳児が修了していくことや、次は自分達が年長組になることや大きくなった自分を感じたり、誇らしく思ったり、嬉しく思ったりする。

年長の遊具などで遊んだり、年長としての仕事をしたいと思うことをすすんでしたりして、年長になった自分を自覚し、その喜びを感じる

年少・年中児が子ども様子を見たり、一緒に遊んだりする中で、年少・年中の頃を思い出したり、成長した自分を自覚をもつ

年少・年中児が子ども様子を見たり、一緒に遊んだりする中で、年少・年中の頃を思い出したり、遊び方を伝えたり、動きをリードしたりし、成長した自分を自覚し、自信をもつ

年少・年中児を自分達のお店屋さんやお遊びに招待したり、自分達で焼いた芋を振る舞いに届けたりし、してもらっていた自分を振り返って成長した自分を自覚し、自信をもつ

年少・年中児に、絵の作り方を教えたり、難しいことを手伝ったりし、教えてもらっていたが遊ぶ様子を見たり、一緒に遊んだりする中で、年少・年中の頃を思い出したり、自分を振り返ったりして成長した自分を自覚し、自信をもつ

年少・年中児に自分達の発表を見せ、見せてもらっていた自分を振り返って成長した自分を自覚し、自信をもつ

年中児にウサギの世話の仕方を教えたり、修了式の準備をしたりし、もうすぐ一年生になる自分を意識し、自信をもつ

生活に必要なことができるようになって嬉しいと思う

- 持ち物の始末をする
- 手を洗う
- 椅子を並べる
- 前後をかためカバンを身につける
- 靴を確かめて履く

- ストーを挿す
- 並んで保護者の元へ行く
- マスクをつける
- 水筒のお茶を飲む
- トイレに行く
- おやつの袋を開ける

- イコト掛、をい置
- レンーをける、着る
- 傘巻てく、着えする
- 替をえる服を
- 着替をする服を
- 服返す
- 服たむ

- 園ーにンを
- 通ノトハコ押す
- ２にん列並で歩く
- 荷物の始末をする

生活に必要なことができるようになって嬉しいと思ったり自信をもったりする

- 当番後片付けをする
- お弁の準備、
- 机を台拭きで拭く
- 手ノこにもエンプの着をする
- 紙をトさ台で口ばを遠くまで１人１回ずつ息をお付けます
- スモックの脱ぎ着をする
- 手紙を折ってノートに挟む
- 手紙を自分で折る
- スモックの本ターンを全て留める
- 上着掛をける、着る
- 写真カ

自分達で世話をしたことで野菜が成長し、収穫できることを嬉しく思う

玉を前より入れられた、チームが勝ったという嬉しさを感じたり、前よりたくさん入れられたと、前よりもたくさん練習したことなどの自分の頑張りに満足したりする

紐が巻けるようになった、こまが回せるようになった、昨日より長く回った、狭い台で回るようになったなど、以前はできなかったことができるようになったことを喜んだりする

自分達で世話をしたことで野菜が成長し、収穫できることを嬉しく思う

紐が巻けるようになった、こまが回せるようになった、昨日より長く回った、狭い台で回るようになったなど、以前はできなかったことができるようになったことを喜んだり、できるようになった自分に自信を持ったりする

できなかったことや難しいと思っていたことができるようになってきた、上手になったなど前とは違う自分やしたいことを続けてきた自分の頑張りを感じて自信をもったり、なりたい役になったり遊びに必要なものを作ったりして、自分の考えたことができたことに満足したりする

毎日世話を続けることで野菜が生長していくことや収穫できたことを喜んだり、大変だったことや毎日世話を続けてきた自分を振り返り、世話を続けてよかったと思ったりする

実現したい目標をもって運動会に向かい、何度も挑戦して実現に近付いたり、やり遂げたりし、自信をもったり満足したりする

したいことを実現する喜びを感じる友達と力を合わせてたき火をし、焼き芋を焼き上げたことや、焼き芋を届けた年少・年中の友達、日頃お世話になっている方々に喜んでもらったことに満足感を味わう。

自分達のお店やお客さんが来てくれたし、信じたり、遂げたりしたことに満足したりする

実現したいことに近付いたと感じて喜んだり、やり遂げたことに満足したり、自分の成長を感じたりする

時期や活動に特異性のあるものの筋を、下段に、色を変えて表示する。（遊びや生活のまとまりの計画の願いなど、園の財産として表示）

自分の生き方【気持ちをコントロールする】よりよい方向に向けて、自分の気持ちに折り合いをつけようとする

年齢	３歳児											４歳児											５歳児										
初等教育要領	先生に手伝ってもらって、自分の気持ちを落ち着かせようとする											自分なりの方法で、自分の気持ちを落ち着かせようとする											人の気持ちを聞いたり周りの状況を見たり感じたりして、よりよい方向にむけて自分の気持ちに折り合いをつけようとする										
年齢	３歳児											４歳児											５歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程	先生に手伝ってもらって、自分の気持ちを落ち着かせようとする											自分なりの方法で、自分の気持ちを落ち着かせようとする										人の気持ちを聞いたり周りの状況を知らされたりして、気持ちを落ち着けたり、折り合いをつけたりしようとする											人の気持ちを聞いたり周りの状況を見たり感じたりして、気持ちを落ち着けたり、よりよい方向にむけて自分の気持ちに折り合いをつけようとしたりする										
年齢	３歳児											４歳児											５歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい	不安、困る、思い通りにならなくて、悲しいなどいろいろな気持ちを、先生の姿を見たり、声をかけてもらったり、に気持ちを受け止めてもらったり、自分の思いをかなえてもらったり、手伝ってもらったり、生き物を見たり、したことや見たことのある遊びをしたり、柔らかい物を触ったり、どうするかが分かったり、好きなことや安心できるもの、開放的な遊びで遊んだり思い切り体を動かしたりして、気持ちがほぐれたり、気持ちを落ち着けたりしようとする						不安、困る、思い通りにならなくて、悲しい、嫌などいろいろな気持ちを、先生や好きな友達と一緒にいたり、先生に話を聞いてもらったり、自分の思いがかなう方法を先生と一緒に考えたりして、気持ちを落ち着かせようとする				困る、思い通りにならなくて、悲しい、嫌などいろいろな気持ちを、先生や友達に話を聞いてもらったり、自分の納得いく方法を見つけたりして、気持ちを落ち着かせようとする		困る、思い通りにならない、緊張する、不安だけどしたいなどの時に、先生や友達に声をかけてもらったり話を聞いてもらったり自分の納得のいく方法を見つけたりして、自分の気持ちを落ち着かせようとする				困る、思い通りにならない、緊張する、不安だけどしたいなどの時に、先生や友達に声をかけてもらったり話を聞いてもらったり自分の納得のいく方法を見つけたり友達の姿を見たりして、自分の気持ちを落ち着かせたり切り替えたりしようとする。										困る、思い通りにしたい、怖いけどしたいなど、自分の中のいろいろな気持ちを、友達の姿を見たり、友達や先生に励まされたり、友達の気持ちを聞いたり、先生から周りの状況を知らされたり気持ちを落ち着ける方法を考えたり目指す自分に照らし合わせたりして、自分の納得のいくところに落ち着けようとしたり自分の気持ちを切り替えようとしたりする						自分の思い通りにしたい、悔しい、難しいけどしたいなど、自分の中のいろいろな気持ちを、友達や先生に励まされたり、気持ちを落ち着ける方法を考えてしたり、目指す自分に照らし合わせたりして、自分の納得のいくところに落ち着けようとしたり、自分も相手も納得できるように、自分の気持ちを切り替えようとしたりする						
気持ちを落ち着かせる手立て、場面例	・先生に笑顔で迎えてもらう ・先生の姿を見る　・先生の傍にいる ・先生に目を合わせて挨拶をしてもらう ・先生に名前を呼んでもらう ・先生に手をつないでもらう ・先生にどうしたいか聞いてもらう ・先生に声をかけてもらう ・先生に笑顔で見守ってもらう ・先生の膝にのる　・先生に抱っこされる ・先生と手をつなぐ、タッチをする ・お家の人はおやつを食べたら迎えに来てくれることを教えてもらう ・家と同じおもちゃを使う（車、電車、ブロック、ままごと、ぬいぐるみ等） ・柔らかいものに触れる（ぬいぐるみ、小麦粘土など） ・気に入ったものを持つ ・身近な生き物（ダンゴムシやアリなど）を見たり触れたりする ・先生と一緒に遊ぶ　・先生に応援してもらう ・先生に絵本を読んでもらう ・先生や友達と一緒におやつを食べる ・先生に教えてもらったり、手伝ってもらったりする ・好きな友達を見る・先生や友達が心配してくれる ・大きな声を出す ・椅子に座って思いきり足踏みをして音を鳴らす ・走りっこをする　・追いかけっこをする ・ぶらんこに乗る ・ジャンピングで跳ねる　・滑り台を滑る ・律動をする　・ストライダーに乗る											・先生や同じクラスの友達と遊ぶ ・先生に名前を呼んでもらう ・ふれあい遊びをする										・先生や同じクラスの友達と遊ぶ ・先生に名前を呼んでもらう ・ふれあい遊びをする	・始めての遊具やもの、こと、場に出会ったり挑戦したりする ・ルールのある遊びをする ・グループで活動する ・生活の流れを感じて動く ・勝敗のある遊びをする ・挑戦する遊びをする									
月のねらい		健康診断や発育測定では、先生に痛くないことを教えてもらったり、触れられたり、励まされたりして、気持ちを落ち着かせようとする			発育測定では、先生に痛くないことを教えてもらったり、触れられたり、励まされたりして、気持ちを落ち着かせようとする				発育測定では、先生に痛くないことを教えてもらったり、触れられたり、励まされたりして、気持ちを落ち着かせようとする		発育測定では、先生に痛くないことを教えてもらったり、触れられたり、励まされたりして、気持ちを落ち着かせようとする		健康診断や発育測定では、先生に痛くないことを教えてもらったり触れられたり励まされたりして、気持ちを落ち着かせようとする											グループが一緒の一年生と触れ合ったり遊んだりして、緊張した気持ちを落ち着ける			グループが一緒の馴染みの薄い友達と触れ合ったり遊んだりして緊張した気持ちを落ち着ける 大勢の人の前で見てもらうことへの緊張を落ち着けようとする			グループが一緒の馴染みの薄い友達と触れ合ったり遊んだりして緊張した気持ちを落ち着ける 大勢の人の前で見てもらうことへの緊張を落ち着けようとする		学校の話を聞いたり、聞きたいことを聞いたり、教室に入ったりして、遠学を楽しみに思い、安心する
遊びや生活の場面		・健康診断 ・発育測定			・発育測定				・発育測定		・発育測定		・健康診断 ・発育測定											・一年生と一緒に遊ぶ			・育てたい野菜が同じ友達と野菜を育てる ・運動会を見てもらう	・育てたい野菜が同じ友達とお店やさんのグループになる		・クラスの違う友達と発表会のグループになる ・発表会を見てもらう		・小学校に向けた話を聞く ・一年生と遊ぶ ・小学校に行く
月のねらい		本当にこわいことが起こったのではないことを教えてもらい、初めてでも分からなくても先生の所に行けば大丈夫だと思う			本当にこわいことが起こったのではないことを教えてもらい、先生の所に行けば大丈夫だと思う				本当にこわいことが起こったのではないことを教えてもらい、先生の所に行けば大丈夫だと思う				避難訓練があることを知らせてもらい、これまでの避難訓練のことを思い出して放送を聞いたり先生のところに行ったりすれば大丈夫だと思う			避難訓練があることを知らせてもらい、これまでの避難訓練のことを思い出して放送を聞いたり先生のところに行ったりすれば大丈夫だと思う			避難訓練があることを知らせてもらい、これまでの避難訓練のことを思い出して放送を聞いたり先生のところに行ったりすれば大丈夫だと思う										避難訓練の時に、危なくないように考えたり行動したりすることで、災害が起こっても先生と落ち着いて避難すれば大丈夫だと思う			避難訓練の時に、危なくないように考えたり行動したりすることで、災害が起こっても周りの大人と落ち着いて避難すれば大丈夫だと思う			避難訓練の時に、危なくないように考えたり行動したりすることで、災害が起こっても周りの大人と落ち着いて避難すれば大丈夫だと思う		
遊びや生活の場面		・避難訓練			・避難訓練				・避難訓練				・避難訓練			・避難訓練								・避難訓練			・避難訓練			・避難訓練		

抽象度を４歳以降のねらいに合わせて記述。手立て例とで整理。

ねらいに入れず、気持ちを落ち着かせる手立て場面例として挙げ、心の健康の遊びや生活の場面例も入れる。

自分の生き方【よりよい自分に向かう】よりよい方向に向けて、した方がよいと思うことをしようとする

「自ら～」「他者のことを考えて～」等に位置付けいく。

年齢	3歳児	4歳児	5歳児
初等教育要領	自分のしたことのよしあしを感じる	自分のしたことを、自ら振り返ったり、友達や先生の話や行動を見聞きして振り返ったりしながら、そのよしあしを考えようとしたり、自分がよいと思ったことをしようとしたりする	年長である自分を意識して責任をもって役割を果たそうとしたり、した方がよいと思うことをしようとしたり、自分の行動を振り返ってよしあしを考え、よいと思うことをしようとしたりする

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	自分のしたことのよしあしを感じる																		自分のしたことを、自ら振り返ったり、友達や先生の話や行動を見聞きして振り返ったりしながら、そのよしあしを考えようとしたり、自分がよいと思ったことをしようとしたりする						年長である自分を意識して責任をもって役割を果たそうとしたり、した方がよいと思うことをしようとしたり、自分の行動を振り返ってよしあしを考えたりする						年長である自分を意識して責任をもって役割を果たそうとしたり、した方がよいと思うことをしようとしたり、自分の行動を振り返ってよしあしを考え、よいと思うことをしようとしたりする					

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	自分のしたことを先生や友達がどう思っているか見たり聞いたりして、したことのよしあしを感じる																		自分のしたことを、困ったりしまったと思ったりして自ら振り返ったり、友達や先生の話や行動を見聞きして振り返ったりし、そのよしあしを考えようとする												自分のしたことを、困ったりしまったと思ったりして自ら振り返ったり、友達や先生の話や行動を見聞きして振り返ったりし、そのよしあしを考え、よいと思うことを判断しようとする											
													先生や友達のした方がよいと思っていること、すべきだと思っていること、喜んでいること、嫌がっていることなどのよいことや悪いことの判断を見たり聞いたり、自分が困ったりしながら、自分がよいと思ったことをしようとする												これまでの経験や、友達や先生の話や行動、その時の状況から、自分がした方がよいと思うことをしようとする											
																									年長になった自分を意識し、これまで年長児が果たしてきた役割を聞いたり、思い起こしたりして、年長児としての役割を果たそうとする。												年長である自覚をもち、年少児・年中児に遊びのアイデアを伝えたり、遊び方を提案したり教えたりするなどし、年長児としての役割を最後まで果たそうとする。											

まとまりの計画のねらいを入れていく筋のように、二筋目との重なりはあるが、意識しやすいように残しておくようにするか検討する。

自分の生き方【自分のことを知る】自分に関心を寄せ、自分の思いや状態、性格などに気付いたり、それを認めようとしたりする

年齢	３歳児											４歳児											５歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程																																	
年齢	３歳児											４歳児											５歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい																																	

・子どもの姿（事例・ドキュメンテーション等）から、ねらいを作っていく。
・資質・能力の順序、定義の言葉もこれでいいか検討していく。

人とのつながり【他者といる喜びを感じる】他者と関わる心地よさや嬉しさ、よさを感じてつながりを大切にしようとする

年齢	３歳児	４歳児	５歳児
初等教育要領	先生や友達に親しみをもったり、一緒にいる心地よさや触れたり触れられたりする嬉しさ、一緒に遊ぶ嬉しさを感じたりする	気の合う友達や今まであまりかかわりのなかった友達と、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる	いろいろな人と一緒に遊んだり生活したりする嬉しさを感じたり、仲間とのつながりを喜んだりする

年齢	３歳児												４歳児												５歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	先生や友達に親しみをもったり、一緒にいる心地よさを感じたりする			先生や友達に親しみをもったり、一緒にいる心地よさや触れたり触れられたりする嬉しさ、一緒に遊ぶ嬉しさを感じたりする									気の合う友達や今まであまりかかわりのなかった友達と一緒にいる心地よさや誘ったり誘われたりする嬉しさ、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる								気の合う友達や今まであまりかかわりのなかった友達と、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる（←前ねらいとの変化はない）								いろいろな人と一緒に遊んだり生活したりする嬉しさを感じる								いろいろな人と一緒に遊んだり生活したりする嬉しさを感じたり、仲間とのつながりを喜んだりする			

年齢	３歳児												４歳児												５歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	先生に名前を呼んで挨拶をしてもらったり、手をつないでもらったり、一緒にしてもらったり、見てもらったり、助けてもらったりする嬉しさを感じる			先生や友達と挨拶をしたり、手をつないだり、くっついたり、一緒にしたり、同じことをしたり、名前を呼んだり、見てもらったり、助けてもらったりする嬉しさを感じる				先生や好きな友達、傍にいる友達と挨拶をしたり、手をつないだり、くっついたり、一緒にしたり、~~真似たり、同じことをしたり、名前を呼んだり~~、見てもらったり、助けてもらったり、誘ったり誘われたりする嬉しさを感じる 同じ遊びをする友達と一緒に遊ぶ楽しさや心地よさを感じる 同じクラスの友達とみんなで遊ぶ嬉しさを感じる（４歳以降もつながるねらいを検討）			友達と誘ったり誘われたりする嬉しさを感じる 今まであまりかかわりのなかった友達ともくっついたり、同じことをしたり、一緒にしたり、していることを見たり聞いたりして、一緒に面白い、楽しいと思ったり驚いたりすることを喜ぶ 気の合う友達と、したいことや考えたことを一緒にする楽しさを感じる								友達と約束したり待ち合わせしたりする嬉しさを感じる 同じ場にいる友達とくっついたり、同じことをしたり、一緒にしたり、していることを見たり聞いたりして、一緒に面白い、楽しいと思ったり驚いたりすることを喜ぶ 気の合う友達や今まであまりかかわりのなかった友達と遊びの行き来をしたり、大勢の友達で集まって一緒に遊んだりすることを楽しむ								同じ遊びをしたり同じグループになったりしたいろいろな友達と、一緒に遊んだり生活したりする中で、一緒に頑張ったり考えたりする楽しさや、応援する、助けるなどしたりされたりする嬉しさを感じる								共通の目的をもって取り組む友達と、一緒に遊んだり生活したりする中で、一緒に頑張ったり、喜んだり、考えたりなどする仲間がいる嬉しさを感じる			
																				年少児と挨拶をしたり、一緒におやつを食べたり遊んだりする嬉しさを感じる								年少児とに親しみをもち、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる。								年少児・年中児と挨拶をしたり、一緒におやつを食べたり遊んだりする嬉しさを感じる								年少児・年中児と手をつないだり、助けたり、一緒にしたり、一緒に喜んだり、嬉しさを感じる			年少児・年中児と一緒に遊ぶ嬉しさを感じる	~~年少児・年中児が困らないように、~~年少児・年中児のために準備したり助けたりすることで喜んでいる姿を見て、嬉しさを感じる	年少児・年中児に求められて頼られる嬉しさを感じる 教えたり助けたりすることで、喜んでいる姿を見ることで嬉しさを感じる	年少児・年中児に求められて頼られる嬉しさや、教えたり助けたりすることで喜んでくれる嬉しさ、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる	
						年中児・年長児に優しくしてもらったり、教えてもらったりして親しみを感じる			年中児・年長児に優しくしてもらったり、教えてもらったり遊びを見せてもらったり一緒に遊んだりして親しみを感じる								年長児に優しくしてもらったり、教えてもらったり、一緒に遊んだりして親しみを感じる																同じグループになった一年生と、名前を呼んだり呼ばれたり、話したり、一緒に遊んだりすることを喜ぶ			同じ遊びをしたり同じグループになったりした一年生と、一緒に喜んだり、見付けたことや思ったこと、考えたことを言ったり、聞いたりして、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる										
その他の他者とのつながりをねらう			友達のお家の人と、一緒に遊んだり話したり、手伝ってもらったりして親しみを感じる	友達のお家の人と、一緒に遊んだり話したり挨拶をしたりして親しみをもつ																																	

人とのつながり【他者のことを知る】他者に関心をもち、思いや考え、個性を認めようとする

年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
初等教育要領	気になる人の顔や名前を知ろうとしたり、いろいろな人の存在に気付いたりする											いろいろな友達の気持ちや考えを知ろうとしたり、いろいろな友達の個性や今まで知らなかった個性に気付いたりする											他者の気持ちや考えを知ろうとしたり、他者の個性や今まで知らなかった個性に気付いたりする										
年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程	気になる人の顔や名前を知ろうとする					気になる友達や先生のことを知ろうとしたり、友達や先生の好きなこと、素敵なところなどに気付いたり、いろいろな友達や先生の人の顔や名前を知ろうとしたり、いろいろな人の存在に気付いたりする				いろいろな友達のことを知ろうとしたり、いろいろな友達の個性に気付いたりする			いろいろな友達の気持ちや考えを知ろうとしたり、いろいろな友達の個性に気付いたり、年長児を身近に感じたりする					いろいろな友達の気持ちや考えを知ろうとしたり、今まで知らなかった個性に気付いたり、年長児の優しさを感じたりする							他者の気持ちや考えを知ろうとしたり、友達の考えや今まで知らなかった個性に気付いたり認めたりする						他者の気持ちや考えを知ろうとしたり、友達の考えや今まで知らなかった個性に気付いたり認めたり、クラスを越えた友達を身近に感じたりする				
年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい	先生の名前や顔を知ろうとしたり、先生は存在に気付いたりする		いろいろな先生、友達の顔や名前を知ろうとしたり、先生は頼りになる存在だと感じたりする			いろいろな友達や先生の顔や名前を知ろうとしたり、気になる友達や先生のしていることや好きなことなどに気付いたり興味をもったりする				友達や先生のしていること見たり聞いたりして、友達や先生の楽しんでいることや素敵なところ、面白いところ、好きなことなどに気付く		新しいクラスの友達や先生の顔や名前を知ったり、楽しんでいることや面白いところ、好きなことなどに気付いたりする		友達のしていることを見たり聞いたりして、友達の楽しんでいることや素敵なところ、面白いところ、好きなことなどに気付く			友達と密にかかわったり遊んだりする中で、友達の意外な優しさや頑張り、素敵なところに気付く 遊びの行き来をしたり、大勢の友達で集まって一緒に遊んだりする中で、今まであまりかかわりのなかった友達の楽しんでいることや素敵なところ、面白いところ、好きなことなどに気付く			先生や同じ遊びをしたり同じグループになったりしたいろいろな友達のよさ素敵なところや考え、性格、得手不得手などに気付いたり、認めたりする			同じ遊びをしたり同じグループになったりしたいろいろな友達のよさや考え、性格、得手不得手などに気付いたり、認めたりする			共通の目的をもって取り組むいろいろな友達のよさや考え、性格、得手不得手などに気付いたり、認めたりする			
						先生と一緒に、友達の表情や動きを見たり話を聞いたりして、友達の気持ちやその気持ちになった理由、考えを知る																	他者の表情や動き、状況を見たり、話を聞いたりして、気持ちやその気持ちになった理由を推し量ったり、考えを知ったりしようとする										
		年中児や年長児の存在に気付く			運動会の練習をしている年中児や年長児の姿を興味をもって見る	年長・年中児は助けてくれたり、楽しいことをしてくれたりする存在だと感じる			年長・年中児のすごいところや優しさに気付く		年少児の存在を感じる	年少児の存在を感じたり、年長児の姿を見たり名前を知ったりすることを喜んだりする		年少児に関心を寄せて、見たり声をかけたりしようとする 年長児と一緒に遊んだり、教えてもらったり、助けてもらったりして、優しさを感じたり、年長児が頑張っている姿を見て頑張っていることや素敵なところを知ったりする					年少児・年中児に関心を寄せて、見たり、声をかけたりなどしようとする					年少児・年中児の表情や行動を見たり話を聞いたりして何に困っているのかを知ろうとしたり、年少児・年中児にとっての難しいことや嬉しいことを知ろうとする				

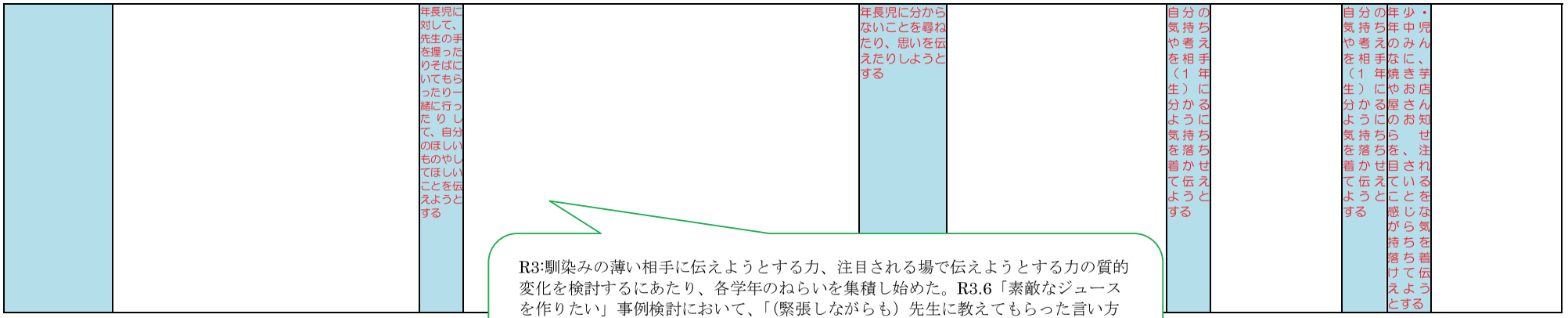
人とのつながり【自分のことを伝える】相手に分かるように、自分の思いや考えを行動や言葉で伝えようとする

年齢	~~3歳児~~												~~4歳児~~												~~5歳児~~											
初等教育要領	~~先生や友達に自分の話をしようとしたり、友達に自分の気持ちや考えを行動や言葉で伝えようとしたりし、伝えることのよさを感じる~~																								~~自分の気持ちや考えを相手にきちんと伝えたいと思って、伝え方を工夫したり、適当な伝え方を選んだりして、分かってもらったり受け入れてもらったりするまで伝えようとする~~											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	自分の気持ちを表情や態度で表し、伝えることのよさを感じる		~~先生や友達にしたいことやしてほしいこと、自分の気持ちを~~、行動や言葉で伝えようとし、伝えることのよさを感じる										友達に自分の気持ちを言葉や行動で伝えようとしたり、先生や友達に自分の話をしようとしたりし、伝えることのよさを感じる												友達に自分の気持ちや考えを言葉で伝えようとしたり、先生や友達に自分の話をしようとしたりし、伝えることのよさを感じる											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	自分の気持ちを表情や態度で表し、伝えることのよさを感じる		したいことやしてほしいこと、困っていることを先生に向けて表情や態度で表したり、代弁してもらってうなずいたり、教えてもらった言い方で言ったり、自分の言い方で言ったりして伝えようとし、伝えることのよさを感じる					~~したいことやしてほしいこと、困っていることを先生や友達に向けて表情や態度で表したり、言葉を引き出してもらったり、自分で言ったりして伝えようとし、伝えることのよさを感じる~~ ~~遊びの中で見付けたこと、好きなこと、感じたことなどを先生や友達に話したり、実物を見せたり、して見せたりなどして伝えようとし、伝えることのよさを感じる~~ ~~したいことやしてほしいこと、困っていること、見付けたこと、好きなこと、感じたことなどを、先生や友達に向けて表情や態度で表したり、言葉を引き出してもらったり、自分で言ったり、実物を見せたり、して見せたりなどして伝えようとし、伝えることのよさを感じる~~				したいことやしてほしいこと、困っていることなどを先生や友達に向けて、表情や態度で表したり言葉を引き出してもらったり、自分で言ったりして伝えようとし、伝えることのよさを感じる			~~自分の気持ちを友達に向けて自分で言ったり、表情や態度で表したり、相手に伝えるべきポイントを先生に教えてもらって言ったりして、伝えようとする~~ ~~遊びの中で見付けたこと、好きなこと、感じたことなどを先生や友達に話したり、実物を見せたり、して見せたりなどして伝えようとし、伝えることのよさを感じる~~ 自分の気持ちや見付けたこと、好きなこと、感じたことなどを、友達に向けて自分で言ったり、表情や態度で表したり、実物を見せたり、して見せたり、相手に伝えるべきポイントを先生に教えてもらって言ったりして伝えようとし、伝えることのよさを感じる				遊びの中で見付けたこと、好きなこと、感じたことなどを、先生や友達に伝えようとしたり、友達の気持ちや考えを聞きながら、自分の気持ちや考えを、相手に分かるように、繰り返したり、言葉を足したり、聞かれたことに答えたりして、伝えようとしたりし、伝えることのよさを感じる				遊びの中で見付けたこと、好きなこと、感じたことなどを、先生や友達に伝えようとしたり、友達の気持ちや考えを聞きながら、自分の気持ちや考えを、相手に分かるように、繰り返したり、言葉を足したりして、伝えようとしたりし、伝えることのよさを感じる			友達の表情を見たり、友達の気持ちや考え、その理由を聞いたりしながら、自分の気持ちや考えを、相手に分かるように、繰り返したり言葉を足したり、聞かれたことに答えたり、ゆっくり言ったり、はっきり言ったり、~~身振り手振りを交えたり~~して伝えようとする。また、聞いてもらえるように、名前を呼んだり、目を合わせたりして伝えようとし、伝えることのよさを感じる			友達の様子を見たり、友達の気持ちや考え、その理由を聞いたりしながら、自分の気持ちや考えを、相手に分かるように、ゆっくり言ったりはっきり言ったり、~~身振り手振りを交えたり~~、順序立てたり、理由を添えたりして、伝えようとする。また、聞いてもらえるように、名前を呼んだり、目を合わせたり、相手の話が終わるのを待ったり~~するなど~~して伝えようとし、伝えることのよさを感じる			自分の気持ちや考えを相手にきちんと伝えたいと思って、伝え方を工夫したり、適当な伝え方を選んだりして、分かってもらったりするまで伝えようとし、伝えることのよさを感じる		

伝える相手、伝えたい内容（話題等）の変化は質的変化と言えるか。
（30 年度：身近な人～と相手の広がりはありそう。内容も発達段階がありそう。）
（令和元年度：相手や内容の変化は見られるが、それが自分のことを伝えるの力の質的変化とは言えないのではないか。）
→R2:内容の変化は「伝える」の質的変化ではないが、相手の変化は、馴染みの薄い相手にも教師の力を借りるなどしてでも伝えようとする力はねらっていくので、質的変化と捉え、筋を分けるか、２文で繋ぐかしてねらいに反映する。
→R4:R1 同様。

○伝えることのよさの質的変化が、伝える思いの大きさやそれに至る過程による違い（「理由を添えてよかった」など固有にかかわるよさではないもの）以外にあるか。あれば新たな筋として起こすことも考える。
○実物を見せる、現場に連れていくなど、言葉以外の方法の工夫を入れる。

「順序立てたり」や「身振り手振り」など、言葉の力や動きの力など他の固有的能力に位置付く力はそちらに含ませここからは削り、「伝えようとする態度」に絞る。→「自分のことを伝える」にも各固有にも入れ、固有の力を使ってまで伝えようとする力だと捉えておく。


年長児に対して、先生の手を握ったりそばにいてもらったり一緒に行ったりして、自分のほしいものやしてほしいことを伝えようとする
年長児に分からないことを尋ねたり、思いを伝えたりしようとする
のちえ手年にるにちちせえと分持考相（1生）かう持落か伝うとする自気やを分よ気を着てよう
のちえ手年にるにちちせえと分持考相（1生）かう持落か伝うとする自気やを分よ気を着てよう
・児んに、芋店さん知せ注れるをな気を着伝うとする少中みきおさおお　さいとじらちちてよう年年のなに焼や屋のらを、目てこ感が持落けえ
R3:馴染みの薄い相手に伝えようとする力、注目される場で伝えようとする力の質的変化を検討するにあたり、各学年のねらいを集積し始めた。R3.6「素敵なジュースを作りたい」事例検討において、「(緊張しながらも）先生に教えてもらった言い方で、友達に作り方を尋ねる」と学びや解釈を示すこととした。切り離してしまうと、その時期の姿や育ちとして残りにくいので「気持ちをコントロールする」の姿は（　）で示す。→不要

人とのつながり【他者のことを考えて行動する】他者に寄り添い、相手にとってよいと思うことをしようとする

年齢	３歳児											４歳児											５歳児										
初等教育要領	~~友達の様子を見たり、話を聞いたりして、気にかける~~											~~友達の様子を見たり、話を聞いたりして、してあげたいと思うことをしようとする~~											~~自分がどうかかわればよいのかを考えて、友達のためになることをしようとする~~										
年齢	３歳児											４歳児											５歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程	先生や友達の様子を気にする						友達の様子を見たり、話を聞いたりして、気にかける									友達の様子を見たり、話を聞いたりして、してあげたいと思うことをしようとする										自分がどうかかわればよいのかを考えて、友達のためになることをしようとする									
年齢	３歳児											４歳児											５歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい	先生や友達の様子を気にする						友達の様子を見たり、話を聞いたりして、気にかける									友達が困っていることや忘れていること、していることを見たり聞いたりして、話を聞いたり知らせたり届けたり手伝ったり教えたり応援したり待ったりなど、してあげたいと思うことをしようとする											友達が困っていることやしたいと思っていることができるように、様子を見たり難しいことを聞いたりして、どこまで手伝ったり教えたりしたらよいのか考えてしようとする									
																									先生に言ってもらって、友達がすべきことを自分でできるように、様子を見て自分がどうすればよいのかを考え、励ましたり促したり待ったりしようとする										友達がすべきことを自分でできるように、様子を見て自分がどうすればよいのかを考え、励ましたり促したり待ったりしようとする									
												年少児の様子を気にかける											年少児の様子を気にかけて見たり、手助けしようとしたりする										
																							来年度の年中組のことを考えて、部屋を整えようとしたり、年長組のことを考えて、修了のお祝いの準備をしたりする										
																								年少児・年中児の様子を気にかけり、困っていることに気付きにき、助けてあげようする										
																								年少児・年中児の様子をが気にかけた困っていることに気付きにき、助けてあげようする										
																								年少児・年中児の様子を気にかけたり、困っていることに気付けてあげようする										
																								年少児・年中児のことを考えて、言い方を優しくしたり、分かるように教えたり、ゆっくり聞いてあげようとしたり、励ましたりしようとする										
																								自分がもたらっように、次年長の児のに種めにをようとする										
																								達成する少・年児分やすいように、楽するに、示列たり葉し遊び方、商品の置きなど考えかろしたりする										
																								待つ年が中りや方、表陳し言話、をえてわうとり										
																								年少児・年中児のことを考えて、言い方を優しくしたり、分かるように教えたり、ゆっくり聞いてあげようとしたり、励ましたりしようとする										
																								来年の長児のことを考えて、部屋や園庭を整えようとする										

人とのつながり【人と物事を進める】人と共通の目的や目標に向かって、自分にできることをしようとしたり、見通しをもって必要なことを決めたり、互いの役割を意識しながら責任を果たそうとしたりする

年齢	3歳児	4歳児	5歳児
初等教育要領		友達と同じしたいことやすべきことに向けて、思いついたことをしようとしたり、友達の考えを聞いて自分のすることを考えてしようとしたりする	友達と同じしたいことやすべきことに向けて、状況や友達の考え、動きを見たり聞いたりして、自分のできることをしようとする
		気持ちや考えを伝え合いながら、遊び方や遊びに必要なルールを、友達と一緒に考えようとする	友達と共通の目的に向かって、納得するまで一緒に考えたり、試したり、話し合ったりして、遊びや生活のすすめ方や必要なルールを決めたり、守ったり、見通しをもってしたり、自分の責任を果たしたりしようとする

年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程																	友達と同じしたいことやすべきことに向けて、思いついたことをしようとしたり、友達の考えを聞いて自分のすることを考えてしようとしたりする														友達と同じしたいことやすべきことに向けて、状況や友達の考え、動きを見たり聞いたりして、自分のできることをしようとする					
																	気持ちや考えを伝え合いながら、遊び方や遊びに必要なルールを、友達と一緒に考えようとする										みんなが楽しくできるように、気持ちや考えを伝え合いながら、遊びや生活のすすめ方や必要なルールを友達と一緒に考えたり、決めたり、見通しをもってしたりしようとする									友達と共通の目的に向かって、納得するまで一緒に考えたり、試したり、話し合ったりして、遊びや生活のすすめ方や必要なルールを決めたり、守ったり、見通しをもってしたり、自分の責任を果たしたりしようとする				

この時期にはないか？野菜の栽培、鬼ごっこ等学級の活動時にはねらいやすい？

年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい																	友達と同じしたいことやすべきことに向けて、思いついたことをしようとしたり、友達の考えを聞いて自分のすることを考えてしようとしたりする														友達と同じしたいことやすべきことに向けて、状況や友達の考え、動きを見たり聞いたりして、自分のできることをしようとする					
																		遊びが楽しくなるように、したいことや考えたこと、知っていること、おかしいと思ったことを言ったり聞いたりしながら、遊びの役や場面、場の使い方、始め方、かけ声、勝敗の決め方、チームの分け方、順番などを友達と一緒に考えようとする										みんなが納得して楽しく遊べるように、したいことや考えたこと、知っていること、おかしいと思ったことを言ったり聞いたりしながら、遊びの役や場面、場の使い方、始め方、かけ声、勝負の決め方、チームの分け方、順番などを、友達と一緒に考えようとする									したいことが同じ友達と、共通の目的に向かって、必要なものや役、流れ、ことば、動き、場の使い方、順番などを、自分も友達もよいと思えるまで一緒に考えたり、試したりしようとする				
																													必要を感じて当番活動の仕方やグループでの役割や決め事を一緒に考えたり、決めたり、見通しをもってしたりしようとする									グループの友達のことや周りの状況から必要を感じて、一緒に活動をすすめるために、必要なルールや役割を友達と一緒に考え、ルールを守ったり、見通しをもってしたり、自分の役割を果たそうとしたりする				

【体の健康を保つ】健康の保持・増進に関心をもち、必要なことを考え、自分ができることをしようとする

年齢	３歳児												４歳児												５歳児											
初等教育要領	体や健康に関心をもったり、健康に過ごすために必要なことや必要な理由を知り、自分からしようとしたりする																								体や健康に関心をもったり、体の成長を喜んだり、健康に過ごすために必要なことや必要な理由が分かり、丁寧にしようとしたりする											
年齢	３歳児												４歳児												５歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	健康に過ごすためにしたほうがいいことがあると知り、仕方を聞いて、しようとする						健康に過ごすためにしなければならないことや、なぜしなければならないかを知り、しようとしたり、自分の体に興味をもったりする						体や健康に関心をもったり、健康に過ごすために必要なことや必要な理由を知り、自分からしようとしたりする												体や健康に関心をもったり、体の成長を喜んだり、健康に過ごすために必要なことや必要な理由が分かり、丁寧にしようとしたりする											
年齢	３歳児												４歳児												５歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	外から部屋に入った時、おやつを食べる前や食べた後、トイレの後に、手洗い・うがいをし、手や口の中がきれいになった気持ちよさを感じる						うがいの仕方に違いがあることを知ったり、風邪をひかないように、手洗い・うがいをすることや、虫歯にならないようにうがいや歯磨きをすることを知ったり、しようとする						バイ菌が~~お腹体~~に入らないように手洗い・うがいをすることや、口の中がきれいになるようにうがいや歯磨きをすることを知り、自分からしようとする			バイ菌が~~お腹体~~に入らないように手洗い・うがいをすることや、口の中がきれいになるようにうがいや歯磨きをすることやその仕方を知り、自分からしようとする										手洗い・うがいや歯磨きの必要な理由が分かり、仕方を意識して丁寧にしようとする						~~寒くなると~~風邪やインフルエンザ、感染性胃腸炎などが流行りやすいことを知り、予防することを意識しながら、~~適時~~、丁寧に手洗い・うがいをしようとする					
遊びや生活の場面	・手を洗う・アルコール消毒をする ・うがいをする						・手を洗う　・歯磨きをする・アルコール消毒をする ・ぶくぶくうがい、ガラガラうがいをする						・手を洗う　・歯磨きをする ・うがいをする　・アルコール消毒をする			・手を洗う　・歯磨きをする　・アルコール消毒をする ・うがいをする　・咳をする								・手を洗う　・歯磨きをする・アルコール消毒をする ・うがいをする						・手を洗う・アルコール消毒をする ・うがいをする　・皆で集まった後					
月のねらい		~~濡れたり汚れたりしないように袖や裾を捲るとよいと感じてしようとしたり、~~濡れたり汚れたりした時に着替えたり、~~のどが渇いた時こまめ~~に水分補給をしたり、汗をかいた時に拭いたり、暑い時に水に触れたり入ったり浴びたりすると気持ちがよいと感じる					~~手を洗う時に袖を捲ったり、~~濡れたり汚れたりした時に着替えると~~気持ちがよい~~と感じたり、体調を崩さないために暑さに合わせて脱ぎ着したり水分補給をしたり~~しようと~~する。						濡れたり汚れたりした時に着替えたり、~~のどが渇いた時こまめ~~に水分補給をしたり、汗をかいた時に拭いたり、顔を洗ったり、暑い時に水に触れたり入ったり浴びたりすると気持ちよいと感じ、自分からしようとする				体調を崩さないために寒さに合わせて上着を着脱したり、ドアを閉めたり、水分補給をしたりしようとする。						濡れたり汚れたりした時に着替えたり、汗をかいた時に拭いたり顔を洗ったり、暑い時に水に触れたり入ったり浴びたりすると気持ちよいことやこまめに水分補給をする必要性が分かり、自分からしようとする						体調を崩さないために寒さに合わせて上着を着脱したり、ドアを閉めたり、換気したりしようとする					
遊びや生活の場面		・着替える ・汗をかいて水分補給をする					・濡れたり汚れたりして着替える ・濡れないように袖をまくる ・水分補給をする							・濡れたり汚れたりして着替える ・汗を拭く ・汗をかいて水分補給をする				・暑さ寒さに合わせて上着を着脱する ・寒い時にドアを閉める							・濡れたり汚れたりして着替える ・汗を拭く ・汗をかいて顔を洗う ・汗をかいて水分補給をする							・暑さ寒さに合わせて上着を着脱する ・寒い時にドアを閉める ・換気をする					
月のねらい		用便を済ますと気持ちよいと感じたり、我慢するのは体によくないと知ったりして、自分で行こうとする												用便を我慢するのは体によくないと考え、すすんで済まそうとする												用便を我慢するのは体によくないと考え、事前に済まそうとする										
遊びや生活の場面																																				
月のねらい		体の健康を確かめるためにいろいろな健診を受けることを知り、先生やお医者さんの話を聞いて、その通りにしようとする		手洗いやうがいをする理由や手洗いの仕方を聞き、しようとしたり、手洗いやうがいをしてきれいになった気持ちよさを感じたりする	冷たい水に入る前には、体がびっくりしないように準備体操をすることを知り、いろんな所を動かす体操の仕方を聞いてしようとする プールに入る前には、シャワーで体をきれいにしてから入ること、プールから出るときにはシャワーでプールに入っている薬を洗い流すことを聞き、シャワーを浴びようとする 濡れたままでいると体が冷えてしまうことを知り、体を拭いたり、すぐに着替えたりしようとする。		風邪をひかないように手洗いやうがいが大切であることや、丁寧な手洗いやうがいの仕方を知り、しようとする	~~風邪をひかないように手洗いが大切であることや、鼻のかみ方やマスクをしていないときに気を付けることや理由を知り、しようとする。~~ 虫歯にならないように、歯を磨くことや、丁寧な歯ブラシの使い方や歯の磨き方を知り、しようとする		鼻水や咳が出る理由や、咳やくしゃみで起こることを知り、鼻のかみ方やマスクをしていないときに気を付けることを知り、しようとする			健診を受ける理由（病気の早期発見、プールが始まる前に健康を確かめる）が分かり、自分の体（お腹の中や心臓の音、目）に興味をもつ	うがいの種類や仕方、必要性を知り、手洗いやうがいが必要な時にしようとする。 歯の磨き方や歯磨きする時間を意識し、歯切にしようとする		プールに入る準備体操をしたシャワーを浴びる理由を知り、プールに入る前にシャワーを浴びようとする 濡れたままでいると体が冷えてしまうことを知り、体を拭いたり、すぐに着替えたりしようとする			骨の役割を知ったり、姿勢や姿勢のポイントを教えてもらったりして、姿勢をよくしようとする		食べ物の働きを知り、くさむことや切ったり、大きく口をあけたり、健康な体作りのために、食べ物をよくかんで食べようとする			健診を受ける理由が分かり、自分の健康に興味をもった進んで健診をうけようとする	歯が抜けることや歯が生えることに関心をもち、よく噛むことや口の中をきれいに保つことを感じ、歯を大切にしようとする	プールに入る前に準備体操をしたり、シャワーを浴びる理由が分かり、丁寧にしようとする 濡れたままでいると体が冷えてしまうことを知り、体を拭いたり、すぐに着替えたりしようとする			涙や働きを知り、目をたっするために、目を守り必要な目切にしようとする			気をつけて食事をするのに関心をもち、バランスよく食べようとする				園から在の身の成長を喜ぶ

冷たい水に入る前には、体がびっくりしないように準備体操をすることを知り、いろんな所を動かす体操の仕方を聞いてしようとする
プールに入る前には、シャワーで体をきれいにしてから入ること、プールから出るときにはシャワーでプールに入っている薬を洗い流すことを聞き、シャワーを浴びようとする
濡れたままでいると体が冷えてしまうことを知り、体を拭いたり、すぐに着替えたりしようとする

睡眠
生活リズム

全学年月のねらいを保健計画も参考に充実させる。
保健指導の適切な時期、内容を検討し、３年間の見通しをもつ。

| | | |

【身を守る】自分の状態や周囲の状況に気付き、安全について考え行動しようとする

年齢	３歳児	４歳児	５歳児
初等教育要領	身を守る方法やどうすると危ない状況になるかを知ったり、痛い思いや怖い思いをして危ないことを感じたりし、危なくないようにしようとする		身を守る方法やどうすると危ない状況になるかを考えたり、どうして危なくなったのかを振り返って考えたりし、周りの人やものに注意を向けて確かめ、危なくないようにしようとする

年齢	３歳児						４歳児												５歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程	初めて出合う環境の中で、どうすると危ない状況になるかを聞き、危なくない方法を知りその通りにしようとする				どうすると危ない状況になるかを聞き、危なくない方法を知り危なくないようにしようとする		どうすると危ない状況になるかを聞いたり、驚いたり痛い思いをしたりして危ないことを感じたりし、危なくない方法を知り危なくないようにしようとする						新しい遊具や環境の中で、どうすると危ない状況になるかを知ったり、危ない時に身を守る方法を考えたり知ったりして、危なくないようにしようとする			どうすると危ない状況になるかを知ったり、痛い思いや怖い思いをして危ないことを感じたり、危ない時に身を守る方法を考えたり知ったりして、周りの人やものに注意を向けて確かめ、危なくないようにしようとする						新しい遊具や環境の中で、具体的な場や状況を見聞きして、どうすると危ない状況になるかを考えたり、どうして危なくなったのかを振り返って考えたりし、周りの人やものに注意を向けて確かめ、危なくないようにしようとする			どうすると危ない状況になるかや危ない時に身を守る方法を考えたり知ったり、どうして危なくなったのかを振り返って考えたりし、周りの人やものに注意を向けて確かめ、危なくないようにしようとする					
年齢	３歳児						４歳児												５歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい	どうすると危ないかを聞き、危なくない方法を知りその通りにしようとする			どうすると危ないかを聞き、危なくない方法を知り、危なくないようにしようとする			園生活に慣れたことでの不注意から、驚いたり痛い思いをしたりして、危ないことを感じたりし、危なくない方法を知り危なくないようにしようとする						長いもの、固いもの、尖ったもの、重いものの扱い方、固定遊具での遊び方、皆で動くときの動き方などで、痛い思いや怖い思いをして危ないことを感じたり、どうすると危ないか考えたり分かったりして、危なくないようにしようとする												固定遊具の遊び方や長いものや固いもの、尖ったもの、重いものの扱い方、見通しの悪い場所や高さのある場所での動き方などで、具体的な場や状況を見聞きして、どうすると危ないかを考えたり、どうして危なくなったのかを振り返って考えたりし、周りの人やものに注意を向けて確かめ、危なくないようにしようとする										
遊びや生活の場面	・積み木を積む、積んで遊ぶ ・砂で遊ぶ ・高い所に上る ・並ぶ ・律動する ・けんかをする ・ゆりかごスイングに乗る	・積み木を積む、積んで遊ぶ ・砂で遊ぶ ・砂場道具を使う ・高い所から跳び下りる ・並ぶ ・律動する ・けんかをする ・ゆりかごスイングに乗る ・ハサミを使う ・ハサミを運ぶ ・ハサミを渡す ・レーキ、シャベルを使う ・三輪車、四輪車、荷車・ストライダー・スケーターに乗る ・手をつないで歩く ・扉や窓の開け閉めをする ・乗り物に乗ったり、いたりし、遊具の下の黒いマットに近づく ・椅子を運ぶ	・積み木を積む、積んで乗る ・砂で遊ぶ ・砂場道具を使う ・高い所に上る・ジャンプする ・並ぶ ・律動する ・けんかをする ・ゆりかごスイングに乗る ・三輪車、四輪車、ストライダー、荷車に乗る ・手をつないでいく ・乗り物に乗ったり、いたりし、遊具の下の黒いマットに近づく ・濡れたまま遊具に近付く ・プールに入る ・ワゴンを押す ・濡れたまま保育室で走る ・椅子を運ぶ	・積み木を積んで乗る ・砂で遊ぶ ・砂場道具を使う ・高い所に上る・ジャンプする ・滑り台を逆から上る ・並ぶ ・律動する ・リズム表現をする ・年中児、年長児の競技中に園庭で遊ぶ ・手をつないで歩く ・乗り物に乗った引いたりし、遊具の下の黒いマットに近づく ・けんかをする ・ゆりかごスイングに乗る ・ハサミを使う ・傘をもつ、さす ・レーキ、シャベルを使う ・三輪車、四輪車・ストライダー、荷車に乗る ・ワゴンを押す ・歯磨きをする	・積み木に乗る ・高い所に上る ・滑り台を逆から上る ・並ぶ ・けんかをする ・ブランコに乗る ・ハサミを使う ・傘をもつ、さす ・レーキ、シャベルを使う ・三輪車、四輪車、荷車に乗る ・手をつないで歩く ・乗り物に乗った引いたりし、遊具の下の黒いマットに近づく ・戦いごっこをする ・大型ブロックで遊ぶ ・物を運ぶ ・歯磨きをする ・写真カードを貼り変える、一斉に動く ・遊戯室でクラスみんなで動く ・ドアの開閉をする ・もも組の遊具で遊ぶ	・積み木を積む ・物を運ぶ ・椅子を運ぶ ・写真カードを貼り替える ・走りっこをする ・動いている遊具に近付く ・混み合った靴箱で脱ぎ履きする ・砂場で遊ぶ ・固定遊具の上り下りをする ・遊具の下に物を置く ・はさみを持って移動したり机においたりする ・虫眼鏡で空を見る ・傘をさす ・皆で動く	・長いもの、固いもの、尖ったもの、重いものを扱う ・積み木を積む ・物を運ぶ ・椅子を運ぶ ・写真カードを貼り替える ・走りっこをする ・動いている遊具に近付く ・混み合った靴箱で脱ぎ履きする ・砂場で遊ぶ ・固定遊具に上り下りをする ・遊具の上下に物を置く ・出入り口や曲がり角を通る ・こまを回す ・列に並ぶ ・戦いごっこをする ・みんなで動く ・後ろ向きで動く ・虫眼鏡を使う ・はさみを持って移動したり机においたりする ・ブランコの近くを通る ・スケーターを漕ぐ	・積み木を積む ・物を運ぶ ・写真カードを貼り替える ・走りっこをする ・動いている遊具に近付く ・混み合った靴箱で脱ぎ履きする ・砂場で遊ぶ ・固定遊具に上り下りをする ・遊具の上下に物を置く ・出入り口や曲がり角を通る ・こまを回す ・けん玉をする ・だるま落としをする ・たこ揚げをする ・羽根つきをする ・大縄をする ・トランポリンを運ぶ ・はさみを持って移動したり机においたりする	・物を運ぶ ・積み木を積む ・出入り口や曲がり角を通る ・折りたたみ式テーブルを開く ・固定遊具の上り下りをする ・釘や金槌、のこぎりを使う ・長いもの、固いもの、尖ったもの、重いものを扱う ・見通しの悪い場所や高さのある場所で動く ・雨の日にテラスで遊ぶ	・物を運ぶ ・積み木を積む ・出入り口や曲がり角を通る ・折りたたみ式テーブルを開く ・固定遊具の上り下りをする	・物を運ぶ ・積み木を積む ・出入り口や曲がり角を通る ・逆立ち、馬跳び、側転、ブリッジをする ・けん玉をする	・長いものや固いもの、尖ったもの、重いもの、熱いものを扱う ・見通しの悪い場所で動く ・たき火をする ・レンガを運ぶ ・どんぐりこまを作る ・のこぎりを使う ・けん玉をする ・縫い物をする ・ダンボールカッターを使う	・長いものや固いもの、尖ったもの、重いものを扱う ・こまを回す ・だるま落としをする ・凧を作る、揚げる ・けん玉をする ・羽根つきをする ・物を運ぶ
月のねらい	触ったり刺激したりすると危ない虫や植物があることを知り、知らない虫には触れず先生を呼ぼうとする												触ったり刺激したりすると危ない虫や植物を知り、知らない虫や植物には触れず先生を呼ぼうとする												触ったり刺激したりすると危ない虫や植物を見分けたり調べたりして、知らない虫や植物には触れずに先生や友達に知らせようとする										
遊びや生活の場面	・戸外で遊ぶ												・戸外で遊ぶ												・戸外で遊ぶ										
月のねらい	放送がかかると静かに聞くことを知り、黙って先生が言うようにしようとする。また、逃げる時は怪我をしないように、押したり走ったりしゃべったりせず、静かに歩いて逃げることを聞き、そうしようとする 放送がかかると静かに聞くことを聞き、そうしようとする													園外での車や自転車などに注意した公道の歩き方について考えたり、知らせてもらったりして、自分で確かめながら行動しようとする	プールサイドやプールでの動き方など、どうすると危ないか考えたり分かったりして、危なくないようにしようとする	園外での車や自転車などに注意した公道の歩き方について考えたり、知らせてもらったりして、自分で確かめながら行動しようとする	バスの中でどうすると危ないか考えたり分かったりして、危なくないようにしようとする	園外での車や自転車などに注意した公道の歩き方について考えたり、知らせてもらったりして、自分で確かめながら行動しようとする	園外での車や自転車などに注意した公道の歩き方について考えたり、自分で確かめながら行動しようとする	園外での車や自転車などに注意した歩き方について考えたり、自分で確かめながら行動したりする	プール遊びや水遊びでどうすると危ない状況になるかを思い出し、気をつけることを考えてしようとする	園外での車や自転車などに注意した歩き方について考えたり、自分で確かめながら行動したりする	園外での車や自転車などに注意した歩き方、公園での知らない人への対応の仕方について考えたり、自分で確かめながら行動したりする	園外で、車や自転車、気をつけたらいいか考えたために自分自身で確かと気を付け合ったりしくないように行動しよ
遊びや生活の場面														・図書館に行く	・プールで泳ぐ ・プールサイドを歩く	・図書館に行く	・園外保育に行く ・図書館に行く	・園外保育に行く ・図書館へ行く	・図書館へ行く					・園外保育に行く ・図書館に行く	・園外保育に行く ・図書館に行く	・園外保育に行く ・図書館に行く	・園外保育に行く ・図書館に行く	・園外保育に行く ・図書館に行く	・お泊保育に行く ・図書館に行く	・図書館に行く	・図書館に行く	・図書館に行く

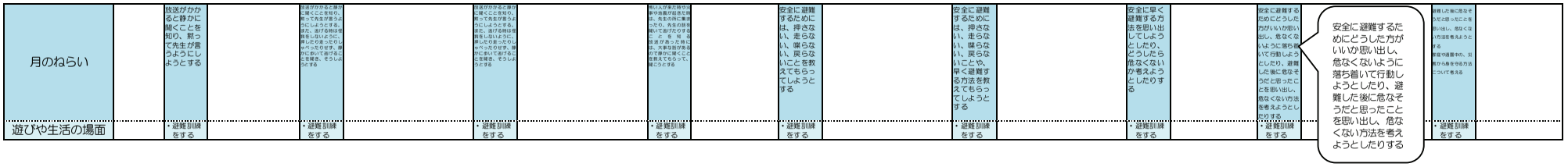
長いため、具体は場面例に入れ、ねらいの言葉は「痛い思いや怖い思いをして危ないことを感じたり、どうすると危ないか考えたり分かったりし、周りの人やものに注意を向けて確かめ、危なくないようにしようとする」など、要点のみにする　→危なさの要素は残す

新しい遊具や環境の中で、具体的な場や状況を見聞きしてどうすると危ないかを考えたりどうすると危ない状況になるかを知ったり、危ない時に身を守る方法を考えたり知ったり、どうして危なくなったのかを振り返って考えたりし、周りの人やものに注意を向けて確かめ、危なくないようにしようとする

園外での車や自転車などに注意した公道の歩き方や海辺での安全な遊び方について考えたり、園外の知らない場所や知らない人から身を守るためにどうすべきか考えて先生の近くで過ごそうとしたり周りの状況を見たりして、自分で確かめながら行動しようとしたりする

園外での車や自転車などに注意した公道の歩き方について考えたり、知らせてもらったりして、自分で確かめながら行動しようとする

避難した後に危なそうだと思ったことを思い出し、危なくない方法を考えようとする
家庭や通園中の、災害から身を守る方法について考える


月のねらい
放送がかかると静かに聞くことを知り、黙って先生が言うようにしようとする
・避難訓練をする
放送がかかると静かに聞くことを知り、黙って先生が言うようにしようとする。また、逃げる時は慌てずにおはしをとって、押したり走ったりしゃべったりせず、静かに合わせて逃げることを聞き、そうしようとする
・避難訓練をする
放送がかかると静かに聞くことを知り、黙って先生が言うようにしようとする。また、逃げる時は慌てずにおはしをとって、押したり走ったりしゃべったりせず、静かに合わせて逃げることを聞き、そうしようとする
・避難訓練をする
食い入が来た時や火事や地震が起きた時は、先生の指示を聞いて逃げたりすることと、また、知らない人について行かないことを聞くこと
・避難訓練をする
安全に避難するためには、押さない、走らない、喋らない、戻らないことを教えてもらってしようとする
・避難訓練をする
安全に避難するためには、押さない、走らない、喋らない、戻らないことや、早く避難する方法を教えてもらってしようとする
・避難訓練をする
安全に早く避難する方法を思い出してしようとしたり、どうしたら危なくないか考えようとしたりする
・避難訓練をする
安全に避難するためにどうした方がいいか思い出し、危なくないように落ち着いて行動しようとしたり、避難した後に危なそうだと思ったことを思い出し、危なくない方法を考えようとしたりする
・避難訓練をする
安全に避難するためにどうした方がいいか思い出し、危なくないように落ち着いて行動しようとしたり、避難した後に危なそうだと思ったことを思い出し、危なくない方法を考えようとしたりする
・避難訓練をする
遊びや生活の場面

【身体を操作する】運動の特性に応じた身体の使い方をしようとする

「空間を捉える」「場や状況を整える」の要素を抜く

年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
初等教育要領	存分に体を動かすことを楽しんだり、いろいろな感覚を味わったりする 友達の動きや遊具、道具、様々な場所や空間、地形に対応した体の動かし方や使い方、力加減を見たり考えたり試したりしようとする																						見たり考えたり試したりしてコツや感覚をつかみ、意識して体を動かしたり、友達の動きや遊具、道具、様々な場所や空間、地形に対応した体の動かし方や使い方を調整したりしようとする										
教育課程	遊具や道具を使う時の中で、いろいろな体の動かし方や使い方を知り感じ、体を動かす楽しさや心地よさを味わう						いろいろな遊具や道具で遊ぶ中で、遊具や道具を使う時の体の動かし方や使い方をしてみたり、いろいろに体を動かしたりしながら、体を動かす楽しさや心地よさを味わう						新しい遊具や道具で遊んだり、いろいろな遊びをしたりする中で、存分に体を動かすことを楽しんだり、友達の動きや遊具、道具、様々な場所や空間、地形に対応した体の動かし方や使い方を試したり、体で覚えたりする					遊具や道具で遊んだり、いろいろな遊びをしたりする中で、存分に体を動かすことを楽しんだり、友達の動きや遊具、道具、様々な場所や空間、地形に対応した体の動かし方や使い方、力加減を、見たり、考えたり、試したり、体で覚えたりしようとする											新しい遊具や道具で遊んだり、友達と一緒にルールのある遊びをしたりする中で、見たり考えたり、試したり、体で覚えたりしようとする					いろいろな運動遊びに挑戦したり、友達と一緒にルールのある遊びをしたりする中で、見たり考えたり試したりしてコツや感覚をつかみ、意識して体を動かしたり、友達の動きや遊具、道具、様々な場所や空間、地形に対応した体の動かし方や使い方を調整したりしようとする						
	初めての遊具や道具で遊ぶ中で、いつもと違う感覚を楽しむ						いろいろな遊具や道具で遊ぶ中で、いつもと違う感覚を楽しむ						新しい遊具や道具で遊んだり、いろいろな遊びをしたりする中で、いろいろな感覚を味わう					遊具や道具で遊んだり、いろいろな遊びをしたりする中で、いろいろな感覚を味わう						新しい遊具や道具で遊んだり、友達と一緒にルールのある遊びをしたりする中で、いろいろな感覚を味わう					いろいろな運動遊びに挑戦したり、友達と一緒にルールのある遊びをしたりする中で、いろいろな感覚を味わう						
	遊びや生活をする中で、いろいろな動きの感覚や動くことで生じる感覚を感じる																																
年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい	歩いたり、走ったり、止まったり、跳んだり、這ったり、体を丸めたり、追いかけたり、真似て手指を動かしたりなどする楽しさや心地よさを感じる				歩いたり、走ったり、止まったり、跳んだり、這ったり、体を丸めたり、追いかけたり、横転したり、真似て手指を動かしたりなどいろいろに体を動かす楽しさや心地よさを感じる							歩いたり、走ったり、止まったり、跳んだり、体を丸めたり、リズミカルに動いたりするなど、存分に体を動かす楽しさを感じる											走ったり、止まったり、跳んだり、体を丸めたり、リズミカルに動いたり、体を曲げたり伸ばしたりするなど、存分に体を動かす楽しさを感じる											体の動かし方を意識して、いろいろな動きをする楽しさを感じる										
遊びや生活の場面	• 律動をする • 手遊び • 追いかけっこをする				• 律動遊び（ギャロップ） • 手遊び • リズム表現 • 追いかけっこをする • 体操をする		• 律動遊び （ギャロップ、ケンパ） • 手遊び • 追いかけっこをする • 鬼ごっこをする • 歌や音楽に合わせて踊ったり動いたりする					• 律動をする（歩く、走る、止まる、跳ぶ） • 走りっこをする • おにごっこをする • ダンゴムシごっこをする			• 律動をする（ケンパ、後ろ跳び、前跳び、ギャロップ、スキップ、熊歩き） • 走る • 体操をする • 前回りをする • 歌や音楽に合わせて踊ったり動いたりする • 片足立ちをしてバランスをとる				• 律動をする（ケンパ、後ろ跳び、前跳び、ギャロップ、スキップ） • 鬼ごっこをする • リレーをする • 歌や音楽に合わせて踊ったり動いたりする					• 山の滑り台で上ったり、滑ったりする • 冒険タワーに上る、滑り台を滑る • 鬼ごっこをする • クマ歩きをする • ラグビーをする • サッカーをする • 中当てやドッジボールをする				• 力いっぱい走る • 平均台を渡る • 4人で息を合わせて動く • カエルのあしうちをする • 鉄転をする • 跳び箱をする • ブリッジをする	• 片足でバランスをとる									
月のねらい	遊具や道具を使って遊びながら、いろいろな体の動かし方や使い方をしたりコツを感じたりしようとす知ったりし、体を動かす楽しさや心地よさを感じる											友達の動きや遊具、道具に合わせた体の動かし方や使い方を、遊びながら見たり試したりして、体で覚えたりコツを感じたりつかんだりしようとする											友達の動きや遊具、道具に合わせた体の動かし方や使い方、力加減を遊びながら見たり考えたり試したりして、体で覚えたりコツを感じたりつかんだりしようとする											友達の動きや遊具、道具、したい動きに合わせた体の動かし方や使い方、力加減、タイミング、リズムを見たり考えたり試したりしてコツや感覚をつかみ、意識して体を動かそうとする										
遊びや生活の場面	• ジャングルポールを投げたり跳んだり乗ったりする • 四輪車や三輪車、ストライダーに乗る • バランスストーンを渡る		• 四輪車や三輪車、ストライダーに乗る • ジャングルポールを投げたり跳んだり乗ったりする • 滑る気持ちよさやスピード感 • 跳ねる感覚		• 大縄跳を上り下りする • 三輪車やストライダーに乗る • ハシゴを登る • ブルーネットを張る • 丸太を渡る • ゆりかごスイングを押す、乗り降りする • ジャンピングで遊ぶ • 平均台を渡る		• ゲームボックスから跳び下りる • 大縄跳を上り下りする • 平均台やバランスストーン、重ねたバランスストーンを渡る • 三輪車やストライダーに乗る • クレーンヘッドを上げ下げする • ハシゴを登る • クライミングロープを登る • ブルーネットを張る • 丸太を渡る • ゆりかごスイングを押す、乗り降りする • ジャンピングで遊ぶ • ハサミで切る • 洗濯バサミではさむ • ウレタンボールをかごに投げる		• ゲームボックスから跳び下りる • 木を上り下りする • 平均台やバランスストーン、重ねたバランスストーンを渡る • ボールを投げたり追いかけたり蹴ったりついたりする • 三輪車やストライダーに乗る • クレーンヘッドを上げ下げする • ハシゴを登る • ブルーネットを張る • 丸太を渡る • ゆりかごスイングを押す、乗り降りする • ジャンピングで遊ぶ • 鬼ごっこをする • 滑り台を逆から上る • ハサミで切る • ボックリに乗る • 缶各を巻く				• スターターに乗る • ジェットジムに登る • ジェットジムを渡る • 滑り台を滑る • グローブジャングルに乗る • グローブジャングルを回す • グローブジャングルを登る • ブランコをこぐ • ブレイウォールを渡る • ジャンピングで跳ぶ • 平均台や太鼓橋を渡る • ハサミで切る • 戦いごっこをする • 雑巾を絞る					• 走る • 平均台を渡る • 4人で息を合わせて動く • ボールをつく • ボールを投げる • ボールを受ける • ボールを蹴る • 玉入れをする • ハサミで切る • 短縄や長縄を跳ぶ • 雑巾を絞る					• 鬼ごっこをする • リレーをする • フープを回す • 鉄棒をする • 雲梯をする • 木登りをする • コマ回しをする • ハサミで切る • 短縄や長縄を跳ぶ • 穴に毛糸を通す • 小さな飾りをつける • ガムテープを手で千切ったり割いたりする • 雑巾を絞る • 段ボールカッターを使う • 上着のファスナーをしめる					• 鬼ごっこをする • リレーをする • フープを回す • 鉄棒をする • 雲梯をする • 木登りをする • コマ回しをする • 短縄や長縄を跳ぶ • ハサミで切る • 中当てをする • ガムテープを手で千切ったり割いたりする • 雑巾を絞る • 段ボールカッターを使う • 上着のファスナーをしめる					• 山の滑り台に上る • 山の滑り台を滑る • 冒険タワーに上る • 冒険タワーの滑り台を滑る • 鬼ごっこをする • サッカーをする • 中当てやドッジボール・バスケットボールをする • 紐を結ぶ • 布巾や雑巾を洗ったり絞ったり干したりする • のこぎりや金槌を使う • 一輪車に乗る											走る • 平均台を渡る • 4人で息を合わせて動く • カエルのあしうちをする • 鉄転をする • 跳び箱をする • ブリッジをする • 片足でバランスをとる • 倒立やロール遊びをする • けん玉をする	走る • 平均台を渡る • 4人で息を合わせて動く • カエルのあしうちをする • 鉄転をする • 跳び箱をする • ブリッジをする • 片足でバランスをとる • 山の滑り台に駆け上がる • 崖をのぼったりおりたりする	• 竹馬や一輪車に乗る • 縄跳びをする • うんていをする • 鉄棒をする • ボールで遊ぶ • 山の滑り台に駆け上がる • けん玉をする • 崖をのぼったりおりたりする	• 竹馬や一輪車に乗る • 縄跳びをする • うんていをする • 鉄棒をする • ボールで遊ぶ • 山の滑り台に駆け上がる • 羽根つきをする • コマ回しをする • けん玉をする • ヨーヨーをする
月のねらい	遊びや生活をする中で、いろいろな動きの感覚や動くことで生じる感覚を感じる																																
感じてほしい感覚例	• 揺れる感覚やぶらら下がる感覚 • 滑る気持ちよさやスピード感 • バランスが崩れる感覚		• 揺れる感覚やぶらら下がる感覚 • 滑る気持ちよさやスピード感 • バランスが崩れたり保とうとしたりする感覚 • 跳ねる感覚		• 揺れる感覚やぶらら下がる感覚 • 滑る気持ちよさやスピード感 • バランスが崩れたり保とうとしたりする感覚 • 跳ねる感覚 • 跳び下りる感覚		• かいっぱい走るスピード感 • 片足立ちするバランス感覚 • 飛び降りる感覚やスリル • ボールを上に向かって投げる感覚 • 揺れる感覚やぶらら下がる感覚 • 滑る気持ちよさやスピード感					• 片足立ちするバランス感覚 • 飛び降りる感覚やスリル • ボールを上に向かって投げる感覚 • 揺れる感覚やぶらら下がる感覚 • 滑る気持ちよさやスピード感 • バランスが崩れたり、保とうとしたりする感覚 • 柔らかい落ち葉に突っ込む感覚					• こいで揺らす感覚 • 滑る気持ちよさやスピード感 • ぶらら下がる感覚 • バランスを保とうとする感覚 • 体に沿ってフープが回る感覚 • 目が回る感覚					• こいで揺らす感覚 • 体が外に投げ出される感覚 • バランスが崩れたり、保とうとしたりする感覚 • 滑る気持ちよさやスピード感 • 目が回る感覚 • ぶらら下がる感覚 • 逆さになる感覚 • 回転する感覚 • 体重を腕で支える感覚					• 体が浮く感覚 • 体が流される感覚 • 思うように動けない感覚					• こいで揺らす感覚 • 体が外に投げ出される感覚 • バランスが崩れたり、保とうとしたりする感覚 • 滑る気持ちよさやスピード感 • 目が回る感覚 • ぶらら下がる感覚 • 逆さになる感覚 • 回転する感覚 • 体重を腕で支える感覚					• 跳ね上がるボールが手を押し上げる感覚					• バランスが崩れたり保とうとしたりする感覚 • 滑る気持ちよさやスピード感 • いろいろな体勢で滑る感覚 • 飛び降りる感覚やスリル • 体が振られる感覚					• バランスが崩れる感覚 • いろいろな体勢で滑る感覚 • 飛び降りる感覚やスリル • 水の抵抗や流される感覚 • 水に浮く、浮いて進む感覚 • 投げられる感覚 • 勢いよく水に入る感覚					• けん玉の玉を、膝を使って引き上げる感覚 • かいっぱい走るスピード感 • 体が反る感覚 • 逆さになる感覚 • 体重を腕で支える感覚 • 回転する感覚 • 思うように動けない感覚					• けん玉の玉を、膝を使って引き上げる感覚 • 斜面を駆け下りたり滑り降りたりする感覚 • 崩れるバランスを保とうとする感覚 • 体を捻らして前に進む感覚 • 逆さになる感覚 • 回転する感覚 • 体重を腕で支える感覚 • ヨーヨーを引き上げる感覚				
遊びや生活の場面	• 滑り台を滑る • ジャングルポールに乗る		• ゆりかごスイングに乗る • 滑り台を滑る • ジャングルポールに乗る • ジャンピングで跳ねる • ブルーネットを張る • 丸太を渡る • 三輪車やストライダーに乗る		• ゆりかごスイングに乗る • 滑り台を滑る • ジャングルポールに乗る • ジャンピングで跳ねる • ゲームボックスから跳び下りる • ブルーネットを張る • 丸太を渡る • 三輪車やストライダーに乗る	• 滑り台を逆から上る • ブルーネットを張る • 雨水を溜める • ウォーター滑り台スライダーごっこをする • 水たまりに滑り込む	• ゆりかごスイングに乗る • 滑り台を滑る • ゲームボックスから跳び下りる • ブルーネットを張る • 丸太を渡る • 三輪車やストライダーに乗る		• ゆりかごスイングに乗る • 滑り台を滑る • ブルーネットを張る • 丸太を渡る • 三輪車やスターターに乗る • 木を上り下りする		• ゆりかごスイングに乗る • 滑り台を滑る • ブルーネットを張る • 丸太を渡る • フープ知恵す • 三輪車やスターターに乗る					• グローブジャングルに乗る • グローブジャングルを回す • スターターに乗る • 滑り台を滑る	• グローブジャングルに乗る • グローブジャングルを回す • グローブジャングルの外側にぶら下がる • ブランコをこぐ • スターターに乗る • ジャンピングに乗る • ジャンピングで跳ねる • フープ知恵す • 雨水を溜める	• グローブジャングルに乗る • グローブジャングルに回す • グローブジャングルの外側にぶら下がる • ブランコをこぐ • スターターに乗る • 鉄棒で回る • ジェットジムに登る • ぶら下がる	• プールの中で動くことを考える • 水流を作る • チューブにつかまる • ワニ歩きをする			• グローブジャングルに乗る • グローブジャングルに回す • グローブジャングルの外側にぶら下がる • 鉄棒で回る • ジェットジムにぶら下がる • ジェットジムの様々なところから上る					• グローブジャングルに乗る • グローブジャングルを回す • グローブジャングルの外側にぶら下がる • 鉄棒で回る • ジェットジムにぶら下がる • ジェットジムの様々なところから上る • ぼっくり　• キャタピラで進む • 雲梯を進む • ボールをつく					• 山の滑り台に上る • 山の滑り台を滑る、そりで滑る • 冒険タワーに上る • 冒険タワーの滑り台を滑る • 冒険タワーから飛び降りる • 登り棒を滑り降りる • 一輪車に乗る					• 山の滑り台に上る • 山の滑り台を滑る、そりで滑る • 冒険タワーに上る • 冒険タワーの滑り台を滑る • 冒険タワーから飛び降りる • 登り棒を滑り降りる • ターザンロープにぶら下がる					• けん玉をする • 走る • 逆立ちをする • 鉄転をする • ブリッジをする • トンネルをくぐる • クマ歩き • カエルのあしうち • カエルジャンプ					• けん玉をする • 滑り台や崖を駆け下りたりよじのぼったりする • 竹馬 • 綱渡り • 雲梯 • 鉄棒				

• 山の滑り台に上る
• 山の滑り台を滑る、そりで滑る
• 冒険タワーに上る
• 冒険タワーの滑り台を滑る
• 冒険タワーから飛び降りる
• 登り棒を滑り降りる
• プールの中で動く
• 水流を作る
• ビート板などで浮く
• ワニ歩きをする
• プールで投げてもらう

人と自然とのあり方を見つめる【自然環境を見つめる】 空や雲、土、天体など、自然環境の美しさや不思議さに触れる中で、自然に対する理解を深める

年齢	３歳児	４歳児	５歳児
初等教育要領	身近な自然環境にふれ、興味・関心をもったり、好奇心をいだいたり、驚き、面白さ、美しさ、不思議さ、心地よさ、厳しさを感じたりする		

年齢	３歳児												４歳児												５歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	身近な自然環境にふれ、興味・関心をもったり、好奇心をいだいたり、驚き、面白さ、美しさ、不思議さ、心地よさ、厳しさを感じたりする																																			

年齢	３歳児												４歳児												５歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	桜吹雪の美しさを感じる	広い空の下の気持ちよさや日向の暖かさ、日陰や風の涼しさを感じる		夏の暑さや日差しの強さ、日陰の涼しさを感じる		秋の空の色や雲の形の美しさや面白さを感じる		冬の寒さ、水や風の冷たさ、日向の暖かさを感じる			春の日差しの暖かさを心地よいと感じる	日の当たる場所の心地よさを感じる	桜吹雪や花びらのじゅうたんの美しさを感じる	広い空の下の気持ちよさや日向の暖かさ、日陰の涼しさを感じる		夏の暑さや日差しの強さ、日陰の涼しさを感じる		影ができることの不思議さや面白さを感じる		冬の寒さ、水や風の冷たさ、日向の暖かさ感じる			春の日差しの暖かさを心地よいと感じたり、春になると暖かくなったり、花が咲いたり、虫が出てきたりすることを感じたりする	日の当たる場所の心地よさを感じる	桜吹雪や花びらのじゅうたんの美しさを感じる	広い空の下の気持ちよさや日向の暖かさ、日陰の涼しさ、緑が残っていることを感じる		夏の暑さや日差しの強さ、日陰の涼しさを感じる		風の強さや威力を感じる	秋の空の色や雲の形や薄さ、高さの不思議さや面白さを感じる		冬の寒さ、水や風の冷たさ、日向の暖かさを感じる			春の日差しの暖かさを心地よいと感じる	日の当たる場所の心地よさを感じる
遊びや生活の場面	・桜を見る	・芝生に寝転がる ・日陰に入る ・日向で遊ぶ ・日向にあったものを触る						・砂、水を使って遊ぶ ・手を洗う ・戸外に出る ・寒い日に息を吐く ・砂場のおもちゃを洗う			・日向で遊ぶ		・桜を見る	・芝生に寝転がる ・日向で遊ぶ ・日陰に入る				・影で遊ぶ		・戸外に出る ・手を洗う ・砂、水で遊ぶ ・砂場のおもちゃを洗う			・日向で遊ぶ		・桜を見る	・高い所に上る ・日向で遊ぶ ・日陰に入る		・日向で遊ぶ ・日陰に入る ・水撒きをする		・日向で遊ぶ ・日陰に入る ・水撒きをする ・プールの水面を見る		・風を受ける揺れる木々を見る ・音を聞く	・空を見上げる			・水に触れる ・外で風にあたる ・友達と手をつなぐ ・白い息を吐く		・日向で遊ぶ
月のねらい			雨が降ったりすることが多いことや、雨の激しさを感じたり、雨降りを楽しんだりする	雨降りを楽しむ 水しぶきの中の虹を見付けて喜ぶ 暑い日に水を浴びると気持ちよいと感じる					雪や氷、霜柱を喜んで見たり、触ったり、踏んだりして、面白いと思ったり不思議に思ったりする							雨が降っていることが多いことや、雨の激しさを感じたり、雨降りを楽しんだりする	雨降りを楽しむ				強風の風力や凄みを感じる			雪が降ったり積もったり、氷や霜柱ができたり、霜がおりたりしていることに驚いたり不思議に思ったりする							雨が降っていることが多いと感じたり、雨粒の美しさや雨の激しさを感じたりする	雨降りを楽しむ					雪や氷、霜柱、霜、霰を喜んで見たり触ったり踏んだりし、雪が降っている、氷や霜柱ができている、霜が降りていることに、驚いたり不思議に思ったりする			
遊びや生活の場面			・傘を差して長靴を履いて歩く ・水たまりに入る ・木から落ちる雨粒を傘で受ける ・雨音を聞く ・シートに溜まった水を溢れさせる						・雪が降るのを見る、雪を触る ・氷を触る、割る ・霜柱を踏む、触る							・傘をさして長靴を履いて歩く ・水たまりに入る ・雨を集める ・雨音を聞く ・シートや布に溜まった雨を下からつついて溢れさせる					風雨や強風に当たったり、舞う落ち葉や揺れる木を見たりする			・雪が降るのを見る ・雪を触る ・雪を集める ・氷を触る、割る ・氷を集める ・霜柱を踏む、触る							雨具を着たりこけて雨の中外に出る ・雨粒りをする ・水たまりに入る ・雨音を聞く ・雨だれを使って遊ぶ	・雨具を身につけて雨の中外に出る ・雨宿りをする ・水たまりに入る ・雨音を聞く ・雨だれを使って遊ぶ				・雪で遊ぶ ・氷で遊ぶ ・霜柱を見つける ・霜を見つける		
月のねらい	虹や天気の変化に関心をもつ																																			
遊びや生活の場面																																				
月のねらい																											大切に育てている野菜や生き物が悪天候や他の生き物によって、思いもよらず襲われる厳しさを感じる										大切に育てている野菜や生き物が悪天候や厳しい暑さ、他の生き物によって、思いもよらず襲われる厳しさを感じる				大切に育てている野菜や生き物が悪天候や他の生き物によって、思いもよらず襲われる厳しさを感じる
遊びや生活の場面																											・野菜が台風や風、生き物などに襲われる ・飼っている生き物が他の生き物に襲われる										
月のねらい		5月の暖かい日差しを感じたり、春の海水の冷たさや砂の温もりを感じたり、砂や海藻などの感触を感じたりし、海辺で遊ぶ心地よさを味わう海藻を見付けたり、いろいろな貝殻を拾ったり、打ち寄せる波を面白いと思ったりして、喜んで遊ぶ海の水の綺麗さを感じる				色付いた木々を見たり、綺麗な色の落ち葉や木の実を見付けたりして、秋の自然を感じる													色付いた木々を見たり、落ち葉やどんぐりが敷き詰められている美しさやすごさを感じたりする。巨木を見上げたり抱えたりしてその偉大さを感じる											波の大きさや波の動きを感じたり、貝殻や石の形がそれぞれ違うことに気付き、形が違う面白さや色の美しさなどを喜んだりする		宇宙や関心をもつ	虹や関心をもつ	宇宙や関心をもつ	月や関心をもつ	星や関心をもつ	色付いた木々を見たり、落ち葉や木の実がたくさん敷き詰められていることを感じたり、日陰の肌寒さを感じたりと、全身で秋の自然を感じる		森の空気を感じたり、鳥の鳴き声を聞いたりいろいろな生き物の循環を感じたりして、森林の雰囲気や香りを味わったり、自然の中で過ごす心地よさを味わったりする				波の寄せ引く様子を感じたり、打ち寄せる波を面白いと思ったりして、喜んで遊ぶ		森の中を探検する
遊びや生活の場面		・海に行く ・海に足をつける ・砂浜で遊ぶ				・明石公園に行く ・落ち葉やどんぐりで遊ぶ													・明石公園に行く ・落ち葉で遊ぶ						・海に行く		・七夕や星の話を聞く ・天文館に行く		・空の虹やシャワーの虹を見つける ・七夕や星の話を聞く		・お月見の話を聞く		・明石公園に行く ・森林植物園に行く						・森の中を探検する

人と自然とのあり方を見つめる【生き物・命を見つめる】生き物の美しさや不思議さに触れる中で、生命に対する理解を深める

年齢	3歳児	4歳児	5歳児
初等教育要領	~~身近な動植物を見たり触ったり嗅いだりなどして、美しさや匂い、感触などを感じたり、色や形、大きさ、模様、動きの面白さや不思議さ、違いを感じたりする~~ ~~身近な動植物を見たり触ったりして、色や大きさ、姿の変化に驚いたり、愛らしさを感じたり、世話の仕方を知り、世話をしてみようとしたりする~~	~~身近な動植物を見たり触ったり調べたりしながら、色や大きさ、姿の変化に驚いたり、愛らしさを感じたり、世話の仕方を知り、動物の気持ちを考え、命に責任をもって大切に世話をしようとしたりする~~ ~~季節によって花や実、野菜が違うことに気付いたり、1年を通して植物の変化を感じたりする~~	

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	身近な動植物を見たり触ったり嗅いだりなどして、美しさや匂い、感触などを感じたり、色や形、大きさ、模様、動きの面白さや不思議さ、違いを感じたりする 身近な動植物を見たり触ったりして、色や大きさ、姿の変化に驚いたり、愛らしさを感じたり、世話の仕方を知り、世話をしてみようとしたりする																								身近な動物を見たり触ったり調べたりしながら、色や大きさ、姿の変化に驚いたり、愛らしさを感じたり、世話の仕方を知り、動物の気持ちを考え、命に責任をもって大切に世話をしようとしたりする 身近な植物を見たり触ったり匂ったり世話をしたり調べたりする中で、~~美しさを感じたり、季節によって花や実、野菜が違うことに気付いたり、1年を通して植物の変化を感じたりする。また、身近な植物を見たり触ったり調べたりしながら、色や形、模様、匂い、感触、育ち方、なり方などの特徴や変化、生長する様子に気付いたり、~~に感動したり、愛着をもったり、命に責任をもって大切に世話をしようとしたりする										
																									~~季節によって花や実、野菜が違うことに気付いたり、1年を通して植物の変化を感じたりする~~											

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	身近な~~動物を喜んで~~集めたり、~~使って遊んだり~~して、色や匂い、感触を感じる~~ことを楽しむ~~			身近な植物を~~喜んで~~集めたり~~使って遊んだりして~~、色や匂い、感触を感じたり~~することを楽しんだり~~、身近な植物が育っていく様子を見て、驚いたり喜んだりする。~~また、いろいろな実や種を見て面白いと思う~~			身近な植物（葉、花、実）を集めたり、使って遊んだりして、色や形、大きさ、模様、感触を感じる 野菜の種まきや水やり、害虫から守るなどの世話を喜んでしたり、生長や収穫を喜んだりする				咲いた花を見たり匂ったりして、驚いたり喜んだりする 野菜の世話を喜んでしたり、収穫を喜んだりする		~~身近な植物を見たり、遊びに使ったりする中で、色や形、大きさ、模様の面白さや不思議さ、美しさ、匂い、感触を感じたり、それらの違いを感じたり、色や大きさの変化に驚いたりする~~											身近な植物を見たり、遊びに使ったりする中で、色や形、大きさ、模様の面白さや不思議さ、美しさ、匂い、感触を感じたり、それらの違いを感じたり、色や大きさの変化に驚いたりする 自分が育てたいと決めた野菜を、毎日世話をして大切に育てようとし、生長や枯れることでの変化を感じたり、実りや収穫を喜んだりする												身近な植物を見たり触ったり匂ったり世話をしたり調べたりする中で、~~美しさを感じたり、季節によって花や実、野菜が違うことに気付いたり、1年を通して植物の変化を感じたりする。また、~~身近な植物を見たり触ったり調べたりしながら、色や形、模様、匂い、感触、育ち方、なり方などの特徴や変化、生長する様子に~~気付いたり~~、に感動したり、愛着をもったり、命に責任をもって大切に世話をしようとしたりする										
遊びや生活の場面	・花びらや木の枝、葉っぱや桜の実・チューリップの球根などを遊びに使う	・~~イチゴの成長を見る~~ ・花びらや木の枝、葉っぱや桜の実・チューリップの球根などを遊びに使う ・トマト、ピーマン、ナスなどの野菜の成長（色）の変化、大きさ）に気付く ・~~梅・ヤマモモの実を使う~~ ・アジサイやミカン、クチナシの花をかぐ	・花びらや木の枝、葉っぱなどを遊びに使う ・トマト、ピーマン、ナスなどの野菜の成長（色）の変化、大きさ）に気付く ・~~梅・ヤマモモの実を使う~~ ・アジサイやミカン、クチナシの花をかぐ	・花びらや木の枝、葉っぱなどを遊びに使う ・アサガオやフウセンカズラでできたトンネルを通って隠れる ・トマト、ピーマン、ナスなどの野菜の成長（色）の変化、大きさ）に気付く ・収穫することを喜ぶ	・花びらや木の枝、葉っぱなどを遊びに使う ・アサガオやフウセンカズラでできたトンネルを通って隠れる ・アサガオやフウセンカズラ、ヒマワリの種を見る	・花びらや木の枝、葉っぱや木の実などを遊びに使う ・ラディッシュ、コマツナ、~~ほうれん草~~、人参などの種を植えたり、生長の変化に気付いたり水をやったりする	・花びらや木の枝、葉っぱや木の実などを遊びに使う ・紅葉した葉に気付いたり、集めたり、それを使って遊んだりする ・ラディッシュ、コマツナ、~~ほうれん草~~、人参などの生長の変化に気付いたり水をやったりする ・~~収穫することを喜ぶ~~	・花びらや木の枝、葉っぱや木の実などを遊びに使う ・収穫することを喜ぶ	・花びらや木の枝、葉っぱや木の、石・収穫し終わった野菜などを遊びに使う ・ヒヤシンス、スイセンなど花が咲いていることに気付いたり、匂いをかいだりする		・~~イチゴの成長を見る~~ ・ツバキを見る ・色水作りをする ・花びらや木の枝、木の葉、さくらの実、チューリップの茎などを遊びに使う	・~~イチゴの成長を見る~~ ・色水作り ・花びらや木の枝、木の葉、さくらの実などを遊びに使う ・野菜を見たり世話をしたりする ・ツツジの蜜を吸う ・花に水をやる ・~~さつま芋を植える~~	・花びらや木の枝、木の葉などを遊びに使う ・野菜を見たり世話をしたり収穫したりする ・ウメやヤマモモの実に触れる ・園外保育に行く ・花に水をやる	・花びらや木の枝、木の葉などを遊びに使う ・野菜を見たり世話をしたり収穫したりする	・クヌギのどんぐりやどんぐりの帽子、木の実、石などを遊びに使う ・アサガオやフウセンカズラの種とりをする ・サルビア、ポンファンに触れる ・野菜を見たり世話をしたりする ・園外保育に行く（いも掘りをする）	・クヌギのどんぐりやどんぐりの帽子、木の実、石などを遊びに使う ・アサガオやフウセンカズラの種とりをする ・サルビア、ポンファンに触れる ・野菜を見たり世話をしたりする ・園外保育に行く（いも掘りをする）	・落ち葉やクヌギのどんぐりやどんぐりの帽子、~~クスの~~実、木の枝、木の葉、石などを遊びに使う ・ヒヤシンスやクロッカスの~~根や芽~~の生長を見る ・白くなった芝生に触れる ・野菜を見たり世話をしたり~~収穫~~したりする ・園外保育に行く ・~~サツマイモを収穫する~~	・ヒヤシンスやクロッカスの根の生長や、つぼみを見る ・白くなった芝生に触れる ・野菜を見たり世話をしたり収穫したりする	・ヒヤシンスやクロッカスの生長や、つぼみ、花を見る ・~~ヒヤシンスの香りを嗅ぐ~~ ・~~桜のつぼみを見る~~		・裏野菜を植える ・サクラの花びら、クヌギの花、エノキの実、チューリップの茎を使ってごっこ遊びをする	・裏野菜を育てる ・パンジーの花びらやチューリップの花で色水遊びをする ・シャガイモを掘る ・アオナシロツメ草などの草花を摘む ・サクラの花びら、クヌギの花、エノキの実、チューリップの茎を使ってごっこ遊びをする ・ウツセンカズラやアサガオの種を植える ・ウメの実を見付けて触れたり嗅いだり調べたり収穫したりジュースや梅干しにしたりする	・裏野菜を育てる ・パンジーの花びらやチューリップの花で色水遊びをする ・クチナシやハマユウの花の匂いをかいだり集めたりする ・ヤマモモやアンズの実を見付けて匂いをかぐ	・裏野菜を育てる ・パンジーの花びらやチューリップの花で色水遊びをする ・クチナシやハマユウの花の匂いをかいだり集めたりする ・ヤマモモやアンズの実を見付けて匂いをかぐ	・冬野菜を植える ・ギンナンの匂いをかいだり集めたりする	・冬野菜を育てる ・キンモクセイやギンナンを拾ったり匂いをかいだりする	・冬野菜を育てる ・ギンナンを拾ったり匂ったり集めたりして遊ぶ ・数珠玉で遊ぶ ・どんぐりや木の実を集める ・紅葉したもみじや、カリンの木の実、松ぼっくりなどを集めて遊ぶ ・ヒヤシンスや~~クロッカス~~を育てる ・~~彼岸花を集めて遊ぶ~~ ・~~ツワブキの花にアゲハ蝶が蜜を吸いに来る~~	・冬野菜を育てる ・ヒヤシンスやクロッカスを育てる	・冬野菜を育てる ・ヒヤシンスやクロッカスを育てる	・冬野菜を育てる ・ヒヤシンスやクロッカスを育てる	・冬野菜を育てる ・ヒヤシンスやクロッカスを育てる
月のねらい	身近な動物を喜んで、見たり追いかけたり触ったりする				身近な動物の姿や動き、~~姿の変化~~を見て、面白さや美しさを感じる。また、喜んで、追いかけたり探したりする								身近な動物のいそうな場所を考えて探したり、捕まえたりすることを楽しむ中で、姿や動き、~~姿の変化~~の面白さを感じる また、捕まえた動物の住処や餌について知り、世話をしてみようとする													身近な動物を見たり触ったり~~世話をしたり~~調べたりしながら、~~姿や動き~~、餌、~~住みかなどの~~特徴や変化に~~気付いたり~~、~~感動したり~~、動物の気持ちを考え~~たり~~、命に責任をもって大切に世話をしようとしたりする										
遊びや生活の場面	・アリ、ダンゴムシ、ミミズ、チョウ、ヤスデなどを見たり、探したり、触れたりする ・メダカ、エビ、カタツムリ、小鳥などを見たり触れたりする	・アリ、ダンゴムシ、ミミズ、チョウ、ヤスデなどを見たり、探したり、触れたりする ・メダカ、エビ、カタツムリ、小鳥などを見たり触れたりする ・ウサギと触れ合う	・アリ、ダンゴムシ、ミミズ、チョウ、ヤスデ、青虫などを見たり、探したり、触れたりする ・飛んでいるハチを見る ・メダカ、エビ、カタツムリ、小鳥などを見たり触れたりする ・ウサギと触れ合う	・アリ、ダンゴムシ、ミミズ、チョウ、ヤスデ、青虫、セミなどを見たり、探したり、触れたりする ・セミの抜け殻をとる ・メダカ、エビ、カタツムリ、小鳥などを見たり触れたり、餌をあげたりする ・ウサギと触れ合う	・アリ、ダンゴムシ、ミミズ、チョウ、青虫などを見たり、探したり、触れたりする ・トンボを追う ・メダカ、エビ、カタツムリ、小鳥などを見たり触れたり、餌をあげたりする ・ウサギと触れ合う	・アリ、ダンゴムシ、ミミズ、チョウ、青虫などを見たり、探したり、触れたりする ・トンボを追う ・バッタを捕まえようとする ・メダカ、エビ、カタツムリ、小鳥などを見たり触れたり、餌をあげたりする ・ウサギと触れ合う	・アリ、ダンゴムシ、ミミズなどを見たり、探したり、触れたりする ・メダカ、エビ、カタツムリ、小鳥などを見たり触れたり、餌をあげたりする ・ウサギと触れ合う	・メダカ、エビ、ダンゴムシ、小鳥などを見たり触れたり、餌をあげたりする ・ウサギと触れ合ったりする		・~~中毒や~~カメに触れる ・ダンゴムシミミズ、アリなどを探したり、触れたりする ・ウサギを見たり、えさをやったり、触れたりする ・~~蝶を見たり、えさをやったりする~~	・~~中毒や~~カメに触れる ・ダンゴムシミミズ、アリ、チョウ、テントウムシ、カタツムリなどを探したり、触れたりする ・ウサギを見たり、えさをやったり、触れたりする ・~~蝶を見たり、えさをやったりする~~	・~~中毒や~~カメに触れる ・ダンゴムシミミズ、アリ、チョウ、テントウムシ、カタツムリなどを探したり、触れたりする ・ウサギを見たり、えさをやったり、触れたりする ・~~蝶を見たり、えさをやったりする~~	・~~中毒や~~カメに触れる ・ダンゴムシミミズ、アリ、チョウなどに触れる ・セミに触れたり、ぬけがらを見つけたり、集めたりする ・ウサギを見たり、えさをやったり、触れたりする ・~~蝶を見たり、えさをやったりする~~	・~~中毒や~~カメに触れる ・バッタ、トンボなどを追いかけたり、捕まえたり、触れたりする ・ウサギを見たり、えさをやったり、触れたりする ・~~蝶を見たり、えさをやったりする~~	・~~中毒や~~カメに触れる ・ウサギを見たり、えさをやったり、触れたりする ・~~蝶を見たり、えさをやったりする~~ ・青虫や土の中の幼虫を探したり、触れたりする。		・ダンゴムシ、青虫、てんとう虫、チョウなどの生き物を見付けたり捕まえたりする ・カメやウサギの世話をする	・ダンゴムシ、青虫、てんとう虫、チョウなどの生き物を見付けたり捕まえたりする ・チョウやザリガニ、アメンボを見付ける ・カメやウサギの世話をする	・青虫、てんとう虫、チョウ、バッタ、カタツムリ、トンボなどの生き物を見付けたり捕まえたり、世話をしたりする ・ザリガニ、カエルの世話をする ・カメやウサギの世話をする	・青虫、てんとう虫、チョウ、バッタ、カタツムリ、トンボ、ミミなどの生き物を見付けたり捕まえたり、世話をしたりする ・ザリガニ、カエルの世話をする ・カメやウサギの世話をする	・トンボ、カマキリ、てんとう虫、青虫、チョウ、バッタなどの生き物を見付けたり捕まえたり、世話をしたりする ・ザリガニ、カエルの世話をする ・カメやウサギの世話をする	・トンボ、青虫、カマキリ、てんとう虫、チョウ、バッタなどの生き物を見付けたり捕まえたり、世話をしたりする ・ザリガニ、カエルの世話をする ・カメやウサギの世話をする	・トンボ、カマキリ、カゲロウ、カマキリ、カブトムシ、チョウ、バッタなどの生き物を見付けたり捕まえたり、世話をしたりする ・カメやウサギの世話をする	・カメやメダカの動きを見る ・ウサギの世話をする	・ウサギの世話をする	・ウサギの世話をする	・カメの動きを見る ・ウサギの世話をする

【事物・現象を捉える】科学的に分析・思考しながら、性質や特徴を見出したり、ものやこと同士の関係性を捉えたりする

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
初等教育要領	身の回りのものを五感で感じたり、使ったり、使って遊んだりする中で、そのものの性質を感じて楽しんだり、面白いと思ったり、驚いたり、遊びに使おうとしたりする 自分のしたことや使ったものによって、ものの様子が違うことに驚いたり、面白いと思ったりして、何度もしようとする												身の回りのものを五感で感じたり、使ったり、使って遊んだりする中で、そのものの性質を感じて楽しんだり、面白いと思ったり、驚いたり、遊びに使おうとしたりする したことや使ったものによって、ものの様子が違うことに驚いたり、不思議に思ったりして、予想したり、確かめたりしながら、何度もしようとする												ものやこととの関係による違いや変化に気付いたり、原因と結果を結び付けて考えたり、経験から予想したり試したり、確かめたりしようとする											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	身の回りのものを五感で感じたり、使ったり、使って遊んだりする中で、そのものの性質を感じて楽しんだり、面白いと思ったり、驚いたり、遊びに使おうとしたりする 自分のしたことや使ったものによって、ものの様子が違うことに驚いたり、面白いと思ったりして、何度もしようとする																																			
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	身の回りのものを五感で感じたり、使ったり、使って遊んだりする中で、そのものの性質を感じて楽しんだり、面白いと思ったり、驚いたり、遊びに使おうとしたりする																																			
事物例	・砂（さらさら、ざらざら、形が付く、掘ると穴があく） ・粘土（手をおえると形が変わる） ・ブロック（つなげる） ・貼紙（自分の場所がわかる） ・片付けの表示（片付ける場所がわかる）	・砂（さらさら、ざらざら、形が付く、掘ると穴があく） ・粘土（手をおえると形が変わる） ・泥（どろどろ） ・絵の具（ぬるぬる、手や紙に色がつく） ・水（砂に浸み込む、穴に溜まる） ・糊（つけると紙と紙がくっつく、にゅるにゅる） ・スコップ（砂に穴を掘れる） ・ブロック（つなげる、武器や建物などを作る） ・貼紙（自分の場所がわかる） ・片付けの表示（片付ける場所がわかる） ・絵本や図鑑（知りたいことが載っている） ・積木（乗り物や建物を作る） ・クレーンヘッド（物を運べる） ・水筒（あけるには、水筒の本体をしっかり押さえて、力を入れてフタを回す）	・砂（さらさら、ざらざら、形が付く、掘ると穴があく） ・粘土（手をおえると形が変わる） ・泥（どろどろ） ・絵の具（ぬるぬる、手や紙に色がつく） ・水（砂に浸み込み、穴に溜まり、流れる） ・糊（つけると紙と紙がくっつく、にゅるにゅる） ・スコップ（砂に穴を掘れる） ・ブロック（つなげる、武器や建物などを作る） ・片付けの表示（片付ける場所がわかる） ・絵本や図鑑（知りたいことが載っている） ・積木（乗り物や建物を作る） ・ハサミ（紙が切れる） ・新聞紙（投げるとひらひら飛ぶ、丸めると玉になる） ・三輪車、同車（つなげてこぐと自分の通った後をついてくる） ・レーキ（砂を平らにできる） ・コーン（仕切になる） ・バス（色を重ねられる） ・カスタネット（た	・泥（どろどろ） ・絵の具（ぬるぬる、手や紙に色がつく、混ぜると色が変わる） ・水（粘が身体に当たるぬめる地よさ、水を飛ばす面白さ、いつまでも溜まると重い、もの） ・片付けの表示（片付ける場所がわかる） ・絵本や図鑑（知りたいことが載っている） ・積木（乗り物や建物を作る） ・ハサミ（紙が切れる） ・三輪車、同車（つなげてこぐと自分の通った後をついてくる） ・レーキ（砂を平らにできる） ・コーン（仕切になる） ・バス（重ねて色を塗る） ・ほうき（ゴミを集めたり、砂をはいたりできる） ・ちりとり（ゴミを集められる） ・CDデッキ（ボタンで操作する） ・絵本や図鑑（知りたいことが載っている）	・三輪車、同車（つなげてこぐと自分の通った後をついてくる） ・レーキ（砂を平らにできる） ・ボール（転がる、投げると飛ぶ） ・貼紙（自分の場所がわかる） ・筆（水をつけて線を描いたり、色を塗ったりできる） ・ほうき（ゴミを集めたり、砂をはいたりできる） ・ちりとり（ゴミを集められる） ・CDデッキ（ボタンで操作する） ・絵本や図鑑（知りたいことが載っている）	・三輪車、同車（つなげてこぐと自分の通った後をついてくる） ・ボール（転がる、投げると飛ぶ） ・水（粘いたところに絵が描ける） ・筆（水をつけて線を描いたり、色を塗ったりできる） ・タンブリン（たたいたり振ったりすると音が鳴る） ・プレイボード（机が汚れないように置く） ・ほうき（ゴミを集めたり、砂をはいたりできる） ・ちりとり（ゴミを集められる） ・CDデッキ（ボタンで操作する） ・絵本や図鑑（知りたいことが載っている）	・落ち葉（集まった落ち葉を踏んだり潜ったりする気持ちよさ、投げるとひらひら舞う） ・水（深く掘ったところへ流れる、砂でせき止められる） ・砂（水をせき止めることができる） ・どんぐり（転がる） ・セロテープ（ものとものを貼ってつなげる） ・ボンド（木の実等を固定できる、乾くと固まる） ・しょうご（口の狭い容器に水を流し入れられる） ・ボール（はね） ・ハサミ（紙が切れる） ・モール（形を変えられる、ねじるとつなげられる） ・すずらんテープ（風にひらひら） ・紙粘土（柔らかい、いろいろな形ができる、乾くとかたまる） ・ビニールテープ（飾りに使える） ・プレイボード（机が汚れないように置く） ・布テープ（しっかりくっつく） ・ほうき（ゴミを	・落ち葉（集まった落ち葉を踏んだり潜ったりする気持ちよさ、投げるとひらひら舞う）、水に浮かぶ） ・水（深く掘ったところへ流れる、砂でせき止められる） ・砂（水をせき止めることができる） ・どんぐり（転がる） ・セロテープ（ものとものを貼ってつなげる） ・ボンド（木の実等を固定できる、乾くと固まる） ・しょうご（口の狭い容器に水を流し入れられる） ・ボール（はね） ・ハサミ（紙が切れる） ・モール（形を変えられる、ねじるとつなげられる） ・すずらんテープ（風にひらひら） ・紙粘土（柔らかい、いろいろな形ができる、乾くとかたまる） ・ビニールテープ（飾りに使える） ・プレイボード（机が汚れないように置く） ・布テープ（しっかりくっつく） ・ほうき（ゴミを	・落ち葉（集まった落ち葉を踏んだり潜ったりする気持ちよさ、投げるとひらひら舞う）、水に浮かぶ） ・水（深く掘ったところへ流れる、砂でせき止められる） ・砂（水をせき止めることができる） ・どんぐり（転がる） ・セロテープ（ものとものを貼ってつなげる） ・ボンド（木の実等を固定できる、乾くと固まる） ・しょうご（口の狭い容器に水を流し入れられる） ・ボール（はね） ・ハサミ（紙が切れる） ・モール（形を変えられる、ねじるとつなげられる） ・すずらんテープ（風にひらひら） ・紙粘土（柔らかい、いろいろな形ができる、乾くとかたまる） ・ビニールテープ（飾りに使える） ・プレイボード（机が汚れないように置く） ・布テープ（しっかりくっつく） ・ほうき（ゴミを	・凧（揚げる） ・糸（巻いておくと絡まりにくい、結まる） ・ガムテープ（物を貼り付けることができる） ・フェルト（毛糸やフェルトがくっつく） ・筆（絵具をつけて線を描いたり、色を塗ったりできる、先をこすると余分な絵具が落ちる） ・カスタネット（つける向きがある） ・鈴（持ったまたたたくと音がなる） ・CDデッキ（ボタンで操作する） ・絵本や図鑑（知りたいことが載っている） ・紙粘土（柔らかい、いろいろな形ができる、乾くとかたまる） ・ローラー（同じ幅の線が描ける、型ができる） ・CDデッキ（ボタンで操作する） ・絵本や図鑑（知りたいことが載っている） ・筆（先をこすると余分な絵具が落ちる） ・ローラー（同じ幅の線が描ける、型ができる） ・CDデッキ（ボタンで操作する） ・絵本や図鑑（知りたいことが載っている）	・水（暖い日に凍る） ・水（冷たい、溶ける、つるつる） ・筆（絵具をつけて線を描いたり、色を塗ったりできる、先をこすると余分な絵具が落ちる） ・カスタネット（つける向きがある） ・鈴（持ったまたたたくと音がなる） ・ビニールテープ（飾りになる） ・CDデッキ（ボタンで操作する） ・絵本や図鑑（知りたいことが載っている） ・紙粘土（柔らかい、いろいろな形ができる、乾くとかたまる） ・ローラー（同じ幅の線が描ける、型ができる） ・布テープ（しっかりくっつく）	・筆（先をこすると余分な絵具が落ちる） ・ローラー（同じ幅の線が描ける、型ができる） ・CDデッキ（ボタンで操作する） ・絵本や図鑑（知りたいことが載っている） ・ギザギザはさみ（ギザギザにはじれる） ・ナミナミはさみ（ナミナミにはじれる） ・マスキングテープ（手れる、貼りになる） ・折り紙（折って形ができる）	・粘土（形が変わる） ・砂（形が変わる） ・新聞紙（くしゃくしゃにできる、破きやすい方向がある） ・図鑑（花や虫などについて調べられる） ・写真（花や虫などについて調べられる） ・絵の具（簡単に色が混ざり、流れやすい）	・粘土（形が変わる） ・砂（形が変わる） ・花や葉（水に色がつく） ・モール（形が変えられて固定できる） ・スズランテープ（透明である、割いて心ふわふわになる） ・スズランテープ（透明である、割いて心ふわふわになる） ・図鑑（花や虫などについて調べられる） ・写真（花や虫などについて調べられる） ・絵の具（簡単に色が混ざり、流れやすい）	・花や葉（水に色がつく） ・モール（形が変えられて固定できる） ・スズランテープ（透明である、割いて心ふわふわになる） ・スズランテープ（透明である、割いて心ふわふわになる） ・図鑑（花や虫などについて調べられる） ・写真（花や虫などについて調べられる） ・絵の具（簡単に色が混ざり、流れやすい）	・水（気持ちいい、冷たい、動きにくい） ・発泡スチロールのトレイが水に浮く ・図鑑（花や虫などについて調べられる） ・写真（花や虫などについて調べられる） ・図鑑（花や虫などについて調べられる） ・絵の具（簡単に色が混ざり、流れやすい）	・のりにくいビニール袋はくっつかない） ・テープ（トレイの内側に貼り付けない） ・ざざざざのはさみ（ビニールテープを切れない） ・図鑑（花や虫などについて調べられる） ・写真（花や虫などについて調べられる） ・絵の具（簡単に色が混ざり、流れやすい）	・のりにくいビニール袋はくっつかない） ・テープ（トレイの内側に貼り付けない） ・ざざざざのはさみ（ビニールテープを切れない） ・水性ペン（ビニールやトレイに書けない） ・図鑑（花や虫などについて調べられる） ・写真（花や虫などについて調べられる） ・段ボールカッター（はさみよりもダンボールが切りやすい） ・絵の具（簡単に色が混ざり、流れやすい）	・たき火（燃え上がる、温かい、煙たい） ・落ち葉（ひらひら舞う、沢山重ねるとふわふわになる） ・どんぐり（転がる、振ると音がする） ・ボンド（乾くと透明になって固まる） ・図鑑（花や虫などについて調べられる） ・写真（花や虫などについて調べられる） ・段ボールカッター（はさみよりもダンボールが切りやすい） ・絵の具（簡単に色が混ざり、流れやすい）	・たき火（燃え上がる、温かい、煙たい） ・落ち葉（ひらひら舞う、沢山重ねるとふわふわになる） ・どんぐり（転がる、振ると音がする） ・段ボールカッター（はさみよりも段ボールを切りやすい） ・ボンド（乾くと透明になって固まる） ・紙を重ねて両にすると折れにくい ・図鑑（花や虫などについて調べられる） ・写真（花や虫などについて調べられる） ・絵の具（簡単に色が混ざり、流れやすい）	・段ボールカッター（はさみよりも段ボールを切りやすい） ・氷（冷たい、透明である、つるつるしている） ・こま（力の入れ方、ひもの巻き方によって回りが変わる、ぶつかったりすれたりすると止まる） ・たこ（風に引っ張られて揚がる） ・ボンド（乾くと透明になって固まる） ・連想ゲームをする ・図鑑（花や虫などについて調べられる） ・写真（花や虫などについて調べられる） ・絵の具（簡単に色が混ざり、流れやすい）	・段ボールカッター（はさみよりも段ボールを切りやすい） ・たこ（風に引っ張られて揚がる） ・ボンド（乾くと透明になって固まる） ・連想ゲームをする ・図鑑（花や虫などについて調べられる） ・写真（花や虫などについて調べられる） ・ホワイトボード（見たり書いたりする） ・絵の具（簡単に色が混ざり、流れやすい）	・土（水をせきとめる、水をかけると固まりやすくなる、乾くと固まる） ・花びら（擦りつぶすと色が出る、花によって色の出やすさが違う、匂いがする） ・葉（擦りつぶすと色が出る） ・水（高いところから低いところへ流れる） ・段ボールの匂い（乗って滑ると遠くまで滑る） ・泥（タプタプ、ヌルヌルの感触、乾くと白くなり、また流れると黒くなる） ・紙（折りやすさが違う、輪くるめると固くなる） ・セロハンテープ、布テープより布テープの方がよくくっつく） ・輪ゴム（伸び縮みする） ・胸器（割れる） ・たわし（凹凸の面や取れにくい汚れを取る）	・土（水をせきとめる、水をかけると固まりやすくなる、乾くと固まる） ・花びら（擦りつぶすと色が出る、花によって色の出やすさが違う、匂いがする） ・段ボールの匂い（乗って滑ると遠くまで滑る） ・水（高いところから低いところへ流れる） ・泥（タプタプ、ヌルヌルの感触、乾くと白くなり、また流れると黒くなる） ・紙（折りやすさが違う、輪くるめると固くなる） ・セロハンテープ、布テープ（セロハンテープより布テープの方がよくくっつく） ・輪ゴム（伸び縮みする） ・たわし（凹凸の面や取れにくい汚れを取る） ・金槌（少ないかで釘を打ち込つけられる） ・のこぎり（木を切ることができる）	・土（水をせきとめる、水をかけると固まりやすくなる、乾くと固まる） ・段ボールの匂い（乗って滑ると遠くまで滑る） ・泥（タプタプ、ヌルヌルの感触、乾くと白くなり、また流れると黒くなる） ・水（高いところから低いところへ流れる、水の勢いや強さ、飛び方、落ち方などを感じる） ・泥（タプタプ、ヌルヌルの感触）	・土（水をせきとめる、水をかけると固まりやすくなる、乾くと固まる） ・きり、木の実ドリル（硬いものに小さな穴を開ける）	・土（水をせきとめる、水をかけると固まりやすくなる、乾くと固まる） ・ガンジキ（葉など大きなものだけ集められる） ・きり、木の実ドリル（硬いものに小さな穴を開ける）	・火（暖かい、燃える様子や音） ・煙（煙たい） ・ボンド（乾いてくっつくまでに時間がかかる、色々なものをくっつけられる） ・ホットボンドですぐにくっつく） ・モール（自在に形を変えられる） ・新聞紙、アルミホイル（燃えるもの、燃えないもの） ・ガンジキ（葉など大きなものだけ集められる） ・きり、木の実ドリル（硬いものに小さな穴を開ける）	・火（暖かい、燃える様子や音） ・煙（煙たい） ・ボンド（乾いてくっつくまでに時間がかかる、色々なものをくっつけられる） ・ホットボンドですぐにくっつく） ・モール（自在に形を変えられる） ・炭（燃が掛ける） ・灰（植物の肥料になる）	・氷（溶ける） ・水（寒いと凍る） ・たこ（風を受けて上がる） ・	・氷（溶ける） ・水（寒いと凍る） ・たこ（風を受けて上がる） ・泥（タプタプ、ヌルヌルの感触、乾くと白くなり、また流れると黒くなる、乾くと固くなる）	・泥（タプタプ、ヌルヌルの感触、乾くと白くなり、また流れると黒くなる、乾くと固くなる）

事物例と現象例を別資料として取り出し、「野菜」「製作」などカテゴリーに分けて感じてほしいことを整理する

| | | |

感動を表現する【造形に表す】色や形、素材の生かされ方のよさを感じたり、それらを使って表現しようとしたりする

年齢	3歳児						4歳児						5歳児					
初等教育要領	描きたいもの、作りたいもの、遊びに必要なものを思い浮かべて、描いたり、作ったり、身近なものをいろいろなものに見立てたりすることを楽しんだり、色や形の美しさを味わったりする						描きたいもの、作りたいもの、遊びに必要なものを思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴をいかしたり、友達の表現のよさを感じて取り入れたりしながら、工夫して描いたり作ったりすることを楽しむ						描きたいもの、作りたいもの、遊びに必要なものを思い浮かべたりその特徴を捉えたりして、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴をいかしたり、友達がすることを真似たり、友達の表現のよさを感じて取り入れたりしながら、細部までこだわって工夫して描いたり作ったりしようとし、その楽しさを感じる					
年齢	3歳児						4歳児						5歳児					
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程	素材に触れているうちに表現が生まれていく楽しさを感じたり、生まれたもののよさを感じたり、思い描いたものや、しているうちに思い付いたものを描いたり作ったりする楽しさを感じたり、色や形の美しさや面白さを味わったりする						描きたいもの、作りたいものを思い浮かべて、色や形を考えて描いたり作ったり、身近なものをいろいろなものに見立てたりすることを楽しんだり、色や形の美しさや面白さを味わったりする						描きたいもの、作りたいもの、遊びに必要なものを思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、いろいろな素材を使ったり、友達の表現のよさを感じて取り入れたりしながら、工夫して描いたり作ったり飾ったりすることを楽しむ。また、色や形、組み合わせ方、質感の美しさや面白さを味わう						描きたいもの、作りたいもの、遊びに必要なものを思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴をいかしたり、友達の表現のよさを感じて取り入れたりしながら、工夫して描いたり作ったりすることを楽しむ						描きたいもの、作りたいもの、遊びに必要なものを思い浮かべたりその特徴を捉えたりして、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴をいかしたり、友達がすることを真似たり、友達の表現のよさを感じて取り入れたりしながら、細部までこだわって工夫して描いたり作ったりしようとし、その楽しさを感じる					
年齢	3歳児						4歳児						5歳児					
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい	思い描いたものや、しているうちに思い付いたものを描いたり作ったりする楽しさを感じたり、色や形の美しさや面白さを味わったりする						描きたいもの、作りたいものを思い浮かべて、色や形を考えて描いたり作ったり、身近なものをいろいろなものに見立てたりすることを楽しんだり、色や形の美しさや面白さを味わったりする						描きたいもの、作りたいもの、遊びに必要なものを思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、いろいろな素材を使ったり、友達の表現のよさを感じて取り入れたりしながら、描いたり作ったり飾ったりすることを楽しむ。また、色や形、組み合わせ方、質感の美しさや面白さを味わう						描きたいもの、作りたいもの、遊びに必要なものを思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴をいかしたり、友達の表現のよさを感じて取り入れたりしながら、工夫して描いたり作ったりすることを楽しむ。また、大きさや色、形、組み合わせ方、質感などでの表現の美しさや面白さ、本物らしさを感じる						描きたいもの、作りたいもの、遊びに必要なものを思い浮かべたりその特徴を捉えたりして、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴をいかしたり、友達がすることを真似たり、友達の表現のよさを感じて取り入れたりしながら、細部までこだわって工夫して描いたり作ったりしようとし、その楽しさを感じる。また、大きさや色、形、組み合わせ方、質感などでの表現の美しさや面白さ、本物らしさ、作者のこだわりを感じる。					
遊びや生活の場面	・どんぐりの歩くスピードは？ ・いろいろな描き方（バスお散歩ミックス） ・油土、小麦粉粘土でクッキーやお団子作り ・積み木で作る（電車、家） ・ブロックで作る（電車、鉄道、ドーナツ、車、飛行機、スーパーカー、ビル）		・ハンドインクで描く（ぼかしの技法） ・絵具でハンドペインティング（ぼかしの技法） ・のりの貼り方（こいのぼり） ・油土で作る（団子） ・ブロックで作る（電車、車両、ドーナツ） ・積み木で作る（電車、家） ・ブロックで作る（電車、鉄道、ドーナツ） ・描いたりしたものを何かに見立てる。 ・描いたりしたものを何かに見立てる。 ・食べかおやつを何かに見立てる。 ・食べかおやつを何かに見立てる。	・ハンドインクで描く（絵具に模様をつける。雨、雨粒） ・のりで貼る（紙、シャイン） ・油土で作る（団子） ・油土で作る（団子）アクセサリーを作る（ビーズ） ・油土で作る（団子）ヘアセットを作る（モビロー） ・ブロックで作る（電車、鉄道、ドーナツ） ・描いたりしたものを何かに見立てる。 ・食べかおやつを何かに見立てる。 ・食べかおやつを何かに見立てる。	・ハンドインクで描く（絵具模様をつける。雨、雨粒） ・のりで貼る（紙、シャイン） ・油土で作る（団子）ヘアセットを作る（モビロー） ・ブロックで作る（電車、鉄道、ドーナツ） ・描いたりしたものを何かに見立てる。 ・食べかおやつを何かに見立てる。 ・食べかおやつを何かに見立てる。	・ハサミで切る練習（曲がる）のりで貼る（ぶどう）油土で作る（団子、ビビッ） ・絵具でスタンピング（ブロック）で作る（料理、山、穴） ・積み木で作る（電車、家、ステージ） ・ブロックで作る（電車、鉄道、線路、ドーナツ） ・色水遊びをする ・描いたりしたものを何かに見立てる。 ・食べかおやつを何かに見立てる。	・ハンドインクで描く（会）油で（子ビッ） ・絵具でスタンピング（ブロック）で作る（料理、山、穴） ・積み木で作る（電車、家、ステージ） ・ブロックで作る（電車、鉄道、線路、ドーナツ） ・大口で描いたりしたものを何かに見立てる。 ・食べかおやつを何かに見立てる。	・ハンドインクで描く（ドング） ・油粘土で作る（団子、ヘビ、クッキー、バン） ・マジックで描く（衣装の模様） ・ペンで描く（好きな絵、飾り） ・のりで貼る（プレゼント入れ用靴下） ・木工ボンドで貼る（どんぐり飾り） ・絵具を使って作りたいものを作る（武器、アクセサリー、カバン等） ・いろいろなテープを使って貼ったり飾ったりする ・ドングリや落ち葉を使って作る（料理） ・砂で作る（料理、山、川、海、温泉、穴） ・積み木で作る（電車、家、ステージ） ・ブロックで作る（電車、鉄道、線路、ドーナツ） ・板で作る（橋） ・筆で描く（水線画） ・大型ブロックで作る ・描いたりしたものを何かに見立てる ・食べかおやつを何かに見立てる	・ハンドインクで描く（ドング） ・油粘土で作る（団子、ヘビ、クッキー、バン） ・マジックで描く（衣装の模様） ・油粘土で作る（団子、ヘビ、クッキー、バン） ・ペンで描く（好きな絵、飾り） ・のりで貼る（プレゼント入れ用靴下） ・木工ボンドで貼る（リース） ・カラービニール袋で衣装を作る ・絵具を使って作りたいものを作る（武器、アクセサリー、カバン等） ・いろいろなテープを使って貼ったり飾ったりする ・ドングリや落ち葉を使って作る（料理） ・砂で作る（料理、山、川、海、温泉、穴） ・積み木で作る（電車、家、ステージ） ・ブロックで作る（電車、鉄道、線路、ドーナツ） ・板で作る（橋） ・砂で作る（料理、山、海、温泉、穴） ・積み木で作る（電車、家、ステージ） ・ブロックで作る（電車、鉄道、線路、ドーナツ） ・大型ブロックで作る	・ハンドインクで描く（ドング） ・油粘土で作る（団子、ヘビ、クッキー、バン） ・マジックで描く（衣装の模様） ・油粘土で作る（団子、ヘビ、クッキー、バン） ・ペンで描く（好きな絵、飾り） ・のりで貼る（プレゼント入れ用靴下） ・木工ボンドで貼る（リース） ・カラービニール袋で衣装を作る ・絵具を使って作りたいものを作る（武器、アクセサリー、カバン等） ・いろいろなテープを使ったり貼ったりする ・ドングリや落ち葉を使って作る（料理） ・砂で作る（料理、山、川、海、温泉、穴） ・積み木で作る（電車、家、ステージ） ・ブロックで作る（電車、鉄道、線路、ドーナツ） ・板で作る（橋） ・砂で作る（料理、山、海、温泉、穴） ・積み木で作る（電車、家、ステージ） ・ブロックで作る（電車、鉄道、線路、ドーナツ） ・大型ブロックで作る	・バスで描く（発表会） ・筆で描く（大道具に色を塗る） ・マジックで描く（模様、好きな絵） ・油粘土で作る（団子、ヘビ、クッキー、バン） ・ペンで描く（好きな絵、飾り） ・のりで貼る（プレゼント入れ用靴下） ・マジックで描く（衣装の模様） ・油粘土で作る（団子、ヘビ、クッキー、バン） ・ペンで描く（好きな絵、飾り） ・のりで貼る（プレゼント入れ用靴下） ・木工ボンドで貼る（リース） ・カラービニール袋で衣装を作る ・絵具を使って作りたいものを作る（武器、アクセサリー、カバン等） ・いろいろなテープを使って貼ったり飾ったりする ・ドングリや落ち葉を使って作る（料理） ・砂で作る（料理、山、川、海、温泉、穴） ・積み木で作る（電車、家、ステージ） ・ブロックで作る（電車、鉄道、線路、ドーナツ） ・板で作る（橋） ・大型ブロックで作る ・発表会で必要なものを作る（大道具、小道具） ・描いたり作ったりしたものを何かに見立てる ・食べかおやつを見て何かに見立てる ・絵の具で描く（クレヨン）	・バスで描く（発表会） ・筆で描く（大道具に色を塗る） ・マジックで描く（模様、好きな絵） ・油粘土で作る（団子、ヘビ、クッキー、バン） ・ペンで描く（好きな絵、飾り） ・のりで貼る（プレゼント入れ用靴下） ・木工ボンドで貼る（リース） ・カラービニール袋で衣装を作る ・絵具を使って作りたいものを作る（武器、アクセサリー、カバン等） ・いろいろなテープを使ったり貼ったりする ・砂で作る（料理、山、川、海、温泉、穴） ・積み木で作る（電車、家、ステージ） ・ブロックで作る（電車、鉄道、線路、ドーナツ） ・板で作る（橋） ・大型ブロックで作る ・発表会で必要なものを作る（大道具、小道具） ・描いたり作ったりしたものを何かに見立てる ・食べかおやつを見て何かに見立てる	・バスで描く（似顔絵、花、虫） ・マジックで描く（模様、好きな絵） ・油粘土で作る（ケーキ、団子、クッキー、バン、雪だるま、バン、アイスプリン、アイス） ・絵具を使って作りたいものを作る（武器、アクセサリー、カバン等） ・いろいろなテープを使って貼ったり飾ったりする ・色紙を折る（ひな人形） ・砂で作る（料理、山、川、海、温泉、穴） ・積み木で作る（電車、家、ステージ） ・ブロックで作る（電車、鉄道、線路、ドーナツ） ・板で作る（橋） ・大型ブロックで作る ・描いたり作ったりしたものを何かに見立てる ・食べかおやつを見て何かに見立てる	・バスで描く（木、ドング） ・バスで描く（虫、ドングリの顔） ・筆仮を押す（菓子は） ・粘土で作る（団子、料理） ・布ガムテープをちぎる（武器やアクセサリーを作る） ・絵具を貼る（武器、ごっこ遊びに使うもの） ・カラービニール袋を切る（衣装） ・折り紙を折る（リボン、コップなど） ・段ボールを貼る（ドングリ迷路） ・段ボールを切る（ドングリ迷路） ・砂で作る（料理、山、穴、川） ・積み木で作る（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り）	・絵具で描く（修了着の板絵） ・バスで描く（発表会の絵、発表会の壁面） ・絵具で描く（発表会の絵） ・発表会で必要なものを作る（大道具、小道具） ・折り紙をちぎる（飾りやアクセサリーなど） ・廃材を貼る（武器、ごっこ遊びに使うもの） ・カラービニール袋を切る（衣装） ・砂で作る（料理、山、穴、川） ・積み木で作る（家、道路） ・紙粘土で作る（クッキー、寿司作り） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・ゴムで作（リース、サンタの帽子） ・スパンコールを貼る（リース、サンタの帽子） ・バスで描く（発表会の絵） ・発表会で必要なものを作る（大道具、小道具） ・折り紙を折る（リボン、コップなど） ・砂で作る（料理、山、穴、川） ・積み木で作る（家、道路） ・紙粘土で作る（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・画用紙を切り貼りする（発表会の壁面） ・絵具で描く（発表会の絵、発表会の壁面） ・バスで描く（発表会の絵） ・発表会で必要なものを作る（大道具、小道具） ・折り紙をちぎる（武器やアクセサリーを作る） ・廃材を貼る（武器、ごっこ遊びに使うもの） ・カラービニール袋を切る（衣装） ・モールをねじる（アクセサリー） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・ゴムで作（リース、サンタの帽子） ・スパンコールを貼る（リース、サンタの帽子） ・折り紙を折る（リボン、コップなど） ・段ボールを貼る（ドングリ迷路） ・段ボールを切る（ドングリ迷路） ・廃材を貼る（武器、ごっこ遊びに使うもの） ・カラービニール袋を切る（衣装） ・砂で作る（料理、山、穴、川） ・積み木で作る（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り）	・カラービニール袋を切る（衣装） ・砂で作る（料理、山、穴、川） ・積み木で作る（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）	・廃どろっぴ要もで作（料理、山、穴） ・段ボールで作（家、道路） ・粘土に絵具を混ぜる（クッキー、寿司作り） ・モールをねじる（アクセサリー）

							のおやつを見て何かに見立てる	・描いたり作ったりしたものを何かに見立てる ・食べかけのおやつを見て何かに見立てる	サギ） ・カラーポリ袋で作る（衣装）	てる ・絵の具で描く（おばけ） ・カラーポリ袋で作る（衣装） ・段ボールで作る（家、看板）																							

感動を表現する【音楽に表す】音の響き、リズム、テンポやメロディーのよさを感じたり、それらを使って表現しようとしたりする

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
初等教育要領	リズムやテンポ、メロディー、身の回りの音の響きを感じたり、歌の情景や考えたことを思い浮かべたりしながら、聴いたり、歌を歌ったり、体を動かしたり、身の回りのものや簡単なリズム楽器を鳴らしたりすることを楽しむ																																			
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	身の回りの音や言葉、歌や曲のリズムやテンポ、メロディーを感じながら、聴いたり、歌ったり、体を動かしたり、音を鳴らしたりすることを楽しむ												歌や曲のリズムやテンポ、メロディー、曲調を感じたり、歌の情景を思い浮かべたりしながら、聴いたり、歌を歌ったり、歌や曲に合わせて楽器を鳴らしたりすることを楽しむ												リズムやテンポ、メロディー、曲調を感じたり、歌の情景を思い浮かべたりしながら、それらを意識して、聴いたり、歌を歌ったり、体を動かしたり、楽器を鳴らすタイミングを考えて合奏したりすることを楽しむ											歌詞の意味を自分の状況や心境と重ね合わせて歌ったり、友達と気持ちを合わせて歌ったりする充実感を味わう	
	身の回りの音の響きを感じたり、身の回りのもので音を鳴らしたりすることを楽しむ																																			
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	身の回りの音や言葉、歌、曲のリズムやテンポ、メロディーを感じながら、聴いたり、歌ったり、身体を動かしたり、音を鳴らしたりすることを楽しむ						身の回りの音や言葉、歌、曲のリズムやテンポ、メロディーを感じながら、聴いたり、歌ったり、身体を動かしたり、音を鳴らしたりすることを楽しむ。また、歌声や音が重なったり揃ったりする心地よさを感じる						言葉や歌、曲のリズムやテンポ、メロディー、曲調を感じたり、歌の情景を思い浮かべたりしながら、聴いたり、歌ったり、身体を動かしたり、音を鳴らしたりすることを楽しむ。また、歌声や音が重なったり揃ったりする心地よさを感じる。						言葉や歌、曲のリズムやテンポ、メロディー、曲調、歌詞の響き、音が重なり揃う一体感を感じたり、歌の情景を思い浮かべたりしながら、それらを意識して、歌ったり、身体を動かしたり、楽器を鳴らしたり、聴いたりすることを楽しむ											
遊びや生活の場面	・歌を聴く ・歌を歌う　・手遊びをする ・律動遊びをする ・リズムのついたことばを聴く ・歌や曲を聴きながら楽器を鳴らす ・歌や曲を聴きながら踊る ・手拍子をする ・体操をする			・体操をする	・体操をする ・ねずみねずみをする	・体操をする ・ねずみねずみをする	・ねずみねずみをする ・むっくりくまさんをする ・だるまさんがころんだをする	・ロンドン橋をする ・あぶくたったをする	・引越し遊びをする ・かごめをする ・からすのかずのこをする	・引越し遊びをする ・かごめをする ・からすのかずのこをする ・あぶくたったをする	・引越し遊びをする ・かごめをする ・からすのかずのこをする ・あぶくたったをする ・おちゃのきだをする ・おをにくいをする ・やおやをする	・歌を聴く ・身近な生き物や自然物、生活の歌を歌う ・手遊びをする ・歌や曲に合わせて身体を動かしたり踊ったり楽器を鳴らしたりする ・律動をする	・よろしくねをする	・ぎゅうぎゅうともだちをする ・わごむにな～れをする ・なべなべそこぬけをする ・歌や曲に合わせて踊る	・合体ロケットをする ・ショーごっこをする	・グループで手をつないで回ったり跳ねたり踊ったりする ・えんそくバスをする	・どんぐりきのこおいもをする ・友達とペアになってなべなべそこぬけをする	・ヤッター！サンタがやってくるでかけあって歌う	・クラスの半分、全員など大人数でなべなべそこぬけをする	・歌や曲に合わせて楽器を鳴らす	・雛祭りゲームをする	・歌を聴く ・情景が浮かぶ歌や物語のある歌を歌う ・歌や曲に合わせて動く ・歌や曲に合わせて楽器を鳴らす		・リズムに合わせて野菜屋さんの手遊びをする	・リズムに合わせて野菜屋さんの手遊びをする ・好きな歌のリズムに合わせて踊る	・好きな歌のリズムに合わせて踊る							・生活発表会に向けて、歌のリズムやテンポに合わせて踊る	
月のねらい	身の回りの音の響きを感じたり、身の回りのもので音を鳴らしたりすることを楽しむ																																			
遊びや生活の場面	・雨音を聴く ・風の音を聴く	・下足板に乗って音を鳴らし聴く ・新聞紙を破ったり潰したりして音を聴く	・金属や石、板をたたいて音を鳴らし聴く ・雨がブリキのバケツ等に当たる音を聴く	・手や足を鳴らし聴く	・虫の声を聴く	・金属鍋と砂がこすれる音を聞く	・ステージの上に乗って足音を聞く ・手作りおもちゃを鳴らし聞く ・木が燃える音を聴く ・木の実をふとしたり転がしたりして音を聞く ・楽器を鳴らして聴く ・落ち葉を踏みしめる音を聞く	・楽器を鳴らし聴く	・楽器を鳴らす ・手拍子をする ・足踏みをする	・身体を叩いて音を鳴らす ・竹や遊具を叩いて音を鳴らす ・雨粒をカップやタライに集める											・曲や歌声を聞く ・楽器を鳴らす ・芯に口を当てて喋る	・釘を打つ ・段ボールカッターで切る ・段ボールのそりで滑る ・ノコギリで切る	・水を叩く音を聞く ・水の中で音を聞く	・曲や歌声を聞く ・楽器を鳴らす	・廃材で楽器を作って鳴らす ・たき木を切る ・落ち葉を集める音を聞く ・たき火の音を聞く ・トンネルで叫ぶ ・落ち葉を踏みしめる ・落ち葉や葉、枝、板、かご等を組み合わせて音を探し、演奏する	・コマが回る音を聞く ・けん玉の当たる音を聞く	
月のねらい																			歌に流れるお話や心情を思い浮かべながら友達と一緒に歌を歌う楽しさや声が重なる心地よさを感じる														歌詞の意味を自分の状況や心境に重ね合わせて歌ったり、友達と気持ちを合わせて歌ったりする充実感を味わう	
遊びや生活の場面																																			・歌を歌う	

・教育課程は一つのねらいで通せるかもしれない。
・5歳6月頃以降、リズムやテンポ、メロディー、曲調、歌の情景等を意識して、聴いたり（インプット）歌ったり動いたり等（アウトプット）することをねらい、それを楽しむ姿が見られているため、姿ねらいの質的変化があり、教育課程のねらいに変化をつける必要がある。4歳でもリズム等を意識して聴く（インプット）はねらう。アウトプットまではねらわない。

感動を表現する【文芸に表す】話の展開や内容、話や役などの設定、言葉のよさを感じたり、それらを使って表現しようとしたりする

年齢	３歳児	４歳児	５歳児
初等教育要領	絵本を見たりお話を聞いたりして、話が展開していくことを楽しんだり、登場人物の気持ちを感じたりする	絵本を見たりお話を聞いたりして、話が展開していくことを楽しんだり、登場人物の気持ちを感じたりする。また、先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話を作る楽しさを感じる	絵本を見たりお話を聞いたりして、話の展開を予想したり、情景を思い浮かべたり、登場人物の気持ちを感じたりする。また、イメージを膨らませて話の設定や展開を考えてお話を作る楽しさを感じる
	言葉のリズムや響きの心地よさや面白さ、擬音語・擬態語の音（おん）の面白さを感じる	言葉のリズムや韻を踏む響きの心地よさや面白さ、擬音語・擬態語を使っての表現の面白さを感じ、それを使って表現する楽しさを感じる	言葉のリズムや韻を踏む響きの心地よさや面白さ、擬音語・擬態語を使っての表現の面白さ、例えなどのいろいろな言い回しをしての表現の面白さを感じる

年齢	３歳児											４歳児											５歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程	絵本を見たりお話を聞いたり歌を歌ったりして、繰り返しの展開を楽しんだり、次はどうなるかを楽しみにしたりする				絵本を見たりお話を聞いたり歌を歌ったりして、話が展開していくことを楽しんだり、情景を思い浮かべたり、登場人物の気持ちを感じたりする																			絵本を見たりお話を聞いたり歌を歌ったりして、話の展開を予想したり、情景を思い浮かべたり、登場人物の気持ちを感じたりする										
	先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話や役の設定を考えながら遊ぶ楽しさを感じる								先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話や役の設定を考えながらお話を作る楽しさを感じる			先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話や役の設定を考えながらお話を作って遊ぶ楽しさを感じる							先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話や役の設定を考えながらお話を作る楽しさを感じる				イメージを膨らませて、役や設定を考えたり、友達の考えを取り入れたりしながら、友達と一緒にお話を作って遊ぶ楽しさを感じる							イメージを膨らませて話の設定や展開を考えて、設定を生かしてお話を作るったり、気持ちや状況に合った歌詞を作ったりする楽しさを感じる			
	言葉のリズムや響きの心地よさや面白さ、擬音語・擬態語の音（おん）の面白さを感じる											言葉のリズムや響きの心地よさや面白さ、擬音語や擬態語の音（おん）や例えなどの言い回しの表現の面白さを感じ、それを使って表現する楽しさを感じる											言葉のリズムや韻を踏む響きの心地よさや面白さ、擬音語や擬態語を使っての表現の面白さ、例えなどのいろいろな言い回しをした表現の面白さを感じ、それを使って表現する楽しさを感じる										

年齢	３歳児											４歳児											５歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい	絵本を見たりお話を聞いたりして、話が展開していくことを楽しんだり、登場人物の気持ちを感じたりする				絵本を見たりお話を聞いたり歌を歌ったりして、話が展開していくことを楽しんだり、情景を思い浮かべたり、登場人物の気持ちを感じたりする																			絵本を見たりお話を聞いたりして、話の展開を予想したり、情景を思い浮かべたり、登場人物の気持ちを感じたりする										
遊びや生活の場面	・絵本を見る ・お話を聞く											・絵本を見る ・お話を聞く											・絵本を見る　・歌を歌う ・お話を聞く　・歌詞を聞く										
月のねらい	先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話や役の設定を考えながら遊ぶ楽しさを感じる								先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話や役の設定を考えながらお話を作る楽しさを感じる			先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話や役の設定を考えながらお話を作って遊ぶ楽しさを感じる							お話のそれぞれの場面の様々な登場人物の気持ちを感じたり考えたり、イメージを膨らませて話の展開を考えたりしながら、登場人物の気持ちに近付こうとしたり、先生や友達と一緒にお話を作ったりする楽しさを感じる				イメージを膨らませて、役や設定を考えたり、友達の考えを取り入れたりしながら、友達と一緒にお話を作って遊ぶ楽しさを感じる							お話のそれぞれの場面の様々な登場人物の気持ちを感じたり考えたり、イメージを膨らませて話の展開を考えたりしながら、登場人物の気持ちに近付こうとしたり、友達と一緒にお話を作ったり、気持ちや状況に合った歌詞を作ったりする楽しさを感じる			
遊びや生活の場面	・ごっこ遊びをする											・ごっこ遊びをする											・絵本を見る ・話の展開を考える ・登場人物の気持ちを考える				・ごっこ遊びをする						
月のねらい	言葉のリズムや響きの心地よさや面白さ、擬音語・擬態語の音（おん）の面白さを感じる											言葉のリズムや響きの心地よさや面白さ、擬音語・擬態語の音（おん）の面白さを感じ、それを使って表現する楽しさを感じる											言葉のリズムや響きの心地よさや面白さ、擬音語・擬態語の音（おん）や例えなどの言い回しの表現の面白さを感じ、それを使って表現する楽しさを感じる										
遊びや生活の場面	・絵本を見る ・素話を聞く ・ペープサートを見る ・ハンドパペットを見る	・絵本を見る ・素話を聞く ・ペープサートを見る	・絵本を見る ・素話を聞く ・ペープサートを見る ・運動会リズム表現	・絵本を見る ・素話を聞く ・ペープサートを見る	・絵本を見る ・素話を聞く ・ペープサートを見る ・ごっこ遊びをする	・絵本を見る ・素話を聞く ・ペープサートを見る	・絵本を見る ・素話を聞く																・絵本を見る ・素話を聞く ・ごっこ遊びをする				・絵本を見る ・お話を聞く ・絵本の表現を真似て話す ・歌を歌う ・歌詞を聞く							・カルタで遊ぶ ・カルタを作る			
月のねらい	する、見る、聞く、感じる、考えるなどしたことを、例えたり、想像を膨らませたりした言葉で表現されたものの面白さを感じたり、言葉で表現する楽しさを感じたりする																																

感動を表現する【身体の動きに表す】動作や表情、声の調子などのよさを感じたり、それらを使って表現しようとしたりする

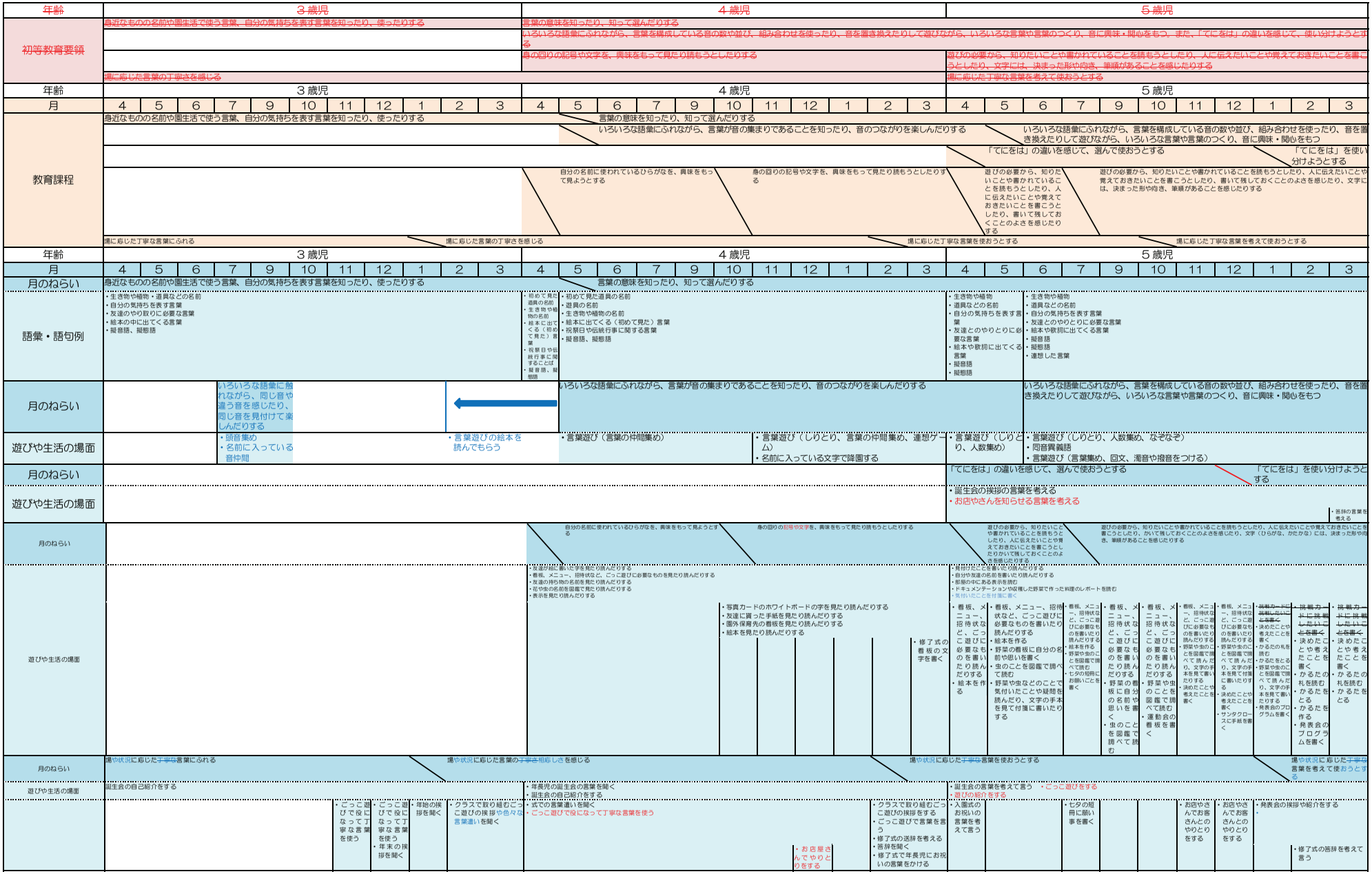
年齢	３歳児	４歳児	５歳児
初等教育要領	~~自分のなりたいものの姿や動きなどを思い浮かべて、なって遊ぶことを楽しむ~~	~~自分のなりたいものの気持ちや性格、生態から、表情やことば、話し方、動き方などを考えたり、場面設定に合わせた動き方や話し方などを考えたり、友達の表現のよさや考えを取り入れたりして、表現することを楽しむ~~	
	~~感じたことや考えたことを体で表現しようとしたり、それを楽しんだりする~~		

年齢	３歳児											４歳児											５歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程	自分のなりたいものの姿や動きなどを思い浮かべて、なって遊ぶことを楽しむ						自分のなりたいものの姿や動きなどを思い浮かべたり、友達の表現のよさを感じたり真似をしたりしながら、なって遊ぶことを楽しむ					自分のなりたいものになりきり、具体的な場面を思い浮かべたり、友達の表現のよさを感じたり真似をしたりしながら、動き方や話し方などを考えて体で表現することを楽しむ							自分のなりたいものになりきったり、気持ちや性格、具体的な場面を思い浮かべたり、友達の表現のよさを感じたり真似をしてみたりしながら、自分なりの表情や言葉、話し方、動き方などで表現したりすることを楽しむ							自分のなりたいものの気持ちや性格、生態から、表情や言葉、話し方、動き方などを考えたり、場面設定に合わせた動き方や話し方などを考えたり、友達の表現のよさや考えを取り入れたりして、表現することを楽しむ						
	感じたことや考えたことを体で表現しようとしたり、それを楽しんだりする （踊ること以外の発達の具体的な違いや節目を検討する。遊びや生活の場面を入れる。）																																
月のねらい	身近でよく知っている人や生き物、絵本などに出てくるものの姿や動きを真似て、なって遊ぶ楽しさを感じる				身近でよく知っている人や生き物、絵本などに出てくるものの姿や動き、場面を思い浮かべたり、気持ちを感じたりして、なって遊ぶ楽しさを感じる		身近でよく知っている人や生き物、絵本などに出てくるものの姿や動き、話し方、場面を思い浮かべて、なって遊ぶ楽しさを感じる		お話の登場人物の姿や動き、話し方、場面を思い浮かべたり、気持ちを感じたりして、動いたり、話したり、お話の中の言葉を言ったりして、なって遊ぶ楽しさを感じる		身近でよく知っている人や生き物、絵本などに出てくるものの姿や動き、話し方、場面を思い浮かべて、なって遊ぶ楽しさを感じる		身近でよく知っている人や生き物、絵本などに出てくるものの姿や動き、話し方、場面を思い浮かべたり、友達の真似をしたりすることで、動きや話し方などを考え、なりきって表現する楽しさを感じる		身近でよく知っている人や生き物、絵本などに出てくるものの姿や動き、話し方、場面を思い浮かべたり、気持ちを感じたり、友達の表現のよさを感じたり真似をしたりすることで、動きや話し方などを考えたりして、なりきって表現する楽しさを感じる				身近でよく知っている人や生き物、絵本などに出てくるものの姿や動き、話し方、場面、性格を思い浮かべたり、気持ちを感じたり、友達の表現のよさを感じたり真似をしたりすることで、動きや話し方、気持ち、表情、言葉などを考え、なりきって表現する楽しさを感じる				自分のなりたいものの気持ちや性格、生態から、表情や言葉、話し方、動き方などを考えたり、場面設定に合わせた動き方や話し方などを考えたり、友達の表現のよさや考えを取り入れたりして、表現する楽しさを味わう						
遊びや生活の場面	・ごっこ遊びをする ・なって踊る ・好きなものになって通園ノートを受け取る				・リズム表現をする ・ごっこ遊びをする ・なって踊る		・ごっこ遊びをする ・なって踊る		・発表会をする ・ごっこ遊びをする ・なって踊る		・ごっこ遊びをする ・なって踊る	・ごっこ遊びをする		・ごっこ遊びをする ・ショーごっこをする		・ごっこ遊びをする ・運動会リズム表現をする		・ごっこ遊びをする		・ごっこ遊びをする ・発表会をする ・友達の発表会を見る				・プールでなって遊ぶ		・運動会リズム表現をする		・お店やさんをする		・発表会の練習をする	
月のねらい	感じたことや考えたことが表情や体の動きに出たり、体で表現しようとしたり、それを楽しんだりする																																
遊びや生活の場面	・大きさや長さ体表です		・嬉しさや喜び、気持ちよさ、怒りが体に表れる ・見た生き物カエルになって動く		発達の具体的な違いや節目があれば、「音や言葉、ものの大きさや形、様子などから感じたことや考えたことを体で表現しようとしたり、それを楽しんだりする。」など、ねらいの言葉で表現するか、質的違いがなければ、場面例で具体がイメージできるようにする。 →(R3)表出する姿はあるが、ねらいとしてどうもって援助していくか検討するため、場面を集めている。				・リズムやメロディ、テンポ、曲調、歌詞から感じたことを表す								・友達早漕ぎし気持ち足踏み表にくっぽい持を踏です		・勝った喜びを表す		・面白いと思った虫の動きをしてみる ・勝った喜びを表す ・リズムやメロディ、テンポ、曲調、歌詞から感じたことを表す		・リズム・リズム・リズムやメロディやメロディ、テンポ、曲調、歌詞から感じたことを表す		・リズムやメロディ、テンポ、曲調、歌詞から感じたことを表す	

感動を表現する【演出に表す】配役や場のとり方、プログラムの順序などのよさを感じたり、表現方法を考えたり、それらを使って表現しようとしたりする

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
初等教育要領	自分のなりたいものになるために、小道具や大道具、衣装を使ったり身につけたりして、遊ぶことを楽しむ												自分のなりたいものをよりそれらしく表現するために、使いたい小道具や大道具、衣装など必要なものを考えたり、それを使ったり身につけたり、友達の衣装や隊形のよさを感じたり取り入れたりして、遊ぶことを楽しむ												自分のなりたいものをよりそれらしく表現するために、また、見ている人がどう感じるかを考えながら、自分達が感じてほしいことをより効果的に表現するために、小道具や大道具、衣装、言葉、話し方、動き、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり、試したり、友達がしていることのよさを感じたり取り入れたりして、表現しようとする											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	自分のなりたいものになるために、小道具や大道具、衣装を使ったり身につけたりして、遊ぶことを楽しむ												自分のなりたいものをよりそれらしく表現するために、使いたい小道具や大道具、衣装など必要なものを考えたり、それを使ったり身につけたり、友達の衣装や隊形のよさを感じたり取り入れたりして、遊ぶことを楽しむ												自分のなりたいものをよりそれらしく表現するために、また、見ている人がどう感じるかを考えながら、自分達が感じてほしいことをより効果的に表現するために、小道具や大道具、衣装、言葉、話し方、動き、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり、試したり、友達がしていることのよさを感じたり取り入れたりして、表現しようとする											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	身近でよく知っている人や生き物、絵本などに出てくるものの姿を思い浮かべて、小道具や大道具を使ったり身につけたりして、遊ぶことを楽しむ						身近でよく知っている人や生き物、絵本などに出てくるものの姿や場面を思い浮かべて、小道具や大道具、衣装を使ったり身につけたりして、遊ぶことを楽しむ												自分のなりたいものをよりそれらしく表現するために、使いたい小道具や大道具、衣装など必要なものを考えたり、それを使ったり身につけたり、友達の衣装や隊形のよさを感じたり取り入れたりして、遊ぶことを楽しむ												自分のなりたいものをよりそれらしく表現するために、また、見ている人がどう感じるかを考えながら、自分達が感じてほしいことをより効果的に表現するために、小道具や大道具、衣装、言葉、話し方、動き、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり試したり友達がしていることのよさを感じたり取り入れたりして表現しようとする											
遊びや生活の場面	・ごっこ遊びをする				・ごっこ遊びをする ・運動会リズム表現をする		・ショーごっこ		・発表会をする								・運動会リズム表現をする		・ショーごっこ ・忍者ごっこ						・ごっこ遊びをする ・発表会をする ・友達の発表会を見る				・ショーごっこ ・忍者ごっこ				・ごっこ遊びをする ・運動会リズム表現をする				・発表会の練習をする		
月のねらい									見てもらうお客さんの存在を知って、体の向きを考えるどうすれば見てもらえるかを考えてっしよくもたせたり、見てもらえるようにと生緒に考えたり、みたりする										見ている人の気持ちを聞いたり考えたりして、する場所や向きなどを考えてしようとするどう見えているかを聞いたり考えたりして、自分達が考えていることや楽しんでいることが伝わる表現の仕方を友達や先生と一緒に考えたり、友達に言ってもらったりしたことを取り入れて表現しようとしたりする。										見てもらうことを意識して、用意や終わりのポーズ、する場所や向き、隊形、リズム表現の内容を考えてしようとする		お店をよりよくしたり本物らしくしたりするために、道具や衣装、飾り、看板、値札、BGMなど必要なものを考えて準備しようとする		見ている人がどう感じるかを考えながら、自分達が考えていることや楽しんでいることをより効果的に表現するために、言葉や話し方、動き、大道具、小道具、道具の使い方、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり試したり友達がしていることのよさを感じたり取り入れたりして表現しようとする	
遊びや生活の場面									・発表会をする ・場所や向きなどをかえる										・ショーごっこ ・忍者ごっこ ・ポーズをする ・場所や向きなどをかえる				・発表会の準備や練習をする ・お客さんに見てもらう ・言葉や話し方、挨拶、大道具、道具の使い方などを考える								・運動会リズム表現をする		・お店屋さんごっこの用意をする		・発表会の準備や練習をする ・発表する 言葉や話し方、動き、大道具、小道具、道具の使い方、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割など	

言語を活用する【語彙・語句を活用する】語彙・語句を豊富に獲得し、活用しようとする



言語を活用する【文章の構成を整える】文章の構成を考えて、整えようとする

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
初等教育要領	先生や友達の言葉や言い方を聞いたり、自分の思いや考えを相手に分かるように繰り返す、言葉を足す、聞かれたことに答えるなどして話したりしようとする																								言い方のによる分かりやすさのよさを感じたり、自分の思いや考えを、相手に分かるように言葉を選ぶ、つなげる、順序立てる、理由を添えるなどして伝えようとしたりする											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	先生や友達の言葉や言い方を聞いたり、自分の言いたいことを自分の言い方で言ったりしようとする						先生や友達の言葉や言い方を聞いたり、自分の気持ちや思い、考え、言いたいことを自分の言い方や先生に教えてもらった言い方で言ったり、相手に伝えるために必要なポイントを尋ねてもらって言ったりしようとする						先生や友達の言葉や言い方を聞いたり、自分の気持ちや思い、考えを、相手に伝えるために必要なポイントを教えてもらって話したりしようとする						先生や友達の言葉や言い方を聞いたり、自分の思いや考えを、相手に分かるように繰り返す、言葉を足す、理由を添える、聞かれたことに答えるなどして話したりしようとする						言い方のによる分かりやすさのよさを感じたり、自分の思いや考えを、相手に分かるように繰り返す、言葉を足す、理由を添える、聞かれたことに答えるなどして話そうとしたりする						言い方のによる分かりやすさのよさを感じたり、自分の思いや考えを、相手に分かるように言葉を選ぶ、つなげる、順序立てる、理由を添えるなどして伝えようとしたりする					
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	先生や友達の言葉や言い方を聞いたり、自分の言いたいことを自分の言い方で話したりしようとする						先生や友達の言葉や言い方を聞いたり、自分の気持ちや思い、考え、言いたいことを自分の言い方や先生に教えてもらった言い方で言ったり、相手に伝えるために必要なポイントを尋ねてもらって言ったりしようとする						先生や友達の言葉や言い方を聞いたり、自分の思いや考えを相手に伝えるために必要なポイントを教えてもらって話したりしようとする						先生や友達の言葉や言い方を聞いたり、自分の思いや考えを、相手に分かるように繰り返す、言葉を足す、理由を添える、聞かれたことに答えるなどして伝えたりしようとする						言い方のによる分かりやすさのよさを感じたり、自分の思いや考えを、相手に分かるように繰り返す、言葉を足す、理由を添える、聞かれたことに答えるなどして伝えようとしたりする						言い方のによる分かりやすさのよさを感じたり、自分の思いや考えを、相手に分かるように言葉を選ぶ、つなげる、順序立てる、理由を添えるなどして伝えようとしたりする					
遊びや生活の場面	・先生や友達の話を聞く ・してほしいことを話す ・したいことを話す ・困っていることを話す ・尋ねられたことに答える ・したり、見たり、聞いたり、感じたりなどしたことを話す						・先生や友達の話を聞いて話す ・疑問に思ったことを尋ねる ・考えたことを話す ・言いたいことが伝わっていない時に言い方を教えてもらって話す ・楽しいと思ったことを話す ・面白いと思ったことを話す						・先生や友達の話を聞く ・したいことを話す ・してほしいことを話す ・困ったことを話す ・嫌なことを話す ・尋ねる ・尋ねられる						・楽しいと思ったことを話す ・面白いと思ったことを話す						・楽しいと思ったことを話す ・面白いと思ったことを話す						・楽しいと思ったことを話す ・面白いと思ったことを話す						・楽しいと思ったことを話す ・面白いと思ったことを話す						・先生や友達の話を聞く ・自分の思いや考えを友達や先生に話す ・見付けたことや考えたこと、感じたことを話す ・友達と一緒に遊び方やルールを友達と一緒に考える ・友達の素敵なところを話す ・誕生会の挨拶を考える						・育てたい野菜を決める	・ショーごっこで説明やナレーションをする ・インタビューをしたり、答えたりする					・運動会のリズム表現で友達と一緒に遊び方や話を考える ・友達と勝つための作戦を考える ・ショーごっこで説明やナレーションをする	・グループでお店屋さんで必要なものを相談する ・ショーごっこで説明やレシーションする	・グループでお店屋さんに「必要なものや店のつくり方、役割などを相談する ・年少・年中児にお店やさんのお知らせをする	・グループで発表したいことを考える	・グループで発表したいことを決める ・発表会の挨拶を考える ・発表会の見せ合い会で感じたことや考えたことを話す ・答辞を考える	・お別れ遠足でグループの友達と探検する場所や順番を相談する

事象を数理的に捉える【形を捉える】図形を対象とした思考を通して、身の回りの事象を分析的に判断しようとする

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
初等教育要領	形の面白さを感じたり、いろいろな形に親しんだりする												いろいろな形に親しみ、比べたり組み合わせたりしながら、形の特徴を感覚で捉える												いろいろな形を比べたり、組み合わせたりしながら、形の特徴を感覚で捉えたり、遊びや生活に形の特徴をいかそうとしたりする											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	形の面白さを感じたり、いろいろな形に親しんだりする												いろいろな形に親しみ、比べたり組み合わせたりしながら、形の特徴を感覚で捉える												いろいろな形を比べたり、組み合わせたりしながら、形の特徴を感覚で捉えたり、遊びや生活に形の特徴をいかそうとしたりする											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	形の面白さを感じたり、いろいろな形に親しんだりする												いろいろな形に親しみ、比べたり組み合わせたりしながら、形の特徴を感覚で捉える												いろいろな形で比べたり、組み合わせたりしながら、形の特徴を感覚で捉えたり、遊びや生活に形の特徴をいかそうとしたりする											
遊びや生活の場面	・食べかけのおやつを見て何の形に見えるか言う ・形を種類ごとに分けて片付ける。		・描いたり作ったりしたものを見て何の形に見えるか言う（積木ブロック、型抜き、絵画等） ・食べかけのおやつを見て何の形に見えるか言う。 ・形を見て種類ごとに分けて片付ける ・絵本に出てくる絵を見て何の形かを言う ・育てた野菜の形を見て形の違いに気付く		・線に沿って形に切る	・描いたり作ったりしたものを見て何の形に見えるか言う（積木ブロック、型抜き、絵画等） ・食べかけのおやつを見て何の形に見えるか言う ・形を見て種類ごとに分けて片付ける ・絵本に出てくる絵を見て何の形か言う ・積木の同じ形を見つけて置いたり、同じ三角と三角、丸と丸を合わせたりして片付ける ・廃材を組み合わせる ・砂で型抜きをする ・お弁当のおにぎりやおかずの形を見て何の形かを言う		・線に沿って形に切る ・切りたい形を描いて切る		・積木を見比べ、選ぶ ・積木を組み合わせる ・積木を片付ける ・廃材を分ける ・廃材を組み合わせる ・砂で型抜きをする ・ままごと道具を分けて片付ける												・同じ形のものを集めたり揃えたりして片付ける ・手紙や折り紙の角や辺を合わせて折る											
													・いろいろな形を組み合わせたり貼ったりする	・収穫した野菜の形を見たり比べたりする ・折り紙を折ったり丸めたりして四角や三角、長四角、輪にして七夕飾りを作る ・三角つなぎや四角つなぎを作って角を意識する	・アサガオやフウセンカズラ、オシロイバナの種を分ける	・どんぐりの形を見たり比べたりする	・クリスマスツリーに紙をいろいろな形に切って貼る	・いろいろな形のこまを見たり、回したりする ・収穫した野菜の形を見たり、比べたりする ・紙製作をする ・紙粘土で作る			・積木や廃材を組み合わせて作る	・積木や板、廃材の形から作りたいものに合わせて選ぶ	・積木や板、廃材の形から作りたいものに合わせて選ぶ ・点を結んで三角とりゲームをする	・積木や板、廃材の形から作りたいものに合わせて選ぶ ・折り紙を折って三角や四角、長四角にして七夕飾りを作る	・積木や板、廃材の形から作りたいものに合わせて選ぶ ・アサガオやフウセンカズラの種を分ける	・積木や板、廃材の形から作りたいものに合わせて選ぶ ・いろいろな形のどんぐりを触ったり転がしたりする	・積木や板、廃材の形から作りたいものに合わせて選ぶ ・靴下の生地を開いて見たり、どこを縫うと袋状になるかを考えたりする	・積木や板、廃材の形から作りたいものに合わせて選ぶ ・空いている形とピースの形を比べてパズルをはめる	・積木や板、廃材の形から作りたいものに合わせて選ぶ

事象を数理的に捉える【数・量を捉える】数・量を対象とした思考を通して、身の回りの事象を分析的に判断しようとする

年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
初等教育要領	数・量（数、長さ、重さ、大きさ）の多い少ないを感じたり、ものと対応させて数えたりして、数・量に親しむ											数えたり並べたりはかったりして比べ、数・量（数、長さ、重さ、大きさ）の多少を感じる											数・量（数・長さ・重さ・大きさ・時間）の多少や速さを捉えたり、まとまりで捉えたり、調節したりしようとする										
年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程	数・量（数、長さ、重さ、大きさ）の多い少ないを感じたり、ものと対応させて数えたりして、数・量に親しむ											数えたり並べたりはかったりして比べ、数・量（数、長さ、重さ、大きさ）の多少を感じる											数・量（数・長さ・重さ・大きさ・時間）の多少や速さを捉えたり、まとまりで捉えたり、調節操作したりしようとする										
年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい	数・量（数、長さ、重さ、大きさ）の多い少ないを感じたり、ものと対応させて数えたりして、数・量に親しむ											数えたり並べたりはかったりして比べ、数・量（数、長さ、重さ、大きさ）の多少を感じる											数・量（数・長さ・重さ・大きさ・時間）の多少や速さを捉えたり、まとまりで捉えたり、調節操作したりしようとする										
遊びや生活の場面	・電車の玩具をたくさんつなげて長くする ・ブロックをつなげて長くする ・積木を積んで高くする		・電車の玩具をたくさんつなげて長くする ・ブロックをつなげて長くする ・積木を積んで高くする ・三輪車や荷車をつなげて長くする ・お皿とフォークなどを対応させて揃える ・野菜を見る									・積み木を持ち上げたり並べたり積んだりする ・砂場で穴の深さや山の大きさ、川の長さを感じる ・積み木に板を渡して長さを比べる											・通園ノートにシールを貼る ・大型積木と中型積木を片付ける ・板を渡して橋や机、台などを作る ・タイマーで時間を計ったり、残り時間を感じたりする ・グループの人数や椅子を数える ・遊んでいる人数に合わせて必要な数を用意する ・したいことやものの大きさに合わせて穴をあけたり長さを決めたりする ・そりや紙飛行機の飛距離やを比べたり計ったりする ・チームの人数を比べたり合わせたり、ちょうどよい鬼の人数を~~決め~~考えたり試したりする ・野菜や果実、種を~~見て~~集めたり収穫したりして、数えたり、大きさや長さ、重さを感じたり、比べたりする ・育てた野菜や焼き芋、豆などをグループの友達と分ける									
		・~~積木を積んで高くする~~ ・タライから水をすくう ・~~ブロックをつなげて長くする~~ ・おやつの枚数を数える、欲しい数を言う ・欠席の人数を数える				・砂場で穴の深さや山の大きさ、川の長さを感じる ・作った団子の数を数える ・どんぐりの大きさを比べる ・どんぐりの数を数える ・鬼と逃げの数を比べる						・捕まえた虫を数えたり、大きさを比べたりする					・お風呂の残りの枠を見たり数えたりする ・人数集めをする						・水の量を調節したり測ったりして色水を作る					・跳び箱の段数や縄跳びや~~ホール~~逆の回数、竹馬の歩数、一輪車の進んだ距離を数えたり比べたりする				
			・捕まえたダンゴムシの数を数える ・ブロックをつなげてぬいぐるみや汽車など並べて同じ長さにする ・制作で貼った紙の数を数える	・捕まえた虫の数を数えたり、比べたりする ・いろいろな容器に水の量や重さの違いを感じる ・笹飾りを長くしたり、折り紙の数を数えたりする ・容器に入った水を異なる容器に入れ替える	・積木を積んで高くする ・捕まえた虫の数を数えたり、比べたりする	・カゴに入った抱えたりボールの数を数えたり、友達と比べたりする	・砂場で穴の深さや山の大きさ、川の長さを感じる ・集めた葉っぱがたくさんある感じる ・鬼と逃げの数を比べる	・砂場で穴の深さや山の大きさ、川の長さを感じる ・集めた葉っぱがたくさんある感じる ・砂や水で作った料理を器に分ける ・作った剣の長さを比べる ・鬼と逃げを比べる	・砂場で穴の深さや山の大きさ、川の長さを感じる ・砂や水で作った料理を器に分ける ・作った剣の長さを比べる ・鬼ごっこで残っている人数を数える ・つなげた三輪車や荷車の数を数える ・とったカードの数を数えたり、重ねた高さを比べたりして勝敗を判断する ・描いたおむすびの数を数える ・写真カードで欠席の人数を数える ・鬼と逃げの数を比べる	・砂場で穴の深さや山の大きさ、川の長さを感じる ・砂や水で作った料理を器に分ける ・砂でたたきを作る ・作った剣の長さを比べる ・からすでかこってる人数を数える ・鬼とげをする			・野菜を数える ・野菜の大きさを比べる ・グループの椅子を数える ・つなだや角の数えたり、三輪を数えたり、なが長さをたりするタイマーで時間を感じる	・グループの椅子を数える ・プール物を宝拾いをて数えたり数えたりする ・野菜を数える ・野菜の大きさを比べる	・玉入れのかごに入った玉の量を見比べる ・玉入れのかごに入った玉の数を数えたりする ・フワセンカズラの種の数を数えたり、友達と比べたりする ・グループの椅子を数える	・集めた種やドングリの数を数えたり、友達と比べたりする ・グループの椅子を数える ・鬼ごっこで人数を調整する ・ボンドの量を調整する ・こまが回る時間や回数を数える ・サツマイモの数や重さ、大きさを比べる ・ストップウォッチで時間さかたのをるタイマーで時間さじりのをる	・グループの椅子を数える ・こまが回る時間を数える ・こまが回った回数を数える ・フープが回る時間を数える ・縄を跳ぶ回数を数える ・取ったかるたの枚数を数える ・すごろくでどちらが早くついたか比べる ・ストップウォッチで時間さかたのをる							・積み上げたカブラを見て高さを感じたり比べたりする					・ブリッジのできる長さを数えてはかる ・走る速さを競う					・コマの回っている時間を比べる ・サイコロの目だけコマを進める ・すごろくの残りのマスを数える ・鳥の長さに合わせて竹ひごを切る ・ハリガリゲームでカードの果物の数を見る ・コマの回る時間の長さを競う ・取ったカルタやトランプ、百人一首などの数を競う ・すごろくやトランプなどであがる早さを競う		
																							・発育測定でのくらい増えたか知る										
																										・笹飾りの数を数える								
																											・プールで拾った宝物を数える							
																													・取ったぼうしや帽子の数を比べる ・取った数の差を考える						
																														・高い方の登り棒を登り切り、前できた高さと比べる ・取った点数で勝敗を決める ・芋や手紙の必要な数を知らせる					
																																・豆の数や量を比べる		

事象を数理的に捉える【空間を捉える】場を対象とした思考を通して、身の回りの事象を分析的に判断しようとする

空間認知の要素のみにする

年齢	３歳児												４歳児												５歳児											
初等教育要領	高さ、広さ、距離、位置を身体で感じる												高さ、広さ、距離、位置を感覚で捉える												高さ、広さ、距離、位置を感覚で捉え、置き方、場のとり方、動く方向を考えようとする											
年齢	３歳児												４歳児												５歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	高さ、広さ、距離、位置を身体で感じる																	高さ、広さ、距離、位置を感覚で捉えようとする							高さ、広さ、距離、位置を感覚で捉え、置き方や立ち位置等を考えようとする												高さ、広さ、距離、位置を感覚で捉え、置き方、場のとり方、動くいたり投げたり動かしたり、操作したりする方向を考えようとする											
年齢	３歳児												４歳児												５歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	高さ、広さ、距離、位置を身体で感じる																	高さ、広さ、距離、位置を感覚で捉えようとする							高さ、広さ、距離、位置を感覚で捉え、置き方や立ち位置等を考えようとする												高さ、広さ、距離、位置を感覚で捉え、置き方、場のとり方、動くいたり投げたり動かしたり、操作したりする方向を考えようとする											
遊びや生活の場面	・遊具に登る ・大芝生を走る ・椅子の間を通る時に当たる		・遊具に登る （滑り台、木登り、ゲームボックス） ・ごっこ遊びに使う空間を作る （積木、衝立、段ボール） ・積み木や衝立で囲ってごっこ遊びに使う空間を作る ・遊びの場を広げる ・かくれんぼで狭い場所に隠れる ・絵本を読んでもらうときに友達と体が当たる ・靴を履き替えるときに友達と体が当たる ・並んで友達と体が当たる ・大芝生を走る ・おやつレストランの椅子に友達とくっついて座る ・的に向かってボールを投げる時に、入りやすい距離に立つ ・ゆりかごスイングに友達と乗る	・ゆりかごスイング友と乗る ・ゆかスンに達	・製作するときにプレイボードが当たる ・遊具に登る、降りる、移る ・ごっこ遊びに使う空間を作る （大型ブロック） ・戦いごっこで距離をとって戦う ・友達と机に座って弁当や水筒を広げる	・遊具に登る、降りる、移る （滑り台、木登り、ゲームボックス、ファイヤーマンポール、グリップ） ・ごっこ遊びに使う空間を作る （積木、衝立、段ボール） ・積み木や衝立で囲ってごっこ遊びに使う空間を作る ・遊びの場を広げる ・かくれんぼで狭い場所に隠れる ・絵本を読んでもらうときに友達と体が当たる ・並んで友達と体が当たる ・大芝生を走る ・おやつレストランの椅子に友達とくっついて座る ・的に向かってボールを投げる時に、入りやすい距離に立つ ・ステージの落ちない場所を選ぶ ・戦いごっこで距離をとって戦う												・積み木を積んだり、積み木で囲ったりする ・積み木を線より下に片付ける ・写真カードを貼り替える ・絵本を読んでもらうときに友達と体が当たる ・並んで友達と体が当たる ・大芝生を走る ・おやつレストランの椅子に友達とくっついて座る ・グループジャングルに上ったり、友達と一緒に入ったりする ・ジェットジムに上ったり、友達と一緒に入ったりする ・お弁当のときにテーブルや椅子を並べる												・通り幅や椅子を置く幅を考えて机を並べる ・前や隣の人との間隔を考えて並んだり、座ったりする ・鬼ごっこで、鬼のいない方向を見つけて走る										

（R２）「距離をおく」「間隔をあける」「距離感を把握する」ことができていたら、感覚で捉えられていると考え、子どもの姿をみとり、もっと早くからあるのではと検討したが、まだ捉えられているとは言えない。
（R３）６～７月に自分の力では間隔を取れているとは言い難いのではないか。

４歳２月からか検討。

暮らしをつくる【食を見つめる】食べることの楽しさを感じたり、様々な食文化について知り、取り入れようとしたりする

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
初等教育要領	いろいろな食材に興味をもったり、幼稚園で先生や友達、お家の人とおやつや弁当を食べたり、収穫した野菜を家に持って帰って食べたりする楽しさを感じたりする																								旬の食べ物があることを知ったり、喜んで食べたり、食べることを楽しみにして野菜を育てたり、いろいろな食材について知り、いろいろな料理があると感じたりする											
	楽しく心地よく食べるためにした方がよいことと、その意味を知ったり、自分なりに考えたりしてしようとする																								楽しく心地よく食べるためにすべきことの意味が分かってしようとする											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	幼稚園でおやつを食べることを楽しみにする			幼稚園でおやつを食べることや、収穫した野菜を家に持って帰って食べることを楽しみにする		いろいろな食材に親しみをもったり、幼稚園で先生や友達、お家の人とおやつや弁当を食べる楽しさを感じたりする							いろいろな食材に興味をもったり、幼稚園で先生や友達、お家の人とおやつや弁当を食べたり、収穫した野菜を家に持って帰って食べたりする楽しさを感じたりする												旬の食べ物があることや食べ物の働きを知ったり、喜んで食べたり、食べることを楽しみにして野菜を育てたり、いろいろな食材について知り、いろいろな料理があると感じたり、自分で手を加えて食べられるようにしたり、それを食べたりする喜びを感じたりする											
	楽しく心地よく食べるためにした方がよいことを知ったり、自分で気付いたり、先生に確かめたりしてしようとする												楽しく心地よく食べるためにした方がよいことと、その意味を知ったり、自分なりに考えたりしてしようとする												楽しく心地よく食べるためにすべきことの意味が分かってしようとする											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	幼稚園でおやつを食べることを楽しみにする				幼稚園でおやつやお弁当を食べることを楽しみにしたり、食材やおかずに興味をもったりする								先生や友達、お家の人と一緒に食べたり飲んだりすることの楽しさを感じる												人と食事をすることの楽しさを感じる。また、旬の食べ物があることや食べ物の働きを知ったり、喜んで食べたり、いろいろな食材について知り、いろいろな料理があると感じたりする											
遊びや生活の場面	・おやつを食べる ・誕生会のおやつを食べる	・おやつを食べる ・誕生会のおやつを食べる ・親子ふれあいの日におやつを食べる ・園外保育で弁当を食べる	・おやつを食べる ・誕生会のおやつを食べる ・親子ふれあいの日におやつを食べる	・おやつを食べる ・誕生会のおやつを食べる ・親子ふれあいの日におやつを食べる	・おやつを食べる ・誕生会のおやつを食べる ・弁当を食べる	・おやつを食べる ・誕生会のおやつを食べる ・園外保育で弁当を食べる	・おやつを食べる ・誕生会のおやつを食べる ・親子ふれあいの日におやつを食べる ・弁当を食べる	・おやつを食べる ・誕生会のおやつを食べる ・お弁当を食べる ・焼き芋を食べる ・弁当を食べる	・おやつを食べる ・誕生会のおやつを食べる ・親子ふれあいの日におやつを食べる ・弁当を食べる	・おやつを食べる ・誕生会のおやつを食べる ・弁当を食べる	・おやつを食べる ・誕生会のおやつを食べる		・おやつを食べる ・誕生会のおやつを食べる ・親子ふれあいの日におやつを食べる ・弁当を食べる	・おやつを食べる ・弁当を食べる ・誕生会のおやつを食べる ・親子ふれあいの日におやつを食べる ・遠足で弁当を食べる	・おやつを食べる ・弁当を食べる ・誕生会のおやつを食べる	・おやつを食べる ・弁当を食べる ・誕生会のおやつを食べる	・おやつを食べる ・弁当を食べる ・誕生会のおやつを食べる ・親子ふれあいの日におやつを食べる ・農場で弁当を食べる ・遠足で弁当を食べる	・おやつを食べる ・弁当を食べる ・誕生会のおやつを食べる ・親子ふれあいの日におやつを食べる ・明石公園の外で弁当を食べる ・公戸おやつを食べる	・おやつを食べる ・弁当を食べる ・誕生会のおやつを食べる	・おやつを食べる ・弁当を食べる ・誕生会のおやつを食べる ・焼き芋を食べる ・弁当を食べる ・誕生会のおやつを食べる	・おやつを食べる ・弁当を食べる ・誕生会のおやつを食べる ・親子ふれあいの日におやつを食べる	・おやつを食べる	・おやつを食べる ・弁当を食べる ・誕生会のおやつを食べる	・おやつを食べる ・弁当を食べる ・誕生会のおやつを食べる ・親子ふれあいの日におやつを食べる	・おやつを食べる ・弁当を食べる ・誕生会のおやつを食べる ・木の実（グミ、ヤマモモ、カキ、ミカン）を取って食べる										
月のねらい			収穫した野菜を家に持って帰って食べることを楽しみにする				収穫した野菜を家に持って帰って食べることを楽しみにする								収穫した野菜を家に持って帰って食べることを楽しみにする					掘ったサツマイモを食べることを楽しみにする		収穫した野菜を家に持って帰って食べることを楽しみにする				食べることを楽しみにして野菜や米を育てたり、自分で手を加えて食べられるようにしたり、それを食べたりする喜びを感じたりする										
遊びや生活の場面			・収穫した野菜を持って帰って食べる				・収穫した野菜を持って帰って食べる								・幼稚園で育てた野菜を持って帰って食べる					・掘ったサツマイモを持って帰って焼いてもらって食べる ・掘ったサツマイモを弁当に入れてもらって食べる ・干してあるサツマイモを見る		・幼稚園で育てた野菜を持って帰って食べる ・幼稚園で育てた野菜を弁当に入れてもらって食べる				・野菜の種や苗を植える	・野菜の世話をする ・ジャガイモを収穫する	・野菜の世話をする ・野菜を収穫する ・梅をつける	・野菜の世話をする ・野菜を収穫する	・野菜の種や苗を植える ・野菜の世話をする	・野菜の世話をする ・野菜を収穫する ・米を収穫し、脱もみをする	・野菜の世話をする ・野菜を収穫する ・自分の達成した焼き芋を食べる	・誕生会のおやつを食べる ・弁当を食べる ・野菜の世話をする ・野菜を収穫する			
月のねらい	楽しく心地よく食べるためにした方がよいことを知ったり、自分で気付いたり、先生に確かめたりしてしようとする												楽しく心地よく食べるためにした方がよいことと、その意味を知ったり、自分なりに考えたりしてしようとする												楽しく心地よく食べるためにすべきことの意味が分かってしようとする											
した方がよい事柄、すべき事柄	・食べ終えるまで座って食べる ・落としたものは食べない ・ストローをくわえたまま歩かない				・食べ終えるまで座って食べる ・落としたものは食べない ・口の中がなくなってから話す、食事中の口の中を見せない ・ストローやフォーク、箸をくわえたり舐めたりしない								・口の中がなくなってから話す ・食べ終えるまで座って食べる ・落としたものは食べない												・口の中がなくなってから話す ・口を閉じて食べる（噛む音を大きくたてない、口の中を見せない） ・声の大きさを控える　・食器で音をたてない ・箸を突き刺さない　・食べ終えるまで座って食べる											

1筋目同様、食の楽しさを感じる筋で、発達と共に豊かになっていく様相をねらいで表現するが、時期が限定的なねらいを入れる筋。
→もっと細かく時期で記した方がいいか検討する

「衣類を整える」を入れる。
物の性質は「事物」、扱う動きは「身体操作」へ移す。丁寧に大切にする姿勢は「資源」、「自ら」、「他者のことを考えて」等へ移す。「身を守る」に入る要素もある。R4年度内を目処に仕分ける。まとまりの計画も仕分ける。不都合が出た際に資質・能力の捉えを検討する。→実施済

~~暮らしをつくる【道具を操る】目的に合った物を選び、適切に使おうとする~~

年齢	3歳児	4歳児	5歳児
初等教育要領	道具や素材など物の扱い方を知り、慣れて使おうとする 写真や表示、絵本、図鑑に関心をもって見ようとしたり、知りたいことが図鑑や絵本に載っていると感じたりする	道具や素材など物の扱い方を知り、慣れたり、選んで使ったり、物を丁寧に扱ったりしようとする 情報が載っているものに関心をもって見ようとしたり、知りたいことがそれらに載っていると感じたり、知りたいことが載っているものを見ようとしたり、知らせたいことをかこうとしたりする	道具や素材などの物の特性をいかして使ったり、用途に合わせて使い分けたり、物を丁寧に扱ったりしようとする 情報が載っているものに関心をもって見ようとしたり、それらを使って知りたいことを調べられると知ったり、知りたいことが載っているものを選んで調べようとしたり、身近な方法を選んで知らせようとしたり、かいて残しておくことのよさを感じたり、覚えておきたいことをメモにかき留めておこうとしたりする

年齢	3歳児											4歳児											5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程	道具や素材など物の扱い方を知り、慣れて使おうとする											道具や素材など物の扱い方を知り、慣れたり、選んで使おうとしたり、物を丁寧に扱おうとしたりしようとする											道具や素材などの物の扱いに慣れたり、コツをつかんだり、特性をいかして使おうとしたり、物を丁寧に扱おうとしたりする						道具や素材などの物の特性をいかして使ったり、用途に合わせて使い分けたり、物を丁寧に扱ったりしようとする					
	写真や表示、絵本、図鑑に関心をもって見ようとしたり、知りたいことが図鑑や絵本に載っていると感じたりする																						写真や表示、絵本、図鑑、掲示に関心をもって見ようとしたり、知りたいことが図鑑や絵本に載っていると感じたり、知りたいことがかかれた写真や表示、絵本、図鑑、掲示を選んで調べようとしたり、看板やチラシなどの身近な方法を選んで知らせようとしたり、かいて残しておくことのよさを感じたり、覚えておきたいことをメモにかき留めておこうとしたりする													

年齢	3歳児											4歳児											5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい	道具や素材など物の扱い方を知り、慣れて使おうとする											道具や素材など物の扱い方を知り、慣れたり、選んで使おうとしたり、物を丁寧に扱おうとしたりする											道具や素材などの物の扱いに慣れたり、コツをつかんだり、特性をいかして使おうとしたり、物を丁寧に扱おうとしたりする						道具や素材などの物の特性をいかして使ったり、用途に合わせて使い分けたり、物を丁寧に扱ったりしようとする					
遊びや生活の場面	・保育室や園庭にある新しい遊具や用具、玩具の扱い方を教えてもらう ・使いたい遊具や用具、玩具を選んで使う											・玩具や道具をそっと運んだり置いたりする ・同じ種類のものを重ねて置く											・すり鉢やすりこぎ、ざる、じょうごを使って色水を作る ・したいことに合わせてスコップを選ぶ ・長さを生かして板で橋を渡したり仕切ったりする ・型抜き作りでつまようじや串を使う ・積む等に主をつめて型を抜いたりトンネルに使ったりする ・だわしで洗う											

・積木の積方や並べ方を知って遊ぶ
・井形ブロックをつなげたり、はずしたりして遊ぶ
・パスのふたの開け方、重ね方、開め方を知って絵を描く
・粘土をちぎったり、粘土ベらで切ったりする
・タオルを角と角を合わせて四角くたたむ
・絵本カバンを持つときは胸や肩にかけて持つ
・粘土の型抜きは粘土を平らにしてから抜きつける
・小麦ののり等貼るものの端にけて貼る
・水筒のコップふたを開ける時は、水筒本体をしっかり押さえて、力を入れてふたを回す
・傘は雨でに立てる
・小麦ののり等貼るものの外側に塗って貼る
・ジョウロは砂を入れるのではなく、水を入れて遊ぶ
・水筒は、水を入れて遊ぶ

・積木の積方や並べ方を知って遊ぶ
・井形ブロックをつなげたり、はずしたりして遊ぶ
・パスのふたの開け方、重ね方、開め方を知って絵を描く
・粘土をちぎったり、粘土ベらで切ったりする
・タオルを角と角を合わせて四角くたたむ
・絵本カバンを持つときは胸や肩にかけて持つ
・粘土の型抜きは粘土を平らにしてから抜きつける
・小麦ののり等貼るものの端にけて貼る
・水筒のコップふたを開ける時は、水筒本体をしっかり押さえて、力を入れてふたを回す
・傘は雨でに立てる
・小麦ののり等貼るものの外側に塗って貼る
・ジョウロは砂を入れるのではなく、水を入れて遊ぶ
・水鉄砲は、水の中に入れて水を吸い上げる

月のねらい	写真や表示、絵本、図鑑に関心をもって見ようとしたり、知りたいことが図鑑や絵本に載っていると感じたりする											写真や表示、絵本、図鑑、掲示に関心をもって見ようとしたり、知りたいことが図鑑や絵本に載っていると感じたり、知りたいことがかかれた写真や表示、絵本、図鑑、掲示を見ようとしたり、知らせたいことをかこうとしたりする			写真や表示、絵本、図鑑、掲示、インターネット、新聞に関心をもって見ようとしたり、図鑑や絵本、インターネットを使って知りたいことを調べられると知ったり、知りたいことがかかれた写真や表示、絵本、図鑑、掲示を選んで調べようとしたり、看板やチラシなどの身近な方法を選んで知らせようとしたり、かいて残しておくことのよさを感じたり、覚えておきたいことをメモにかき留めておこうとしたりする			
遊びや生活の場面	・月別のテーマカラーを見たり季節の写真を見たりする ・片付けの表示を見る	・開いて置いている絵本や掲示している絵本を見る ・遊びや野菜、虫の写真を見る ・野菜のレポートを見る ・図鑑を見る	・開いて置いている絵本や掲示している絵本を見る ・遊びや野菜、虫の写真を見る ・野菜のレポートを見る ・図鑑を見る ・日付の表示を見る	・開いて置いている絵本や掲示している絵本を見る ・遊びの写真を見る ・野菜のレポートを見る ・図鑑を見る ・日付の表示を見る	・開いて掲示してある絵本を見る ・知りたいことを図鑑で調べる ・捕まえた虫の写真を見て、名前や種類を知る ・危険な虫の写真を見て、名前や種類を知る ・園庭にある花の写真を見て、名前や種類を見る	・捕まえた虫の写真を見て、名前や種類を知る ・危険な虫の写真を見て、名前や種類を知る ・園庭にある花の写真を見て、名前や種類を見る ・収穫した野菜の写真を見たり、名前を知ったりする ・七夕飾りの絵や写真を見る	・捕まえた虫の写真を見て、名前や種類を知る ・危険な虫の写真を見て、名前や種類を知る ・園庭にある花の写真を見て、名前や種類を見る ・リズム表現に出てくる生き物の姿や生態、鳴き声、動きなどを見る	・捕まえた虫の写真を見て、名前や種類を知る ・危険な虫の写真を見て、名前や種類を知る ・園庭にある花の写真を見て、名前や種類を見る	・園庭にある花の写真を見て、名前や種類を見る	・園庭にある花やヒヤシンス、クロッカスの写真を見て、名前や種類を知る ・収穫した野菜の写真を見たり、名前を知ったりする ・クラスで取り組むごっこ遊びに出てくる生き物の姿や生態、鳴き声、動きなどを見る ・ホワイトボードに示された1日の流れの表示を見る	・開いて掲示してある絵本を見る ・世間のホットトピックを知る ・インターネットを使って調べているところを見る ・名前の知らない生き物を見付ける ・育て方を知らない生き物を育てる ・天気の話を聞く ・春に収穫できる野菜を図鑑で調べてもらう	・したいことや気付いたことを遊びのドキュメンテーションにかく ・野菜の気付きを付箋にかいてもらったりかいたりする	・本の表紙について調べる ・冬に収穫できる野菜を図鑑で調べてもらう ・なりきっている動物や人物のことを調べる	・本の表紙について調べる ・なりきっている動物や人物のことを調べる	・お店見学での気付きやしたいことを付箋にかいたり読んだりする ・看板やチラシ、商品説明を作る	・なりきっている動物や人物のことを調べる	・季節の花を調べる

暮らしをつくる【住空間場や状況を整える】快適で心地よ~~い~~く、したいことがしやすい生活空間場や状況を知り、整えようとする

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
初等教育要領	~~自分の周りや、みんなで使う場所が気持ちよく使いやすく楽しくなるような遊びや生活の場の整え方を感じたり、気付いたり、自分なりに考えたりして、整えたり、作ったりしようとする~~																								~~気持ちよく使いやすく楽しくしたいことがしやすくなるように、遊びや生活の場を整えたり、作ったり、作りかえたりしようとする~~											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	自分の周りが気持ちよく使いやすくなる物の始末の仕方を感じたり、手伝ってもらってしたり、自分でしようとしたりする					自分の周りや、みんなで使う場所が気持ちよく使いやすく楽しくなるような遊びや生活の場の整え方や物の始末の仕方を感じたり、気付いたり、自分なりに考えたりして、整えたり、作ったりしようとする																			気持ちよく使いやすく楽しくしたいことがしやすくなるように、物を始末したり、遊びや生活の場を選んだり、整えたり、作ったり、作りかえたりしようとする												
年齢						3歳児							4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	自分の周りが気持ちよく使いやすくなる物の始末の仕方を感じたり、手伝ってもらってしたり、自分でしようとしたりする					自分の周りや、みんなで使う場所が気持ちよく使いやすく楽しくしたいことがしやすくなるような遊びや生活の場の整え方を感じたり、気付いたり、自分なりに考えたりして、整えたり、作ったりしようとする																			気持ちよく使いやすく楽しくしたいことがしやすくなるように物を始末したり、遊びや生活の場を選んだり整えたり、作ったり、作りかえたりしようとする												
遊びや生活の場面	・制帽をかけるゴムを使ってロッカーのフックにかける ・鞄や制帽をはみ出さずにロッカーに収める ・タオルをたたんで鞄に収める ・鞄のボタンを留める ・ゴミをゴミ箱に入れる ・床が濡れた時には雑巾で拭く ・靴を揃えて置く ・塗れたり汚れたりした服を袋に入れて持って帰る ・写真を見て使ったものを元の場所に戻す ・ロッカーの中が使いやすいようにクレパスやのり、赤白帽子を収める ・脱いだ服をたたむ ・脱いだ靴をしまう ・使った雑巾をバケツに入れる ・裏返った靴下を表に返す ・脱いだ服を返したりたたんだりする ・パスのフタを下に重ねる ・タオルを角と角を合わせて四角くたたむ	・脱いだ靴をしまう ・自分の写真を見て自分のロッカーを使う ・使った雑巾をバケツに入れる ・水筒のひもを巻いて置く ・水筒のひもに腕を通してかける	・脱いだ靴をしまう ・自分の写真を見て自分のロッカーを使う ・使った雑巾をバケツに入れる ・水筒のひもを巻いて置く ・赤白帽子をたたんで収める ・水筒のひもに腕を通してかける	・脱いだ靴をしまう ・自分の写真を見て自分のロッカーを使う ・使った雑巾をバケツに入れる ・座っている順番に一列で並んで遊戯室へ行き来する ・水筒のひもを巻いて置く ・赤白帽子をたたんで収める ・水筒のひもに腕を通してかける ・ビーチサンダルを芝生に並べて置く ・エプロンのボタンを前で留め外しする ・傘を巻いて傘立てに立てる	・脱いだ靴をしまう ・自分の写真を見て自分のロッカーを使う ・エプロンのボタンを前で留め外しする ・遊具に友達が乗ったり登ったりしている時は待つ ・鞄に腕を通す ・使った雑巾を洗って絞り、バケツに入れる ・水筒のひもに ・赤白帽子をたたんで収める ・弁当箱や箸、水筒などを使いやすいように置く ・バスケットを椅子の下に置く ・食べやすい位置に椅子を置き、座る ・傘を巻いて傘立てに立てる	・脱いだ靴をしまう ・使った雑巾を洗って絞り、バケツに入れる ・水筒のひもを巻いて置く ・赤白帽子をたたんで収める ・弁当箱や箸、水筒などを使いやすいように置く ・食べやすい位置に椅子を置き、座る ・バスケットを椅子の下に置く ・ロッカーの中が使いやすいように持ち物を始末する ・マットを敷いて絵本を読む ・衣装をハンガーにかける ・大型ブロックや積み木で家や乗り物を作る ・傘を巻いて傘立てに立てる	・脱いだ靴をしまう ・使った雑巾を洗って絞り、バケツに入れる ・水筒のひもを巻いて置く ・赤白帽子をたたんで収める ・弁当箱や箸、水筒などを使いやすいように置く ・食べやすい位置に椅子を置き、座る ・バスケットを椅子の下に置く ・ロッカーの中が使いやすいように持ち物を始末する ・衣装をハンガーにかける ・大型ブロックや積み木で家や乗り物を作る ・傘を巻いて傘立てに立てる	・ごっこ遊びに使う場を衝立や積木、段ボール、テーブル、椅子、三角コーン、台などを使って作る。 ・板を使って橋を架ける ・舞台でショーをする ・運動遊具を並べて忍者の修行ごっこをする ・芝生で遊ぶ	・積み木で見えないように囲ったり、入れるように囲ったりする ・食べる場所や料理をする場所、寝る場所などを考えてごっこ遊びをする ・気持ちよく使いやすいようにロッカーに物を収める	・太鼓橋を運ぶ ・ゲームボックスを運ぶ ・平均台を運ぶ ・ジャンピングを運ぶ ・芝生の上にじゅうたんやシートを敷いて遊ぶ ・客席をステージの前に並べる	・芝生の上にじゅうたんやシートを敷いて遊ぶ ・ホースは巻いて片付ける	・芝生の上にじゅうたんやシートを敷いて遊ぶ ・お客さんが座る椅子をステージの前に運ぶ ・こまの紐や縄跳びは結んで片付ける	・お客さんが座る椅子をステージの前に運ぶ ・こまの紐や縄跳びは結んで片付ける	・こまの板や台を運んでこま回しをする ・こまの紐や縄跳びは結んで片付ける ・じゅうたんを敷いてゲームをする ・木や遊具に引っかからない場所でたこあげをする ・プレイウォールの周りを掘り進め、水を流す	・出しやすくなるようロッカーを整理する ・同じ種類のものをまとめてしまう ・とりやすい向きに揃えてしまう ・ボールがつきやすいように広い場を選んだり、物を端に避けたりする ・ごっこ遊びで生活するための場を作る ・砂土水を使って楽しくなる遊び場をつくる	・プールやびき、一足マットを敷く ・濡れる一足マットを敷く ・ごっこ遊び作る ・砂土水を使って楽しくなる遊びをつくる	・コーンを並べてリレーのスタートの場所を分かりやすくする ・リレーのコースを決めてリレーの走るコースをつくる	・本物のお店みたいになるように必要な道具や値段の表示の仕方を考える ・話し合いやすいようにテーブルを囲んで座ったり輪になって集まったりする ・商品を作ることができるように作業場を店の中に作る	・こまの板を出したり、こまの台を増やしたりする ・ゲーム遊びをするときにマットを敷く ・秘密基地に入れるように周りを囲んだり、登れるようにはしごをつけたりする ・話し合いやすいようにテーブルを囲んで座ったり輪になって集まったりする	

財の資質・能力とは何か。
幼稚園段階でもねらう必要があるか検討する。
お金には限りがあるは資源？
物の価値、値打ちの感覚は別の資質・能力か

暮らしをつくる【財を活用する】売買の仕組みやサービスについて知り、お金を適切に扱うおうとする

年齢	3歳児							4歳児												5歳児										
初等教育要領	ごっこ遊びを通して、先生や友達と売ったり買ったりすることを楽しむ																													
年齢	3歳児											4歳児											5歳児								
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程								ごっこ遊びを通して、先生や友達と、売ったり買ったりするやりとりを楽しむ											ごっこ遊びを通して、先生や友達とお金やカード、チケットを使って売ったり買ったりすることを楽しむ											
年齢	3歳児											4歳児											5歳児								
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい								ごっこ遊びを通して、先生や友達と、売ったり買ったりするやりとりを楽しむ											ごっこ遊びを通して、先生や友達とお金やカード、チケットを使って売ったり買ったりすることを楽しむ											
遊びや生活の場面								・お店やさんごっこでお金を払ったり、物を買ったりする				・チケットやお金を使って遊ぶ ・お店の人になって物を売ったり、お客さんになって買ったりする				・ごっこ遊びをする ・葉や石をお金に見立てる ・お店の人になって物を売る			・ごっこ遊びをする ・お金を作ったり、売り買いに使ったりする ・ポイントカードやチケット、切符、クレジットカード、割引券を作ったり、売り買いに使ったりする ・葉や石をお金に見立てる ・商品に値段をつける ・電子マネーを使ってやり取りをする										
												・お金やチケットを作ったり、使ったりする							・お店屋さんごっこで商品を買う							・お店屋さんごっこで売り買いをする				

日本の文化や伝統（わらべうたなど）に親しむ経験を充実できないか。負担とのバランスをとって。
月のねらいも新たに「日本の文化や伝統にふれ、関心をもつ」といった筋を加える？

【多様な文化を尊重する】自国の文化や他国の文化のよさや互いの文化の違いを知り、認めようとする

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
初等教育要領	身近な伝統行事、祝祭日に触れ、興味・関心をもつ												他の地方や他国の存在を感じる												身近な伝統行事、祝祭日に触れ、日本の風習や生活の節目を感じる											
																									他の地方や他国の存在を知ったり、その地の生活の仕方や言葉、衣類などの違いを感じたり、面白いと思ったり、よさを感じたりする											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	身近な伝統行事に興味をもつ												身近な伝統行事、祝祭日に触れ、関心をもつ												身近な伝統行事、祝祭日に触れ、日本の風習や生活の節目を感じる											
													他の地方や他国の存在を感じる												他の地方や他国の存在を知ったり、その地の生活の仕方や言葉、衣類などの違いを感じたり、面白いと思ったり、よさを感じたりする											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい		こいのぼりを見たり、中に入ったり、柏餅を食べたりして、子どもの日の風習や楽しさを感じる		七夕の話を聞いたり、笹飾りを作ったり、願い事を書いたりして、七夕の風習や楽しさを感じる	月見の風習を知り、お月見団子を作ったり、ススキを飾ったりする			クリスマスの話を聞いたり、絵本を見たり、サンタクロースからのプレゼントを楽しみにしたりする	月見団子を作って食べたり、お月様にお願いごとをしたりする	豆まきの話を聞いたり、豆まきをしたり、鬼のお面を作ったりする	雛人形を見たり、ひな祭りの歌を歌ったりする		子どもの日の由来を聞いたり、こいのぼりを作ったりする	父の日の由来を聞いたり、プレゼントを作ったりする	七夕の由来を聞いたり、笹飾りを作ったり、願い事を書いたりする	お月見の由来を聞いたり、月見団子を作ったりする	十五夜の由来を聞いたり、月見団子を作ったりする	体育の日の由来を聞いたり、運動会をしたりする	文化の日の由来を聞いたり、作品を展示したりする	クリスマスの由来を聞いたり、クリスマスパーティーをしたりする	冬至の由来を聞いたり、ゆず湯に入ったりする	大晦日の由来を聞いたり、年越しそばを食べたりする	節分の由来を聞いたり、豆まきをしたりする	ひな祭りの由来を聞いたり、ひな人形を飾ったりする	雛祭りの由来を聞いたり、ひなあられを食べたりする	
遊びや生活の場面		・こいのぼりの絵本を見る ・こいのぼりを見る ・こいのぼりの中を通る ・柏餅を食べる ・こいのぼりの歌を聞いたり歌ったりする		・七夕の絵本を見る ・七夕の歌を聴く ・笹飾りを作る ・お人形い事を書く ・七夕の歌を歌う	・月の絵本を見る ・お月見の歌を歌う			・クリスマスの話をしたり聞いたりする ・クリスマスの絵本を見る ・クリスマスの歌を歌う ・プレゼントを入れてもらう ・靴下を作る ・プレゼントをもらう	・月を見る ・正月遊びをする ・お話をする（凧、回マ、笑羽つろ、的当て、こま回し、根っこ）	・豆まきの話を聞く ・豆まきをする ・豆まきの歌を歌う	・ひな祭りの話を聞く ・ひな祭りの絵本を見る ・雛人形を見る ・雛人形を作る（折紙、紙製作） ・ひな祭りの歌を歌うたう ・ひなあられを食べる		・こいのぼりが空を泳ぐ姿を見る ・こいのぼりの中をくぐって遊ぶ ・こいのぼりの絵本を見る ・柏餅を食べる ・こいのぼりの歌を歌う ・母の日や憲法記念日の話を聞く	・父の日の話をする	・七夕の話を聞いて来る ・七夕の絵本を見る ・笹飾りを作る ・願い事を短冊に描く ・七夕の歌を歌う ・海の日の話を聞く	・月見の話を聞いたり、夜空を観察したりする ・月見団子を作って食べる ・敬老の日の話を聞く	・体育の日の話を聞く	・文化の日の話を聞く	・新年の挨拶をする ・お正月の食べ物や、年賀状、干支などの話をする ・伝統的な遊びをする（こま、羽根つき、すごろく、かるた）	・豆をまいたり食べたりすることの意味を知る ・豆まきをして鬼を追い出す ・豆を食べる ・豆まきや鬼の絵本を見る ・豆まきの歌を歌う	・雛人形を飾る、絵本を見る ・雛祭りの歌を聞く ・雛祭りの歌を歌う ・雛あられを食べる ・雛祭りの絵本を見る ・春分の日の話を聞く		・子どもの日の話を聞いたり、自分のこいのぼりを作ったりする ・こいのぼりの歌を歌ったり、柏餅を食べたりして、子どもの日の風習を感じたりする ・その日の意味を知ったりする ・母の日の意味を知る ・憲法記念日で休みになることを知る	・父の日や時の記念日の意味を知る	・天の川を見たり、七夕の話を聞いたり、七夕の歌を歌ったり、笹飾りを聞いて作ったりに込められた思いを聞いて作ったり、短冊に願いごとを書いたりして、七夕の風習を感じたり、その由来を知ったりする ・海の日で休みになることを知る	・十五夜の話を聞いたり、お月見をしたりして、十五夜の日の風習を感じる ・敬老の日、秋分の日の意味を知る	・体育の日の意味を知る	・文化の日、勤労感謝の日、七五三の意味を知る	・サンタさんが来ることを楽しみにしたり、「お正月」を歌ったり、年末の挨拶をしたりして、年の節目を感じる ・今年の干支や来年の干支、十二支について知る	・正月の話を聞いたり歌「鏡開き」を歌ったりする ・節分の風習を感じたりして、節分の意味を知ったりする ・節分の由来を聞いたり、豆まきをしたりする ・雛祭りの歌を聞いたり、雛人形を見たり、雛祭りの歌を歌ったりして、雛祭りの意味を知る ・雛祭りの歌を聞いたり、雛祭りの話を感じたりする ・雛祭りの歌を聞いたり、雛祭りの話を聞く ・掲示している絵本を見る	
月のねらい													他の地方や他国の存在を感じる												他の地方や他国の存在を知ったり、その地の生活の仕方や言葉、衣類などの違いを感じたり、面白いと思ったり、よさを感じたりする											
遊びや生活の場面																									・スポーツなどのニュースを見たり聞いたりする ・外国の絵本を見る ・地球儀や日本地図を見る　・国旗の図鑑を見る											

社会とのつながりを築く【施設や働く人とつながりをもつ】施設や働く人の役割を知り、自分の関わり方を考える

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	幼稚園の施設や生活を教えてもらったり感じたりして、幼稚園がどんなところかを知る												幼稚園や園外保育先の施設、そこにある物に興味・関心をもち、それらがみんなの物であることを知る												施設や施設にある物を使う時にはきまりごとがあると知り、その意味が分かり、きまりごとを守って使おうとする					施設や施設にある物を使う時にはそこでのきまりごとの意味を考えて過ごそうとする					
							興味・関心をもって見たり関わったりして、幼稚園のいろいろな人と自分との関係や生活と自分との関係を知る								興味・関心をもって見たり関わったりして、幼稚園のいろいろな人と自分との関係や幼稚園に関わる人の役割を知る												自分の生活に関わる社会の人の役割を考える											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	幼稚園の施設や生活を教えてもらったり感じたりして、幼稚園がどんなところかを知る												幼稚園や園外保育先などの施設がどんなところかを知る												幼稚園や園外保育先、小学校、市立図書館などの施設がどんなところかを知る											
遊びや生活の場面	・下足板の手前で下靴を脱ぐこと ・室内では上靴を履くこと ・園内戸外では園の下靴を履くこと ・朝の身支度時に、カバンや帽子、絵本袋をロッカーにかけ、帽面を出し、タオルをタオルかけにかけること ・砂場の砂は砂場に戻すこと ・おやつや牛乳を飲食すること ・蛇口をひねって水を出すこと ・上靴のままトイレに入ること ・保育室前の芝生は上靴で行ってよいこと ・園生会があること ・保護者と離れるとトイレではスリッパを履く	・怪我をしたときや体調が悪い時は保護の先生がみてくれること ・園内では園の下靴を履くこと ・砂場の砂は砂場に戻すこと ・発育測定をすること ・避難訓練でこわいことやこわかったことがあれば先生が助けてくれること ・園生会があること ・お家の人と一緒に遊ぶ日があること ・絵の具を使う時はスモックを着ること ・誕生日会があること ・お迎えの場所までみんなで歩く ・レインコートをトコに掛けること	・砂場の砂は砂場に戻すこと ・靴に立てること ・レインコートをコートかけに掛けること	・水遊びの着替えは、床が濡れないようにシートの上で着替えること ・プールに入る前にシャワーを浴びること ・終業式では皆が集まって歌をうたったり、一学期が終わって夏休みに入る話を聴いたりすること ・長みず	・始業式では皆が集まって歌をうたったり、一学期が終わって夏休みに入る話を聴いたりすること ・運動会があることや、運動会で体操、こいこいスムをすること ・避難訓練でこわいことやこわかったことがあれば先生が助けてくれること	・運動会があることや、運動会で体操、こいこいスムをすること ・避難訓練でこわいことやこわかったことがあれば先生が助けてくれること	会と運動会で体操、リズム表現をすること ・写真撮影があるかと知る	写真撮影があるかと知る ・写真撮影席いい分こと知る	力をと欠てかるを ・園生会があること ・誕生日会があること ・帽子を替える ・帽替衣がこと	訓練こと先助くこ ・避難訓練で困ったときに先生が助けてくれること ・始業式があること	会と発で家にもこ知 ・発表会があこや、表はの見らうとを	冬がこ ・冬休みあると次もなともは分で	育がこもはこ組自ムをしたりシールをたり、写ー動たる ・長い休あると次もなともは分で ・終業式があること	遊ぶ ・入園式がある ・園は組ぶや遊ある ・芝上もでもれる ・テラはを靴くトでリッをる ・登園時に力をする ・誕生日会がある ・帽子を替える ・誕生日会がある ・帽替衣がこと	遊ぶ ・園は組ぶや遊ある ・芝上もでもれる ・テラはを靴くトでリッをる

		海）		園）			プレイボードを使う ・大芝生を幼稚園の他のクラスと時間を分け合って使う				る ・図書館での過ごし方を考える	考える ・天文科学館で他の人の迷惑にならない過ごし方を考える ・図書館での過ごし方を考える	る	考える ・天文科学館で他の人の迷惑にならない過ごし方を考える ・図書館での過ごし方を考える	る	を考える ・植物を大切にするため森林植物園のきまりのことを聞くこと ・図書館での過ごし方を考える	を考える	る		にならない過ごし方を考える

社会とのつながりを築く【資源の活用を見つめる】限りあるものの適切な使い方や使う量を考え、大切に扱おうとする

年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
初等教育要領	見たり、聞いたり、教えてもらったりして、無駄になることはよくないと感じる												まだ使えるものを捨ててしまうことや必要以上に使うことをもったいないと感じる												まだ使えるものを取っておこうとしたり、無駄にならない使い方を考えて大切に使おうとしたりする											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
教育課程	見たり、聞いたり、教えてもらったりして、無駄になることはもったいないよくないと感じる						見たり、聞いたり、教えてもらったりして、無駄になることはもったいないと感じ、大切にしようとする						まだ使えるものを捨ててしまうことや必要以上に使うことをもったいないと感じたり、大切にしようとしたりする												まだ使えるものを捨ててしまうことや必要以上に使うことをもったいないと感じたり、取っておこうとしたりする											
年齢	3歳児												4歳児												5歳児											
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3		4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	
月のねらい	見たり、聞いたり、教えてもらったりして、無駄になることはもったいないよくないと感じる						見たり、聞いたり、教えてもらったりして、無駄になることはもったいないと感じ、大切にしようとする						まだ使えるものを捨ててしまうことや必要以上に使うことをもったいないと感じたり、先生や友達がしていることを見聞きして労力や時間が少なく済むことを感じたり、してみようとしたりする												まだ使えるものを捨ててしまうことや必要以上に使うことをもったいないと感じたり、取っておこうとしたり、時間には限りがあることを感じたり、労力や時間が少なく済む方法を知ったり感じたりする											
遊びや生活の場面	・まめに電気を消す姿を見る ・水を出しすぎているのを弱める ・石けんや消毒液の必要な量を聞いて使う			・まめに電気を消す姿を見る ・水を使わない時は止める ・水の量を調節して手洗い・うがいをする ・アルコールやハンドソープを必要な量を出して使う			・まめに電気を消す姿を見る ・水を使わない時は止める ・水の量を調節して手洗い・うがいをする ・使いかけの折り紙や廃材を置いておく ・使いかけの画用紙を集める ・インクが乾かないようにペンやハンコのふたをすぐしめる ・外に出た砂場の砂を元に戻す			・外に出た砂場の砂を元に戻す ・水を使わない時は止める ・使いかけのや折り紙や廃材をおいておく ・使いかけの画用紙を集める			・水を使わない時は止める ・水の量を調節して手洗い、うがいをする ・使った廃材をばらして置いておく ・使いかけのや折り紙や廃材をおいておく ・壊れたものを修理する ・使いかけの画用紙を集める ・伸ばしすぎたスズランテープを教師と巻く ・たらいに水をためて玩具や雑巾などを洗う ・外に出た砂場の砂を元に戻す ・まめに電気やエアコンを消す姿を見たり、消したりする ・玩具や道具をそっと運んだりおいたりする			・水を使わない時は止める ・水の量を調節して手洗い、うがいをする ・使った廃材をばらして置いておく ・使いかけのや折り紙や廃材をおいておく ・壊れたものを修理する ・使いかけの画用紙の残りを取っておく ・伸ばしすぎたスズランテープや毛糸を巻く ・外に出た砂場の砂を元に戻す ・まめに電気やエアコンを消す姿を見たり、消したりする ・玩具や道具をそっと運んだりおいたりする			・水を使わない時は止める ・水の量を調節して手洗い、うがいをする ・使った廃材をばらして置いておく ・使いかけのや折り紙や廃材をおいておく ・壊れたものを修理する ・使いかけの画用紙の残りを分けて取っておく ・伸ばしすぎたスズランテープや毛糸を巻く ・外に出た砂場の砂を元に戻す ・まめに電気やエアコンを消す姿を見たり、消したりする ・玩具や道具をそっと運んだりおいたりする			・画用紙や折り紙、廃材、スズランテープや毛糸、モール、ビーズ、段ボールなど残ったものを取っておく ・水の量を調節したり使っていない時に水を止めたりして手洗い、うがいをする ・こぼした餌を拾って戻す ・まめに電気を消す姿を見たり、その理由を聞いたりする			・画用紙や折り紙、廃材、スズランテープや毛糸、モール、ビーズ、段ボールなど残ったものを取っておく ・水の量を調節したり使っていない時に水を止めたりして手洗い、うがいをする ・こぼした餌を拾って戻す ・落ち葉や枝でたき火をする ・炭を植木や野菜に撒く ・使う量貼り方を考えてテープ類を使う ・使う大きさに合わせて折り紙や画用紙、などを選ぶ ・まめに電気を消す姿を見たり、その理由を聞いたりする			・画用紙や折り紙、廃材、スズランテープや毛糸、モール、ビーズ、段ボールなど残ったものを取っておく ・水の量を調節したり使っていない時に水を止めたりして手洗い、うがいをする ・こぼした餌を拾って戻す ・使う量貼り方を考えてテープ類を使う ・作った作品の修理をする ・壊れた道具の修理をする ・使う大きさに合わせて折り紙や画用紙、などを選ぶ ・まめに電気や消す姿を見たり、その理由を聞いたりする			・画用紙や折り紙、廃材、スズランテープや毛糸、モール、ビーズ、段ボールなど残ったものを取っておく ・水の量を調節したり使っていない時に水を止めたりして手洗い、うがいをする ・こぼした餌を拾って戻す ・使う量貼り方を考えてテープ類を使う ・作った作品の修理をする ・壊れた道具の修理をする ・使う大きさに合わせて折り紙や画用紙、などを選ぶ ・まめに電気や消す姿を見たり、その理由を聞いたりする			・画用紙や折り紙、廃材、スズランテープや毛糸、モール、ビーズ、段ボールなど残ったものを取っておく ・水の量を調節したり使っていない時に水を止めたりして手洗い、うがいをする ・こぼした餌を拾って戻す ・使う量貼り方を考えてテープ類を使う ・使う大きさに合わせて折り紙や画用紙、などを選ぶ

幼ではなくす方向へ。

社会とのつながりを築く【過去とのつながりを捉える】社会や文化の発展を歴史の流れとのかかわりで捉える

年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
初等教育要領																																	
年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程																																	
年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい																																	
遊びや生活の場面																																	

社会とのつながりを築く【土地の特色を捉える】日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとの関わりで捉える

年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
初等教育要領																																	
年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程																																	
年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
月のねらい																		明石公園から街を眺めて、明石の街の近くに天文館があることや、明石駅や明石海峡大橋があることを感じる															
遊びや生活の場面																		・園外保育に行く															

ニュース、新聞から地域のことを知らせたときの反応を捉えていく。
幼稚園の場所、自宅の場所、地名。

明石再発見をめざして見たり、海峡の様子に着目して見たり、明石大橋から街を眺めたりして、明石の街の近くに海があることや、明石と淡路島を結ぶ明石海峡大橋があることを感じる

・園外保育に行く

買い物体験で、幼稚園や明石海峡大橋、淡路島、海など、知っているものを探したり、見つけたりすることを楽しむ

・園外保育に行く

社会とのつながりを築く【平和を求める】争いや差別の原因を探り、人とのかかわり方を考える

社会的資質・能力で説明できる。

年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
初等教育要領																																	
年齢	3歳児											4歳児											5歳児										
月	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
教育課程																																	

令和６年度　３歳児　「運動会リズム表現」

（実践前修正箇所を*斜体*、実践後修正箇所を囲み文字、毎年取り上げる題材によって変わる部分は網かけにて示す。）

１．期間　９月～１０月

２．設定の理由

子ども達は、４月下旬から思い切り走ったり、遊具に登ったり、滑り台を滑ったり、ストライダーをこいだり、ジャンピングで跳んだり、ゲームボックスから跳び下りたりして、様々に身体を動かすことを楽しんできている。また、生き物になって走ったり跳んだり這ったり、*消防隊、レスキュー隊~~電車の運転手~~*や店員さんになってお客さんと会話したり料理を振舞ったりするなどのごっこ遊びも楽しんでいる。また、絵本の繰り返しの展開を楽しんだり、教師やクラスの友達と一緒に、曲のリズムに合わせて思い切り身体を動かすことを楽しんだりしている。

幼稚園生活に慣れるにつれ、ダンゴムシやチョウを捕まえたい、追いかけっこがしたい、砂場で大きな穴や山を作りたい、遊具に乗りたいなど自分の好きなことを見つけたり、したいと思ってしようとしたりしている。そして、よく遊ぶ友達、好きな友達と砂場で横に並んで同じ遊びをしたり、近くにいる友達と捕まえた虫を見せ合ったり、*一緒に乗り物に乗ってパトロールをしたり~~一緒に手作り電車に乗ったり~~*、滑り台を滑ったりなど、友達と一緒に遊ぶ楽しさや、友達と一緒にいる心地よさを味わい始めている。

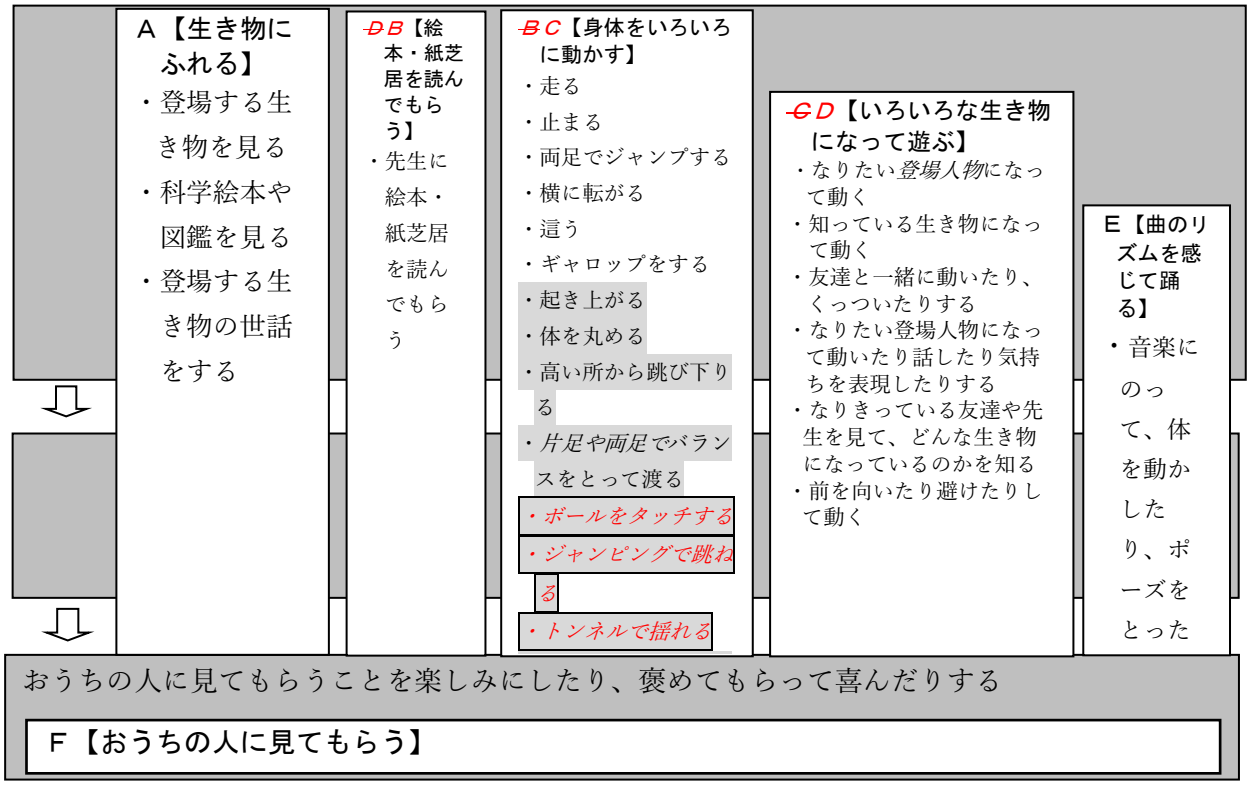
また、運動会がどういうものであるのか、初めての子ども達にとっては思い描くことは難しいが、集団生活に入って半年に満たない子ども達にとって、保護者にそばにいてほしい、見てもらいたい気持ちはとても強く、親子ふれあいの日や参観日などおうちの人が一緒に遊んでくれる、見てくれることをとても嬉しく感じているため、おうちの人に見てもらえる楽しみや、見てもらって嬉しいという気持ちを味わえると考える。

そこで、運動会に向けて、学年全員でリズム表現遊びに取り組む過程で、身近な生き物や好きな生き物などになって、大きくなった嬉しさを感じて様々なことをやってみようと思ったり、難しいけれど頑張った、頑張ってできるようになった、強くなったことを感じたり、同じことをしている友達がいることに嬉しいと思ったり、やってみようと様々な遊具に興味をもって身体をいろいろに動かす楽しさを味わったりしてほしい。また、長い期間にわたり、学年全員で一つのごっこ遊びをする中で、よく遊ぶ友達や好きな友達だけでなく、クラスを越えた友達と同じ遊びをしたり、一緒に身体を動かしたりして、一緒にいる心地よさや、一緒に遊ぶ嬉しさを味わってほしい。そして、好きな登場人物になれたり、したい遊びができたり、おうちの人に見てもらったりして嬉しい気持ちを感じてほしいと考える。

３．ねらい

①	なりたい登場人物を思ってなったり、*大きく*強くなりたいと思って登場人物になったりする。 ゲームボックスから遠くまで跳び下りたい、もっと高く跳びたい、バランスストーンを片足や両足で落ちずに渡りたい、*ボールをカゴに入れたい、ボールをタッチしたい、ジャンピングで跳びはねたい、トンネルで揺れたい*、こんなポーズをとりたいなどのいろいろな動きをしたいと思ってしようとする。	自ら決める・選ぶ
②	なりたい生き物になって遊んだり、したいと思うことができたり、先生やおうちの人に見てもらったりすることを嬉しいと思ったり、自分が考えたことや頑張っていることに自信をもったりする。	自分に満足する
③	*なりたい生き物になって遊んだり、したいことをして遊んだり、友達や先生と一緒に遊んだり、教えてもらったり、尋ねられたり、褒めてもらったりして何が楽しいか、何が好きか、何が得意か、どんなことができるようになったか、自分の表現のよさや頑張りなどを感じたり気付いたりする。*	*自分のことを知る*
④	先生や*いろいろな*友達と身を寄せたり、同じ生き物になって動いたり、一緒に同じ動きをしたりして一緒に遊ぶ楽しさを感じる。 ~~*今まであまり関わりのなかった友達や先生と遊ぶ楽しさを感じる。*~~	他者といる喜びを感じる
⑤	*人がたくさんいる場所で走ったり、高いところから跳び降りたりするとぶつかってしまうことを教えてもらって、周りを見たり、間隔を開けたり、順番を待ったりして危なくないようにしようとする。* ~~*芝生を走るときに前を見て、友達や物をよけたりするとぶつからないことを感じたり、高い場所から飛び降りるときに倒れないように、手を着いて着地したり飛び降りる先に誰もいないか見て跳んだりしようとする。*~~	身を守る
⑥	走ったり、止まったり、両足でジャンプしたり、横に転がったり、這ったり、ギャロップしたり、片足で立ったり、体を丸めたり、高い所から跳び下りたり、バランスをとって渡ったり、高ばいをしたり、*狙ってボールを投げたり*など、いろいろに体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	身体を操作する
⑦	登場する生き物を実際に見たり、触ったり、図鑑で見たり、*その生き物が登場する絵本を読んでもらったり*して、動きや姿、~~*成長*~~*生態*を面白いと思う。	生き物・命を見つめる
⑧	リズムを感じながら体を動かしたり、ポーズをとったりすることを楽しむ。	音楽に表す
⑨	お話の中で、登場人物の強くなりたい気持ち、大きくなった嬉しさや様々なことをやってみようという気持ち、難しいけれど頑張った、頑張ってできるようになった、強くなった自信を感じる。	文芸に表す
⑩	登場人物になってごっこ遊びを楽しんだり、登場人物の気持ちや動き、場面を思い浮かべて表現することを楽しんだりする。	身体の動きに表す
~~*5*~~	~~*友達や先生がしていることを見たり、聞いたり、一緒に遊んだりしながら、何を楽しんでいるか、何が好きかなどを感じたり知ったりする。*~~	~~*他者のことを知る*~~

４．展開



A【生き物にふれる】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・登場する生き物を見る ・科学絵本や図鑑を見る ・登場する生き物の世話をする	○登場する生き物の動きや姿、成長を面白いと思う⑦	＊登場する生き物に~~ついて知ることを楽しめる親しみを感じられる~~ように、科学絵本や写真、図鑑を見やすい場所や手に取りやすい場所に用意しておく。 ＊捕まえた虫や飼育する生き物をじっと見たり飼ったり~~することが出来る~~して親しみを感じられるように、~~カップや虫かごをすぐに取り出せる~~うめ組のテラスに連れてきたり、タライで世話したり、ネット型の虫かごに入れたりする~~場所に用意しておく。~~ ＊~~世話をする虫たちに落ち葉をやることを楽しめるように、園庭に落ち葉を集めて置いておく。~~ ◎捕まえた生き物に餌をあげたり世話をしたり~~できる~~して親しみを感じられるように、食べ物や世話の仕方を一緒に調

		べ~~てたり~~一緒に~~用意~~したり~~あげたり~~する。 ◎動きや習性、姿~~を~~の面白~~い~~さを感じられる~~と思える~~ように、~~虫を探すことに誘ったり、一緒に探したり~~、教師も一緒に見て驚いたり、子どもの気付きに共感したり、一緒に世話をしながら動きや成長などを言葉にしたり保育室に掲示したりして知らせたりする。

~~D~~B【絵本・紙芝居を読んでもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・先生に絵本や紙芝居を読んでもらう	○他のクラスの先生や友達と一緒に絵本や紙芝居を見ること~~を楽しむに嬉しさを感じる~~。④ ~~○生き物の生活や生態について知り、親しみをもつ。⑦~~ ○お話の中で、登場人物の気持ちを感じる⑨ ~~○お話の中で、大きくなった、強くなったことへの自信を感じる⑪~~	＊読んでもらった絵本を自分で見たい子どもがいつでも見られるように、読んだ後は絵本棚の目立つところに置いておく。 ＊学年で一緒に~~過ごす活動する~~嬉しさを感じられるように、学年で一緒に絵本や紙芝居を読む機会をもつ。 ~~◎実際に見たり、世話をしたり、ごっこ遊びをしたりした生き物に親しみを感じられるように、その生き物が登場する絵本を読む。~~ ◎登場人物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている場面は、その気持ちを感じるために理解しておかなければならない言葉をゆっくりはっきり読んだり、心情を表す言葉は心情に合った声色や声の調子で読んだりする。 ~~◎大きくなったことへの自信を感じられるように、心も体も強くなれたことや、大きくなったことを言葉にして話したりする。~~ ＊お話の世界を楽しめるように遊んできたストーリーの紙芝居を作って読んだり、ホームページに載せたりする。 ＊お家の人と一緒に絵本の世界を楽しめるように、絵本の貸し出しをしたり子どもたちと見た絵本や紙芝居をホームペ

		ージに載せて紹介したり、あらすじを伝えたりする。

~~B~~ C【身体をいろいろに動かす】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・走る ・止まる ・両足でジャンプする ・横に転がる ・這う ・ギャロップをする ・起き上がる ・身体を丸める ・高い所から跳び下りる ・バランスをとって渡る *・高いところをタッチする* *・ジャンピングで跳ねる* *・トンネルで揺れる* ・前を見て走ったり跳んだり、よけたり、手をついたりする	○~~友達や~~他のクラスの先生*や友達たち*と一緒に遊んだり、おやつレストランでおやつを食べたりすること~~*に嬉しさを感じる*~~*を喜ぶ*④ ○遠くまで跳び下りたい、高く跳びたいという気持ちになってしようとする①	＊全員でしてもぶつからずに思いきり走ったり跳んだりできるように広い芝生や遊戯室、また転んでも大きなケガにつながらないように、保育室の芝生や大芝生で行う。 ◎他のクラスの先生や友達を身近に感じられるように、学年一緒に活動したりおやつを食べたりする機会を増やす。 ◎遠くまで跳び下りたいと思えるように、教師が遠くまで跳び下りて喜ぶ姿を見せたり、どこまで跳び下りることができるか期待する姿を見せたり、遠くまで跳び下りられたことを一緒に喜んだりする。 *＊自分でどの高さまで跳びたいか決められるように、あと少しで届きそうなくらいの、長さの違う紐にぶら下げたボールを用意する。~~どれくらいの高さにするのか尋ね、それに合わせてタンバリンを持つ。~~* ＊あそこまで跳び下りたいと思えるように、色の違うフープを下りる場所の目印として並べて置いておく。
	○バランスストーンを落ちずに渡りたいという気持ちになってしようとする①	◎やってみようと思えるように、教師が落ちそうになりながらも渡れて喜ぶ姿を見せたり、落ちずに渡る友達の存在を知らせたり、簡単すぎず難しすぎない距離にバランスストーンを配置したり、難しさで分けたコースを作ってみたことを知らせたり、教師がやって見せたりする。
	○ボールを投げ入れたいという気持ちになってしようとする①	*◎投げ入れようと思えるように、カゴに鈴をつけておいたり、教師が投げ入れようと挑戦する姿を見せたり，もう少しで入りそうだと励ました*

		り，ねらって入れることを伝えたりする。
	○したいことができたり、先生に見てもらったりする嬉しさを感じる②	◎したいことができたり、先生に見てもらったりする嬉しさを感じられるように、一緒にできたことを喜んだり、笑顔で見守ったりする。
	○友達と一緒に同じ動きをして、一緒に遊ぶことに楽しさを感じる④	◎友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、全員で同じ動きを同時にする場面を取り入れたり、みんなで一緒にする楽しさを言葉にしたりする。
	○走ったり、止まったり、両足でジャンプしたり、横に転がったり、這ったり、ギャロップしたり、体を丸めたり、高い所から跳び下りたり、バランスをとって渡ったり、高いところをタッチしたり、ジャンピングで跳ねたり、トンネルで揺れたりなど、いろいろに体を動かす楽しさや心地よさを味わう⑥	＊いろいろに身体を動かす楽しさや心地よさを感じられるように、ゲームボックスや平均台、バランスストーン、ボール入れ、ジャンピング、トンネル、吊り下げボールを出す。 ＊バランスをとって渡れるように、バランスストーンをつなげてみたり、足を少し広げて渡る距離に配置したりする。 ◎いろいろに身体を動かす楽しさや心地よさを感じられるように、走る、止まる、両足でジャンプする、横転する、這う、ギャロップする、体を丸めたり、~~仰向けになって足をじたばたさせたり、~~高い所から跳び下りたり、バランスをとって渡ったり、高いところをタッチしたり、ジャンピングで跳ねたり、トンネルで揺れたり~~、転がったり~~などの動きを教師が率先してしたり、登場する生き物らしい動きが出ている場面を取り入れたり、している子どもの動きを言葉にして知らせたり、一緒にしながら楽しさを言葉にしたり笑ったりする。
	~~○走るときに前を見て、友達や物をよけたりするとぶつからないことを感じたり、飛び降りるときに倒れないように、手を着いて着地したり飛び降りる先に誰もいないか見て跳んだりする⑥~~	
	○人がたくさんいる場所で走ったり、高いところから跳び降りたりするとぶつかってしま	◎危ないことを感じて、危なくないようにしようと思えるように、危ないと感じているタ

	うことを教えてもらって、周りを見たり、間隔を開けたり、順番を待ったりして危なくないようにしようとする。⑤	イミングで原因を言葉にしたり、危なくなりそうなことを知らせたりする。

~~C~~D【いろいろな生き物になって遊ぶ】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・なりたい登場人物になって動く ・知っている生き物になって動く	○なりたいものを思ってなろうとする①	◎なりたいものを思ってなろうとすることができるように、登場するもの*を近くに連れてきて見せたり、~~、について~~*写真や絵を見せたり、子どもが知っていることを学年やクラス全体に知らせたり、状況を詳しく話したり、教師が楽しそうにやって見せたりする。
	○なりたいものになったり、先生に見てもらったりすることを嬉しいと思ったり、自分が考えたことや頑張っていることに自信をもったりする②	◎なりたいものになれたり、先生に見てもらったりすることを嬉しいと思えるように、子ども一人ひとりが楽しんでいる動きを具体的にほめたり、教師の感動を伝えたりする。 ◎考えたことや頑張っていることに自信をもってできるように、それぞれの子どもの考えたこと、頑張っていることを具体的に褒める。
・友達と一緒に動いたり、近くで見たりする	○友達と身を寄せたり、同じ生き物になって動いたり、一緒に同じ動きをしたりして一緒に遊ぶことに楽しさを感じたりする④	◎友達と一緒に遊びながら楽しさを感じられるように、同じ生き物になって動いたり応援したりする機会や同じ動きをする機会を作ったり、一緒にしている楽しさを言葉にしたりする。
・なりきっている友達や先生を見て、どんな生き物になっているのかを知る	*~~○友達がなりきっている登場人物を見て、どんな~~虫~~生き物になっているのかや楽しんでいるのかを考えたり、知ったりする⑥*	*~~◎友達~~の楽しんでいることに興味を向けられるよう、~~近くで見ながら、友達がどんな登場人物になっているのかを一緒に考えたり、伝えたりする。~~*
・前を向いたり避けたりして動く	○登場人物になりきって動くときに、*~~前を見たり、よけようとしたりするとぶつからないのだと感じる⑤~~周りを見たり、間隔を開けたりして危なくないようにしようとする。⑤*	◎*周りを見たり、間隔を開けたりすると危なくない~~前を見て走るとぶつかりにくい~~*ことを感じられるよう、*~~前~~周り*を見ることや、*広い場所を見付け~~よけ~~*たりするとぶつからないことを遊びながら伝える。
・なりたい登場人物になりきって動いたり気持ちを表現したりする	○実際に登場するものを見たり触れたりして、親しみをもって動きに取り入れようとする⑦	＊登場するものに親しめるように、近くで様々な*~~虫~~生き物*を見たり、触ったり、飼ったりする機会をもつ。

	○お話の中で、登場する生き物の気持ちを感じる⑨	◎登場人物の気持ちを感じられるように、気持ちを感じられる場面で遊びながら、その時々の子どもの気持ちを言葉にしたり、気持ちに共感したりする。
	○お話の中で、大きくなった、強くなったことへの自信を感じる③	*◎大きくなったことや強くなったことへの自信を感じられるように、心も体も強くなれたことや、大きくなったことを言葉にして話したりする。*
	○なりたいものになって、ごっこ遊びを楽しむ⑩	＊いろいろな生き物の動きを思う存分できるように、広い芝生や遊戯室で行う。 ◎なりたいものになってごっこ遊びをすることを楽しめるように、教師が一緒になってモデリングしたり、子どもが言っていることやしていることに驚いたり受け止めたりしながら一緒にしたり、その動物や虫の特徴を感じて、なっている子どもの動きを具体的に褒めたり、みんなに見せたりする。
	○登場人物の気持ちや動き、場面を思い浮かべて表現することを楽しむ⑩	◎登場物の気持ちや動き、場面を思い浮かべて表現することを楽しめるように、状況を分かりやすく伝えたり、子どもが思い描いている状況を聞き出したり、状況に合わせて明るい音楽や暗い音をピアノで弾いたり、気持ちをナレーションで伝えたり、登場人物の気持ちを感じて、表現している子どもを具体的に褒めたりする。

Ｅ【曲のリズムを感じて踊る】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・音楽にのって、体を動かしたり、ポーズをとったりする	○踊りたいという気持ちになって踊~~りをしよ~~ろうとする①	◎踊りたいと思えるように、教師が一緒に楽しそうにしてみせたり、リズムを感じて自由に踊る機会をもったり、子どものいいところを褒めたり、友達がしているところ~~を見られるよう~~に注目させたりする。

	○こんなポーズをとりたいと思ってしようとする①	◎こんなポーズがとりたいと思ってしようとできるように、曲の最後に子どもたちが自由にポーズを考えるところを作っておき、色んなポーズをしている面白さを伝える。
	○リズムを感じながら、体を動かすことや、ポーズをとることを楽しむ⑧	＊思い切り踊ることを楽しめるように、広い芝生や遊戯室などで行う。 ◎リズムを感じながら踊れるように、手拍子をしたり、歌って盛り上げたりする。 ◎子どもたち、リズムを感じながらいろいろな動きできるよう踊りやすいテンポの曲を選ぶ。
	○友達のしているポーズや動きを知る＜他者のことを知る＞	◎~~*友達のポーズや動きに興味をもち、どんなことをしているのか知るきっかけになる*~~*友達のポーズや動きの素敵さや面白さを感じられる*ように、友達とポーズや動きを見合~~*ったりする*~~*う機会を設ける*。

Ｆ【おうちのひとに見てもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・見てもらうことを楽しみにしたり、褒めてもらって喜んだりする	○おうちの人に見てもらうことを楽しみにする	◎見てもらうことを楽しみにできるように、運動会の日は、おうちの人が見に来てくれることを知らせ、どこを見て欲しいか尋ねる。
	○楽しんでいることや頑張ってきたことを、おうちの人に見てもらえてよかったと思う②	◎見てもらえてよかったと思えるように、見てもらってどんな気持ちかを言い合ったり、「よかったね」と話したりする。 ◎おうちの人に見てもらえて嬉しいと思えるように、保護者に子どもが楽しんでいたことや頑張っていたことについて具体的に褒められるように動きや表情などよく見て褒めてあげてほしいことを伝えておく。

令和６年度　４歳児　「運動会リズム表現」

（実践前修正箇所を*斜体*、実践後修正箇所を囲み文字にて示す。）

１．期間　　令和６年９月～１０月

２．単元設定の理由

３歳の時に、運動会リズム表現を経験し、なりたい登場人物になりきって、登場人物の気持ちを感じながら遊ぶことを楽しんだ。その中で、いろいろに身体を動かしたり遊具を使って身体を動かしたり、曲のリズムにのって身体を動かしたりする楽しさを味わった。また、友達と一緒に遊び、一緒にいる心地よさや遊ぶ嬉しさを感じてきた。

４歳進級時にクラス替えを行ったことで、３歳の時に関わりの少なかった友達と関わる機会に恵まれた。初めは緊張しながらもクラスという集団で共に過ごす中で、いろいろな友達の個性を感じながら、気の合う友達を見付けて誘ったり誘われたりして一緒に遊ぶ姿が見られつつあった。また、今日はこんな風にしたい、昨日の続きがしたいと思い、やりたいことを意識して遊ぶ姿が見られるようになってきている。また、いろいろなごっこ遊びをする中で、なりたい登場人物の気持ちや場面に応じた動きや話し方を考えてなりきることや、したいごっこ遊びが同じ友達と一緒に、なりきって遊ぶことを楽しんできた。

４歳の２学期になると、できるようになりたい、上手になりたいなどの具体的な目的をもって、少し難しいことに挑戦する姿が増えてくる。そして、できるようになったことや、前よりも上手になってきていることを嬉しいと思ったり自信をもったりする。友達の存在をはっきりと意識し、積極的に友達を誘ったり、友達とのやりとりを楽しいと感じたり、友達のしていることを面白いと思ったりするようになっていく。

運動会のリズム表現は、なりたい登場人物になりきって、お話の場面を思い浮かべたり、登場人物の気持ちを感じたりしながら表現することを楽しむ機会となる。学年全体で取り組むことで、クラスを越えたいろいろな友達の個性を感じながら遊ぶことができる。さらに、みんなで一緒に一つのお話を作り上げていく中で、みんなが楽しくなるように、思い付いたことを考えてしたり、友達の考えを聞いて自分のできることを考えてしたりしようとする機会をもてると考える。また、少し難しいことに１か月という期間で継続して取り組むことで、前よりもできるようになったことや自分の頑張りを感じ、自信につながると考える。

そこで、子ども達に身近で姿や動きが分かりやすい登場人物を取り上げたり、登場人物について図鑑や絵本で見たり知っている友達や先生に聞いたりする機会を作ったりして、登場人物の気持ちや具体的な場面を思い浮かべながら表現することを楽しめるようにしたいと考える。また、クラスの友達やクラスを越えたいろいろな友達とかかわりながら進めていく中で、友達が考えた動きや表情を見て、素敵なところや面白いところ、考えに気付いたり頑張っているところを見たり、困っていることを教えてもらったり応援してもらったりして、友達の頑張り、優しさなどの色々な個性に気付いたりしてほしい。また、みんなで一つのお話に取り組む中で、みんなが楽しくなるように、どうしたらよいか考えたことを話したり、友達に声をかけたり、周りを見てできることをしようとしたりするよう、考えを出し合う機会を作ったり、考えて動いている子どもを知らせたりしていきたい。さらに、*短縄*や*フープ*などの運動用具を使ったり、前転、ギャロップ、スキップ、片足飛び、クマ歩き、カエルの足打ちなどの動きを取り入れたりして、少し難しいことに長期間継続して取り組み、できるようになってきたことや自分の頑張りを感じて、自信をもってほしいと考える。

３．ねらい

①	*短縄フープを手や腰で*回したり跳び越えたりする、前転をする、スキップをする、など少し難しいことを、できるようになりたい、上手になりたいと思い、何度も取り組もうとする。	自ら決める・選ぶ
②	*心も身体も強い忍者*になりたい、素敵なお話にしたいと思い、*心も身体も強い忍者*になりきって遊んだり、より素敵なお話になる考えを出したりし続けようとする。	
③	できるようになりたいこと、上手になりたいことに何度も取り組んだことから、自分の考えたことや頑張ったことを見てもらったり褒めてもらったりして、自信をもつ。	自分に満足する
④	*前よりも上手になったことや、何度も諦めずに挑戦して前回りやカエルの足打ちなどの難しい動きができるようになった自分の頑張りを感じたりする。*	*自分のことを知る*
⑤	いろいろな友達と、一緒に動いたり同じ動きをしたり、身体を寄せ合ったり、手をつないだり、誘ったり誘われたり、相手の動きを見てそれに合わせて動いたり、考えたことを一緒にしたりして、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる。	他者といる喜びを感じる
⑥	友達が考えた動きや表情を見て、素敵なところや面白いところ、考えに気付いたり、友達が頑張っているところを見たり、困っていることを手助けしてもらったりして、友達の頑張りや優しさに気付いたりする。	他者のことを知る
⑦	友達が困っていることを聞いたり助けたりしようとする。	他者のことを考えて行動する
⑧	みんなで一緒にするごっこ遊びが楽しくなるために、どうしたらよいか考えたことを話したり、友達に声をかけたり、周りを見てできることをしたりしようとする。	人とものごとをすすめる
⑨	友達とぶつからないように周りを見たり、間隔を空けたり、どうすると危ないかを聞いたり考えたりして危なくないように動こうとする。	身を守る
⑩	思い切り走ったり、ゆっくり静かに動いたり、止まって小さくなったりするなど、動と静の様々な身体の動きを楽しむ。	身体を操作する
⑪	スキップやギャロップ、*両足跳びや*片足跳びなどをして、地面を蹴って全身を使って跳ねる感覚を感じる。	
⑫	手を広げたり足で踏ん張ったりして、片足でバランスをとろうとする。	
⑬	クマ歩きやカエルの足打ち、前転をして、両手で体重を支えたり頭を下に向けて動いたりする感覚を感じたり、繰り返しする中で、手のつき方や身体の丸め方、足の伸ばし方などを身体で感じたり考えたり試したりする。	
⑭	*手や腰で*回す、跳び越える、*くぐる*など、*短縄フープ*の特性に応じた身体の使い方を繰り返しする中で、体で感じたり考えたり試したりして動く楽しさを感じる。	
⑮	リズムやテンポ、曲調を感じながら、身体を動かす楽しさを感じる。	音楽に表す
⑯	絵本を読んでもらったり、お話を聞いたりして、*心も身体も強い忍者*になりたいと強く思い、*修行を通していろいろな技ができる忍者になりたいと諦めない気持ちで頑張り続けたり*、仲間と力を合わせて*危機を乗り越えた喜び*を感じたり、*忍者の暮らしや城の中*を思い浮かべたりするなど、お話それぞれの場面の様々な登場人物の気持ちを感じたり考えたり、いろいろなお話の展開を感じ、自分達のお話を考える楽しさを感じたりする。	文芸に表す
⑰	登場人物になりきり、その姿や動きの特徴、気持ちや具体的な場面を思い浮かべたり、友達の表現を取り入れたりしながら、動き方や表情、話し方を考えたりして、身体で表現する楽しさを感じる。	身体の動きに表す 関連付ける
⑱	周りを見て広い場所を見付けて動いたり、友達との距離をとったりしよ	空間をとらえる

うとする。

４．展開

なりきって遊ぶことを楽しむ		友達と一緒にいろいろに身体を動かすことを楽しんだり、少し難しい動きに挑戦したりする	
	A【登場人物になりきる】 ・絵本を見たり、お話を聞いたりする ・お話の登場人物になって遊ぶ ・自分の表現を友達や教師に見てもらう ・なりたい登場人物が同じ友達と一緒に動く ・友達が考えた登場人物の動きや表情を見る ・お話の具体的な場面を思い浮かべながら表現する ・喜びのダンスをする ・お話を作る	**B【身近な運動用具で遊ぶ】** ・教師や友達がしているのを見る ・フープを回す、跳び越える、くぐるなどを何度もする ・教師や友達に見てもらう ・友達と一緒にできる遊び方を考えたりしたりする ・友達がしているのを見る ・友達に教えてもらう ・友達が困っていることを聞く ・フープを回す前に、周りを見る	**C【身体を動かして遊ぶ】** ・教師や友達がしているのを見る ・できるようになりたいことに向けて何度も取り組む ・できるようになったことや頑張ったことを教師や友達に見てもらう ・友達が難しいことを頑張っているところを見る ・動く前に周りを見たり、周りを見ながら動いたりする ・走る　・止まる ・小さくなる ・ポーズをとる ・*ギャロップ*をする ・*スキップ*をする ・*片足跳び*をする ・両足跳びをする ・片足バランスをする ・前転をする ・クマ歩きをする ・カエルの足打ちをする ・広い場所を見付ける
気持ちや場面を思い浮かべて表現することを楽しむ			
好きな場面を見付けたり、お話の流れが分かったりして表現することを楽しむ			
楽しんでいることや頑張っていることを見てもらうことを喜ぶ	**D【運動会で見てもらう】** ・運動会でお家の人やお客さんに見てもらうことを聞く ・リズム表現を見てもらう		

A【登場人物になりきる】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・絵本を見たり、お話を聞いたりする ・お話の登場人物になって遊ぶ ・自分の表現を友達や教師に見てもらう ・なりたい登場人物が同じ友達と一緒に動く ・友達が考えた登場人物の動きや表情を見る ・お話の具体的な場面を思い浮かべながら表現する ・喜びのダンスをする ・お話を作る	○*心も身体も強い忍者*になりたい、素敵なお話にしたいと思い、*心も身体も強い忍者*になりきって遊んだり、より素敵なお話になる考えを出したりし続けようとする。① ○自分の考えたことや表現を見てもらったり褒めてもらったりして、嬉しいと思う③ ○なりたい登場人物が同じ友達と一緒に動いて一緒に遊ぶ嬉しさを感じる⑤ ○友達が考えた登場人物の動きや表情を見て、素敵なところや面白いところ、考えに気付く⑥ ○友達と一緒にするお話が楽しくなるように、思いついたことを言ったり考えてしたり、友達の考えを聞いて自分のできることを考えてしたりしようとする⑧ ○*心も体も強い忍者になりたいと強く思い、修行を通していろいろな技ができる忍者になりたいと諦めない気持ちで頑張り続けたり、仲間と力を合わせて危機を乗り越えた喜びを感*	◎*心も身体も強い忍者*になりたいと思って遊べるように、どんな*忍者*になりたいか尋ねたり、あこがれる要素を取り上げて知らせたりする。 ◎素敵なお話にしたいと思って考えを出し続けられるように、もっとどうしたいか尋ねてアイデアを出せる場を設けたり、雰囲気を作ったり、アイデアを受け止めたりする。 ◎自分の考えたことや表現を見てもらったり褒めてもらったりする嬉しさを感じられるように、工夫している表現を褒めたり、考えていることを聞いたり、友達に見てもらう機会を作って友達が感じたことを聞かせたりする。 ◎なりたい登場人物が同じ友達と一緒に動いたり身体を寄せ合ったりして一緒に遊ぶ嬉しさを感じられるように、一緒に登場したり、走ったり転がったり、引っ付いて座ったり、隠れたりする場面を作ったり、誘ったり誘われたりして一緒にしている子どもの名前をあげて感じている嬉しい気持ちや楽しそうにしている様子を言葉にして伝えたりする。 ◎友達が考えた登場人物の動きや表情を見て、素敵さや面白さを感じられるように、工夫している表現に注目する場をもったり、友達の考えを聞く機会を設けたり、見て感じていることに共感したり見て感じていることを言葉にしたり紹介してみる機会を設けたりする。 ◎みんなでするお話が楽しくなるための動きや話し方、場の取り方などを言ったり、考えて動いたりするように、思い付いた子どもの言葉を取り上げて、みんなが楽しくなることを考えているよさを伝えたり、友達の考えを聞く場をもち、どう思うか尋ねたりする。 ◎登場人物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている部分は気持ちを込めたり、強調したりして読んだり、それぞれの場面での気持ちを尋ねたり、一緒に考えたりする。 ＊*忍者の暮らし*や*使っている道具*などに興味をもったり、知ることができたりするように、忍者のいろいろな絵本や図鑑を集めて置いておいたり、写真や掲示を表示しておいたりする。

	じたり、忍者の暮らしや城の中の様子を思い浮かべたりするなど、登場人物の気持ちを感じる⑯	
	○いろいろな登場人物になって遊ぶことを楽しむ⑰	◎登場人物になって遊ぶことを楽しめるように、子どもがなりたい登場人物の得意なことや好きな物や性格などに合わせて、動いたり、具体的な場面を設定したり、教師も一緒になって遊んだり、なってしたいことを尋ねたり一緒に考えたりする。
	○登場人物になりきり、その姿や動きの特徴、気持ちや具体的な場面を思い浮かべたり、友達の表現を取り入れたりしながら、動き方や表情、話し方を考えたりして、身体で表現する楽しさを感じる。⑰	◎なりたい登場人物の姿や動き、性格、好きな物などから、動き方を考えられるように、身近で姿や動きが分かりやすい登場人物を取り上げたり、登場人物について見たり聞いたりする機会を作ったりする。 ◎気持ちや具体的な場面を思い浮かべられるように、情景を具体的に伝えたり、登場人物の気持ちを尋ねたり、一緒に考えたり、友達の思いを聞かせたり、考えた動きを見せ合ったりする。 ◎場面を思い浮かべながら曲調を感じて身体を動かすことを楽しめるように、場面の雰囲気に合わせた曲調の曲をかけたり、ピアノを弾いたりする。
	○リズムやテンポ、曲調を感じながら、身体を動かすことを楽しむ⑮	◎リズムやテンポを感じながら、身体を動かすことを楽しめるように、軽快で分かりやすいリズムの曲を選び、リズムよくピアノを弾いたり、テンポを変えたり、リズムに合わせて楽しそうに動いている子どもの動きを紹介したりする。
	○いろいろなお話の展開を感じ、自分達のお話を考える楽しさを感じる⑯	◎いろいろなお話の展開を感じられるように、展開の異なる絵本を読んだり素話をしたりする。 ◎自分達のお話を考える楽しさを感じられるように、どんなお話にすると面白いか、素敵かを尋ねたり、子どものアイデアを聞いてお話として繋げてみたり、その面白さや素敵さを言葉にしたりする。

B【身近な運動用具（縄・フープ）で遊ぶ】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成◎教師の援助
・教師や友達がしているのを見る ・フープを手や腰で回す、跳び越えるなどを何度もする ・教師や友達に	○縄フープを手や腰で回したり跳び越えたりするなどできるようになりたい、上手になりたいという気持ちをもって、何度も取り組もうとする①	＊何度も取り組みやすいように、取りやすい場所に縄フープを用意しておく。 ◎してみよう、できるようになりたいと思えるように、教師がして見せたり、友達がしている姿を見せたりする。 ◎もっと縄をフープを長く手や腰で回したい、速く回したい、何度も跳び越えたい、くぐりたいなど、自分で決めて続けて取り組めるように、前よりも長く回せていることなど練習することで上

見てもらう ・友達と一緒にできる遊び方を考えたりしたりする ・友達が練習しているのを見る ・友達に教えてもらう ・友達が困っていることを聞く ・短縄を回す前に、周りを見る ・短縄を回したり、跳び越えたりする		手になっていることを具体的に伝えて感じさせたり、もっと回せそうだと励ましたりする。
	○前よりも手や腰で長く回せた、~~速く回せた~~、何度も跳び越えられた、くぐれたなど、できたり上手になってきたりしたことや自分の頑張りを感じて、自信をもつ③	◎できるようになりたいと思っていることに近付いたり、頑張った自分を感じたりして自信をもてるように、一緒に喜んだり、前と比べて上手になってきていることを具体的に伝えたり、これまでの頑張りを褒めたりする。
	○一緒に回したり、跳んだりくぐったりするなど、互いに考えた遊び方を一緒にして~~短縄~~フープを使って友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じる⑤	◎~~短縄~~フープを使って友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、一緒にどんな遊び方ができるか考えてする機会を作ったり、考えた遊び方を見せ合ってやってみたり、遊び方を提案したりする。
	○友達が頑張っているところを見たり、困っていることを教えてもらったりして、友達の考えや頑張り、優しさに気付く⑥	◎友達の頑張りを感じられるように、互いに見合う場をもち、頑張って練習している友達の姿を知らせたり、前の姿からの変容を伝えたりする。 ◎友達の優しさを感じられるように、難しく感じているところを出し合う場をもったり、困っている子どもの様子を知らせたりして、どうすればよいか友達に聞けるようにする。
	○友達が困っていることを聞いたり助けたりしようとする⑦	◎困っていることを聞いてあげたい、助けてあげたいと思えるように、難しく感じているところを出し合う場をもったり、困っている子どもの様子を知らせたりして、どうしたらいいか一緒に考える。
	○友達に~~短縄~~フープが当たらないように周りを見たり、どうすると危ないかを考えたり教えてもらったりして危なくないように動こうとする⑨	◎友達に~~短縄~~フープが当たらないように周りを見ようとするように、友達が近くにいないかどうか周りを見て確かめることを促したり、近くに友達がいることを知らせたり、当たってしまうとどうなるか一緒に考えたり、痛い思いをすることを話したりする。
	○回す、跳び越える、くぐるなど、~~短縄~~フープの特性に応じた身体の使い方を繰り返しする中で、体で感じたり考えたり試したりして動く楽しさを感じる⑭	◎~~縄~~フープを回す際の身体の動かし方を身体で感じたり試したりできるように、回して見せたり、友達が回す姿を知らせて動きのポイントを具体的に言葉にして添えたり、~~腕ごと大きく回した後手首だけで回す~~膝を曲げて腰を大きく回すなどのコツを知らせたり、上手くいっている時の動きを知らせて意識させたりする。 ◎~~短縄~~フープの特性に応じた身体の動かし方を考えたり試したりできるように、自由に使って遊び、子どもの気付きに驚いたり一緒に楽しんだり、教師もいろいろな遊び方を見せたりする。

C【身体を動かして遊ぶ】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成◎教師の援助
・教師や友達がしているのを見る ・できるようになりたいことに向けて何度も取り組む ・できるようになったことや頑張ったことを教師や友達に見てもらう ・友達が難しいことを頑張っているところを見る ・動く前に周りを見たり、周りを見ながら動いたりする ・走る ・止まる ・小さくなる ・ポーズをとる ・ギャロップをする ・スキップをする ・片足跳びをする ・両足飛びをする ・片足バランスをする ・前転をする ・クマ歩きをする ・カエルの足打ちをする ・広い場所を見付ける	○前転をする、ギャロップをするなど少し難しいことを、できるようになりたい、上手になりたいと思い、何度も取り組もうとする① ○前転ができた、カエルの足打ちやギャロップができるようになってきたなどと思ったり、自分の頑張りを感じたりして、嬉しいと思う③ ○何度も諦めずに挑戦して前回りやカエルの足打ちなどの難しい動きができるようになった自分の頑張りを感じたりする。④ ○友達が前転やギャロップやスキップや片足で踏ん張って立つなど頑張っているところを見て、友達の頑張りに気付く⑥ ○友達とぶつからないように動く前に周りを見たり、周りを見ながら動いたりしようとする⑨ ○思い切り走ったり、ゆっくり静かに動いたり、止まって小さくなったりして、動と静の様々な身体の動きを楽しむ⑩ ○スキップやギャロップ、両足跳びや片足跳びなどをしたりして、身体が弾む感覚を感じたり、地面を強く蹴って跳ぶ感覚を感じたりする⑪ ○手を広げたり足で踏ん	◎してみよう、できるようになりたいと思えるように、教師がして見せたり、友達がしている姿を見せたりする。 ◎できるようになりたいことに何度も取り組めるように、繰り返し取り組むことで上手になってきていることを伝えたり、頑張りを認めたり、励ましたりする。 ◎前転やカエルの足打ちやギャロップなど、できるようになりたいと思っていることに近付いていることや自分の頑張りを感じて嬉しいと思えるように、一緒に喜んだり、以前と比べて上手になってきていることを具体的に伝えたり、これまでの頑張りを認めたりする。 ◎自分の頑張りに気付き、できるようになった嬉しさを感じるように、教師が感じた様子を言葉にしたり、以前よりも上手くなっていることを伝えたりする。 ◎友達が頑張っているところを見て、素敵だな、面白いなと思えるように、工夫している表現に注目させたり、見て感じていることに共感したりする。 ◎友達とぶつからないように動く前に周りを見たり、周りを見ながら動こうとしたりするように、近くに友達がいることを知らせたり、どうすると危ないかを一緒に考えたり、考えて動こうとしているところを褒めたりする。 ◎動と静の様々な動きを楽しめるように、思い切り走ったり、止まったり小さくなったりする動きを取り入れ、教師も一緒に動いたり、子どもの動きに合わせてピアノの速度を変えて弾いたりする。 ◎身体が弾む感覚や地面を強く蹴って跳ぶ感覚を感じられるように、ピアノをリズムや強弱をつけて動きに合わせて弾いたり、動きに合わせて蹴ることを伝え、強く蹴ることを意識させたりする。 ◎バランスをとる感覚を味わえるように、手の広げ

	張ったりして、片足でバランスをとろうとする⑫ ○クマ歩きやカエルの足打ち、前転をして、両手で体重を支えたり頭を下に向けて動いたりする感覚を感じたり、繰り返しする中で、手のつき方や身体の丸め方、足の伸ばし方などを身体で感じたり考えたり試したりする。⑬ ○周りを見て広い場所を見付けて動いたり、友達との距離をとったりしようとする⑱	方や足の上げ方などを教師がして見せたり、友達の身体の使い方を見せたりする。 ◎前転の身体の動かし方を考えたり試したりできるように、教師も一緒にしたり、友達がしているのを見せて、手のつき方や頭の入れ方、背中の丸め方に着目させたり、うまくいっている時の動きを言葉にして意識させたりする。 ◎クマ歩きやカエルの足打ちをして、両手で体重を支えたり頭を下に向けて動いたりする感覚を感じたり、手のつき方や足の伸ばし方を身体で感じたり考えたり試したりできるように、腕をついて足を上げる姿を見せたり、肘を伸ばすことや地面を見ること、手と手の間を空けることなど具体的なコツを知らせたり、足を持ち上げて逆さにして身体のイメージをもたせたりする。 ◎広い場所を探せるように、狭くなっているところを知らせたり、周りを見せて確かめさせたり、広い場所を見付けていることを褒めたりする。

D【運動会で見てもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成◎教師の援助
・運動会でお家の人やお客さんに見てもらうことを聞く ・リズム表現を見てもらう	○運動会でお家の人やお客さんに見てもらうことに期待をもつ① ○楽しんでいることや頑張ってきたことをおうちの人やお客さんに見てもらったり拍手をもらったり褒めてもらったりして、喜んだり自分に自信をもったりする③	◎運動会でお家の人やお客さんに見てもらうことを楽しみにできるように、運動会の日のことを話題にして話しながら、子どもの期待する言葉を聞き、教師も一緒に楽しみな気持ちを話す。 ◎楽しんだことや頑張ってきた自分に満足し、自信をもてるように、これまでの頑張りと今日の頑張りを結び付けながら、頑張っていたこと、自信をもってやっていたことなどを具体的に認めたり、お家の人やお客さんに見てもらったり拍手をもらったりしたことを一緒に思い出して喜んだりする。

令和６年度　５歳児　「運動会リズム表現」

（令和６年度実践前修正箇所を*斜体*、実践後修正箇所を囲み文字、
活動内容によって変えやすい箇所を網掛けにて示す。）

１．期間　　９月～10 月

２．設定の理由

一つのお話をテーマにし、様々な登場人物になって学年集団で取り組む運動会リズム表現を、３歳と４歳で２回経験してきている。様々な登場人物になることで、なりきって遊ぶことを楽しんだり、具体的な場面を思い浮かべながら、動き方や話し方などを考えて身体で表現することを楽しみ、登場人物の気持ちを感じたりしてきている。

また、いろいろな動きを通して身体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、~~*運動用具を使って、難しい動きが*~~できるようになりたい、上手になりたいなどの気持ちをもって挑戦したりすることを経験してきている。さらに、*運動会の練習や本番で*５歳児がブリッジや側転、より多く打つカエルの足打ち等、様々な動きに挑戦してきた成果を見る機会を作り、５歳児に対する憧れの気持ちをもったり、一緒にしてみる機会を作り、自分達もできるようになりたいと期待したりしている。このような経験をしてきているため、運動会の話をすると、「ブリッジできるよ。」「側転やってみたい。」などの声が聞かれる。

５歳１学期の間、好きな遊びをする中でいろいろなごっこ遊びをし、いろいろな役になりきって遊ぶ姿が見られている。また、学級集団で遊びを作っていくことも楽しんできている。また、園庭の遊具や一輪車・竹馬などの運動用具をやってみようと挑戦する姿が多く見られている。

運動会で取り組むリズム表現の中で、発達に応じた様々な動きに挑戦し、少し難しいことができるようになっていくことで、子どもの達成感から自信をもち、さらに次の目標に向かって挑戦していこうとする意欲を育むことができる。物語は、自分達でイメージを膨らませて作り出す余地をつくっておくことで、様々な登場人物の気持ちを考えて、より深く心情を理解することにつながり、自分達が作り上げたという実感を伴うことができる。リズム表現の様々な場面で、子どもが考えて作り出す機会を保障したい。また、学年のみんなで競技的な活動に取り組み、一緒に必要なルールを考えて作っていくことで、自分達で必要なルールを作り出す経験を保障したい。

そこで、５歳児のリズム表現では、是非今の時期に挑戦させたい動きかつ挑戦したいと思う動きを提示し、子どもの挑戦したい気持ちを刺激し、できるようになりたいと決めた動きについては諦めずにやり遂げるところまで支えていく。そして、物語については、様々*~~な動物~~生き物*が生活する世界で、その違いや特徴に触れ、いろいろな個性があることやそれぞれの素晴らしさを感じたり、嬉しさや悔しさ、寂しさを感じたり、自分や友達の気持ちを考え、自分がどう行動すべきかを考えたり、なりたい自分に向かって頑張り続けたり、自分と向き合ったり、いろいろな個性のある仲間と共に過ごす嬉しさや仲間を信じるよさを感じたりするものを選んでいる。*~~登場する人物~~*になりきって登場*~~人物する動物~~*の気持ちを感じたり、学年のみんなで話をし、自分達でイメージを膨らませたり、登場人物の動きや物語の展開に合わせて、挑戦しているブリッジや側転、より*~~多く打つ~~高く上げる*カエルの足うちなどの運動を取り入れる場面を決めたりして、学年のリズム表現を作りあげていきたい。さらに、少人数の友達と表現やダンス等をつくることや、ルールのある遊びを作っていくことを通して、一緒に動きやルールを考えたり決めたりし、より自分達で作り出す満足感を味わえるようにしたい。

３．ねらい

① *運動会を楽しみに思い*、ブリッジや、側転、より*~~多く打つ~~高く上げる*カエルの足打ち等ができるようになりたい、もっとうまくできるようになりたい、*~~勝負に勝ちたい~~捕まらず逃げ切りたい、たくさんタッチをしたい*、皆でお話を素敵なものにしたい、お家の人に頑張りを見てもらいたいなどと目標をもち、そのためにどうすればよいか考え続け、繰り返し挑戦*しようと*する。　　自ら決める・選ぶ　問題を認識する

② 自分の考えたことやできるようになったこと、上手になっていること、友達と一緒に遊び方や動き方を考えたことから、前とは違う自分を感じて自信をもったり、実現したいことに向けて頑張ったことややり遂げたことに満足したりする。　　自分に満足する　自分を客観的に把握する

③ 自分の思い通りにしたい、うまくいかなくて悔しいなどの~~自分の~~気持ちを、友達の気持ち~~を聞いたり~~や様子を感じたり、友達や先生に励まされたり、先生から周りの状況を知らされたり、目指す自分に照らし合わせたりして、切り替えようとしたり、納得のいくところに落ち着けようとしたりする。 気持ちをコントロールする

④ *友達や教師から頑張っていたことや見て感じたことを言ってもらい、自分の気持ちや、言い方、好きなこと、苦手なこと、頑張り、性格に気付いたり振り返ったりして認めようとしたりする。* 自分のことを知る

⑤ 教えてくれる友達や応援してくれる友達の存在を感じ、助けてくれる友達や一緒に練習する友達がいる嬉しさを感じる。 他者といる喜びを感じる

⑥ 友達と一緒になって、できるようになったことやうまくいったことを喜んだり、うまくいかずに悔しがったりし、仲間とのつながりを感じる。

⑦ みんなでお話の世界をつくり出したり、グループの友達と踊りをつくり出したり動きを合わせて踊ったりすることに楽しさを感じる。

⑧ いろいろな友達の表現や考えのよさや気持ち、得手不得手、頑張りに気付いたり認めたりする。 他者のことを知る

⑨ 友達の表現や頑張りに対して感じたことを伝えたり、お話や表現、ダンスをよくするために考えたことを相手に伝わるように、言葉を足したり言い換えたりして伝えようとしたり伝えることのよさを感じたりする。 自分のことを伝える

⑩ 友達の様子を見て、~~わ~~分からないことを教えてあげようとしたり、したいことが思うようにできず困っている友達を見て自分が感じているコツを教えたり、友達が自分でできるようにどこまで手伝ったり教えたりしたらよいか考えようとしたり、挑戦している友達を励ましたりしようとする。 他者のことを考えて行動する

⑪ お話やダンスを*楽しく*素敵なものにするために、また、みんなが~~*楽しく*~~納得できるように、自分ができることを見付けてしようとしたり、お話の展開や場の使い方、表現の仕方、勝負場面の遊び方やルール等を友達と一緒に考えたり、試して振り返ったり、決めたりしようとする。 人と物事を進める

⑫ バランスを崩したり勢いがついたりして倒れた~~とき~~時などに痛くないように、ブリッジや側転、*カエルの足うち*等はクッションになる芝生やマットで~~*しようと*~~場所を選*んでしようとするよ*。 身を守る
自分を客観的に把握する

⑬ 友達にぶつかって痛い思いをしたり、友達に痛い思いをさせたりしないように、側転やカエルの足打ちをする時は、広い空間を見付けたり、向きを揃えたり、周りの人やものに注意を向けて確かめたりしようとしたり、危なかったことを振り返って危なくないようにしようとしたりする。

⑬ ブリッジや側転、より~~*多く打つ*~~*高く上げる*カエルの足打ちをして、手のつき方や勢いの付け方、身体の支え方、力の入れ方をいろいろ試したり、コツをつかんだりしようとする。 身体を操作する

⑭ 相手の位置や動きを見て、走るスピードや向きを変えたり、身を~~交わ~~躱わしたりして、自分の身体の動きを調節しようとする。

⑮ ブリッジや側転、*カエルの足打ち*~~*等*~~をして、身体が反る感覚や逆さになる感覚、顔の向きや腕で身体を支える感覚、回転する感覚を感じる。

⑯ 手足を大きく伸ばして、身体の傾きを調節したり、軸足で踏ん張ったりしてバランスをとり続けようとする。

⑰ いろいろな言い回しの表現を感じたり、イメージを膨らませていろいろな~~*動物*~~*登場人物*が住む~~*サバンナ場所の*~~情景を思い浮かべたり、展開を楽しんだりする。また、*登場人物の*いろいろな性格や特徴をもった他者の~~*素晴らし*~~*素敵*さを感じたり、そのよさを認める気持ち、自分や友達の嬉しさや悔しさや寂しさなどのいろいろな気持ち、仲間と共に過ごす嬉しさなど登場する生き物の気持ちを感じ取ったり*歌の歌詞を*考えたりしようとする。 文芸に表す

⑱ 登場~~*する生き物人物*~~の気持ちや性格、生態、状況から動き方や話し方、表現の仕方を考えたり*映像で動きを見たり*友達の表現を見たりしながら、表現することを楽しむ。 身体の動きに表す
関連付ける
~~*問題を認識する*~~
~~*豊かに発想し、追求の手立てを構想する*~~

⑲ ピアノのリズムやテンポを感じ、それに合わせて素早くやゆっくり走る、高く跳ぶ、さっと止まる、はずむようにギャロップをする、*力強く*や素早く、ぎこちなく~~*動く*~~、やわらかく動くことなど~~すること~~を楽しむ。　音楽に表す

⑳ 歌詞やリズムから広げたイメージを動き*の大きさや動き方などのいろいろな方法*で表現することを楽しむ。

㉑ 自分達のお話や表現をより素敵なものにしようとしたり、お客さんに見てもらうことを意識したりして、並び方や*体の*向き、待ったり出たりする位置や待ち方等を考えようとする。　演出に表す／問題を認識する／豊かに発想し、追求の手立てを構想する

㉒ したい表現に適当な人数を考えたり、公平になるように数を揃えたり、勝負を決める時に数を数えたりするなど、数を使って考えたり判断したりしようとする。　数・量を捉える／比較する

㉓ 友達との距離や位置を考えて、並んだり、円になったり、広い場所を見付けて自分の場所を決めたり、逃げたり追ったりしようとする。　空間を捉える／比較する

㉔ 物語の世界観を崩さないまま、勝負を公平にしようと思い、ルールを考えながらキャラクターの個性や物語の情景を活かして、より面白くなる~~手立て~~ルールや設定を作ったり増やしたり、作り替えたり、減らしたりして勝負を考えていこうとする。　面白さを生み出す

4．展開

運動会に気持ちが向かい、してみようと思う

A【運動会の話をする】
- 年中の時の運動会の話をしたり聞いたりする
- リズム表現の話をしたり聞いたりする

自分達のリズム表現に必要なことを考えて取り組み、必要な遊び方やルールを考えたり、友達と動きやタイミングを合わせようとしたりする

B【登場~~する動物人物~~や状況を表現する】
- 絵本やお話、映像を見聞きする
- お話に出てくる*動物登場人物*になって遊ぶ
- *登場~~する動物~~人物*の気持ちや性格、生態、状況から、動きや声、表情、表現の仕方を考えてやってみる
- 表現を見合う
- 使える空間を感じて自分で場所を見付けて動こうとする
- 話の流れが分かって、次の準備をしたりタイミングを計ったりして自分から動こうとする
- お話をより素敵にしたり、より見やすくしたりするように、並び方や位置、向き、待ち方等を考える
- 表現したいことがより伝わるように、どう表現するとよいか考えを出し合ってしてみる

C【いろいろな動きや技に挑戦する】
- いろいろな動きをしてみる
- 挑戦している姿を見せ合う
- 繰り返し挑戦する
- できるようになったことや上手になってきていることを見せ合う
- 友達を応援したりコツを教えたりする
- できるようになったことを一緒に喜ぶ

D【競技的な遊びをする】
- 遊び方を考える
- *タッチしたい*、最後まで逃げ切りたいと思ってねらったりかわしたりする
- 自分達のチームが勝てるように作戦を考える
- 繰り返ししながら*困ったことや*おかしいと思うことを出し合い、納得のいくルールを考えたりつくったりする

E【*歌詞や*ダンスの動きを考えてする】
- *心情に合った歌詞を考えて*歌を歌う
- 歌に合わせた動きや振付をグループの友達と考える
- 考えたダンスを見せ合う
- よりダンスがよくなるように動きを変えたり、増やしたり、決めのポーズを作ったり、スムーズに動けるように練習したりする

人に見てもらうことを意識して表現の仕方を考えたり、繰り返し練習したりする

⇩

自分達の取り組んできた成果を見てもらう

F【運動会をする】
・自分達の頑張ってきたことを見てもらう
・他の学年が取り組んできたことを見る

A【運動会の話をする】

予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・年中の時の運動会の話をしたり聞いたりする ・リズム表現の話をしたり聞いたりする	○運動会のイメージを膨らまし、楽しみにする。*①*	◎運動会で取り組んできたことや、自分達が見てきた年長児のことを思い出~~せる~~して楽しみに思えるように、年少・年中の時にしてきたことや、年長児がしていたことを尋ねる。

B【登場人物や状況を表現する】

予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・絵本を見たり、お話を聞いたり*映像を見たり*する ・お話に出てくる登場人物になって遊ぶ ・~~*登場する動物人物*~~の気持ちや性格、生態から、動きや声、表情を考えてしてみる ・友達と表現を見合う ・使える空間を感じて自分で場所を見つけて動こうとする ・話の流れが分かって、次の準備をしたりタイミングを計ったりして自分から動こうとする ・お話をより素敵にしたり、より見やすくしたり	○皆でお話を素敵なものにしたいと思い、そのためにどうすればよいか考え続けようとする① ○自分の考えたことや自分や友達と一緒に考えた遊び方や動き方を先生や友達に見てもらったり~~褒認~~めてもらったりし、前とは違う自分を感じて自信をもつ② ○自分の思い通りにしたい気持ちを、友達の気持ち~~や~~を聞いたり様子を感じたり先生から周りの状況を知らされたりして、切り替えようとしたり、納得のいくところに落ち着けようとしたりする③ *○友達や先生から言ってもらったことを聞いて、自分の性格や頑張りに気付き、認めようとする④* ○お話の内容を意識し、みんなでお話の世界をつくりあげ、一緒にやっていく*こと*に楽しさを感じる⑦ ○友達の~~*生き物*~~*登場人物*の特徴を	◎皆でお話を素敵なものにしたいと思えるように、どんなお話やリズム表現にしたいか必要に応じて尋ねる。 ◎自分の考えたことや友達と一緒に考えたことに前とは違う自分を感じて自信をもてるように、以前の考えと比較してよいと感じている点や変わった所を具体的に~~褒め~~言葉にしたり、驚いたりする。 ◎自分の思い通りにしたい気持ちを切り替えたり、納得のいくところに落ち着けようとしたりするように、自分の振る舞いによる友達の様子を見聞きする機会を設けたり、周りの状況を知らせたりする。 *◎自分の性格や頑張り、気持ち、言い方、好きなこと、苦手なことに気付き、その性格を認めようと思えるように、友達が感じた思いや日頃からの頑張りを伝え合う機会を作ったり、教師が日頃の姿*と結び付けて個性を言葉にしたりする。~~*からよく見られることを伝えたりする。*~~ ◎みんなで話し合いながらお話の世界をつくって~~いけるいく~~楽しさを感じられるように、考えたことを出し合う場をもち、考えのよさを認めて取り入れたり、友達の考えに~~*対してこうした方がいい*~~思ったことや*もっとよくなりそうなこと*、これを加えた方がいいなど、いろいろな意見がないか尋ねながら場面や動き、隊形、流れをつくっていったりする。 ◎友達の考えたことや表現を見て、友達の考えの面白さ

するように、並び方や位置、向き、待ち方等を考える	捉えた動きや感情がこもった表現を見て、感じたことを伝えたり、お話や表現、ダンスをよくするために考えたことを相手に伝わるように言葉を足したり言い換えたりして伝えようとしたり伝えることのよさを感じたりする⑨	やよさなど感じたことや、自分の考えついたことを伝えたり伝えることのよさを感じられるように、友達の考えたことを見せる場や自分の考えを伝える場をもったり、友達の考えを聞いた上でどう思うか尋ねたりする。
	○お話を楽しく素敵なものにするために、自分ができることを見付けてしようとしたり、お話の展開や場の使い方、表現の仕方等を友達と一緒に考えたり、試して振り返ったり、決めたりしようとする⑪	◎自分ができることを見付けてしようと思えるように、~~気付いたことから考えを話し~~子どもの気付きを拾って話したり、次の動きを率先して行ったりする等の姿を逃さず、その姿がお話を素敵なものにすることにどうよいと感じたか具体的に言葉にしたりする。 ◎友達と一緒にお話を素敵なものにしようと考えられるように、お話の展開や場の使い方、かけ声を出す等のアイデアが必要な場面で話し合いの場をもち、どうするか尋ねる。 ◎考えたことを試して振り返り決めることができるように、考えを試すことを提案したり、試す様子を撮影して動画や静止画で見る機会を設けたり、試してみてどうだったか尋ねたりする。
	○絵本を見たり、お話を聞いたり映像を見たりして、登場~~する生き物~~人物の気持ちを感じる⑰	◎ 登場~~する動物~~人物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている部分は、その気持ちを感じるために理解しておかなければならない言葉をゆっくりはっきりと読んだり、心情を表す言葉や情景での比喩表現はその心情に合った声色や声の調子で読んだり、心情がはっきりと現れている場面や映像を一緒に見たりする。 ◎イメージを膨らませて話の展開を考えられるように、お話に出てくる言葉から想像できることを話したり、尋ねたりする。 ＊登場~~する生き物~~人物の動きや生活、食べ物などの生態や、~~サバンナ~~暮らしている~~の~~状況が分かって表現することができるように、登場人物が暮らす環境の生き物や~~サバンナ~~海などが描かれた絵本や図鑑、写真等の掲示を用意しておく。
	○登場~~する生き物~~人物の気持ちや生態、状況から、動き方や話し方、表現の仕方を考えたり、友達の動き方からヒントをもらったりしながら、表現することを楽しむ⑰	◎ 登場~~する生き物~~人物の生態から動きを思い浮かべてなりきれるように、~~食事や狩り泳ぎ方や体の特徴~~などの生活場面を切り取ってごっこ遊びをする機会を設ける。 ◎ 登場~~する生き物~~人物の気持ちや性格、場面設定から表情や動きを考えられるように、事前にどんな場面の何になって遊ぶのか話したり、登場~~する生き物~~人物の背景や性格、状況をお話の中で使われている言葉を使って話しかけたりする。 ◎ 友達の表現のよさを感じたり考えを取り入れたり~~できる~~しようと思えるように、友達の表現を見る場をもち、感じたよさや友達が考えていることを尋ねる。
	○ピアノのリズムやテンポを感じ、それに合わせて高く跳ぶ、さっと止まる、はずむようにギャロップやスキップをする、力強く素早く、ぎこちなく~~動く、~~やわらかく動くなどすることを楽しむ⑲	◎ ピアノのリズムやテンポを感じ、それに合わせて動けるように、リズムやテンポに大きく変化をつけたり、その変化~~を~~が分かりやす~~く~~い弾き分けをしたりする。
	○自分達のお話や表現をより素敵なものにしようとしたり、お客さんに見てもらうことを意識したりして、並び方や体の向き、待ったり出たりする	◎ 自分達のお話や表現をより素敵なものにするために並び方や体の向き等を考えられるように、どのような場面であるか~~や~~、大切に表現したい気持ちはどのようなことかを尋ねて意識化する。

	位置や待ち方等を考えようとする㉑ ○したい表現に適当な人数を考えたり、必要で数えたりして、数を使って判断しようとする㉒ ○友達との距離や位置を考えて、並んだり、円になったり、広い場所を見付けて自分の場所を決めたりしようとする㉓	◎ お客さんに見てもらうことを意識して並び方や*体の*向き等を考えられるように、自分たちの表現をお客さんの位置から見る機会を設けたり、教師がお客さんになって感じたことを伝えたりお客さんの視点で撮った写真を見せたりする。 ◎ したい表現に適当な人数を考えたり、必要で数えたりできるように、複数の役が同時に登場しやり取りする場面を設定したり、人数の偏りを呟いたりする。 ◎ 友達との距離や位置を考えて隊形を変えられるように、必要な距離を考えさせたり、周りを見て位置を考える姿やとっている距離や決めた位置が何のためにどうよいのかを言葉にしたり目印になりそうなものを一緒に探したりする。

C【いろいろな動きや技に挑戦する】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・いろいろな動きをしてみる ・挑戦している姿を見せ合う ・繰り返し挑戦する ・できるようになったことや上手になってきていることを見せ合う ・友達を応援したりコツを教えたりする ・できるようになったことを一緒に喜ぶ	○運動会で挑戦したい技を出し合い、やってみようと思う① ○ブリッジやより~~多く打つ~~*高く上げる*カエルの足うち、側転などができるようになりたい、もっとうまくできるようになりたいなどと目標をもち、繰り返し挑戦する① ○できるようになったことや上手になっていることを先生や友達に見てもらったり褒認めてもらったりし、前とは違う自分を感じて自信をもったり、頑張ったことに満足したりする② ○うまくいかなくて悔しい気持ちを、友達や先生に励まされたり、目指す自分に照らし合わせたりして切り替え立て直そうとする③ *○何度も挑戦し続けて、できるようになった頑張りを実感したり、諦めてしまう性格に気付いたり気付かされたりする。④* ○教えてくれる友達や応援してくれる友達の存在を感じ、助けてくれる友達や一緒に練習する友達がいる嬉しさを感じる⑤ ○できるようになったことを一緒になって喜び、仲間とのつながりを感じる⑥ ○いろいろな友達の考えのよさや得手不得手、頑張りに気付いたり、認めたりする⑧	◎ブリッジやより~~多く打つ~~*高く上げる*カエルの足うち、側転など自分の挑戦したい技に挑戦しようと思えるように、昨年を振り返り、挑戦したい技を尋ね、頑張れば必ず出来るようになることや不安な子どもには教師も一緒に練習する*こと*や、友達も助けてくれることを伝える。 ◎挑戦してみよう、こんな風にできるようになりたいと思えるように、して見せたり、友達がする姿を見せたり、目標を聞いたりする。 ◎うまくいかなくても、もう少ししてみよう、諦めずにしてみようと思えるように、励ましたり、どうしたらいいのか一緒に考えたり、頑張っている友達の姿を見せたり、友達も助けてくれることを伝えたりする。 ◎できるようになった、上手になったと感じ、前とは違う自分に満足できるように、頑張りを認めたり、動画を撮って以前と動きを比較したり、前とは違うところを具体的に~~褒め~~言葉にしたり、一緒に喜んだりする。 ◎うまくいかない悔しい気持ちを立て直して挑戦しようと思えるように、友達の励ます声に気付かせたり、何度も頑張っている気持ちを認めたり、頑張った分だけ上達すると励ましたり、できるようになりたいと思っていた気持ちを一緒に振り返ったりする。 *◎自分の何度も挑戦し続けようとする性格や、難しいから諦めてしまう性格に気付き、認めようと思えるように、難しいと感じた~~事~~こと*を何度も挑戦しようとしていた姿を振り返って伝えたり、*園生活のなかでも*日頃の姿と結び付けて*同じようなことが何度かあったことを思い出させたりする。* ◎助けてくれる友達や一緒に練習する友達がいる嬉しさを感じられるように、応援してくれている友達や傍で頑張って練習している友達の存在を知らせる。 ◎仲間とのつながりを感じながら練習できるように、誘って集まってすることを提案したり、できるようになったことを一緒に喜んで周りに知らせたりする。 ◎いろいろな友達のよさや得手不得手に気付いたり、認めたりしようと思えるように、教師が考えに関心をもって聞く姿を見せたり、友達の考えを聞いてどう思うか尋ねたり、以前と比べた姿を言葉にして知らせたりする。

	○かっこよく動いていること（ブリッジやより~~多く打つ~~高く上げるカエルの足うち、側転など）をすごいと思って伝えたり、できなかったことに繰り返し取り組み、できるようになった友達の頑張りを褒認めたりする⑨	◎友達の頑張りを褒めたり、伝えたりしようと思えるように、友達の姿を見てどう思うか尋ねたり、伝えると相手が嬉しい気持ちになりそうなことを伝えたりする。
	○したいことが思うように出来なくて困っている友達を見て自分が感じているコツを教えたり、挑戦している友達を励ましたりしようとする⑩	◎したいことが思うようにできなくて困っている友達が自分でできるようになるために、自分ができることをしようと思えるように、困っている友達を知らせたり、何かいい考えはないか、どこまで手伝ったら自分でできるようになりそうか尋ねたりする。
	○バランスを崩したり勢いがついたりして倒れたときに痛くないように、側転やブリッジ、より~~多く打つ~~高く上げるカエルの足うちはクッションになる芝生やマットでしようと場所を選ぶ⑫	◎安全に側転やブリッジ、より~~多く打つ~~高く上げるカエルの足うちをするためにはどうしたらよいかを考えられるように、どんな危ないことがあるか、危ないことに対してどうしたらよいかを尋ねる。
	○友達にぶつかって痛い思いをしたり、友達に痛い思いをさせたりしないように、側転やブリッジをする時、は、広い空間を見付けたり、向きを揃えたり、周りの人やものに注意を向けて確かめたりしようとしたり、危なかったことを振り返って危なくないようにしようとしたりする⑬	◎側転をする時に、危なくないか、広い空間があるかどうか確かめられるように、十分な場所があるか尋ねたり、周囲を確かめている姿をほめたりする。 ◎側転をする時に危なくない向きを考えられるように、進む方向やそのまま進むとどうなるか尋ねる。 ◎危なかった時に、危なくなった理由が分かり気を付けられるように、どうして危なくなったのか尋ねたり一緒に考えたりする。
	○ブリッジや側転、より~~多く打つ~~高く上げるカエルの足うちをして、手のつき方や勢いのつけ方、身体の支え方、力の入れ方や抜き方をいろいろ試したり、コツをつかんだりする⑭	◎手のつき方や勢いのつけ方、身体の支え方、力の入れ方や抜き方をいろいろに試せるように、友達がするのを見る機会を設けたり、教師もやって見せたりする。 ◎手のつき方や勢いのつけ方、身体の支え方、力の入れ方や抜き方のコツを知ったりつか~~め~~んだりするように、コツをつかんでいる友達に感じているコツを尋ねて聞く機会を設けたり、教師の感じているコツを知らせたり、身体を支えて感じ取る状況を作ったりする。 ◎顔の向き（見る場所）をつかめるように、見る場所を分かるように見せて示したり、友達の顔の向きを見る機会を設け~~せ~~たりする。
	○ブリッジや側転、カエルの足打ち等をして、身体が反る感覚や逆さになる感覚、顔の向きや腕で身体を支える感覚、回転する感覚を感じたり、つかんだりする⑮	◎腕で身体を支える感覚をつかめるように、手をしっかり開いて踏ん張っていることや肘がしっかり伸びていることを言葉にして伝え意識させたり、友達の支え方を見せたりする。 ◎回転する感覚や身体が反る感覚を感じられるように、足やお尻をしっかり上げるように声をかけたり、身体で支えて上げたりする。
	○~~大きく~~手足を大きく伸ばして、身体の傾きを調節したり、軸足裏で踏ん張ったりしてバランスをとり続けようとする⑯	◎大きく手足を伸ばしてバランスをとる感覚がつかめるように、教師や友達の綺麗なポーズを見せたり、手足を支えて形を作ったりして、ポーズのイメージをはっきりともたせ、お話の登場人物の動きとして取り入れ、繰り返し挑戦する機会を設けて長く続けられるように励ます。
	○見てもらうことを意識して、用意や終わりのポーズ、する場所や体の向きを考えてしようとする㉑	◎見てもらうことを意識して、用意や終りのポーズ、する場所や体の向きを考えられるように、おうちの人が見てくれる場所を伝えたり、見ていて感じたことを伝えたりする。
	○広い芝生や道の上で、広い場所を見付けて自分の場所をとり、空間を意識して行動しようとする㉓	◎空間を意識して動けるように、友達や物と十分離れているか尋ねたり、周りとの距離に応じて位置を変えていることを言葉にしたりする。

D【競技的な遊び（しまおに）をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・遊び方を考える ・タッチしたい、最後まで逃げ切りたいと思ってねらったりかわしたりする ・自分達のチームが勝つためにできることを見付けてする ・自分達のチームが勝てるように作戦を考える ・繰り返ししながらおかしいと思うことを出し合い、納得のいくルールを考えたりつくったりする	◎ 勝負に勝ちたい、タッチしたい、最後まで逃げ切りたいなど、目標をもち、そのためにどうすればよいか考え続けたり、繰り返し挑戦したりしようとする① ◎ 自分達のチームが勝ったことや作戦がうまくいったことを一緒になって喜んだり、負けたことを一緒に悔しがったりし、仲間とのつながりを感じる⑥ ◎ 自分達のチームが勝てるように、自分ができることを見付けてしようとする⑪ ◎ みんなが楽しく納得できるように、勝負場面の遊び方やルール等を友達と一緒に考えたり、試して振り返ったり、決めたりしようとする⑪ ◎ 相手の位置や動きを見て、走るスピードや向きを変えたり、身をかわしたりして、自分の身体の動きを調節する⑭ ◎ 公平になるように数を揃えたり、勝負を決めるときに数を数えたりするなど、数を使って考えたり判断したりしようとする㉒ ◎ *物語の世界観を崩さないまま、勝負を公平にしようと思い、ルールを考えながらキャラクターの個性や物語の情景を活かして、より面白くなる手立てを増やしたり、減らしたりして勝負を考えていこうとする。㉓*	◎ 自分の決めた目標に向かって取り組めるように、その日の目標を尋ねたり、それを自分で振り返ったり実現に向かえたりする目標にできるようさらに尋ねて具体的にしたり、目標に向かう姿を逃さず褒めて励ましたりする。 ◎ チームの友達と勝ったことや作戦がうまくいったことを一緒に喜んだり、負けたことを一緒に悔しがったりするように、教師も一緒に~~*輪になっ*~~*勝負に参加し*たりタッチをしたり肩を組んだりなどをしてそれをするきっかけを作る。 ◎ 自分達のチームが勝つために、自分ができることを見付けてしようとするように、声をかけ合って一緒にねらったり、ねらわれていることを友達に知らせたり*助けを求めたり*、応援したりするなど、チームが勝つために考えているよさを言葉にしたり、何かできることはないか尋ねたり、教師が見付けたできることに気付くきっかけを与えたりする。 ◎ ルールの必要を感じ、自分達でルールを考えられるように、最小限のルールを始めに話し合って決め、困ったことが起こったらその都度みんなでどうしたらよいか考える機会を設ける。 ◎ 考えたルールがみんなにとって楽しく納得できるものになるように、それぞれの思いを聞いて納得がいっているか確かめたり、納得がいかないことがある時には、理由を聞き、どうしたらいいのか尋ねたりする。 ◎ 考えたことを試して振り返り決めることができるように、考えを試すことを提案したり、試す様子を撮影して動画や静止画を見る機会を設けたり、試してみてどうだったか尋ねたりする。 ◎ 勝てるようにチームの友達と作戦をたてたり声をかけ合ったりできるように、作戦を考える時間をとったり、声をかけ合っている姿や作戦通りしようとする姿を褒めたり、周りに知らせたりする。 ◎ 相手の位置や動きに合わせて~~*狙ったり*~~*タッチしたり*逃げたりしようと思えるように、友達の動きをよく見て動いていることを言葉にしたり、相手がどこにいるか尋ねたり、相手が迫ってきていることを知らせたりする。 ◎ 数を揃えるために考えられるように、それぞれ何人いるのか尋ねたり、数を揃えるためにどうしたらよいか一緒に考えたり試したりする。 ~~◎ *取ったり残ったりしたしっぽの数を比べやすいように、どう数えたり並んだりすればよいか尋ね、方法を一緒に考えたり試したりする。*~~ ◎ 物語の世界観を崩さないまま*勝負方法を公平にしてルールを考えながら、より面白くなる手立てを増やしたり、減らしたりして勝負を考えていこうと思えるように、子どもたちが物語の状況や心情、考えたルールで勝負をした後にどうだったか振り返ったり、他の似た遊びで違うルールがあることを伝えたりする。*

E【*歌の歌詞や*ダンスの動きを考えてする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・歌を歌う	○ 自分達が考えたダンス*や歌*を	◎自分達が考えたダンス*や歌*を見てもらった*り聞いて*

・*お話に合った歌詞を考える* ・歌に合わせた動きや振付をグループの友達と考える ・考えたダンスを見せ合う ・よりダンスがよくなるように動きを変えたり増やしたり、決めのポーズを作ったり、スムーズに動けるように練習したりする	見てもらった*り聞いてもらったりし*て頑張ったことに満足したり、~~褒認~~めてもらって自信をもったりする② ○ グループの友達と踊りをつくり出したり動きを合わせて踊ったりすることに楽しさを感じる⑦ ○ 他のグループの考えたダンスを見て、よいところを見付けて伝えたり、考えた友達を素敵だと思った気持ちを伝えたりする⑨ ○ 自分の考えたことを友達に伝えたり、友達の考えを聞いたりして、グループの友達と一緒にダンスの動きを考えたり、試して振り返ったり、一緒に決めた動きで友達と合わせて動こうとしたりする⑪ ○ *お話から登場人物が感じた気持ちを言葉にして歌詞を考えようとする⑰* ○ 歌詞やリズムから広げたイメージを動きの大きさや動き方等、いろいろな方法で表現することを楽しむ⑳ ○ 見てもらうことを意識して、向きや動き方、ポーズなどを考えてしようとする㉑	*もらったりし*て頑張ったことに満足できるように、作る段階で工夫や苦労したところを言葉にしたり、それに向かった姿勢に関心したりする。 ◎グループの友達と踊りをつくり出す楽しさを感じられるように、いろいろな友達が考えた動きが繋がってできてきていることを素敵に思うことを伝える。 ◎グループの友達と動きを合わせて踊る楽しさを感じられるように、動きが合ってきていることや合っていて素敵であることを伝える。 ◎他のグループのダンスを見て、感じたよさを伝えられるように、グループで考えたダンスを見せ合う機会をもつ。 ◎他のグループの考えたダンスのよいところを見付けたり、考えた友達を素敵だと思ったりした気持ちを伝えられるように、よいところや素敵なところを伝える場がもつことを見合う前に知らせる。 ＊考えを伝え合いながらダンスを作っていけるように、５人程度のグループにする。 ◎友達の考えも聞きながらダンスを作っていけるように、一人の考えで決まっている際には、皆が納得しているか、他児の意見はないか尋ねる。 *◎お話に出てくる登場人物の気持ちを想像して言葉に表してみようと思えるように、登場人物がどんなことを感じていたのかを尋ねたり、自分だったらどう思うのかを一緒に考えたりする。* ◎ 歌詞やリズムから広げたイメージを動きで表現することを楽しめるように、動きと歌詞やリズムをどう表現したのか尋ねたり、同じ歌詞でもいろいろな表現の仕方があることを伝えたり、どう表現されていると感じたか、またその表現のよさを具体的に言葉にしたりする。 ◎ 見てもらうことを意識して、向きや動き方を考えられるように、お客さんが見てくれる場所や、客席から見て感じたことを伝えたりする。

F【運動会をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・自分達の頑張ってきたことを見てもらう	◎ 頑張って取り組んできたことに自信をもち、見てもらいたいところを意識しながら最後まで取り組み、やり遂げた満足感を味わう②	◎ やり遂げた満足感を味わえるように、これまでの頑張りと今日の頑張りを結び付けながら、頑張っていたこと、自信をもってやっていたことを~~褒め~~言葉にする。

令和６年度　３歳児　「運動会かけっこ」

（実践前修正箇所を*斜体*、実践後修正箇所を囲み文字、毎年取り上げる題材によって変わる部分は網かけにて示す。）

１．期間　　９月～10 月

２．設定の理由

入園当初は不安な表情を見せて登園していた子どももいたが、少しずつ園生活に慣れ、好きな遊びの中で、初めての遊具もやってみたいと思い、先生に支えてもらったり傍で見てもらったりしながら挑戦する姿や、慣れた遊具を友達と一緒にしたり、出来るようになったことを先生に見せて褒めてもらって喜んだりする姿がみられるようになってきた。また、芝生で友達や先生を追いかけたり追いかけられたりすることや、園庭から保育室まで友達や先生と競争することなどを楽しんでいる。

３歳児にとっては初めての運動会で、どのようなものか思い描きにくいものであるが、思いきり身体を動かすことの楽しさや、お家の人や他クラスの友達に見てもらうことの喜びを味わえるであろうと考える。

そこで、子どもたちが普段楽しんで遊んでいるかけっこを取り入れることにした。また、少し難しいことにも挑戦したいと思う子どもの姿を受け、障害物のあるコースを考えていきたい。コースのある道を走ることで、いろいろに身体を動かす面白さ、ゴールという目的を目指して思いきり走る心地よさ、友達や先生と一緒に走る喜び、速く走れたことや難しいことができたことへの自信を感じてほしい。

３．ねらい

① 思いきり走りたい、速く走りたい、いろいろな動きをやってみようと思って、走ったり、自分なりのやり方でさまざまに*ゴム紐を跳び越えたりくぐったり、平均台を渡ったり~~トンネルをくぐったり、好きな色的を選んで跳び移ったり跳ねたり乗り越えたり~~*、何度も走ろうとしたり、一緒に走りたい友達を誘って用意をしたりする。　自ら決める・選ぶ

② ゴールできた、速く走れたと感じ、嬉しく思ったり、先生や他クラスの友達、お家の人に見てもらえたこと、応援してもらえたこと、褒めてもらったことに満足*したり*する。　自分に満足する

③ *うまくいったことや、上手になったこと、頑張ったことを先生に言われて感じたり、自分で感じたりする。*　自分のことを知る

④ 友達と一緒に走ることを楽しみにして友達を誘ったり、友達に誘われて嬉しく思ったり、一緒に順番を待ったり走ったりする*気持ちよさ*を感じたり、友達が走る姿を見て喜んだり、*応援してもらって喜んだり*する。　他者といる喜びを感じる

⑤ スタートの合図に合わせて身体を動かしたり、跳び越えたり、*くぐったり、渡ったり、バランスをとったり~~高く跳ねたり平均台を乗り越えたり~~*、手足を動かして力いっぱい走ろうとしたりして、体を動かす楽しさ*や気持ちよさ*を感じる。　身体を操作する

４．展開

先生や友達と走ったり身体を動かしたりすることを楽しむ

A【芝生を走ったりいろいろに身体を動かしたりする】

- *飛行機、ちょうちょ等になって*芝生を走ったり動いたりする
- 追いかけたり追いかけられたりする
- *思いきり走る*
- *跳び越えたり、くぐったり、渡ったり、跳び移ったり~~バランスをとっ跳ねたり~~など、いろいろな動きをする*
- *いろいろな動きや初めてのこと、少し難しいことをやってみようとする*
- *友達と一緒にする*

B【かけっこをする】

- *ゴールを決めて先生や友達と一緒に走る*
- *友達や先生の合図を聞いて走り出したり追いかけ始めたりする*
- *スタートの合図で走り出す*
- コースを走る
- ゴールをめがけて思いきり走る
- 友達を誘ったり誘われたりする
- 友達や先生と一緒に走る
- *速く走れることを先生に見せる*

いろいろな動きを交えながらコースを走る

いろいろな人に見てもらうことを楽しみにしたり、褒めてもらって喜んだりする

C【先生や友達、お家の人に見てもらう】

- *友達が走るのを見る*
- いろいろな先生や他クラスの友達、お家の人に見てもらうことを*楽しみにしたり、応援してもらったり、褒めてもらったりして喜んだり*する

A【芝生を走ったりいろいろに身体を動かしたりする】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・飛行機、ちょうちょ等になって芝生で走ったり動いたりする ・追いかけたり追いかけられたりする	○広い芝生で身体をいろいろに動かす気持ちよさ*や楽しさ*を感じる⑤	＊芝生で思いきり走るなど身体を動かす時に危険のないよう、玩具を芝生から除いて場を広くしておく。 ◎ 身体をいろいろに動かす気持ちよさ*や楽しさ*を感じられるように、教師が率先して飛行機やちょうちょになって芝生を走り回ったり、走る気持ちよさや楽しさを言葉にしたりする。
・思いきり走る	○思いきり走りたい、速く走りたいと思って走ったり、いろいろな動きをやってみたいと思ってしたり、何度も走ろう	＊いろいろな動きをやってみようと思えるように、*平均台や~~太鼓橋~~、ジャンピングやバランスストーン、ゴム紐のついたコーン*を目につきやすく、挑戦しやすい保育室前の芝生や、いつでも挑戦できる園庭に用意しておく。

	したりする①	◎ 思いきり走ったり、速く走ったりいろいろな動きをしたりしたい、してみたいと思えるように、教師が率先して楽しむ姿を見せたり、教師と友達が楽しむ姿を見せたり、みんなで「一緒にしよう」と誘ったり、遊びの写真を掲示したり、振り返りに話題をあげたりする。
・跳んだり、くぐったり、渡ったり、跳び移ったり~~バランスをとったり~~など、いろいろな動きをする ・いろいろな動きや初めてのこと、少し難しいことをやってみようとす	○跳び越えたり~~んだり~~、膝を曲げてくぐったり、障害物を跨いで渡ったり、バランスをとったりなどのいろいろな動きをしたり、いろいろな体の動かし方~~動き方~~をしたり、その感覚を楽しんだりする⑤	＊いろいろな跳ぶ、くぐる、渡る、バランスをとるなどの動きができるように、ゴム紐のついたコーン、平均台やバランスストーン、ジャンピングやバランスストーンなどの遊具を、長さや距離、高さ、種類をいろいろに変えたり多様に用意したりする。 ◎いろいろな跳び方やくぐり方、渡り方などの動きをしたり、その感覚を楽しんだりするように、教師もいろいろな動きをして見せたり、子どもがしている動きやその違いを言葉にして意識させたり、いろいろ試す姿を面白がったり、教師や友達が挑戦したり試したりする姿を見せたり注目させたり、褒めたりする。 ◎バランスストーンや平均台の上でバランスを取れることを楽しめるよう、~~にり高く跳ぼうとしゃがんだり手を振ったり上に伸ばしたりするように、勢いをつけて飛び跳ねる~~落ちないようにバランスをとって渡っている友達の姿を見せたり、動きを言葉にして注目させたり、教師がワニになっ~~高さに挑戦できるように数段階の的を用意し~~たりする。
	○上手になったことや、頑張ったことを先生に言われて感じたり、自分で感じ、より上手になりたいと思ったり、得意なことに気づいたりする。③	◎うまくいくために工夫している自分の頑張りを感じられるように、助走をつけて走りながら踏み切ったり、両足で跳んだり身を小さくしてゴム紐をくぐったり紐を持ってくぐりやすくしたりする姿を言葉にしたり、注目させたりする。 ◎上手になったことやうまくいったこと、自分の頑張りや得意なことに、気付くように、頑張ってしていることを褒めたり、前との違いを言葉にして知らせたりする。
・友達と一緒にする	○友達と一緒にしたり、誘われて一緒にしたり、真似して一緒にしたりする楽しさや嬉しさを感じる④	◎友達と一緒にする楽しさや誘ったり誘われたりする嬉しさを感じられるように、教師が率先して友達を誘う姿を見せたり、一緒に誘うことを促したり、友達の様子を知らせて注目させたり、一緒にしている子どもの名前を呼んで見たり話したりするきっかけを作ったりする。
	○思いきり動いた満足感を味わったり、速く走れた、跳べた、くぐれた、渡れたなどできたことに喜んだりする②	◎思いきり動いた満足感を感じられるように、楽しかった気持ちや心地よい疲れを言葉にして一緒に休息する。 ◎できたことを喜べるように、一人一人の頑張ったことや挑戦したことを具体的に言葉にして一緒に喜んだり驚いたりする。

B【かけっこをする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・ゴールを決めて先生や友達と一緒に走る	○目的とするところまで思いきり走ろうと思って走る①	＊目的とするゴールやスタートを自分たちで決められるように、また分かりやすいように、自由に動かせるいろいろな色のコーンを端の方に置いておく。 ◎ ゴールまで走りたいと思って走れるように、教師も一緒に走ったり、*ゴールまで走ることへの期待を言葉にしたり*、*ゴールでタンバリンを持って待っていたり*する。
・友達や先生の合図を聞いて走り出したり追いかけ始めたりする	○合図を聞いて走り出そうとする⑤ ○友達や先生と一緒に走る楽しさを感じる④	◎ 合図が分かって走り出せるように、分かりやすい合図を出したり、大きな声で知らせたり、一緒に走ったり、子どもが合図を出す姿を認め、教師も一緒に楽しんだりする。 ◎ 友達や先生と一緒に走る楽しさを感じられるように、教師が追いかけたり追いかけられる側になって逃げたり、一緒に走って楽しかった気持ちを言葉にしたり話したりする。
・コースを走る	○走るコースを知り、初めて走る道を楽しみにしたり、やってみようと思って走ったりする①	＊ スタートする位置と次の用意をする位置、応援する席が分かるように、待機場所に椅子を準備しておく。 ◎ コースを見て、走ってみたいと思えるように、実際に教師が走って見せたり、挑戦しようとしている姿に驚いたり、褒めたり、応援していることを伝えたりする。
・ゴールをめがけて思いきり走る	○スタートの合図を知り、よく聞いて合図に合わせて身体を動かそうとする⑤	◎ スタートの合図が分かるように、分かりやすくはっきりと合図を出したり、子どもの準備が整っていることを確認してから目を合わせて合図を出したりする。 ◎ スタートの合図で身体を動かし始められるよう、教師が走り出すところをやって見せたり、友達がしている姿を具体的に言葉にして褒めたり、感覚がつかめるように何度もやる機会をつくったりする。
	○ *ゴム紐を跳び越えたりくぐったり、平均台やバランスストーンを渡ったりして*速く進むために、体の動かし方を変えたりスピードを調整したりする⑤ ○速く走るために思いきり手足を動かして力いっぱい走る⑤	◎ *ゴム紐を跳び越えたり、くぐったり、平均台やバランスストーンを渡ったりして*速く進むために身体を工夫して動かしたり調節したりするよう、身体を動かしている姿をその場で言葉にして伝えたり、友達の姿を見せたり、どうしたら速く進めるのか考える姿を見せたり、友達が考えていることを言葉にしたりする。 ◎ 思いきり手足を動かして力いっぱい走ろうとするよう、手足を動かして走っている友達を見て、手足を動かすと速く走れることに驚いたり、手足を動かして走っている姿を褒めたりする。
・友達を誘ったり誘われたりする	○友達と一緒に走り、一緒に走る心地よさを感じたり、友達の走る姿を見	◎ 友達と一緒に走る心地よさを感じられるように、一緒に走って喜んでいる気持ちに共感したり、一緒に走る楽しさを言葉にしたり、応援し

	て応援したりする④	たりする。
・友達や先生と一緒に走る	○友達と一緒に走りたいと思い、友達と一緒に座ったり、スタート地点まで一緒に進んだりする④	◎友達と一緒に走りたいと思って走る用意ができるように、友達と手を繋いで待っている喜びに共感したり、一緒に走る友達の名前を言って意識させたりする。
・速く走れることを先生に見せる	○ゴールできたり速く走れたりしたことを嬉しく思う②	◎ゴールしたり速く走れたりしたことを嬉しく思えるように、ゴールしたことを一緒に喜んだり速く走れたことに驚いたり褒めたり、前回より頑張っていたところや変化を言葉にして褒めたり、速くて驚いた教師の気持ちを伝えたりする。
	○前より速く走れた、最後まで走りきった、友達や先生を抜かせた自分の頑張りを感じる。③	◎速く走れたことや、友達を抜かせたことに気づけるように、少し後ろを走ったり、ゴールで待ち、全体を見たりして、速かったこと、抜かせたことを伝えたり、喜んでいる子どもの様子を認めたりする。

C【先生や友達、お家の人にみてもらう】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・友達が走るのを見る ・いろいろな先生や他クラスの友達、お家の人に見てもらうことを楽しみにしたり、応援してもらったり褒めてもらったりして喜んだりする	○友達が走るところを喜んで応援したり、いろいろな先生や他クラスの友達にも応援してもらえる嬉しさを感じたりする④ ○お家の人に見てもらうことを楽しみにする ○応援してもらえたことや頑張ったこと見てもらえたことに満足する②	＊子どもたちが座って応援しよう、応援する場を作ろうと思えるように、長椅子（ベンチ）を置いておく。 ◎友達が走る姿を見たり応援したりする楽しさを感じられるように、走っている友達の名前や姿を知らせたり、一緒に応援したりする。 ◎いろいろな先生や他のクラスの友達に見てもらったり応援してもらったりする嬉しさを感じられるように、応援してもらえる場を作ったり、応援してくれていることを知らせたり、見て感じたことを伝えてもらったりする。 ◎お家の人に見てもらうことを楽しみに思えるように、お家の人が来てくれることやお家の人がいてくれる場所を知らせたり、お家の人も楽しみにしていることを伝えたりする。 ◎見てもらったり応援してもらったりしてよかったと思えるように、応援してくれていたことを伝えたり、見てもらってどんな気持ちだったかを尋ねたり、嬉しい気持ちに共感したりする。

令和６年度　４歳児　「運動会玉入れ」

（令和６年度実践前修正箇所を*斜体*、
実践後修正箇所を囲み文字にて示す。）

１．期間　　*９月～１０月*

２．設定の理由

３歳時には、園庭の芝生で思い切り走ったり、固定遊具やゲームボックス、太鼓橋などを使ったりして体を動かす楽しさを感じてきた。また、転がしたり、投げたり、追いかけたりしてボールの動きに合わせて体を使う遊びも経験してきている。また、教師や友達と一緒に遊具で遊んだり、追いかけっこをしたりして、一緒に動かす嬉しさも感じてきている。

４歳の１学期には、園庭で思い切り走ったり、固定遊具で遊んだり、*バスケットボールなど~~木登り~~*をしたりして、様々に体を動かすことを楽しんできている。その中で、固定遊具の高いところに登りたい、*バスケットボールでゴールで決めたい*~~木登りで上まで登りたい~~など、少し難しいことに向けてできるようになりたいと思い、繰り返し取り組む姿も見られるようになってきている。また、*ケイドロ*で追いかけたり追いかけられたりして友達や教師と一緒に遊ぶ楽しさを感じたり、勝ち負けがあることで、勝って嬉しい気持ちや負けて悔しい気持ちを、友達と一緒に感じたりする経験をしてきている。

３歳での経験と、４歳１学期での経験をもとに、できるようになりたい、上手になりたいと具体的な目的をもって、考えたり試したりして何度も取り組むなかで、できるようになったり、前よりも上手になったりしたことを嬉しいと思ったり、自信をもったりするように、玉入れを設定する。また、玉を入れられていない友達のことを思ったり、チームが勝てるようにどうしたらいいか考えたりして、思いついたことをしようとするように、*玉入れのルール*を設定する。

玉を入れたい、玉を遠くまで投げたい、~~*遠く走りたい*~~と思って繰り返し取り組む中で、自分の頑張りを感じられるように、頑張りを褒めたり、励ましたりしていきたい。また、同じチームの友達と玉を投げたり、走ったりする中で、友達と一緒に玉入れをする楽しさを感じられるように、応援し合ったり、一緒に喜んだりする子どもの気持ちに共感していきたい。その過程で、*玉入れのこと*~~投げたり走ったりすること~~が得意な友達の個性やすごいところに気付けるように、その姿を知らせたり、互いがしているところを見合う時間を設けたりしていきたい。そして、勝ちたいという思いを大切にし、勝てるようにどうすればいいか考えたりしようとするように、工夫して投げたり、遠くに投げたり~~*遠く走ったり*~~、一生懸命友達を応援したりする子どもに目が向くような言葉を掛けたり、勝ったことを一緒に喜んだり、負けたことを悔しがったりしていきたい。カゴの中に入っている玉の数を見比べたり、勝敗を判断したりすることで、必然的に数量に関する学びも期待することができる。

３．ねらい

① 玉を入れたい、たくさん入れたい、遠くに投げたい~~*遠く走りたい*~~、自分の色の玉を投げ切りたい速く片付けたい、勝ちたいという気持ちをもって、何度も玉を投げたり、~~*走ったり*~~玉を拾い集めたりして取り組もうとする。　　自ら決める・選ぶ

② 玉をたくさん集められた、玉を入れられた、自分の色の玉が2個共入った、チームが勝ったという嬉しさを感じたり、~~前よりも遠くへ玉を投げられたこと、たくさん入れられたこと、前よりたくさん練習したことなどの~~自分の頑張りに満足したりする。　　自分に満足する

③ 友達と一緒に玉を投げたり走ったり拾い集めたりすることや友達を一緒に応援することを楽しんだり、友達や先生、年少児や年長児に応援してもらうことを嬉しく思ったり、チームが勝てた嬉しさや負けた悔しさを一緒に感じたりする。　　他者といる喜びを感じる

④ 玉を遠くまで投げている友達、~~玉を的まで投げている友達、~~玉をたくさん入れられる友達、自分の色の玉を2個共入った~~走ることが速い~~友達を見て、友達のすごいところに気付いたり、たくさん練習している友達の頑張りを知ったりする。　　他者のことを知る

⑤ *何度も挑戦して、うまくいかなかったことが成功するようになった自分の成長に*　　*自分のことを知る*

気付き嬉しく思う。

⑥ 玉が入らなくて困っている友達を気にかけて投げ方のコツを教えてあげようとしたり、玉を拾って渡したり、座る場所を教えたり、応援したりする。 他者のことを考えて行動する

⑦ チームが勝てるように、~~合図が鳴ったらすぐに走り出したり~~、できるだけ多くの玉をカゴの近くに投げて~~玉入れをする。~~ *玉を集まるように*~~めようとしたり~~ *~~速く走るための練習を呼びかけたり~~*、落ちた玉を素早く拾って友達に渡したりするなど考えたことを言ったり、友達の考えを聞いたりして、自分にできることをしようとする。 人と物事をすすめる
問題を認識する
豊かに発想し、追及の手立てを構想する

⑧ どうしたら遠くにある *玉入れのカゴに近付くように*~~コーンに~~玉を *投げられるのか*~~当てられるのか、~~玉が入るのかを考え、カゴをよく見て投げたり、投げる角度や力加減や手や腕の動かし方、膝の使い方、足の開き方、上半身の動かし方などを考えたり試したり、投げる角度や力加減を調節したりする。 ~~*また、力いっぱい走ることを楽しむ。*~~ 身体を操作する
問題を認識する
豊かに発想し、追及の手立てを構想する

⑨ 玉を投げる強さや角度、距離、足の開き方によって、玉の飛ぶ方向や入りやすさが違うことを、何度も試して感じる。 事物・現象を捉える

⑩ 投げた玉やカゴに入っている玉の数を見比べたり、数を数えたりして、数や量の多少を感じる。また、数の多少で勝ち負けの判断をする。 数・量を捉える
比較する

４．展開

玉を投げて遊ぶことを楽しむ

Ａ【玉を投げて遊ぶこと楽しむ】
- 玉をたくさん投げたいと思って玉投げをする。
- 遠くにある~~ゴールに~~玉入れのカゴをねらって~~と思って~~玉投げをする。
- 友達と一緒に玉を投げたり拾ったり応援したりすることを楽しむ。
- 手首や腕を使って玉を投げる。
- 投げる強さによって玉が飛ぶ距離が変わることを感じる。

玉入れをすることを楽しむ

Ｂ【玉入れをすることを楽しむ】
- 玉を入れたい、たくさん入れたいと思って何度も玉入れをする
- 自分の色の玉が入ったことを喜ぶ
- 友達と一緒に玉を投げる~~たり、走ったりする~~
- 対決し、勝ったことを喜ぶ
- どうしたら玉を入れられるかを考え、カゴをよく見て投げたり、投げる角度や力加減、カゴとの距離を考えたり試したりする
- ~~力いっぱい走ることを楽しむ~~
- 玉を投げる強さや角度によって、玉の飛ぶ方向や入りやすさが違うことを感じる
- カゴに入っている玉の数を見比べたり、数えたりして、数や量の多少を感じる

勝ちたいと思って対決することを楽しむ

Ｃ【チームが勝つために自分のできることをしようとしたり、勝った喜びや負けた悔しさを友達と一緒に感じたりする】
- 勝ちたいと思って何度も取り組もうとする
- 前よりも入れられた、前よりも遠くへ玉を投げられたことを感じ、たくさん練習した自分の頑張りに満足する
- 友達を応援することを楽しんだり、友達に応援してもらうことを嬉しく思ったり、チームが勝った嬉しさや、負けた悔しさを感じたりする
- 友達の姿を見たり聞いたりして、すごいところに気付いたり、頑張りを知ったりする
- 玉が入らなくて困っている友達を気にかけ、玉の投げ方を教えてあげようとしたり、拾って渡したり、座る場所を教えたり応援したりする
- チームが勝てるように、自分にできることをしようとしたり考えたりする。

運動会で対決することを楽しみにする

A【玉を投げて遊ぶことを楽しむ】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・玉をたくさん拾って投げたい、遠くにある玉入れのカゴの近くに投げたい~~ユーンに当てたい、~~勝ちたいと思って玉を投げ~~をす~~る。	○玉をたくさん~~自分の陣地に投げ返したい相手チーム、~~遠くにある玉入れのカゴの近くに~~ユーン~~に投げたいと思って玉を拾ったり投げたりしようとする。①	◎玉をたくさん~~自分の陣地に投げ返したい、相手チームに投げたい、~~遠くにある玉入れのカゴの近くに投げ~~ユーンに当て~~たいと思って玉を拾ったり投げたりしようとするように、すぐに拾って投げたり集めたりしている姿をほめたり、行き来する玉の量を言葉にしたりする。
・友達と一緒に玉を投げたり拾ったり応援したりする。	○友達と一緒に玉を投げたり拾ったり応援したりすることを楽しむ。③	◎友達と一緒にする楽しさを感じられるように、クラス毎にチームを組んだり、始める前に気合いを入れたり、楽しさや嬉しさを言葉にしたりする。
・手首や腕を使って思い切り投げる。	○手首や腕を使って玉を投げたり投げる感覚をつかんだりする。⑧	◎手首や腕を使って投げたり投げる感覚をつかんだりするように、繰り返し投げられるような遊びを提案したり、投げている友達の動きを言葉にして見せたりする。
・投げる強さによって玉が飛ぶ距離が変わることを感じる。	○投げ方によって玉が飛ぶ様子や距離、位置が変わることを感じる。⑨ ○どうすれば投げたい場所にボールを投げられるのかを考えて、力加減、手や腕の動かし方、足の開き方、上半身の体の動かし方などを考えたり試したり、力加減を調節したりする。⑧ ○玉をたくさん集められた、前よりも遠くへ玉を投げられたことを感じて、嬉しく思ったり自分の頑張りに満足したりする。②	◎色々な投げ方をやってみて玉の飛ぶ様子や距離や位置が変わることを感じられるように、投げた後の玉の飛んでいく様子を言葉にしたり、どうだった感じたか尋ねたり、投げ方を変えている友達の姿を見せたりする。 ◎狙っている場所に玉が飛んでいく投げ方を考えたり試したりするよう、色々な投げ方を一緒に試してみたり、子どもが試している投げ方や以前の投げ方との違い、投げた後の玉の様子を具体的に言葉にしたり驚いたり、投げている友達の足元や手の動き、体の向きに注目させたりする。 ◎自分の頑張りを感じられるように、玉がたくさん集まっていることや遠くに飛んでいく玉を見て驚いたり、玉を集めたり遠くに投げたりするために考えて色々試してきたことを思い出させたりその姿に感心したりする。

B【玉入れをすることを楽しむ】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・玉を入れたい、たくさん入れたいと思って何度も玉入れをする	○玉を入れたい、自分の色の玉を投げ切りたいたくさん入れたい、速く片付けたいという気持ちをもって、何度も玉を投げたり、走ったり、玉を拾い集めたりして取り組もうとする	◎玉を入れたい、自分の色の玉を投げ切りたい、たくさん玉を入れたいなど、やりたいことに向けて繰り返し取り組もうとするように、たくさん入れたい、勝ちたい今度こそ入れたいなどの気持ちを盛り上げ、何度も玉を投げたり~~、走ったり~~する姿や頑張りを褒めたり、励ましたり、教師も一緒に玉入れをしたりする。 ◎

	①	
・玉が入ったことを喜ぶ ・友達と一緒に玉を投げ~~たり、走ったりする~~	○玉を入れられた嬉しさを感じる② ○友達と一緒に玉を投げ~~たり、走ったりする~~ことを楽しむ③	◎玉を入れられた嬉しさを感じられるように、入った瞬間のタイミングで褒めたり、一緒に喜んだりする。 ◎友達と一緒にする楽しさを感じられるように、友達と玉を投げ~~たり走ったりす~~る楽しさや嬉しさを言葉にしたり、一緒に喜んだり、*友達の様子や名前を声に出したり*する。
・対決し、勝ったことを喜ぶ ・*自分の成長や頑張りに気付く*	○*何度も挑戦して、うまくいかなかったことが成功するようになった自分の頑張りに気付く⑤*	*◎何度も挑戦している姿を応援したり、頑張っている姿を具体的に言葉にして褒めたり、成功したことを一緒に喜んだりする。*
・どうしたら玉を入れられるかを考え、カゴをよく見て投げたり、投げる角度や力加減を考えたり試したりする	○どうしたら玉が入るのかを考え、カゴをよく見て投げたり、~~*投げる角度や力加減、*~~手の動かし方、膝の使い方、足の開き方などを考えたり試したり、*投げる角度*や力加減を調節したりする。⑧ ~~○力いっぱい走ることを楽しむ⑦~~	◎玉が入る投げ方を考えたり試したりできるように、なぜ入らなかったのか、どうしたら入るのかを尋ねたり、一緒に考えたり、互いが投げる姿を見合う場を設けたりする。そこで、友達の投げ方や投げる速度、*投げる角度*、*身体の使い方など*を具体的な言葉で知らせたり、教師も一緒にやってみたりする。
~~・力いっぱい走ることを楽しむ~~		~~◎力いっぱい走りきる気持ちよさを感じられるように、教師も一緒に走って、楽しさを受け止めたり、走るために必要で満足できる距離を確保してコースを用意したりする。~~
・玉を投げる強さや角度によって、玉の飛ぶ方向や入りやすさが違うことを感じる	○玉を投げる強さや角度や距離、足の開き方によって、玉の飛ぶ方向や入りやすさが違うことを、何度も試して感じる⑨	◎自分が投げる強さや角度、玉入れの*カゴ*までの距離、足の開き方によって、飛ぶ方向や入りやすさが違うことを感じられるように、教師も一緒にしてみて感じたことを具体的に言葉にしたり、気付いた気持ちを受け止めたり、繰り返し試す姿を見せたり、カゴとの距離が分かりやすいように目印をつけたりする。
・カゴに入っている玉の数を見比べたり、数えたりして、数や量の多少を感じる	○投げた玉の数やカゴに入っている玉の数を見比べたり、数を数えたりして、数や量の多少を感じる。また、数の多少で勝ち負けの判断をする⑩	◎遊びながら数や量の多少を感じられるように、数える前に比べて見たり、多少について尋ねたり、一緒に数えたりする。

C【チームが勝つために自分のできることをしようとしたり、勝った喜びや負けた悔しさを友達と一緒に感じたりする】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・勝ちたいと	○勝ちたいと思って、何	◎勝ちたいと思って、何度も取り組もうとするよ

思って何度も取り組もうとする	度も取り組もうとする①	うに、勝ちたいと思う気持ちを励まし、何度も取り組む姿を褒めたり、一緒に取り組んだりする。
・前よりも入れられた、たくさん練習した自分の頑張りに満足する	○前よりも入れられた、たくさん練習した自分の頑張りを感じる②	◎自分が頑張ったことに満足できるように、以前と比べて、玉をたくさん入れられた、たくさん練習したなど、一人一人の子どもが頑張っていることを具体的に褒めたり、自分で頑張ったと思っているところを聞いて受け止めたりする。 ◎自分の頑張りを自分の目で見て感じられるように、入った数の分の印をつけていくようなホワイトボード等を用意し、教師もやり方を見せながらやって見せたり、印の数を数えて驚いたり喜んだりする。
・友達に応援してもらうことを嬉しく思ったり、チームが勝った嬉しさや、負けた悔しさを感じたりする ・友達の姿を見たり聞いたりして、すごいところに気付いたり、頑張りを知ったりする	○友達に応援してもらうことを嬉しく思ったり、チームが勝った嬉しさや、負けた悔しさを感じたりする③ ○玉を遠くまで投げている友達、玉を2個共投げ切る~~的まで投げている~~友達、玉をたくさん入れられる友達~~走ることが速い友達~~を見て、友達のすごいところに気付いたり、たくさん練習している友達の頑張りを知ったりする。④	◎友達に応援してもらうことを嬉しく思ったり、クラスの友達と勝つ喜びや負けた悔しさを感じられるように、嬉しさを言葉にしたり、勝てた時には教師も一緒に喜んだり、負けた時には悔しい気持ちに共感したり、励ましたりする。 ◎友達の頑張りや個性を知ることができるように、友達の頑張っている姿を知らせたり、互いがしている姿を見る時間や、気付いたことを話す場を設けたり気付いた気持ちを受け止めたりする。
	○玉が入らなくて困っている友達を気にかけて教えてあげようとしたり、玉を拾って渡したり、一緒に練習したり、座る場所を教えたり応援したりする。⑥	◎友達のことを気にかけて、してあげたいと思うことができるように、なかなか玉が入らなくて困っている友達がいることを知らせたり、困っている友達に気付いて投げ方や座る場所を教えたり応援したりする姿を褒めたり、友達のしてもらって嬉しい気持ちを伝えたりする。
・玉が入らなくて困っている友達を気にかけ、玉の投げ方を教えてあげようとしたり、拾って渡したり、応援したりする ・チームが勝てるように、自分にできることをしようとする	○チームが勝てるように、~~合図が鳴ったらすぐに走り出す、~~落ちた玉を素早く拾って友達に渡す、カゴの近くに玉をたくさん投げておく、玉が落ちている場所を教えるなど考えたことを言ったり、友達の考えを聞いたりして、自分にできることをしようとする。⑥	◎どうすればチームで勝てるか考えたりチームが勝つために自分にできることをしようとしたりするように、合図が鳴ったらすぐに走り出す、落ちた玉を素早く友達に渡してあげるなど、勝った理由や前より相手チームとの差が縮まっている理由を尋ねたり、自分が考えたことやしていることを話したり友達の考えを聞いたりする時間を設けたり、チームが勝つために何をしようか自分で考えて取り組む姿を褒めたり、他児に知らせたりする。

令和６年度　５歳児　「運動会リレー」

（令和６年度実践前修正箇所を*斜体*、
実践後修正箇所を囲み文字にて示す。）

１．期間　　９月～10 月

２．設定の理由

３歳児は、自分達の遊び場の横で５歳児がリレーをしている様子を遊びながら目にしてきている。４歳になると、５歳児がするリレーを憧れて見たり、ただ見ているだけにとどまらず、旗を作って応援したり、時には自分も入りたいといって好きな遊びの中でのリレーに仲間入りしたりする子どももいる。また、４歳の園庭にコースを作ってリレーごっこを楽しんだり、コースを作り変えたり、距離を伸ばしたり、５歳児が運動会で走るコースを使ってクラス対抗リレーをしてみたりして繰り返し楽しんできている。また、走ることに限らず、ボールをたくさんついたり的に投げたり、縄跳びの前跳びや走り跳びをしたり、*フープの数を増やして回したり何分回せるか計ってみたり*するなど、遊具を使った技ができるようになりたいと思って何度も挑戦する姿も見られてきている。

５歳児になると、いよいよ運動会でリレーができることを楽しみにしている。４歳児や他のクラスの教師の応援も受け、自分達でより速く走れるように練習したり、一生懸命走っていない友達やいい加減なバトンの渡し方をしてくる友達を許さなかったりし、勝ち負けにこだわり、勝てるようにするにはどうしたらよいのかを考えてクラスの友達と一緒に心と力を合わせて取り組むようになっていく。また、ボールや縄、*や*フープではより難しい技に挑戦したり、さらにし慣れることでコツをつかんでスムーズに技を自分のものにしたりするようになっていく。そのような技の要素をリレーに取り入れることで、身体能力に左右されやすい走力だけで競うのでなく、技を磨くことで勝負できる活動の幅を広げ、より一層技の練習に励んだり、コツを考えたり伝え合ったり、走ること以外の友達の素敵なところに気付いたりすることができるようになる。さらに、子どもと相談しながら技やルールなどを取り入れることで、自分達で考えて遊びを作っていくことができるようになる。その過程で、条件を公平にするためにルールが必要なことを、ルールのある遊びを体験して学んでいき、必要なルールを決めていこうとしたり、必要があって納得して決めたルールを進んで守ろうとするようになったりしていく。また、条件を公平にするために人数を揃えることが必要になり、自分達の生活の中で必然的に数・量に関する学びも期待することができる。

繰り返し取り組む中で、１回でも勝つ喜びが味わえるように、諦めずに取り組もうとする子どもの気持ちを支えていきたい。そのためには、走ることが速くなったり、技が上達したりしてきていることや自分の頑張りを自覚できるように、以前との変化やそれに向けた努力の姿を具体的に知らせながら、さらに練習しようと思えるように、そして、その気持ちがクラスの子どもの中に広がり、一緒にみんなで頑張ろうと思えるように気持ちを盛り上げていきたい。

３．ねらい

① 前よりも速く走れるようになりたい、難しい技に挑戦してできるようになりたい、ボールや縄、フープの技を上達させたい、バトンを落とさないようにしたい、勝ちたいなど、自分の目標に向けて何度も練習したり、最後まで全力を出したりしようとする。　　自ら決める・選ぶ　問題を認識する

② 前よりも速く走れた、勝った、ボールや縄、フープの技が上達したなど、自分の目標を達成したり、それに近付いたことや目標に向けて一生懸命頑張ったこと、自分達で準備や片付けを進めていることや、最初難しさを感じていたことができるようになったりしたことを感じて自信をもつ。　　自分に満足する　自分を客観的に把握する

③ *自分で振り返ったり、先生や友達に自分の頑張りを言葉にしてもらったりすることで、上達するため、勝つために走ることや技を何度も試したり、もっと上手くなりたいと思ったり、技がうまくいかなかった時や負けた時に悔しさを感じる自分に気付いたり、認めたりしようとする。*　　*自分のことを知る*

④	友達と一緒に頑張ったり励まし合ったりする嬉しさを感じたり、勝ったことを友達と一緒に喜んだりする。	他者といる喜びを感じる
⑤	友達の頑張りや工夫、素敵なところに気付いたり認めたり、友達の表情や動き、話、その状況から、気持ちやその気持ちになった理由を考えたり、知ったり、*認めたり*しようとする。	他者のことを知る
⑥	勝負に勝つために、一緒に考えたり、自分の知っていることを友達に教えたり、一緒に練習したり、応援したり、友達と作戦を考えたり決めたりする。	人と物事を進める 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
⑦	皆が納得して遊ぶために、必要を感じてチームの人数や~~*コースの内容使用する道具、技の回数*~~などの遊び方やルールを、友達と一緒に考えたり決めたりしようとする。	人と物事を進める 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
⑧	友達と一緒に準備や片付けをするために、自分ができることをしようとしたり、声を掛け合って*集まろうとしたり*、やり方を考えたり確認したりして、決めた役割を責任もってしようとする。	人と物事を進める
⑨	力いっぱい走りきる気持ちよさやスピード感、コーナーを曲がる時に外側に広がる感覚、続けてボールを受けて突き出す感覚、~~*縄を回すのが足元に来るタイミング*~~に合わせて跳ぶ感覚、フープの動きを感じて体でフープを押し出す感覚など、走ったりボール~~*を使ったり*~~や縄、*フープ*を使ったりすることで感じる様々な感覚を感じる。	身体を操作する
⑩	どのようにしたら速く走れたり、上手くボールが突けたり、縄が跳べたり、フープを回せたりするのかを考え、コースを走ったり、ボールの突き方や縄の回し方や跳び方、フープを回す際の体の動かし方を変えたりして試したり、走ったりボールをついたり縄を跳んだりフープを回したりするのが得意な友達の動きを見たりして、コツをつかんだり体で覚えたりしようとする。	身体を操作する 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
⑪	ボールが突く場所や突き方、ボールの種類によって弾み方が変わることや、縄やフープが回す速さや回し方によって様子が変わること、コーンは離れても見やすいことなど、道具の特徴や様子の変化の面白さや不思議さを感じる。	事物・現象を捉える
⑫	チームの人数を揃えるために、数えたり、並んで比べたり、差を感じたり、人を増減させたり一人が走る回数を増やしたりなどして調整したりしようとする。	数・量を捉える 比較する
⑬	競争したり、友達が競争しているのを見たりして、相手との距離が縮まったり広がったりしたことを感じたり、そのことから、速さの違いを感じたりする。	数・量を捉える
⑭	隣との距離を考えてコーンを置いたり、等間隔に置けているか確認したり、距離が近かったり離れたりしていることを感じて置く位置を調節したり*走っている相手チームと自分のチームが離れている距離を見て*戦況を感じたりする。	空間を捉える 問題を認識する 実行し、その結果を基に判断を下す
⑮	走っている人が見やすいように、並ぶ位置や向きを考え整えたり、これから走る人と走り終えた人が分かりやすいように、待つ場所を設定したりするなど、必要に応じて遊びがしやすいように場を整えようとする。	場や状況を整える 問題を認識する 実行し、その結果を基に判断を下す
⑯	~~*公平かつ面白くなるように、使用する道具や技の回数を考えたり、他の道具や技をする回数とも比べながら考えたり試してみたり技や回数を変えたりする。*~~	~~*面白さを生み出す*~~ ~~*問題を認識する*~~ ~~*比較する*~~ ~~*実行し、その結果を基に判断を下す*~~

４．展開

リレーをすることを楽しみにしたり、リレーを楽しんだりする

⇩

より速く走ったり上達したりするように何度も挑戦したりコツを考えたり、自分達のチームが勝てることを願って作戦を考えたり~~、より面白くなるようにコースを考えたり~~する

A【リレーをする】
- コースを走る
- 勝つことを喜んだり負けることを悔しがったりする
- 速く走れるように何度も走ったり、友達と競争したりする
- ボールや縄、フープの技が上手くなるように、何度も挑戦したり、コツを感じたり見聞きして取り入れたりする

- 速く走れるように走り方を考えたり教え合ったりやって見せたり取り入れたりする
- 対決することを楽しむ
- 勝負に勝つためにチームとして工夫できることを考えたり意識したりする

B【チーム~~やコース~~を決めたり、必要なルールを考えたりする】
- チーム分けの方法を考えたり決めたりする
- 走る順番を決める
- 必要なルールを考えたり決めたりする
- より面白く公平にな*るように、使用する道具やそれぞれの技の回数*~~コース~~を考えたり試したりして決める
- 必要に応じて用具を置いたり場を設定したりする

C【リレーの準備をしたり、道具を片付けたりする】
- 自分のしたい準備や片付けをする。（コーンを並べる、ボールや縄、フープを置く、片付ける）
- 自分の担当を決める
- 準備や片付けの役割を果たす

A【リレーをする】

予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・コースを走る ・勝つことを喜んだり負けることを悔しがったりする ・速く走れるように何度も走ったり、友達と競争したりする ・ボールや縄、フープの技が上手くなるように、何度も挑戦したり、コツを感じたり見聞きして取り入れたりする ・速く走れるように走り方を考えたり	○前よりも速く走れるようになりたい、ボールや縄、フープの技を上達させたい、バトンを落とさないようにしたい、勝ちたいなど、自分の目標に向けて何度も練習したり、最後まで全力を出したりしようとする。① ○前よりも速く走れた、勝った、ボールや縄、フープの技が上達したなど、自分の目標を達成したり、それに近付いたことや目標に向けて一生懸命頑張ったりしたことに満足する。② ○*上達するため、勝つために走ることや技を何度も試したり、もっと上手くなりたいと思ったり、技がうまくいかなかった時や負けた時に悔しさを感じる自分*	◎一人一人の子どもが、具体的な目標を意識できるように、勝負に挑む気持ちを尋ねるなどして勝ちたい気持ちを盛り上げ、勝つためにはどうすればよいか、自分はどうなりたいかを尋ねる。 ◎繰り返し練習することを楽しめるように、教師も一緒に走ったり技に挑戦したり、練習する姿を応援したりする。 ◎最後まで全力で取り組もうと思えるように、応援したり励ましたり、目標を振り返る声をかけたりする。 ◎自分の目標に向けて頑張ったことに満足[する~~できる~~]ように、以前と比べて、速く走れたり、一人一人の子どもが上手く突けたり跳べたり*回せたり*[する~~、そうなる~~]ために工夫したり意識したり努力したりしていることを具体的に[言葉にする~~褒める~~]。また、自分で頑張ったと思っているところを聞いて受け止める。 ◎*頑張った自分に気付いたり認めたりしようと思えるように、教師が感じた子どもの頑張りや上達するまでの過程を言葉にしたり、上達した時や悔しい時などに気持ちを尋ねたりする。*

教え合ったりやって見せたり取り入れたりする ・対決することを楽しむ ・勝負に勝つためにチームとして工夫できることを考えたり意識したりする	*に気付いたり、認めたりしようとする。③* ○友達と一緒に頑張ったり励まし合ったりする嬉しさを感じたり、勝ったことを友達と一緒に喜んだりする。~~③~~④	◎友達と一緒に頑張ったり励まし合ったりする嬉しさを感じられるように、一緒に練習したり応援してくれたり教えてくれたりする友達の存在について触れたり、友達がいる嬉しさを言葉にしたり、支え合う心地よさを言葉にして一緒に喜んだりする。 ◎クラスの友達みんなと勝つ喜びを味わえるように、勝てた時には一緒に喜んだり、負けた時には悔しい気持ちに共感したり、次に勝てるよう励ましたりする。
	○友達の頑張りや工夫、素敵なところに気付いたり認めたり、友達の表情や動き、話、その状況から、気持ちやその気持ちになった理由を考えたり、知ったり*認めたり*しようとする。~~④~~⑤	◎友達の頑張りや工夫、素敵なところ、気持ちや考えに気付いたり認めたり、その気持ちになった理由を考えたり知ったりしようとするように、友達の頑張っている姿や話していることを紹介したりそれを見聞きする場や時間を作ったりする。
	○勝負に勝つために、一緒に考えたり、自分の知っていることを友達に教えたり、一緒に練習したり、応援したり、友達と作戦を考えたり決めたりする。~~⑤~~⑥	◎勝負に勝つためにみんなが一緒に取り組めるように、勝つために自分が考えていることやコツを教えている姿*に感心したり~~を褒めたり~~*他児に紹介したり、伝え合う時間をもったりする。 ◎みんなで勝とうと心を合わせて取り組めるように、一緒に走って練習したり頑張っている友達を応援したりするよさを伝えたり、どんな作戦にするか投げかけたりする。
	○力いっぱい走りきる気持ちよさやスピード感、コーナーを曲がる時に外側に広がる感覚、続けてボールを受けて突き出す感覚、縄を回す*タイミング~~の~~*に合わせて跳ぶ感覚、フープの動きを感じて体でフープを押し出す感覚など、走ったりボールを使ったり縄を使ったりすることで感じる様々な感覚を感じる。~~⑧~~⑨	＊力いっぱい走りきる気持ちよさやスピード感、コーナーを曲がる時に外側に広がる感覚などを感じられるように、十分に走る距離を確保したり、90 度以上のカーブ を設定したりしてコースを用意する。 ＊手で続けてボールを受けて突き出す感覚や縄を回すのに合わせて跳ぶ感覚、フープの動きを感じて体でフープを押し出す感覚などを感じられるように、ボールをついたり縄を回して跳んだりフープを回したりすることを子どもと試しながらコースに設定したり、何度も挑戦する機会を設けたりする。
	○どのようにしたら速く走れたり、上手くボールが突けたり、縄が跳べたり、フープを回せたりするのかを考え、コースを走ったり、ボールの突き方を変えたり、縄の回し方や跳び方を変えたりして試したり、走ったりボールをついたり縄を跳んだりするのが得意な友達の動きを見たり	◎~~よい~~*考えた*方法をいろいろ試してその違いを感じられるように、コーナーを走る時に感じることを尋ねたり、どうすれば走りやすいか感じたり考えたりしていることを尋ねたり、友達の考えを聞かせたりする。 ◎速く走ったりボールを突いたり縄を跳んだりフープを回したりするためのコツを感じたり、体で覚えたりするように、友達が感じたコツを尋ねたり、コツを意識している様子を見せたりする。 ＊動きのコツを試したり、感じながら何度も練習したりできるように、クラスでの試す時間もと

	して、コツをつかんだり体で覚えたりしようとする。~~⑨~~⑩ ○ボール を突く場所や突き方、ボールの種類によって弾み方が変わることや、縄やフープが回す速さや回し方によって様子が変わることなど、道具の特徴や様子の変化の面白さや不思議さを感じる。~~⑩~~⑪ ○競争したり、友達が競争しているのを見たりして、相手との距離が縮まったり広がったりしたことを感じたり、そのことから、速さの違いを感じたりする。~~⑫~~⑬ ○走っている人が見やすいように、並ぶ位置や向きを考え整えたり、これから走る人と走り終えた人が分かりやすいように、待ち場所を設定したりするなど、必要に応じて遊びがしやすいように場を整えようとする。~~⑭~~⑮	る。 ◎ボールの突く場所や突き方による弾み方の違いを感じられるように、芝生や土、マットなど、異なる場をコース上に設定したり、突き方を言葉にしたり突き方を変えることを提案したり、突き方やボールの種類~~それ~~による違いを尋ねたりする。 ◎縄やフープの回す速さや回し方によって様子が変わることを感じられるように、回す速さや回し方の違いや教師が感じた縄の様子を言葉にしたり、他児が回している姿を紹介して一緒に見たりする。 ◎友達の走る速さを感じられるように、友達の走る様子を見る機会を設けたり、速さや距離の変化について尋ねたり、教師が感じたことを言葉にしたりする。 ◎必要に応じて遊び~~がしやすいように~~をしやすくするために場を整えようとするように、不都合を感じているが言葉にしたり改善に向けた行動に移さない場合は、不都合はないか尋ねたり、教師が推察した子どもにとっての不都合を言葉にして尋ねたり、どうすると遊びやすくなるか問いかけたりする。

B【チームやコースを決めたり、必要なルールを考えたりする】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・チーム分けの方法を考えたり決めたりする ・走る順番を決める ・必要なルールを考えたり決めたりする ・り面白く公平になるように、使用する道具やそれぞれの技の回数~~コース~~を考えたり試したりして決める~~よ~~	○難しい技に挑戦してできるようになりたいと思い、技を選んだり、自分の目標に向けて何度も練習したり、最後まで全力を出したりしようとする。① ○皆が納得して遊ぶために、必要を感じてチームの人数や~~コースの内容~~使用する道具や技の回数などの遊び方やルールを、友達と一緒に考えたり決めたりしようとする。~~⑥~~⑦	◎難しい技に挑戦してできるようになりたいと思えるように、どんな思いで技を選んだのかやどんな自分を見せる場にしたいのかを尋ねたり、今は難しくても何度も練習することでできるようになることを言葉にしたり励ましたりする。 ＊必要を感じて友達と一緒にルールを考えたり決めたりしようと思える~~する~~ように、おかしいと思ったことを出し合い、いろいろな考えを聞いたり、考えたことを実際にやってみたりして、みんなが納得する解決方法を見付けたことを一緒に喜び、みんなが納得する解決方法を見付け出すよさを感じられる機会を設ける。 ◎皆が納得して遊ぶために、必要を感じてチームの人数や使用する道具や技の回数などの遊び方やルールを、友達と一緒に考えたり決めたりしようと思えるように、使用したい道具ごとに技の回数を話し合うよう伝えたり、他の道具を使用する子ども達とも

~~り面白く公平なコースを考えたり試したりして決める~~ ・必要に応じて用具を置いたり場を設定したりする	○チームの人数を揃えるために、数えたり、並んで比べたり、差を感じたり、人を増減させたり一人が走る回数を増やしたりなどして調整したりしようとする。~~⑪⑫~~ ~~○公平かつ面白くなるように、使用する道具や技の回数を考えたり、他の道具や技をする回数とも比べながら考えたり試してみたり技や回数を変えたりする。⑯~~	~~話し合う機会を設けたりする。~~ ◎遊びの必要から数を数えたり揃えたり差を感じたり足りない人数を埋めたりして調整しようとするように、人数が違うことで勝負の結果が左右される状況を見守ったり、子ども達が数えたり揃えたりするために考えていることを尋ねたり、していることを言葉にしたり~~、一緒にしてみたり~~する。 ~~◎公平かつ面白くなるように、使用する道具や技の回数を考えたり比べたり試したりしようと思えるように、したいと思っている技やその回数にしたい理由を尋ねたり、やってみて面白くなったか振り返る機会を設けたりする。~~

C【リレーの準備をしたり、道具を片付けたりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・自分のしたい準備や片付けをする。 （コーンを並べる、片付ける、ボールや縄、フープを置く） ・自分の担当を決める ・準備や片付けの役割を果たす	○自分達で準備や片付けを進めていることや、最初難しさを感じていたことができるようになったことを感じて自信をもつ② ○友達と一緒に準備や片付けをするために、自分ができることをしようとしたり、声を掛け合ってやり方を考えたり確認したりして決めた役割を責任もってしようとする~~⑦⑧~~ ○コーンは離れても見やすいことなど、道具の特徴や様子の変化の面白さや不思議さを感じる。~~⑩~~⑪ ○隣との距離を考えてコーンを置いたり、等間隔に置けているか確認したり、距離が近かったり離れたりしていることを感じて置く位置を調節したり*走っている相手チームと自分のチームが離れている距離を見て*戦況を感じたりする。~~⑬~~⑭ ○並んだり走ったりする位置が分かりやすいようにコーンを置くなど、必要に応じて遊びがし	◎できるようになったことを自覚して自信をもてるように、自分達で準備や片付けを進めてきたことや、難しさを感じていたことができるようになっていることを言葉にしたり一緒に喜んだりする。 ◎自分達で競技の準備や片付けをするために、できることを見付けてしようとしたり、決めた役割を責任をもってしようとしたりするように、役割を決める際に必要を感じていたり納得したりしているか確かめたり、最後まで責任をもってやっている姿をみんなで応援しながら待ったり、役割を思い出せるように掲示しておいたりする。 ◎道具の特徴や様子の変化を感じられるように、道具を使ってみてどうか尋ねたり、扱いに慣れている友達の姿を紹介して様子の違いを尋ねたり、一緒に気付きを出し合ったりする。 ◎隣との距離や等間隔になることを意識してコーンを置いたり、置く位置を調整したりするよう、目印になるコーンの位置を決めたり、少し離れて間隔を見ることを勧めたり、どのくらいの距離なのか歩幅で確認してみせたりする。 ＊必要に応じて場を整えられるように、複数の大きさや色のコーンや縄などをいつでも持ち出せる場所に置いておく。 ◎必要に応じて遊びがしやすいように場を整えよ

	やすいように場を整えようとする。~~14~~⑮	うとするように、不都合を感じているが言葉にしたり改善に向けた行動に移さない場合は、不都合はないか尋ねたり、教師が推察した子どもにとっての不都合を言葉にして尋ねたり、どうすると遊びやすくなるか問いかけたりする。

令和６年度　５歳児　「たき火」

（令和６年度実践前修正箇所を*斜体*、
実践後修正箇所を**囲み文字**にて示す。）

１．期間　　11 月～12 月

２．設定の理由

年長児は、３歳４歳の間に、年長児がたき火をして焼いてくれた焼き芋を届けてもらって食べた経験がある。また、たき火をする１ヶ月程度の間、年長児がたき火の準備をしている様子を登降園の途中や遊んでいる時に目にしてきている。さらに、たき火をしている最中には、興味のある子どものみならず、各クラスの担任と一緒にたき火の傍に来て、たき火を見たり、たき火にあたったりする経験もしてきている。

このような経験をしてきているため、年長になると自分達がたき火をして、年少児や年中児に焼き芋を焼いてあげるのだという気持ちをもっている子どもも多い。そのような気持ちがない子どもも、落ち葉を集めてその感触を楽しんだり、園庭の樹木を剪定することで出てきた木の枝を薪にちょうどよい大きさにのこぎりで切りそろえたりすることを遊びの一つとして経験していく中で、落ち葉をどうするのか、切った木をどうするのかなど、自然と話題になり、たき火へと気持ちが向かっていくようになる。

また、年中児に育てたサツマイモを焼いてほしいと頼まれることで、芋を美味しく焼いてあげたいという気持ちになっている。

ちょうど、この頃年長の生活の中に、年少児や年中児を招待して開く「お店屋さんごっこ」に向けての取組が始まっている。この取組を通しても、年長児は年少児や年中児が喜ぶことをしてあげたいという気持ちをもち始めている。気温も低くなり、たき火で暖をとる必然性もできてくる頃、具体的にたき火の話を教師から持ちかけると、子ども達は年長児としての自覚とたき火への*~~興味期待~~*から、自分達がたき火をして焼き芋を焼いてあげることへの意欲をもっている子どもがほとんどである。

このような年長児としての自覚をもち、友達と気持ちを合わせて準備をしたり、自分達の役割を果たそうとしたりする経験を大切にし、さらには自分達の役割を果たす充実感も感じさせたい。また、たき火という活動から、火や煙に関する体験をすると同時に、それらと安全に関わる上で気を付けなければならないことを考えることもできる。

年長後半のこの時期に必要な経験の積み重ねができるように、できる限り子ども達一人一人が責任をもって自分達でたき火をして焼き芋を焼き上げられるような活動にしていきたい。そのためには、子ども達が大勢でたき火に関わるのではなく、一回のたき火に関わる子どもの人数をできるだけ少人数にする必要がある。一方で「お店屋さんごっこ」の取組も行っている時期であるため、「お店屋さんごっこ」で同じお店をしている友達によってグループ分けを行うことにする。このことにより、一人一人が責任をもってたき火をするための必要性から少人数にしたい教師の意図と、「お店屋さんごっこ」の準備のためにグループで生活のリズムを作っている子どもの必要性とをかみ合わせることができる。

また、安全確保と、保護者の子どもの発達や幼児教育への理解を期待して行う「保護者の保育参加」とも関連付け、本活動の意図を十分保護者に伝えた上で、保護者の協力も得て行う取組にしていきたい。

３．ねらい

① たき火をすることを楽しみにしたり、美味しい焼き芋を作りたいと思ったりして準備や当番を友達と一緒にやり切ろうとしたり、のこぎりで木を切りたいと思って切れるまで粘り強く取り組んだりしようとする。　自ら決める・選ぶ

② 苦労しながらも友達と力を合わせてたき火をし、焼き芋を焼き上げたことや、焼き芋を届けた年少・年中の友達、日頃お世話になっている方々に喜んでもらったことに満足感を味わう。　自分に満足する

③ たき火のことから気持ちが離れて遊具で遊んだり、危険を考えずに火で遊んだりしたい気持ちに~~を切り替えて~~~~折り合いをつけて~~、自分がしようと思っていたことや役割を思い出してそれに向かおうとする。　気持ちをコントロールする

④ 自分の言動を振り返ったり、友達や教師、保護者の方に知らせてもらったりして、自分の頑張りを感じたり、自分の言動を自覚して向き合おうとしたりする。　自分のことを知る

⑤ たき火当番の友達と一緒にたき火をする楽しさを感じたり、年少・年中の友達や日頃お世話になっている人に焼き芋を届け、喜んでくれる様子を見て嬉しく思う。　他者といる喜びを感じる

⑥ たき火当番の友達と一緒に、おいしい焼き芋を焼こうという気持ちをもち、火に入れる前の芋の準備や火の見張り番など、必要な役割を知ったり、考えたり、自分ができることをしようとしたりして、たき火当番を一緒にする友達と声を掛け合いながら、自分達の責任を果たそうとする。　人と物事を進める

⑦ のこぎりで木を切る時の腕の動かし方や力加減、リズムを考えたり、試したりしてコツを感じる。　身体を操作する

⑧ 振り回したり、刃が動く傍を手で押さえたりしない、刃を出した状態で置かないなどののこぎりの扱い方や１個ずつ丁寧に運ぶなどのレンガの運び方、防火用の水の準備、火の向きや勢いを確かめて少しずつ入れるなどの火の中への芋や薪、落ち葉の入れ方など、どうすると危なくなるかを聞いたり考えたりし、危なくないようにしようとする。　身を守る

⑨ 火の暖かさや、煙の煙たさ、~~や~~匂いなどを感じたり、落ち葉や薪が燃える様子や、扇いだら火がよく燃える様子を見て、その変化を捉えて驚いたり、理由を考えたり、試したりしようとする。　事物・現象を捉える

⑩ 引きながら切るのこぎりの特性や燃えないが熱を通すアルミホイルの特性、乾いているとすぐ燃える新聞紙の特性、*太い木を焼くと炭になる特性*を知ったり、感じたり、試したりしようとする。　事物・現象を捉える

⑪ 焦げないように濡れた新聞紙やアルミホイルを巻いたり、焼き加減を確かめたりして焼き芋を焼き、焼きあがった焼き芋の香りや味、食感の柔らかさを楽しんだり、おいしい焼き芋を友達と一緒に食べることを楽しんだりする。　食を見つめる

⑫ たき火の準備やたき火、片付けを通して、落ち葉や木の枝が、食べ物を焼いたり、植木や野菜の栄養に使えたりすることを感じる。　資源の活用を見つめる

４．展開

たき火を楽しみにして準備をする	**A【たき火の準備をする】** ・ 落ち葉や枝を集める ・ 薪を切る ・ かまどを作る
⇩	
たき火で責任をもって焼き芋を焼く	**B【たき火をする】** ・ バケツに水を入れる ・ 新聞紙を濡らしてサツマイモを巻き、さらにアルミホイルでくるむ ・ たき火に用意したサツマイモを入れる ・ 落ち葉や薪をくべる ・ 焼けた焼き芋を年少児や年中児、お世話になっている人に届ける ・ 焼き芋を食べる
⇩	
たき火の片付けをする	**C【たき火の片付けをする】** ・ 灰を畑や植え込みの中に肥料として入れる ・ かまどや残った落ち葉を片付ける

A【たき火の準備をする】

予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・ 落ち葉や枝を集める ・ 薪を切る ・ かまどを作る	○たき火を楽しみに準備しようとする。①	＊園庭の落ち葉や枝を集めることを遊びの中で楽しんでできるように、落ち葉や枝をそのままにしておき、子どもが扱える大きさの熊手を用意しておく。 ＊薪の準備を遊びの中で楽しんでできるように、子どもが切れる太さの枝を選んで置いておく。また、のこぎりの置き場所を決めて置いておく。 ◎たき火を楽しみに必要な準備をしようとするように、年中児が掘った芋をどうしてあげたいか一緒に考えたり、落ち葉がたくさん落ちた際に集めながらたき火をしたいか尋ねたり、去年の年長にしてもらったことを振り返ったり、するのであれば準備が必要であることを伝えたりする。
	○たき火の準備を通して、落ち葉や木の枝が、食べ物を焼くことに使えることを感じる。⑪⑫	◎落ち葉や木の枝をたき火に使うことを意識しながら落ち葉を集めたり薪を切ったりしようと思えるように、たき火をするのであれば落ち葉や木の枝が必要なことを知らせたり、教師がやって見せたりする。
	○振り回したり、刃が動く傍を手で押さえたりしない、刃を出した状態で置かないなどののこぎりの扱い方や１個ずつ丁寧に運ぶなどのレンガの運び方など、どう	◎安全に薪作りをするができるように、振り回したり刃が動く傍を手で押さえたりしない、刃が出たままだと誤って触れる危険があることなどののこぎりの扱い方を伝え、それらに気を付けて使っているかよく見ておく。 ◎かまど作りでレンガを丁寧に運べるように、たくさん持っていて足の上に落としたり、こけて手をはさんだりすると骨が折れるぐらい危険であるこ

	すると危なくなるかを聞いたり考えたりし、危なくないようにしようとする。⑦⑧	とを伝えたり、レンガを取りにいく人とレンガを持ってくる人の動線を一緒に考えたり、1 個ずつ歩いて運んでいるかよく見ておく。
	○のこぎりで木を切る時の腕の動かし方や力加減、リズムを考えたり、試したりしてコツを感じる。⑥⑦	◎のこぎりで木を切るコツが感じられるように、教師がコツを言葉にしながらやって見せたり、必要に応じて手を添えたり、まっすぐ動かすことや、引く時に力を少し入れるが力を入れすぎないことなどを伝え、繰り返し試せるように、1ヶ月程度の期間は準備のための期間として確保しておく。
	○引く時に切れるのこぎりの特性を知ったり、感じたり、試したりする。⑨⑩	◎のこぎりの特性を感じたり試したりしようと思えるように、のこぎりはどうやって切れていくのか一緒に見たり、尋ねたり、試してみてどうだったか尋ねたりする。

B【たき火をする】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・バケツに水を入れる	○焚き火をすることを楽しみにしたり、美味しい焼き芋を作りたいと思ったりして準備や当番をしようとする。①	○当番になって、たき火をすることを楽しみにしたり、美味しい焼き芋を作りたいと思ったりして準備や当番の役割に向かえるように、当番表を貼っておいたり、楽しみである気持ちに共感したりする。 ＊積極的にたき火に関わったり焼き加減を触って確かめたりするように、子ども用の軍手を用意しておく。
	○防火用の水の準備をし、燃え移ってもすぐに消せるようにしようとする。⑦⑧	＊防火用の水を自分達で準備しようと思えるできるように、砂場のバケツをいつもの場所にかけておく。 ◎防火用の水を準備しようと思えるように、火の粉が飛んで、近くの落ち葉や木の枝に燃え移った時にすぐに火を消すための水が必要であることを伝えたり、まだ水が準備できていないことを知らせたりする。
・新聞紙を濡らしてサツマイモを巻き、さらにアルミホイルでくるむ ・たき火に用意したサツマイモを入れる ・落ち葉や薪をくべる	○たき火当番の友達と一緒にたき火をする楽しさを感じる。④⑤ ○おいしい焼き芋を友達と一緒に食べることを楽しもうと、焦げないように濡れらした新聞紙やアルミホイルを巻いたり、焼き加減を確かめたりして焼き芋を焼く。⑩⑪	◎たき火当番の友達と一緒にたき火をする楽しさを感じられるように、当番の仲間が誰であるか一緒に確かめたり、仲間と一緒にするたき火の楽しさを言葉にしたりする。 ◎焼き芋がおいしく焦げずに焼き上がるように、濡らした新聞紙で巻くこと、火が入ることを防ぐために新聞紙が見えないようにアルミホイルでくるみ、木の枝があたってもアルミホイルが破けないように固く包んでおくことを知らせる。
	○たき火当番の友達と一緒に、おいしい焼	＊自分ができることをしようと思えるように、また、子ども達が自分達で一緒にたき火を担当する友達

	き芋を焼いてあげようという気持ちをもち、自分ができることをしようとする。~~⑤~~⑥	が把握できるように、1 回あたりのたき火を担当する子どもの人数を 8 人程度までになるように調整する。
	○火に入れる前の芋の準備や火の見張り番など、必要な役割を知ったり考えたりし、たき火当番を一緒にする友達と声を掛け合いながら、自分達の責任を果たそうとする。~~⑤~~⑥	◎自分達で声を掛け合ってたき火をしようと思えるが~~できる~~ように、火が消えそうになっていることを知らせたり、たき火から気が逸れている友達がいることなどを知らせたり、自分から声をかけている姿の皆で進める上でのよさを言葉にしたりする。 ◎自分達で責任をもってたき火をしようと思えるように、できるだけ手を出さず、子どもにできることは全て任せる。 ◎自分達で役割を分担したり見通しをもって動いたりできるように、どんなことが必要か、たき火の流れや行うことを知らせる。
	○友達と一緒にたき火をやり切ろうと当番であることを意識して役割を果たそうとする。①	◎友達と一緒にたき火をやり切ろうとするように、待っているクラスの楽しみにしている気持ちを伝えたり、焼き上がりが近付いていることを伝えたりする。
	○たき火のことから気持ちが離れて遊具で遊んだり、危険を考えずに火で遊んだりしたい気持ちに折り合いをつけて、自分がしようと思っていたことや役割を思い出してそれに向かおうとする。③	◎他のことに逸れた気持ちを切り替えられる~~に折り合いをつけられる~~ように、たき火から気持ちが逸れている子どもには、周りの友達がどう思っているのかを聞く機会を設けたり、自分がしたいと思っていたことを尋ねて思い出すきっかけを作ったりする。
	○自分の言動を振り返ったり、友達や教師、保護者の方に知らせてもらったりして、自分の頑張りを感じたり、自分の言動を自覚して向き合おうとしたりする。④	◎自分の頑張りを感じたり自分の言動を自覚して向き合おうとしたりするように、芋が焼きあがるまでの過程やその頑張りを言葉にしたり、自分の言動が周りの人からどう見えているか知らせたり、そのことについてどう思うか尋ねたりする。
	○火の向きや勢いを確かめて少しずつ入れるなどの火の中への芋や薪、落ち葉の入れ方を、どうすると危なくなるか聞いたり考えたりし、危なくないようにしようとする。~~⑦~~⑧	◎安全な火への関わり方や準備に向けて考えられるように、たき火の当番でなくても火の粉が飛んでくることがあることや髪の毛が長いと屈んだ時に火がつきそうなことなどを知らせる。 ◎火への接し方が雑な時には、火への関わり方を考えられるように危険であることを知らせて止めたり、そのまま続けているとどうなるか尋ねたり、教えたりする。 ◎安全な火への関わり方や準備に向けて、考えたり

		実際にやってみようとしたりするように、危険になると予想されるポイントを抑えて、危険な状況を説明したり、危険な状況にならないようにするための方法を尋ねて考えるきっかけを与えたり、考えたことをやって見せて確かめたり、実際にしている姿からよく考えていることを言葉にしたり他児に紹介したりする。
	○火の暖かさや、煙の煙たさや匂いなどを感じたり、落ち葉や薪が燃える様子や、扇いだら火がよく燃える様子を見て、その変化をとらえて驚いたり、理由を考えたり、試したりする。⑧⑨	◎火の暖かさや煙の煙たさ、匂いなどを感じられるように、危なくない範囲で火に近付く提案をしたり、手を出さないでできるだけ子ども自身が火に関わることができるようにすると共に、子どもが感じたことに共感したり、他児にも言葉で伝えたりする。 ◎薪が燃える様子や、扇いだら火がよく燃える様子など、火に関わる様子やその変化に気付いたり、その理由を考えたりできるように、変化に気付いている子どもの気付きを一緒に見て驚いたり、他児に伝えたり、その理由を一緒に考えたり、教師も不思議に思う気持ちを伝えたりする。
	○燃えないが熱を通すアルミホイルの特性や乾いているとすぐ燃える新聞紙の特性、*太い木を焼くと炭になる特性*を知ったり、感じたり、試したりする。⑨⑩	◎アルミホイルや新聞紙、*太い木*の特性を知ったり、感じたり、試したりしようと思えるように、アルミホイルや新聞紙の燃え方や熱の伝わり方に注目したり、どう違うか尋ねたり*木の様子がどう変化しているか一緒に見たり*する。
・焼けた焼き芋を年少児や年中児、お世話になっている人に届ける	○うめ組、もも組の友達や日頃お世話になっている人に焼き芋を届け、喜んでくれる様子を見て嬉しく思う。④⑤	◎人に喜んでもらう嬉しさを感じられるように、他のクラスや日頃お世話になっている人の分も焼くかどうか尋ね、焼き上がった芋を自分達で届ける場を設定する。
	○苦労しながらも友達と力を合わせてたき火をし、焼き芋を焼き上げたことや、うめ組やもも組の友達に喜んでもらったことに満足感を味わう。②	◎苦労しながらも友達と力を合わせてたき火をし、焼き芋を焼き上げた喜びを感じられるように、頑張ったことや大変だったことを尋ねたり、それを乗り越えたおかげでおいしい芋が焼けたことを言葉にしたりする。 ◎うめ組やもも組の友達に喜んでもらった満足感を感じられるように、届けた子ども達にうめ組やもも組の友達がどんな様子だったかや何と言っていたかを尋ねたり、教師が見取った様子や言葉を知らせたりする。
・焼き芋を食べる	○焼きあがった焼き芋の香りや味、食感の柔らかさを楽しんだり、おいしい焼き芋を友達と一緒に食べることを楽しんだり	◎焼き芋の香りや味、食感の柔らかさを楽しめるように、焼き芋の匂いを嗅ぐ姿を見せたり、味や食感について尋ねたり、匂いや味、食感に感動している姿を他児に知らせたりする。 ◎友達と一緒に分け合って食べる楽しさが味わえるように、グループに 1 個、1.5 個などの渡し方を

	する。⑩⑪	し、グループの友達と自分達で分ける場を設定する。そして、食べながら焼け具合や味などで感じた気持ちを受けとめて楽しく食べる雰囲気を作る。

C【たき火の片付けをする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・灰を畑や植え込みの中に肥料として入れる ・かまどや残った落ち葉を片付ける	○落ち葉や木の枝を焼いた灰が、植木や野菜の栄養に使えることを感じる⑪⑫	＊必要な道具を取りに行けるように、使いそうな砂場のバケツやスコップなどをいつもの場所に置いておく。 ◎灰が木や野菜の栄養になることを感じられるように、栄養になることを知らせ、栄養をあげたいと考えて灰を撒く子どもの気持ちを受けとめ、考えていることを他の子どもにも知らせる。 ◎~~野菜が大きくなる、~~ツツジの花がきれいにたくさん咲く、どんぐりが実るなどの期待をもって灰を撒けるように、自分達のしたことがどうなっていくのかを具体的に言葉にして伝えていく。
	○１個ずつ丁寧に運ぶなどのかまどの片付け方を、どうすると危なくなるかを聞いたり考えたりし、危なくないようにしようとする~~⑦~~⑧	◎かまどの片付けでレンガを丁寧に運べるように、準備と同様に、たくさん持っていて足の上に落としたり、こけて手をはさんだりすると骨が折れるぐらい危険であることを伝え、１個ずつ運んでいるかよく見ておき、危なくないように運んでいる子どもを知らせたりそうすることのよさを言葉にしたりする。

令和６年度　５歳児　「お店屋さんごっこ」

（令和６年度実践前修正箇所を*斜体*、
年度によって変わっていくことを網掛け、
実践後修正箇所を囲み文字にて示す。）

１．期間　　~~*10*~~*11*月～~~*11*~~*12*月

２．設定の理由

３歳や４歳の時に、５歳児に「お店屋さんごっこ」に招待してもらい、５歳児が作ったものを見て、すごいと思ったり、気に入ったものを買うことを楽しんだりした。そして、４歳の時には、「さくら組になったらドレス屋さんをする、武器屋さんをする」としたいお店を決めて楽しみにしている子どももいた。

５歳になると、好きな遊びの中で~~*服屋やパソコンショップ、コンビニごっこロボット屋さんやアイドルショー*~~などお店やさんごっこをしたり、お客さんを招待することを喜んだりする子どもがいる。そこで、学年全員で数人の友達と一緒にお店屋さんを開き、３歳・４歳児を招待する「お店屋さんごっこ」を設定する。

運動会の頃から、あんな遊びがしたい、できるようになりたいと自分なりに目的をもって遊ぶようになり、自分が目指していることに対して諦めずに取り組み、できた喜びを味わえるようになっている。友達関係では、５、６人の友達と自分達でルールやチームを決めて遊び、その中で困ったことが起きても、話し合いをして自分達で解決をしようとしている。また、園庭に落ちている木の葉やどんぐり、枯れ枝等の自然物にも興味をもち、それらを自分の作りたい物やイメージに近付くように身近にある材料と組み合わせて工夫しながら遊びに必要なものや美しい飾りものを作ることを楽しんでいる。

「お店屋さんごっこ」では、商品作りにおいて、*子ども達にとって*身近な物を作るので、イメージをもちやすく意欲をもって取り組めると考える。そして、友達と共通の目的に向かって遊びを進めていくことは、みんなで一緒にできたという満足感を味わえると考える。数人の友達と一緒にお店屋さんをすることで、話し合い~~*をし*~~*ながら*、友達と折り合いをつけながら何かを決めて、~~*ものごと*~~*物事*を進める経験ができると考える。また、３歳児や４歳児を招待することで、相手を思いやったり気遣ったりする姿も期待できる。

このような活動を通して、共通の目的に向かう過程で、様々な感情を味わいながら諦めずにやり遂げる満足感を味わってほしい。自分の気持ちを大事にすると共に、他の友達の置かれている状況も考え、みんなで~~*ものごと*~~*物事*を進めていこうとする姿を育てていきたい。また、*自分のイメージにより近付くように*様々な材料や道具を使って~~*自分のイメージにより近付くように*~~工夫する面白さを味わってほしい。その他、３歳、４歳児が楽し~~*めるようにみ*~~、困らないように考えたり気遣ったりする思いやりをもってほしい。実際に近隣の商店街「魚の棚」や商業施設に出かけて見学することで、身近な町の店の雰囲気や働いている人の様子に興味をもつことも願っている。

また、本年度は、一年生と、秋の自然を見付けそれを使って製作活動をし、秋の遊び大会*（おもちゃランド）*をする活動を行った。その経験がお店屋さんごっこで店員になるイメージや作りに必要なことのイメージを膨らませている。楽しかった経験や友達の工夫を活かし、活動に向かえると期待している。

３．ねらい

①	自分のしたいお店を決め、作りたい商品やお店に必要なものを考えて作り、素敵なお店にしたい、お客さんにいっぱい来てもらいたい、年少・年中児を喜ばせたいなどと目標をもち、そのためにどうすればよいか考え続け、何度も試したりやり遂げるまで向かい続けたりしようとする。	自ら決める・選ぶ 問題を認識する
②	自分で考えた素敵な商品やお店にするための~~自分の~~考えたことに自信をもったり、作りたいと思っているものができたり、前よりも素敵な品物やお店になってきたことを感じたり、自分達のしたいお店を作りきったり、自分達のお店にたくさんのお客さんが来てくれたり、自分達が作った商品が売れたり、準備したもので喜んでくれたりしたことに満足したりする。	自分に満足する 実行し、結果を基に判断を下す
③	グループの友達の気持ちを聞いたり周りの状況を感じたり、なりたい自分に照らし合わせたりして、自分の納得できるところに落ち着けたり、自分の気持ちに折り合いをつけたりしようとする。	気持ちをコントロールする
④	*グループの友達や教師に自分の頑張りや素敵なところ、性格について伝えてもらったり認めてもらったりして自分の頑張りや素敵なところ、性格に気付いたり認めようとしたりする。*	*自分のことを知る*
⑤	グループの友達と一緒に力を合わせて準備をしたり、困った時に助けてもらったりする嬉しさを感じて、一緒にお店屋さんごっこをする友達がいる嬉しさを感じる。	他者といる喜びを感じる
⑥	友達と一緒にお店屋さんごっこの準備をする中で、今まで知らなかった個性に気付いたり良さを感じたり認めたりしようとする。	他者のことを知る
⑦	グループの友達に自分の気持ちや考えを分かるように言葉を考えて伝えようとしたり、受け入れてもらえるように伝わるまで相手のことを考えた言い方で伝えようとしたり*伝えることのよさを感じたり*する。	自分のことを伝える 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
⑧	どうやって品物を作っていけばよいのか悩んだり自分から商品を売ることが恥ずかしかったりして、困っている友達の姿を見たり話を聞いたりして、どうしたらいいのか一緒に考えたり、どこまで教えたり手伝ったりしたらいいか考えてしようとする。	他者のことを考えて行動する
⑨	招待する年少・年中児が分かりやすいよう、楽しめるように、表示や陳列をしたり遊び方を考えたり、後から来るお客さんのために商品を取り置きしたり、言葉や話し方などを考えてかかわろうとしたりする。	他者のことを考えて行動する 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
⑩	グループの友達と自分達が実現したいお店にするために、必要な商品や道具、役割を考えて自分ができることをしようとしたり、作る商品やお店の中での役割分担、お店屋さんごっこの進め方、みんなでお店屋さんごっこをするために必要な決めごとなどについて、みんなが納得するように話し合ったり、試して振り返ったりして決め、決めたことを守ったり自分の責任を果たしたり、見通しをもって進めたりしようとする。	人と物事を進める 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する 実行し、結果を基に判断を下す
⑪	商品や必要なものを作る中で、道具や素材の感触や特性を感じたり、用途によって使い分けたり*して*、自分がしたことによる、ものの様子~~の~~が違い~~やう~~ことや変化*したこと*に気付いたり、原因と結果を結びつけて考えたり、経験から予想したり、試したり、確かめたりしようとする。	事物・現象を捉える 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
⑫	自分達が実現したいお店に必要な商品やものなどを考え、そのイメージに合わせて、大きさや形、色を考えたり、素材の特徴を活かして選んだり、組み合わせたり、友達の考えをとり入れたり材料からイメージを膨らませたりしながら、作ることを楽しむ。また、大きさや色、形、組み合わせ方、質感などから表現の面白さや本物らしさ、こだわりを感じる。	造形に表す 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
⑬	話し方や動きなどを工夫して、店員になりきって接客や呼び込みをすることを楽しむ。	身体の動きに表す

⑭ お店をよりよくしたり本物らしくしたりするために、役、道具や衣装、飾り、看板、値札、商品の見せ方、ＢＧＭなど必要なものを考えて準備しようとする。

演出に表す
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する

⑮ 自分達が使いやすく、お客さんが買いやすくするために、店内のレイアウトや商品の並べ方、商品の説明書き、場の作り方などを考えて準備したり、作業しやすいように、*作る場や売る*場を整えたり、物の置き場を決めたりしようとする。

場や状況を整える
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する

⑯ 品物とお金を交換したり、お釣りやレシートを渡したり、カード提示で品物を渡したりして、売り買いをすることを楽しむ。

財を活用する

⑰ 魚の棚やアスピア、ピオレに行き、お店屋さんの商品やその並べ方、値段の知らせ方、使っているもの、呼びかけ方、話し方、服装などお店屋さんのしている工夫や必要な物などに興味をもって見たり聞いたりする。

施設や働く人とつながりをもつ

⑱ まだ使えるかどうか考え、使えるものを取っておこうとしたり、無駄にならない使い方を考えて、大切に使おうとしたり、道具や素材が傷んだり使えなくなったりしないように丁寧に扱おうとしたり、限りある時間の中で時間を大切にできることを考えたり無駄にならないように行動したりしようとする。

資源の活用を見つめる
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する

＊その他、お店によって、または、場面によってはもつねらいを以下にあげる。

○お店のお知らせをする際に、招待する年少・年中児が分かりやすいように、何をどんな順序で言うといいか考えて、言葉を決めようとする。

文章の構成を整える
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する

○知らせたいことを伝えるために、看板や地図、広告、床にテープで矢印など描いて知らせようとする。

自分のことを伝える
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する

４．展開

お店屋さんごっこに気持ちが向く

A【「お店屋さんごっこ」について話をする】

・自分達がしてもらったお店屋さんごっこのことを思い出して、話す
・自分のしたいお店屋さんを決める
・お店屋さんごっこで大切にすることを聞く
・仲間が５人以上（６人程度）になるようなお店になるように*やりたいことを組み合わせて*一緒にできるお店を考える

B【魚の棚やアスピア、ピオレなどにお店を見に行く】

・お店屋さんで見てくること（お店の種類、お店の人の服やもっている物、お店にある物、商品の並べ方、値段の知らせ方、呼びかけ方、話し方　など）を考えたり、聞いたりする
・魚の棚やアスピア、ピオレのお店やお店で働く人を見る
・実際に教師がお金を払ってお店の人とやりとりしている姿を見る
・見付けたことを話す
・見付けたことを聞く

・お店屋さんごっこに向けて必要なこと（日、場所、準備する時間など）を聞く
・自分達のお店屋さんの計画（作る商品やお店に取り入れたいこと、必要な材料や道具など）をグループの友達と相談したり、かき留めたりする
・グループの友達と話し合ったことを紙にかいておく

⇩

作りたい商品を決め、考えたり試したり友達と相談したりして作る

C【商品や必要なものを作る】

・商品やお金、お店屋さんの道具など作りたいものや必要なものを作る
・友達の考えを聞く
・友達の作ったものを見る
・グループの友達と考えを伝え合う
・グループの友達と作ったものを見せ合う
・困っていることを友達に伝える
・困っている友達を手伝ったり教えたりする
・グループの友達と一緒に商品や必要なものを作る
・お店屋さんごっこをするために、準備できる日数を意識し、お店屋さんの準備の仕方を友達と話し合って決める
・思い付いたお店のアイデアを話し合う
・必要な物を作るために必要な材料や道具を集めたり探したりする
・商品やお金、お店屋さんの道具などを自分なりのイメージで作る
・友達の作っているものからヒントをもらったり、新しい素材を取り入れたりして作る
・感触や特性、様子の変化を感じながら様々な道具や素材を使う
・道具や素材の特性を活かし、用途に合わせて使い分けて作る
・道具や素材を丁寧に扱ったり、自分や友達が次も使いやすいように場を整えたり、片付けたりする
・まだ使えるものは戻したり、無駄にならない使い方をしたりする

⇩

本物らしくお店を作る

D【開店準備をしたり、必要に応じてプレオープンをしたりする】

・自分達が実現したいお店や年少・年中児のことを考えて、遊戯室にお店をどう配置したらよいか、必要な役割やかかわり方、商品の並べ方、準備することなどを相談する
・お店に必要な物を遊戯室に運んだり、商品を並べたりする
・商品の値段を決めたり、お客さんに分かるような表示をしたりする
・必要に応じて年長同士でプレオープンをし、考えていたことを試したり、必要なことに気付いたりする
・年少・年中児にお店屋さんごっこをすること、場所、時間、持ち物などを知らせる

お店屋さんになりきる

E【開店する】
・年少・年中児を呼び込む
・お店に来てくれた年少・年中児と話す
・困っている年少・年中児を助けたり関わり方を工夫したりする
・いろいろな言葉を使ってお客さんを呼び込む
・お店屋さんになりきり、会話をしながら商品を売る
・使ったものを元の場所に片付けたり、まだ使えるものを戻したりする

A【「お店屋さんごっこ」について話をする】

予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・自分達がしてもらったお店屋さんごっこのことを思い出して、話す	○自分のしたいお店を決め、友達と一緒にお店屋さんごっこをすることに向かって意欲をもつ。①	◎お店屋さんごっこがしたいという気持ちがもてるように、好きな遊びでしているお店ごっこや、自分達がしてもらった経験についての話をする場を作り、みんなですると楽しそうな思いやしてもらって楽しかった気持ちに共感し、やりたいという気持ちを盛り上げる。
・自分のしたいお店屋さんを決める		◎友達に左右されず、自分がしたいお店を考えて決められるように、どんなお店があるか様々に出し合った後に個別にしたいお店を聞く。
・お店屋さんごっこで大切にしたいことを考えて話す	○みんなでお店屋さんごっこをするために大切にしたいことを話し合ったり、納得して決めようとしたりする。⑩	◎グループの友達とお店屋さんごっこに向けて力を合わせて全員が納得しながら取り組んでいけるように、大切にしていきたいことを子ども~~の思いを達に~~尋ねて、引き出しながら一緒に考え、「ともだちとちからをあわせて」「みんながうれしい」などのポイントを子ども達の思いと重ねながら共有していく。
・仲間が５人以上（６人程度）おりみんなが力を合わせていけるお店になるように*やりたいことを組み合わせて*仲間にできるお店を考える		◎みんなが納得して遊びを進めていけるように、どのお店が一緒にできそうか当事者全てに思いを確かめながらグループを作っていく。
・お店屋さんごっこに向けて必要なこと（日、場所、準備する時間など）を聞く	○お店屋さんごっこの開店の日や場所について知り、見通しをもって進めていこうとする。⑩	◎いろいろな考えを出し合いながら話し合って進められるように、５人以上（６人程度）のグループになるようにする。 ◎お店屋さんごっこの日までの見通しをもち、*みんなが*計画を立てられるように、*カレンダーを用いて*子ども達が必要な情報（日、場所、準備する時間）を~~*カレンダーを用いて*~~伝える。

・自分達のお店屋さんの計画（作る商品やお店に取り入れたいこと、必要な材料や道具など）をグループの友達と相談したり、かき留めたりする	○作る商品や必要な材料や道具について、同じお店の友達とみんなが納得するように話し合って決める。⑩	◎作る商品や必要な材料や道具について自分の考えを出し、話し合って決めていけるように、何について考えていくかみんなで確かめて考えるポイントを意識させたり、一緒に考えながらみんなの考えを整理したりする。 ◎必要な商品や材料、道具などを考えられるように、みんなでお店屋さんを見て見付けたことを出し合ってから、グループで必要なものを話し合う場をもつ。*（その際、お店見学から保育参加で同行した保護者に、一緒に見て回ったグループについてもらい、子どもの気付きを思い出させたり、全員の考えが出るよう見守ったりしてもらう。）*
	○自分達のお店に必要な商品やお店屋さんらしくするための道具や衣装、飾り、看板などを考えたりそれらを作るために必要な材料を考えたりする。⑫	◎イメージを膨らませて商品やお店作りに向かえるように、写真を見せたりその時言っていた子どもの言葉を伝えたりして見てきたことを思い出させたり、どんな材料が必要か考えさせたりする。
	○お店をよりよくしたり本物らしくしたりするために、お店見学でいいと思った道具や衣装、役、商品の見せ方、飾り、看板、値札、ＢＧＭなどを準備するといいと考える。⑭	◎よりお店らしくするためにどんなことができそうか考えたり*話し合ったことを*覚えておいたりできるように、*お店見学の時の*写真を見せたりその時言っていた子どもの言葉を伝えたりして見て来たことを思い出させたり、友達の気付きを知らせたりする。
・グループの友達と話し合ったことを紙にかいておく		＊相談したことをグループのみんなで決めたこととして、いつでも見て確かめながら共通理解していけるように決めたことをかいておく~~紙~~付箋を用意しておく。 ＊取り入れたいことを次々に書き留め、自分が絵や字でかきやすい大きさの物を選んでかけるように、いろいろな大きさの付箋を置いておく。

Ｂ【魚の棚やアスピア、ピオレなどにお店を見に行く】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・お店屋さんで見てくること（お店の種類、お店の人の服やもっている物、お店にある物、商品の並べ方、値段の知らせ方、呼びかけ方、話し方　など）を考えたり、聞いたり	○魚の棚やアスピア、ピオレなどに行き、お店屋さんの商品や商品の並べ方、値段の知らせ方、使っているものなどお店屋さんのしている工夫や作り、必要な物な	◎見るポイントを意識できるように、出発の前に、見*に行く~~てくること~~意味*を考えさせたり、子どもから出てこないことは知らせたりする。 ＊友達の考えていることが~~よく分かるように~~後から思い出せるように、ホワイトボードを用意し、子どもが考えたことを書いていく。

する ・魚の棚やアスピア、ピオレなどのお店やお店で働く人を見る	どに興味をもって見たり聞いたりする。⑰ ○呼びかけ方、話し方、服装など店員さんに興味をもって見たり聞いたりする。⑰	◎お店屋さんを開く時に必要な物を考えるヒントになるように、何を見せるのか事前に下見をしておき、お店の商品や商品の並べ方、値段の知らせ方、使っているものを見せたり、呼びかけ方、話し方に教師自身が関心をもつ姿を見せて注目させたり、子どもが見付けたことを受け止めたり、周りの子どもにも伝えたりする。 ◎自分のするお店の商品や商品の並べ方、値段の知らせ方、使っているもの、お店屋さんの工夫や作りを間近で見たり呼びかけ方や話し方を聞いたりできるよう、下見の時に、可能ならばお店に入れてもらえるよう交渉しておく。(詳細は直前まで決めがたいが、下見の日程や見せたいお店の案など、早めに、ピオレ・アスピアに申し出ると事務所の方が都合をつけようとしてくださる。) ◎お店やさんごっこをしていく上でのグループに合った子ども達の気付きが深まるように、お店のグループに一人、保育参加の保護者についてもらい、気付かせたいことや見せたいものを伝えておく。
・実際に教師がお金を払ってお店の人とやりとりしている姿を見る ・見付けたことを話す ・見付けたことを聞く	*○実際に教師とお店の人がお金のやり取りをしている姿に興味をもって見る⑯* ○興味のあるお店やさんでどんな仕事をしているのかを見て、感じたことをみんなに伝えようとする。⑦ ○友達が見に行ったお店やさんを知り、疑問に感じたことを聞こうとする。⑱	*◎お金を払って物を買うイメージをもてるように、教師が実際にお店の人にお金を支払う姿を見せる。* ＊友達の見付けたことがよく分かるように、ホワイトボードを用意し、仲間分けしながらまとめてかいていく。 ◎見付けたことをみんなが知れるように、見てきて見付けたことをみんなのいる場で出し合う場をもつ。 ◎実際に働く人の様子を見て、どんな仕事をしているのかを知ったり、自分のグループにも取り入れてみようと思えるように、気になったことを聞いてみたらどうか提案したり、お店で工夫しているであろうことを話題にして興味もつきっかけを作ったりする。

C【商品や必要なものを作る】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・商品やお金、お店屋さんの道具など作りたいものや必要なもの	○作りたいものを諦めずに作り上げようとする。①	◎本当にしたいことをやり遂げようと思えるように、*思うように物事が進まず*くじけそうになっている時には励ましたり応援した

を作る		りし、技術的に難しい時には~~手を添えたり~~難しいことを見取った上で一緒に考えたり試したりして手伝ったりする。
	○素敵な商品やお店にするための自分の考えに自信をもつ。②	◎自分の考えに自信をもって取り組めるように、こだわったり工夫したりしていることのよさを具体的に伝えたり、認めたり、感心したり励ましたりする。
	○作りたいものを作り上げた満足感を味わう。②	◎自分で作ったものに自信をもてるように、子どもが考えたり工夫したりしているところを感心したり褒めたり、考えて作ったところを聞いて受け止めたりする。 ◎諦めずにやり遂げた時には、頑張ってよかったという気持ちをもてるように、一緒に喜んだり~~褒め~~頑張りを言葉にしたりする。
	○グループの友達の気持ちを聞いたり周りの状況を感じたりして、~~自分も友達も納得できるよりよい方向に向けて~~自分の納得できるところに落ち着けたり自分の気持ちに折り合いをつけようとしたりする。③	◎自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いて受け入れたりしながら自分の気持ちに折り合いをつけていけるように、考えを伝え合わせ、折り合いをつけているのか、我慢して言えなくなってしまっているだけなのかを見たり聞いたりして確かめる。 ◎グループの友達と準備をしている時に勝手なことをしている時には、何をすべきなのか考えて気持ちに折り合いをつけて行動しようと思えるように、グループの友達が何をしているか尋ねて周りの状況に気付かせたり、どうしたらよかったか尋ねて自分の行動を振り返らせたりする。
	○グループの友達と一緒に力を合わせて準備をしたり、困った時に助けてもらったりする嬉しさを感じて、一緒にお店屋さんごっこをする友達がいる嬉しさを感じる。⑤	◎作ったものを見せ合ったり、手分けして作ったり、困った時に助けてもらったりして、一緒に準備をする友達がいることを嬉しいと思えるように、見せ合うきっかけを作ったり、助け合う仲間がいて嬉しい気持ちを受け止めたり、感じている嬉しい気持ちを声に出して伝えたりする。
・友達の考えを聞く ・友達の作ったものを見る	○友達と一緒にお店屋さんごっこの準備をする中で、今まで知らなかった個性に気付いたりよさを感じたり、認めたりしようとする。⑥	◎面白いことを考える、細かいところまで考えて作っているなどそれぞれの個性に気付いたり、考えを知って認め合ったりできるように、それぞれの考えを尋ねたりどんなものを作ったのか教師が関心をもつ姿を見せたりして、思ったことを伝え合ったり、作ったものを見せ合ったりする機会を設ける。
・グループの友達と考えを伝え合う ・グループの友達と作ったものを見せ合う	*○グループの友達や教師に自分の頑張りや素敵なところ、性格について伝えてもらったり認めてもらったりして自分の頑張*	*◎お店屋さんを作っていく中で自分の頑張りや素敵なところ、性格について知ったりそんな自分を認めようと思ったりするように、頑張りや素敵なところ、性格をお店屋さんごっこの活動を見て感じたことや、日頃の姿から見られることを伝えたり、伝え*

	りや素敵なところ、性格に気付いたり認めようとしたりする。④	合う場を作ったりする。
・困っていることを友達に伝える	○グループの友達に自分の気持ちや考えを分かるように言葉を考えて伝えようとしたり、受け入れてもらえるように相手のことを考えた言い方で伝えようとしたり伝えるよさを感じたりする。⑥	◎グループの友達に自分の気持ちや考えを分かるように伝えられるように、伝える様子を見守り、相手に分かっていないことを質問~~させ~~するよう伝えたり、伝わったことを一緒に喜んだり、教師が簡単な言葉で言い換えて聞いたりする。 ◎相手のことを考えた言い方をしようと思えるように、相手のことを考えていない言い方をしている時には、言われた友達の表情を見たり気持ちを聞いたりする機会を設けたりして、どう思っているのかを知らせ、どんな言い方だと相手が受け入れやすいか一緒に考えたりする。
・困っている友達を手伝ったり教えたりする	○どうやって品物を作っていけばよいのか悩んで困っている友達~~の姿を見たり話を聞いたりしての~~ために、どうしたらいいのか一緒に考えたり、どこまで教えたり、手伝ったりしたらいいか考えてしようとする。⑧	◎困っている友達がいる時には、話を聞いたり、友達のためになることを考えて助けたりしようと思えるように、困っている友達を知らせたり、困っている子どもにグループの友達に相談するよう励ましたり、何をしてあげることが友達のためになりそうか尋ねたりする。
・グループの友達と一緒に商品や必要なものを作る	○グループの友達とお店屋さんごっこをするために、必要な商品や道具、役割を考えて、自分ができることをしようとしたり、作る商品やお店の中での役割分担、お店屋さんごっこの進め方、みんなでお店屋さんごっこをするために必要な決めごとなどについて、自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりしながら、みんなが納得するように、話し合って決めようとする。⑩	◎作る商品や道具、役割分担などについて自分にできることを考えて準備を進めていけるように、自分で必要なことを考えてしていることを褒めたり、友達のしていることを見たり、考えていることを伝え合ったりする機会を設けたりする。 ◎一人一人の子どもの考えていることがグループの友達と分かり合えるように、考えていることを紹介する機会を設ける。 ◎役割分担やお店屋さんごっこの進め方、みんなでお店屋さんごっこをするために必要な決めごとをグループみんなで話し合って決めていけるように、考えを伝え合うよう促したり、一部の友達で進めようとしている時には、グループみんなで話をするよう伝えたりする。 ◎自分達がお店屋さんごっこをするための準備の仕方や出てきた問題を、自分達で解決していけるように、意見を出し合ったり、友達の意見について考えたり受け入れたりする姿を励ましたり~~褒めたり~~感心したりする。

		◎みんなが納得して決めていけるように、我慢してしまっている友達がいないか確かめたり本当に決まってしまってよいのか尋ねたりする。 ◎限りある時間を大切にしようにしようと思えるように、準備できる日数や残りの日数を知らせたり、したいことに向けて効率よく進めていくために今何ができるか、どう進めていくとよさそうか尋ねたりする。
・お店屋さんごっこをするために、準備できる日数を意識し、お店屋さんの準備の仕方を友達と話し合って決める	○限りある時間の中で時間を大切にできることを考えたり無駄にならないように行動したりする。⑮	
・思いついたお店のアイデアを話し合う	○みんなでお店屋さんごっこをするために必要な決めごとを決めて守ったり、自分の責任を果たしたり、見通しをもって進めたりする。⑩	◎自分一人で勝手にしているのではなく、グループみんなで一緒にしていることを意識できるように、勝手なことをしている子どもがいる時には、他の子どもに知らせ、これでいいのか尋ねたり、グループのみんなでどうしたらいいか考えてグループとしてどう進めたいか考える機会を設けたりする。 ◎みんなで決めた約束を守っていない時には、自分でどうしたらいいのか考えられるように、守らないことで周りの友達が思っていることを聞いたり、自分のしたことを振り返ったりする機会を設ける。 ＊お店屋さんごっこの日までの見通し~~がもてる~~をもってみんなで進めていけるようにカレンダーを用意して準備できる日がわかるようにし、掲示しておく。 ＊グループで振り返ったり明日の計画を共有したりして進められるように、書き溜めている付箋を活動場所の近くに置いておき、自由に見たり、１日の活動後にかき足したりできるようにしておく。
・必要な物を作るために必要な材料や道具を集めたり探したりする ・商品やお金、お店屋さんの道具などを自分なりのイメージで作る ・友達の作っているものからヒントをもらったり、新しい素材を取り入れたりして作る	○必要な商品や道具などを考え、大きさや形、色を考えたり、素材の特徴をいかして選んだり、友達の考えをとり入れたり材料からイメージを膨らませたりしながら、作ることを楽しむ。⑫	＊子ども達が作りたいものや相談したことをすぐに始められるように、いろいろな用具、材料を取り出せるよう用意しておいたり、子どもから要求があればすぐに出せるようにしておいたりする。(画用紙、折り紙、新聞紙、ボール紙、段ボール、箱、カラービニール袋、布テープ、ビニールテープ、セロテープ、油性ペン、色鉛筆、ひも類、ビーズなど) ＊魚の棚やアスピア、ピオレなどで見付けたことを思い出して必要なものを作れるように、見付けてきたことを書いた紙や写真をいつでも見られるところに置いておく。 ＊さらに工夫してみたいと思えるように、刺激となる材料をすぐに出せるよう用意しておく。 ＊細かいところまで考えたり、作ってみたいと思ったりするように、お店屋さんごっこに刺激となるような本や参考になるような

		本をおいておく。 ◎いろいろな材料を組み合わせたり細かいところまで考えたりして作ろうと思えるように、刺激になる商品を作って見せたり考えて作っている友達の商品を見せたりする。 ◎作りたいものに向けて、考えたり試したりして作れるように、考えて作っているところを具体的に~~褒め~~言葉にしたり、周りに知らせたりする。(保護者には、商品の出来栄えではなく、イメージを豊かに、考えたり試したり作り替えたりして作る楽しさやその過程を大切にすることを伝え、支えてもらう) ◎材料からイメージ豊かに表現する楽しさも感じられるように、思い付きに驚いたり、表現の面白さを認めたり、工夫を~~褒め~~感心したりする。 ◎買い物に来てくれる友達が欲しくなるような物を作ろうという気持ちになるように、丁寧に作られた商品を買う人の嬉しい気持ちを言葉にする。
	○大きさや色、形、組み合わせ方、質感などから表現の面白さや本物らしさ、こだわりを感じる。⑫	◎大きさや色、質感などから表現の面白さや本物らしさ、こだわりを感じられるように、なぜ本物らしく見えるか尋ねたり、教師が感じた表現の面白さを言葉にしたりする。
・感触や特性、様子の変化を感じながら様々な道具や素材を使う	○商品や必要なものを作る中で、道具や素材の感触や特性を感じたり、用途にとって使い分けたり、自分がしたことによるものの様子の違いや変化に気付いたり、原因と結果を結びつけて考えたり、経験から予想したり、試したり、確かめたりしようとする⑪	◎道具や素材特有の感触や特性を感じたり味わったり、用途によって使い分けたりするように、他との違いを尋ねたり、試してみてどう感じたか尋ねたり、驚きや面白さに共感したり目的によって道具や素材を使い分けている姿を言葉にしたりする。 ◎自分がしたことによ~~るものとことの~~って、ものの様子~~の~~が違~~いやうことや~~変化したこと、原因と結果のつながりについて考えたり、予想したり、試したり、確かめたりするように、教師自身が関心をもって見る姿を見せたり一緒に見たりして違いや変化に気付かせたり、なぜ違うのか不思議がったり、どうしてと思うか尋ねたりする。
・道具や素材の特性をいかし用途に合わせて使い分けて作る	○道具や素材の特性をいかして使ったり、用途に合わせて使い分けたりする。⑪	◎作ったものがすぐに壊れてしまわない道具や素材の使い方を考えられるように、試しに使ってみて丈夫か尋ねたり、テープの種類や貼り方を一緒に考えたり試してどうだったか尋ねたりする。 ◎用途に合わない使い方をしている時には、用途を知らせ、他に使えるものはないか尋ねたり、したいことに適したものを提案したりする。
・道具や素材を丁寧に扱ったり、自分や友達が次	○作業しやすいように、場を整えたり、	◎作ったり品物を置いたりする場を、使いやすいように整えられるように、自分達のす

も使いやすいように場を整えたり、片付けたりする	物の置き場を決めたりする。⑮	ることに合った場作りを一緒に考えたり、整理しやすいように棚やカゴを用意したり、使いにくい原因を知らせたりする。
・まだ使えるものは戻したり、無駄にならない使い方	○まだ使えるかどうか考え、使えるものを取っておこうとしたり、無駄にならない使い方を考えて、大切に使おうとしたりする。⑰	◎物には限りがあることを感じ、あるものを大事に最後まで使おうと思えるように、まだ使える部分がある端切れを整えて戻す姿を見せたり、一緒にしたり、他の活用方法を一緒に考えたり、必要以上に多く使っている時には、無駄になっていないか尋ねたり代用できるものや仕方がないか一緒に考えたりする。
・道具や素材を丁寧に扱ったり片付けたりするをしたりする	○道具や素材が傷んだり使えなくなったりしないように丁寧に扱おうとする。⑱	◎道具や素材を丁寧に扱おうと思えるように、ボンドや紙粘土は乾いたら思うように使えなくなることを知らせたり、油性ペンは取れにくいことを思い出させたり、大事な遊戯室の使い方を一緒に考えたりみんなで確かめたりする。

D【開店準備をしたり、必要に応じてプレオープンをしたりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・自分達が実現したいお店や年少・年中児のことを考えて、遊戯室にお店をどう配置したらよいか、必要な役割やかかわり方、商品の並べ方、準備することなどを相談する	○招待する年少・年中児にとっても、自分達にとってもより楽しいお店になるために、遊戯室にお店をどう配置するかや出入り口、お金のことなどの必要なことをみんなが納得するように話し合って決めようとする。⑩	◎よりみんなが嬉しいお店にしたいと、みんなでお店全体のことを考えられるように、今までの頑張りややってきたことなどを言葉にしてずっと大切にしてきたことを思い出させたり、お店全体の名前をつけたり、各店がどういった場所にあるとよさそうか全体に問いかけたりする。
	○招待する年少・年中児が分かりやすいよう、楽しめるように、言葉や話し方、商品の並べ方などを考える。⑨	◎年少・年中児の友達に対するかかわり方、行動の仕方、見やすい商品の並べ方などを考えられるように、教師がお客になって買い物をしたり、必要に応じてプレオープンで何店舗かずつ店員とお客を体験する機会を作ったりして、お客さんが買い物をしやすいように考えていること~~を褒め~~に感心したり、気付いたことを出し合い、買い物の仕方が分かりにくいことを伝えてどうすればお客さんが困らないか尋ねたり、お客さんの立場でしてほしいことを伝え合ったりする。
・年少・年中児にお店屋さんごっこをすること、場所、時間、持ち物などを知らせる	○年少・年中児がお店屋さんを楽しみに来てもらえるように、知らせることや知らせ方を考える。⑨	◎年少・年中児の友達がお店屋さんを楽しみにして来てもらえるように、知らせておいた方がいいことや知らせ方をみんなで一緒に考える機会を設ける。 ◎考えたことを知らせに行く時には、必ず教師もついていき、必要なことを伝えている

		様子を見守ったり、年少・年中児の子どもが聞きたいことに、子どもが答えられるように話を整理したりする。
・お店に必要な物を遊戯室に運んだり、商品を並べたりする ・商品の値段を決めたり、お客さんに分かるような表示をしたりする	○自分達のお店を本物らしくするために、必要な道具や衣装、飾り、看板、場作り、商品の並べ方、役、値段の表示の仕方などを考えて準備する。⑭	◎自分達のお店を本物のお店屋さんらしくしようとするように、道具や衣装、飾り、看板、場作り、商品の並べ方や値段の表示の仕方など考えたり工夫したりしているところを受け止めたり、他のお店屋さんをしている子どもに見せたり、本物のお店屋さんのような並べ方や見せ方を提案したりする。 ＊遊戯室の実際の場所で十分により本物らしいお店作りができるように、約１週間ほど前から遊戯室で準備が進められるように他学年と調整する。

E【お店屋さんごっこをする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・年少・年中児を呼び込む	○お店屋さんごっこをやり遂げ、自分達のお店にたくさんのお客さんが来てくれたことに満足感を味わう。②	＊それぞれのお店の様子やお客さんの様子が見渡~~せる~~せてお店が開いた充実感を味わえるように、遊戯室で一斉にお店を開く。 ◎お客さんがたくさん来てくれる満足感を味わえるように、お客さんが来ていない時には、誘いに行くように促したり、一緒に呼び込んだり、たくさんのお客さんが来てくれたことを一緒に喜んだりする。
・お店に来てくれた年少・年中児と話す	○招待する年少・年中児が、楽しんだり喜んだりできるように、自分がどう~~かかわれば~~関われば~~よい~~いか考えて~~かかわろう~~関わろうとする。⑨	◎お客さんに来てくれた年少・年中児の子どもとゆったりと~~かかわれる~~関われるように、お客さんは時間差をつけて招待しておく。 ◎年少・年中児への~~かかわり~~関わり方を意識できるように、視線を合わせて話をしたり、優しく誘ったり、教えてあげたりしている姿を見る機会を設けたり、~~*褒め*~~*認め*たりする。
・困っている年少・年中児を助けるたり関わり方と話し方を工夫する	○困っている友達の姿を見たり、話を聞いたりして、どうしたら~~いよ~~いのか一緒に考えたり、どこまで教えたり、手伝ったりしたら~~いよ~~いか考えてしようとする。⑨	◎困っている年少・年中児の友達の話を聞いてあげたり相手のことを考えて助けたりしようと思えるように、困っている年少・年中児の友達がいることを知らせたり、どこまで助けたらいいか考えて関わっている姿を~~*褒め*~~*認め*たりする。
・いろいろな言葉を使ってお客さんを呼び込む ・お店屋さんになりき	○お店屋さんになりきり、お客さんが来てくれるように、呼びかけ方や話し方を考えてお客さんと~~かか~~	◎お客さんが来てくれる呼びかけ方や話し方を考えてかかわれるように、呼びかけに誘われて年少・年中児が来たことを知らせて一緒に喜んだり、写真を見せたりどんな話し方をしていたか尋ねたりして、お店屋さ

り、会話をしながら商品を売る ・使ったものを元の場所に片付けたり、まだ使えるものを戻したりする	~~わり~~関わり、売ることを楽しむ。⑬ ○品物とお金を交換したり、お釣りやレシートを渡したり、カード提示で品物を渡したりして、売り買いをすることを楽しむ。⑯ ○道具や素材が傷んだり使えなくなったりしないように丁寧に扱おうとする。⑱ ○まだ使えるかどうか考え、使えるものを取っておこうと大切にする。⑱	んが使っていた言葉や話し方を思い出させたりする。 ＊お金やカードを介して物のやり取りをする楽しさを存分に感じられるように、全体としては分かりやすく扱いやすいよう千円札の用意を教師が中心になって行い、おつり用のお金やレシート、カードなどは各グループに任せる。 ◎たくさんある道具や素材を一つ一つ丁寧に扱って片付けられるように、丁寧に扱う姿を~~褒め~~感心したり教師の姿を見せたり、残っているものを知らせたりする。 ◎物を大事に考え、まだ使える材料と、そうでないものを分けて片付けられるように、考えて仕分けている姿を~~褒め~~感心したり、仕分けしやすいようにカゴやゴミ袋をみんなの使いやすい場所に移動したりする。

令和６年度　４歳児　「こま回し」（実践前）

（実践前修正箇所を*斜体*、実践後修正箇所を**囲み文字**にて示す。）

１．期間　　１月下旬～３月

２．設定の理由

１学期には、園庭で思い切り走ったり、固定遊具で遊んだり、大型積み木を並べたり、木登りをしたりして、様々に体を動かすことを楽しんできている。その中で、固定遊具の高いところに登りたい、木登りで上まで登りたいなど、少し難しいことに向けて、できるようになりたいと思い、繰り返し取り組む姿も見られるようになってきている。また、氷鬼などの鬼ごっこで、追いかけたり追いかけられたりして友達や教師と一緒に遊ぶ楽しさを感じたり、勝ち負けがあることで、勝って嬉しい気持ちや負けて悔しい気持ちを友達と一緒に感じたりする経験をしてきている。また、運動会では、リズム表現では全身を使って友達と一緒に表現する楽しさや、物語の展開を考える面白さを感じた。

また、玉入れでは玉を入れたい、速く走りたいと具体的な目的をもち、考えたり試したりして繰り返し取り組む中で、できるようになったり、前よりも上手になったりしたことを嬉しいと思ったり、自信をもったりした。また、投げたり走ったりすることが得意な友達の個性や素敵なところに気付いたり、チームが勝てるようにどうしたらいいか考えたりして、思い付いたことをしようとするような姿も見られている。

このような経験をしてきた４歳児の子ども達に、運動会のご褒美としてこまを渡し、取り組んでいくこととする。手回しごまは３歳児２学期末にもらい、経験をしているが、紐ごまに触れた経験のある子どもはほとんどいない。

すぐに紐が巻けたり、こまが投げられたりするわけではないので、ひもを巻いたりこまを回したりできるようになるまでに時間や労力をかけることとなる。その中で、回せるようになりたいと思って回せるようになるまで繰り返し挑戦したり、友達や保護者に紐の巻き方やこまの投げ方を教えてもらって、保護者や友達の優しさを感じたり、コツを掴んで回したり難しい技をしたり挑戦したりする姿を素敵だと思ったり、巻き方や投げ方、足の開き方などコツをつかんだりしていく。また、最初はなかなかできなくてやっとできるようになったという過程は、できた時に大きな自信へつながるものとなる。

こま回しでは、一人に一つ以上自分のこまがあり、いつでも手にとって遊べる環境にある。そのため、紐が巻けるようになりたい、こまを回したいなど具体的な目標をもっていつでも挑戦できる。しかし、こま回しは、それぞれでコツをつかむまでの時間や練習時間も違うので回せるまでに個人差が出る。

そこで、人と比べるのではなく、前の自分と比べてできるようになったということを自覚し、自信をもってほしいと考える。そして、回せたら終わりではなくて、友達や教師より長い時間回す、犬の散歩や手のせ、狭い台の上で回すなどいろいろな技に挑戦するなど一人一人の段階に合わせて目標をもち、挑戦し続けられる環境を作っていきたい。

３．ねらい

① 紐を巻けるようになりたい、こまを回せるようになりたい、先生や友達より長く回したい、狭い台で回せるようになりたいなど具体的な目標をもって挑戦したり、繰り返ししたりしようとする。~~*また、自分のこまと紐に愛着をもって大切にしようとする。*~~　　自ら決める・選ぶ

② 紐が巻けるようになった、こまが回せるようになった、昨日より多く回った、*先生や友達よりも*長く回った、狭い台で回せるようになった、*○回回せるようになったなど、できるようになったことを嬉しく思う。*　　自分に満足する

③ *以前はできなかったことができるようになったことを喜んだり、自分の頑張りを感じたりする。*　　*自分のことを知る*

④ 先生や友達、お家の人に回し方を教えてもらったり、応援してもらったりして嬉しく思ったり、こまが回ったことを一緒に喜んだり、どちらが長く　　他者といる喜びを感じる

回せるか勝負したりこまをぶつけ合ったりして一緒に遊ぶ嬉しさを感じたりする。

⑤ 紐の巻き方を優しく教えてくれた、投げ方をやって見せてくれた、困っていることを教えてくれたなど友達の優しさを感じたり、頑張って何度も練習する友達の頑張りを感じたり、上手にこまを回したり長く回したりする友達を見て素敵だと思ったりする。 他者のことを知る

⑥ 紐を巻くことができなかったり、なかなか回らなかったりして困っている友達に気付いて、紐を巻いて見せたり、こまの持ち方や投げ方、投げる姿勢を教えてあげたり*しようと*する。 他者のことを考えて行動する

⑦ 近くで友達がいると、こまが当たって危ないことを知って、周りを確かめたり、投げることを知らせたり、友達が離れるのを待ったりしてから投げようとする。 身を守る

⑧ こまの紐を巻く時の力を調節しながら指先で紐を巻く、足を肩幅ぐらいに開く、ひざを曲げて低い姿勢になる、腕を後ろに引いてこまを投げる、遠くに向けて投げるなどこまを投げる時の姿勢や体の使い方、動かし方、紐を巻いたりこまを投げたりする時の力加減などを見たり教えてもらったり自分で考えたりして、試そうとする。 身体を操作する

⑨ こまに好きな色や模様をつけたり、絵を描いたりすることを楽しむ。 造形に表す

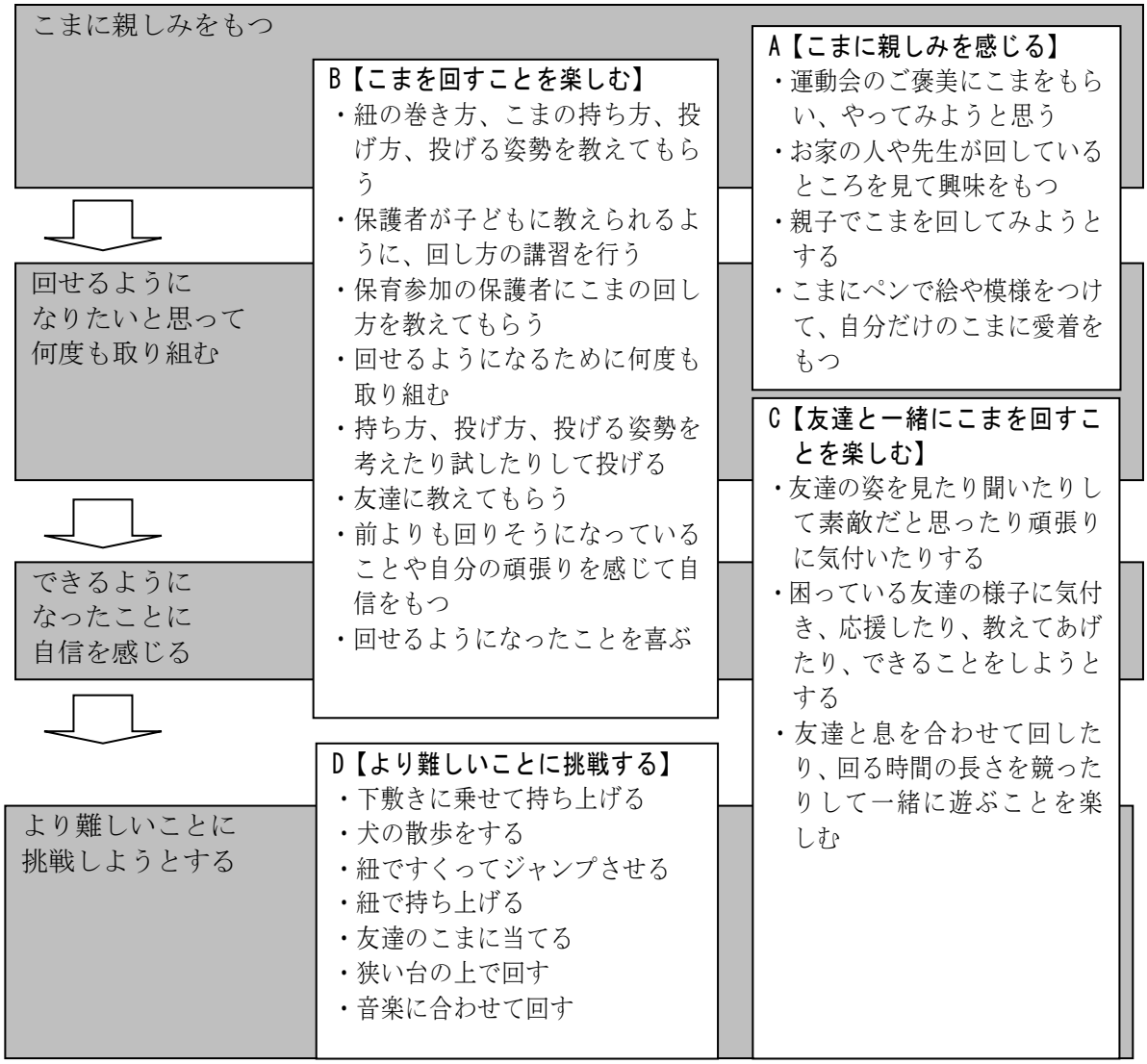
⑩ こまは、止まる前に揺れが大きくなる、逆さ向きでも回る、紐は力を入れ過ぎると巻けないが、きつく巻くと長く回る、こまや板など、他のものにぶつかったり擦れたりすると止まりやすい、こまが速く回っていると長く回るなど、こまの止まり方や回り方の特徴、紐の巻き方による動きの違いを感じ、その面白さや不思議さを感じる。 事物・現象をとらえる

⑪ こまを回すと、色や模様が変わることや速さが変わると様子が変わることを面白いと思ったり、驚いたり、不思議に思ったりして何度も試そうとする。 事物・現象をとらえる

⑫ こまの回る様子や止まりそうな様子を見て、回る速さの違いや回っている時間の長さの違い、どちらが長く回るかを感じる。 数・量をとらえる 比較する

⑬ こま回しをしやすい場所を考えてこまの板を置いたり、動かしたり増やしたりする。 住空間を整える

４．展開



A【こまに親しみを感じる】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・~~運動会のご褒美~~ *クリスマスプレゼント*にこまをもらう ・保護者や教師が回しているところを見る ・こまにペンで絵や模様を付ける	◎自分のこまと紐に愛着をもって大切にしようとする。① ○お家の人や先生がこまを回す様子を見て、自分も回してみたいと思う。①	＊自分だけのこまを大切にできるように、絵や模様を付けられるようなこまを一つは渡す。 ◎自分だけのこまに愛着を感じられるように、子どもの作ったこまの素敵なところを褒めたり、周りの友達に知らせたりする。 ◎こま回しをすることに興味をもってやってみようと思えるように、お家の人がこまを回しているのを見たり、家でお家の人と一緒に回したりすることができるよう一人に２つ以上のこまを渡す。 ◎こま回しを楽しそうだと思ったり、自分も回せるようになりたいと思ったりするように、こまを回して見せたり、誘ったりする。

	○こまに好きな色や模様をつけたり、絵を描いたりすることを楽しむ。⑧	◎色をつけたこまが回るイメージをもてるように、色をつけたこまを回して見せる。 ＊自分で好きな色や模様を付けられるように、ペンを用意しておく。

B【こまを回すことを楽しむ】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・紐の巻き方、こまの持ち方、投げ方、投げる姿勢を教えてもらう ・保育参加の保護者にこまの回し方を教えてもらう ・回せるようになるために何度も取り組む	○こまを回せるようになりたいと目標をもって繰り返し回そうとする①	＊こま回しに集中して取り組めるように、中央テラスにこまの板を置く。 ◎こま回しに関心を寄せて挑戦できるように、お家の人が教えに来てくれていることや挑戦している友達の姿を紹介する。 ＊いつでも手にとってこまを回せるように、こまの板を保育室やテラスに用意したり、いろいろなこまを置いておいたりする。 ◎繰り返し回せるように十分な時間をとる。
・持ち方、投げ方、投げる姿勢を考えたり試したりして投げる	○先生や友達、お家の人に回し方を教えてもらったり、応援してもらったりする嬉しさを感じる。③	◎お家の人や友達と一緒にこまを回す楽しさを感じられるように、お家の人がいつでも教えてくれることを伝えておいたり頑張っているところを応援したり、上手くいったことを一緒に喜んだりする。
・回せるようになったことを喜ぶ	○紐の巻き方やこまを投げる時の姿勢や体の使い方、動かし方、*力加減*を考えたり試したりする⑦	◎紐の巻き方やこまを投げる時の姿勢や体の使い方、*力加減*のコツを感じたり掴んだりしてこまを回せるように、手を添えて一緒に紐を巻いたり、こまを投げたり、コツを言葉にしながら紐を巻いたりこまを回して見せたりする。
	○以前の自分と比べてできるようになったことや自分の頑張りを感じて自信をもつ②	◎以前の自分と比べられるように、前と違うところは何か尋ねたり、教師が感じた違いを言葉にしてそのきっかけを与えたりする。 ◎自分の頑張りを感じて自信がもてるように、教師が見取ったこれまでの頑張りを具体的に言葉にして褒める。
	○近くで友達がいると、こまが当たって危ないことを知って、周りを確かめたり、投げることを知らせたり、友達が離れるのを待ったりしてから投げようとする⑥	◎こまを投げる時には、友達に当たらない場所に動いたり、投げる前に周りを確かめたりできるように、友達に当たりそうではないか尋ねたり、自ら気付かないでいれば具体的にどう危ないのかを知らせたりする。
	○こまの止まり方や回り方*の特徴*、紐の巻き方*による動きの違い*を感じ、その面白さや不思議さを感じる⑨	◎こまの止まり方や回り方、紐の巻き方に注目できるように、こまの様子を言葉にしながら注目する姿を見せたり、巻き方と回っている様子を結び付けて言葉にしたり、その面白さや不思議さに共感したりする。 ◎こまが回る速さと長さを結び付けて比べられるように、どちらが長く回りそうか、そう思うのはなぜか尋ねる。

	○こまを回すと、色や模様が変わることや速さが変わると様子が変わることを面白いと思ったり、驚いたり、不思議に思ったりして何度も試そうとする⑩ ○こまの回る様子や止まりそうな様子を見て、回る速さの違いや回っている時間の長さの違い、どちらが長く回るかを感じる⑪ ○こま回しをしやすい場所を考えてこまの板を置こうとする⑫	◎回っているこまの様子に注目できるように、回っているこまをじっと見つめる姿を見せたり、色や模様の様子を面白がったり不思議がったり驚いたりする。 ◎回る速さが変わると様子が変わることを感じられるように、回り始めから止まるまでの様子を一緒に見たり、変わりがないか尋ねたりする。 ＊時間の長さを感じたり比べたりするよう、ストップウォッチをいつでも取れるところに準備しておく。 ◎回る速さの違いや、回っている時間の違いを感じられるように、スピードが遅くなってきたことを言葉にして知らせたり、回っている時間の長さを一緒に数えたりする。 ＊こま回しをしやすい状況を考えて整えられるように、十分な板の枚数をすぐに取り出しやすいところに置いておく。 ◎こま回しをしやすい場所を考えてこまの板を置いたり動かしたり増やしたりしていけるように、回しにくそうな状況を言葉にしたりどこに置くとこま回しがしやすいかたずねたり、置いている場所の教師が感じたこま回しをする上でのよさを言葉にしてよく考えていることを褒めたりする。

C【友達と一緒にこまを回すことを楽しむ】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・友達の姿を見たり聞いたりしてすごいと思ったり頑張りに気付いたりする ・困っている友達の様子に気付き、応援したり、教えてあげたり、できることをしようとする ・友達と息を合わせて回したり、回る時間の長さを競ったり、一緒に遊ぶことを楽しむ	○頑張って何度も練習する友達の頑張りを感じたり、上手にこまを回したり長く回したりする友達を見て素敵だと思う④ ○友達が困っている様子に気付いて、やり方を教えようとする⑤ ○友達にこまの持ち方や投げ方、投げる姿勢などを教えてもらって優しさを感じる④ ○友達とどちらが長く回せるか勝負したり、こまをぶつけ合ったりして、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる③	◎頑張って何度も練習する友達の頑張りやこまを回したり長く回したりする友達のことに気付けるように、挑戦している姿をとらえて頑張りを言葉にしたり、紹介する場や見せ合う時間をとったりする。 ◎困っている友達を見て教えようと思えるように、困っている友達の様子を知らせたり、教えている姿を褒めたり、教えてもらったおかげで上手くいきそうなことを伝えたりする。 ◎友達の優しさを感じられるように、教えてもらえた喜びに共感したり、友達の優しさを一緒に感じて言葉にしたりする。 ◎友達同士で集まってこま勝負をしようと思えるように、回っている長さに驚いたり褒めたり、教師が勝負に挑んだりする。

D【より難しいことに挑戦する】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・下敷きに乗せて持ち上げる ・犬の散歩をする ・紐ですくってジャンプさせる ・紐で持ち上げる ・狙った場所で回す ・狭い台の上で回す ・音楽に合わせて回す ・発表会で保護者や友達に見てもらう	○狭い台で回したい、いろいろな技ができるようになりたいなど具体的な目標をもって挑戦したり、繰り返ししたりする① ○友達の様子を見て、いろいろな技に挑戦する友達の頑張りを素敵だと思う④ ○より難しいことに挑戦したり、できるようになったりしたことに自信をもつ②	＊より難しいことや面白いことに挑戦してみようと感じられるように、技の掲示をしたり、下敷きや狭い台などを用意したりする ◎こまが回せるようになっても少し難しいことにも挑戦し続けられるように、いろいろな技をやって見せたり、友達がしている様子を写真に撮って掲示したりする。 ◎狭い台で回したり紐に乗せたりしようとする友達の様子に気付けるように、挑戦する姿を知らせたり、これまでの頑張りを言葉にしたりする。 ◎できるようになったことや挑戦したことに自信を感じられるように、頑張りを具体的に言葉にして褒めたり、友達や保護者に見てもらう機会を設けたりする。

令和６年度　３歳児　うめ組「発表会」（実践前）

（実践前修正箇所を*斜体*、実践後修正箇所を囲み文字、
取り上げる題材によって変わる部分は網かけにて示す。）

１．期間　　１月～２月

２．設定の理由

子どもたちは、２学期以降、ストライダーや三輪車で友達と連なって走ったり、友達と一緒にごちそうを作ったり鬼ごっこをしたり、レストランごっこ、キャンプごっこ、ヒーローごっこ、~~*ショーごっこ、結婚式ごっこ*~~などいろいろなごっこ遊びを友達と一緒にしたりして、友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わっている。その中で、「一緒に遊ぼう」と友達を誘ったり、「ご飯作ろう」としたいことを言ったりするなど、友達に自分の気持ちや考えを伝えようとする姿も見られている。また、一緒に遊ぶ中で、友達のしていることや考えていることを見たり聞いたりし、友達の面白いところ、素敵なところなどを感じてきている。

２学期の後半には、廃材やテープ類、紙類、ビニル袋などを使って、鞄や楽器、武器や衣装などを作ることを楽しみ、作ったものを遊びに使うことも喜んでいた。

運動会では、うめ組みんなでリズム表現をする中で、なりたいものになりきって遊ぶ楽しさを感じたり、お客さん（保護者）に見てもらうことを喜んだりしていた。幼稚園生活にも慣れ、保育参観日がわかるようになり、保育参観日にお家の人に見てもらえることを楽しみにしている。

そこで、発表会では、クラスみんなでごっこ遊びをすることで、なりたいものになって遊ぶ楽しさを感じながら、自分のしたいことを決めたりこんな風にしたいと考えたりして、したいことができたことを喜んだり、自分の考えに自信をもったり、友達と一緒に遊ぶ楽しさや先生や友達と遊びを作っていく楽しさを味わったりできるようにしたい。

子どもたちにとってわかりやすいお話や心情を取り上げてごっこ遊びをすることで、なりたい登場人物を思い浮かべたり、気持ちを感じたりして、なりきって遊ぶことを楽しめる。また、これまで楽しんできた遊びを取り入れることで、こんな風にしたいと考えられるようにしていきたい。お話の中で必要な道具を考えて作る経験を通して、描きたいものや作りたいものを思い浮かべて描いたり作ったりすることも楽しんでいきたい。

また、お話に基づいてみんなで遊ぶ中で、お話に出てくるものに興味をもち、お話を聞いたり絵本や図鑑、写真で見たりして、登場人物の特徴や特性に気付き、面白いと思えるようにしていきたい。それぞれの子どもが考えたことやしたいことを聞いたり考えを引き出したりして取り入れ、したいことや考えたことを言葉や行動で伝えられるようにしていきたい。歌ったりなりきって動いたりする中で、リズムを感じたり、身体を動かすことを楽しむこともできる。また、それぞれの考えたことや表現を見たり聞いたりすることで、いろいろな友達の個性も感じてほしい。

そして、考えたことや頑張ったことをお家の人に見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりして満足できるようにしたい。

３．ねらい

①	なりたい登場人物を決めてなったり、この動きをしたいと思って考えたことをやってみたり、遊びの中でこんな風にしたいと思ったことをしようとしたりする。	自ら決める・選ぶ
②	自分でしたいと思ったことができたり、自分の考えた動きや言葉を友達や先生、おうちの人、他のクラスや学年の友達や先生に見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりして満足したり、自分が考えたことや頑張っていることに自信をもったりする。	自分に満足する
③	自分の思い通りにならずに困ったり、嫌な気持ちになったりした時などに、先生や友達に話を聞いてもらったり、思いを分かってもらったり、*どうすればよいか一緒に考えたりして*、気持ちを落ち着かせようとする。	気持ちをコントロールする *豊かに発想し、追求の手立てを構想する*
④	*なりたい登場人物になって遊んだり、したいことをして遊んだり、友達や先生と一緒に遊んだりするなかで、教えてもらったり、尋ねられたり、見*	*自分のことを知る*

	てもらったり、褒めてもらったりして、何が楽しいか、何が好きか、何が得意か、どんなことができるようになったかに気付いたり、自分の表現のよさや頑張り、成長などを感じたりする。	
⑤	先生や友達と、同じことをしたり、手をつないだりくっついたり、一緒に役になりきって遊んだり、簡単なルールのある遊びをしたり、歌ったりして、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる。	他者といる喜びを感じる
⑥	いろいろな友達の考えや動き、言葉、表情を見聞きしたり、真似をしてみたりして、友達の素敵なところやすごいところ、面白いところを知ろうとしたり、気付いたりする。	他者のことを知る
⑦	先生と一緒に、友達の動きや表情を見たり話を聞いたりして、友達の気持ちや考え、その理由を知ろうとする。	他者のことを知る
⑧	*自分のしていることやしたいこと、遊びが面白くなると思った考え、嫌だと思ったこと~~を~~が伝わるように*、実物を見せたり、して見せたりして伝えようとしたり、言葉を引き出してもらったり、一緒に言ったり、見守ってもらって自分で言ったりして、言葉や行動で伝えようとしたりし、伝えることのよさを感じる。	自分のことを伝える *問題を認識する*
⑨	友達の様子を見たり、先生や友達の話を聞いたりして、友達のことを気にかけ、何かしてあげようとしたり考えたりする。	他者のことを考えて行動する
⑩	友達や物にぶつかって驚いたり痛い思いをしたり、友達が痛い思いをしているのを見聞きしたりして、どうやったら危なくないか考えたり、危なくない扱い方や方法を聞いたりして、危なくないようにしようとする。	身を守る 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
⑪	ケンパやギャロップをしたり、登場人物になって動いたり、*友達と手を繋いだり繋がったりして動いたり、しっぽ取り*で追いかけたり追いかけられたりなどして、いろいろに身体を動かす心地よさを感じる。	身体を操作する
⑫	*しっぽやぽっくり*、紙粘土やはさみ、ガムテープ、筆などの遊具や道具を使いながら、いろいろな体の動かし方や使い方をしようとしたり、コツを感じたりする。	身体を操作する
⑬	お話に出てくる生き物に興味をもち、先生に教えてもらったり、絵本や図鑑、写真を見たりして、特徴や特性、得意なことなどを知り、かわいい、~~怖い、~~面白いなど愛着をもつ。	生き物・命を見つめる
⑭	*紙粘土、画用紙、和紙、段ボール、不織布、セロテープ、廃材、絵の具、ローラーなどの素材や道具を使って遊んだり作ったりする中で、様々な形ができる、色が混ざる、模様ができるなど、そのものの性質や様子の違いを感じて*楽しんだり、面白いと思ったり、使い方を考えたり試したりする。	事物・現象を捉える 関連付ける
⑮	遊びに必要な物を思い浮かべ、紙粘土、画用紙、和紙、不織布、*段ボール*、廃材、セロテープ、ガムテープ、マジックなど、いろいろな材料を使って色や形を考えて作ることを楽しむ。	造形に表す
⑯	歌のリズムやテンポ、メロディを感じて歌ったり楽器を鳴らしたり、ピアノの音や曲を聴いてリズムを感じながら身体を動かしたりすることを楽しんだり、歌声が合う心地よさを感じたりする。	音楽に表す
⑰	絵本を見て、登場人物の気持ちを感じたり、話が展開していく面白さを感じたり、先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話や役の設定を考えながらお話を作る楽しさを感じたりする。	文芸に表す
⑱	なりたい登場人物の動きや表情、話し方、場面を思い浮かべたり、気持ちを感じたりし、なりきって遊んだり、歌のイメージにあった動きをしたりすることを楽しむ。	身体の動きに表す
⑲	自分のしたい登場人物の姿や場面を思い浮かべて、必要だと思う物や装飾を考えたり作ったり身につけたりして遊ぶ楽しさを感じる。	演出に表す
⑳	*どう見えているか教えてもらったり見せてもらったりして、見ている人が見やすいように先生と一緒に考えたり、動きの向きや使う場所、物の置き*	*演出に表す* *問題を認識する*

場を考えたり変えたりする。

豊かに発想し、追求の手立てを構想する

㉑ 遊びに必要な物を、使いやすく遊びやすくなるように、どこに置いたらよいか考えて運んだり、並べたり、置いたり、片付けたりする。

場や状況を整える
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する

㉒ まだ使えるものを捨てるのはもったいないと感じたり、作った物や使っているものを大切にしようとしたりする。

資源の活用を見つめる

４．展開

好きな遊びやクラスみんなでする遊びを楽しむ

お話にのって遊ぶ

A【絵本を読んでもらう】

・絵本を読んでもらう
・登場人物や大事にしたい心情など関連があるいろいろな絵本や図鑑、写真を見たり読んでもらったりする

B【ごっこ遊びをする】

・登場人物になってごっこ遊びをする
・危なくないように考える
・お話を先生や友達と一緒に作る
・置き場所を考えたり、置き替えたりする

C【遊びに使うものを作ったり描いたりする】

・絵の具を使ってローラーやハケで色を塗ったり模様をつけたりする
・紙粘土、画用紙、和紙、不織布、廃材、絵の具、ローラー、セロテープ、ガムテープ、マジックなどいろいろな素材でごっこ遊びに必要なものを作ったり描いたり装飾したりする
・作ったものを置いたり片付けたりする

D【リズムを感じて楽器を鳴らしたり、身体を動かしたり、歌ったりする】

・踊ったり跳ねたり楽器を鳴らしたりする
・友達がするのを見たり見てもらったりする
・知っている曲をアレンジして歌詞を考える
・歌を歌う
・歌詞に合った動きを考える

E【律動をしたり、道具を使ってっ遊だりする】

・ギャロップをする
・ケンパをする
・ぽっくりをする

F【簡単なルールのある遊びをする】

・~~追いかけっこ~~しっぽとりやあぶくたったなどの鬼ごっこをする

※子どもの楽しんでいる遊びや取り上げた題材によって、ごっこ遊びに取り入れる。

見てもらうことを意識して、ごっこを楽しむ

G【おうちの人や他のクラスや学年に見てもらう】

・おうちの人に参観日のように見てもらうことを知る
・見てもらうことを楽しみにして作り足したり作り直したりする
・見てもらうことを意識して、動きの向きや使う場所を考えたり変えたりする
・おうちの人や他のクラスや学年の友達や先生に見てもらう

A【絵本を読んでもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・絵本を読んでもらう ・登場人物や大事にしたい心情など関連があるいろいろな絵本や図鑑、写真を見たり読んでもらったりする	○お話に出てくる生き物に興味をもち、先生に教えてもらったり、絵本や図鑑、写真を見たりして、特徴や特性、得意なことなどを知り、かわいい、~~怖い、~~面白いなど愛着をもつ⑬	＊見たいと思った時にいつでも見られるように、登場人物や大事にしたい心情など関連があるいろいろな絵本や図鑑を目立つ場所に置いておく。 ＊絵本に出てくる登場人物の生態に興味をもてるように、それぞれの特徴が載っている絵本や図鑑、写真を目立つ場所に置いておく。 ◎それぞれの特徴や特性、得意なことなどに気付き、かわいい、~~怖い、~~面白いなど愛着をもてるように、子どもと一緒に絵本や図鑑、写真を見たり、実際に見られるものは一緒に見たり、子どもの驚きに共感して一緒に驚いたり言葉にしたりする。
	○絵本を見て登場人物の気持ちを感じる⑰	◎登場人物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている部分は気持ちを込めて強調して読んだり、ごっこ遊びをしながらその時の登場人物の気持ちを言葉にしたり登場人物の気持ちを一緒に考えたりする。
	○絵本を見て、話が展開していく面白さを感じる⑰	◎物語が展開する楽しさやワクワク感を感じられるように、起承転結が分かりやすい絵本を選んだり、先がどうなるかワクワクする気持ちを言葉に出して共感したりする。

B【ごっこ遊びをする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・登場人物になってごっこ遊びをする	○登場人物に、なりたいと思ってなろうとしたり、こんな風に動こうと考えてしたりする①	◎なりたい役を決めてなろうと思えるように、それぞれの役の楽しさを伝えたり、役の写真を掲示したり、どの役をするか尋ねたりする。 ◎役になってこんな風に動こうと思えるように、それぞれの考えた動きを褒めたり、友達の考えていることを知らせたりする。
	○自分でしたいと思ったことができたり、自分の考えた動きや言葉を友達や教師に見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりして満足したり、自分が考えたことや頑張っていることに自信をもったりする②	◎したいことができたことや、見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりする嬉しさを感じられるように、十分に遊ぶ時間を確保したり、友達同士で見合う機会を作ったり、素敵なところを見つけて伝えたりする。 ◎考えたことや頑張っていることに自信をもってできるように、それぞれの子どもの考えたこと、頑張っているこ

		とを具体的に褒める。
	○自分の思い通りにならずに困ったり、嫌な気持ちになったりした時などに、先生に話を聞いてもらったり、思いを分かってもらったり、どうすればいいか一緒に考えたりして、気持ちを落ち着かせようとする③	◎自分の思い通りにならずに困ったり、嫌な気持ちになったりした時などに、気持ちを落ち着かせられるように、スキンシップをとりながら話を聞いたり、思いを尋ねて待ったり、どうすればいいか一緒に考えたり選択肢を提案したりする。
	○教えてもらったり、尋ねられたり、見てもらったり、褒めてもらったりして、何が楽しいか、何が好きか、何が得意かに気付いたり、自分の表現のよさや頑張りを感じたりする④	*◎楽しんでいることや、好きなこと、得意なことに気付いたり、自分の表現のよさや頑張りを感じたりするように、楽しんでしている姿や頑張っている姿に感心したり、よさや頑張りを具体的に言葉にして褒めたりする。*
	○先生や友達と、同じことをしたり、手をつないだりくっついたり、一緒に役になりきって遊んだり歌ったりして、一緒に遊ぶ嬉しさを感じる⑤	◎先生や友達と一緒に遊ぶ嬉しさを感じられるように、動きを揃えてする場面や、みんなで一緒に遊ぶ場面、一緒に声を揃えて歌う場面を作り、一緒に遊んで嬉しいと感じている気持ちを言葉にして共感する。
	○友達の考えや動き、言葉、表情を見聞きしたり、~~*している話し方や動き方を見たり聞いたりして、*~~*真似をしてみたりして、*友達の素敵なところやすごいところ、面白いところを知ろうとしたり、気付いたりする⑥	◎友達の素敵なところやすごいところ、面白いところを感じられるように、友達の動きに注目させたり、教師が気付いた素敵なところを言葉にしたりする。
	○先生と一緒に、友達の動きや表情を見たり話を聞いたりして、友達の気持ちや考え、その理由を知ろうとする⑦	◎友達の気持ちや考え、その理由を知ったり知ろうとしたりするように、友達の様子を知らせたり、気にかける姿を見せたり、一緒に尋ねたり聞いたりする。
	○自分のしていることやしたいこと、遊びが面白くなると思った考え、嫌だと思ったこと~~*を*~~*が伝わるように*、実物を見せたり、して見せたりして伝えようとしたり、言葉を引き出してもらったり、一緒に言ったり、見守ってもらって自分で言ったりして、言葉や行動で伝えようとしたりし、伝えることのよさを感じる⑧	◎自分の思いを言葉や行動、身振りなどで伝えられるように、伝えやすい場を作ったり、注目をしたり、見守ったり、伝えにくい時には、思いを代弁したり、主語などの言葉のはじめを代弁してきっかけを作ったり、わかりにくいところを言い換えて尋ねたり、一緒に言ったりする。 ◎伝えるよさを感じられるように、伝えたことで相手が分かってくれたり変わってくれたり、助けてくれたりしたことを言葉にして一緒に喜ぶ。
	○友達の様子を見たり、先生や友達の話を聞いたりして、友達のことを気にかけ、何かしてあげようとしたり考えたりする⑨	◎友達のことを気にかけ、自分にできることをしてあげようと考えられるように、友達の気持ちや考えを知らせたり、どうすればいいか一緒に考える姿を見せたり、いい考えがないか尋ねた

		りする。
・危なくないように考える	○友達や物にぶつかって驚いたり痛い思いをしたり、友達が痛い思いをしているのを見聞きしたりして、どうやったら危なくないか考えたり、危なくない扱い方や方法を聞いたりして、危なくないようにしようとする⑩	◎危なくない方法を考えられるように、驚いたり痛い思いをしたりしている友達を知らせたり、何が危ないかを伝えたり一緒に考えたり、危なくない方法を一緒に考えたりする。 ◎気をつけることを思い出して危なくないようにしようと思えるように、これまでに考えたことを言葉にしたり、気をつけようとしている姿を取り上げたりする。
・お話を先生や友達と一緒に作る	○物語が分かって楽しんだり、物語に親しみをもったりする⑰ ○先生や友達と一緒にイメージを膨らませてお話や役の設定を考えながらお話を作る楽しさを感じる⑰	◎物語が分かって楽しめるように、折りをみて繰り返し何度も絵本を読む。 ◎先生や友達とお話を作る楽しさを感じられるように、子どものつぶやきや表現から、イメージや考えを取り入れたり試したりして遊んだり、子どもの思いを尋ねたり確かめたりしながら役や場面の設定、展開を一緒に作っていく。
	○なりたい登場人物の動きや表情、話し方、場面を思い浮かべたり、気持ちを感じたりし、なりきって遊ぶことを楽しむ⑱	＊登場人物や役割、場面のイメージをもって繰り返し遊べるように、なりきって遊ぶのに必要な道具を置いておいたり、ごっこ遊びに必要なものを作れる場を用意したりし、好きな遊びでも使えるよう準備をしておく。 ◎登場人物の動きや話し方を考えながら、なりきって遊べるように、一緒になりきって動いたり話したり、友達の動きや話し方を見せたり、場面や気持ちを尋ねて想像を膨らましたりする。 ◎登場人物の気持ちや場面を思い浮かべながら表現できるように、情景や状況を伝えたり、気持ちを一緒に考えたり、場面に合わせた音や音楽を鳴らしたりする。
・置き場所を考えたり、置き替えたりする	○自分のしたい登場人物の姿や場面を思い浮かべて、必要だと思う物や装飾を*考えたり作ったり~~使ったり~~*身につけたりして遊ぶ楽しさを感じる⑲ *○どう見えているか教えてもらったり見せてもらったりして、見ている人が見やすいように先生と一緒に考えたり、動きの向きや使う場所、物の置き場を考えたり変えたりする⑳* ○遊びに必要な物を、使いやすく遊びやすくなるように、ど	◎小道具や衣装などを使って表現する楽しさを感じられるように、小道具や衣装などがあるとどんな気持ちかどう見えるか尋ねたり、場面や役にぴったりで素敵なことを伝えたりする。 *◎見ている人が見やすいように考えたり、動きの向きや使う場所、物の置き場を考えたり変えたりするように、教師が客席側から見て感じたことを伝えたり、客席側から交替で見る機会を作ったり、物の置き場を変えてみて違いを比べさせたりする。* ◎使いやすく遊びやすくなる置き方や場の使い方を感じたり考えたりでき

	こに置いたらよいか考えて運んだり、並べたり、置いたり、片付けたりする㉑	るように、使いにくさを感じている場面で、どうしてなのかどうすると遊びやすいのか一緒に考えたり、教師が整えて見せて使いやすいか尋ねたりする。

C【遊びに使うものを作ったり描いたりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・絵の具を使ってローラーやハケで色を塗ったり模様をつけたりする ・紙粘土、画用紙、和紙、不織布、廃材、絵の具、ローラー、セロテープ、ガムテープ、マジックなどいろいろな素材でごっこ遊びに必要なものを作ったり描いたり装飾したりする ・作ったものを置いたり片付けたりする	○紙粘土やはさみ、ガムテープ、筆などの遊具や道具を使いながら、いろいろな体の動かし方や使い方をしようとしたり、コツを感じたりする⑫ ○紙粘土、画用紙、和紙、不織布、廃材、絵の具、ローラーなどの素材や道具を使って遊んだり作ったりする中で、様々な形ができる、色が混ざる、模様ができるなど、そのものの性質や様子の違いを感じて楽しんだり面白いと思ったり使い方を考えたり試したりする⑭ ○ごっこ遊びに必要なものを思い浮かべ、紙粘土や画用紙、和紙、不織布、廃材、セロテープ、ガムテープ、マジックなどを使って色や形を考えて作ることを楽しむ⑮ ○自分のしたい登場人物の姿や場面を思い浮かべて、必要だと思う物や装飾を考えたり作ったりする楽しさを感じる⑲ ○遊びに必要な物を、使いやすく遊びやすくなるように、ど	◎紙粘土やはさみ、ガムテープ、筆などの使い方を考えたり試したりできるように、使おうとしているところを見守り、友達や教師の使い方を見せたり、コツを言葉にしたり、手を添えて一緒にしたりする。 ◎素材や道具をいろいろに扱い、その性質や様子の違いを感じたり、使い方を考えたり試したりして楽しめるるように、十分試す時間をとったり、感じている楽しさや面白さを言葉にしたり、一緒に使いながら使い方を見せたり言葉にしたりする。 ＊作りたいものに合わせて使いたい素材や色を選んで使えるように、作りたいものが作れそうな素材を複数用意したり、使い慣れた素材を用意しておいたりする。 ◎遊びに必要なものを思い浮かべて、色や形を考えて作る楽しさを感じられるように、いろいろな色があることを知らせたり、どんな色や形にしたいか、どんな飾りをつけたいか尋ねたり、友達の作っているものを見せたりする。 ◎自分のしたい登場人物の姿や場面をイメージして必要なものを考えたり、作ったりしようと思えるように、何があったらより登場人物らしく見えるか尋ねたり、よりらしくなるように作っている姿を知らせたりする。 ◎なりたいものを思い浮かべ、よりらしくなる楽しさを感じながら作ったり考えたりできるように、作ったものによってよりそれらしく見えることを一緒に喜んだり、友達がどう見えるか尋ねたりする。 ◎遊びに必要なものや使ったものの置き場所を使いやすく遊びやすいよう

	こに置いたらよいか考えて運んだり、置いたり、片付けたりする㉑ ○まだ使えるものを捨てるのはもったいないと感じたり、作った物や使っているものを大切にしようとしたりする㉒	に考えて場を作れるように、どこに置いたり片付けたりしたら使いやすいか一緒に考えたり、きれいに整える気持ちよさを伝えたりする。 ◎もったいないと感じたり大切にしようとしたりするように、物には限りがあることやまだ使えることを知らせたり、大切にする姿を見せたり、まだ使える方法をして見せたりする。

D【リズムを感じて楽器を鳴らしたり、身体を動かしたり、歌ったりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・踊ったり跳ねたり楽器を鳴らしたりする ・友達がするのを見たり見てもらったりする ・知っている曲をアレンジして歌詞を考える ・歌を歌う ・歌詞に合った動きを考える	○自分でしたいと思ったことができたり、自分の考えたことを友達や教師に見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりして満足する② *○教えてもらったり、尋ねられたり、見てもらったり、褒めてもらったりして、何が楽しいか、何が好きか、何が得意かに気付いたり、自分の表現のよさや頑張りを感じたりする④* ○友達がしている動きを見て、友達の素敵なところやすごいところ、面白いところを知ろうとしたり、気付いたりする⑥ ○自分が考えたことを先生や友達に言葉で伝えたり、やってみせたりする⑧ ○歌のリズムやテンポ、メロディを感じて歌ったり楽器を鳴らしたり、ピアノの音や曲を聴いてリズムを感じながら身体を動かしたりすることを楽しんだり、歌声が合う心地よさを感じたりする⑯	◎したいことができた嬉しさや見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりする嬉しさを感じられるように、したいことができたことを一緒に喜んだり、考えの素敵なところを褒めたりする。 *◎楽しんでいることや、好きなこと、得意なことに気付いたり、自分の表現のよさや頑張りを感じたりするように、楽しんでしている姿や頑張っている姿に感心したり、よさや頑張りを具体的に言葉にして褒めたりする。* ◎友達の動きの素敵さや面白さを感じられるように、教師が気付いた素敵なところや面白いところを言葉にしたり、子どもに気付いたことを尋ねたりする。 ◎自分で考えたことを伝えるよさを感じられるように、伝える機会をもったり、考えたことの素敵さを褒めたり、考えを取り入れたりする。 ＊リズムを感じて楽器を鳴らす楽しさを感じられるように、打楽器をいつでも使えるように置いたり、リズムの取りやすい曲や歌を用意したりする。 ◎歌のリズムやテンポを感じられるように、リズムやテンポに合わせて手拍子したり、リズムをはっきりつけて伴奏をしたりする。 ◎リズムを感じながら身体を動かすことを楽しめるように、動きに合わせたリズムやテンポで演奏したりリズムの取りやすい曲を流したりする。 ◎歌声が合う心地よさを感じられるように、リズムやテンポ、メロディが簡単な曲を選んだり、合っている時とずれている時に感じたことを尋ねたり伝えたりする。

	○歌のイメージに合った動きを考えてすることを楽しむ⑱	◎歌のイメージに合った動きをすることを楽しめるように、イメージに合った動きをしていることを褒めたり、どんな動きがいいか一緒に考えたりする。

E【律動を*したり、道具を使って遊んだり*する】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・ギャロップをする ・ケンパをする *・ぽっくりをする*	○友達や物にぶつかって驚いたり痛い思いをしたり、友達が痛い思いをしているのを見聞きしたりして、どうやったら危なくないか考えたり、危なくない扱い方や方法を聞いたりして、危なくないようにしようとする⑩ ○ケンパやギャロップをして、身体を動かす心地よさを感じたり、バランスを取ったり、膝をしっかり曲げてバネを使ったりする⑪ *○教えてもらったり、尋ねられたり、見てもらったり、褒めてもらったりして、何が得意か、どんなことができるようになったかに気付いたり、自分の頑張りを感じたりする④* *○ぽっくりを使いながら、いろいろな体の動かし方や使い方をしようとしたり、コツを感じたりする⑫*	◎どうやったら危なくないか考えられるように、ぶつかってしまいそうな状況であることを言葉にしたり、ぶつかったあとにどうすればいいか一緒に考えたりする。 ◎気をつけることを思い出して危なくないようにしようと思えるように、これまでに考えたことを言葉にしたり、気をつけようとしている姿を取り上げたりする。 ◎身体を動かす心地よさを感じられるように、子どもの動きに合わせたテンポやリズムの曲を弾いたり、楽しさに共感したりする。 ◎バランスを取ったり、膝をしっかり曲げてバネを使ったりするなど動きを考えたり試したりするように、動きを具体的に言葉にしたり、教師がやってみせたりする。 *◎得意なことやできるようになったこと、自分の頑張りを感じたりするように、頑張っている姿に感心したり、頑張りを具体的に言葉にして褒めたり、前からの変化を言葉にして伝えたりする。* *◎ぽっくりで歩いたり、足を高く上げたり、乗るコツを感じたりするように、いろいろな乗り方をしている子どもの様子を知らせたり、教師がやって見せたり、後ろから手を添えたり、乗り方のポイントを言葉にしたりする。*

F【簡単なルールのある遊びをする】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・~~*追いかけっこ*~~*しっぽとり*やあぶくあったなどの鬼ごっこをする	○先生や友達と、簡単なルールのある遊びをする楽しさを感じる⑤	◎先生や友達とルールのある遊びを一緒にする楽しさを感じられるように、ルールを分かりやすく簡単なものにしたり、遊びに必要から一緒に考えたりして共有し、繰り返し遊ぶ。

	○友達*のしっぽを取ろう~~をタッチしよう~~*と友達をねらって身体を動かしたり逃げたり追いかけたりして、いろいろに身体を動かす心地よさを感じる⑪ ○相手の動きを見ながら、走るスピードや方向を変えて、*しっぽを取られ~~タッチされ~~*ないように逃げたり、タッチするために追いかけたりする⑪	◎身体を動かす心地よさを感じられるように、いろいろな動きの登場人物になって遊んだり、走ってみた気持ちを尋ねたり感じている気持ちを言葉にしたりする。 ◎色々な動きをしながら十分体を使って遊べるように、走るスピードを速くして緩めたり、急に方向を変えたり、相手の動きに合わせたりしている動きを具体的に言葉で意識させる。

G【おうちや他のクラスや学年の人に見てもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・おうちの人に参観日のように見てもらうことを知る ・見てもらうことを楽しみにして作り足したり作り直したりする ・見てもらうことを意識して、動きの向きや使う場所を考えたり変えたりする ・おうちの人や他のクラスや学年の友達や先生に見てもらう	○お家の人にみてもらうことを知り、発表会当日を楽しみに思う① ○お家の人や他のクラスや学年の友達や先生に見てもらったり、褒めてもらったりすることを嬉しく思う②	◎お家の人にみてもらうことを知り、発表会当日を楽しみに思えるように、お家の人が見に来てくれることを知らせたり、どんなところを見てほしいか尋ねたり、お家の人が見たらびっくりするであろうということを伝えたりする。 ◎見てもらいたい思いが叶えられるように、見てもらいやすい向きや場所を知らせたり、一緒に考えたりする。 ◎他のクラスや学年の友達や先生に見てもらうことを嬉しいと思えるように、お客さんの反応を見せたり見ていてどうだったかお客さんに尋ねたりする。 ◎おうちの人に見てもらったり褒めてもらったりして嬉しいと思えるように、保護者に子どもが楽しんでいたことや頑張っていたことについて具体的に褒められるように動きや表情などよく見て褒めてあげてほしいことを伝えておく。 ◎見てもらったり褒めてもらって嬉しい気持ちを感じられるように、見てもらえてよかったことを伝えたり、褒めてもらえて嬉しい気持ちに共感したりする。

令和６年度　４歳児　「発表会」（実践前）

（実践前修正箇所を*斜体*、実践後修正箇所を囲み文字、
取り上げる内容によって変わる箇所を網掛けにて示す。）

１．期間　　１月中旬～３月上旬

２．設定の理由

昨年度、クラスで１か月近く１つのお話をもとにごっこ遊びをする発表会を１回経験してきている。その中で、自分のしたいことを選んだり意識してしようとしたり、できるようになって嬉しいと思ったり、友達と一緒に動いたり歌ったりする喜びを感じたり、なりたい登場人物になって表現する楽しさを感じたりしてきている。また、友達と一緒に遊ぶ中で友達のことを知ったり、自分の気持ちを言葉や行動で伝えたりしてきている。また、発表会を迎える中で、たくさんの人に見てもらったり拍手をしてもらったりして嬉しい気持ちを感じたり、自分に満足したりしている。さらに、４歳児の発表会を見せてもらい、こんなことをしてみたいと憧れの気持ちをもっている子どももいる。

今年度の運動会では、少し難しいことに対してできるようになりたい、上手になりたいという気持ちをもって繰り返し取り組み、できるようになった嬉しさや前より上手になった嬉しさや、役になりきって体を動かす楽しさや、皆で動きを合わせて表現する楽しさ、皆でお話の展開や設定を考えて遊びを作っていく楽しさを感じていた。11 月から 12 月頃には、自分達で気の合う友達を誘い合って遊び始め、したいことを言ったり友達の話を聞いたりして、友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいた。その中で、友達の様子を見たり、考えていることを見たり聞いたりして、すごいな、面白いな、などいろいろな友達の個性に気付いたりしていた。また、いろいろなごっこ遊びの中で、なりたいものを思い浮かべてなりきり、その役らしい言葉や話し方、動きをしたり、遊びに必要な物やその役らしくなるために必要な物を作って身に付けたり、友達と相談しながらお話の展開や設定を考えたりすることを楽しんできている。

３学期になると、前とは違う自分や頑張ってできるようになったことに意識を向けることで、前との違いや成長を感じ、自信をもっていく。また、こまを回したい、長く回したい、こまを下敷きに乗せたい、狭い的にこまを投げ入れたい、紐に乗せて持ち上げたい、縄跳びで前とびの回数を増やしたい、ボールを上に上げて連続でキャッチできるようになりたいなどと具体的に目的をもって挑戦し、できるようになると次の目的を決めて挑戦していく姿が見られるようになる。その中で、友達の頑張っている姿やできるようになった姿を見て、すごいと思ったり、うまくいかなくて困っている友達に気付き、助けてあげようとしたりする。また、したい遊びによっていつもと違う友達と遊んだり、クラスみんなで遊んだりする中で、友達のよさや今まで知らなかった個性に気付くようになる。

発表会で、子ども達に身近な心情のお話を取り上げてごっこ遊びをすることで、登場人物の気持ちを感じて共感したり、登場人物の気持ちを感じながら、表情や言葉、話し方、動き方などを考えて表現したりすることができる。また、子ども達の考えを中心に、遊びやお話の流れや設定、動きなどを決めて進めていくことで、自分達で遊びやお話を作っている感覚をもったり、みんなで決めたことを一緒にすることを喜んだりする。これまでみんなで楽しんできた遊びを取り入れることで、もっとこうしてみたい、こうしたら楽しくなるということを、それぞれが考えを出し合いながら一緒に決めていくことができる。遊びの必要で物を作ることで、目的や用途を意識し、作るものを具体的に思い浮かべることにつながり、大きさや形、色などを考え、素材の特徴を生かして組合せ、描いたり作ったりすることができる。

そこで発表会では、具体的な目的をもち、それに向けて考えたり試したりしながら取り組み続けていけるように支えていきたい。そして、前とは違う自分を自覚して自信をもったり、さらなる目的をもち、取り組んだりしてほしい。また、お話を取り上げてごっこ遊びをする中で、自分の考えを言ったり、友達の考えを聞いたりしながら、一緒に遊びを進めることを楽しんでほしい。そして、面白いことを考える、助けてくれて優しいなど友達のいろいろな個性に気付いてほしい。

３．ねらい

① いろいろな役をしたいと思ったり、なりたい役や頑張りたい役割を決めたりして、動き方や話し方、言葉、遊び方などについてこうしたいと考えたり、遊びに必要な物を*どのように作りたいか考えたり*、ボールやフープ、こま、けん玉などの挑戦したい技を決めてできるようになりたいと思って練習したりするなど、*具体的な目的をもって*繰り返したり試したりして取り組もうしたり、自分や友達の作ったものに思い入れをもち、大切に扱ったりする。

自ら決める・選ぶ
問題を認識する

② なりたい役になったり遊びに必要な物を作ったりして自分の考えたことができたことに満足したり、できなかったことや難しいと思っていたことができるようになってきた、上手になったなど前とは違う自分やしたいことを続けてきた自分の頑張りを感じて自信をもったりする。

自分に満足する
~~*自分を客観的に把握する*~~

③ 上手くいかなくて悔しい、困ったなどと思った時に、自分の納得のいく方法を見付けて気持ちを落ち着かせたり、気持ちを立て直してやってみようとしたりする

気持ちをコントロールする

~~②~~ *以前はできなかったことができるようになった自分や、何度も挑戦すると*
④ *できるようになった自分を感じて嬉しく思ったり、自分の頑張りや成長に気付く。*

自分のことを知る

~~④~~ いろいろな友達と体を触れ合わせたり、顔を見合わせたり、一緒に動い
⑤ たり歌ったりしながら、*クラスの友達みんなと*一緒に遊ぶ楽しさを味わう

他者といる喜びを感じる

~~⑤~~ 友達が考えた動きを見たり、友達の言葉を聞いたり、友達の頑張っている
⑥ 姿や真剣な姿を見たり聞いたりして、友達の個性や考えを知ったり、頑張りやよさ、*困っていることやつまずいていること*を感じたりする

他者のことを知る

~~⑥~~ 友達の気持ちや考えを聞きながら、自分の困ったことや嫌な気持ち、した
⑦ いことやしてほしいこと、こうすればよいと考えたことを友達に分かるように伝えようする

自分のことを伝える

~~⑦~~ 困っている友達に気付き、友達のために声をかける、待つ、励ます、教える、*一緒に考えるなど*、してあげたいと思うことをしようとする
⑧

他者のことを考えて行動する
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する

~~⑧~~ みんなでするごっこ遊びやお話に取り入れた遊びが楽しくなるように、友
⑨ 達のしていることを見たり考えを聞いたり、したいことや考えたこと、おかしいと思ったことを言ったりして、自分のできることを考えてしたり、どんなものやことが必要か、どうすればよいかなどを友達と一緒に考え、その通りにしようとする

人とものごとを進める
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する

~~⑨~~ 大勢の友達と動く時や道具を使ったり出したりする時に、どうすると危な
⑩ いか、何が危なかったかを一緒に考え、同じ方向に走ったり、周りをよく見て動いたり、声をかけたりするなど、危なくないように考えた方法を意識して動こうとする

身を守る
~~*自分を客観的に把握する*~~
問題を認識する

~~⑩~~ ボールやこま、フープ、けん玉、縄などの技に応じた姿勢や力の加減、体
⑪ の動かし方、道具の動きに合わせた動きのコツを*感じたり*取り組みながらつかんでいったり、それらをする楽しさを感じたりする。

身体を操作する

~~⑪~~ ごっこ遊びに使ったり、必要なものを作ったりする中で、紙粘土やハサミ、
⑫ 段ボールカッター、のり、筆、ローラー、作った小道具、大道具、楽器などの特徴や性質を感じる

事物・現象を捉える

~~⑫~~ ごっこ遊びに必要な物や登場人物、好きな場面、強く感じた思い等を思
⑬ い浮かべて、それに合わせて大きさや形、色*など*を考えて、素材を選んだり、形を変えたり、素材の特徴を生かして組み合わせ方を考えたりしながら、描いたり作ったりすることを楽しむ

造形に表す
関連付ける

~~⑬~~ リズムやメロディー、テンポ、曲の雰囲気を感じて歌を歌ったり身体を動 音楽に表す
⑭ かしたり、歌に流れるお話や気持ちを思い浮かべながら歌を歌ったり入れたい言葉のリズムと曲のリズムを合わせながら歌詞を考えたりする楽しさを感じる

~~⑭~~ 絵本を見たり、お話を考えたり、役になって遊んだりする中で、*困ったこ* 文芸に表す
⑮ *とでも考えてみんなで力を合わせると大きな力になり、乗り越えられる素敵さ、年老いて追い出される悲しみや仲間が増えていく嬉しさ、泥棒に立ち向かっていく緊張感や面白さなど*、お話それぞれの場面の様々な登場人物の気持ちや*素敵なところ*を感じたり考えたり、友達や教師と一緒に場面や設定、展開を創造してお話を作ったり、作ったお話や感じた思いを歌詞にする楽しさを感じたりする

~~⑮~~ 登場人物の気持ちや性格、具体的な場面を感じたり思い浮かべたり、友達 身体の動きに表す
⑯ の表現を取り入れたりしながら、その役らしい表情や言葉、話し方、動き方でなりきって表現したり、歌や曲から感じたことを身体で表現したりする楽しさを感じる

~~⑯~~ より役らしくなるように、小道具を使ったり役や場面に応じて身に付けた 演出に表す
⑰ り、よりその場面らしく見えるように、*~~崖~~、家、~~木~~*などの大道具や*~~金槌~~、~~野菜、救急箱料理や宝箱~~*などの小道具を作ったり音を鳴らしたり場面に応じて使ったり、自分達のしたいお話になるように挨拶や歌などを入れたり、見ている人に分かってもらえるように大きな声で話したりそれが劇中では聞こえていないことにしたりするなど表現の仕方を考えたりやってみたりする楽しさを感じる 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する

~~⑰~~ 見ている人に見やすかったり見えなかったりするように、道具を隠したり 場や状況を整える
⑱ 置いたり立ったりする位置や向きを決めたり、変えたり、必要な道具を考えて運んだり使わない時は収めたりしようとする 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する

４．展開

自分のやりたい遊びや気の合う友達との遊びを楽しむ

考えたことを言ったり聞いたりして友達と一緒に遊びや遊び方、動き方などを決める

お話の場面で遊びながら、好きな場面を見付けたり、話の流れが分かって自信をもったりする

楽しんでいることや頑張っている楽しんでいることや頑張っていることを見てもらうことを喜ぶ

A【お話のごっこ遊びをする】

- 絵本を見たり、お話を聞いたりする
- 先生や友達と絵本の話をしたりしたい場面のごっこ遊びをしたりする
- 登場人物になって遊ぶ
- いろいろな友達と体を触れ合わせたり顔を見合わせたり、一緒に動いたり歌ったりする
- 先生や友達に見てもらう
- 友達が考えた表現を見る
- したいことや考えたことを言う
- 友達のしたいことや考えたことを聞く
- お話の設定や流れを考える
- 自分のできることを考えてする
- リズムに乗って歌ったり身体を揺らしたりする
- お話を思い浮かべながら歌う
- 作ったお話や感じた思いを歌詞にする
- 入れたい言葉のリズムと曲のリズムを合わせながら歌詞を考える
- 歌や曲に合わせて身体を動かす
- 大道具や小道具など遊びに使う道具を用意したり片付けたりする
- なりたい役を決める

B【ごっこ遊びに必要なものを考えたり作ったりする】

- 必要な材料を考える
- ごっこ遊びに必要なものを描いたり作ったりする

できるようになりたいことやしたいことなどを具体的に決め、それに向けて挑戦する

できた喜びを味わったり、新たな目標を決めて挑戦したりする

C【自分で決めたことに向けて挑戦する】

- ボールやフープ、こま、けん玉、*縄*などに挑戦する
- 具体的な目的を決めて繰り返し挑戦する
- 先生や友達に見てもらう
- 友達がしたいことに向けて頑張る姿を見たり聞いたりする
- 友達のできるようになったことや頑張っていることを見たり、頑張りを聞いたりする

D【発表会でお家の人に見てもらう】

- 発表会の日やお家の人が見に来てくれること、お家の人が見る場所を聞く
- 見てもらう人を意識して表現の仕方を考える
- 見てほしいところや頑張りたいことを言う
- 発表会でお家の人に見てもらう

A【お話のごっこ遊びをする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・絵本を見たり、お話を聞いたりする ・いろいろな役になる ・登場人物になりきって表現する遊ぶ	○いろいろな役をしたいと思い、動き方や話し方、言葉、などについてこうしたいと考えてしてみようとする①	◎いろいろな役をしたいと思えるように、いろいろな役を全員でする状況を作ったり、教師がいろいろな役を楽しむ姿を見せたりする。 ◎動き方、話し方、言葉などをそれぞれが考えられるように、考えてしていることを具体的に褒めて意識させたり、それぞれの考えた表現を褒めたりする。
・いろいろな友達と体を触れ合わせたり顔を見合わせたり、一緒に動いたり歌ったりする ・先生や友達に見てもらう ・友達が考えた動き表現を見る	○前とは違う自分やしたいことを続けてきた自分の頑張りを感じて自信をもったり、なりたい役になって自分の考えたことができたことに満足したりする②	◎前と比べて変わった自分、頑張ってできるようになった自分を感じられるように、前と比べてよくなっているところやこれまでの頑張りを具体的に言葉にして褒める。 ◎自分の考えたことを認めてもらえた嬉しさを感じられるように、工夫している表現を褒めたり、考えていることを聞いたり、友達に見てもらう場をもち、友達の見て感じたことを聞く機会を設けたりする。
・したいことや考えたことを言う ・友達のしたいことや考えたことを聞く ・自分のできることを考えてする ・リズムに乗って歌ったり身体を揺らしたりする	○上手くいかなくて悔しい、困ったなどと思った時に、気持ちを立て直してやってみようとする③ *○以前はできなかったことができるようになった自分や、何度も挑戦するとできるようになった自分を感じて嬉しく思ったり、自分の頑張りや成長に気付く④*	◎しまった、悔しい、困ったと思った時に、気持ちを立て直すことができるように、困っている気持ちを受け止め、待ったり、周りの友達と一緒に励ましたりする。 ◎*自分の成長や頑張りに気付けるように、前よりも上手になってきていることや繰り返し頑張っている姿を具体的に褒めたり、教師が感じた子どもの様子を言葉にしたりする。*
・お話を思い浮かべながら歌う ・歌や曲に合わせて身体を動かす ・大道具や小道具など遊びに使う道具を運ぶ ・なりたい役を決めてなりきって遊ぶ	○いろいろな友達と体を触れ合わせたり顔を見合わせたり、一緒に動いたり歌ったりしながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう~~④~~⑤	◎友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わえるように、友達と体を触れ合わせたり、動きを合わせる必要があったりする遊びを取り入れる。 ◎いろいろな友達と一緒に遊ぶことを楽しいと思えるように、友達と一緒に自由に遊ぶ場面や友達を誘い合って一緒にする場面を作ったり、一緒にしている友達の名前を呼んだり、感じている嬉しい気持ちを言葉で伝えたりする。
	○友達が考えた動きを見たり、言葉を聞いたり、友達の頑張っている姿や真剣な姿を見たり聞いたりして、友達の個性や考えを知ったり、頑張りやよさ*困っていることやつまずいていることを感じたり*する~~⑤~~⑥	◎友達の考えを知ったり、友達のよさを感じたりできるように、考えたことを見合ったり、工夫している表現や頑張っていることを褒めて注目させたり、見て感じていることに共感したりする。 ◎友達の頑張りや頑張ってできるようになったこと、工夫していることを素敵だと思えるように、これまでの頑張りや考えていることを知らせたり聞いたりして注目させたり、何がどうよいのか着目するところを知らせたり、頑張ってできるようになったことを見合う場をもったりする。

		◎友達が困っていることやつまずいていることを感じられるよう、友達の困っている表情や行動に気付かせたり、何に困っているのか心配して尋ねる姿を見せたりする。
	○友達の気持ちや考えを聞きながら、自分の困ったことや嫌な気持ち、したいことやしてほしいこと、こうすればよいと考えたことを友達に分かるように伝えようとする~~⑥~~⑦	◎自分の気持ちや考えたことを友達に伝えようとするように、友達の考えを聞いてどう思うのか尋ねたり、具体的な言葉に言い換えたり、言葉を足したり、相手に伝わったか一緒に確かめたりする。
	○困っている友達のために声をかける、待つ、励ます、教える、*一緒に考える*などしようとする~~⑦~~⑧	◎友達*のために*できることをしようとするように、困っている友達の姿を知らせたり、困っている友達のために できることを一緒に考えたり、待ってできそうな時は、待ってあげることを提案したりする。
	○みんなでするごっこ遊びや遊びに取り入れた遊びが楽しくなるように、友達のしていることを見たり考えを聞いたり、したいことや考えたこと、おかしいと思ったことを言ったりして、自分のできることを考えてしたり、どんなものやどんなことが必要か、どうすればよいかなどを友達と一緒に考え、その通りにしようとする~~⑧~~⑨	◎それぞれの考えていることがわかるように、実際に動いて見せてもらったり、みんなで動いてみたりする。 ◎自分のできることを考えたり、必要だと思うことを一緒にしようと思えるように、声をかけあったり、合図を出したりして動いていることのよさを具体的な言葉にして褒める。 ◎したいことや考えたことを言ったり聞いたりしながら一緒に考えられるように、考えるポイントを絞って話し合いをし、友達の考えに対してどう思うのかやその理由を聞いたり、考えが合わない場合は、自分はどうしたいのかを聞いたりする。 ◎遊び方を友達と一緒に考えて決めていけるように、これまで楽しんできた遊びを取り入れ、もっとこうしたらいいと思うことや困ったこと、おかしいと思っていることを聞き出したり、それに対してどう思うのかを投げかけたりする。
	○大勢の友達と動く時に、どうすると危ないか、何が危なかったかを一緒に考え、同じ方向に走ったり、周りをよく見て動いたり声を掛けたりするなど、考えた方法を意識して動こうとする~~⑨~~⑩ ○リズムやメロディー、テンポ、曲の雰囲気を感じて歌を歌ったり身体を動かしたり、歌に流れるお話や気持ちを思い浮かべながら歌を歌ったりする楽しさを感じる~~⑫~~⑭	◎どうすると危ないか、何が危なかったか考えられるように、どんな状況になっていたか知らせたり、危ないと感じたことやどうすると危なくないかを尋ねたりして、一緒に考えたり、振り返ったりする。 ◎考えた方法を意識して動けるように、方法を事前に確かめたり、意識していることのよさを言葉にして褒めたりする。 ◎リズムやメロディー、テンポ、曲の雰囲気を感じて歌を歌ったり身体を動かしたりするように、いろいろなリズムやテンポ、雰囲気の曲を選んだり、テンポを変えて演奏したり、メロディーをはっきりと正確に歌ったり、感じて歌ったり身体を動かしたりする。 ◎歌に流れるお話や気持ちを思い浮かべながら歌えるように、歌詞の意味や込められ

		た気持ちを知らせたり、お話の中で子ども達が感じている気持ちや楽しんでいることを聞きながら、歌詞を作ったりする。
	○みんなで作る歌に入れたい言葉や内容を考え、曲のリズムに合わせながら歌詞を考える楽しさを感じる~~13~~⑭	◎曲のリズムに合わせて言葉を選んだり入れる場所を考えたりしながら歌詞を考える楽しさを感じられるよう、リズムを取りやすい曲を選んだり、みんなで作った物語を振り返って入れたい内容や言葉を尋ね、曲のリズムと言葉を合わせながら歌ってみたり、それを聞いてどう思うか尋ねたり、他に合う言葉や場所がないか一緒に考えたりする。
	○絵本を見て、*困ったことでも考えてみんなで力を合わせると大きな力になり、乗り越えられる素敵さ、年老いて追い出される悲しみや仲間が増えていく嬉しさ、泥棒に立ち向かっていく緊張感や面白さなど*お話それぞれの場面の様々な登場人物の気持ちや*素敵*なところを感じたり考えたりする~~14~~⑮	＊感じてほしい登場人物の気持ちを感じられるように、日頃から子ども達と共有し大切にしてきている心情と結び付ける言葉をかける。 ＊繰り返しお話を見たり読んだりしてお話の面白いところ、好きなところを見付けたり心情や場面、動きを思い描いたりできるように、取り上げるお話の絵本を複数冊置く。 ◎登場人物の気持ちを感じられるように、心情が強く表れている部分は気持ちを込めて強調して読んだり、ごっこ遊びをする中で、役や状況を思い浮かべながら体感できる状況を表す言葉をかけたり、子どもと同じ役や相手役になりきって状況に合った言葉を言ったり、それぞれの場面での気持ちを一緒に考えたりする。 ＊同じお話や登場人物でも少しずつ異なる内容や設定、展開があることに気付き、自分達でお話を作っていくきっかけとなるように、同じシリーズの絵本や同じお話で作者が違う絵本、同じ題材の違う絵本などを一緒に置いておく。
	○友達や教師と一緒に場面や設定、展開を創造してお話を作ったり、作ったお話や感じた思いを歌詞にする楽しさを感じたりする~~14~~⑮	◎場面や設定、展開を創造してお話を作る楽しさを感じられるように、教師が自由に想像して考えた場面や設定、展開を言葉にする姿を見せたり、自由に発想して提案する姿を受け止め、一緒になって発想することを面白がったりする。 ◎作ったお話や感じた思いを話しながら歌詞を考える楽しさを感じられるよう、どんな話にしたか振り返ったり、どんな言葉、順番だと伝わりやすいか尋ねたり一緒に考えたりする。 ＊全員でお話作りを積み重ねられるように、出てきた考えや決めたことを文字やイラスト等でかき留め、いつでも見られる所に置いておく。
	○登場人物の気持ちや性格、具体的な場面を感じたり思い浮かべたり、友	◎登場人物の気持ちや場面を思い浮かべられるように、情景や状況を伝えたり、同じ役や相手役になって話しかけ思い浮かべ

	達の表現を取り入れたりしながら、その役らしい表情や言葉、話し方、動き方でなりきって表現したり、歌や曲から感じたことを身体で表現したりする楽しさを感じる⑮⑯	ていることを引き出したり、場面に合った音やBGM等の音響をかけたりする。 ◎登場人物の気持ちを感じながら表現できるように、心情の表れている言葉を取り上げて話したり、登場人物の気持ちを一緒に考えたり、同じ役や相手役になって表現して見せたり言葉や動きで状況を作って引き出したりする。 ◎歌や曲から感じたことを身体で表現できるように、歌のリズムやテンポ、メロディ、曲調、歌詞といった要素を言葉や動き、表情等で知らせて意識化したり、動きのよさをそれらと結び付けて褒めたりする。
	○より役らしくなるように、小道具を使ったり役や場面に応じて身に付けたり、よりその場面らしく見えるように、崖、家、木などの大道具や金槌、野菜、救急箱料理や宝箱などの小道具を作ったり音を鳴らしたり場面に応じて使ったり、自分達のしたいお話になるように挨拶や歌などを入れたりする楽しさを感じる⑯⑰	◎役や場面らしくなるように道具の必要を感じられるように、道具の存在が際立ったり場面が変わったりする状況でごっこ遊びをしたり、必要に感じて提案したり、らしく見えるよさを言葉にして褒めたりする。 ◎道具を役や場面らしくするために作ったり使ったりする楽しさを感じられるように、作ったり使ったり使っているのを見たりした感想を尋ねたり、教師が感じたよさを言葉にして知らせたりする。 ◎自分達のしたいお話にしようと挨拶や歌などを入れる楽しさを感じられるように、始めや終わりといった演出を考えやすいポイントを意識して言葉にしたり、これまでの経験からの考えを取り上げたり広めたり、考えを提案したりする。
	○なりたい役を決めて、その役らしい動き方や話し方、言葉などを考えようとする①	◎なりたい役を決めてしたいことを考えたり取り組んだりするように、一人一人にどの役がしたいか尋ねたり、こだわって選んだりなりきったり考えたりしている姿を具体的に褒めたりする。

B【ごっこ遊びに必要なものを考えたり作ったりする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・必要な材料を考える ・ごっこ遊びに必要なものを描いたり作ったりする	○遊びに必要な物をどのように作りたいか考え、試しながら作ろうとする①	◎作りたいものを具体的に思い浮かべて作ることができるように、考えていることやどんなことに使うかなどを尋ねる。 ◎作りたい思いにこだわって作れるように、どんな物が作りたいのかを尋ねたり、作っている過程でも目的を振り返ったり、目的に向かっている姿を具体的に言葉にして褒めたりする。
	○自分が思うような物ができたことに満足する③	◎思うような物ができたことに喜べるように、工夫したところを聞いたり、教師が素敵だと思うところを具体的に伝えて褒めたりする。
	○ごっこ遊びに必要な物を	◎使い方によっては危ない道具であること

	作る中で、どうすれば安全に使えるのか考えてしてみようとする⑨⑩	を知り、安全に使うためにどのように使おうか考えてしてみようとするように、安全に使った方がよい道具の特徴を言葉にしたり、自分で考えて安全な扱い方をしていることを褒めたりし、考える機会を設ける。
	○ごっこ遊びに使ったり、必要なものを作ったりする中で、ハサミや段ボールカッター、のり、筆、ローラー、作った小道具や大道具、楽器などの特徴や性質を感じる⑪⑫	◎段ボールカッターを前後に動かすと切れやすいことローラーで塗った時と筆で塗った時の色や模様の違いがあることなど、道具の特徴や性質を感じられるように、使う中で感じていることを尋ねたり、教師も一緒になって性質や特徴に驚いたり面白がったりする。
	○ごっこ遊びに必要な物や登場人物、好きな場面、強く感じた思い等を思い浮かべて、それに合わせて大きさや形、色、などを考えて、素材を選んだり、形を変えたり、素材の特徴を生かして組み合わせ方を考えたりしながら、描いたり作ったりすることを楽しむ⑫⑬	＊思い浮かべた物を自ら考え選択しながら作れるように、どんな形、大きさ、色、質感の物が必要なのか聞きながら、それがかなう複数の材料を用意する。 ◎大きさや形、色、組み合わせ方を考えながら作れるように、工夫しているところを褒めたり、他の友達の工夫を見せて刺激を与えたりする。 ◎好きな場面や強く感じた思いを思い浮かべて描いたり作ったりできるように、描いたり作ったりする前にお話や遊びを振り返ったり、絵や作品から実際にお話しや遊びの中で出てきたり感じていたりした思いと結び付けて言葉にしたりする。
	○自分や友達の作ったものに思い入れをもち、大切に扱おうとする①	◎作った作品に思い入れをもち、大切に扱おうとするように、これまで頑張って作ってきたことや、その作品のよさを具体的に言葉にしたり、雑に扱って壊れそうになってきている状況を伝えたりする。

C【自分で決めたことに向けて挑戦する】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・具体的な目的を決めて挑戦する ・こま回しをする ・フープを回す ・ボールを使って様々に体を動かす	○ボールやけん玉、こま、フープ、*縄*などの挑戦したい技を決めてできるようになりたいと思い、繰り返したり試したりして取り組もうとする①	＊具体的な目的をもち、意識し続けられるように、何をどんな風にしたいのかを聞き、文字やイラストでかき記し、いつでも見られる場所に掲示しておく。 ◎始めにしたいと思っていたことができても、さらに次のしたいことを決められるように、できて嬉しい気持ちを認めながら次の目標を聞いたり、少し難しいことを提案したりする。
・*縄を使って様々に体を動かす* ・先生や友達に見てもらう ・友達がしたいことに向けて	○ボールやけん玉、こま、フープ*縄*などの技に応じた姿勢や力の加減、体の動かし方、道具の動きに合わせた動きのコツを取り組みながらつかんでいっ	◎こまを投げたりボールやフープを使ったり、けん玉をする時など、遊具や技に合わせたの姿勢や持ち方、身体の使い方、動かし方、力加減を感じたり、考えたり、試したりできるように、一緒にしたり、やってみせたり、できる友達の姿勢や動きを見せ

頑張る姿を見たり聞いたりする ・友達のできるようになったことや頑張っていることを見たり、頑張りを聞いたりする	たり、それらをする楽しさを感じたりする⑩⑪ ○できなかったことや難しいと思っていたことができるようになった、上手になったなど前とは違う自分を感じて自信をもつ② *○以前はできなかったことができるようになった自分や、何度も挑戦するとできるようになった自分を感じて嬉しく思ったり、自分の頑張りや成長に気付く④* ○友達がしたいことに向けて挑戦している姿を見たり聞いたりして、友達の頑張りやよさを感じたり、今まで知らなかった個性を知ったりする⑤⑥ ○困っている友達に気付き、友達のために声をかける、待つ、励ます、教えるなどしようとする⑦⑧	たり、コツを具体的な言葉にして知らせたりする。 ◎前の自分と比べてできるようになっている、上手になっていると思えるように、それぞれがどこまでどんな風にできているのかを把握しておき、前よりどんなところができるようになったのか具体的に言葉にして褒める。 ◎できるようになった自分に自信をもてるように、できるようになった、上手になったことをみんなに紹介したり、披露する機会を設けたりする。 *◎自分の頑張りや成長に気付けるように、教師が見取った頑張りや諦めずに挑戦している姿を言葉にしたりする。* ◎友達の頑張りやよさ、今まで知らなかった個性を感じられるように、友達が挑戦している姿をみんなで見る機会を設けたり、これまでの頑張りを具体的に言葉にして知らせたりする。 ◎友達のためにできることを考えられるように、困っている友達がいることを知らせたり、どうしたらいいのか一緒に考える~~時~~機会を設けたり、待ってできそうな時は、待ってあげることを提案したりする。

D【発表会でお家の人や他学年に見てもらう】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・発表会の日やお家の人、他学年と友達や先生が見に来てくれること、お家の人が見る場所を聞く ・見てほしいところや頑張りたいことを言う ・発表会でお家の人に見てもらう	○お家の人、他学年の友達、先生お家の人に見てもらうことに期待をもつ① ○見ている人に分かってもらえるように挨拶を入れたり、大きな声で話したりそれが劇中では聞こえていないことにしたりするなど、表現の仕方を考えたりやってみたりする楽しさを感じる⑯⑰ ○見ている人に見やすかっ	◎発表会で他学年の友達、先生、お家の人に見てもらうことを楽しみにできるように、参観等をきっかけに、お家の人にお話を見てもらいたいという思いを共有したり、お家の人にいつ見てもらうかやどこで見てもらうかを知らせたり、先生や他学年の友達が来てくれることを知らせたりする。 ◎見ている人に分かってもらえるように表現することを意識して表現の仕方を考えたり考えたことをやってみたりする楽しさを感じられるように、大きな声やはっきりとした表現、体の向き等を受けて表現したいことがよく伝わったことを知らせたり、友達がしているごっこ遊びを見たり見てもらったりしてどう思ったか伝え合う機会をつくったり、言ってもらったことを意識して変えている姿を言葉にしたりする。 ◎見やすさを意識して道具を置き方や立ち

	たり見えなかったりするように、道具を置いたり隠したり立ったりする位置や向きを決めたり、必要な道具を考えて運んだり使わない時は収めたりしようとする~~⑰~~⑱ ○楽しんでいることや頑張っていること、できるようになったことをお家の人に見てもらったり拍手をもらったり褒めてもらったりして嬉しいと思ったり、頑張った自分に満足したりする~~③~~②	位置等を考えられるように、客席から見て感じたことを伝えたり、客席から見る機会を設けたり、見てどう思うか尋ねたり、撮影した動画や静止画を見せたりする。 ◎お家の人に見てほしいところや頑張っていることを意識できるように、見てほしいところや頑張りたいことを聞いたり、頑張っているところを褒めたりする。 ◎頑張った自分に満足できるように、これまでの頑張りと今日の頑張りを結び付けながら、頑張っていたこと、自信をもってやっていたことを褒める。 ◎お家の人に見てもらったり褒めてもらったりして嬉しいと思えるように、お家の人が拍手してくれていたこと笑顔で見てくれていたことを伝えたり、お家の人に笑顔や拍手で励ましたり、具体的に褒めたりしてもらえるよう伝えたりする。

令和６年度　５歳児　「発表会」（実践前）

（令和６年度実践前修正箇所を斜体、
実践後修正箇所を囲み文字にて示す。）

１．期間　　１月～２月

２．設定の理由

一つのお話をテーマにし、様々な登場人物になって学年で取り組む運動会のリズム表現や学級集団で取り組む発表会を、これまでに５回経験してきている。また、５歳児の発表会の取組を見る機会もあり、学年や学級の集団ではなく、自分達のしたい発表をグループに分かれて発表する姿を目にしてきている。

これまで、好きな遊びの中では、気の合う友達や同じ遊びをしたいと思う友達同士で集まり、一緒に遊びながら、互いの考えをぶつけ合うことを通して、自分達の必要から、*また必要を感じるきっかけを教師に作ってもらい*、遊び方や役割、ルールなどを話し合ったり、相談したりして遊びを進める姿が見られるようになってきている。ただし、その個人差は大きく、リーダー的に動く子どもから、グループという小さな集団すら意識しにくい子どもまで、一人一人の子どもを見るとその状況は様々である。

このように様々な状況にある子ども達が、小学校以降~~*の学習*~~においても学びを積み重ねていけるように、どの子どもにも必要な学びを保障する必要がある。そこで、11 月から 12 月にかけて、５歳児のクラスの枠を外し、子ども達が自分達でしたいお店によってグループを作り、そのグループの共通の目的に向かって進めていくお店屋さんごっこの活動を展開してきた。このお店屋さんごっこでは、年少児や年中児を招待する日を設定し、その日に向けてグループで計画し、活動を進めるということを経験している。

このような保育の形態をとることによって、グループの友達と意見を調整しながら協力して活動を進める必然性が生まれてくる。すると、リーダー的な動きをする子どもを中心とした話し合いが行われるようになる。そして、グループの友達みんなが納得して遊びを進めるためにはどうすればいいのか、試行錯誤を繰り返したり、先の見通しをもちつつ、~~、~~自分達の願いを実現するために、互いの思いを擦り合わせたり一つ一つの問題を解決したりしていくことを期待することができ、自分達でやり遂げた充実感を味わわせることができると考える。

そこで、今回の発表会においても同様の保育形態をとり、年長時の１年間のまとめとして、それぞれの子ども達が自己発揮しつつ、一緒のグループの友達と共通の目的を自分達で設定し、相談したり、話し合ったりする中で、試行錯誤しながら自分達で諸課題を解決して乗り越え、自分達の発表を作り上げていく充実感を味わえるようにしたい。

３．ねらい

①自分達のしたい発表会を考え、その中で自分の発表したいことを決め、同じ発表に取り組みたいと思った友達と一緒に、自分達の実現したいことに向けた具体的な目標をもち、そのためにどうすればよいか考え続けたり、諦めずに取り組み続けたりしてやり遂げようとする。　　自ら決める・選ぶ　問題を認識する

②自分達が発表したいことに取り組みながら、*実現したいことに近付いたと感じて*喜んだり、自分達で諦めずにやり遂げたりしたことに満足したり、*自分の考えに自信をもったり、頑張りや成長を感じ*たりする。　　自分に満足する　*~~自分を客観的に把握する~~*

③グループの友達の気持ちを聞いたり周りの状況を見たり感じたりして、自分の気持ちを落ち着けたり、*切り替えたり~~折り合いをつけたり~~*しようとする。　　気持ちをコントロールする

④グループの友達に言葉にしてもらったり、認めてもらったり、自分で振り返ったりして、自分の言動やその意味、頑張り、好きなことや苦手なこと、言い方、状態、気持ち、個性を自覚したり認めたりする。　　*自分のことを知る*

~~④~~⑤グループの友達と、一緒にしたり助けてもらったりする嬉しさややり遂げた喜びを感じ、一緒に発表を作り、やり遂げる仲間がいることを嬉しく思う。　　他者といる喜びを感じる

~~⑤~~⑥グループの友達と一緒に発表を作り出す中で、友達の話を聞いたり、していることを見たりして、友達の気持ちや考えを知ったり、友達の得手不得手や取り組み方、頑張りなど、今まで知らなかった友達の個性に気付いたり、認めたりする。　　他者のことを知る

~~⑥~~~~⑦~~グループの友達と一緒に発表を作り出すために、自分の気持ちや考えを相手にきちんと伝えたいと思って、相手の様子を見たり、伝え方を工夫したり、適当な伝え方を選んだりして、分かってもらったり受け入れてもらったりするまで伝えようとしたり、伝えるよさを感じたりする。
自分のことを伝える
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
実行し、結果を基に判断を下す

~~⑦~~~~⑧~~友達の置かれている状況を考えたり気遣ったりしながら、友達にとってどうすればよいか考えてしようとする。
他者のことを考えて行動する
総合する

~~⑧~~~~⑨~~グループの友達と自分達のしたい発表ができるように、何が必要か、内容や役割、~~約束決め事~~などをどうすればよいか考えてしようとしたり、グループの友達と一緒に、納得するまで考えたり、話し合ったり、試したり、振り返って決めたり、決めたことを守ったり責任をもってしたりしようとする。
人と物事を進める
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
実行し、結果を基に判断を下す

~~⑨~~~~⑩~~縄やフラフープ、跳び箱、一輪車、ボールなどの運動用具を使ったり、こまやけん玉の技をしたりする時の、姿勢や身体の使い方、力加減、体を動かすタイミングなどを、見たり体感したり考えたり試したりしようとする。
身体を操作する

~~⑩~~~~⑪~~身近な素材や道具の性質、~~や~~特徴を生かして用途に応じて選んだり工夫して使ったりしようとする。
事物・現象を捉える

~~⑪~~~~⑫~~自分達の発表に必要な物を思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴を生かしたり、友達がすることを真似たり、友達の考えを取り入れたりしながら、描いたり作ったり作り変えたりする楽しさを感じる。*また、大きさや色、質感などで表現の面白さや本物らしさ、こだわりを感じる。*
造形に表す
関連付ける

~~⑫~~~~⑬~~曲調やリズム、テンポを感じて、技を切り替えたり曲を選んだり、アレンジした歌詞がフレーズのリズムに合っているか聞いたり歌ったりして確かめたり、*歌詞の意味を自分の状況や心情と重ね合わせて*歌ったり、友達と気持ちを合わせて歌う充実感を味わったりする。
音楽に表す
関連付ける
自分を客観的に把握する

~~⑬~~~~⑭~~イメージを膨らませて歌詞を作ることを楽しむ。
文芸に表す

~~⑭~~~~⑮~~自分のなりたいものをよりそれらしく表現するために、また、見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことをより効果的に表現するために、小道具や大道具、衣装、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり*友達のよさを取り入れたり*試したり振り返ったりして、よりよい方法を選んで、表現しようとする。
演出に表す
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する
実行し、結果を基に判断を下す

~~⑮~~~~⑯~~自分の思いや考えを、順序立てたり理由を添えたりして、伝えようとする。
文章の構成を整える
豊かに発想し、追求の手立てを構想する

~~⑯~~~~⑰~~自分達の発表の紹介や挨拶に、自分達の発表に相応しい言葉を考えて使おうとする。
語彙・語句を活用する

~~⑰~~~~⑱~~自分達の発表の内容やグループの人数に応じて、発表に使える場の広さ、友達や使うものとの距離や位置を感覚でとらえ、物の置き方や場のとり方、動く方向や身体の向きを考えようとする。
空間を捉える
問題を認識する
豊かに発想し、追求の手立てを構想する

~~⑱~~~~⑲~~道具が長く使えるように丁寧に扱ったり、限られた時間や場所、物であることを感じて、もったいなくないように大切にしようとしたりする。
資源の活用を見つめる

~~⑲~~~~⑳~~自分達がしやすかったり見ている人が見やすかったり分かりやすかったりするように、必要な物を用意したり置く物や体の位置や向きを考えたりしようとしたり、そうするよさを感じたりする。
場や状況を整える

グループの題材に合わせて追加するもの

ア．*跳び箱を使う際に、どのような場所ですればぶつからないか考えて活動場所を決めたり、マットを敷いたり、跳び箱を安全に運ぶ方法を友達と考えたり試したり、跳ぶ向きを相談したりしようとする。*
身を守る

イ．リズムや曲調を感じて音を鳴らすことを楽しんだり、音を聞いて音の高低や*音色質*、音階を感じたり、友達と合わせて音を重ねようとしたりする。
音楽に表す

ウ．お話のそれぞれの場面の様々な登場人物の設定や気持ちを感じたり考えたり、イメージを膨らませ*たり設定を生かしたりし*て話の展開を考えたりしながら、登場人物の気持ちに近付こうとしたり、友達と一緒にお話を作る楽しさを感じたりする。
文芸に表す

エ．登場人物の気持ちや性格、生態から、表情や言葉、話し方、動き方などを考えたり、場面設定に合わせた動き方や話し方などを考えたり、曲調や歌詞から膨らませたイメージの表し方を考えたり、友達の考えをとり入れたりして、表現する楽しさを感じる。　身体の動きに表す

４．展開

発表会の取組に対する期待を高める

A【発表会について話し合う】
- ３学期に楽しみにしていることを話題にし、発表会をすることを楽しみにする思いを共有する
- もも組の時の発表会やこれまでに見てきたさくら組の発表会など、知っている発表会の経験を出し合う
- どんな発表会にしたいか、何を大切にしたいか出し合い、共有する
- 発表会の日や場所を聞く
- 発表したいことを考えて決め、一人一人のしたいことを出し合う
- 条件に合うか、発表会として相応しいかなどの意見を出し合う
- 発表したい内容によって学年合同でグループを作る

自分達の発表に必要なものやする必要があることを考えて取り組んだり、発表会の取組に向けて自分達の生活のリズムを作ったり約束を決めたりする

B【グループで発表会の準備や練習をする】
- みんなで集まる時刻、活動場所、練習の仕方、必要なもの、役割分担など、自分達で練習するためにグループの中で必要なこと、~~約束~~*決めておきたいこと*を話し合って決める
- 自分達の発表に必要なものを考えて準備したり、作ったり描いたりする
- 自分達の発表したいことが*叶えられる*~~できる~~ように友達と一緒に練習する
- 自分の考えをグループの友達に話したり、友達の考えを受け入れたりしながら、発表しようとしているものがよりよくなるために、グループのみんなで話し合って決めていく
- 他のグループとの関係で場の取り方を考えたり、安全に気を付けて準備したり、活動を進めたりする
- 発表会の練習をしながら、グループの課題を見付け、よりよいものになるように考えたり工夫したり話し合ったり相談したり振り返って決めたりする
- 発表会の日までの見通しをもって、話し合ったり相談したりして計画や自分達の課題を修正しながら活動に取り組む
- 自分達の取組がよく分かるような発表会の名前やグループの名前を決める

C【グループの取組を見せ合う】
- 発表することを学年のみんなで見合う
- 見る人の立場から、より素敵な発表にするための方法を考える
- 「面白い」「素敵」「もっとこうした方がいい」と思うところを出し合う

D【みんなで歌を歌う】
- 歌詞の意味を考えながら歌詞を聞く
- 歌詞の意味を感じながら歌う
- どう感じてほしいかや見る人がどう感じるかを考えて、歌い方や並び方、入退場の仕方、曲紹介や終わりの言葉を決める

人に見てもらうことを意識して発表を工夫する

自分達の取組を発表する

E【発表する】
- うめ組やもも組を招待して子どもだけの発表会をする
- お家の人を招待して発表会をする

A【発表会について話し合う】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・３学期に楽しみにしていることを話題にし、発表会をすることを楽しみにする思いを共有する ・もも組の時の発表会やこれまでに見てきたさくら組の発表会など、知っている発表会の経験を出し合う ・どんな発表会にしたいか、何を大切にしたいか出し合い、共有する ・発表会の日や場所を聞く ・発表したいことを考えて決め、一人一人のしたいことを出し合う ・条件に合うか、発表会としてふさわしいかなどの意見を出し合う ・発表したい内容によって学年合同でグループを作る	○自分達のしたい発表会を考え、その中で自分の発表したいことを決め、*発表会を楽しみに思う~~発表したい内容が似ており一緒に取り組めそうだと思った友達と一緒に、自分達の発表を作っていくことを楽しみにする~~*① *○発表したい内容が似ており一緒に取り組めそうだと思った友達と一緒に、自分達の発表を作っていくことを楽しみにする①* ○一緒に発表を作っていく仲間ができることを喜ぶ~~④~~⑤	＊話し合いをする時に、どんなことを大切にしながら発表したいことに向かっていきたいか共有できるように、大切にしたいことを尋ねたり、これまでの経験から感じてきているよさや大切さを確かめたりしながら、「ともだち（５人以上）とちからをあわせて」「(グループや学年の友達、先では見る人のことも考えられるように）みんながうれしい」「うみだす」「ゆうぎしつ」というキーワードを言葉にしたり書いたりして示す。 ◎自分達の発表会がしたいという気持ちがもてるように、これまで友達と作ってきたリズム表現や発表会のことを話し、５歳の発表会ではどうするか尋ね、共有していく。そして、自分が発表したいことを考える時間を十分にとる。 ＊子ども達が実現したいことに存分に取り組むことができるように、それを支えられる教師の人数から総グループ数は６つまでとする。 ＊全グループの発表を見てもらえるように、１グループの持ち時間は用意と片付けを含めて１５分程度とする。 ◎全体の見通しをもって発表を考えられるように、おおよその持ち時間を知らせておく。 ◎自分が本当に取り組みたいことを自分の意志で決められるように、全員でグループを決める日までに取り組みたいことを友達と相談せずに考えておくよう伝えたり、取り組みたいことを個別に聞き取り、全員分を聞き取った後に表示したりする。 ＊友達の考えている発表したいことがよく分かるように、子どもが考えた発表の内容を文字やイラスト等でかき記したり、不明な点を尋ねて伝え合う場を設け*たりす*る。 ◎発表したい内容が近く、一緒に取り組めそうだと思った友達と一緒に、自分達の発表を作っていくことを楽しみに*思える~~できる~~*ように、出し合った発表の内容を一緒に見ていき、大切にしたいキーワードの条件に合うか、発表会としてふさわしいかなどを一緒に考えながら、グループ作りをする。 ◎仲間ができた嬉しさを感じられるように、グループで集まる場を直後に設けたり、仲間が決まったことを教師も一緒に喜んだりこれからが楽しみな思いを言葉にしたりする。

B【グループで発表会の準備や練習をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・みんなで集まる時刻、活動場所、練習の仕方、必要なもの、役割分担な		＊発表会の日までの見通しがもてるように、カレンダーを掲示し、今日と発表会の日、準備ができる日数を明示しておく。 ＊グループで相談したことを覚えておき、共有したり、見通しをもったり、決めたことを責任をもって取り組

ど、自分達で練習するためにグループの中で必要なこと、*決めておきたいこと*を話し合って決める ・自分の考えをグループの友達に話したり、友達の考えを受け入れたりしながら、発表しようとしているものがよりよくなるためのことを、グループのみんなで話し合って決めていく ・他のグループとの関係で場の取り方を考えたり、安全に気を付けて準備したり、活動を進めたりする ・発表会の練習をしながら、グループの課題を見付け、よりよいものになるように考えたり工夫したり話し合ったり相談したり振り返って決めたりする ・発表会の日までの見通しをもって、話し合ったり相談したりして計画や自分達の課題を修正しながら活動に取り組む ・自分達の取り組みがよく分かるような発表会の名前やグループの名前を決める	○同じ発表に取り組みたいと思った友達と一緒に、自分達の実現したいことに向けた具体的な目標をもち、そのためにどうすればよいか考え続けたり、諦めずに取り組み続けたりしてやり遂げようとする。① ○自分達が発表したいことに取り組みながら、実現したいことに近付いたと感じて喜んだり、自分の考えに自信をもったり、自分の頑張りや成長を感じたりする② ○グループの友達の気持ちを聞いたり周りの状況を見たり感じたりして、自分の気持ちを落ち着けたり、*切り替え~~折り合いをつけ~~*たりしようとする③ *○グループの友達に言葉にしてもらったり、認めてもらったり、自分で振り返ったりして、自分の言動やその意味、頑張り、好きなことや苦手なこと、言い方、状態、気持ち、個性を自覚したり認めたりする。④* ○グループの友達と、一緒にしたり助けてもらったりする嬉しさや、やり遂げた喜びを	んだりするように、紙と付箋、画板を用意しておく。 ＊子ども達が相談したことをすぐに始められるように、いろいろな遊具や用具、材料をすぐに取り出せるところに用意しておいたり、子どもから要求があればすぐに用意したりする。（画用紙、折り紙、新聞紙、ボール紙、段ボール、箱、カラービニール袋、布テープ、ビニールテープ、セロテープ、油性ペン、色鉛筆、紐類など） ＊発表する内容を考える手がかりとなるように、発表したい内容に関連する本や掲示、音源等を用意する。 ＊発表に必要な物を自分達で管理したり大切に扱ったりするように、それぞれのグループ毎にまとめて置いておける場所を子どもと一緒に作っていく。 ◎それぞれのグループの進行状況を見て、目標に向かって諦めずに取り組んだり考え続けたりできるように、励ましたり、少しでも実現したいことに近付いていることを見付けて言葉にしたり、それに至るまでの頑張りに感心したり、一緒に考えたり、ヒントを与えたり、子どもだけでは難しいところを手伝ったりする。 ◎一人一人の子どもが自分の考えに自信をもったり、自分の頑張りや成長を感じたりするように、一人一人が考えを出していることや教師が感じた考えのよさ、~~や~~一人一人の頑張り、~~や~~以前との違いを具体的に言葉にしたり、自分*で*はどう感じているか尋ねたりする。 ◎以前との違いを感じたり、実現したいことに近付いたと感じたりして嬉しい気持ちを感じられるように、取り組んでいるところを動画に撮って一緒に見たり、以前との違いやしたいことに近付いていることを具体的に言葉にして一緒に喜んだりする。 ◎*~~納得して進めたり、~~自分の気持ちを落ち着けたり、~~自分の気持ちに~~切り替えたりし~~折り合いをつけ~~*てグループで話し合ったりしようと思えるように、自分の気持ちを出せているか確かめながら見守ったり気持ちを尋ねたり、十分に時間をとって、納得するまで話し合う場を設けたりする。 *◎自分の気持ちや頑張り、個性などを自覚したり認めたりするように、友達に言葉にしてもらったことを自分ではどう思っているか~~尋~~ねたり、教師が見取った頑張りや個性などを言葉にしたりする。* ◎助けてもらったり、*認めて~~褒めて~~*もらったり、作りあげていくことを一緒に喜んだり*する~~できる~~*ように、友達を助けたり*認め~~褒め~~*たりしていることが友達にどんな思いを抱かせるか言葉にしたり、仲間がいてよか

	感じ、一緒に発表を作っていく仲間がいることを嬉しく思う~~④~~⑤	った、よい仲間が集まっているなどの気持ちを言葉にして共感していく。
	○グループの友達と一緒に発表を作り出す中で、友達の話を聞いたり、していることを見たりして、友達の気持ちや考えを知ったり、友達の得手不得手や取り組み方、頑張りなど今まで知らなかった友達の個性に気付いたり認めたりする~~⑤~~⑥	◎一人一人の子どもの考えが生かされ、互いの考えていることを分かり合って発表を作り上げられるように、一人一人の子どもの考えを聞き合ったり考えている動きを見せ合ったりする機会を作ったり、子ども達が自分達で相談している様子を*そばで*見守ったりする。 ◎友達の得手不得手や取り組み方、頑張りなど今まで知らなかった友達の個性に気付いたり*認めたり*~~*受け入れたり*~~していけるように、友達の取り組んでいる様子を紹介したり、一人一人の取組の違いやよさなど教師の気付いた個性を言葉にしたり、個性を認めている姿を言葉にしたりする。
	○友達の考え、頑張ってできるようになったこと、作ったものの工夫などを素敵だと思う~~⑤~~⑥	◎友達のよさを認められるように、友達の考えや頑張り、作ったものの工夫などを伝えたり、それらを認めている姿を見せたりする。
	○グループの友達と一緒に発表を作り出すために、自分の気持ちや考えを相手にきちんと伝えたいと思って、相手の様子を見たり、伝え方を工夫したり、適当な伝え方を選んだりして、分かってもらったり受け入れてもらったりするまで伝えようとしたり、伝えるよさを感じたりする~~⑥~~⑦	◎自分の気持ちや考えがグループの友達に伝わる伝え方を考えられるように、様子を見守り、聞き手に分かっていないことはないか尋ねることを促したり、教師がポイントを絞って質問したり、伝え方の選択肢がもてる振り返りの言葉をかけたりする。 ◎受け入れてもらえる言い方を考えられるように、言い方によって同じことを言っても受け止めが違うことを例を挙げて伝えたり、相手がどんな様子なのか確かめたり、どんな言い方がよいか尋ねたり、教師の考えた例も挙げて選ぶ状況を作ったりする。 ◎伝えるよさを感じられるように、伝わったことで生じたよさを言葉にして伝えたり、伝えようとしたことがきっかけとなっていることを強調したりする。
	○友達の置かれている状況を考えたり気遣ったりしながら、友達にとってどうすればよいか考えてしようとする~~⑦~~⑧	◎友達のことを気にかけられるように、友達がどういう状況か尋ねたり、友達から状況を聞く場を作ったり、知らせたりする。 ◎友達の置かれている状況を*踏まえて*~~*考えて*~~友達にとってよいことを考えられるように、そうすると友達*にとってどうなのか*~~*はどうなるか*~~を尋ねたり、教師はどうなると思うかを伝えたり、考えていること自体が友達にとって嬉しいことだと話したりする。
	○グループの友達と自分達のしたい発表ができるように、何が必要か、内容や役割や約束をどうすればよいかを考えてしようとする~~⑧~~⑨	◎一人一人の子どもがもっているイメージを共有していけるように、考えが同じところや違うところを整理して書き表すなどして、遊びの進め方や面白くする方法、それに必要なものなど、ポイントを明確にする。 ◎グループの友達と十分に考えたり試したり振り返ったり*していける*~~*することができる*~~ように、各グループの練習や準備の拠点となる場所を子どもと相談しながら決める。
	○自分達のしたい発表ができるように、みんなが納得するまで一緒に考えたり、試したり、話し合ったり振り	◎グループの仲間全員が考えを出して発表を作*れる*~~*ことができる*~~ように、一人一人がどこを考えたのか具体的に尋ね、全員の考えが出され反映されているか子ども達自身が振り返る機会を設ける。

	返って決めたり、決めたことを守ったり責任をもってしたりしようとする~~⑧⑨~~	◎自分の思いや考えを出しにくい場合も、その子なりの考えが出せるように、教師が質問する姿を見せて友達の考えを引き出すことを促したり、いろいろな友達の考えを引き出そうとするよさを言葉にしたりして、みんなが考えを出そうとする雰囲気を作っていく。 ◎みんなで話し合って決められるように、同じグループの友達に話したりやって見せたりする機会を作り、見せ合ったり考えたりしていることを認め~~褒め~~たり励ましたりする。 ◎考え試したことをグループのみんなで振り返られるように、試してみてどうだったか尋ねたり、試しているところを写真や動画で撮影してグループのみんなで見る場をもったりする。 ◎他グループの考えに刺激を受けたり、相談に乗ったり、自分達のことを振り返ったりして、自分達のしたい発表がよりよくなるように考えられるように、クラスや学年でグループの発表の上手くいったり工夫したりしたことや、困っていることを伝え合う時間をもったり、日常的に発表を見合う機会を設けたりする。 ◎相談したことをグループのみんなで決めたこととして共通理解し~~ていけ~~たり、自分達の考えをまとめたり整理したりできるように、自分達に必要なことを紙に~~書か~~くことを提案したり、一緒に考えながらみんなの考えをまとめる手伝いをしたりする。 ◎自分の考えに加えて友達の考えを取り入れられるように、他の友達に考えたことを話したり見せたりして意見を聞く状況を作る。 ◎問題を自分達で解決していけるように、意見を出し合ったり、友達の意見について考えたり受け入れたりする姿を励ましたり感心し~~褒め~~たりする。 ◎みんなで集まって活動しようという意識を全員がもてるように、みんなで集まっているよさを言葉にしたり、離れたところでグループを意識せずに違うことをしている子どもの存在をグループの子どもに知らせ、自分達のしたい状況になっているか尋ねたりする。 ◎自分達の必要から決めた~~こと約束~~をみんなで守り続けられるように、守らない友達に働きかける姿に対してそうすることのよさを言葉にしたり、決めたことを書いた紙を見るよう提案したりする。 ◎自分の責任を果た~~せるそうとできる~~ように、グループの発表の中で、それぞれの子どもが担っている役割を自覚し、その責任を果たそうとしている姿から感じた子どもにとってのよさを言葉にする。 ◎役割~~のを~~意識~~が薄いできていない~~子どもが意識できるように、その子どもに自分の役割を尋ねたり、友達に確かめたり、確かめることを提案したりする。
・自分達の発表したいことができるように友達と一緒に練習する	○縄やフラフープ、跳び箱、一輪車、ボールなどの運動用具を使ったり、こまやけん玉の技をしたりする時の、姿勢や体の使い方、力加減、体を動かすタイミングなどを、見たり体感したり考えたり	◎姿勢や身体の使い方、動かし方、力加減、体を動かすタイミングなどを見たり、身体で感じたり考えたり、試したり~~すでき~~るように、しているところの動画や教師がしているところを、姿勢や動きなどのポイントを具体的に言葉にしてもらいながら見る機会を設ける。

	試したりしようとする~~⑨⑩~~	
・*自分達の発表に必要なものを考えて準備したり、作ったり描いたりする*	○身近な素材や道具の性質や特徴を生かして用途に応じて選んだり工夫して使ったりしようとする。~~⑩⑪~~	◎身近な素材や道具の性質や特徴を生かして用途に応じて選んだり工夫して使ったりしようと思えるように、用途を尋ねた上でぴったりな素材や道具が何か一緒に考えたり、どんな性質や特徴があるのか尋ねたり、したいことに向けて、使える素材や道具を複数提示したりする。
	○自分達の発表に必要な物を思い浮かべて、大きさや形、色、組み合わせ方などを考えたり、素材の特徴を生かしたり、友達がすることを真似たり、友達の考えを取り入れたりしながら、描いたり作ったり作り変えたりする楽しさを感じる*また、大きさや色、質感などで表現の面白さや本物らしさ、こだわりを感じる。*~~⑪⑫~~	◎自分達の発表に必要な物を具体的に*イメージし*~~*思い描い*~~て作ったり描いたり*す*~~*でき*~~るように、発表の中身や登場人物、ストーリー、世界観などを具体的に尋ねていく。 ◎素材の特徴を生かして、工夫して作ったり描いたりできるように、素材のよさや生かせるところを一緒に考えたり、提案したり、他児のしている工夫を知らせたり、もっとかっこよくやきれいになど子どもが望んでいる方向に一緒に考えたりアイデアを出したり友達からアイデアを聞く場をもったりする。 *◎大きさや色、質感などで表現の面白さや本物らしさ、こだわりを感じられるように、友達の作ったものを見る機会を設けたり、見てどう感じたか尋ねたり、教師が感じた子どもがこだわっているポイントを言葉にしたりする。*
	○曲調やリズム、テンポを感じて、技を切り替えたり曲を選んだりする。~~⑫⑬~~	◎曲調やリズム、テンポを感じて、技を切り替えたり見せたいものに合うような曲を選んだりするように、いろいろな曲調やリズム、テンポの曲を準備したり、曲の変化を言葉にしたり、曲調やリズム、テンポを感じながら技を切り替えたりタイミングを合わせたりしていることを言葉にしたりする。
	○自分のなりたいものをよりそれらしく表現したり、見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことをより効果的に表現したりするために、小道具や大道具、衣装、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり*友達のよさを取り入れたり*試したりして振り返り、よりよい方法を選んで表現しようとする~~⑭⑮~~	◎自分のなりたいものをよりそれらしく表現できるように、なりたいものの特徴を尋ねたり、特徴となり得る身に付けているものや持ちものなどの要素を伝えたりする。 ◎見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことをより効果的に表現する方法を考え試*せ*~~*すことができ*~~るように、教師が客になって感じた表現の工夫のよさを言葉にしたり、分かりにくいところを具体的に言葉にしてどうすればよいか尋ねたり、アイデアが出なければ他児に尋ねたり、アイデアを例示したり、*友達の発表を見る機会を設け見やすい表現が伝わりやすいと思った工夫を尋ねたり*する。 *◎感じてほしいことをより効果的に表現する方法を試して振り返られるように、試してみてどうだったか尋ねたり、試す様子を写真や動画で撮影し、見る機会を作ったりする。*
	○自分の思いや考えを、順序立てたり理由を添えたりして伝えようとする~~⑮⑯~~	◎一人一人の子どもが自分の考えを*分かってもらうために意識して話し方や伝え方を考えられる*~~*分かるように伝えるための話し方を意識する*~~ように、友達に考えを伝えている様子を見守り、話のポイントを整理したり質問したり何を言えば友達に伝わるのかを提案したりする。
	○自分達の発表の紹介や挨拶に、自分達の発	◎発表会で実際に使う言葉を意識できるように、教師が見る人になりながら、それぞれの場面で使っている言

	表に相応しい言葉を考えて使おうとする~~⑯⑰~~ ○自分達の発表の内容やグループの人数に応じて、発表に使える場の広さ、友達や使う物との距離や位置を感覚で捉え、物の置き方や場のとり方、動く方向や身体の向きを考えようとする~~⑰⑱~~ ○道具が長く使えるように丁寧に扱ったり、限られた時間や場所、物であることを感じて、もったいなくないように大切にしようとしたりする~~⑱⑲~~ ○自分達がしやすかったり見ている人が見やすかったり分かりやすかったりするように、必要な物を用意したり置く物や体の位置や向きを考えたりしようとしたり、そうするよさを感じたりする。~~⑲⑳~~	葉について感じたことを伝えたり、よりよい言葉をみんなで考えるきっかけを作ったりする。 ◎遊戯室で使える場の広さをイメージして、空間の使い方や動きを考えられるように、遊戯室以外の場所で活動している時にも、おおよその広さを示したり伝えたり、広さをイメージできる空間で活動できるよう*~~な~~に*場所を探したりする。 ◎物を置く位置や動く方向、身体の向きを考えられるように、活動場所にかかわらず常にお客さんがどこから見ていることにするのか尋ね、向きの共通理解を促す。 ◎道具を長く使うために丁寧に扱おうと思えるように、もったいない状態になっていないか、長く使うためにどうしたらよいか尋ねる。 ◎限られた時間や場所、物であることを感じて、もったいなくないように大切にしようと思えるように、時間や場所の見通しを伝えたり、限られた状況の中で今どうしたらよさそうか尋ねたり、もったいないポイントを言葉にしたりする。 ◎自分達がしやす*くするために~~いように~~*必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、しにくさを尋ねたり、何があるとよさそうか尋ねたり、物や人の位置や向きについて言葉にして意識化したりする。 ＊見ている人が見やすい*~~ように~~*物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、お客さんの位置を椅子を置いたり、教師が立ったり座ったりして示す。 ◎見ている人が見やす*く~~いように~~*分かりやす*くなるために~~いように~~*必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、お客さんになってどう見えているか言葉や静止画、動画で知らせたり、お客さんの位置から見ることを提案したりする。

C【グループの取組を見せ合う】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・発表することを学年のみんなで見合う ・見る人の立場から、より見やすく分かりやすくするための方法を考える ・「面白い」「素敵」「もっとこうしたほうがいい」と思うところを出し合う	○他のグループの発表がよりよくなるように、自分の気持ちや考えを相手にきちんと伝えたいと思って、相手の様子を見たり、伝え方を工夫したり、適当な伝え方を選んだりして、分かってもらったり受け入れてもらったりするまで伝えようとする~~⑥⑦~~ ○自分のなりたいものをよりそれらしく表現したり、見ている人がどう感じているかを考えて、感じてほし	◎発表を見て感じたことを出し合うこと*~~で~~を通して~~、~~発表したグループの友達が~~それぞれのグループの子ども~~か*課題をはっきりと意識し、よりよく改善していこうと思うような伝え方*をしようと思える~~ができる~~*ように、見ている子どもが感じた事を伝える際、特にマイナス面については、感じたことを言うだけに終わらせず、どうすればよくなると思ったかを合わせて伝えるよう提案する。 ＊発表を見る保護者の位置からの見やすさや分かりやすさを考えられるように、当日のお客さんである保護者が見る位置から友達の発表を見る状況を作る。 ◎発表がより素敵で楽しく見やすくなるように、見ている人の立場から、見ていて楽しいところや分かりにくいところなどの意見を伝えるよう提案したり、子どもから出なかったポイントを教師も伝えたり、*自分のグループの発表にも生かせるところがないか尋ねたり*

	いことをより効果的に表現したりするために、小道具や大道具、衣装、場のとり方、飾り方、音楽、隊形、プログラムの内容や順番、司会等の役割などを考えたり*友達のよさを取り入れたり*試したりして、表現しようとする~~14~~⑮	する。
	○自分の思いや考えを、分かるように順序立てたり理由を添えたりして伝えようとする~~15~~⑯	◎みんなで一つのグループの取組を見る時のポイントが意識できるように、事前にどんな意見*だと*~~が~~役立つか、必要*なの*か尋ね、「素敵だと思うところや頑張っていると思うところ」「もっとこうしたらよくなると思うところ」を見付けておき、出し合うことを伝える。 ◎一人一人の子どもの言いたいことを*聞いている人が分かるように*伝えられるように、言葉の足らないところは質問をして聞き出したり、よく分かる順番に話をしている子どもの話し方や理由を添えているところを具体的に*言葉にし*~~褒め~~たりする。
	○自分達の発表に相応しい言葉、見ている人に分かるように伝えるために必要な挨拶の仕方、話の仕方を考えて使おうとする~~16~~⑰	◎自分達の発表に相応しい言葉や見ている人にとって分かりやすい説明の言葉や話の仕方に気付けるように、それぞれの発表に合っている言葉を具体的に知らせたり、聞いていてよく分かるところをその理由と共に取り上げたり、分かりにくいところを話題に挙げ、どうすればよく分かるか尋ねたり、一緒に考えたりする。
	○自分達がしやすかったり見ている人が見やすかったり分かりやすかったりするように、必要な物を用意したり置く物や体の位置や向きを考えたりしようとしたり、そうするよさを感じたりする~~19~~⑳	◎自分達がしやすいように必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、実際に本番と同じようにしてみてどうだったか、これまで考えてきたことは上手くいったか尋ねる。 ◎見ている人が見やすいように分かりやすいように必要な物や物の置き方、体の位置や向きを考えられるように、見ていた人にどう見えていたか尋ねたり、何があるとよさそうか、位置や向きはどうか尋ねたりする。

D【みんなで歌を歌う】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・歌詞の意味を考えながら歌詞を聞く ・歌詞の意味を感じながら歌う ・どう感じてほしいかや見る人がどう感じるかを考えて、歌い方や並び方、入退場の仕	○アレンジした歌詞がフレーズのリズムに合っているか聞いたり歌ったりして確かめる。~~12~~⑬	＊歌に込められた気持ちを感じたり、大きくなった自分や仲間とのつながりを感じたりしながら歌えるように、修了が近く、もうすぐ進学する今の時期の心情と重なる歌を選ぶ。 ◎アレンジした歌詞がフレーズのリズムに合っているか聞いたり歌ったりして確かめようと思えるように、教師が歌って聞く場を設けたり、聞いてどう感じたか尋ねたりする。
	○歌詞の意味を自分の状況や心情と重ね合わせて歌ったり、友達と気持ちを合わせて	◎歌を通じて自分の気持ちや感謝を伝えることを意識しながら歌えるように、それぞれの歌詞がどういう気持ちを表しているのか、自分達の心情と重なる部分はどういったところか、子どもと話をしながら歌詞を伝

方、曲紹介や終わりの言葉を決める	歌ったりする充実感を味わう~~12~~⑬ ○見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことをより効果的に表現するために、並び方や入場の仕方等を考えて表現しようとする~~14~~⑮	えたり、その気持ちを思いながら歌いたい思いを共有したりする。 ◎聴き手がどう感じるかを考えて、感じてほしいことがより伝わる方法を考えられるように、歌い方をどうしたいか尋ねたり、方法の例を挙げたり、交替で歌って聞き合う場を設けたりする。 ◎見ている人がどう感じるかを考えて、感じてほしいことがより伝わる方法を考えられるように、並び方や入退場の仕方、発表の終わり方をどうしたいか尋ねたり、どんな方法があるか例を挙げたりする。

E【発表する】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・うめ組やもも組を招待して子どもだけの発表会をする ・お家の人を招待して発表会をする	○自分達の発表を通して自分達で諦めずにやり遂げたことに満足する② ○グループの友達と一緒にやり遂げた喜びを感じ、一緒に発表を作りやり遂げる仲間がいることを嬉しく思う~~4~~⑤	＊子ども達の日々の成果や当日の頑張りをしっかりと見てもらえるように、どの席からも子ども達の発表が見えるように会場を整える。 ◎発表会当日の自分の出番を意識して準備ができるように、準備を始めるタイミングが分かりやすい目安を子どもと一緒に見付けておく。 ◎発表当日に至るまでの取組の姿を保護者に分かってもらえるように、それぞれのグループが乗り越えてきた課題やその過程、成長、楽しんできたことなどを、各グループの発表の片付けと準備をしている間に保護者に伝える。 ◎自分達が向き合ってきた取組を、一人一人の子どもが自信をもって力を発揮して発表できるように、励ましたり力を出し切りたい思いを言葉にしたりする。 ◎一人一人の子どもが諦めずにやり遂げた満足感を十分に感じられるように、頑張ったことに感心したり、やり遂げたことを一緒に喜んだりする。 ＊発表で見てほしかったことや伝えたかったことが伝わったりやり遂げたりした満足感を感じられるように、保護者に感想を付箋に書いてもらい、*子どもが*すぐ見られる場を設ける。その際、子どもにとって見やすいように、ひらがなで書き、グループ毎等カテゴリー分けして貼ってもらう。 ◎グループの友達と一緒にやり遂げた喜びを感じられるように、タッチをしたり肩を組んだりなどする姿を一緒になって喜んだり、タッチや肩組みなどをするきっかけを作ったりする。 ◎一緒に発表をやり遂げる仲間がいる嬉しさを感じられるように、これまでの友達との頑張りや友達がいたからこそできたことを具体的な例を挙げて振り返る。

グループの題材に合わせて追加するもの

予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・跳び箱などを準備する *・跳び箱を跳ぶ*	*○どのような場所ですればぶつからないか*	*◎安全に跳び箱ができる場にしようと思えるように、事前にどんな危険がありそうか話し合う場を設けたり、子ども達が気付いていない重大な危険がある場合に*

	考えて活動場所を決めたり、マットを敷いたり、跳び箱を安全に運ぶ方法を友達と考えたり試したり、跳ぶ向きを相談したりしようとする。㋐	*は、理由を添えて知らせたり、一緒に場作りをしたりする。* *◎安全に跳び箱を跳べるように、危ないと思った場面を一緒に振り返ったり、気をつけられそうなこと（跳んだ先の場や距離、跳ぶ方向、跳び箱の運び方など）を一緒に考えたりする。*
・楽器を鳴らす ・楽器を作る	○リズムや曲調を感じて音を鳴らすことを楽しんだり、音を聞いて音の高低や*音色質*、音階を感じたり、友達と合わせて音を重ねようとしたりする。~~㋑~~㋑	◎リズムや曲調を感じて音を鳴らすことを楽しめるように、教師も一緒にリズムに合わせて体を揺らしたり歌ったり、曲調の変化を言葉にしたり曲調を感じながら音の鳴らし方を変えている友達の姿に注目させたりする。 ◎音の高低や*音色質*、音階を感じられるように、いろいろな素材の入れ物や棒、楽器を用意したり、簡単な曲を何曲か提案したり、音階のある楽器を紹介したりする。 ◎友達と合わせて音を重ねようと思えるように、友達の音をよく聞くよう促したり、録音したものを一緒に聞いてどう思ったか尋ねたりする。
・お話を作る ・役になって演じる	○お話のそれぞれの場面の様々な登場人物の気持ちを感じたり設定を考えたり、イメージを膨らませ*たり設定を生かしたりし*て話の展開を考えたりしながら、登場人物の気持ちに近付こうとしたり、友達と一緒にお話を作る楽しさを感じたりする。~~㋒~~㋒ ○登場人物の気持ちや性格、生態から、表情や言葉、話し方、動き方などを考えたり、場面設定に合わせた動き方や話し方などを考えたり、曲調や歌詞から膨らませたイメージの表し方を考えたり、友達の考えをとり入れたりして、表現する楽しさを感じる。~~㋓~~㋓	◎話の様々な場面での登場人物の気持ちや設定を考えられるように、場面の状況や登場人物の性格などを具体的に尋ねたり、教師が想像する登場人物の気持ちを言葉にしたりする。 ◎お話を作る楽しさを感じられるように、考えたお話の面白さを言葉にして伝えたり、*登場人物の設定が生きていることを言葉にしたり*、面白い展開がひらめくヒントを出したり、教師がお話を考えることを楽しむ姿を見せたりする。 ◎登場人物の気持ちや性格、生態、場面設定から感じたことを表現できるように、登場人物の気持ちや性格、生態、場面の状況などを具体的に尋ねたり、それらがイメージしやすい言葉をかけたりする。 ◎曲調や歌詞から膨らませたイメージの表し方を考えようと思えるように、曲調や歌詞からどんなことをイメージしたか尋ねたり、教師が感じたイメージを体で表現してみせたりする。 ◎友達の考えを取り入れて表現することを楽しめるように、友達の表現を見る機会を設けたり、素敵だと感じた所を尋ねたり、取り入れてさらに素敵になったことを具体的に言葉にしたりする。

令和６年度　４歳児　「５歳進級に向けて」（実践前）

（令和６年度実践前修正箇所を*斜体*、
実践後修正箇所を**囲み文字**にて示す。）

１．期間　　２月～３月

２．設定の理由

１学期には、好きな遊びの中で５歳児の遊びに招待してもらって、関わりをもつ中で、少しずつ互いに親しみをもち始める。また、忘れ物を届けてもらったり、困った時に、「大丈夫？」と声をかけてもらったりして、５歳児を身近に感じたり優しさを感じたりするようになる。

２学期には、運動会で、リズム表現でブリッジや側転の技に挑戦する姿、自分達でリレーの用意をする姿、リレーで懸命に走り、バトンを繋ぐ姿、ボールや縄、フープなどいろいろな技に挑戦する姿など、５歳児の頑張りを見て、憧れや来年への期待を感じる。また、５歳児がたき火をして焼き芋を焼き、届けてくれたものを食べたり、お店屋さんごっこに招待してもらい、案内をしてもらって作ったものを買ったり、ケイドロをして一緒に遊んだりする中で、５歳児と過ごす楽しさや５歳児の気遣い、５歳児とのつながりをより感じるようになる。

３学期には、５歳児が発表会に向けてグループで取り組んでいるのを見たり、発表会の前日に見せてもらったりして、馴染みのある５歳児も含めて、頑張っていることを感じたりすごいと思ったりするようになる。そして、発表会を終えて５歳児がもうすぐ幼稚園を修了すること、自分達も年長組に進級することを知ると、年長児のためにしたいこと、伝えたいこと教わりたいことを考えるようになる。

そこで、大きくなった自分たちの成長を感じたり、誇らしく思ったり、年長組になることを楽しみにしたりする気持ちをもち、修了していく５歳児のために、お祝いの気持ちをもってしてあげたいと思うことができるよう、５歳児との思い出を振り返り、５歳児への様々な気持ちを感じながら、その思いを言葉にして伝える機会を作ったり、修了に伴う看板や贈り物を心を込めて作る機会を作ったり、うさぎの世話の仕方を教わったりしたいと考える。

３．ねらい

① ４月から年長組になることやうさぎの世話をすることを楽しみにしたり、うさぎの世話の仕方を知っておきたい、新しい年少児、年長児をお祝いしたい、こんな年長児になりたいと思ったりする。	自ら決める・選ぶ
② もうすぐ５歳児が修了していくことや、次は自分達が年長組になることを知り、大きくなった自分を感じたり、誇らしく思ったり、嬉しく思ったりする。	自分に満足する
③ ５歳児と一緒に過ごした嬉しさや楽しさを思い出してつながりを喜んだり、５歳児に対しての感謝の気持ちを感じたりする。	他者といる喜びを感じる
④ ５歳児がうさぎの世話や焼き芋、お店やさんを頑張ってしてくれたことを思い出したり、発表会を見せてもらったり、一緒に遊んだりして、５歳児の頑張りや優しさを感じ、嬉しく思ったり憧れたりする。	他者のことを知る
⑤ 修了式でお祝いや感謝の気持ちなどを伝えようと思い、伝えたいことを考えて言おうとしたり、どうすれば伝えたい気持ちが伝わるか考えてやってみたりする。	自分のことを伝える
⑥ ５歳児に喜んでもらえるように、修了に向けてのお祝いの気持ちをもち、送辞の言葉を心を込めて言おうとしたり、贈り物や式の看板を作ってあげたいと思ったりする。	他者のことを考えて行動する
⑦ 送辞の言葉を、みんなで心を込めて気持ちよく伝えるにはどうすればいいのか考えたり考えたことや友達が考えたことを取り入れてやってみたりしようとする言葉を覚えて言おうとしたり、友達と息を合わせようとしたりする。	人と物事を進める

⑧ うさぎの世話について関心をもち、居心地がよくなるための世話の仕方を知らせてもらい、世話をしようとしたりする。　生き物・命を見つめる

⑨ 春をイメージしたり春を感じたりしながら春の生き物や植物の飾りを作ることを楽しむ。　造形に表す

⑩ 看板の文字に興味をもったり文字の特徴を感じたり必要な文字を考えたりして、看板の文字を書くことを楽しむ。　語彙・語句を活用する

４．展開

もうすぐ５歳児が修了し、自分達が年長組になることを知り、５歳児への憧れや大きくなった自分を感じる

A【５歳児の発表会を見せてもらう】
・５歳児の発表会を見ることを楽しみにする
・発表会を見せてもらう

５歳児を送るため、新しい年少児にできることをする

B【贈り物を作る】
・ペン立ての模様を描く

C【５歳児を送る言葉（送辞）を考える】
・修了式に参加することを知る
・５歳児との思い出を振り返ったり、気持ちを出し合ったりする
・送辞の言葉をみんなで繰り返し言う

D【修了式と入園式の看板を作る】
・看板を見る
・文字を読んだり書いたりする
・飾りを作る

５歳児がしてくれていたことを自分達がしようとする

E【うさぎの世話を引き継ぐ】
・５歳児がしているうさぎの世話を見たり、教えてもらったりする

５歳児を送り、大きくなった自分を感じながら年長クラスへの期待をもつ

F【修了式に参加する】
・送る言葉（送辞）を言う
・年長児のお別れの言葉を聞く
・年長児の歌を聴く
・贈り物を渡す

G【５歳児の環境を体験する】
・５歳児の園庭に行って遊ぶ
・５歳児の保育室を見せてもらう

A【５歳児の発表会を見せてもらう】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成◎教師の援助
・発表会を見せてもらう	○５歳児の発表会を見て、５歳児の頑張りや工夫を感じて、すごい	◎５歳児の頑張りや工夫を感じて、すごいと思ったり憧れたりするように、自分達で考え決め、力を合わせてきた過程を知らせたり、していることの

	と思ったり憧れたりする④	具体を言葉にしたり、一緒に驚いたり、子どもの感動に共感したりする。

B【贈り物を作る】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成◎教師の援助
・ペン立ての模様を描く	○５歳児に喜んでもらえるように、修了に向けてのお祝いの気持ちをもち、贈り物を作ってあげたいと思う⑥	＊贈り物にふさわしい明るくきれいな配色になるように、絵具の色を選んでおく。 ◎修了に向けてのお祝いの気持ちをもち、贈り物を作ろうと思えるように、修了式に手渡す贈り物であること、どんな気持ちで受け取ってほしいか尋ねたり一緒に考えたりする。

C【５歳児を送る言葉（送辞）を考える】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成◎教師の援助
・修了式に参加することを知る	○５歳児と一緒に過ごした嬉しさや楽しさを思い出してつながりを喜ぶ③	◎５歳児と一緒に過ごした嬉しさや楽しさを思い出せるように、どんなことを一緒にしてきたかを具体的な遊びや生活、行事をあげながら一緒に思い出したり、嬉しかった気持ち、楽しかった気持ちを出し合ったりする場をもつ。
・５歳児との思い出を振り返ったり、気持ちを出し合ったりする	○５歳児に対しての感謝の気持ちを感じる③	◎感謝の気持ちを感じられるように、５歳児にしてもらって嬉しかったこと、ありがとうと言いたいことを、どんな場面だったかを含めて思い出す場をもち、子どもの気持ちに共感する。 ＊子どもたちの、５歳児への思いを修了式においてみんなで一緒に伝えられるように、送辞の言葉としてまとめる。
・送辞の言葉をみんなで繰り返し言う	○５歳児に喜んでもらえるように、修了に向けてのお祝いの気持ちをもち、送辞の言葉を心を込めて言おうとする⑥	◎送辞の言葉をお祝いの気持ちをもって心を込めて言おうと思えるように、修了式の場は、５歳児に対して、みんなでおめでとうの気持ちで送り出す場であることを話したり、みんなの気持ちを集めた言葉を伝えることで、修了していく５歳児がどんな気持ちになってほしいかを尋ねたり一緒に考えたりする。
	○送辞の言葉を、みんなで心を込めて気持ちよく伝えるためにはどうすればいいのか考えたり考えたことや友達が考えたことを取り入れてやってみたりしようとする⑦	◎どうしたらみんなで心を込めて気持ちよく伝えられるか考えられるように、考えを出している子どもの言葉を聞かせたり、考えようとしていることや言葉を覚えたり友達と息を合わせて言おうとしたりするなど必要だと思うことをしようとしていることを具体的に言葉にして褒めたりする。
	○どんな年長児になりたいか考えたり頑張りたいことを決めたりする①	◎自分のなりたい姿や年長児になったらしたいことなどを思い浮かべられるように、今の年長児がしてくれてたことなどを思い出している場面で、自分達はどんな年長児になりたいと思っているかや何を頑張りたいと思っているのかを尋ねた

	○お祝いや感謝の気持ちがどうすれば伝わるか考えてやってみようとする⑤	り、頑張ろうと思っていることに驚いたり応援していることを伝えたり言葉にまとめて決意を確認したりする。 ◎伝えたい気持ちが伝わるような伝え方を考えてやってみようと思えるように、姿勢や視線に意識を向ける言葉をかけたり、教師が年長児役をやってみて感じたことを言葉にしたり、考えていることを出し合ったり思い出させたりする。

D【修了式、入園式の看板を作る】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成◎教師の援助
・看板を見る ・文字を読んだり書いたりする ・絵を描く	○年長児と新しい年少児お祝いをしたいと思って入学式、修了式の看板を作ろうとする。① ○看板に必要な文字を考えたり、お祝いの気持ちを込めて看板の文字を書こうとしたりする⑩ ○看板の文字に興味をもったり文字の特徴を感じたりする⑩ ○春をイメージしたり春を感じたりしながら春の生き物や植物の飾りを作ることを楽しむ。⑨	◎年長児と新しい年少児お祝いをしたいと思って看板を作りに向かえるように、入学式、修了式があることや、それぞれの式の意味や入学式や修了式に立てる看板があることを伝えたり、昨年度今の年長児が作っていた看板を見せたり今年はどうするか話す機会を作ったりする。 ◎入学式、修了式に立てるための看板に必要な文字を考えたり、お祝いの気持ちを込めて文字を書こうとしたりするように、昨年度の看板を見て、文字の意味を伝えたり、何文字含まれているか数えたり、子どもの名前と同じ文字が使われていることを言葉にしたりする。 ＊文字に興味をもったり書いたり書いた文字を並べてみてそれぞれの文字の特徴を感じたりするよう、何度も試せる充分な紙を用意したり手本の文字や昨年度の看板の写真を見られるように置いておいたりしておく。 ＊春をイメージできるよう、春の生き物や植物が載っている本を飾っておく。 ◎春をイメージしたり春を感じたりしながら飾り作りを楽しめるよう入学式や修了式が春にあることを伝えたり、春はどんな季節か尋ねたり、そのイメージに合わせて作っている飾りの工夫しているところを褒めたりする。

E【うさぎの世話を引き継ぐ】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成◎教師の援助
・５歳児がうさぎの世話を教えてくれることを知る ・５歳児がしているうさぎの世話を見	○もうすぐ５歳児が修了し、自分達が年長組になることを知り、大きくなった自分を感じる② ○うさぎの世話の仕方を知りたい、できるようになりたいと思う①	◎大きくなった自分を感じられるように、もうすぐ４歳のクラスが終わることや、同時に５歳児が修了していくことを話したり、自分達が幼稚園で一番大きい組になることを話したり、教師が思う今までの子どもの頑張りを話したり、振り返ることで子どもが感じている気持ちに共感したりする。 ◎自分達でうさぎの世話をしてあげたい、うさぎの世話ができるようになりたいと思えるように、幼稚園のうさぎについて話したり、５歳児がいつも

たり、教えてもらったりする		世話をしてくれていたことを知らせたり、もうすぐ５歳児が幼稚園を修了していくこと、自分達が幼稚園で一番大きい組になることを話したりする。
	○うさぎの世話について関心をもつ⑧	◎うさぎの世話について関心をもてるように、教師自ら関心をもって見る姿を見せたり、５歳児が世話をしているところを一緒に見たり、どんなことを何のためにしているか具体的に言葉にして聞かせたりする。
	○５歳児がしていることを見て、今までの頑張りに気付く④	◎５歳児の今までの頑張りに気付いたり、すごいと思ったりするように、うさぎの世話をしている５歳児の様子を一緒に見ながら、うさぎのために必要なことを考えながらしているところや、毎日しているからうさぎが元気でいられることを話したり、世話の手順をよく考えているところや手際のよさや丁寧にしている様子を伝えたりする。 ＊互いのしていることが見やすく、世話の仕方にについて話を聞いたり尋ねたりしやすいように、５歳児、４歳児ともに、４、５人ずつのグループを作り、１グループずつ組み合わせる。
	○うさぎの居心地がよくなるための世話の仕方を知らせてもらい、しようとする⑧	◎世話の仕方について、４歳児が実際にやってみることで分かっていけるように、５歳児が４歳児の傍について一緒にするところを見守り、５歳児に対して、何のためにしているのかを４歳児に伝えることや、４歳児が自分でできるようにさせてあげることを促したりする。
	○うさぎの世話を教えてくれる５歳児の優しさを感じる④	◎５歳児の優しさを感じられるように、４歳児を気遣いながら話しているところや、丁寧に教えてくれているところなどを言葉にする。

F【修了式に参加する】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成◎教師の援助
・送る言葉（送辞）を言う ・贈り物を渡す ・*年長児と一緒に退場する*	○修了式に参加~~を~~して、お祝いの気持ちを伝えようと思う⑤ ○~~*お別れ会修了式*~~での自分達の頑張りを感じたり、年長児からの励ましてもらったりして誇らしく思う②	◎修了式で、お祝いの気持ちを伝えようと思えるように、もうすぐお別れであることを伝えたり、５歳児のために準備してきたことを振り返ったりする。 ◎~~*お別れ会修了式*~~で年長児に喜んでもらったり、励ましの言葉をもらったりして嬉しく思ったりするように、何度も頑張って練習してきた送る言葉を言えたことや、５歳児に贈り物を渡して喜んでもらえたことなど、修了式を振り返る場をもつ。

G【５歳児の環境を体験する】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成◎教師の援助
・５歳児の園庭に行って遊ぶ	○もうすぐ年長組になる自分を感じ、嬉しく思う②	◎もうすぐ年長組になる自分を感じ、嬉しく思えるように、５歳児の園庭で遊ぶ機会をもつ。
・５歳児の保育	○４月から年長組になる	◎４月から５歳児になることを楽しみにできるよ

室を見せてもらう	ことを楽しみにする①	う、年長組の園庭で一緒に遊びながら、固定遊具の楽しさを共有したり、保育室にあるものを一緒に見ながら、年中組の保育室との違いを尋ねたり、園庭の梅を見て梅干し作りをすることを知らせたりして、楽しみな気持ちに共感する。

令和６年度　４歳児　「野菜の栽培」（実践前）

（実践前修正箇所を*斜体*、実践後修正箇所を**囲み文字**にて示す。）

１．期間　　４月～９月及び９月～３月

２．設定の理由

３歳では担任が育てている野菜を子ども達は折に触れて見ている。そして、野菜が育っていく様子を見て驚いたり喜んだりしてきている。なかには担任が野菜の世話をしている様子を見たり、一緒に水やりをしたりした子どももいる。そして、収穫ができる時期になると、収穫した野菜をもらって帰り、身近な場所で育った野菜を食べることを楽しむ経験をしてきている。また、年間を通して色々な野菜を４歳児と５歳児が自分達で育てている姿を目にしてきている。

このような経験をしているため、４歳になると学年に大きな畑があり、そこで自分達で野菜を栽培し、収穫するという経験をすることに期待を感じている。野菜の食べる部分についてはどのような形、色をしているか分かっていても、収穫までにどのような過程を経ているのかについては知らない子ども達も多い。

また、３歳児の時に比べて友達と関わりが増え、一緒に遊ぶ楽しさや、協力して物事を進める充実感も感じられるようになっている。

そこで、４歳児では選択肢の中から育てたい野菜を選び、グループで栽培活動に取り組んでいく。クラスや学年の友達と同じ野菜を育てることで、仲間意識をもつようになる。野菜を育てるなかで、どんな世話が必要か考えたり、教師や保護者に教えてもらったりして、やってみようとする子どももいる。野菜の世話をする姿や、生長への気付きをクラスや学年で共有することで、他の友達や、他の野菜にも興味・関心をもつようになる。

このように、野菜の栽培を通して、４歳児においては、生き物の生長に関心をもったり、友達と一緒に力を合わせたり、共に喜びを味わったりすることを経験してほしいと考える。

野菜を選ぶ際に大切にしたいこと

・年少時に教師と栽培したり栽培しているのを見たりした野菜で、自分達で栽培を進めやすいもの
・たくさんの実がなり、全員持ち帰る*ことができ、分ける経験ができるもの*
・季節による変化を感じられる（収穫後に花が咲く）もの
・苗植え、種植えどちらも経験できるもの
・野菜のなり方が異なるもの（根菜、葉野菜、果実など）

R6 年度
夏：ミニトマト、ピーマン、ナス、*キュウリ、オクラ、ジャガイモ*（全て苗、*キュウリ、オクラ、ジャガイモは学年で育てる）*
冬：ブロッコリー、ダイコン、ニンジン、ホウレンソウ（全て種）

３．ねらい

①	自分の育てたい野菜を自分で選び、期待と愛着をもって世話をしようとする	自ら決める・選ぶ
②	自分達で世話をしたことで野菜が生長し、収穫できることを嬉しく思う	自分に満足する
③	友達と一緒に野菜の世話をしたり、変化を伝え合ったり、収穫したりすることを楽しむ	他者といる喜びを感じる
④	*美味しい野菜を皆で育てるために、*同じ野菜を育てる友達と声を掛け合って世話をしたり、みんなで納得して持ち帰れるように相談して誰が持ち帰るか決めたりしようとする	人と物事を進める
⑤	野菜の生長を楽しみにしながら苗や種を植えたり、野菜の生長に関心をもち、変化に気付いたり大切に世話をしようとしたりする	生き物・命を見つめる
⑥	野菜によって花、葉の形や表面、匂い、なり方などの違い、間引きや脇芽	事物・現象を捉える

摘など様々な世話の仕方に気付いたり知ったりして、驚いたり不思議に思ったり*その方法で*世話をしようとしたりする。

⑦ こんな野菜に育てたいという思いを絵で表現しようとする　造形に表す

⑧ 収穫した野菜の数や大きさを感じたり、グループの人数で収穫した野菜をどうやって分けるか考えたりしようとする。　*数・量を捉える*

⑨ 食べることを楽しみにして野菜を育て、収穫した野菜を家庭で食べて喜んだり、友達がどのようにして食べたかを知って*食べ方に興味を*もったりする。　食を見つめる

⑩ 育てている野菜やメンバーが分かるようにしたいと思って看板を作ろうとしたり、看板を置くことでの過ごしやすさを感じたりする　住空間を整える

⑪ 伸びている茎や花梗が手入れしやすかったり成長の様子が見えやすかったりするように支柱を立てたりする。　*住空間を整える*

4．展開（下記を春から夏にかけてと秋から冬にかけて2回取り組む）

野菜を育てることを楽しみにする

A【育てる野菜を決める】
・育てる野菜の種類を知る
・育てたい野菜を決める
（人数に応じてグループ分けをする）

野菜の生長を楽しみにしながら必要な世話をする

B【野菜の世話をする】
・土づくりをする
・種まきや苗の植え付けをする
・水やりをする
・追肥をする
・除草をする
・わき芽かきをする
・間引きをする
・支柱を立てる
・網をかける

C【必要を感じて看板を作る】
・グループの友達と一緒に撮った写真を貼る
・育てる野菜の絵を描く
・看板を使う

野菜の生長を喜び、収穫を楽しみに世話をし、収穫を喜ぶ

D【収穫をして、家で食べる】
・一緒に世話をしていた友達と分ける
・家に持って帰って食べる
・友達の野菜レポートを見る

A【育てる野菜を決める】

予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・育てる野菜の種類を知る ・育てたい野菜を決める	*○野菜を育てることを楽しみにする①* ○自分の育てたい野菜を自分で決める①	*◎昨年、年少で先生と育てていた野菜の話をしたり、年中では大きな畑があり、自分達で世話をしたりすることを伝えたりする。* ＊育てる野菜のイメージをもてるように、野菜の図鑑や写真や、料理の写真などを用意しておく。 ◎栽培する野菜を自分で決められるように、考える時間を充分に取り、保護者にも自分が育てたい野菜を決められるように保護者が方向付けないことを依頼し、友達と同じにすることのないように個別に育てたい野菜の聞き取りをする。

	○同じ野菜を育てる仲間がいることを喜ぶ③	◎同じ野菜を選んだ人数が多い場合は、仲間と協力して世話をしやすいように、４～５人ずつのグループに分ける。 ＊同じ野菜を育てる仲間がいることを喜び、その友達と一緒に野菜に必要な世話をしようと思えるように、誰がどの野菜を育てるか写真を使って掲示する。

B【野菜の世話をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・土づくりをする ・種まきや苗の植え付けをする ・水やりをする ・肥料をやる ・除草をする ・間引きやわき芽摘みなどをする ・支柱を立てる ・網をかける	○期待をもって世話をしようとする①	＊野菜の育て方が分かって世話をしたいと思えるように、育て方を調べられる図鑑をいつでも手に取れる場所に置く。 ＊必要な世話を*思い出してしようとする*ように、ジョウロや雑草を入れるバケツなどを*いつでも目に入るところに*用意しておく。 ◎野菜を育てることを楽しみにできるよう、保護者の方の協力を得ながら土作りを一緒にしたり、育ったらどんな料理をして食べたいか話したりする。
	○同じ野菜を育てる友達と力を合わせて世話をする充実感を感じる④	◎仲間と一緒に育てるよさを感じられるように、同じ野菜を*育てるグループの友達を誘って世話をするよう声をかけたり、虫や他の生き物に食べられたり荒らされたりした時にどうすればいいか考えを出し合ったり一緒に対策をしたりする機会を作ったりする。* ◎グループの仲間意識を感じられるように、同じ野菜の仲間を看板を見ながら確かめたり、「○○仲間」などと呼んだりする。
	○野菜の苗や種の生長を楽しみにしながら植えようとする⑤	◎生長していくことを楽しみにしながらそれぞれの野菜の苗や種を丁寧に植えられるように、野菜の苗の茎は柔らかくて簡単に折れてしまうため、優しく扱うことを薦めたり、生長が楽しみであることを言葉にしたりする。
	○野菜によって種や苗の形が違うことや植え方を知って不思議に思ったり植え~~*ようとし*~~たりする。⑥	◎野菜による種や苗の違い、植え方を知って不思議に思ったり、大きく育っていくように*知った植え方で*植えてみようと~~*思ったり*~~するように、野菜の種や苗を見せ合ったり、よく見える容器に入れておいたり、植え方を一緒に調べたりする
	○野菜の生長に関心をもち、変化に気付いたり大切に世話を続けようとしたりする⑤	＊野菜の生長や変化を感じて嬉しく思ったり大切に世話を続けていこうと思ったりするように、野菜の様子や世話をする様子の写真や子どもの気付きを、目につきやすいところに掲示する。 ◎生長していく様子に関心をもち、生長を楽しみに世話を続けられるように、一緒に野菜に近付いて見たり、子どもの気付きに驚いたり、野菜の変化を知らせたりする。
	○野菜によって花、葉の形や表面、匂い、なり方などの違い、間引	＊野菜の特徴や育ち方の違い、変化に気付けるように、育てている全ての野菜の様子の写真を近くに掲示しておく。

	きや脇芽摘など様々な世話の仕方に気付いたり知ったりして、驚いたり不思議に思ったり*知った方法で*世話をしようとしたりする。⑥	◎それぞれの野菜の特徴に気付けるように、教師も一緒に野菜に近付いてよく見たり、匂ってみたり、触ってみたり、子どもが感じた気付きに驚いたり、子どもの気付きを周りの子どもたちにも共有したりする。 ◎野菜の世話の仕方を知ったり*知った方法で*世話をしようとしたりするよう、図鑑に育て方が載っていることを知らせて見てみることを勧めたり、虫に食べられている様子やなかなか大きくならない野菜の状況に気付かせたり、支柱や網、肥料などが幼稚園にあることを知らせたりする。
	○自分たちで世話をすることで野菜が生長し、嬉しく思う②	◎世話をすることで野菜が生長する喜びを感じられるように、世話をしている姿が野菜の生長にとってどうよいかを言葉にしたり、世話をしたことでどう変化したかを尋ねたりする。 ◎世話をしてよかったと思えるように、世話を続けてきたことと野菜の生長を結び付けて褒めたり、野菜の生長を一緒に喜んだりする。
	○友達と一緒に世話をしたり、野菜の変化を伝え合ったりすることを楽しむ③	◎野菜の変化や生長を友達と感じて一緒に喜んだり話したりすることを楽しめるように変化を見付けた子どもに他の友達に知らせるように促したり、教師も一緒に世話をしながら野菜について一緒に話したりする。
	○収穫した野菜の数や大きさを感じたり、グループの人数で収穫した野菜をどうやって分けるか考えたりしようとする⑧	*◎野菜の大きさや数に関心をもったり、グループの人数と野菜の数を比べてどうやって分けようか考えたりしようとするように、何個収穫できたのか何人のグループなのか尋ねたり一緒に数えたり考えたり野菜を並べてその大きさの違いや量の違いに驚いたりする。*

※野菜の変化とは、芽が出る、茎が伸びる、葉が増える、茎が伸びる、花が咲く、実がなる、実が大きくなる、実が色付くなど
※野菜に必要な世話とは、支柱立て、わき芽かき、間引き、追肥、など

C【必要を感じて看板を作る】

予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・グループの友達と一緒に撮った写真を貼る ・育てる野菜の絵を描く ・でき上がった看板を見る	○育てている野菜やメンバーが分かるようにしたいと思って看板を作ろうとする⑧ ○こんな野菜を育てたいという思いを野菜の絵で表現しようとする⑥ ○看板を使って看板を置くことでの過ごしやすさを感じる⑧	◎必要を感じて看板を作ろうと思えるように、自分の育てている野菜の位置や同じ野菜の仲間が分からないでいる際に、その不便さを言葉にして共感したり、どうすれば分かりやすくなるか尋ねたりする。 ＊育てている野菜のイメージをもてるように写真や図鑑を用意しておく。 ◎育てたい野菜を思い描けるように、大きさや形、色、味など育てたい野菜の要素を投げかける。 ◎看板を置くことでの過ごしやすさを感じられるように、看板があることで育てている野菜の場所や同じ野菜を育てている仲間、友達が何を育てているかが分かり、作って置いてよかったことを言葉にして思いに共感する。

D【収穫をして、家で食べる】

予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・一緒に世話をしていた友達と分け合う ・家に持って帰って食べる	○仲間と一緒に野菜を収穫することを楽しむ③ ○みんなで納得して持ち帰れるように相談して決めようとする④ ○収穫した季節の野菜を食べることを楽しむ⑦ ○野菜レポートを見て友達がどのように野菜を食べたのか知り、いろんな食べ物や食べ方があることに興味をもつ⑧	◎野菜を育てた仲間と一緒に楽しんで収穫できるように、同じ野菜を育てている仲間で集まって呼びかける姿を見守ったり、いつ収穫するか尋ねたりする。 ◎みんなが納得して、いつ誰が持ち帰るか決められるように、子どもたちの相談する様子を見守り、必要に応じて考えを整理したり、提案したりする。 ◎収穫した野菜を喜んで食べられるように、家庭に協力を求めて子どもが好きなメニューにしてもらったり、子どもが喜んで食べたメニューを紹介してもらったりする ◎収穫した野菜の色々な食べ方に興味をもてるように、どんな風に調理をしたのか興味をもつ姿を見せたり、家庭に協力を求めてお野菜レポートを提出してもらい、掲示したり、手に取りやすいところに置いておいたりする。

令和６年度　５歳児　「野菜の栽培」（実践前）

（令和６年度実践前修正箇所を*斜体*、実践後修正箇所を囲み文字にて示す。）

１．期間　　４月～９月及び９月～３月

２．設定の理由

３歳児の時には、担任が育てている野菜を子どもたちは折に触れて見ている。そして、野菜が育っていく様子を見て驚いたり喜んだりしてきている。なかには担任が野菜の世話をしている様子を見たり、一緒に水やりをしたりした子どももいる。そして、収穫ができる時期になると、収穫した野菜をもらって帰り、身近な場所で育った野菜を食べることを楽しむ経験をしてきている。４歳児の時には、３歳児の時に育つ様子を見て収穫した野菜の中から育てたい野菜を選び、グループで栽培活動に取り組み、仲間意識を感じたり、教師や保護者に世話について教えてもらってやってみようとしたりしてきている。~~*クラスや学年で、*~~生長~~*への*~~*した野菜を見て*、気付~~*きいたこと*~~を*クラスや学年で*共有したり、友達と一緒に力を合わせたりする経験も大切にしてきている。また、年間を通して色々な野菜を５歳児が自分たちで育てている姿を目にしてきている。

このような経験をしてきているため、５歳になると、野菜を栽培し収穫するという大きな見通しがもてるようになっている。野菜の栽培の話題になると、自分の育てたい野菜を発言する子どもが多い。野菜によってはいつの時期にできる野菜かが分かっている子どももいるが、いつの時期に植えるのか、収穫がいつ頃できるのかについてはまだまだ知らない子どもも多い。しかし、季節によって育てられる野菜と育てられない野菜があることや、自分たちが４月から小学校に行く見通しをもって、幼稚園修了までに収穫できる野菜を選ばなければならないことなどは、５歳児であれば話を聞いたり、本やインターネットを使って調べて見せたりすると分かるようになっている。

また、 これまでの経験と年長としての自覚や誇りから、自分達自身で世話をすることへの期待をもっている。加えて、責任をもって自分の役割を果たそうとする気持ちも育ってきており、自分が育てている野菜に必要な世話は責任をもって取り組むようになる。そして、野菜を栽培する過程で、困った時には、知っている人に聞いたり本を見たりし、必要な情報を得て、自分達の野菜の世話に必要だと考えてしてみようとする姿を見せる子どももいる。

野菜の栽培は、子どもにとっては「好きな野菜、知っている野菜を育ててみたい」「おいしい野菜を育てたい」等の明確な目的がある。そして、そのためにしなければならない世話も分かりやすい。しかし、自然が相手であるため、必ずしもうまくいくとは限らず、強い風やボールが当たって苗が折れたり、病害虫に悩まされたり、鳥に実を食べられたりすることもある。そして、その解決に向かって聞いたり調べたり考えたりしなければならないことも起こってくる。そのようなことがあってもそれを解決するために、仲間と一緒に試行錯誤するところに意味があり、解決できて野菜の収穫に結びついた時には、大きな満足感も得られると考える。このように、野菜の栽培を通しても、５歳児の前半においては具体的な目標に向かって、友達と一緒に困ったことを乗り越えたり共に喜びを味わったりすることを経験してほしいと考える。

そこで、具体的な目標をもって主体的に取り組めるように、育てる野菜を自分で決めさせたい。そして、友達と一緒に困ったことを乗り越えたり共に喜びを味わったりできるように、育てたい野菜が同じ子どもが一緒に世話をしたり収穫をしたりする必然性が生まれる状況を作っていきたい。

３．ねらい

① 自分の育てたい野菜を自分で決め、期待と責任をもって毎日世話をしようとする。 — 自ら決める・選ぶ

② 毎日世話を続けることで野菜が生長していくことや収穫できたことを喜んだり、~~大変だったことや毎日世話を続けてきた自分を振り返り、~~世話を続けてよかったと思ったりする。 — 自分に満足する / ~~自分を客観的に把握する~~

③ *野菜の生長に気付いたり看板を作ったり収穫したりする中で、大変だったことや毎日続けてきた自分を振り返ったり先生や友達に気付かせてもらったりして、自分の頑張りや性格に気付いたり認めたりする。* — *自分のことを知る*

④ 同じ野菜を育てる仲間がいることを喜び、一緒に世話をしたり野菜の変化を伝え合ったり収穫したりすることを楽しむ。 — 他者といる喜びを感じる

⑤ 育てたい野菜が同じことから一緒のグループになった友達の個性や頑張りに気付いたり、認めたりする。 — 他者のことを知る

⑥ 一緒に世話をする中で、友達にしてほしいことや自分がしたいこと、自分の考えなどを分かるように伝えようとしたり、分かってもらえるまで伝えようとしたりして、伝えることのよさを感じる。 — 自分のことを伝える

⑦ おいしい野菜を作るため、病害虫や鳥などの自然の脅威から野菜を守るために、一緒に*育てる場所を*考えたり声を掛け合ったりして、野菜に必要な世話や*プランターを置く場所決め、*土づくり、看板づくりを一緒にしようとする。 — 人と物事を進める / 問題を認識する

⑧ ノコギリや金槌を使う時に、どうすると危ないか考えたり、周りの友達や物に注意を向けて確かめ、危なくないようにしようとしたりする。 — 身を守る / 問題を認識する

⑨ 看板作りで、ノコギリをひく力加減を調整したり、やりやすい姿勢や板を~~*力を入れて*~~押さえやすい*体重のかけ方箇所*などのコツを感じたりする。また、金槌で釘を狙って打ったり、打ち込むコツや打つ時に身体に響く感覚などの感覚を感じたりする。 — 身体を操作する

⑩ 野菜の生長を楽しみにし、関心をもって見ることで、その変化や野菜の特徴に気付いたりしながら、大切に世話を続けようとする。 — 生き物・命を見つめる

⑪ 野菜に適した季節や環境、収穫の時期があることや、間引きや脇芽摘、受粉など様々な世話の仕方を知って世話をしようとする。 — 事物・現象を捉える

⑫ 集めて置いておいた落ち葉が、水をかけたり踏んだりすることで時間をかけて腐葉土になっていくことを知り、驚く。 — 事物・現象を捉える

⑬ 金槌を使うと釘を木に打てることや釘を打つと木がくっつくこと~~*、木槌を使うと看板を土に打ち込めること*~~を感じる。 — 事物・現象を捉える

⑭ 自分たちの作った看板が素敵になるように絵や模様で飾ることを楽しむ。 — 造形に表す

⑮ 自分たちの知らせたいことが伝わるように文字や絵でかいて知らせようとしたり、かき残しておくよさを感じたりする。 — 語彙・語句を活用する

⑯ 収穫した野菜の数や大きさ、重さを数えたり測ったりして多少を感じたり、グループの人数と収穫した野菜の数を比べたり、どうすれば分けられるか考えようとしたりする。 — 数・量をと捉える / 比較する

⑰ 使った釘の数と残った釘の数を数えて確かめたり、角材の必要な長さを測ったりする。 — 数・量を捉える

⑱ 板と角材を重ね、どこを釘で打つと付くか考えたり確かめたり、板に対して釘が真っ直ぐ入っているか確かめたりする。 — 空間を捉える

⑲ 食べることを楽しみにして野菜を育て、自分で手を加えて食べられるようにしたり、それを食べたりする喜びを感じたりする。 — 食を見つめる

⑳ *どんな環境だと野菜が育ちやすいか調べたり、他のグループと見比べて考えたりしながら、育てる場所を考えたり状況によって変えてみようとする。* — *場や状況を整える*

４．展開（以下を春から夏にかけてと秋から冬にかけて２回取り組む）

野菜を育てることを楽しみにして*~~畑~~プランターの土*や植え付けの準備をする

A【育てる野菜とグループを決める】
・育てたい野菜を決める
・育てたい野菜でグループを作る
（特に春から夏にかけては、クラス替え直後であるため、クラスでグループを作り、人間関係構築に向かえるようにする）

B【*~~畑の準備~~土づくり*をする】
・*プランターに生えた*草*や育てていた前の野菜*を抜き、土を耕す

⇩

野菜の生長を楽しみにしながら必要な世話をする

C【野菜の世話をする】
・種まきや苗の植え付けをする
・*育ちやすい場所を考えて、プランターを動かす*
・水やりをする
・肥料をやる
・除草をする
・間引きや脇芽摘み、受粉などをする
・*野菜の生長を文字や写真で知らせたり、残そうとしたりする*

D【看板を作る】
・*友達と一緒に金槌を使って*釘で*~~支柱~~板*をとめる
・グループの友達と一緒に撮った写真を貼る
・育てる野菜の絵や名前をかいたり模様で飾ったりする

⇩

野菜の生長を喜び、収穫を楽しみに世話をし、収穫を喜ぶ

E【収穫をして、家で食べる】
・一緒に世話をしていた友達と分け合う
・家に持って帰って料理をして食べる

A【育てる野菜とグループを決める】

予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・育てたい野菜を決める	○自分の育てたい野菜を自分で決め、頑張って世話をして育てようと思う①	◎栽培する野菜を自分で決められるように、決まるまで時間を充分に取り、一人一人の子どもに自分で言わせたり、理由を尋ねたり、友達を見て決めていないか確かめたりする。 ◎自分達で頑張って育てていこうと思えるように、収穫を楽しみにする気持ちを盛り上げたり、去年の年長が苦労していた話や美味しく食べていた話をしたりする。
	○野菜に適した季節や環境、収穫の時期があることを知る⑪	＊育てたいと考えた野菜を植え付ける時期や収穫の時期、育つのに適した環境を調べて確かめられるように、野菜の栽培に関する本やインターネットで調べるためのパソコンを用意しておく。 ◎子どもが育てたいと思った野菜をそれぞれの季節や園での環境で育てられるかどうか分かるように、その場で調べ、植え付けに適した時期や育つ環境、収穫できる時期を知らせて育てられるかどうか一緒に判断する。
・育てたい野菜	○同じ野菜を育てる仲	◎同じ野菜を育てる仲間がいることを喜び、その友

でグループを作る	間がいることを喜ぶ④	達と一緒に野菜に必要な世話をしようと思えるように、誰がどの野菜を育てたいと思っているかを知らせる。そして、同じ野菜を育てる友達と*クラスや学年で*グループを作って一緒に世話をすることを提案する。

B【~~*畑の準備*~~*土づくり*をする】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・*プランターに生えた*草*や育てていた前の野菜*を抜き、土を耕す ・元肥を入れ*て、土と混ぜ*る	○野菜の植え付けや生長に期待をもって準備をしようとする① ○集めて置いておいた落ち葉が、水をかけたり踏んだりすることで時間をかけて腐葉土になっていくことを知り、驚く⑫	◎野菜を植えることに期待をもって準備ができるように、自分が育てたい野菜やグループを決めることと平行して、野菜を植えるためには、準備が必要であることを伝え、一緒にするよう呼びかける。そして、教師も一緒に~~*畑の*~~*プランターに生えている*草*や育てていた前の野菜*を抜いたり土を耕したりしながら、自分たちのしていることが野菜の生長にとってどのようによいのかを伝える。~~*（可能な保護者に保育参加を呼びかけ、関わり方を伝え、一緒にやってもらう）*~~ ＊葉っぱが腐葉土になっていくことを身近に見て感じられるように、腐葉土を作る場所を年中児や年長児が目にするところに確保しておく。 ◎葉っぱが腐葉土になっていくことを感じられるように、落ち葉を集めたり、集めた落ち葉に水をかけたり踏んだり混ぜたりする姿を見せたり、一緒にしたり、葉の様子の変化に気付かせたり知らせたりする。

C【野菜の世話をする】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・種まきや苗の植え付けをする ・*育ちやすい場所を考えて、プランターを動かす* ・水やりをする ・肥料をやる ・除草をする ・間引きや脇芽摘み、受粉などをする *・野菜の生長を文字や写真で知らせたり、残そうとしたりする*	○期待と責任をもって毎日世話をしようとする① ○同じ野菜を育てる仲間がいることを喜び、一緒に世話をしたり野菜の変化を伝え合ったりすることを楽しむ④ ○育てたい野菜が同じことから一緒のグループになった友達の個性や頑張りに気付いたり、認めたりする⑤ ○一緒に世話をする中	＊野菜を育てることに期待がもてるように、自分の育てたい野菜の種や苗をそろえる。 ◎責任をもって毎日世話を続けようと思えるように、自分から水やりや草抜きをしている姿を認めたり、野菜の様子を尋ねたりする。 ◎同じ野菜を育てる仲間がいることのよさを感じられるように、一人では難しい世話を仲間と一緒にするように誘う。 ◎野菜の変化を友達と一緒に喜んでみられるように、野菜の変化を見付けた子どもが仲間の友達に知らせる様子を見守ったり、まだ知らない友達に教えてあげるように促したりする。 ◎同じグループの友達の個性や頑張りに気付いたり、認めたりするように、同じ野菜を育てるようになった友達の気付いたことや考えたことをグループの仲間で話をしている機会を捉えて、友達の気付きや考えを一緒に受け止めて話を聞いたり、世話を頑張っている友達の姿を知らせたり頑張りを教師が認める姿を見せたりする。 ◎自分の思いや考えを友達に伝わるまで伝え、伝え

	で、友達にしてほしいことや自分がしたいこと、自分の考えなどが分かるように伝えようとしたり、分かってもらえるまで伝えようとしたりし、伝えることのよさを感じる⑥	ることのよさを感じられるように、伝えようとする姿を見守ったり励ましたり、相手がどう返事をしたのか尋ねて伝わっているか確かめたり、どんな伝え方をしたらいいか一緒に考えたり、伝わった嬉しさを言葉にしたりする。
	○おいしい野菜を作るため、病害虫などの自然の脅威から野菜を守るために一緒に考えたり声を掛け合ったりして野菜に必要な世話をする⑦	◎毎日の世話以外の特別に必要な世話をする必要がある時には、グループの友達と一緒に解決しようとできるように、グループの中で世話が必要なことに気付いていない友達を誘って一緒に世話をするように誘う。 ◎グループの友達と一緒に、野菜に必要な世話ができるように、本で調べたり、家庭や知人から聞いてきたりしたことを伝え合うことを提案する。
	○野菜の生長を楽しみにし、関心をもって見ることで、その変化や野菜の特徴に気付きながら、大切に世話を続けようとしたりする⑩	◎野菜の生長による変化に関心をもって見られるように、野菜の変化に気付いた子どもに付き合って一緒に見たり驚いたりする。そして、そのことを他の友達に知らせるように促し、子どもの気付きを他の子どもに広げ、自分の育てている野菜の変化にも注目させる。
	○*野菜が生長したり、気付いたりしたことを、文字や写真で残したり知らせたりしようとする⑮* *○野菜の生長にはどんな環境がよいのか、自分たちでプランターを置く場所を考えたり、動かしたりしようとする⑳*	*◎野菜が生長したことや気付いたことを、文字や写真を使って友達に知らせたり、残したりすることに、よさを感じられるように、子ども達が撮った写真や書いたコメントを見える場所に掲示する。* *◎野菜を育てるにはどんな場所がよいのか、野菜の様子を見たり図鑑を見たり環境の特徴に気付いたりしながら、自分たちで育てる場所を考えて、よりよい場所に動かしてみようと思えるように、どんな場所だと育てやすいのか、一緒に図鑑やインターネット見たりプランターを動かしてこの場所にどんなよさがあるのか尋ねたり考えたりする。*
	○間引きや脇芽摘、受粉など様々な世話の仕方を知って世話をしようとする⑪	◎毎日楽しみながら世話を~~*することができる*~~*しようと思える*ように、野菜の変化を一緒に見たり、昨日と違う様子を見つけて話をしたりする。 ＊いろいろな野菜の生長や世話について、クラスや学年で共有できるように、子どもの気付いたことや変化をその都度写真に撮り、掲示することを継続して行う。 ◎野菜の様子に合わせて必要な世話があることを知ったりしたりしようと思えるように、野菜や畑の変化に気付かせたり、本で一緒に調べたり、見通しをもたせたりする。
	○自分たちの知らせたいことが伝わるように文字や絵でかいて知らせようとした	◎自分たちが育てている野菜のことを知ってもらえるように文字や絵をかいたりかき残したりしようと思えるように、自由にかき残せるものや場所を用意したり、知らせたい様子を写真に自分で撮る

	り、かき残しておくよさを感じたりする⑮ ○毎日世話を続けることで野菜が生長していくことや収穫できたことを喜んだり、~~*大変だったことや毎日世話を続けてきた自分を振り返り、*~~世話を続けてよかったと思ったりする。② ○食べることを楽しみにして野菜を育てることを楽しむ⑱ ○*野菜の世話をしたり収穫したりして、自分の頑張りや性格に気づく③*	iPad を用意したり、残しておいたことのよさを言葉にしたりする。 ◎毎日世話を続けてよかったと思えるように、毎日世話を続けていることと野菜の生長を結びつけてほめたり、これまで大変だったことや工夫したことを思い出させ、野菜の生長を一緒に喜んだりする。 ◎実が大きくなってくるにしたがって食べることを楽しみにして育てられるように、どんな料理をして食べたいか話を聞いたり教師の食べたい料理の話をしたりする。 *◎世話を頑張ったことや自分の性格に気付くきっかけになるように、頑張ったことや教師が感じたその子の個性を伝える。*

※野菜の変化とは、芽が出る、茎が伸びる、葉が増える、茎が伸びる、花が咲く、実がなる、実が大きくなる、実が色付くなど
※野菜に必要な世話とは、支柱立て、ネット張り、わき芽摘み、間引き、追肥、摘心、受粉など

D【看板を作る】（※Ｒ４、５は夏野菜のみグループの看板を作った。）		
予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・*友達と一緒に金槌を使って*釘で~~*支柱板*~~をとめる ・グループの友達と一緒に撮った写真を貼る ・育てる野菜の絵や名前を書いたり模様で飾ったりする	○同じ野菜を育てる仲間と一緒に考えたり、手伝ったりして看板を作ろうとする⑦ ○ノコギリや金槌を使う時に、どうすると危ないか考えたり、周りの友達や物に注意を向けて確かめ、危なくないようにしようとしたりする⑧ ○看板作りで、ノコギリを引く力加減を調整したり、やりやすい姿勢や板を~~*力を入れて*~~押さえやすい*体重のかけ方*~~*箇所*~~などのコツを感じたりする。また、金槌で釘を狙って打ったり、打ち込むコツや打つ時に身体に響く感覚などの感覚を感じたり	◎友達と看板の飾り方や作り方を一緒に考えたり、手伝ったりしながら作ろうと思えるように、グループの友達と１つ（人数によっては２つ）の看板を作る機会をつくる。 ◎どうすると危ないか、危なくないようにどうしたらいいか考えて、気をつけてノコギリや金槌を使おうとするように、どんな道具か知らせたり、どうすると怪我をしやすいか具体的に知らせたり意識して気を付けていることを言葉にしたりする。 ◎ノコギリを引いたり金槌を打ったりするコツを感じられるように、やりやすいかどうか尋ねたり、コツを得てしている友達の姿を見せたり、どうするとやりやすいか尋ねて感じていることを言葉にさせたりする。 ◎木と木を釘でとめるコツをつかめるように、金槌と釘の扱いが難しい子どもには手を添える。 ◎打つ時に身体に響く感覚を味わえるように、どんな感覚か尋ねたり、子どもが感じていると教師が見取った感覚を言葉にしたりする。

	する⑨	
	○金槌を使うと釘を木に打てることや釘を打つと木がくっつくこと~~、木槌を使うと看板を土に打ち込めることを~~感じる⑬	◎金槌や~~木槌、~~釘の特性やした~~ことによる~~*後の*違いや変化を感じられるように、扱い方を見せたり十分*に*試す時間や機会を保障したり、様子の変化を言葉にしたり不思議がったりする。
	○使った釘の数と残った釘の数を数えて確かめたり、角材の必要な長さを測ったりする⑰	◎釘の数を数えて確かめたり、必要な角材の長さを測って切ろうとしたりするように、グループに１０本ずつタッパに入れて釘を渡し、使った数と曲がった数、残った数を確かめるよう促したり、適切な長さを知らせたり定規で測って見せたりする。
	○板と角材を重ね、どこを釘で打つと付くか考えたり確かめたり、板に対して釘が真っ直ぐ入っているか確かめたりする⑱	◎板と角材の位置、釘の刺さり方を感じたり確かめたりしながら作れるように、どこを釘で打つとくっつくか、安定しそうか尋ねたり、釘の角度を一緒に見て確かめたりする。
	○自分たちの知らせたいことが伝わるように文字や絵でかいて知らせようとする⑮	◎自分たちの知らせたいことを伝えるために文字や絵などを使おうと思えるように、グループの友達と撮った写真を渡し、知らせたいことを友達と相談する時間をもったりどんなことをかいたら伝わるか尋ねたりする。 ＊知らせたいことをグループの友達と一緒に表現できるように、グループの友達と撮った写真や板をグループに１つずつ用意しておく。人数の多いグループには、１人ずつが表現できるように、複数の材料を用意する。
	○自分たちの作った看板が素敵になるように絵や模様で飾ることを楽しむ⑭	◎看板を絵や模様で飾って素敵にしようと思えるように、こだわっているところを具体的に言葉にしたり、絵を描くことで素敵になってきたことを知らせたりする。
	○*友達と一緒に看板を作りながら、自分の頑張りや性格に気付く③*	*◎自分の頑張ったことや性格に気付くきっかけになるように、看板を作りながら教師や友達に頑張ったことを尋ねて認め合ったり、気付いたことを話し合ったりする。*

E【収穫をして、家で食べる】		
予想される子どもの活動	ねらい	＊環境の構成　◎教師の援助
・一緒に世話をしていた友達と分け合う	○一緒に野菜を収穫することを楽しむ④	◎野菜を一緒に育てた仲間と楽しんで収穫できるように、同じ野菜を育てている仲間で集まって収穫するよう呼びかけ、野菜の収穫の時期を育てている子どもと一緒に判断する。
・家に持って帰って食べる	○収穫した野菜の数や大きさ、重さを数えたり測ったりして多少を感じたり、グループの人数と収穫し	＊生長を喜んで比べたり分けたりする必要に応じて、大きさや重さ、数を測れるように、定規や秤を用意しておく。 ◎野菜の大きさ、高さ、重さ、数に関心をもったり、グループの人数でどう分けるか考えたりするよう

	た野菜の数を比べたり、どうすれば分けられるか考えようとしたりする⑯ ○自分で手を加えて食べられるようにしたり、それを食べたりする喜びを感じたりする⑲ ○*収穫した野菜を見たり持ち帰ったりして、自分の頑張りや性格に気付く③*	に、量の多少を一緒に感じたり、大きさや高さ、重さや数の違いを尋ねたり、何人で分けるのか尋ねたりする。 ◎収穫した野菜を自分で手を加えて食べられるようにしたり、それを食べたりする喜びを感じたりするように、家庭に協力を求めて子どもと一緒に調理してもらったり、調理したり食べたりする中で気付いたり感じたりしていたことをレポートで紹介してもらったりする。 *◎自分の頑張ったことや性格に気付くきっかけになるように、収穫した野菜は頑張って世話をしていたことを教師や友達と認め合ったり、気付いたことを話し合ったりする。*

背番号　赤１～２０

３歳児 うめ１組（男１１ 女９ 計２０名）保育指導案

指導者　長野　萌映

１．日　時　　令和６年６月４日（火）９：００～１１：４０

２．最近の具体的な子どもの姿

登園する・持ち物の始末をする	○ 昨日楽しかった遊びを今日もしたいと思ったり、園庭や保育室の玩具や、先生や友達が遊んでいる様子、ホワイトボードの写真を見たりして、したい遊びに向かっている。 ○ お家の人と遠くでバイバイして一人で靴箱まで来れたことや、身支度を自分で済ませられたことに満足し、笑顔で遊びに向かったり、先生に知らせたりしている。 ○ お家の人と離れることを不安に思い、靴を履き替えるまで見守ってもらったり、場所を決めて居てもらったり、先生と手を繋いだりして朝の用意に向かう子どももいる。 ○ 気の合う友達と手を繋いで靴箱まで来たり、先生や友達に笑顔で挨拶をしたり、先生に挨拶されて微笑んで返したり、好きな友達が来ているか先生に尋ねたりしている。	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 気持ちをコントロールする 他者といる喜びを感じる
生き物にふれる遊び（ダンゴムシ探し、ウサギの観察、野菜の水やり、青虫の観察、シロツメクサ集め）	○ シロツメクサをたくさん集めたい、ニンジンを抜きたい、ダンゴムシを捕まえたいなどと思ってしたり、先生を誘ったり、友達について行ったりしている。 ○ モンシロチョウの蛹が飼育ケースにくっついていたり、蛹からチョウになったり、黒いアゲハの幼虫が緑の縞模様に変わったりする姿を見て、驚いたり、喜んだり、逃したくないと話したり、怖がったりしている。 ○ ダンゴムシが素早く逃げる様子や、丸くなる様子、ひっくり返ってモゾモゾする様子を面白いと思って見たり、触ったり、捕まえたりしている。 ○ 畑の野菜にジョウロで水やりをしたり、ウサギにニンジンをあげたりなど、必要な世話を思い浮かべたり、先生や友達がしている姿を見たりして、している。	自ら決める・選ぶ 生き物・命を見つめる 生き物・命を見つめる 生き物・命を見つめる
砂・水を使った遊び（温泉ごっこ、レストランごっこ、クレーンヘッド）	○ 穴に水を溜めたい、上から水を流したい、にんじんスープを作りたい、先生に食べてもらいたいなどと思ってしたり、先生や友達を誘ったり、必要なものを用意したり、何度も繰り返したりしている。 ○ 穴に水を溜められたこと、水路がつながったこと、砂や水をクレーンで上へ運べたこと、素敵なケーキやごはんができたこと、先生や友達に食べてもらえたことを喜んでいる。 ○ 友達や先生と一緒に温泉に足をつけたり、テーブルを囲んでごはんを食べたり、作ったものを先生や友達に届けたり、届けてもらったりして笑顔になっている。 ○ クレーンヘッドの上から「砂入れてください」と声をかけたり、「待っててね」「持ってきたよ」と入れてあげたり、言葉を交わしながら友達と一緒に遊ぶことを楽しんでいる。 ○ 作りたい食べ物がよりそれらしくなるように、バケツに出汁を入れてうどんを作ったり、砂と水を混ぜてコーヒーを作ったり、可愛くなるようにシロツメクサやにんじんの花を飾りつけたりして、作りたい食べ物を作ることを楽しんでいる。 ○ 温泉に水が吸い込まれていくことを面白く思ったり、水を入れ続ける必要があると感じたり、砂や水がじょうごとホースを通って流れてくることを喜んだり、型抜きでケーキを作るのに、湿った砂をギュッと押し付けるとよいと思ってしたりしている。	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 他者といる喜びを感じる 他者といる喜びを感じる 造形に表す 事物・現象を捉える
固定遊具や運動遊具を使っ	○ はしごを登って上まで行きたい、ファイヤーマンポールから降りたい、クライミンググリップから登りたい、なまけものロープに乗りたい、滑り台の下から上に登りたい、ゆりかごスイングに乗りたい、落ちないようにバランスストーンを渡りたい、平均台から遠くへジャンプしたいなどと思ってしたり、何度も	自ら決める・選ぶ

た遊び （はしご、丸太渡り、滑り台、ゆりかごスイング、ジャンピング、バランスストーン、平均台、玉カゴなど）	繰り返したりしている。 ○ やりたいけど怖い気持ちを、「先生手伝って」と助けを求めたり、見守ってもらったり、手を添えてもらったり、見本を見せてもらったりして落ち着け、挑戦したり、できそうなところまで登ったり、「今日はやめとく」と区切りをつけたりしている。 ○ 「のせて」「かわって」「止めて」「押して」「待って」「手伝って」などと自分のしたいことや友達や先生にして欲しいことを言葉で言ったり、どう言ったらいいか教えてもらって言ったり、表情や動きで先生に伝えたりしている。 ○ 掴む場所や足を置く場所を考えたり、腕に力を入れて体を引き上げたり、足で踏ん張ったりして遊具に登ったり、落ちないようにバランスを取ったりゆっくり進んだりして平均台やバランスストーンを渡ったり、かごや箱を狙ってボールを投げたりすることを楽しんでいる。	気持ちをコントロールする 自分のことを伝える 身体を操作する
乗り物を使った遊び（三輪車、ストライダー）	○ 黒のストライダーに乗りたい、大きい三輪車に乗りたいなどと乗りたい乗り物を選んで乗ったり、友達と一緒に走りたい、スピードを出して乗りたい、二人乗りがしたいなどと思ってしたりしている。 ○ 乗り物に乗って友達と一緒に走ったり、「信号赤です」と言って一緒に止まったり進んだり、大きな三輪車で二人乗りをしたりすることを楽しんでいる。 ○ 地面を素早く蹴ってストライダーを走らせたり、足の裏に力を入れてペダルを踏み込んで三輪車を漕いだり、踏ん張って友達の乗る三輪車を押したりしている。	自ら決める・選ぶ 他者といる喜びを感じる 身体を操作する
ごっこ遊び （警察ごっこ、消防ごっこ、救急ごっこ）	○ 警察になってパトロールしたい、消防士になって火を消したい、救急車を運転して怪我人を助けたいなどと思ってしている。 ○ 友達や先生と一緒に三輪車や一輪車に乗って走ってパトロールしたり、「あっちで火事だ！」と一緒に駆けつけたりして一緒に遊ぶ心地よさを感じている。 ○ 警察官や消防士を思い浮かべたり、先生や友達の真似をしたりして「火事です」「逃げ遅れた人はいませんか」などと丁寧な言葉で話したり、スコップを消火器に見立てて火を消したり、乗り物に乗って駆けつけたりしている。	自ら決める・選ぶ 他者といる喜びを感じる 身体の動きに表す
片付ける	○ 先生と一緒に重たい運動遊具を運べたこと、たくさんの玩具を集められたこと、砂場の玩具を綺麗に洗えたこと、うめ組の園庭がすっきりしたことを喜んだり、頑張った自分に満足したりしている。 ○ タライの中で玩具を洗ったり、表示を見たり先生に教えてもらったりして種類ごとに収めたり、乗り物を置き場に戻したり、運動遊具を倉庫に収めたり、片付け忘れているものに気付いたり知らせてもらったりして元の場所に戻したりしている。	自分に満足する 場や状況を整える
足洗い・着替え・手洗い、用便を済ます	○ 濡れたり汚れたりして着替えたいと思って着替えたり、汚れた衣服を収めたり、濡れた衣服を干したりしている。 ○ 外から帰ったとき、おやつの前に手洗いをしたほうがよいと思ったり、先生や友達がしているのを見たり、知らせてもらったりして、手洗いをしている。 ○ トイレに自分の必要なタイミングで行ったり、知らせてもらって思い出して行ったりする子どももいれば、個別に誘ってもらって行ったり、大丈夫と言ったり、行きたがらなかったりする子どももいる。	場や状況を整える 体の健康を保つ 体の健康を保つ
遊びの話をする・おやつ・牛乳を飲食する	○ おやつの袋が開けられない、牛乳のストローが出せない、ストローが箱の中に入ってしまったなど、困ったことを「手伝って」「できない」「やって」などと伝えている。 ○ 先生や友達と今日の遊びのことを話したり、おやつが何か話したり、おやつを受け取ったりすることを喜んでいる。 ○ 自分でしたり、先生にコツを教えてもらったり、手伝ってもらったりして、指先でおやつの袋をつまんでひねって開けたり、指で強く押してストローを出したり、指先でストローの挿し口をめくったりしている。	自分のことを伝える 他者といる喜びを感じる 身体を操作する
絵本を見る、	○ 以前読んでもらった絵本を見たい、お気に入りの絵本を見たい、友達の見ている絵本を一緒に見たいなどと思って選んだり、見たり、みんなで読む絵本を楽	自ら決める・選ぶ

読んでもらう	しみに思って手遊びをしたり、近くに集まってきたりしている。 ○ 絵本の言葉を繰り返したり、「わぁ！」と反応したり、笑ったり、感じたことや知っていることを呟いたりして絵本の世界を楽しんでいる。	文芸に表す
海ごっこをする	○ 青のポリ袋がいい、海になりたい、ワカメになりたい、思いきり走りたい、くるくる回りたい、寝転びたい、好きな友達と同じポーズがしたいなどと思って遊んでいる。 ○ ポリ袋をなびかせて思いきり走ったり、止まったり、腕を大きく上げ下げして揺らしたり、優しく左右に揺らしたりしている。 ○ 激しくポリ袋を揺らして大きな音を鳴らすことや、走ってポリ袋を風になびかせることを楽しんでいる。	自ら決める・選ぶ 身体を操作する 事物・現象を捉える
降園準備・降園する	○ 帽子、鞄、水筒、タオルなど必要なものを自分で思い出したり、先生に教えてもらったり、友達に届けてもらったりして身に付け、持ち帰ろうとしている。 ○ 友達の名前を当てたり、呼んだり、友達に名前を呼んでもらったりして先生からノートを受け取ったり、今日も楽しかったねと話をしたり、友達の後ろにつながり、電車になって並んでお家の人の元へ帰ったりすることを楽しんでいる。 ○ チャックの端を掴みながら反対の手で紐を引っ張り通園鞄を開け閉めしたり、腕を後ろや上に伸ばし、順番に通して通園鞄を背負ったり、水筒を下げたりしている。	自ら決める・選ぶ 他者といる喜びを感じる 身体を操作する

3．ねらい

①	昨日までの遊びを思い出したり、先生や友達のしていることや用意された玩具を見たり、先生に誘ってもらったりして、したいと思ったり、したいことをしたりする。	自ら決める・選ぶ
②	したいことができて嬉しく思ったり、難しいことや不安なことも頑張った自分に自信をもったりする。	自分に満足する
③	バイバイするのが不安、したいことができない、友達が思う通りにしてくれないなどの困った気持ちを、先生に聞いてもらったり、手伝ってもらったり、一緒にいてもらったりして落ち着けようとする。	気持ちをコントロールする
④	先生や友達と挨拶をしたり、遊んだり、おやつや牛乳を飲食したりして一緒に過ごす楽しさや心地よさを感じ、親しみをもつ。	他者といる喜びを感じる
⑤	友達の顔や名前、していることや楽しんでいることに関心をもったり、知ろうとしたりする。	他者のことを知る
⑥	したいことや嫌だったこと、困ったことなど、自分の気持ちを表情や言葉で先生や友達に伝えようとしたり、伝えてよかったと感じたりする。	自分のことを伝える
⑦	体のために手足や衣服を清潔にしようとしたり、必要なタイミングで水分補給や用便をしようとしたりする。	体の健康を保つ
⑧	遊具のいろいろなところから登り降りしたり、乗り物を漕いだり、揺れたり、跳ねたり、投げたり、走ったり、様々に体を動かして遊ぶことを楽しむ。	身体を操作する
⑨	花や野菜、虫、ウサギなどの生き物を観たり、触れたり、集めたり、世話したりして関心を寄せたり、愛着をもったりする。	生き物・命を見つめる
⑩	水が溜まっていく様子やしみ込む様子、流れる様子、袋が揺れる様子や膨らむ様子を面白いと思ったり、不思議だと感じたりして、繰り返し楽しむ。	事物・現象を捉える
⑪	自然物を使ったり、それらしい容器に盛り付けたり、水の量を調節したり、砂を押し固めたりして思い描くものを作ることを楽しむ。	造形に表す
⑫	いろいろな料理が出てくる展開にわくわくしたり、おなかいっぱいになった動物たちの満足を感じたりして、森のレストランの物語の世界を味わう。	文芸に表す
⑬	消防士や救急隊、警察官になりきって、乗り物に乗って出動したり、火を消したり、人を助けたりなど、先生や友達となりきって遊ぶことを楽しむ。	身体の動きに表す
⑭	遊んだ玩具や遊具を洗ったり、種類ごとに分けたり、いつもの場所に収めたりして片付け、みんなで使う場が整う心地よさを感じる。	場や状況を整える

4．展 開

時刻	予想される幼児の活動	＊環境の構成及び再構成　◎教師の援助	◇評価の観点
9:00	登園する ・挨拶をする ・靴を履き替える ・水筒、タオルを収める ・通園ノートを出す ・帽子、鞄を収める ・手洗いをする ・赤白帽をかぶって靴を履き替える	◎先生や友達との出会いに喜びを感じられるように、目を見て笑顔で挨拶をしたり、手を振ったり、友達と一緒に来て楽しそうなことを言葉にして知らせたりする。 ◎お家の人と別れて遠くから一人で来れたことや、自分で用意を済ませられたことに自信をもてるように、できたことを一緒に喜んだり、前と比べて頑張っていることを褒めたりする。 ◎お家の人と別れる不安を落ち着けて身支度や遊びに向かっていけるように、手を握って一緒に身支度をしたり、不安でも頑張っている姿を褒めたり、近くで見守っていてもらうよう提案したりする。	◇教師や友達と笑顔で挨拶したり、目を合わせたりしているか④ ◇「一人で来た」と言ったり、用意を終えて笑顔になったりしているか② ◇身支度をしたり、保護者に待ってもらう場所を伝えたりしているか③
9:15	好きな遊びをする	＊昨日までの楽しかったことを思い出したり、今日したいことを意識したりするように、最近の遊びの写真を掲示しておく。 ＊したい遊びをすぐに見つけて始められるように、遊具や玩具をいつもの場所に置いておいたり、遊びかけの状態にしておいたりする。 ◎したい遊びを見つけて向かえるように、したいと思っていることを尋ねたり、昨日までの楽しかった遊びの話をしたり、教師がしようと思っていることを知らせたり、誘って一緒に遊んだりする。 ◎したい遊びができたり、作りたいものが作れたり、難しいことに挑戦してできたりした喜びを感じられるように、遊んで楽しい気持ちを言葉にしたり、できたことに感心したり、一緒に喜んだりする。 ◎先生や友達と遊ぶ楽しさや心地よさを感じられるように、遊びに誘ったり、名前を出して友達がしていることを知らせたり、友達と一緒に遊ぶ楽しさやよさを言葉にしたりする。 ◎したいことや嫌なこと、困ったこと、自分の気持ちを表情や言葉で先生や友達に伝えたり、伝えてよかったと感じたりするように、思いを尋ねたり、代弁して確かめたり、一緒に伝えたり、言葉を補ったり、伝えられたことを褒めたり、一緒に喜んだり、相手の行動の変化を言葉にしたりする。 ◎玩具を貸してもらえない、友達が思う通りにしてくれない、したいことができないなどで怒ったり泣いたりして昂る気持ちを落ち着けられるように、思いを受け止めたり、なぐさめたり、友達の思いを代弁したり、どうしたら良さそうか一緒に考えたりする。 ◎たくさん動いた後や暑い時、汗をかいた時など、必要なタイミングで水分をとったほうがよいと知って水分補給をしようとするように、たくさん汗をかいている姿を知らせたり、水分をとったほうがよい理由を知らせたり、水分補給するよう誘ったり、教師が水分補給する姿を見せたりする。	◇したい遊びについて話したり、遊び始めたりしているか① ◇すぐに遊びに向かっているか① ◇「できた」と言ったり、作ったものを見せたりしているか② ◇先生や友達に視線を向けたり、遊んだり、話したりしているか④ ◇先生や友達に思いを伝えたり、相手の顔を見たりしているか⑥ ◇動きを止めたり、泣き止んだり、思いを言葉にしたりするか③ ◇水分をとっているか⑦
	○生き物にふれる遊び ・ダンゴムシを探す ・ウサギを観る ・野菜に水をやる ・シロツメクサを集める	＊集めたり、観察したりすることを楽しめるように、カップやタライ、虫かごなどの集める場を用意しておく。 ＊水やりをして畑の野菜に関心を寄せられるように、ジョウロを畑のそばに置いておく。 ◎植物のある場所や生き物が暮らす場所、生き物の生態に関心を寄せられるように、どこで見つけたのか尋ねたり、一緒に探したり、見つけたことを喜んだり、動きを言葉にしたり、驚いたりする。	◇容器にダンゴムシを集めたり、虫かごを見たりしているか⑨ ◇野菜を見ているか⑨ ◇花や虫を見つけて摘んだり、触れたりしているか⑨
	○砂・水を使った遊び ・砂場に穴を掘る ・穴に水を溜める ・ごちそうを作る ・先生や友達に食べてもらう	＊自然物を使って作って遊ぶことを楽しめるように、自由に使える花や野菜の実を置いておく。 ＊先生や友達にごちそうを振る舞ったり、ごちそうを囲んだりして一緒に遊ぶことを楽しめるように、テーブルや椅子を並べておく。	◇ごちそうに混ぜたり飾り付けたりして作っているか⑪ ◇ごちそうを先生や友達に届けたり、一緒に食べたりしているか④

	・クレーンヘッドで砂や水を運ぶ、流す	◎大きな穴に水が溜まっていく様子やしみ込む様子、水路を水が流れる様子を面白いと感じられるように、様子や変化を言葉にしたり、一緒に喜んだり、驚いたり、不思議がったりする。	◇繰り返し穴を掘ったり水を流したりしているか⑩
		◎先生や友達にごちそうを食べてもらうことや、振る舞ってもらうことを嬉しく感じられるように、客になって注文したり、美味しそうに味わったり、明るい声でごちそうを届けたり、嬉しい気持ちを言葉に表したりする。	◇ごちそうを先生や友達に届けたり、一緒に食べたりしているか④
		◎作りたい物らしくなるように容器を選んで盛り付けたり、水の量を調節したり、砂を押し固めたりするように、教師が作ってみせたり、本物のようだと感心したり、ところとろ、さらさらなど状態を言葉にしたりする。	◇食器に盛り付けたり砂と水を混ぜて作ったりしているか⑪
	〇固定遊具や運動遊具を使った遊び ・砂場に穴を掘る ・遊具に挑戦する ・バランスストーンや平均台を渡る ・平均台やゲームボックスからジャンプする ・ゆりかごスイングやジャンピング、バランスボールに乗る ・ボールを投げる、蹴る ・鬼ごっこをする	＊やりたい、やってみようと思って向かえるように、バランスストーンや平均台、太鼓橋を並べたり、フープや玉かご、箱、ゴールを置いたりしておく。	◇バランスストーンを渡ったり、かごやゴールめがけてボールを投げたり蹴ったりしているか①
		◎はしごやクライミンググリップ、なまけものロープ、ファイヤーマンポールなど、いろいろなところから登り降りしてみようと感じられるように、手足の置き方のコツを知らせたり、している姿を見せたり、友達がしている様子を知らせたり、挑戦している姿を応援したり、見守ったりする。	◇はしごやクライミンググリップ、ファイヤーマンポールに手をかけているか①
		◎できたことや頑張ったことに自信をもてるように、できたことを一緒に喜んだり、何度も挑戦したり、諦めずに頑張ったりしてきたことを褒めたりする。	◇遊具に登ったり、玉がかごに入ったりして笑顔になっているか②
		◎様々に体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるように、踏ん張っている様子や跳ねている様子、足を大きく広げている様子やボールが遠くまで飛んだことなどを言葉にしたり、感心したり、楽しさに共感したりする。	◇笑顔でバランスストーンを渡ったり、遊具に登ったりしているか⑧
	〇乗り物を使った遊び ・ストライダーや三輪車に乗る ・先生や友達と一緒に乗り物に乗る ・先生や友達と一緒に走る	◎思い切り走ったり、ゆっくり進んだり、二人乗りをしたり、様々にストライダーや三輪車に乗る楽しさを感じられるように、スピードに感心したり、力強く漕ぐ姿を言葉にしたり、応援したり、押したりする。	◇ストライダーでスピードを出して走ったり、足を踏ん張り三輪車を漕いだりしているか⑧
		◎先生や友達と一緒に連なって走る楽しさを感じられるように、一緒に遊ぶ楽しさに共感したり、どこに行くのか尋ねたり、信号の色を知らせたり、一緒に乗り物に乗ってついて行ったりする。	◇友達について行ったり、信号で止まったり、笑顔で乗り物に乗ったりしているか④
	〇ごっこ遊び ・パトロールをする ・火事の現場に駆けつける ・消火活動をする ・救急隊を呼ぶ ・警察を呼ぶ	◎先生や友達とごっこの世界で共通のイメージをもって遊ぶ楽しさを感じられるように、教師もなりきって一緒に遊んだり、ごっこの世界では今どんなことが起きているのか尋ねたり、隊員らしく振る舞う姿を言葉にしたり、感心したりする。	◇役になりきって話したり振る舞ったりしているか⑬
		◎一緒に遊んでいる友達に親しみをもてるように、誰が何の役をしているか尋ねたり、名前を呼びながらしていることを言葉にしたり、新しく遊びの仲間が増えたことを名前を呼んで喜んだりする。	◇友達の名前を呼んだり、笑顔で見たりする④
10:15	**片付ける** ・乗り物を元の場所に戻す ・運動遊具を運ぶ ・砂場の玩具を洗ってカゴに入れる ・ワゴンを運ぶ	＊種類ごとに分けるとすっきり片付く気持ちよさを感じられるように、表示をつけたカゴやワゴンを置いておく。	◇表示を見てカゴに玩具を収めているか⑭
		◎遊んだ満足を感じられるように、たくさん遊んだことや楽しかったことを言葉にしたり、教師が見ていて感じたことを伝えたり、今日の遊びはどうだったか尋ねたりする。	◇「楽しかった」と言ったり、笑顔でしたことを話したりしているか②
		◎みんなで使った場所が片付く心地よさを感じられるように、片付いてすっきりしたことを喜んだり、明日も気持ちよく使えることを言葉にしたりする。	◇「何もなーい」「綺麗になった」などと言っているか⑭
		◎片付けを頑張った自信や満足を感じられるように、頑張りを褒めたり、片付いたことを一緒に喜んだりする。	◇タライが空になったり、玩具を倉庫に運んだりして笑顔になっているか②
10:40	**着替え・手洗い・**	◎外から帰った後に手足や衣服を清潔にしようと思える	◇着替えや手洗いをし

	水分補給をする ・足を洗う ・着替える ・用便をする ・手洗いをする ・水分補給をする	ように、着替えた方が気持ちがよさそうなことを知らせたり、丁寧に手洗いをしている姿を言葉にしたり、教師が率先して手洗いをする姿を見せたりする。 ◎体のために必要なタイミングで用便を済まそうとするように、体のためにがまんしない方がいいことや、行ったらすっきりすることを知らせたり、誘ったりする。	ているか⑦ ◇トイレに行っているか⑦
10:45	遊びの話をする ・楽しかった遊びのことを話す ・先生や友達の話を聞く	◎遊んだ満足をより感じられるように、楽しんでいた場面や頑張りを取り上げてみんなに知らせたり、褒めたり、楽しかった気持ちに共感したりする。 ◎友達のしていることや楽しんでいることを知れるように、名前を出して話題にしたり、面白そうだった、びっくりしたなど教師が感じた気持ちを言葉にしたりする。	◇笑顔でしたことを話したり、聞いたりしているか② ◇「○○ちゃん」「見た」などと言っているか⑤
10:50	おやつや牛乳を飲食する ・おやつを食べる ・牛乳を飲む ・うがいをする ・絵本を見る	◎友達と一緒におやつや牛乳を飲食することを楽しみに感じられるように、楽しみな気持ちに共感したり、今日のおやつは何か話したり、楽しい雰囲気でおやつを配ったりする。 ◎袋を開けたり、牛乳のストローを挿したりすることを自分でやってみようと思えるように、手の置き場やひねり方のコツを示したり、手を添えたり、途中まで手伝ったり、励ましたりする。	◇先生や友達と話したり、顔を見合わせたりしているか④ ◇自分で袋を開けたり、牛乳のストローを挿したりしているか①
11:00	絵本「せかいいちおいしいレストラン」を読んでもらう ・手遊びをする ・絵本が見えやすい場所に座る ・絵本を読んでもらう	◎次々といろいろな料理の専門店が出てくる展開にわくわくするように、店の扉を開いて中に入る場面で間を置いてから素早くページをめくる。 ◎にんじんやはっぱ、きのみを使ったいろいろな料理があることに気付いたり、美味しそうだと思ったりして、森のレストランの世界を味わえるように、料理が並ぶページを長く見せたり、「せかいいち」の言葉に抑揚をつけて読んだりする。 ◎どのお店も世界一で、おなかいっぱいになった動物たちの満足を感じられるように、感情を込めて笑顔で明るく読み終える。	◇「にんじん」「はっぱ」「どんぐり」などと言っているか⑫ ◇絵をじっと見ているか⑫ ◇読み終えた時笑顔になっているか⑫
11:05	海ごっこをする ・友達や先生と一緒に大きなポリ袋を持つ ・ポリ袋を揺らす ・ポリ袋をくぐる ・ポリ袋を持って回る ・振り返る	◎みんなで海ごっこをすることを楽しみに感じられるように、園外保育で海に行って楽しかったことや、これまでにポリ袋で遊んで面白かったことを話したり、みんなで遊ぶことへの期待を言葉にしたりする。 ◎先生や友達と輪になって一緒にポリ袋を持ったり、揺らしたり、くぐったりする楽しさを感じられるように、みんなですると楽しいことを言葉にしたり、教師も楽しい雰囲気で遊んだりする。 ◎力を加減をしてポリ袋を揺らしたり、ポリ袋の下をくぐって進んだりすることを楽しめるように、腕を動かす様子を言葉にして知らせたり、小さくなったり、素速く動いたりしてくぐる様子に驚いたり、感心したりする。 ◎ポリ袋を強く揺らすと袋が激しく動いたり、大きな音がしたりすることや、みんなでゆっくり上下すると空気で膨らんだりすることを面白く感じられるように、一緒に驚いたり、様子を言葉にして知らせたりする。	◇笑顔になったり、「する」「やりたい」などと言ったりしているか① ◇先生や友達の顔を見て笑顔で遊んでいるか④ ◇様々な強さでポリ袋を揺らしたり、くぐったりしているか⑧ ◇笑顔でポリ袋を動かしたり、「わあ」「すごい」などと言ったりしているか⑩
11:20	降園準備をする ・用便をする ・身支度を整える ・先生の話を聞く ・靴を履き替える ・並ぶ	◎タオルを畳んで収めたり、帽子、かばん、水筒を忘れず身に付けたりしようと思って向かえるように、用意をする子どもの様子を知らせたり、忘れ物はないか尋ねたり、困っている子どもと一緒に身支度をしたりする。 ◎先生や友達に名前を呼んでもらって通園ノートを受け取ることを楽しみに感じられるように、名前クイズを出したり、友達みんなで名前を呼んだりして、楽しい雰囲気をつくる。 ◎友達の顔や名前、好きなものを知れるように、名前を呼び、好きなものになって前に出て来てもらい、通園ノートを返却する。 ◎次の登園を楽しみに感じられるように、明日の予定やしたいと思っていることについて話をしたり尋ねたりする。	◇タオルを畳んで収めたり、帽子、通園鞄、水筒を身に付けたりしているか① ◇笑顔でノートを取りにくるか④ ◇友達の名前を呼んだり、何になっているか当てたりしてるか⑤ ◇明日したいことを話しているか①
11:40	降園する		

背番号　赤 21～40

３歳児　うめ２組（男 10 女 10 計 20 名）保育指導案

指導者　森　香奈子

１．日　時　　令和６年６月４日（火）９：００～１１：４０

２．最近の具体的な子どもの姿

登園する、持ち物の始末をする	○不安そうに登園してきても先生や友達の顔を見て笑顔になったり、目を見て自ら挨拶をしたりしている。	他者といる喜びを感じる
	○先生の手を引き鞄のチャックを手伝って欲しいことを伝えたり、通園ノートの開く場所が分からない時に「ここで合ってる？」と言ったりして困っていることを行動や言葉で伝えようとしている。	自分のことを伝える
	○やりやすいやり方で一つずつ荷物を整理したり、手を洗ったり、排泄をしたりして遊ぶ準備をしようとしている。	場や状況を整える
好きな遊び（ままごと、粘土、ブロック、恐竜、ぬいぐるみ）	○料理を作りたい、作った料理を友達や先生に食べてもらいたい、粘土で形を作りたいと思い、遊びたい物を探して遊ぼうとしている。	自ら決める・選ぶ
	○先生や友達にできたあがったものを見せ一緒に喜び、できた喜びを共有しようとしたり、一緒に遊んでいる友達と笑いあったりすることで心地よさや楽しさを感じている。	他者といる喜びを感じる
	○料理を食べてもらうこと、粘土を延ばせたことや、型がとれたことを嬉しそうに先生や友達に見せ、何度も繰り返すことで満足している。	自分に満足する
	○粘土で型をとったり、延ばしたり、丸めたりして作る楽しさを感じている。	造形に表す
	○泣いている友達の側で「一緒に遊ぼ」と言いぬいぐるみを渡したりしている。	他者のことを考えて行動する
片付け・外遊びの準備	○遊んだものを片付けようとしたり、先生の「手伝って」の声で遊んでいないものも片付けようと思って元の場所に片付けたりしている。	自ら決める・選ぶ
	○片付けながら友達と一緒にいることが楽しくて途中で遊び始めたり、片付けと分かっていてもまだ遊べそうな場所や友達がいれば遊び続けようとしたりする子がいる。	気持ちをコントロールする
	○どこに片付けるかわからない物は先生や友達に「これどこ？」と言葉で尋ねている。	自分のことを伝える
	○片付けが終わりそうになったらイスを一つずつ運び、座って話が聞けるよう準備している。	場や状況を整える
ストライダー、三輪車を使った遊び	○好きな色のストライダーや三輪車に乗って走りたい、より前に進めるようになりたい、バケツを持ってストライダーで買い物に行きたいなどと思い選んだり探したりしている。	自ら決める・選ぶ
	○ストライダーや三輪車に乗りたいが見つからない時や貸してほしい時などに先生に話をして一緒に探したり、友達に「貸して」と言いに行ったりしている。	自分のことを伝える
	○地面を足で強く蹴って速く進むスピード感や、物や人を避けて体を傾けたり足で踏ん張りブレーキをかけたりして、様々にストライダーで操作する楽しさを感じたり、三輪車を前に進めるため、足に力を入れてペダルを漕ごうとしたり、力を後ろ向きにかけてしまい後ろに進んだりして色々な方法を試している。	身体を操作する
	○危ないと思って止まったり、先生に教えてもらい障害物を避けたりする。	身を守る
遊具での遊び	○初めて登る場所から登ってみたい、色々な場所から登りたいと思って挑戦したり、試そうとしたり、自分が決めたところから登ったりする。	自ら決める・選ぶ
	○登りきったことを嬉しく思い、笑顔になっている。	自分に満足する
	○遊具の上から先生の名前を呼び、登れたことを一緒に喜んだり、他の先生にも見てもらいたいと思い、遠くの先生を呼んだり「みてー」と伝えたりしている。	他者といる喜びを感じる
	○友達が登っている様子を見て手や足をかけるところを変えてみたり、手で強く握って落ちないようにしてみたり、しがみつきながら登ったり、バランスをとりながら渡ったりしている。	身体を操作する

砂場での遊び	○ご飯を作りたい、山や道を作りたいと思い、お皿やスコップを選んだり、机に並べたり、スコップで穴を掘ったり、砂を山に何度もかけたりしている。	自ら決める・選ぶ
	○出来上がった物を友達や先生に見てもらったり食べてもらったりする嬉しさや、一緒に大きな山を作る楽しさや面白さを感じたりしている。	他者といる喜びを感じる
	○砂がバケツや型ぬきの形になる面白さを感じたり、崩れたものをまた作ったりと形ができることを楽しんでいる。	事物・現象を捉える
野菜の世話	○野菜に「大きくなれ」と言いながらジョウロで水をあげたり、大きくなった葉の様子を見て嬉しく思ったりしている。	生き物・命を見つめる
ボール、トランポリン、バランスストーン遊び	○先生や友達と一緒にボールを転がしたり、一緒に座ってトランポリンに揺られたりして笑顔になっている。	他者といる喜びを感じる
	○立って跳ぶ揺れと座って跳ぶ揺れの違いを面白がったり、膝の使い方で高く跳べたりすることを感じ楽しんだりしている。	身体を操作する
	○ストーンからストーンへ跳び移る時にバランスをとったり、距離の遠いストーンへの跳び移りに難しさを感じ落ちてもすぐに登ったりしている。	身体を操作する
虫探し	○ダンゴムシを探したい、蝶々を追いかけ捕まえたい、青虫を見つけたいと思い葉を見たり、植木鉢を動かしたりしている。	自ら決める・選ぶ
	○見つけた生き物を虫カゴやタライの中に入れて、ご飯に何を入れたらいいのか先生と話をして考えたり、何度も手に乗せ触れることを楽しんだりしている。	生き物・命を見つめる
片付ける	○片付けとわかっているが、遊びたくて遊び続ける子や、まだ遊びたいが、おやつに期待し「今日のおやつ何かな、楽しみだね」と話しながら気持ちを切り替えて片付けをしている子もいる。	気持ちをコントロールする
	○先生や友達と同じものを一緒に運んだり、重い物を運べた喜びを共有したりして、一緒に片付ける楽しさを感じたりしている。	他者といる喜びを感じる
	○綺麗にしようと思って、使った物を元の場所に戻したり、使っていない物でも見つけたら片付けたりしている。	場や状況を整える
着替え手洗い・うがいおやつ	○水で濡れたり、汚れてしまったりした服を気持ち悪いと感じ着替えたいと話したり濡れたところを見せたりして伝え、自分で着替えようとしている。	体の健康を保つ
	○おやつの前に手を隅々まで洗い、うがいをして椅子に座ってから先生と一緒に石鹸の匂いを確かめたり、友達のうがいの音を聞いたりしている。	体の健康を保つ
	○「今日のおやつ○○だ」と言い楽しみにしたり、匂いや味を伝え、みんなでおやつを食べることを楽しんだりしている。	食を見つめる
絵本を見たり読んでもらったりする	○読んでもらった絵本を見たいと思って見たり、友達が見ている絵本が気になって一緒に見ようとしたり先生が読む絵本を楽しみにしたりしている。	自ら決める・選ぶ
	○「にんじゃいぬタロー」の絵本を見て登場人物がどうなっていくのかじっと見つめたり、笑顔になったり、驚いたり、忍術をつぶやいたりしている。	文芸に表す
忍者ごっこ	○先生の真似をしたり、友達と同じ動きやポーズをしたりすることを楽しんでいる。	他者といる喜びを感じる
	○手裏剣に当たらないよう、しゃがんだり、ジャンプしたりすることや、バランスストーンや平均台に乗り、落ちないようバランスをとったりすることを楽しんでいる。	身体を操作する
	○忍者になりきり、静かに動いたり、速く走ったり、木や石になって隠れたりすることを楽しんでいる。	身体の動きに表す
降園準備をする・降園する	○通園ノートはどうしたら入るのか、どの持ち方で持てば荷物が全て持てるのか試しながら自分のやり方で一つずつ整理しようとしている。	場や状況を整える
	○水筒や帽子を忘れているが残っているのを見て「水筒残ってるよ」と友達が気付けるように声をかけたり、持って行って教えてあげたりしている子がいる。	他者のことを考えて行動する

３．本日のねらい

①	このおもちゃを使いたい、料理を作りたい、自分の好きな色のストライダーを使いたいと思い用意をしたり、遊ぼうとしたり、絵本を探したりする。	自ら決める・選ぶ
②	やりたい遊びでたくさん遊べた、自分でできるようになった、面白いものが作れた、やってみてよかったなど嬉しく思う。	自分に満足する
③	もう少し遊びたい、まだ片付けしたくないと思う気持ちを先生や友達に聞いてもらい切り替えようとしたり、落ち着かせようとしたりする。	気持ちをコントロールする
④	先生や友達と挨拶をしたり、一緒に遊んだり、先生に見てもらったり、料理を食べてもらったりして嬉しさを感じたり、同じ動きをすることで面白さを感じたりする。	他者といる喜びを感じる
⑤	自分がしたいことやしてほしいこと、してほしくないこと、困っていることなどを表情や行動、言葉で伝えようとする。	自分のことを伝える
⑥	困っている子や忘れている子がいればその友達に声をかけたり、先生に伝えようとしたりする。	他者のことを考えて行動する
⑦	おやつの後、虫歯にならないようにうがいをしたり、水や泥がついた服を気持ち悪いと感じ着替えたりする。	体の健康を保つ
⑧	自分で危ないと思ったり、先生に教えてもらったりして障害物を避ける。	身を守る
⑨	遊具に登ったり、トランポリンを跳んだり、しゃがんだり、ジャンプしたりと色々身体を動かしたり、ストライダーのスピードを調整したり、三輪車のペダルに足をかけ力を入れて漕いだり、ボールの投げ方を色々試したり、バランスストーンから落ちないようにバランスをとったりする。	身体を操作する
⑩	ダンゴムシや青虫、蝶々などの生き物を見つけ、触ってみたり、世話をしようとしたり、野菜に水をあげ生長を楽しみにしたりする。	生き物・命を見つめる
⑪	砂や粘土で形が作れることを面白いと思い何度も作ったり、崩してもう一度作れるか挑戦したりする。	事物・現象を捉える
⑫	丸めたり、延ばしたり、型にはめたりして形を作る楽しさや、自分や友達の作ったもののよさを感じる。	造形に表す
⑬	「にんじゃいぬタロー」の絵本を見て登場人物がどうなっていくのかワクワクしたり、犬が忍者であることに驚いたり、分身の術で笑ったりしながら色々な動きを楽しんだりする。	文芸に表す
⑭	絵本を思い浮かべながら忍者になりきり音を出さないよう静かに歩いたり、木や石の真似をしたりして遊ぶ楽しさを感じる。	身体の動きに表す
⑮	おやつは何かと楽しみにしたり、みんなで食べる楽しさを感じたりする。	食を見つめる
⑯	一つずつ荷物を収めたり、綺麗にしようと思い、使った物を元の場所に戻そうとしたり、片付けたいと思い、どこの場所に戻せばいいのか先生に聞いて物を収めようとしたりする。	場や状況を整える

４．展 開

時刻	予想される子どもの活動	＊環境の構成及び再構成　◎教師の援助	◇評価の観点
9:00	登園する ・挨拶する ・靴を履き替える ・通園ノートやタオルを出す ・鞄や水筒帽子を収める	＊一つずつ物を収められるように、鞄、水筒を置ける机やタオルかけ、水筒ワゴンを置く。 ◎先生や友達と出会う嬉しさや挨拶をする心地よさを感じられるように名前を呼びながら目を合わせて挨拶をする。 ◎自分のやりやすい順番で荷物整理ができるように、次に始末するものを尋ねたり、途中になっていることを知らせたり、一緒にしたりする。	◇先生や友達と挨拶をすることで笑顔になっているか。④ ◇荷物を一つずつ収めているか。⑯

9:05	**好きな遊びをする（部屋）** ・自分のしたい遊び興味のある遊びをする ・友達がしていることや話している様子を見たり聞いたりする ・料理を作ったり、ふるまったり、粘土で形を作ったりする ・何度も挑戦したり、試したりする ・友達の様子を見てぬいぐるみを使って話しかける	＊したいことにすぐとりかかれるように、机を片付けたり、増やしたり、シートを引いたりする。 ◎遊びにすぐに向かえるように今日は何をして遊ぼうとしていたのか尋ねたり、前に遊んでいた遊びを伝えたりする。 ◎友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるよう友達の様子を知らせたり、子どもと一緒に友達に何をしているのか尋ねてみたりする。 ◎作ってよかったと思えるようにできた料理を見て喜んだり、食べて感想を伝えたりする。 ◎綺麗に型を抜けたこと、形ができたことを嬉しく思えるように、面白いと思っていることに反応したり、一緒に喜んだりして楽しさを共有する。 ◎友達のことに気づけるように、友達の様子や気持ちを言葉にしたり、一緒に心配したり、手伝う姿を見せたりする。 ◎子どもが自分で言葉や行動で表現できるように遊びたい遊びを尋ねたり、「困ってない？」と声をかけたりする。 ◎丸めたり、延ばしたり、色々作ることを楽しめるよう、実際にやってみたり、みんなに紹介したり、作り方を子どもに教えてもらったりする。	◇したい遊びの話をしたり支度を終えすぐに遊び始めたりしているか。① ◇笑顔で見たり話をしたり一緒に遊んだりしているか。④ ◇見てもらったり食べてもらったりすることで笑顔になっているか。② ◇「できた」「見て」などと言い笑顔になっているか。② ◇友達を見たり、「大丈夫」など声をかけたりしているか。⑥ ◇自分の思いを先生や友達に伝えられているか。⑤ ◇友達の作ったものを見て「すごい」など声に出しているか。⑫
9:30	**片付ける** ・先生や友達と一緒に運んだり集めたりする ・使った物を元に戻したり、椅子を出し外遊びの準備（帽子を被る、靴を履く）をしたりする	◎子どもたちが片付けようと思えるよう、片付けている友達の様子や友達のすることを言葉にする。 ◎次の活動に期待を持ち、気持ちを向けられるようにもう少し遊びたい気持ちを受け止め、話をしながら一緒に片付ける。 ◎綺麗になったことを感じられるようにみんなで片付けたから部屋が綺麗になったことを言葉にして伝える。	◇先生の声を聞き片付けようとしているか。⑯ ◇遊びを止め、外遊びの話をしているか。③ ◇片付いた気持ちよさを言葉にしているか。⑯
	好きな遊びをする（屋外） **〇ストライダー、三輪車を使った遊び** ・選んだり、探したりする ・自分の思いを伝えたり先生に助けを求めたりする ・ストライダーや三輪車で走ったり曲がったりする	＊したい遊びにすぐに向かえるように、遊具や玩具をいつもの場所に置いたり、遊び掛けの状態にしたりする。 ◎困った時に自分の思いを伝えられるよう、表情や行動を見て声をかけ思いを受け止めたり、一緒に友達に伝えたり、気持ちを引き出したり、気持ちを引き出して伝える姿を見せたりする。 ◎使いたいものを選び、したいことをして遊びに向かっていけるように、空いているストライダーや三輪車を伝えたり、一緒に探したりする。 ◎スピードを調節したり、足に力を入れペダルを踏み込んだりしようと思えるようにバランスをとり速く走れること、三輪車を漕げることに感心する。 ◎危なくないようにしようと思い避けられるように、障害物があることを知らせたり、マットの上を通るとどうなって危なくなるか理由を伝えたりする。	◇すぐに遊びに向かえているか① ◇自分の思いを表情や行動、言葉で伝えているか。⑤ ◇好きな色や形の物を探し手に取ったり、取りに行ったり、選んだりして遊んでいるか。① ◇速いスピードを出したり、力を入れてペダルを漕いだりしているか。⑨ ◇黒いマットの上を避けて通ったり、障害物を避けたりしているか。⑧

	〇遊具での遊び ・色々なところから登ったり降りたりする ・登れたことを先生に知らせたり友達を呼んだりする ・友達の登る様子を見たり、先生に登り方を聞いたりする	＊黒いマットの上を走らないようにしようと気をつけられるように、マットの上を通った時に声をかけたり置いたままになっているものは理由を伝え避けたりする。 ◎挑戦したいと思えるように色々な登り方を知らせたり友達が登っている姿を一緒に見たりする。 ◎登れたことを喜び、自信に繋げられるように登りきった時に名前を呼び「登れたね」などと褒める。 ◎見てもらうことで嬉しさを感じられるように登れたことを一緒に喜んだり、呼ばれた時に反応したりする。 ◎バランスを取ったり、力を入れたりして自分で遊具に登れるように、足や手をかける場所を伝えたり、力を入れるところを一緒に考えたり、後ろから少し支えたりする。	◇登りたいところに挑戦したり登れるところから何度も登ったりしているか。① ◇登り切った時に笑顔になっているか。② ◇先生や友達を呼び笑顔になったり、話をしたりしているか。④ ◇手や足を変えてみたり手を強く握ったり、バランスを取ったりしているか。⑨
	〇砂場遊び ・料理を作ったり、型をとったり、机に並べてお店屋さんをしたりする ・野菜にジョウロで水をあげ葉の様子を観察する	＊必要なものを思い浮かべ、すぐに手に取り作れるようにスコップやジョウロ、型など砂場近くに置く。 ◎先生や友達に食べてもらったり、ふるまったりすることで嬉しさを感じられるように、できた料理を食べた感想を言い、近くにいる子に注文を聞いたりする。 ◎型を取ったり、型に砂を詰めることで砂が固まったりすることの面白さを感じられるように、やって見せたり、型がとれたものに驚いたり、作り方を尋ねたりする。 ◎世話をするよさを感じられるように大きくなった葉を一緒に見て葉が大きくなったことに喜んだり、水やりをしたことによる変化を言葉にしたりする。	◇料理を食べてもらい感想を聞き笑顔になったり友達や先生に勧めたりしているか。④ ◇できた形をじっと見たり崩したり、繰り返したりしているか。⑪ ◇葉の様子を見て笑顔で水をあげているか。⑩
	〇ボール、トランポリン、バランスストーン遊び ・揺れを楽しんだり跳んだり、投げたりする	◎先生や友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるよう、一緒にトランポリンを跳んだり、ボールを投げたり転がしたりして笑顔で関わる。 ◎身体を色々に動かせるように座ってトランポリンをしたり、色々なボールの投げ方をしてみたりする。	◇先生や友達と一緒に遊ぶことで笑顔になっているか。④ ◇揺れて笑顔になったり、色々な投げ方を試したりしているか。⑨
	〇虫探し ・ダンゴムシを見つけたり、蝶々を追いかけたりする	＊捕まえた虫を観察できるようにカップやタライを用意しておく。 ◎子どもたちが触れるように会話をしながら一緒に探したり、植木鉢を動かしたり、葉についている青虫を知らせたりする。 ◎世話してみようと思えるように虫が何を食べるのか、どんなところが住みやすいのか相談しながら一緒に虫籠やタライの環境を作る。	◇虫を見つけ、笑顔になったり、触ろうとしたりしているか。⑩ ◇虫の食べるものを聞いたり、石や葉を入れたりしているか。⑩
10:15	片付ける ・まだ遊びたい気持ちを切り替える ・先生や友達と一緒に運んだり、片付けたりする	◎気持ちを切り替えて片付けに向かえるよう、「おやつ何だろうね」など次の活動に期待をもてる声かけをして一緒に片付ける。 ◎一緒に片付けをする楽しさを感じられるように重い物を運んでいる子どもの様子を他の子どもに伝えたり、「手伝って」と声に出したりする。 ◎子どもたちが気付いて片付けに向かえるよう、片付いていないものに目を向け「〇〇残っているけどどうしよう」など困っていることを言葉にす	◇まだ遊びたい気持ちを切り替えて片付けているか。③ ◇一緒に運んだり笑顔で話をしたりして片付けているか。④ ◇周りを見て残っているものの片付けをしているか。⑯

		る。	
10:50	**着替える** ・汚れた服を着替えようとする	◎着替える気持ちよさを感じられるよう、「着替えてスッキリしたね」と言葉にしたり、自ら着替えようとする姿を見守り、気付いたことを褒めたりする。	◇汚れたり、濡れたりした服を見て気持ち悪いと思って着替えようとしているか。⑦
	おやつ・牛乳を食べる ・手洗い、うがい、排泄をする	◎みんなで食べる楽しさを感じられるようおやつの匂いを尋ねたり、おやつの感想を聞いたりする。 ◎おやつの袋や牛乳を開けられず困っていることを自分の言葉や行動、表情で伝えられるように子どもに何に困っているのか尋ね、先生に言うと助けてもらえることを感じられるように手を持ちながら一緒に開ける。 ◎虫歯にならないようにしたいと思ってうがいに向かえるように虫バイキンがいなくなったか問いかける。	◇話しながら笑顔でおやつを食べているか。⑮ ◇先生の手を引いたり、「開けて」、「一緒にしよう」など言ったりして伝えられているか。⑤ ◇コップを外し、うがいをしているか。⑦
11:00	**絵本を見たり『にんじゃいぬタロー』を読んでもらったりする**	◎見たいと思って絵本を手に取れるように、絵本の紹介をしたり、表紙を見せたりする。 ◎子どもたちが物語に入り込めるように登場人物になりきって読んだり、声を変えて読んだりする。	◇好きな絵本を手にとっているか。① ◇驚いたり、笑顔になったりしているか。⑬
11:10	**忍者ごっこをする** ・静かに歩いたり、速く走ったりする。 ・忍者になりきり隠れたり、手裏剣を投げたりする	◎みんなで同じ動きをする楽しさを感じられるように、師匠となり先頭に立ってポーズをとったり誘ったりする。 ◎色々な動きを楽しめるように、しゃがんだり、ジャンプしたりしながら動きや言葉で伝えたり、バランスストーンや平均台でバランスをとって見せたりする。 ◎絵本を思い浮かべ、忍者になりきって遊ぶ楽しさを感じられるように分身の術をやってみることを提案したり、一緒に考えたり、楽しくなりきって遊んだりする。	◇顔を見て笑い合ったりしているか。④ ◇しゃがんだり、ジャンプしたりしながら笑顔になっているか。⑨ ◇音を出さないよう静かに歩いたり、木や石の真似をしたりして楽しんでいるか。⑭
11:25 11:40	**降園準備・降園する** ・鞄を椅子に掛ける ・通園ノート、タオルを鞄に入れる ・水筒を持つ	◎やりやすさやコツを感じられるように、リュックの持ち方を伝えたり、チャックの開閉を一緒にやってみたりする。 ＊自分で気付いて取りに行けるよう、タオル掛けや水筒ホルダーを見やすいところに置く。 ◎周りに目を向けられるよう、気付いたことに「よく気付いて知らせてあげたね」など言葉にしたり、教えてもらった子の代わりに感謝を伝えたりする。	◇一つずつ確認して収めようとしているか。⑯ ◇忘れている水筒やタオルに気付いて友達に声をかけているか。⑥

背番号　青 1～20

４歳児もも１組（男 9　女 11　計 20 名）保育指導案

指導者　髙橋　梨花

１．日　時　　令和 6 年 6 月 4 日（火）9:00～11:50

２．最近の具体的な子どもの姿

登園する、持ち物の始末をする	○先生や友達を見付けて自分から挨拶をしたり、登園してきた友達を見付けて様子を見に行ったり、今日したい遊びや家であったことの話をしたり友達と遊ぶ約束をしたりしている。 ○登園後すぐに身支度を済ませる子どもや友達の様子や話が気になって、持ち物を持ったまま友達と話し始め、身支度に気持ちが向いていない子どもがいる。 ○病気にならないように進んで手洗いうがいをしている子どもや教師に声をかけられて思い出してからする子どもがいる。	他者といる喜びを感じる 自ら決める･選ぶ 体の健康を保つ
虫探し	○ダンゴムシやナメクジを見付けたい、チョウやトンボを採りたいと思って探したり追いかけたりしている。 ○ダンゴムシやチョウを見付けたり触ったりし、虫の感触や動きや模様の面白さを感じている。 ○生き物がたくさんいる場所からどうしてその場所が好きなのか考えたり話したり、捕まえた生き物を飼育できるような環境を考えたりしている。しかし、捕まえた後にそのままにして、先生に気付かされるまで数日間置いたままにしていることもある。	自ら決める･選ぶ 生き物･命を見つめる 生き物･命を見つめる
挑戦遊び	○雲梯を最後までできるようになりたい、鉄棒で前回りができるようになりたい、バスケットゴールにシュートをしたい、ドリブルをたくさんつきたい、フラフープを回せるようになりたいなどと思って挑戦したり、諦めずやり続けたりしている。 ○シュートができた、ドリブルをたくさんつけた、フラフープを回せるようになった、雲梯を一人でできたなど、できなかったことができるようになったことを喜んだり先生や友達に褒めてもらって、できたことを感じ嬉しくなったりしている。 ○友達と並んで鉄棒で前回りをしたり、友達の様子を見て雲梯を進んだりして友達と一緒に遊ぶことを喜んだり、友達に応援してもらって嬉しく思ったりする。 ○雲梯の棒を強く握ってぶら下がって全身を支えたり進んだり鉄棒で回る感覚を感じたり、ドリブルをつこうと足を大きく広げたり手の形をボールに沿うようにしたり、シュートをしようと膝を使ったり、フラフープを回そうと足を大きく広げ腰を動かしたりしている。	自ら決める･選ぶ 自分に満足する 他者といる喜びを感じる 身体を操作する
砂・水を使った遊び	○花や葉っぱがのったプリンやケーキを作りたいと思って飾り付けをしたり、プールを作りたいと思って土を掘ったり水を流したり、色々な色の水を作りたいと思い花を摘んで色水を作ったりしている。 ○友達と作った池に足を浸けて気持ちよさや水の冷たさなどを一緒に感じたり、こんな色になったと友達と見せ合ったり、砂で作ったケーキやジュースなどを友達や先生に食べてもらったりすることを喜んでいる。 ○樋の傾く角度によって水が流れる速さが変わることを感じ、樋の置き方や高さを調節して変化を見ている。 ○花を潰すとこんな色になったと驚いたり花や水の量によって色の濃さが異なることを感じたりしている。 ○ポンプから流れてくる水の冷たさを感じたり、スコップや手で掬った濡れた土の重さを感じたりしている。 ○水溜まりを作ろうと水を穴に入れるがすぐ水がなくなってしまう様子が面白く、じっと見たり水を汲んで流したりしている。 ○ポンプから水を流したい場所に落ちるようにポンプを押す力加減を調節したり、作った砂山や固まっている砂が崩れないように、スコップの力を調節したり優しく撫でたり、手で崩れないように力加減を調節して押さえたりしている。	自ら決める･選ぶ 他者といる喜びを感じる 事物･現象を捉える 事物･現象を捉える 事物･現象を捉える 事物･現象を捉える 身体を操作する
ショーごっこ	○ガッチャードになりたい、プリキュアになりたいと思い必要なアイテムを作って手に取ったり、どうやって遊ぶか考えたり、踊ったり戦ったりしている。	自ら決める･選ぶ

	○作りたいと思ったアイテムが作れたこと、やりたかった踊りや戦いができたことを感じて楽しい、嬉しいと思っている。 ○こんなアイテムを使いたい、この場所に立って踊りたいなど、自分の考えを言葉にして伝えている。 ○ゲームボックスを登ったり跳び下りたり、相手の動きを見て避けたり回転したりして動くことを楽しんでいる。 ○ガッチャードやプリキュアになってポーズをしたり、戦いの動きをしたりしている。	自分に満足する 自分のことを伝える 身体を操作する 身体の動きに表す
片付ける	○片付けの時間であると知り、これをしたら片付けようと決めて片付けている子どもや、ずっと遊び続けていて、先生に何度も声をかけてもらってやっと片付けに向かう子どもがいる。 ○必要以上に道具を出し片付けが終わるまでに時間がかかっているが、たくさんの道具を片付ける大変さに気付いていない子どももいる。 ○自分の周りや、みんなで使う場所が気持ちよく使いやすくなるように使ったものは片付けた方がいいと思い、自分の使った場所を見て片付けようとする子どもや、片付けと知っていながらも遊び続けている子どもがいる。	気持ちをコントロールする 資源の活用を見つめる 場や状況を整える
野菜・生き物の世話をする	○カメやメダカの水の汚れに気付いて住みにくそうだと思い水槽を掃除したり、どのように餌を食べるのかどのように動くのか見てみたいと思って触ったり観察したりしている。 ○毎日育てている野菜の様子を見て生長を楽しみに水やりをしている子どもや、先生に気付かされたり友達の姿を見たりして水やりをする子どもがいる。 ○自分が育てる野菜を観察しながら花や実ができたことに気付いて嬉しく思ったり不思議に思ったりしている。	生き物･命を見つめる 生き物･命を見つめる 生き物･命を見つめる
手洗いうがいをする	○戸外から帰ってきた後に手洗いやうがいをして手や口内を清潔にしようとしたり、先生に声をかけられ気付いて手洗い場に向かったりしている。 ○手についた汚れを落としたいと思い、手首や爪の間まで丁寧に手を洗ったり丁寧にうがいをしたりしている子どもや、泡をつけてすぐに流していたりうがいをしていなかったりする子どもがいる。	体の健康を保つ 体の健康を保つ
遊びの振り返りをする	○明日もしたいことを話したり、友達の話を聞いて自分もしてみたいと思ったりしている。 ○自分の楽しかった遊びや頑張ったこと、困ったことを伝えたいと思って伝えたり、友達の話を聞いて思ったことを話したりしている。 ○友達が話していることに関心をもつことが難しく、違う話をしていたり聞いていなかったりする子どもがいる。	自ら決める･選ぶ 自分のことを伝える 他者のことを知る
牛乳とおやつを食べる	○好きなおやつだったことに喜んで、一緒におやつを食べて笑顔になっている。 ○苦手なおやつや牛乳を飲食する時に、自分で飲食できそうな量を決めて飲食しようとしている子どももいる。 ○絵本を持っている友達に「一緒に見せて」と言ったり、「一緒に見よう」と声をかけたりして、一緒に見ることを喜んでいる。	食を見つめる 自ら決める･選ぶ 他者といる喜びを感じる
猛獣狩りで遊ぶ	○動物の名前を聞いて音の数と人数を合わせてグループを作りたいと思い、友達を誘っている。 ○誘ったり誘われたりしてグループを作ることができて喜んでいる。 ○誘ったり誘われたりすることを楽しんでいる。クラス替えで新しく一緒のクラスになった友達には少し距離を感じていたり、緊張から参加しにくかったりする子どももいる。	自ら決める･選ぶ 自分に満足する 他者といる喜びを感じる
降園準備をする・降園する	○自分でトイレに行く必要を感じたり教師に声を掛けられてトイレに行くべきだと考えたりして、排泄を済ませたり行かなくても良いと考えて降園準備をしたりしている。 ○カバン、帽子、水筒などの忘れ物が無いように確認しながら降園準備をしている。	体の健康を保つ 自ら決める･選ぶ

３．本日のねらい

① 昨日した遊びを今日もしたい､プリキュアやガッチャードになって踊ったり闘ったりしたい、動物の名前を聞いてグループを作りたい、友達や教師がしている遊びを見たり聞いたりして同じようにやってみたいなど､こんな風にやってみたいと思ってやったり、試してみたりする。 自ら決める・選ぶ

② 雲梯を最後までいくことができた、鉄棒で前回りができた、シュートができた、ドリブルをたくさんつけた、フラフープを回せるようなった、猛獣狩りで友達を誘ってグループを作れたなど、やりたかったことができたり、自分の頑張りを感じたりして喜ぶ。 自分に満足する

③ 遊びたいけれど気持ちを切り替えて片付けようとしたり､友達とトラブルになった時に先生や友達に話を聞いてもらって自分の納得いく方法を考えて自分の気持ちを落ち着かせようとしたりする。 気持ちをコントロールする

④ 先生や友達と挨拶や話をしたり､プリキュアやガッチャードになって一緒に遊んだり、友達に応援してもらったり、遊びに誘ったり誘われたりする嬉しさを感じたりする。 他者といる喜びを感じる

⑤ 友達のしていることを見たり聞いたりして､友達が楽しんでいることや友達の優しさ、面白さに気付いたりする。 他者のことを知る

⑥ 自分が考えたこと､したいことやしてほしいと思うことを友達や教師に言葉や態度で伝えようとしたり、伝えることのよさを感じたりする。 自分のことを伝える

⑦ 登園時や戸外から戻ってきた時やおやつを食べる前には､手や口内についたバイ菌を除こうと思って手洗いうがいをする。 体の健康を保つ

⑧ 流したい場所に水が流れるようにポンプを押す力を調節したり､雲梯の棒を強く握ってぶら下がって全身を支えたり、進んだり、鉄棒で回る感覚を感じたりボールをつこうと足を大きく広げたり手の形をボールに沿うようにしたり､フラフープを回そうと足を大きく広げ腰を動かしたりするなど､体勢や体の動かし方などを考えたり試したりする。 身体を操作する

⑨ 野菜の葉っぱの大きさや実、花の様子を見て変化に気付いたり、興味をもってカメやメダカを観察したり餌をあげたり、育てるために環境を整えたり、かわいそうだと思って逃したりするなど、捕まえた虫をどうするか考えたりする。 生き物・命を見つめる

⑩ 樋の置き方や組み立て方､高さによって水の勢いと流れ方が変わっていくことを感じたり､水の流れが変化していくのを見て土を掘ったり道具を組み合わせたりする。 事物・現象を捉える
問題を認識する

⑪ 「ハッピーとラッキーの動物園」を読んでもらい、迷子になったハッピーとラッキーがどんな動物と出会うかを楽しみにしたり無事に脱出したことを嬉しく思ったりする。 文芸に表す

⑫ ガッチャードやプリキュアになって踊ったり動いたりすることを楽しむ。 身体の動きに表す

⑬ 友達と一緒に輪になって顔を見ながらおやつや牛乳を飲食する楽しさを感じる。 食を見つめる

⑭ 先生に気付かされながら、自分や友達が気持ちよく遊べる場となるように、使い終わったら道具を片付けようとする。 場や空間を整える

⑮ 地面に置きっぱなしにされている玩具や虫捕り網、虫かご、スクーターなどが蹴られたり踏まれたりして壊れないように元の位置に戻そうとする。 資源の活用を見つめる

４．展 開

時刻	予想される子どもの活動	＊環境の構成及び再構成　◎教師の援助	◇評価の観点
9:00	登園する ・挨拶する ・持ち物の始末をする ・通園ノートにシールを貼る ・手洗いうがいをする	◎友達や先生と挨拶をしたり、会って話をする喜びを感じられるように、視線を合わせて名前を呼んだり、笑顔で挨拶を返したり、話を聞いて答えたりする。 ＊昨日の遊びの続きや自分のしたい遊びを見付けられるように、昨日の遊びの様子や話していたことがわかることが書いているホワイトボードを近くに置いておいたり、写真を掲示したりする。 ◎朝の用意に意識を向けられるように、話したい、見たい、見てほしい気持ちを受け入れながらも、用意が終わっていないことを気付かせる。 ◎バイキンを取り除くために丁寧に手洗いとうがいをしようと思えるように、丁寧に手洗いうがいをする姿を褒めたり、手洗いうがいをする友達の姿	◇友達や先生と挨拶をしたり話をしたりして笑顔になっているか④ ◇ホワイトボードや写真を見て「○○して遊ぶ」としたい遊びを見付けているか① ◇朝の用意に向かっているか① ◇手洗い場に向かって手を洗ったりうがいをしたりして

		を知らせたり声をかけたりして気付かせたりする。	いるか⑦
9:20	好きな遊びをする	◎遊びたい気持ちが増すように、すでに遊んでいる友達の姿を知らせたり、誘いかけたりする。	◇すぐに遊び始めているか①
		◎友達との関わりが上手くいかずに困ったりトラブルになったりした時には、友達や先生に気持ちを伝えながら気持ちを落ち着かせられるように、気持ちを受け止めたり、どのようにすれば納得するのか一緒に考えたりする。	◇落ち着いて話し始めているか③
		◎友達が楽しんでいる遊びを知れるように、友達が遊ぶ姿を言葉にしたり一緒に遊んで楽しさに共感したりする。	◇友達がしている遊びを見たり一緒に遊んだりしているか⑤
		◎自分の気持ちが伝わらずに困ったり黙っていたりするときには、自分の気持ちを伝えるきっかけになるよう、何に困っているのか何をしたいのか子どもの気持ちを尋ねながら傍で見守ったり言葉を加えたり伝えることを勧めたりする。	◇自分の思いを友達や先生に伝えているか⑥
	○生き物の世話をする ・餌をあげる ・観察する ・水換えをする	◎必要に応じて餌をあげたり水を換えたりしようとするように、カメやメダカの様子を一緒に見たりどんな気持ちか想像する言葉をかけたりする。	◇生き物の気持ちを予想して言葉にしたり餌をあげたり水換えをしたりしているか⑨
	○虫探し ・プランターの下や日陰、草花の近くを探す	＊虫の住む環境や特徴、種類について考えたり比較したりすることができるように、絵本や図鑑を掲示しておく。	◇虫が載っているページを見ているか⑨
		◎捕まえた虫の動きや特徴、形や模様の面白さに気付けるように、子どもが言葉にした特徴に驚いたり共感したり、必要に応じて図鑑を一緒に見に行ったりする。	◇動きや特徴を言葉にしているか⑨
		◎捕まえた後の虫をどうするかを考えられるように、虫の様子を一緒に見たり、虫が好む環境を一緒に考えたり図鑑で調べたりする。	◇図鑑で育て方がわかるページを見たり、逃してあげようと言ったりしているか⑨
		◎置きっぱなしになっている虫捕り網や虫かごに気付き元の場所に戻そうとするように、虫を捕まえた後に虫捕り網や虫かごが蹴られたり踏まれたりして壊れないように状況を知らせたりする。	◇置いたままの虫捕り網や虫かごについて考えを言っているか⑮
	○挑戦遊び ・鉄棒で前回りをする ・雲梯をする ・バスケットゴールにシュートする ・ドリブルをつく ・フラフープを回す	◎シュートを前よりも多く入れられたり雲梯で少し進めたりしたことを嬉しく感じたり、頑張ってきた自分を感じて自信をもてたりするように、頑張っていた姿を具体的に褒めたり感心したりする。	◇頑張りを褒められて笑顔になっているか②
		◎友達と一緒に挑戦する楽しさを感じられるように、友達の名前を呼んだり友達と一緒に挑戦している嬉しさに共感したりする。	◇友達と顔を合わせて笑顔になったり話しかけたりしているか④
		◎シュートをしたり、鉄棒で回ったりする感覚やフラフープを回す楽しさを感じられるように、教師も一緒に遊んで楽しさを共感する。	◇笑顔で何度もやっているか⑧
		◎フラフープを回す時の体勢や腰の動かし方をやってみたり、コツを意識したりできるように、子どもがしている姿を具体的に知らせたり、コツを感じられた見取った瞬間を言葉にしたりする。	◇動かし方を変えているか⑧
	○ショーごっこ ・道具と衣装を作る ・ゲームボックスを出す ・曲をかけて踊る	◎役に必要な道具や衣装を作れたことを感じて嬉しく思えるように、工夫したり考えたりしているところを具体的に褒めたり、したいことができていることを言葉にしたりする。	◇褒められたり、作ったものを見て笑顔になっているか②
		◎友達がお客さんになって来てくれた喜びや一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、教師も他児を誘	◇お客さんが来てくれたり友達と一緒

		ってダンスを見に行ったり、来てくれたことを一緒に喜んだり、友達がしている様子を知らせたりする。	に遊んだりして笑顔になっているか④
		◎プリキュアやガッチャードになりきって役らしい振り付けや動きを楽しめるように、設定や役柄を尋ねたり子どもの表現のよさを言葉にしたりする。	◇プリキュアやガッチャードになってポーズを決めたり踊ったりしているか⑫
	○砂・水を使った遊び ・橋やトンネル、道や池を作る ・樋に水を流す ・砂で料理を作る ・花や水を使って色水を作る	◎こんな色の色水が作りたい、ブドウゼリーを作りたいなどと思って花を選んで摘めるように、いろいろな色の花があることを知らせたり、一緒に試したりする。	◇色水に使いたい花を選んでいるか①
		◎自分が作りたいと思った色の色水ができた嬉しさを感じたり、頑張って作ってきた自分を感じて自信をもったりするように、色水の様子を伝えたり、作っていた姿を具体的に伝え感心したりする。	◇作った色水を見たり、教師に見せたりして笑顔になっているか②
		◎こんな風にしたいと思うことを友達に伝えて遊んでいくよさを感じられるように、話したことが実現する方向に向けて教師も一緒にしたり、友達が聞いて同じようにし始めている姿を知らせたりする。	◇したいことを言葉にしているか⑥
		◎ポンプを押したり作った砂山を崩さず掘ったりする力加減を調節しようとするように、掘る力を試せるよう教師も一緒にやってみたり、試してみている子どもの姿や試してみて起きた変化を具体的に知らせたりする。	◇押したり掘ったりする力加減を変えて遊んでいるか⑧
		◎樋の置き方や組み立て方、高さによって水の勢いと流れ方が変わっていくことを感じられるように、水の様子を言葉にしたり、変化で気付いたことを尋ねたりする。	◇水の様子を見たり言葉にしたりしているか⑩
		◎樋が斜めになっていたり、水が溜まっているところの土を掘ったりすると水が流れていくことを感じ、流したいところに水を流そうと樋を組み合わせたり掘ったりするように、していることとその後の水の流れを言葉にしたり、教師もやってみたりする。	◇砂の形を変えたり樋を組み直したりしているか⑩
10:20	片付ける ・使った物を元の場所に戻す ・砂場道具を洗う ・使った場所を綺麗に片付けようとする	＊砂場の片付けがしやすいように、タライの近くに玩具を片付けるカゴを移動しておく。	◇写真表示を見ながら玩具を仕分けてカゴに入れるか⑭
		◎まだ遊びたい気持ちを切り替えて楽しみながら片付けに向かえるように、今日の遊びの満足感に共感したり、次の活動の話をしたり、教師も一緒に片付けながら楽しい雰囲気を作ったりする。	◇遊びを終えて玩具を洗ったり片付けたりしているか③
		◎外から帰ってきたときに泥やウイルスを除こうと思って丁寧に手洗いをしようとするよう、教師の手が綺麗になっていく様子を見せたり友達が丁寧に洗っている姿を知らせたりする。	◇石鹸をつけて丁寧に手を洗っているか⑦
		◎遊んだ場所を片付けて綺麗にしようと思えるように、個々が遊んでいた場所を把握しておき、自分で片付けるまで玩具を残しておいて思い出させたり、教師も少し手伝ったり、片付けようとしている姿を言葉にして褒めたりする。	◇使った場所を見て片付け始めているか⑭
	野菜の世話をする	＊野菜の様子を気にかけて世話をしようと思えるように、これまでの世話の様子を知らせる写真を置いておく。	◇写真を見て野菜の場所に向かっているか⑨
		◎野菜の生長を楽しみにして水をやったり様子を見たり葉っぱや花など野菜の特徴に気付いたりするように、教師が野菜の様子を気にして呟いたり、近付いて一緒に様子を見たり触ったりする。	◇水をやったり観察して気付いたことを言ったりしているか⑨
10：35	遊びの振り返り	◎言いたいと思ったことを伝えてよかったと思える	◇手を挙げて言いた

	をする ・誰とどんな遊びをしたか話す ・新しい発見をしたことを話す	ように、子どもが言ったことに反応したり質問したりする。 ◎自分から発言しない子どもも自分の考えを伝えようと思えるように、遊びの最中に教師と共有した話について尋ねる機会を設ける。	いことを言ったり伝えた後に笑顔になったりしているか⑥ ◇自分なりの言葉で伝えているか⑥
10:45	おやつ・牛乳を飲食する	◎友達と一緒に輪になって顔を見ながらおやつや牛乳を飲食する楽しさを感じられるように、みんなで一緒に食べ始めたり、楽しい話をしたりする。	◇笑顔で食べているか⑬
11:05	絵本をよんでもらう ・「ハッピーとラッキーの動物園」を見る	◎「ハッピーとラッキーのどうぶつえん」の絵本を読んでもらい、どんな動物が出てくるか楽しみにできるように、ゆっくりページをめくる。	◇絵本をじっと見たり、次に出てきそうな動物の名前を言ったりしているか⑪
11:15	猛獣狩りをする ・動物の名前を言う ・動物の音の数によって人数を考えグループになる友達を探す	◎今日もやりたいと思ったり、どんな動物がいるか一緒に考えたりしようとするように、昨日の遊びでの子どもの姿を伝えたり、遊びの確認をしたりする。 ◎友達を誘ってグループになったことを嬉しく思えるように、誘っていた姿や言葉を具体的に褒めたり、誘ってグループになった喜びに共感したりする。 ◎普段遊んでいない友達とも一緒に遊ぶことを楽しめるように、友達を誘ってグループを作る姿を言葉にしたり、普段遊んでいない友達とグループを作っている様子を言葉にしたり、グループを作ることができたことを喜び合う姿を見守ったりする。 ◎友達が誘いに来てくれたり誘いに行ったり、友達と触れ合ったりすることを喜べるように、楽しい雰囲気を作ったり、相手が見付からず困っている友達の存在を知らせたりする。	◇遊びの話をしているか① ◇グループを作れたことを喜んでいるか② ◇普段遊んでいない友達に声を掛けたりグループになって笑顔になったりしているか④ ◇友達とグループになって笑顔になっているか④
11:40	降園準備・降園 ・用便、身支度をする ・明日の話をする	◎明日の遊びに期待をもてるように、明日したいと思っている話をしたり好きな遊びでしたいことを尋ねたりする。	◇どんな遊びをしようか楽しみにしていたり、明日しようと思っていることを言ったりしているか①

背番号　青 21～39

４歳児もも２組（男 8 女 11 計 19 名）保育指導案

指導者　吉田　紘子

１．日　時　　令和６年６月４日（火）９：００～１１：５０

２．最近の具体的な子どもの姿

登園する、持ち物の始末	○先生や友達に挨拶をしたり今日したいことを話したり遊びに誘ったり友達の出欠を気にしたりして先生や友達と会えたことを喜んでいる。	他者といる喜びを感じる
野菜の世話	○大きくなってきた野菜の生長に喜んで水やりをしたり、友達が水やりをしている姿を見たり先生に野菜の様子を聞かれたりして世話をしようと思い、水を汲みに行ったり様子を見に行ったりしている。	生き物・命を見つめる
虫探し	○見付けたチョウやダンゴムシを先生や友達に知らせたり友達と一緒にチョウを探したり追いかけたり見たりすることを喜んでいる。 ○チョウがいろいろな方向に素早く飛んでいくことやダンゴムシの大きさ、動くスピードの違いなどに面白さを感じている。	他者といる喜びを感じる 生き物・命を見つめる
ポンプを使った遊び	○先生や友達がしている遊びを見て、面白そうだと思って一緒にやったり今日は大きなプール、温泉、深い池、橋を作りたいなどと思って穴を掘ったりポンプを何度も漕いだりしている。 ○深いプールができた、流したいところに水を流せたなど、したいことができて喜んだり、先生に自分の考えを褒めてもらったり友達が自分の作ったプールや温泉で喜んでいる姿を見たりして自分が組み立てたり掘ったりしたことに自信をもったりしている。 ○ポンプから流れてくる冷たい水に気持ちよさを感じたり、場所によって水が冷たい、温かいことを感じて驚いたり、流れてくる水の様子を見て面白いと思ったり、流したいところに水を流そうと樋の位置を動かしてどうなるか試したりしている。 ○裸足になって水が溜まっているところに浸かったりスコップを挿したりして、水の深さ、浅さを感じている。 ○立った状態やポンプ台の上から、掘っている穴全体を見て、穴の広さや狭さ、穴の形などを感じ、穴を広げたり掘る場所を考えたりしている。	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 事物・現象を捉える 数・量を捉える 空間を捉える
アイドル・プリキュアごっこ	○今日はプリキュア、推しの子、アリエルになりたいなどとやりたい役を決めたり、踊りたい曲を選んだりしている。 ○先生に友達が困っていることを気付かされて、ショーをやりたい、闘いのシーンをしたい、仲間に入れて欲しいなどといった友達の気持ちを知ろうとしている。 ○ジャンプをしたり腕や手足を様々に動かしたりして踊る楽しさを感じている。膝だけを曲げて身体を揺らしている子どももいる。 ○音楽のリズムやテンポを感じながら歌ったり踊ったり身体を揺らしたりしている。 ○プリキュア、推しの子、アリエルなど、なりたいものを思い浮かべてポーズを決めたり技を決めたり仲間と散歩に行ったりするなど、なって遊ぶことを楽しんでいる。 ○プリキュアになるために帽子を作ったり、アリエルになるためにドレスや水着、お城を作ったり身につけたりして遊ぶことを楽しんでいる。	自ら決める・選ぶ 他者のことを知る 身体を操作する 音楽に表す 身体の動きに表す 演出に表す
ガッチャードごっこ	○今日はジェットジムに乗って旅に出たい、ショーがしたい、大型ブロックで家を作りたい、闘いたいなど、したいことを決めて遊んでいる。 ○友達と武器で攻撃しあったり身体を寄せあったりして闘うことやリアカーやジェットジムに乗って友達と旅に行くなど、気の合う友達と一緒に遊ぶことを喜んでいる。 ○武器を使って闘っているときに、友達の武器が当たって痛い思いをしたり、叩く真似をする、武器の素材を柔らかい物に変えるなど、痛い思いをせずに楽しく闘うための方法を考えたりしている。	自ら決める・選ぶ 他者といる喜びを感じる 身を守る

	○友達の動きに合わせて身体を避けたり、身体を回転させながらジャンプをしたり、ジャンプしてポーズをしながら着地したり、思い切り走って追いかけたりするなど　身体をいろいろと動かして遊ぶことを楽しんでいる。	身体を操作する
おままごと	○友達と同じ物を作ったり、友達と作ったものを見せ合ったり、一緒にご飯を食べたり食べてもらったりすることを喜んでいる。 ○色水の色を見てジュースに見立てたり、作りたいジュースを決めて花の色を選んでジュースを作ったり花を浮かべたり、昆布ご飯、ふりかけを作ろうと葉っぱを千切って砂の上に載せたりしている。 ○キッチンには電子レンジやオーブンが必要だと思い、板を組み立てて作ったり、キッチンと食べる机を分けてお皿を準備したり作ったご飯を運んだりしている。	他者といる喜びを感じる 造形に表す 場や状況を整える
挑戦遊び （ボール、鉄棒、雲梯など）	○今日もシュートを決めたい、雲梯で昨日より先に進みたい、友達がしていることを自分も挑戦してみたいなどと思ってやってみている。 ○前より多くボールをつけるようになった、シュートが決まるようになった、雲梯で一人でぶら下がれた、２本目まで進めたなど、できるようになったことを喜んだり自信をもったりしている。 ○ボールを連続でつくためにボールの動きを見て手を動かしたり、シュートをするためにゴールをよく見て投げたり、鉄棒や雲梯で握っている手に力を入れて身体を支えようとしたりしている。	自ら決める･選ぶ 自分に満足する 身体を操作する
片付ける	○片付けの時間を知り、友達に声を掛けて片付け始めたり遊びの区切りを自分で決めようとしたりする子どもや、まだ遊びたい気持ちから先生や友達に声をかけられても黙って遊び続けている子どもがいる。 ○表示を見て玩具や道具を種類別に分けて片付けようとしている子どもや、表示を見ずに近くのカゴや道具棚に片付けている子どもがいる。	気持ちをコントロールする 場や状況を整える
手洗いうがいをする	○手や口内の汚れやバイキンを落とそうと思い、石鹸をつけて水を止め、指先、手首まで丁寧に洗ったりガラガラうがいをしたりする子どもや、水だけで洗ったり、石鹸をつけるとすぐに洗い流したり、うがいをせずに終わらせたりする子どもがいる。	体の健康を保つ
遊びの振り返りをする	○自分の楽しかったことやしたい遊びがなかなか見付からなかったことに気付いたり、先生に聞かれて、困ったことや考えたこと、頑張ったことなどを思い出したりしている。 ○友達がしていること、楽しかったことなどを知りたいと思って話を聞いている子どもや、自分の番がくるまで隣の友達と話をしたり友達の話よりも自分の話をしたくて待ちきれず話し始めたりする子どもがいる。	自分のことを知る 他者のことを知る
おやつを食べる	○友達や先生と話をしながら一緒におやつや牛乳を食べることを喜んでいる。	食を見つめる
絵本を見たり読んでもらったりする	○一度読んでもらった絵本を手にとったり、先生に絵本を読んでもらったりして、展開していく話や描かれた登場人物の姿に笑ったり思ったことを言葉にしたりして楽しんでいる。	文芸に表す
橋をくぐって散歩に行こう	○友達と顔を見合わせながら保育室を散歩したり友達の作るトンネルをくぐったり友達と手を繋いだりすることを喜んでいる。 ○曲のリズムやメロディーを感じて歩いたり歌ったり繋いでいる手を下げようとしたりトンネルから逃げようとしたり留まろうとしたりしている。	他者といる喜びを感じる 音楽に表す
降園準備をする･降園する	○ロッカーに置いている物を確認して持って帰る物を整理したり綺麗にタオルを畳んで鞄にしまったりしている子どもや、ロッカーの前や上に物が置いてあってもそのまま帰ろうとしたり、タオルを畳まずに鞄の中にしまっている子どもがいる。 ○今日したことを思い出したり、先生から明日の話を聞いたりして、幼稚園に来ることを楽しみにしたり明日したい遊びを決めたりしている。	場や状況を整える 自ら決める･選ぶ

３．本日のねらい

①	今日は深いプールや温泉を作りたい、プリキュアやガッチャードになって闘いたい、鉄棒や雲梯に挑戦してみたい、友達がしていた遊びを自分もしたいなど、したいことを決めてしようとしたり繰り返しやってみたりする。	自ら決める・選ぶ
②	大きな穴を掘ってポンプからたくさんの水を溜められた、橋が作れた、ボールが連続でつけた、鉄棒の難しい技や雲梯が少しできるようになったなど、したかったことができたことを感じて喜んだり自信をもったりする。	自分に満足する
③	思いが叶わなかった時に先生や友達に話を聞いてもらったり一緒に考えてもらったりして気持ちを落ち着かせたり、片付けの時間と知り、区切りをつけて片付けに向かったりしようとする。	気持ちをコントロールする
④	自分は何が楽しかったかどんな遊びをしていたかを振り返ったり、先生や友達に気付かされて頑張っていたり工夫していたりしていたことを感じたりする。	自分のことを知る
⑤	友達と一緒に踊ったり闘ったり挑戦したりするなど、一緒に遊ぶことを楽しんだり、今まで関わりのなかった友達とも触れ合う楽しさを感じたりする。	他者といる喜びを感じる
⑥	友達の楽しんでいることを知ったり、友達が困っていることに気付かされて気にしたり思いを知ろうとしたりする。	他者のことを知る
⑦	自分のしたいこと、困ったことを友達に伝えようとしたり、伝わったことを感じて伝えてよかったと感じたりする。	自分のことを伝える
⑧	手の汚れやバイキンを落として綺麗にしようと石鹸をつけて丁寧に洗ったり、喉の奥まで綺麗にしようとうがいをしたりする。	体の健康を保つ
⑨	友達と安全に楽しく遊べるように、これまで話し合ったことを思い出しながら闘ったり安全な遊び場にしようと場を整えようとしたり、危なくない方法を考えたりする。	身を守る 問題を認識する
⑩	ボールをついたりシュートを入れたりする時の身体の動かし方をいろいろ試したり、鉄棒や雲梯で身体がぶら下がる感覚や身体を支えるための手の握り方や強さを感じたり、相手の動きに合わせて身体を避けたり、手先や足先まで意識して踊ったりすることを楽しむ。	身体を操作する 問題を認識する
⑪	野菜の生長に興味をもって世話をしたり様子を見たり、見付けた虫の特徴を感じたり面白く思ったりする。	生き物・命を見つめる
⑫	水の流れや土が崩れていく様子を面白く思ったり、流したいところに水が流れていかないことを感じて、どうすればいいか考えたり試したり、水や砂、花の量を変えたときの土や色水の変化に気付いたりする。	事物・現象を捉える 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する 比較する
⑬	作りたいものを思い浮かべて飾りや形を考えて作ったり、作ったものを見立てたりすることを楽しむ。	造形に表す
⑭	曲のリズムを感じて歌ったり歩いたり踊ったり、歌詞やメロディーを聞いてトンネルが下に降りるタイミングを図ったりすることを楽しむ。	音楽に表す
⑮	「いもむしれっしゃ」の絵本を読んでもらい、虫の気持ちを感じたり話の展開を楽しんだり、友達とイメージを膨らませて闘いのシーンや役の設定を考えながら遊ぶ楽しさを感じる。	文芸に表す
⑯	ショーをする場所やキッチンなど、遊びのイメージをもって必要な場所を準備しようとしたり、玩具のワゴン、ロッカーや鞄の中などを綺麗に整える気持ちよさを感じたりする。	場や状況を整える

４．展 開

時刻	予想される子どもの活動	＊環境の構成及び再構成　◎教師の援助	◇評価の観点
9:00	登園する ・挨拶する ・持ち物の始末をする ・赤白帽を被り靴を履き替える	◎挨拶をする気持ちよさや友達や先生と会う喜びを感じられるように、視線を合わせて名前を呼んだり笑顔で挨拶を返したりする。 ◎外からのウイルスを落とすために手洗いうがいを丁寧にしようと思えるように、手を洗っている友達の姿を知らせたり声をかけたりして思い出させたり、丁寧に手を洗っている姿を褒めたりする。	◇笑顔になったり、挨拶をしたり話をしたりしているか⑤ ◇石鹸を付けて指の間や手の甲まで洗っているか⑧

9:20	好きな遊びをする	＊したい遊びを見付けたり思い出したりして遊びに向かえるよう、昨日までしていた遊びの写真をホワイトボードに貼っておく。	◇「○○して遊ぶ」としたい遊びを見付けているか①
		＊遊びに使うものを作りたい時に作ったり修理したりできるように、テラスにガムテープや廃材など、製作の道具を準備しておく。	◇作ったり修理したりして遊びに向かっているか①
		◎遊びたい気持ちをより高められるように、「いってきます」という声に明るく応えたり、すでに遊んでいる友達の姿を知らせたり昨日面白かった遊びの話をしたりする。	◇遊びたいものを言ったり遊び始めたりしているか①
		◎思い通りにいかずに困った時には、友達や先生に気持ちを聞いてもらいながら気持ちを落ち着かせられるように、体に触れて安心させたり、気持ちを受け止めたり、どのようにすれば納得するのか一緒に考えたりする。	◇泣きやんだり話し始めたりしているか③
		◎自分のしたいことや困ったことを伝えようと思ったり伝えてよかったと思ったりするように、話し合いのできる状況をつくったり、話したことですっきりしたことや友達が考えてくれていることを喜んだりする。	◇自分の思いを友達に伝えたり伝えた後に笑顔で遊び始めたりしているか⑦
	○野菜の世話 ・水やりをする ・様子を見る ・雑草を抜く	＊野菜の様子に興味をもてるように、友達の気付きやこれまでの世話の様子を知らせる写真を置いておく。	◇写真を見ているか⑪
		◎野菜の生長を楽しみにして水をやったり様子を見たり葉っぱや花など野菜の特徴に気付いたりするように、教師が野菜の様子を気にして呟いたり、近付いて一緒に様子を見たり触ったりする。	◇水をやったり近付いて見たり気付いたことを言ったりしているか⑪
	○虫探し ・虫がいそうなところを探す ・虫を捕まえる	◎チョウやトンボの素早さや色、模様の美しさ、ダンゴムシや新しく見付けた虫の動きの面白さや不思議さを感じられるよう、近付いて捕まえた虫を一緒に見たり色や模様、動きを言葉にしたりする。	◇虫の色や模様、動きを言葉にしたり先生に話したりしているか⑪
	○ポンプを使った遊び	＊必要な時にすぐに取り出して試せるように、近くに木や台、スコップなどを準備しておく。	◇道具を取り出して遊びに向かっているか①
	・穴を掘る ・ポンプ漕ぐ ・橋を作る ・樋を組み合わせる	◎こんな風にしたいと思って水を流したり穴を掘ったり、自分もしてみたいと思ったりするように、子どものしたいイメージを尋ねたり、見ている子どもには、教師も一緒にしようとしていることを具体的な言葉を添えて見せたりする。	◇したいことを言葉にしたり土を掘り始めたりポンプを漕ぎ出したりしているか①
	・壊れたところを直す	◎水の流れや土が崩れていく様子に興味をもったり面白く思ったりするよう、教師が面白がっている姿を見せたり、その状況が生まれるように土の形を変えたりする。	◇変化が起こっているところを見たり様子を言葉にしたりしているか⑫
		◎流したいところに水が流れていかないことを感じて、どうすればいいか考えたり試したりするよう、どの辺りに問題がありそうか尋ねたり一緒に悩んだりする。	◇原因を推測したり道具を持ってきて変えたりしているか⑫
		◎友達と一緒にしたいことを進めていく楽しさや面白さを共感する喜びを感じられるよう、友達の名前を遊びの中で何度も出したり、友達がしている様子を言葉にしたり、みんなでする楽しさに共感したりする。	◇友達の名前を呼んだり顔を見合わせて笑顔になったりしているか⑤
	○アイドル・プリキュアごっこ ・プリキュアの仲間と園庭をお散	＊ショーをする場を作っていけるように、取りやすいところにゲームボックスを置いておいたり、前日と同じように少しだけ準備しておいたりする。	◇ゲームボックスを付け足したり繋げたりしているか⑯
		◎友達と一緒に技を決めたり遊ぶ場所や出来事を決	◇友達の名前を呼ん

	歩をする ・ショーをする ・ガッチャードと闘う	めたりするなど、一緒に遊び方を考えたり考えた遊びを一緒にする楽しさを感じられるように、メンバーを確認したり、それぞれのしたいことをまとめてみんなで共有できるようにしたりする。	だり友達に付いて行ったりしているか⑤
		◎友達が困っていることを知ったり、困った時に友達がどんな気持ちでいるのか気持ちを寄せたりするように、話し合う状況を作ったり、教師が心を寄せる姿を見せたりする。	◇困っている友達の顔を見たり近付いたりしているか⑥
		◎曲のリズムを感じながら踊ったり歌詞に合わせた体の動きを考えたりする楽しさを感じられるように、子どもが踊っているよさを具体的に褒めたりお客さんになって見えるところでリズムをとったりする。	◇リズムに合わせて身体が揺れたり踊りながら笑顔になったりしているか⑭
		◎指先や腕、脚など細かい身体の部位にも意識を向けて様々に動かしながら踊る楽しさを感じられるように、教師も一緒に踊ったり、意識をしながら踊っている動きを具体的に言葉にしたりする。	◇身体全体、手や指先などの部位も動かして踊っているか⑩
	○ガッチャードごっこ ・武器を作る ・仲間やプリキュアと闘う	◎友達とイメージを膨らませて闘いのシーンや役の設定を考えながら遊ぶ楽しさを感じられるように、どんなイメージで遊びたいのか尋ねたり話していることをまとめてみんなで共有できるようにしたりする。	◇したい物語や役を言ったり、言ったことをしてみたりしているか⑮
		◎友達と安全に楽しく遊ぼうと危なくない方法を考えたり考えたことをしようとしたりするように、どんなことに気をつけて闘っているのか思い出させたり危ない思いをして困っている姿を言葉にしたりする。	◇叩く真似をしたり距離をとって闘ったりしているか⑨
		◎相手の攻撃を避けるために素早く身体を避けたり跳んだり回転したり思い切り走って逃げたりするなど、いろいろに身体を動かす気持ちよさを感じられるように、相手の攻撃をどのようにかわすのか期待する言葉をかけたり、子どもがしている身体の動きに驚いたりする。	◇身体をいろいろな方向、速さで動かしているか⑩
	○おままごと ・土、水、花などを使って料理を作る ・オーブンや電子レンジを準備する ・料理を食べたり振る舞ったりする	＊作りたいものをイメージして飾りつけたり形を整えたりする楽しさを感じられるよう、使えそうな花や実を傍に置いておく。	◇作ったものを言葉にしたり飾りつけたりしているか⑬
		◎土やできた色水の様子を見て、水を調整したり変化に気付いたり変化させたりするなどいろいろと試せるように、違いに注目したり、どうしてそのようになったのか尋ねたりする。	◇作ったものを見たり水や砂を足したり自分の考えを言ったりしているか⑫
		◎キッチンと食べるところなど、イメージしている場を自分たちで整えようとするよう、これまでしていたことを思い出させたり、お客さんになってどこで食べるといいか尋ねたりする。	◇食べるところを案内したりオーブンなどを作ったりしているか⑯
	○挑戦遊び ・ボールをつく ・シュートをうつ ・雲梯をする ・鉄棒をする	◎挑戦したいことを見付けて繰り返ししてみようと思えるように、傍で応援したり、ポイントを言葉にしたり、したいことに近付いていることを知らせたりする。	◇何度も繰り返し挑戦しているか①
		◎ボールをついたりシュートを入れたりする時の身体の動かし方をいろいろ試せるように、友達の姿に注目させたり、身体の動かし方を変えたことで変わった状況を具体的に言葉にしたりする。	◇友達のしている姿を見て同じようにしたり動き方を変えたりしているか⑩
		◎鉄棒や雲梯で身体がぶら下がる感覚や身体を支えるための手の握り方や強さを感じたりするように、子どもを支える力を減らしていったり、どこに力を入れているのか尋ねたりする。	◇「手が痛い」と言ったり手を強く握ってぶら下がったりたりしているか⑩

10:20	片付ける ・玩具を洗う ・元あった場所に戻す	◎片付けと知り、まだ遊びたい気持ちを切り替えて片付けに向かえるように、楽しかった遊びの話をしながら教師が出したものを片付け始めたり次にする遊びの話をしたり聞こえているか確認して区切りをつけるまで見守ったりする。	◇遊びをやめて片付け始めているか③
		◎次に使う時に使いやすいように綺麗に片付けようと思ったり綺麗に整える気持ちよさを感じたりするように、表示を見て片付ける場所を探す姿を見せたり綺麗に片付いてすっきりしたことを言葉にしたりする。	◇カゴの表示をみたり種類別に分けて玩具を戻したり「終わった！」と笑顔で言ったりしているか⑯
	手洗い・うがいをする	◎手や喉の奥まで綺麗にすることを意識して手洗いうがいをするように、教師が丁寧に洗っている姿や泡に汚れが付いているところを見せたり、水道の水を止めて急がずに洗うことを勧めたりする。	◇水を止めて丁寧に洗ったり上を向いてうがいをしたりしているか⑧
10:50	振り返りをする ・自分のしたことを話す ・友達の話を聞く	◎楽しかったことを振り返ったり、自分が頑張っていたり工夫していたりしていたことを感じたりするように、今日したことを尋ねたり、教師が見とった姿を言葉にしたりその時の考えを尋ねたりする。	◇楽しかったことやしたこと、自分の工夫や考えを言葉にしているか④
		◎したかったことができたことを感じたり自信をもったりするように、教師が見とった頑張りを言葉にしたり子どもの喜びに共感したりする。	◇笑顔になったり明日もしたいと話したりしているか②
		◎友達がしていることに興味をもったり友達の素敵なところを知れるよう、一緒に遊んでいた友達の名前をあげたりその時の姿を言葉にしたりする。	◇友達の話を聞いたり質問したりしているか⑥
11:00	おやつ・牛乳を飲食する	◎友達と一緒に輪になって顔を見ながらおやつや牛乳を飲食する楽しさを感じられるように、みんなで一緒に食べ始めたり、楽しい話をしたりする。	◇笑顔で食べているか
11:10	絵本をよんでもらう ・「いもむしれっしゃ」	◎いもむし列車が色々な場所で生き物と出会って話をしたり危険な場面で助けてもらったりする時の気持ちを感じたり話の展開を楽しんだりするように、声色を変えて読んだりページをゆっくりめくったりする。	◇絵をじっと見たり、出てきた虫の動きを言葉にしたり笑ったりしているか⑮
11:15	トンネルをくぐって散歩に行こう ・散歩する ・トンネルを作る	◎クラスのいろいろな友達と触れ合って遊ぶ楽しさを感じられるように、ペアを組み直す機会を何度か設けたり一緒に遊ぶ楽しさを言葉にして共感したりする。	◇いろいろな友達と手を繋いだり顔を見合わせて笑顔になったりしているか⑤
	・トンネルをくぐる	◎曲のリズムに合わせて散歩したり終わりのタイミングを図ったりして遊ぶ楽しさを感じられるように、リズムよくピアノを弾いたり分かりやすく最後の和音を高音で短く切ったりする。	◇歌ったり身体をリズムに合わせて動かしたりしているか⑭
11:40	降園準備をする ・ロッカーの中うや上を確認する ・鞄に畳んだタオルを入れる	◎ロッカーの上や中、鞄の中を整えようと思ったり整えた状態を見て気持ちよさを感じたりするよう、ロッカーの状態を一緒に確認したり、タオルを丁寧に畳んで鞄の中に入れる姿に感心したり綺麗になった気持ちよさを言葉にしたりする。	◇ロッカーの上のものを片付けたりタオルを畳んだりしているか⑯
	・明日の話をしたり聞いたりする	◎明日の話を聞いたり好きな遊びを思い出したりして、明日したいことを決めたり楽しみにしたりするように、明日皆としたいと思っている話をしたり好きな遊びでしたいことを尋ねたりする。	◇明日しようと思っていることを言っているか①
11:50	降園する		

背番号　黄１～19

５歳児 さくら１組（男９　女10　計19名）保育指導案

指導者　小園　佳歩

１．日　時　　令和６年６月４日（火）９：００～１２：００

２．最近の具体的な子どもの姿

登園・持ち物の始末をする	○友達や教師に親しみを感じ、自分から挨拶をしたり遊びに誘ったりしている。	他者といる喜びを感じる
	○どのシールを貼るか楽しみにしたり、カレンダーを見ながら遠足が近付いてきたことを嬉しく思ったりしている。	自ら決める・選ぶ
	○昨日の続きの遊びをしたいと思い必要なものを準備したり、友達を誘ったりしている子どもがいる一方で、したい遊びが見付かっていない子どももいる。	自ら決める・選ぶ
野菜・生き物の世話をする	○生き物は毎日世話をしないと死んでしまうと思い、世話を毎日する方法をみんなで話し合い、友達のウサギや世話が苦手な気持ちを受け止めたり、自分の考えを伝えたりして、3人ずつで順番にしていくことをみんなで決めている。	人と物事を進める
	○育てている野菜やうさぎ、カメに愛着をもち、様子を気にしたり、積極的に世話をしたりしようとしている子どもや、糞の始末や図鑑で野菜の世話の仕方を調べることなどを面倒だと思ったり嫌だと思ったりして、あまり世話をしなかったり、自分がしたい世話だけをしている子どもがいる。	生き物・命を見つめる
映画館ごっこ	○面白い映画を作りたい、たくさんのお客さんに映画を見てほしい、ジュースを飲んでほしいと思い、映画を何本も撮ったりお客さんを呼んだりしている。	自ら決める・選ぶ
	○自分達の映画が撮れたことやたくさんのお客さんに見てもらえたこと、お客さんに映画やジュースを喜んでもらえたことなどを嬉しく思っている。	自分に満足する
	○一緒にプリキュアになってゴジラを倒したり、映画館の準備をしたりする仲間がいることを嬉しく思っている。	他者といる喜びを感じる
	○友達の好きなキャラクターやしたいこと、考え、気持ちに気付いたり、認めたりしようとしている。	他者のことを知る
	○自分のしたいことや友達にしてほしいこと、考えや気持ちを友達に伝えようとしたり、教師に支えられて伝わるまで伝えようとしたりしている。	自分のことを伝える
	○映画館を開く時に、チケットを回収する、電気を消すなどの自分ができることをしようとしている。	人と物事を進める
	○作りたいものをイメージして、素材を選んだり、組み合わせたり、色を付けたりしている。	造形に表す
	○場面に合った曲を選んだり、お化けの雰囲気が出る音をキーボードで鳴らしながら探したり、曲のリズムやテンポ、曲調を感じたりしている。	音楽に表す
	○なりたいキャラクターや生き物の特徴に合わせて話し方や体の動き、表情などを考えたり変えたりすることを楽しんでいる。	身体の動きに表す
	○よりリアルになるように、街の絵を描いて背景にしたり動画を低い位置から撮ってゴジラの大きさを感じさせたり、プリキュアの変身シーンをしたりしている。	演出に表す
	○映画館ごっこがより面白くなるように、人間劇をしたりペープサートをしたり、模型を作ったりしていろいろな方法で映画を撮ろうとしている。	演出に表す
	○より映画館らしくなるように、保育室のカーテンを閉めて電気を消したり、お客さんがジュースを飲みながら映画を見れるように準備をしたり、ポスターを作ったりしている。	演出に表す
砂・土・水を使った遊び	○とても深い穴ができたことや、素敵なご飯ができたこと、お客さんに喜んでもらえたことなどを嬉しく思っている。	自分に満足する
	○土や砂の種類によって感触や水と混ぜた時の状態が違うことを感じたり、その違いを活かしてご飯作りをしたり、水と砂や土の混ぜる量によってどろどろさが違うことに気付いたりしている。	事物・現象を捉える
	○深く穴をほり、その穴に入った時の自分の目線の高さと穴に入っていない時の目線の高さを比べてその高さや見えるものが変わることに気付いたり面白いと感じたりしている。	事物・現象を捉える
	○花や葉などを食材に見立てて彩りが素敵なご飯を作っている。	造形に表す
ピューロランドご	○キャラクターで何かしたいが、具体的な遊びのイメージがはっきりしておらず、したいことが見付からないことが続いている。	自ら決める・選ぶ

っこ	○キャラクターのイメージに合わせて色や形を考えたり素材を組み合わせたりしている。	造形に表す
ボールを使った遊び	○教師や友達に伝えてもらって、上手くなりたいと思って頑張り続けている自分や、ボール遊びが好きな自分に気付いたり認めたりしている。 ○どうしたら試合としてうまくいくか、どんなルールにしたら面白くなるかを教師の力を借りながら友達と話し合って考えたり考えたことをしてみたりしている。 ○ボールをつくタイミングや勢いなどによってボールの跳ね返り方が違うことを感じている。 ○ボールを全力で追いかけたり、ボールのつくタイミングや力を調節しようとしたりしている。	自分のことを知る 人と物事を進める 事物・現象を捉える 身体を操作する
氷鬼	○自分の思いを通したい気持ちが強く、友達の考えを受け入れにくかったり、思いが通らないと遊びをやめてしまったりする子どももいる。 ○鬼の決め方や人数、場の広さ、ルールなど必要に合わせてみんなを集めたり提案したりして、教師の力を借りながらみんなで楽しく遊ぶにはどうするとよいかみんなで考えたり決めたりしようとしている。 ○腕や足をしっかり振り思い切り走ったり、相手の動きに合わせて向きを変えたり体を翻らせたりしている子どもがいる一方で、相手の動きにすぐ反応できず立ち止まったままでいてタッチをされている子どももいる。	気持ちをコントロールする 人と物事を進める 身体を操作する
片付けをする	○次の活動の見通しをもって今した方がいいことを考えて動いている子どもがいる一方、見通しをもたず教師の声掛けがないと集まろうとしない子どももいる。 ○遊びたい気持ちや保育室にみんなが戻っているわけではない状況を見て、もう少し遊べると思い遊び続けて気持ちに折り合いをつけることが難しい子どもがいる。 ○自分達が使ったものを綺麗にしたいと思って片付けを進めているが、少し道具が残っていても気にせず片付け終わったことにしている。	自ら決める・選ぶ 気持ちをコントロールする 場や状況を整える
振り返りをする	○友達の遊びや楽しんでいること、したいと思っていることなどを感じている。 ○自分のしたかったことやみんなに伝えたいことが伝わるように、言葉を加えたり実物を見せたりしながら伝えようとしている。 ○楽しかったことや頑張ったことを振り返り、楽しかった気持ちを改めて感じたりみんなにも認められた嬉しさを感じたりしている。 ○自分の遊びを振り返ったり友達の遊びを聞いたりして、明日したいことを決めたり、楽しみに思ったりする。	他者のことを知る 自分のことを伝える 自分に満足する 自ら決める・選ぶ
手洗い・うがいをする・おやつと牛乳を飲食する	○体にばい菌が入ることでどうなるか教師に知らせてもらったり、自分で必要を感じたりして、手洗いやうがいに向かおうとしている。 ○袖を捲らずにしたり、うがいの種類の違いやその意味を分からずにうがいをしたり、必要を感じず手洗いやうがいをしないままの子どももいる。 ○友達とおやつの袋や牛乳の番号などが一緒だったか確かめたり、遊びの話をみんなとしたりしながら、友達と一緒に食べる楽しさを感じている。 ○おやつの食感を味わったり匂いを嗅いだりしておやつを味わっている。	体の健康を保つ 体の健康を保つ 他者といる喜びを感じる 食を見つめる
絵本を読んでもらう	○登場人物の気持ちになって次の展開にドキドキしたり、いろいろな気持ちを感じたりしている。 ○擬音語や擬態語、リズムのある言葉の面白さを感じたり、そのリズムを楽しんだりしている。	文芸に表す 文芸に表す
ボール遊びをする	○友達と身体をくっつけて遊んだことや、みんなで考えたことで遊びがより面白くなったこと、ボールを落とさずに運べたことなどを嬉しく思っている。 ○友達と身体をくっつけたり力を合わせえて一緒にボールを運んだりすることを嬉しく思っている。 ○より遊びが面白くなるため、ボールを運ぶだけでなく投げたり蹴ったりして新たなルールをみんなで考えを出したり、考えたことを試してみたりしている。 ○友達の力加減に合わせて力の入れ方を変えたりバランスを取ろうとしたり、ゴールを狙ってボールを投げたりしている。	自分に満足する 他者といる喜びを感じる 人と物事を進める 身体を操作する
降園準備・降園をする	○タオルや水筒を忘れる衛生的な可能性を考えず、持ち帰るのを忘れていたり友達に気付かされて取りに行ったりすることが日常になっている子どももいる。 ○自分達でグループの人数が揃っているか確かめたり、いない友達を呼んだりして、グループで集まってから並ぼうとしている。	体の健康を保つ 人と物事を進める

3．ねらい

① 昨日の続きをしたい、遊びをもっと面白くしたいなどと思い、したいことを具体的に思い浮かべて遊びに向かい続けたり、ボールを落とさずに運びたい、グループで勝ちたい、ボール運び遊びをもっと面白くしたいと思って取り組んだりする。 自ら決める・選ぶ 問題を認識する

② イメージしていた遊びに近付いてきた、考えたことをやってみたらもっと面白くなった、ボールを落とさずに運べた、グループで力を合わせて楽しかったなどと思い、充実感を味わう。 自分に満足する

③ 遊び続けたい気持ちや自分だけがたくさん話したい気持ちを、周りの状況を見たり、友達や教師に気付かせてもらったり、次の活動の見通しをもったりして気持ちに折り合いをつけようとする。 気持ちをコントロールする

④ 自分の好きなことや苦手なこと、言い方や言葉や態度などを友達や教師に気付かせてもらったり自分で振り返ったりして気付いたり認めたりしようとする。 自分のことを知る

⑤ 一緒に遊ぶ仲間がいる嬉しさや、友達と考えや気持ちを出し合いながら一緒に遊ぶことの心地よさや楽しさを感じる。 他者といる喜びを感じる

⑥ 友達の好きなことや得意なこと、苦手なこと、頑張っていることや面白いところなどに気付いたり、認めたりしようとする。 他者のことを知る

⑦ 自分の気持ちや考えを友達に直接伝えようとしたり、言葉を加えたり言い換えたり例を挙げたり実物を見せたりして伝え方をいろいろに工夫しながら伝わるまで伝えようとしたり、伝えるよさを感じたりする。 自分のことを伝える 豊かに発想し、追求の手立てを構想する

⑧ 遊びのイメージを共有しながら、もっと遊びが面白く楽しくなるために、みんなで集まって話をする必要を感じたり、自分ができることを考えて動いたり、自分の考えを伝えたり友達の考えを受け入れたりして納得いくまで話し合おうとする。 人と物事を進める 問題を認識する

⑨ 手洗いやうがいの必要性を感じて、自らしようとしたり、袖をまくったり丁寧にしようとしたり、タオルや水筒を持ち帰る理由を感じて忘れず持ち帰ろうとする。 体の健康を保つ

⑩ 氷鬼で思い切り走ったり相手の動きに合わせて自分の動きを素早く変えたり、ボール運び遊びで友達との力加減やバランスを考えて動いたりしようとする。 身体を操作する

⑪ 野菜や生き物を大切に思ったり、変化に気付いたり、野菜の生長を喜んだり、様子を気にして必要な世話をしようとしたりする。 生き物・命を見つめる

⑫ 土や砂、水の量を調節して自分の思っている硬さにしたり、土のトンネルが崩れないように掘る方法を予想したり、試してみてどうだったか考えたりしながらトンネルを作ったりしようとする。 事物・現象を捉える 推論する 実行し、その結果を基に判断する

⑬ 作りたいもののイメージに合わせて素材を選んだりその素材の特徴を活かしたり、色や大きさ形、硬さ、組み合わせ方などを工夫して作ったりしようとする。 造形に表す 豊かに発想し、追求の手立てを構想する

⑭ 映画の物語を考えようとしたり、役の設定を活かそうとしたり、物語を考える面白さを感じたり、絵本で登場人物のいろいろな気持ちを感じたり、展開にドキドキしたりする。 文芸に表す 豊かに発想し、追求の手立てを構想する

⑮ なりたいものに合わせて動きや話し方、表情などを変えたり、役の気持ちを考えて動いたりしてなりきる楽しさを感じる。 身体の動きに表す

⑯ したい表現がお客さんにより感じてもらえるように、動画の取り方や道具の使い方などをいろいろに工夫して考えたり試したりしようとする。 演出に表す 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する

⑰ 遊び場がより楽しくなるように、ものの置く位置や向きなどを考えたり、場の使いにくさを感じて場作りをし直そうとしようとしたり、場が整っているか確かめたり物を収めたりして場が整う心地よさを感じたりする。 場や状況を整える 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する

4．展 開

時刻	予想される幼児の活動	＊環境の構成及び再構成　◎教師の援助	◇評価の観点
9:00	登園する ・友達や教師に挨拶をする ・通園ノートにシールを貼る ・荷物を始末する ・手洗いやうがいをする	◎友達や教師に挨拶をしたりされたりする嬉しさを感じられるように、目線を合わせたり名前を呼んだりして挨拶をする。 ◎荷物を丁寧に収めようと思えるように、ロッカーからはみ出てないか一緒に確かめたり荷物がすっきり収まっている様子を言葉にしたりする。 ◎必要を感じて丁寧に手洗いやうがいをしたり袖を捲ったりしようと思えるように、袖が	◇自分から挨拶をしたり、笑顔で挨拶を変えしたりしているか⑤ ◇荷物がはみ出ないように収めたり、確かめたりしているか⑰ ◇手洗いの仕方の掲示を見ながらしたり、ガラガ

		濡れている状態を知らせたり、丁寧にするよさを言葉にしたりする。	ラうがいをしたり袖を捲ったりしているか⑨
	好きな遊びをする ・昨日の遊びの続きに向かう ・友達を遊びに誘う ・友達と話をしたり、友達の考えや気持ちを聞いたりする ・友達とイメージを共有して話し合いながら遊ぶ	＊遊びの続きをしようと思えるように、前日の振り返りなどで子どもがしたいと言っていたことがかいてあるボードを子どもが遊びに行く前に目に付く場所に置いておく。 ◎遊びの続きをしようと思えるように、したいと思っていたことを言葉にしたり、遊びの発展に期待する気持ちを伝えたりする。 ◎友達と一緒に遊びを続けたいと思えるように、昨日の遊びの様子を子どもの名前を出しながら伝えたり、一緒にする友達がいる嬉しさを言葉にしたりする。 ◎伝えたいことを伝わるまで伝えようと思えるように、伝わっているか尋ねたり、どうしたら伝わるか一緒に考えたりする。 ◎友達の気落ちや考えを知ろうと思ったり認めたりしようと思えるように、どんな思いだったか教師が気にする姿を見せたり、相手に気持ちを尋ねたりする。 ◎自分の個性に気付いたり認めたりしようと思えるように、教師が感じたその子どもの個性を言葉にする。 ◎遊びを一緒に進めていこうと思えるように、全員いるか確かめたり目的を確かめて共有したり、今何ができそうか尋ねたりする。 ◎遊びが面白くなってきたことや素敵なものができたことを嬉しく思えるように、前と比べて変わったことを言葉にしたり、遊びがより面白くなったことを一緒に喜んだりする。	◇ボードを見て遊びに向かったり友達を誘ったりしているか① ◇したいことを話したり遊びに向かったりしているか① ◇友達を誘ったり友達と笑顔で遊びの話をしたりしているか⑤ ◇何度も話しかけたり言い換えたりして伝えているか⑦ ◇友達の様子を見たり、考えや気持ちを友達に尋ねたりしているか⑥ ◇個性を話したり教師の言葉で笑顔になったりしているか④ ◇友達を呼び集めたり今日したいことを話し合ったりしているか⑧ ◇笑顔になっていたり自分の工夫や頑張りを言葉にしたりしているか②
	○野菜・生き物の世話をする ・野菜の様子を見る ・野菜や生き物に必要な世話をする	＊野菜の生長を感じたり世話をしようと思ったりするように、野菜の生長や世話の過程が分かる掲示を子どもの目に付く場所に置いておく。 ◎野菜の生長を感じたり世話をしたりするように、教師が野菜を気にかける姿を見せたり、必要な世話を一緒に調べたりする。 ◎生き物を大切に思い世話をしようと思えるように、世話をすることで生き物がどう思っていそうか予想して言葉にする。	◇掲示を見たり、野菜を見に行ったり水やりや間引きなどをしたりしているか⑪ ◇野菜を見に行ったり、図鑑で必要な世話を調べたりしているか⑪ ◇笑顔になったり野菜の気持ちを言葉にしたりしているか⑪
	○映画館ごっこをする ・衣装や小道具などを作る ・撮影する ・ドーナツやチュロスなどを作る ・座席を並べる ・お客さんを呼ぶ など	＊したいことを思い出してしようと思えるように、今までの過程やしたいことが分かる掲示を遊び道具の近くに置いておく。 ◎したいことのイメージを友達と共有しながら進めようと思えるように、今日したいことをみんなで決めているか確かめたり、役割を分けているよさを言葉にしたりする。 ◎物語を作ったりその面白さを感じたりするように、具体的な設定を尋ねたり、役の行為の動機や展開を一緒に考えたりする。 ◎細かな動作や気持ちもなりきろうと思えるように、なりきっている要素を具体的に言葉にしたり、その役の気持ちを尋ねたりする。 ◎表現したいことがお客さんにより伝わるように、教師が映画を撮って撮影の仕方やその効果を見せたり、お客さんとして感じたことを言葉にしたりする。	◇掲示を見たり、したいことを話したりしているか① ◇友達を呼び集めたりすることを話し合ったりしているか⑧ ◇物語の展開を話したり役の気持ちを言葉にしたりしているか⑭ ◇表情や動作などもやりきっているか⑮ ◇動画の撮り方を変えたり、道具の使い方を話し合ったりしているか⑯

		◎より素敵なドーナツやチュロスを工夫して作ろうと思えるように、紙粘土に混ぜる絵の具の量に教師が注目したり、色や形組み合わせ方など工夫しているところを具体的に言葉にしたりする。 ◎お客さんが楽しめる場作りをするように、客として感じた場のことを伝えたり、場の使いやすさを考えている姿を言葉にしたりする。	◇絵の具の量を少しずつ増やしたり、作りたいものが変わると素材を選びに行ったりしているか⑬ ◇お客さんの様子を見てものの位置や向きなどを変えているか⑰
	○砂・土・水を使った遊びをする ・土山を深く掘ったりトンネルを作ったりする ・ポンプから水を流す ・自然物や土、砂、水を使って料理をする	＊いろいろな実や植物を使って素敵な料理を作ろうと思えるように、実を入れられるカゴを置いておいたり、教師が見付けた植物を遊び場の近くに置いたりしておく。 ◎いろいろな実や植物を使って素敵な料理を作ろうと思えるように、作りたいものに合わせて植物を選んだり土や水の混ぜ具合を調節したりしている様子を言葉にしたり、教師が隣で彩りや硬さなどを意識して一緒に作ったりする。 ◎土と水の量を調節したり、どう掘れば崩れないか予想してトンネルを作ったりしたことを振り返ったりしようとするように、混ぜる量による泥の状態の変化に注目したり、どの箇所を掘ると崩れそうか尋ねたりする。	◇実や植物を使ったり組み合わせたりして料理をしているか⑬ ◇作りたいものによって水の入れる量を変えたり、いろいろな色の植物を使って料理をしたりしているか⑬ ◇土に水を少しずつ入れたり、泥の状態を見たり、トンネルを掘る箇所をいろいろ見てから決めたりしているか⑫
	○氷鬼をする ・鬼になって追いかける ・逃げになって鬼の動き合わせて走る速さや向きを変える ・凍っている仲間をタッチして助ける ・遊びのルールについてみんなで話し合う	◎思い切り走ったり相手の動き合わせて動きを変えたり、身体を翻らせて避けたりしようと思えるように、動きのポイントを言葉にする。 ◎必要なことをみんなで集まって話し合おうと思えるように、誰と話したいことかやみんなが集まっているのか尋ねたり、話し合って決めたから遊びが面白くなってきたことを言葉にしたりする。	◇相手の動きを見て走る向きや速さを変えたり、身体を翻らせて避けたりしているか⑩ ◇友達を呼び集めたり、自分の考えを伝えたり友達の考えを聞いたりしてルールを決めているか⑧
	○ピューロランドごっこをする ・的やご飯、キャラクターの耳がついたカチューシャなどを作る ・お客さんを呼ぶ	◎キャラクターのイメージに近付けてグッズを作ろうと思えるように、キャラクターの特徴が表れていることを言葉にしたり、作りたいものに合った素材を一緒に探したりする。 ◎より楽しい遊び場になるように、物を置く位置や高さ向きなどを一緒に考えたり、お客さんの様子に合わせて場作りをし直すことを提案したりする。	◇キャラクターと見比べて作ったり、素材を選んだりしているか⑬ ◇周りを見ながらものの置き場所を決めたり、ものを動かし直したりしているか⑰
10:30	片付ける ・使ったものを洗ったり次に使いやすいように整えたりして元の場所に戻す ・場が整っているか確かめる	◎気持ちを切り替えて片付けようと思えるように、次の活動を事前に知らせたり、その活動をしたいか尋ねその上で今どうしたらいいか尋ねたりする。 ◎ものが収まったり整っていたりする心地よさを感じられるように、整っている心地よさや整っていない心地悪さを言葉にしたり、整えるようとする姿を認めたりする。	◇次の活動を教師に尋ねたり、片付けに向かったりしているか③ ◇ものを丁寧に洗ったり整えたりしまったり、片付けた後にその場を見たりする⑰
	手洗い・うがいをする ・手洗いやうがい、消毒をする	◎必要を感じて自ら丁寧に手洗いやうがいをしようと思えるように、手洗いやうがいをする理由を言葉にしたり、丁寧にしている姿を知らせたりする。	◇自分から手洗いやうがいをしたり、丁寧にしたりしているか⑨

10:50	振り返りをする ・友達に知らせたいことを伝える ・友達の遊びの話を聞いたり相談に乗ったりする ・明日したい遊びを考えたり決めたりする	＊明日のしたい遊びをきめようと思えるように、遊びのポイントをかいたり子どもの写真カードを貼ったりしているボードを用意しする。 ◎今日の遊びに充実感を味わえるように、教師が見取った工夫しているポイントを知らせたり、子どもに特に楽しかったことを尋ねたりする。 ◎友達の遊びや楽しんでいることを知ろうと思えるように、知りたいことはないか尋ねたり、教師が関心を寄せる姿を見せたりする。 ◎明日の遊びを楽しみに思えるように、明日したい遊びを具体的に尋ねたり、教師のアイディアを知らせたりする。	◇ボードを見たり写真カードを貼り替えたり、明日のしたいことの話をしたりしているか① ◇楽しかったことを話したり笑顔で話を聞いたりしているか② ◇友達の顔を見て話を聞いたり知りたいことを尋ねたりしているか⑥ ◇明日したいことを話したり、笑顔になったりしているか①
11:05	おやつや牛乳を飲食する	◎友達と一緒に飲食する嬉しさを感じられるように一緒に飲食する嬉しさを言葉にする。	◇友達と顔を見合ったり話したりしているか⑤
11:15	絵本を見る ・『ゆらゆらばしのうえで』を読んでもらう	◎丸太が傾きうさぎとキツネが落ちそうになるドキドキ感を味わえるように、絵をゆっくりと見せて素早くページを捲る。 ◎敵同士だったうさぎとキツネが仲良くなっていく時のいろいろな気持ちを感じられるように、仲良くなった後のセリフをゆっくり明るい声色で読む。	◇絵をじっと見たり、感じた気持ちを呟いたりしているか⑭ ◇笑顔でじっと見ているか⑭
11:20	ボール運び遊びをする ・友達と身体のどこかでボールを挟んで運ぶ ・ボールをゴールや友達に向かって投げる ・遊びがより面白くなることや困ったことを話し合う	＊遊びの経過が分かった上で遊びのルールを考えようと思えるように、今までみんなで考えたことをホワイトボードに残しておく。 ◎グループで勝ちたい、ボールを落とさず運びたいなどと思えるように、勝ちたい気持ちや落としたくない気持ちを尋ねる。 ◎グループの友達と力を合わせる楽しさを感じられるように、グループ全員の名前を呼んで一緒にする楽しさを言葉にする。 ◎友達との力加減やバランスを考えて身体を動かそうと思えるように、力を調節している姿を言葉にしたりどこに力を入れているか尋ねたりする。 ◎必要なことをみんなで話し合おうと思えるように、みんなと相談したいことがないか尋ねたり、教師が一緒に考える姿勢を見せたりする。 ◎ボール運び遊びをより面白くしようと思えるように、どんな要素を加えたらよいか尋ねたり、教師も一緒にアイディアを出したり試して決めてみることを提案したりする。 ◎みんなでたくさん身体を動かして楽しく遊べたと思えるように、今日の遊びがどうだったか尋ねる。	◇ボードを見たり、面白くなると思った考えを話したりしているか⑧ ◇勝ちたい気持ちや落とさず運びたい思いを言葉にしているか① ◇グループの友達と顔を見合ったり名前を呼び合ったりしているか⑤ ◇相手の動きに合わせて自分の動きを変えているか⑩ ◇考えたことや感じたことを伝えたり、友達の話を聞いたりしているか⑧ ◇遊びが面白くなる考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりしているか⑧ ◇楽しかった気持ちを話したり笑顔になったりしているか②
11:50	降園準備をする ・身支度をする	◎必要を感じてタオルや水筒を忘れずにお持ち帰ろうと思えるように、タオルや水筒を表すにいるとバイキンが増えることを言葉にしたりそのことを気にする様子を見せたりする。	◇自分でタオルや水筒を取りに行ったり、置いておくとバイキンが増えることを言葉にしたりしているか⑨
12:00	降園する ・グループの友達が揃ったか確かめて並ぶ	◎自分達でグループで人数を確かめて集まろうと思えるように、人数が揃ったか尋ねたり、自分達で人数を確かめるよさを言葉にしたりする。	◇友達を呼んだり人数を数えたりしているか⑧

背番号　黄 21～39

５歳児　さくら２組（男 10　女９　計 19 名）保育指導案

指導者　筒井　日奈子

１．日　時　　令和６年６月４日（火）９：００～１２：００

２．最近の具体的な子どもの姿

登園する 持ち物の始末をする	○このシール貼りたい、昨日と一緒のシールにしたいと思って自分の好きなシールを通園ノートに貼ろうとしている。 ○仲良しの友達や先生に出会い、笑顔で挨拶を交わしたり家庭での出来事や今日したいことを話すことに嬉しさを感じている。 ○朝の支度を進めながら友達を遊びに誘ったり、誘ってもらったりして一緒に遊ぶことを嬉しく感じている。 ○丁寧に自分の鞄や帽子の置き場所に物を置き、朝の支度をしようとしている子もいれば、乱雑に置いて遊びにいこうとする子もいる。	自ら決める・選ぶ 他者といる喜びを感じる 場や状況を整える
手洗いうがい	○石けんで手を丁寧に洗っている子や、うがいを忘れていたり外から帰った時にぶくぶくうがいをしていたりする子もいる。	体の健康を保つ
生き物夏野菜の世話をする	○生き物の世話をしたい、餌をあげたいと思って当番表を見たり自分のグループの番だと思って楽しみに登園したりしている。 ○育てている野菜に花が咲いたり実がなったりしていることを知り、笑顔で先生に知らせたり野菜を撮った写真を見返したりしている。 ○メダカやウサギ、カメが餌を食べているか気になり、しばらく食べる様子をじっと見つめたり撫でてあげたいと思い優しく触れたりしている。	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 生き物・命を見つめる
ご飯やさんごっこ	○友達に自分の気持ちや考えを落ち着いて伝えようとしている子や、強い口調で伝えている子もいる。 ○友達や先生に自分の作った料理を食べてもらったり一緒に料理を作ったりすることに嬉しさを感じている。 ○料理によって土と水を合わせる配分を変えたり、料理に使った球根の断面を見て植物によって断面が違うことや切った時の感覚の違いに驚いたりしている。 ○役を決め、その役になりきって会話したり料理を作ったりすることを楽しんでいる。	自分のことを伝える 他者といる喜びを感じる 事物・現象を捉える 身体の動きに表す
色水遊び	○友達と一緒にどの色の花にするのかを決めたり、完成した色水を一緒に見合ったりすることを嬉しく感じている。 ○花を潰すときれいな色や予想外の色になったと驚いたり、別の花を混ぜるとどうなるのかやってみたりしている。 ○作りたい色を決めて、その色に必要そうな花を選んだり作った色水の色を見てきれいだと思ったりしている。	他者といる喜びを感じる 事物・現象を捉える 造形に表す
山の滑り台 ダンボール滑りを使った遊び	○多人数で滑りたい、寝転がって滑りたいと思ってどうやって滑ろうか考えたり試してみたりしている。 ○スピード感にドキドキしながら滑ることを楽しんでいる。 ○坂道を登るために足先に力を入れて踏ん張ったり重心を前に倒して登ったり、持ち手を掴み脇を締めて体を引き上げようとしたりしている。 ○友達と一緒に手を繋いで滑ったり段ボールを敷いて一緒に滑ったりすることを楽しんでいる。 ○友達が登ろうとする姿を見て、上から引っ張ってあげると登りやすいのではないかと考えて手を差しのべたり、掴む場所を教えたりしている。 ○段ボールの大きさを見て友達が何人一緒に滑ることができそうかを予想したり、自分も乗る程の空間がありそうか見て考えたりしている。	自ら決める・選ぶ 身体を操作する 他者といる喜びを感じる 他者のことを考えて行動する 空間を捉える
コナンごっこ	○どの材料で作ればよりコナンの道具にらしくなるかを、いろいろな素材を試してみたり見比べたりして作ろうとしている。 ○コナンや怪盗キッドになりきって戦ったり、口調を変えたりしてごっこ遊びを楽しんでいる。 ○よりコナンの世界観に近付くように宝の置く場所やコナンが怪盗キッドを捕まえる時はどうしようかと考えてやってみようとしている。	造形に表す 身体の動きに表す 演出に表す

サンリオピューロランド作り	○乗り物を作りたい、カチューシャを作りたいと思って作ろうとしている。 ○友達と一緒に道具を作ったりメニューを考えたり、考えを出し合ったりすることを楽しんでいる。 ○食べ物や道具を本物のように作りたいと思って、写真やイラストを見ながら、素材を選んだり細かいところまで表現しようとしたりしている。	自ら決める・選ぶ 他者といる喜びを感じる 造形に表す
片付ける	○遊んでいた道具や材料を最後まで片付けようとしている子もいれば、少し物が残っていても片付いたと思って保育室に帰ってきている子もいる。 ○たくさんあった物を片付けることができた、道具が洗ってきれいになったことや終わったことに満足して、頑張ったことを呟いている。 ○まだ遊びたいと思っているがあと何回したら片付けようと自分で区切りをつけたり、先生と相談して片付けるタイミングを決めたりしている。 ○その場にいない子に一緒に遊んだことを伝えに行ったり、どうして一緒に片付けようとしないのか疑問に思って尋ねたりしている。 ○空いている空間を見付け、空間に合った物を置いたり入れたりしている。 ○置いている物を少し動かせば空間ができ、持っている物を片付けることができそうだと思い、物を動かして空間を作ろうとしている。	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 気持ちをコントロールする 自分の気持ちを伝える 空間をとらえる 住空間を整える
うがい手洗い服を着替える	○清潔な手でおやつを食べようとしたり目に見えない汚れを落とすためにがらがらうがいをしたりしている。 ○水で濡れたり、汚れたりした服を気持ち悪いと感じ、着替えたいことを先生に伝えたり、自分で着替えようとしたりしている。	体の健康を保つ
遊びの振り返りをする	○友達や先生の話を聞いたり質問したりして、どんなことをして遊んでいたのかやその子の個性を知ったり、興味をもったりしている。 ○友達や先生に話を聞いてほしいと思って手を挙げて待っている子もいれば、友達の話の途中から自分の言いたいことを伝える子もいる。 ○遊びの中で楽しかったことや困ったこと、気付いたことを伝えたり疑問に感じたことを友達や先生に尋ねたりしている。 ○もっと遊びが面白くするために、困っていることや感じていることを友達に伝え、一緒に考えたり提案したりする。	他者のことを知る 自分のことを伝える 人と物事を進める
おやつ牛乳を飲食する	○おやつの袋を開けにくそうにしている友達を見て、開けようかと提案したり開けてあげたりしている。 ○今日のおやつは何かと先生に尋ねたり友達と予想したりして、食べることを楽しみにしている。	他者のことを考えて行動する 食を見つめる
手つなぎ鬼	○困ったことや感じたことの理由や気持ちを友達や先生に伝えようとしたり伝わっていないと思ったら言葉を言い換えたりしている。 ○友達と一緒に手を繋いで追いかけることや一緒に逃げること、タッチをされることを嬉しく感じている。 ○楽しく遊ぶために困ったことやどうしたら面白くなるかを一緒に考えたり提案したりして出た意見をもとにもう一度やってみようとする。 ○タッチされないように又はするために、走って逃げたり走る方向を変えたり一緒に走るためにスピードを調節したりして身体を動かすことを楽しんでいる。	自分のことを伝える 他者といる喜びを感じている 人と物事を進める 身体を操作する
絵本を読んでもらう	○絵本の展開や登場人物の言葉、気持ちに思いを寄せながら読んでもらうことを楽しんでいる。 ○自分が見えやすい場所はどこかを移動しながら探そうとしている。	文芸に表す 場や状況を整える
降園の支度をする降園する	○教師から明日しようと思っている遊びや活動を聞いて明日遊びたいことや活動を楽しみにしながら降園している。 ○降園の準備をしながら友達が忘れものをしていることに気付き、友達に届けてあげたり知らせたりしている。	自ら決める・選ぶ 他者のことを考えて行動する

３．本日のねらい

①	この遊びがしたい、素敵なものを作りたい、昨日の続きをしたいと思ってしようとしたり、鬼から逃げ切りたい、タッチをしたいと思って遊ぼうとしたりする。	自ら決める・選ぶ
②	作りたいと思っていた物が完成したこと、友達や先生に認めてもらったこと、自分がやりたいと思っていたことができたりし、手つなぎ鬼で逃げ切ったりタッチされなかったりしたことを嬉しく思ったりする。	自分に満足する
③	友達に思いが伝わらなくて悲しい、困った気持ちを受け止めてもらって気持ちを落ち着けてようとする。	気持ちをコントロールする
④	友達や先生と一緒に遊んだり話を聞いたり聞いてもらったり嬉しかった気持ちを受け止めてもらったりして嬉しさを感じたり、手を繋いで鬼ごっこをしたり一緒に逃げたりすることに喜びを感じたりする。	他者といる喜びを感じる
⑤	友達の話や気持ちを聞いて、友達のしていた遊びに興味をもったり気持ちを知ったり気付いたり認めたりする。	他者のことを知る
⑥	自分の感じたことや気持ちを友達に伝えるために、何度も話しかけたり言葉を言い換えて伝え方を工夫しようしたりする。	自分のことを伝える
⑦	友達の様子を見て困ったりしていることに気付き、手を貸そうとしたり知らせようとしたりする。	他者のことを考えて行動する
⑧	皆が楽しく遊び、より面白くなるためにはどうしたらよいか、考えたり友達の話を聞いてこうしたらよいのではないかと提案したりして進めようとする。	人と物事を進める
⑨	汚れているから清潔を保つために手を洗おうと思ったり、目に見えない菌やおやつの汚れを落とすためにブクブクうがいとガラガラうがいを使い分けたり風邪をひかないように濡れた服を着替えたりしようとする。	体の健康を保つ
⑩	山の滑り台の坂道を登り切るために、足先に力を入れ重心を前にして登ったり脇を締めて体を引き上げようとしたりする。	身体を操作する
⑪	力一杯走ったり体をひねったり、足を踏ん張って方向転換したり友達が走るに合わせて走るスピードを調節したりしながら手つなぎ鬼ごっこを楽しむ。	身体を操作する
⑫	育てている夏野菜に愛着をもち、水をあげたり、脇芽を取ったり、生長していることを嬉しく思ったりする。	生き物・命を見つめる
⑬	作りたい物によって土と水を混ぜる配分を変えて料理を作ろうとしたり、球根や茎を切った断面の違いに気付き他の植物はどうか確かめたり、色の違う花を混ぜると違う色になったと驚いたりする。	事物・現象を捉える 推論する 実行し、その結果を元に判断する
⑭	遠くまでダンボール滑りをするために、ダンボールの厚さや素材によって滑る距離が違うことに気付いたり、ダンボールを見比べたり滑って試してみたりしようとする。	事物・現象を捉える 推論する 実行し、その結果を元に判断する
⑮	作りたいもののイメージをもって作ろうとしたり、いろいろな素材を試したり見比べたりして作りたい物に合った素材を使おうとしたり組み合わせたりしようとする。	造形に表す 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
⑯	ごっこ遊びで登場人物のセリフや物語の展開を考えたり、絵本を読んでもらって物語の展開を楽しんだりする。	文芸に表す
⑰	ごっこ遊びで演じるキャラクターに合わせて口調や動きを変えて表現する楽しさを感じる。	身体の動きに表す
⑱	より面白いごっこ遊びにするためにどうすればよいか考え、立ち位置や出てくるタイミングを考えたり、より登場人物らしく見えるように衣装や小物を作って身に付けたりする。	演出に表す 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する

４．展 開

時刻	予想される子どもの活動	＊環境の構成及び再構成　◎先生の援助	◇評価の観点
9:00	登園する ・挨拶する ・通園ノートを出してシールを貼る ・持ち物の始末をする ・手洗いうがいをする ・夏野菜の世話をする ・当番のグループが生き物の世話をする	＊今日はこの遊びをしようと思ったり昨日の続きをしたいと思ったりするように、子どもたちが遊んでいた様子の写真を保育室の子どもたちが見えやすい場所に掲示しておく。 ◎友達や先生との出会いを喜び、心地よく１日をスタートできるように、笑顔で挨拶をしたり子ども同士の話に入ったりする ◎どんな遊びをしようかを決め、楽しみにしながら今日は何をして遊ぶか聞いたり、教師が昨日の振り返りで話に出ていたことを話題にしたりする。 ◎手の汚れを落とそうと思ったり必要に合わせてうがいを使い分ける意味を自分で気付くことができるように、手を洗っている姿やうがいをしている姿を見て、汚れが落ちて気持ちよいことを伝えたり、喉の奥まで水が届いているよさを伝える。 ◎メダカやウサギ、カメ、夏野菜に愛着をもって餌をあげたり糞の片付けをしたり、水をあげたり、脇芽を摘もうと思ったりするように、生き物の世話を担当するグループを尋ねたり野菜が大きくなってきていることを伝えたりする。	◇今日はこの続きをすると呟いたり遊びの写真を見たりしているか① ◇友達や教師に挨拶や話をして笑顔になっているか④ ◇好きな遊びを選び、したい遊びを言葉にしているか① ◇丁寧に手を洗っていたりガラガラうがいとブクブクうがいを使い分けたりしているか⑨ ◇飼育している生き物の世話をしようとしたり野菜に水をあげて観察したりしているか⑫
9:15	好きな遊びをする ・自分のやりたい遊び、興味のある遊びに友達や先生を誘って遊び始める ・遊びの中でたりない物や、やってみたいことを教師に伝えたりこんな物を作りたいと思ったりして作り始める ・友達に自分の気持ちや困っていることが伝わらず困る	◎友達と一緒に遊びを広げたり、遊びの続きをすることに楽しさを感じられるように、友達も一緒の遊びをしようとしていることを伝えたり、誘ってみることを提案したりする。 ◎作りたい物や遊びに使いたい物のイメージをもって材料を比べたり試したり組み合わせたりしようと思えるように、いろいろな素材があることを伝えたり別の物でも作ることができそうなことを知らせたりする。 ◎友達に伝えたいことや困っていることの理由を伝えたい、伝わってよかったと感じられるように、気持ちに共感しながら何を伝えたいのか尋ねたり自分の気持ちをわかってもらえたことを一緒に喜んだりする。 ◎困ったことや困っている気持ちを落ち着けられるように、子どもの話を聞いたり気持ちに共感したりする。	◇友達を遊びに誘ったり一緒に遊ぶことで笑顔になったりしているか④ ◇作るものを呟き素材を見比べたり試そうとしたり組み合わせようとしたりしているか⑭ ◇自分の気持ちを教師や友達に詳しく伝えたり言葉を言い換えたりしているか⑥ ◇先生や友達に思いを伝えたり聞いてもらったりして気持ちを落ち着けようとしているか③
	○ご飯やさんごっこ ・店員になりきって遊ぼうとする ・土や水、草、花を使って料理を作る	＊食材を切って盛り付けたり作りたい料理のイメージを広げたりするように、草や花、球根などを置いたタライを用意しておく。 ◎店員になりきって言葉遣いを変えたりやりとりをしたりすることを楽しめるように、役の名前で話しかけたり教師もなりきって遊んだりする。 ◎料理によって土や水の量を変えたり、混ぜたときの感覚や切ったときの感触が面白く感じたりするように、土や水の量によって様子が違うことを言葉にしたり、混ぜたり切ったりしたときの感触に共感したりする。	◇何を作るか考えたり綺麗に見えるように飾り付けたりしているか⑭ ◇役によって言葉遣いを変えて表現しているか⑯ ◇土や水の量を混ぜる配分を変えたり、草や花を切ったりしているか⑬
	○色水遊び ・自分の好きな花	◎作りたい色水の色のイメージをもって作り始められるように、何色にしたいのか尋ねたり、何味の	◇何味の色水を作るか呟いて使う花を

	を選んで色水を作ろうとする ・友達や先生に作った色水を見せる	ジュースになるのか楽しみにしていることを言葉にしたりする。 ◎花の組み合わせによって色が変わることの不思議さや面白さを感じられるように、使った花の色について尋ねたり次は何色になるのか楽しみにしたりする。	選んでいるか⑭ ◇花によって水の色が変わっていることに驚いたり、違う色の花を試したりしているか⑬
	○山の滑り台・段ボール滑りでの遊び ・遠くまで滑ろうといろいろな段ボールを試す ・勢いを付けて坂道を登ろうとする	＊いろいろな厚さ、材質を選んだり見比べたり試してみたりするように、異なる材質のダンボールを倉庫に置いておく。 ◎坂道を登る挑戦をしようとしている子を見て手を貸してあげたい、コツを教えてあげようと思えるように、挑戦して困っていそうな友達の様子を実況したりどうやって登ったのか尋ねたりする。 ◎遠くまで滑るために下に敷くダンボールの厚さ、材質の違いに気付き、いろいろな厚さや材質の段ボールを試してみようと思えるように、遠くまで滑っている友達が使っているダンボールの特徴を話題にしたりどんなダンボールを使えば滑りやすいと思うのか尋ねたりする。 ◎足や腕の力を使って坂道を登り切るコツをつかめるように、登り切っている子の体の使い方に注目して言葉にしたり、教師が実際にやって見せたりする。	◇自分の好きな大きさの段ボールを選んでいるか① ◇挑戦する友達を見て上から引っ張り上げようとしたり登るコツを伝えたりしているか⑦ ◇遠くまで滑るために自分の使っているダンボールと友達が使っているダンボールを触ったり見比べたりしていいるか⑭ ◇友達や教師が登る姿を見たりコツを聞いたりして挑戦しているか⑩
	○コナンごっこ ・コナンや怪盗キッドのアイテムを作る ・コナンや怪盗キッドになりきって戦ったり動いたりする ・動画を撮る	＊コナンや怪盗キッドらしくなる衣装や道具を身に付けて楽しめるように、コナンや怪盗キッドの使っているアイテムの写真を掲示しておく。 ◎登場人物になりきってコナンの世界観を楽しめるように、子どもたちの考えた表現や言葉遣いなどを聞いたり見たりしたことにお客さんとして感想を伝えたり、なりきっていることを言葉にする。 ◎設定を活かしながら物語を作ってみようと思えるように、登場人物がいつ出てくるのかどんな話にしたいのかを尋ねる。 ◎見てくれるお客さんがどのように見えるのかを知って、より面白いショーにしようと思えるように、実際ごっこ遊びをしている様子を動画に撮って見せたり、動画の中で感じたことを尋ねたりする。	◇なりきるために作ったアイテムを身に付けているか⑱ ◇登場人物になりきって言葉遣いや表現を変えているか⑰ ◇物語を面白くするために考えた展開を言葉にしているか⑯ ◇動画を見てより面白く見えるように考えたことを言葉にしているか⑱
	○サンリオピューロランド作り ・廃材を使ってご飯やグッズを作る	＊いろいろな廃材や素材を使って作りたいもののイメージを膨らませられるように、テーマパークに関係するもの子どもたちが見えやすい場所に置いておく ◎こんなものを作りたいと思ってイメージを広げられるように、テーマパークにあるものを一緒に思い出したりあったら嬉しいものはないか尋ねたりする。	◇作りたいものを呟きながら素材を選ぼうとしているか⑮ ◇テーマパークにはどんなものがあるか呟いたり考えたりしているか⑮
10：15	片付ける ・自分の遊んだものを片付ける	◎一緒に遊んだ友達と片付けたいことや自分だけが片付けていることの疑問を伝えようと思えるように、一緒に遊んでいた子がいないことを言葉にしたり一緒に片付けてほしいと思う気持ちを伝えなくてよいのか尋ねたりする。	◇別のことをしている友達に思いを伝えようとしているか⑥
10:30	手洗い・うがい 着替えをする	◎手がきれいになった、喉奥がすっきりしたことに心地よく思えるように、手洗いやガラガラうがい	◇手を洗ったりガラガラうがいをした

	・手洗いうがいをする ・濡れた服を物干しに干す	をする姿を見て、すっきりしたことを言葉にする。 ◎濡れた服を乾かそうとしたり乾いてから着ようと思ったりするように、乾かして身につけると気持ちよいことや、寒くないことを伝える。	りしているか⑨ ◇濡れた服を物干しに干して乾かそうとしているか⑨
10：40	手つなぎ鬼をする ・大芝生に移動する ・手つなぎ鬼をする ・困ったことやこうしたら面白いと思うことを言い合う ・もっと面白くするために新しい設定を考えたりやってみたりする	◎する遊びを楽しみに思えるように、教師が遊びの中で楽しみにしていることを伝えたり子どもたちと話し合ったりする。 ◎友達と一緒に手を繋いで追いかけることや一緒に逃げることを楽しめるように、触れ合って遊ぶ楽しさを言葉にしたり教師も一緒に逃げたりする。 ◎力一杯走ったり、体をひねりながら足を踏み込んで方向転換をしたり一緒に走っている友達の速さに合わせて走ったりしようと思えるように、一緒に遊びながら走りが速いことや体を使って逃げたり追いかけたり、速さを調節したりしている様子を言葉にする。 ◎手つなぎ鬼ごっこを楽しく遊ぶにはどうしていったらよいか皆で考えられるように、困ったことや気付いたことを鬼側、逃げる側に分けて尋ねる。 ◎逃げきったことやタッチすることができたと満足できるように、速く逃げていたことやたくさんタッチしていた姿を見ていたことを伝える。	◇手つなぎ鬼で鬼をしたいことや逃げきりたいことを言っているか① ◇友達と手を繋いだり逃げたりして笑顔になっているか④ ◇力一杯走ったり体をひねって足を踏み込み、方向転換したり友達の走る速さに合わせたりしているか⑪ ◇困ったことや気付いたことを皆で話し合っているか⑧ ◇逃げきったことやタッチしたことを笑顔で伝えているか②
11：15	おやつを食べる ・おやつや牛乳を飲食する	◎友達と一緒に食べていることを楽しいと感じられるように、子どもたちの話していることに教師も一緒に入って話す。	◇友達と一緒におやつを食べながら話したり笑い合ったりしているか④
11：25	遊びの振り返りをする ・皆と考えたいこと、新しい発見をしたことを皆に伝える	◎遊びの中で感じたことや困ったことを伝えてよかったと思えるように、教師が言った言葉に反応したり質問したりする。 ◎友達がしていた遊びを知り興味をもてるように、子どもたちの言葉を共有したりどんな遊びをしていたのか気になることを言葉にしたりする。 ◎困ったことをみんなで考えたりもっと楽しい遊びになるように考えていこうと思えるように、どうしたらよいと思うか問いかけたり遊びの中で困っていることを全体に共有したりする。 ◎遊んで楽しかった作りたいものを作ることができたと満足できるように、楽しかった遊びを子どもたちに尋ねたり、たくさん遊ぶことができてよかったことを言葉にする。	◇手をあげたり友達に体を向けたりして伝えているか⑥ ◇友達の話に耳を傾けたり体が友達に向いているか⑤ ◇面白くするためにどうしていくか考えたり伝え合ったりしているか⑧ ◇今日のした遊びに楽しかったなど呟いているかるか①
11:45	絵本を見る ・先生が見える場所に座る ・『スイミー』を読んでもらう	◎スイミーが兄弟と力を合わせて大きな魚に立ち向かうドキドキを感じられるように、読むスピードやページをめくる速さに差をつける。	◇展開を予想したりじっと絵本を見たりしているか⑯
11:50 12：00	降園準備・降園 ・用便、持ち物の始末をする ・降園する	◎明日の遊びや活動に期待をもてるように、遊びの続きが楽しみなことを伝えたり明日の活動について伝えたりする。	◇したい遊びを言葉にしたり活動を聞いて笑顔になっているか①

背番号　赤１～20

３歳児 うめ１組（男11　女９ 計20名）保育指導案

指導者　長野　萌映

１．日　時　　令和７年１月３０日（木）９：００～１１：４０

２．最近の具体的な子どもの姿

登園する・持ち物の始末をする	○ 気の合う友達と一緒に走ったり手を繋いだりして登園したり、教師や友達に自分から挨拶したり、挨拶を返したり、遊びに誘ったり、好きな友達が来ているか教師に尋ねたり、誰が欠席か確かめたりしている。 ○ 昨日までの楽しかった遊びを今日もしたいと思ったり、続きをしたいと思ったり、友達に誘ってもらったり、保育室や園庭の環境、遊びの様子の掲示、友達が遊んでいる姿を見たりして、したい遊びに向かっている。 ○ 友達と話したり遊んだりしたい気持ちに折り合いをつけて朝の用意を済ませようとする子どももいれば、友達の様子が気になって手が止まったり、荷物や上着を身につけたまま友達とくっついたり追いかけあったりして遊ぶことが楽しくなったりする子どももいる。	他者といる喜びを感じる 自ら決める・選ぶ 気持ちをコントロールする
お医者さんごっこ	○ お医者さんになりたい、妊婦さんになりたい、赤ちゃんのお世話をしたい、お気に入りのぬいぐるみを抱っこしていたい、ベッドを用意したい、料理を作りたい、友達に病院に来てほしいなどと思って役を選んだり、したいことをしたりしている。 ○ ごっこ遊びの仲間に入れてもらえないことを嫌だと思って、眉を下げて悲しい表情をしたり、教師に伝えたり、教師や周りの友達と一緒にどうして入れてくれないのか尋ねてたりしている。 ○ お医者さんになって聴診器を当てたり、問診をしたり、丁寧な口調で話したり、妊婦さんになって苦しい表情をしたり、お腹をさすったり、生まれた赤ちゃんを抱っこしてお世話をしたり、なりきって遊ぶことを楽しんでいる。	自ら決める・選ぶ 自分のことを伝える 身体の動きに表す
戦いごっこ（ブンブンジャー）	○ ブンオレンジになりたい、好きな友達の味方になって一緒に戦いたい、長い武器を作りたい、毒が出る武器を作りたい、曲を流して戦いたい、かっこよくジャンプして戦いたい、武器の音を口で出しながら戦いたいなどと思って遊んでいる。 ○ 仲間と向かい合ったり、同じタイミングで平均台から飛び降りたりして戦ったり、一緒に大芝生を走ったり、固定遊具に登ったりして、そばで同じことをして過ごす心地よさや楽しさを感じている。 ○ どうすれば危なくないか考え、武器同士を当てるようにしたり、離れてビームや鉄砲で攻撃したり、バキュンバキュンと声で攻撃したりしようとしているが、友達や友達の武器に当たって痛い思いをしたり、させてしまったりすることもある。 ○ 平均台から高く、遠くに飛び降りたり、落ちないように素早く駆け抜けたり、足を広げて離れたジャンピングやバランスストーンに飛び移ったり、助走をつけて前転したり、さまざまに体を動かして戦うことを楽しんでいる。 ○ 長い武器になるようにトイレットペーパーの芯や細長い箱を繋ぎ合わせたり、なりたいキャラクターらしくなるように色を選んで布ガムテープを貼りつけ装飾したり、どんなふうに持ったり使ったりするか考えて持ち手や銃口などを付けたりしている。	自ら決める・選ぶ 他者といる喜びを感じる 身を守る 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する 身体を操作する 造形に表す 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
砂・水・自然物を使った遊び（レストランごっこ、色水、砂や水を流す、野菜の世話・収穫）	○ お城やケーキ、型抜きの形を作ろうと思い、湿った砂をバケツや型抜きに入れて押し固め、素早くひっくり返している。 ○ 固定遊具上のじょうごから砂場のバケツまで水が流れるように、台を置いて傾斜をつけたり、雨樋同士が重なり合うようにつなげたりしている。 ○ 大根が太く大きくなっていることに気付いて教師に獲りたいと言ったり、なかなか大きくならないにんじんやブロッコリーを心配して水やりをしたり、野菜を獲って喜んだり、驚いたりしている。	事物・現象を捉える 事物・現象を捉える 生き物・命を見つめる
固定遊具・運動遊具・乗り物を使	○ 紫のストライダーに乗りたいと好きな乗り物を選んで乗ったり、友達と一緒に走りたい、荷車に友達を乗せたい、荷車を全部繋げたいなどと思ってしたりしている。 ○ ファイヤーマンポールから降りられるようになったことや、ポストグリップから固定	自ら決める・選ぶ 自分のことを知る

った遊び （三輪車、ストライダー、荷車）	遊具の上に登れるようになったことを教師に見てもらったり、褒めてもらったりして、自分の頑張りや前からの成長を感じている。 ○ ストライダーに乗りたいけれど空いていなくて困った時に、自分で友達に貸してと言ったり、教師に言ったり、教師に間に入ってもらって思いを伝えたり、貸してと言われた時に「今使ってる」「嫌だ」「あとでね」などと伝えている。	自分のことを伝える
作ったり描いたりする遊び	○ 箱の開け口を口に見立ててワニを作ったり、牛乳パックでうさぎのパペットを作ったり、薄い長方形の箱を選んで携帯を作ったり、作りたい物や使い方を思い浮かべて描いたり、切ったり、貼ったり、組み合わせたりして作ることを楽しんでいる。 ○ ペンの蓋が開いたままだと乾いて描けなくなってしまうと思って無くした蓋を探したり、テープで覆っておいたり、ツルツルした箱やカップ、ポリ袋には油性ペンで描こうとしたり、頑丈に繋ぎ合わせるために布ガムテープを使ったり、作る中でいろいろな素材・道具の性質を感じたり、感じて選んで使おうとしたりしている。	造形に表す 事物・現象を捉える
お正月遊び （たこあげ、羽つき、こま、カルタ、福笑い、ぽっくりなど）	○ 一緒にカルタをしたい、福笑いをしたい、順番を変わって欲しい時に、「入れて」「変わって」「後でね」などと自分で思いを友達に伝えている。 ○ 順番にサイコロを振ったり、交代で札をめくったりなど、ルールを守ったり、順番を決めたりしながら一緒に遊ぶことを楽しんでいる。 ○ ぽっくりに足を乗せてバランスを取って立ち上がったり、ぽっくりが足から離れないように紐を引き、左右の手足の動きを合わせて歩いたり、手足を高く上げてハードルを越えたりしてぽっくりで遊ぶことを楽しんでいる。	自分のことを伝える 人と物事を進める 身体を操作する 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
片付け	○ 片付けの知らせを聞いて、区切りをつけて片付け始めたり、自分が使った場所や物を思い出して片付けたりする子どももいれば、まだ遊びたい気持ちや片付けをしたくない気持ちから遊び続けたり、違う遊びを始めたりする子どももいる。 ○ 片付ける場所を分かって元の場所に収めたり、砂場や芝生を見回して残っている乗り物や玩具を集めたり、砂のついたおもちゃをタライの水で洗ったり、芝生に落ちている小さなごみを集めたりしている。	気持ちをコントロールする 場や状況を整える
手洗い、用便を済ます	○ 教師や友達がしているのを見たり、知らせてもらったり、一緒に手洗いの歌を歌ったりして手洗いをしているが、うがいをしている子どもは少ない。	体の健康を保つ
おやつ・牛乳を飲食する	○ おやつが何か楽しみに思い教師に尋ねたり、笑顔でおやつクイズに答えたり、包装が同じ友達を見付けて喜んだり、「美味しいね」と話したり、「お月様の形」とおやつを見せたりして、友達や教師と一緒に牛乳やおやつを飲食することを楽しんでいる。	食を見つめる
絵本を見たり、読んでもらったりする	○ 以前読んでもらった絵本を見たい、お気に入りの絵本を見たい、何冊も見たい、友達の見ている絵本を一緒に見たい、絨毯の上で友達と見たいなどと思って選んだり、見たりしている。 ○ 絵本を読んでもらい、登場人物の気持ちを感じて笑顔になったり、心配に思ってじっと見たり、驚いたり、笑ったり、絵本の言葉を繰り返したり、絵を見て気付いたことを呟いたりしている。	自ら決める・選ぶ 文芸に表す
アントンせんせいごっこをする	○ 教師や友達と一緒に走ったり、止まったり、跳ねたり、手を繋いだり、身を寄せ合ったり、歌ったり、同じ動きをしたりして、笑顔になっている。 ○ よろよろと歩いたり、目を細めたり眉を下げたりして熱が出たトラになりきったり、聴診器を当てたり、口をのぞいたり、「どうしましたか?」「お大事に」と優しく言ったりしてアントン先生になりきったりしている。	他者といる喜びを感じる 身体の動きに表す
降園準備・降園する	○ ひっくり返った袖に手を通して掴んで返したり、チャックやスナップを指先ではめたり重ねて押したりして閉めて上着を着たり、両腕を大きく開いたり体をそらせたりしながら分厚い上着の上からリュックサックを背負ったりしている。 ○ 並んで帰る時に「寿司と焼肉どっちが好き?」などと二択で尋ねてもらい、友達と何を選んだか話したり、同じものを選んだ友達の後ろに並んだり、一緒になった友達と顔を見合わせたりして、２列に並ぶことを楽しんでいる。	身体を操作する 他者といる喜びを感じる

３．本日のねらい

① 昨日までの遊びを思い出したり、友達のしていることや用意された玩具を見たり、先生に尋ねてもらったり、話を聞いたり、自分で決めたりして、したいと思ったり、したいことをしたり、楽しみに思ったり、次はこうしようと見通しをもったりする。　自ら決める・選ぶ

②	したいことができたことや、難しいことに挑戦してできたこと、楽しかったこと、自分の頑張りを感じて喜んだり自信や満足感をもったりする。	自分に満足する
③	友達と話したい気持ちや周りのことが気になる気持ち、まだ遊びたい気持ち、やりたくない気持ちに折り合いをつけて朝の用意や片付けに向かおうとしたり、思い通りにならずに困ったり、嫌な気持ちになったりした時に受け止めてもらったり、どうすればよいか一緒に考えたりして気持ちを落ち着けようとする。	気持ちをコントロールする 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
④	教えてもらったり、尋ねられたり、見てもらったり、褒めてもらったりして、楽しんでいることや好きなこと、うまくいったことやできるようになったことに気付いたり、自分の頑張りや成長を感じたりする。	自分のことを知る
⑤	先生やいろいろな友達と挨拶をしたり、話をしたり、遊んだり、同じ動きをしたり、一緒になりきったり、触れ合ったり、歌ったり、おやつや牛乳を飲食したりして、一緒に過ごす楽しさや心地よさを味わう。	他者といる喜びを感じる
⑥	友達のしていることや楽しんでいること、頑張っていること、思いや考えに関心を寄せたり、その理由を知ろうとしたりする。	他者のことを知る
⑦	したいことや嫌だったこと、困ったことなど、自分の気持ちを先生や友達に言葉で伝えようとしたり、伝えるよさを感じたりする。	自分のことを伝える
⑧	外から入ってきた時に手洗いうがいをする必要を感じてしようとする。	体の健康を保つ
⑨	友達と距離をとったり、武器と武器を当てるようにしたりして、どうすれば危なくないか考えて戦いごっこをしようとする。	身を守る 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
⑩	登ったり、跳び降りたり、跳び移ったり、跳ねたり、思い切り走ったり、前転したり、追いかけたり、地面を強く蹴ったり足を浮かせたりしてストライダーに乗ったり、荷車に友達を乗せて引いたり、固定遊具のいろいろな場所から登り降りしたり、さまざまに身体を動かして遊ぶことを楽しむ。凧をあげたり、こまを回したり、ぽっくりに乗ったり、上着を着たり閉じたり、リュックサックを背負ったりして、色々な体の動かし方や使い方をしようとしたり、コツを感じたりする。	身体を操作する
⑪	水の量や雨樋の置き方、土の入れ方によって流れ方や固まり方が変わることを感じて、調整したり工夫したり、試したりして遊ぶことを楽しむ。いろいろなものを使って遊ぶなかで素材・道具の使い方や性質を感じたり、目的をもって使おうとしたりする。	事物・現象を捉える
⑫	作りたいものを思い浮かべたり、それに向けてこだわって作ったり、作った物を使ったり身に付けたりして遊んだりする楽しさを感じる。	造形に表す
⑬	前に読んでもらった絵本を見たり、お気に入りの絵本を繰り返し見たり、友達と一緒に同じ絵本を見たりすることを楽しんだり、先生に絵本を読んでもらうことを楽しみに思ったり、絵本を読んでもらって登場人物の嬉しく思ったり、不安になったり、楽しみにしたり、喜んだりする色々な気持ちを感じたりする。	文芸に表す
⑭	動きや表情、話し方、場面、設定を思い浮かべたり、気持ちを感じたりして、なりきったり、役割を演じたりして遊ぶことを楽しむ。	身体の動きに表す
⑮	遊びの設定に合わせた場を作ることを楽しんだり、遊びの場が使いやすくなるよう考えて物を置いたり、片付けたりして身の回りが整う心地よさを感じたりする。	場や状況を整える 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する

4．展　開

時間	予想される子どもの活動	＊環境の構成及び再構成　◎教師の援助	◇評価の観点
9:00	**登園する** ・挨拶をする ・靴を履き替える ・上着を脱ぐ ・帽子、水筒、タオルを収める ・通園ノートにハンコを押し、鞄に収める ・手洗い、うがいをする	◎先生や友達との出会いに喜びを感じ、一日を気持ちよく始められるように、目線を合わせて笑顔で挨拶をしたり、友達同士で挨拶を交わす姿を言葉にして知らせたり、他の友達が来たことを知らせたり、笑顔で話を聞いたりする。 ◎友達と遊びたい気持ちや周りのことが気になる気持ちに折り合いをつけて持ち物の始末や手洗いうがいに向かえるように、用意を済ませるよさや、このままでは困ってしまいそうなことを知らせたり、今何をするのがよさそうか尋ねたりする。 ◎外から入って来たときに手洗いうがいをする必要を感じてしようと思えるように、手洗いうがいをするといい理由を言葉にしたり、している友達の様子を知らせたり、教師自身が率先してしたりする。	◇笑顔で教師や友達に挨拶をしたり、挨拶を返したり、話したり、見せたりしているか⑤ ◇帽子や鞄、水筒を収め、ノートにハンコを押し、手洗いうがいをするか③ ◇手洗いうがいをしているか⑧

9:15	好きな遊びをする	＊昨日までの楽しかったことや友達のしていた遊びを思い出し、今日したいことを意識して遊びに向かえるように、最近の遊びの写真を掲示しておく。	◇掲示を見たり、したいことを話したりしているか①
		＊したい遊びをすぐに見付けて始められるように、遊びの道具をいつもの場所やすぐに出せる場所に置いておく。	◇身支度をしてすぐに園庭に出ているか①
		◎したい遊びをすぐに見付けて始められるように、したいと思っていることを尋ねたり、友達がしていることや昨日楽しそうだったことを知らせたり、提案して遊びに誘ったりする。	◇したい遊びについて話したり、遊び始めたりしているか①
		◎したいと思っていた遊びができたり、作りたいものが作れたり、難しいことに挑戦してできたりした喜びを感じられるように、遊んで楽しい気持ちを言葉にしたり、できたことに感心したり、一緒に喜んだりする。	◇笑顔になったり、できたものを見せたりしているか②
		◎思い通りにならずに困ったり、嫌な気持ちになったりした時に気持ちを落ち着けられるように、話を聞いて思いを受け止めたり、どうすればよいか一緒に考えたり、解決策を提案したりする。	◇手を止めたり、泣き止んだり、思いを話したりするか③
		◎楽しんでいることや好きなこと、うまくいったことやできるようになったこと、自分の頑張りや成長などを感じたりするように、楽しんでいることや頑張っていること、以前からの成長を言葉にして感心したり、褒めたりする。	◇褒めてもらって笑顔になったり、自分のことを話したりするか④
		◎友達と遊ぶ楽しさや心地よさを感じられるように、友達と遊んでいる姿を言葉にして認めたり、友達と一緒に遊ぶ楽しさやよさを言葉にしたり、名前を出して友達がしていることを知らせたりする。	◇友達の様子を見たり、友達と遊んだりしているか⑤
		◎友達のしていることや頑張っていることに関心を寄せられるように、友達のしていることを言葉にしたり、連れて行って見せたり、友達同士で教え合う機会を設けたりする。	◇友達や教師の話を聞いたり、尋ねたりしているか⑥
		◎友達の思いや考え、その理由を知ろうとするように、一緒に友達の話を聞いたり、表情を見せたり、友達の思いを代弁して言葉にしたりする。	◇友達と同じ表情をしたり、「どうして」と尋ねたりしているか⑥
		◎したいことや嫌だったこと、困ったことなど、自分の気持ちを先生や友達に言葉で伝えようとしたり、伝えるよさを感じたりするように、困っていそうな姿を言葉にしたり、伝えに行くことを後押ししたり、伝える姿を見守ったり、言葉を補ったり、伝わったことを一緒に喜んだり、伝えたことを褒めたりする。	◇友達に思いを伝えているか⑦
	○お医者さんごっこ ・診察をする ・患者になる ・スカートやエプロンを身に着ける ・料理を作る ・布団を敷く、積み木でベッドを作る	＊お医者さんになりたい、妊婦さんになりたい、赤ちゃんの世話をしたいという思いをかなえて遊ぶことを楽しめるように、机や椅子、お医者さんごっこの玩具、ぬいぐるみ、布団やマット、積み木などを近くにまとめて置いておく。	◇ぬいぐるみをお腹に入れたり、布団を並べたりするか①
		◎なりきって遊ぶことを楽しめるように、何になっているのか尋ねたり、ごっこ遊びの設定に沿って話したり、なりきって話したり動いたりしている姿に感心したりする。	◇丁寧な口調で話したり、設定を言ったりするか⑭
		◎遊びの設定に合わせた場を作ったり、過ごしやすいように遊びの途中で整えたりしながら遊ぶよさを感じられるように、用途を決めて場を作る姿に感心したり、机や道具を置き換える姿を見せたり、使っていないものは収めた方が場が広く使いやすくなりそうなことを知らせたりする。	◇病院の扉を置いたり、布団を敷いたり、診察室を作ったり、使っていない玩具を収めたりするか⑮
	○戦いごっこ ・ブンブンジャーになりきる ・武器を作る ・曲を選んで流す ・運動遊具で遊ぶ	＊登ったり、跳び降りたり、跳び移ったり、思い切り走ったり、前転したり、様々に身体を動かすことを楽しめるように、広い場に平均台やジャンピング、バランスストーン、マットを置いておく。	◇ジャンピングで跳ねたり平均台を渡ったりするか⑩
		◎追いかけたり、登ったり、跳び降りたり、さまざまに身体を動かしながら戦うことを楽しめるように、素早く走ったり、かっこよく跳び降りたりする姿に関心したり、教師自身が大きく身体を動かしながら一緒に戦ったりする。	◇友達を追いかけて走ったり、平均台から跳び降りたりするか⑩
		◎どうすれば危なくないか考えて戦いごっこをしようとするように、武器同士を当てている姿や、距離をあけて武器の技で攻撃する姿に感心したり、痛そう、危なそうに見えるときにはその状況を知らせたりする。	◇武器と武器をぶつけて戦いごっこをしたり、友達と距離を開けたりしているか⑨

		◎長さや頑丈さ、機能などにこだわって作ることを楽しめるように、どんな武器を作ろうとしているのか尋ねたり、それらしく見えていることに関心したり、よりよい素材があれば提案したりする。	◇長くつなげたり、布ガムテープで装飾したりしているか⑫
	○砂・水・自然物を使った遊び ・レストランごっこ ・樋やじょうごで砂や水を流す ・色水	＊流したり、溜めたり、水の量を調整したりして試しながら遊ぶことを楽しめるように、水を溜めたタライや雨樋、型抜き等の玩具を用意しておく。	◇雨樋を並べたり水の流れを見たり型抜きをしたりするか⑪
		◎水がうまく流れるよう水の量や雨樋の置き方を工夫しようとするように、考えを尋ねたり、子どもが考えてしていることを代弁したり、うまく流れている様子や漏れている状況を知らせたりする。	◇水を何度も流したり雨樋の置き方を変えたりしているか⑪
		◎綺麗にバケツや型抜きの形に砂を返すコツを掴んで繰り返すように、湿った砂を選んだり、強く押し固めたりしている姿を言葉にしてポイントを知らせたり、教師がそばでやって見せたりする。	◇バケツや型抜きに砂を押し込んだり、素早く返したりするか⑪
	○固定遊具・運動遊具・乗り物を使った遊び ・ストライダーや三輪車に乗る ・荷車を引く ・色々なところから固定遊具に登る	◎固定遊具のいろいろな場所から登り降りする楽しさや面白さを感じたりするように、子どもの姿に驚いたり、感心したり、友達がやっていたやり方を知らせたり、体の動かし方や力を入れている部分を言葉にしたりする。	◇ファイヤーマンポールから降りたり、ポストグリップから登ったりしているか⑩
		◎地面を強く蹴って速いスピードを出したり、足を浮かせたり、友達を追いかけたりしてストライダーに乗ったり、ストライダーや三輪車に荷車を繋げて友達を乗せて走ったりすることを楽しめるように、思い切り漕いだり足を上げたりしている姿や重たくても力一杯引っ張っている姿を言葉にして感心する。	◇ストライダーを素早く漕いだり、荷車に友達を乗せて引いたりしているか⑩
	○作ったり描いたりする遊び ・廃材を組み合わせる ・ハサミで切る ・布ガムテープで貼り合わせる ・画用紙やポリ袋に描く ・キラキラテープやシールで飾る	◎作りたい物を作ることや、作ったものを使ったり身に付けたりして遊ぶことを楽しめるように、何を作ろうとしているのか尋ねて一緒にどうやって作るか考えたり、よりぴったりな道具や素材を提案したり、こだわって作っている姿を褒めたりする。	◇作りたい物を言ったり、作ったり、使ったりするか⑫
		◎シートを敷いたり、使った物を戻したり、落ちているごみを拾ったりして、作業する場所が整うよさを感じられるように、片付けたら広くなって使いやすいことを言葉にしたり、今使っていなさそうな物を知らせてどうするか一緒に考えたり、理由を添えながら教師自身が片付ける姿を見せたりする。	◇切れ端を捨てたり、使い終わったハサミやペンを片付けたりしているか⑮
		◎素材・道具の使い方や性質を感じ、目的をもって使おうとするように、使いづらそうにしている時や作っている物や状況に応じて道具や素材を提案したり、考えて扱う姿を言葉にして認めたりする。	◇使う道具を変えたり、油性ペンや布ガムテープを使ったりするか⑪
	○お正月遊び ・凧あげ　・羽つき ・こま　・カルタ ・福笑い　・ぽっくりなど	◎凧を高くあげたり、こまを長く回したり、ぽっくりに乗って歩いたりするコツを掴んで遊ぶように、物の扱い方や体、指先の動かし方、力の入れ方などのコツを言葉にしたり、やって見せたり、手を添えて一緒にやったりする。	◇凧をあげて走ったり、こまを回したり、ぽっくりに乗ったりするか⑩
		◎友達と簡単なルールを共有して遊ぶ楽しさを感じられるように、一緒に遊んで楽しそうな姿を言葉にしたり、順番にしたり、友達の動きを待って進めたりする姿に感心したりする。	◇順番にサイコロを振ったりカードをめくったりするか
10:10	片付けをする	◎まだ遊びたい気持ちを切り替えて片付けに気持ちを向けられるように、もう少しで片付けることを予め知らせておいたり、遊びの区切りで片付けに誘ったり、楽しかった気持ちに共感したり、明日続きをしようと誘ったり、次の予定の見通しをもたせたり、楽しい雰囲気で一緒に片付けたりする。	◇遊びをやめて玩具や運動遊具を片付けているか③
	・乗り物や運動遊具を元の場所に戻す ・ステージ、デッキを運ぶ ・机、ワゴン、廃材入れを運ぶ ・玩具をカゴに収める ・落ちている物を拾う ・衣類や布団を畳んで収める ・ブロックを積んで並べる	◎やりたくない気持ちに折り合いをつけて、自分が使った場所や玩具を自分で片付けられるように、自分で片付けるまで残しておいたり、遊んでいたことを知らせて思い出させたり、誘って一緒に片付けたり、片付けに向かう姿を褒めたりする。	◇自分が使った場所を片付けているか③
		◎みんなで使う場所を丁寧に片付け、整う心地よさを感じられるように、残っている玩具や破片、かごからはみ出た衣類などを知らせたり、ロッカーに入りきらない作品を収める場所を用意したり、まっすぐ並べたり積み重ねたりして整える心地よさを言葉にしたり、整ったことを一緒に喜んだりする。	◇残った玩具を片付けたり、はみ出た物を収めたり、玩具を並べたりするか⑮
		◎片付けを頑張った自信や満足を感じられるように、子どもの頑張りを褒めたり、一緒に片付いたことを喜んだりする。	◇片付いて笑顔になっているか②

10:30	**手洗い・うがいをする** ・用便、手洗いうがいをする ・水分補給をする	◎外から帰ってきたときに手洗いうがいをする必要を感じてしようと思えるように、手洗い・うがいをしている姿を言葉にしたり、教師が率先して手洗いうがいをする姿を見せたりする。	◇手洗いやうがいをしているか⑧
10:35	**アントンせんせいごっこをする** ・色々な動物になりきる ・友達と触れ合う ・お話の世界で遊ぶ ・振り返る	◎アントン先生ごっこを楽しみに思い、この役をしたい、この場面をしたいと思って遊びに向かえるように、これまでの遊びの流れや子どもたちが楽しんでいた姿を振り返って知らせたり、今日は何になりたいか、どんな風にしたいかを尋ねたり、楽しみな気持ちを言葉にしたりする。	◇「ワニになる」「アントン先生する」「ごはん作る」などと言うか①
		◎友達や先生と同じことをしたり、手を繋いだりくっついたり、一緒に役になりきって遊んだり、歌ったりして一緒に遊ぶ嬉しさを感じられるように、楽しい雰囲気で教師も一緒に遊んだり、同じ動きをしたり、友達と触れ合ったりする場面をしたり、一緒に遊んで楽しい気持ちを言葉にしたりする。	◇笑顔で遊んだり、友達と触れ合ったり、顔を見合わせたりするか⑤
		◎登場人物の動きや表情、話し方、場面を思い浮かべたり、気持ちを感じたりし、なりきって遊ぶことを楽しめるように、お話を振り返ったり、絵本を見せたり、考えて表現している子どもの姿を見せたり、登場人物の気持ちを代弁したりする。	◇眉を下げたり、ゆっくり歩いたり、笑顔で跳ねたりするか⑭
		◎遊びの場が使いやすくなるよう考えて物を置いたり片付けたりするように、どこに置いたらよいか一緒に考えたり、片付ける場を提示したり、場が広くなって使いやすそうなことに感心したりする。	◇遊びの道具を椅子の下やカゴ、遊戯室の隅に収めているか⑮
10:55	**おやつや牛乳を飲食する** ・飲食する ・うがいをする	◎友達と一緒におやつや牛乳を飲食することを楽しみに感じられるように、友達がみんな揃っているか確かめたり、楽しみな気持ちに共感したり、今日のおやつは何か話したり、温かい雰囲気でおやつを配ったりする。	◇笑顔でおやつを取りに来たり、飲食したりしているか⑤
11:10	**絵本「アントンせんせい あかちゃんです」を読んでもらう** ・絵本を見る ・絵本が見えやすい場所に座る ・絵本を読んでもらう	◎前に読んでもらった絵本を見たり、お気に入りの絵本を繰り返し見たり、友達と一緒に同じ絵本を見たりすることを楽しんだり、先生に絵本を読んでもらうことを楽しみに思ったりするように、気に入って読んでいる姿や友達と一緒に読んで楽しそうな姿を言葉にしたり、みんなで絵本を見ることに期待する声をかけたりする。	◇絵本を選んで読んだり、友達のそばで見たり、読み聞かせでそばに集まってきたりするか⑬
		◎ブータさんやブーコさんの赤ちゃんを楽しみに思ったり、不安になったりする気持ちや、動物たちの優しさ、赤ちゃんが生まれてくる期待や喜びを感じたりするように、場面に応じて柔らかく穏やかな声、落ち着いた声、明るい声など声色を変えて読む。	◇じっと見たり、眉を下げたり、笑顔になったりするか⑬
11:20	**降園準備をする** ・用便をする ・上着を着る ・身支度を整える ・先生や友達の話を聞く ・靴を履き替える ・並ぶ	◎上着の袖を返したり、上着に両腕を通したり、上着のチャックやスナップを閉めたり、厚着をした上にリュックサックを背負ったりするコツを感じて自分でしようとするように、持つ場所を示したり、やって見せたり、手を添えてしたりする。	◇上着に手を入れて返したり、チャックを閉めたりするか⑩
		◎今日の遊びや作ったものに自信や満足を感じられるように、作ったものを紹介する場を設けたり、笑顔で聞いたり、頑張りを褒めたり、楽しかった気持ちに共感したりする。	◇笑顔で遊びのことについて話しているか②
		◎友達の楽しんでいたことや考えを知れるように、どんなことをしていたか、誰としていたか、どうやって作ったか、どう思ったかなどを尋ねたり、一緒に遊んでいた子にも話題を振ったり、教師が感じたことを言葉にしたりする。	◇「僕も」「見た」「すごい」などと言っているか⑥
		◎先生や友達の話を聞いて面白そう、やってみたいと思ったり、明日はこうしたいと見通しをもったりするように、遊んでいなかった子どもたちにもわかるように遊びの様子を紹介したり、明日はどうやって遊ぶか尋ねたり、どんな場や素材があれば楽しくなりそうか一緒に考えたりする。	◇友達を見て話を聞いたり、「やりたい」と言ったりするか①
		◎次の登園を楽しみに感じられるように、明日の予定やしたいと思っていることについて話をしたり尋ねたりする。	◇明日したいことを話しているか①
		◎好きなものが同じ友達と一緒に並ぶことを楽しみに感じられるように、好きなものを二択で尋ね、子どもたちの反応に驚いたり共感したり、同じものを選んだ友達のことを知らせたりする。	◇好きな物を選んで並んだり、「どっち？」と尋ねたりするか⑤
11:30	**降園する**		

背番号　赤 21～40

３歳児　うめ２組（男 10　女 10　計 20 名）保育指導案

指導者　森　香奈子

１．日　時　　令和７年１月３０日（木）９：００～１１：４０

２．最近の具体的な子どもの姿

登園する、持ち物の始末をする	○荷物を広げずにロッカーの前の床に置き、自分の整理しやすい順番で支度したり、広げすぎていることを教えてもらって置き直したりしている。	場や状況を整える
	○友達と何をして遊ぶか話をしたり、手を繋いだりしながら登園したり、名前を呼んで挨拶したり、写真カードを見て友達の登園を待ったりしている。	他者といる喜びを感じる
	○掲示された遊びの写真を見て遊びの続きを思い出してしたり、今日遊びたい遊びの話をしたり、支度を終え遊びに向かおうとしたりしている。	自ら決める・選ぶ
	○友達を誘って遊びに向かったり、友達の遊びを見たり、教えてもらったりして友達がしている遊びに加わったりしている。	他者といる喜びを感じる
砂場遊び	○友達や先生に食べてもらおうと料理を作ったり、友達と同じ料理を作ったり、一緒に型抜きをして楽しんだり、食べてもらって喜んだりしている。	他者といる喜びを感じる
	○友達や先生に食べてもらい、「美味しい」と言ってもらって笑顔になったり、穴を深くまで掘れて喜んだりしている。	自分に満足する
	○遊びに入れてもらえなかった時にどうして入れてくれないのか友達に聞いたり、先生に手伝ってもらって一緒に相手に聞いたりしている。	自分のことを伝える
	○砂を詰めてひっくり返すとバケツや型抜きの形になる面白さを感じたり、スコップに力を入れると深く掘れると感じて使ったりしている。	事物・現象を捉える
	○繰り返し綺麗に作れるようになった自分や、自分の力だけで穴を掘れるようになった自分のことを感じている。	自分のことを知る
ストライダー、三輪車を使った遊び	○友達が使っているストライダーを貸して欲しい、まだ貸したくないなどと自分の言葉で伝えたり、先生に手伝ってもらって伝えたりしている。	自分のことを伝える
	○友達と思いがぶつかったときに、泣いたり怒ったりしながら思いを伝えたり、どうしたらよいか教師や友達と考えたり、気持ちを受け止めてもらったりして気持ちを落ち着かせようとしている。	気持ちをコントロールする
	○友達が困ったり、貸して欲しいと言ったりする姿を見たり聞いたりして、心配し近付いて話を聞いたり、解決策を提案したり、教師に友達の様子を知らせたりしている。	他者のことを考えて行動する
	○地面を強く蹴ってスピードを出したり、ハンドルを左右に動かしたり、車体を傾けて曲がりながらバランスをとったり、漕ぎにくいところでペダルに力を入れて漕いだりすることを面白く思ったり、楽しんだりしている。	身体を操作する
	○ストライダーに乗って友達とみんなで思い切り走ることが楽しくて、並んで走ったり後を付いて行ったりしている。	他者といる喜びを感じる
	○乗り物を遊具の近くに置いたり、ストライダー同士を重ねたりしていると躓いたり、怪我をしたりすることを教えてもらって、怪我をしないように遊具の近くを避けて置いたり、重なっているものを降ろしたりしている。	身を守る
ごっこ遊び	○友達や先生と料理を作ったり、買い物に出かけたりディズニーランドに行ったりして同じ設定で遊ぶことを楽しんでいる。	他者といる喜びを感じる
	○お母さんや赤ちゃんなど身近な物や人になりきって遊んだり、役割の設定のまま、ディズニーランドやスーパーに行ったりしている。	体の動きに表す
作って遊んだり、遊びに必要のなものを作ったり、作り変えたりする	○かわいいもの、かっこいいものを作りたい、友達がしていることを自分もしてみたいと思ったり、素材やテープ、ペンを選んだり、探したりして、やってみようとしたりする。	自ら決める・選ぶ
	○作りたいものをイメージして描いたり、切ったり、テープを貼ったりして作ったり、偶然できた形から連想して作ったりすることを楽しんでいる。	造形に表す
	○くっつけたいところにセロハンテープではくっつかないことを感じ、他のテープを試したり、使い分けることによって粘着力の強さ弱さの違いや特徴を感じたりしている。	事物・現象を捉える
	○友達の作っている姿や作ったものをかっこいいと思い、作り方を教えても	他者のことを知る

	らったり、「すごいの作ったね」と言ったりしている。	
伝統遊び	○こまを回したい、福笑いがしたい、カルタや絵合わせカードがしたいと思ってマットを敷いたり、目隠しをしたり、カードを並べたりしている。	自ら決める・選ぶ
	○こまを長い時間回せた、面白い顔になった、カードをとれたと満足して笑顔になったり、先生や友達に話したり、見てもらったりしている。	自分に満足する
	○練習したからこまを回せるようになったこと、同じ絵柄のカードをたくさん取れるようになったことを感じたり、言ってもらって自分の変化に気付いたりする。	自分のことを知る
片付け	○片付けと聞いて「あとこれだけ」と自分で終わりを決めて片付けに向かおうとする子どももいれば、ギリギリまで遊び続ける子どももいる。	気持ちをコントロールする
	○教師や友達と笑顔で遊びを振り返ったり、またしようねと話したりしながら片付けている。	他者といる喜びを感じる
	○遊んだ場所を綺麗にしようと思って、使った物を元の場所に戻そうとしたり、使っていない物でも見付けたら片付けようとしたりしている。	場や状況を整える
	○「○個片付けた」「○個目」「○個も片付けたから疲れた」と友達や先生と数を数えながら片付けをしてたくさん頑張ったことを感じている。	自分に満足する
手洗いうがい・遊びの振り返り・おやつ	○外から保育室に入って手を綺麗にしたいと思って隅々まで洗ったり、うがいをしたりしている。	体の健康を保つ
	○友達の作ったものを見たり、聞いたりして作り方を尋ねたり、かっこよさや可愛さを感じて褒めたりしている。	造形に表す
	○噛んだおやつの形を見て友達と「月、船、見て」などと話したり、「美味しいね」と言ったりしながら食べる楽しさを感じている。	食を見つめる
絵本を見る	○絵本を見て、次の展開を楽しみにじっと見つめたり、驚いたり、笑ったり、呟いたりしている。	文芸に表す
しっぽとり	○準備している時に尻尾を取られそうになり、「付けているときに取られた」と泣いて伝えたり「尻尾を付けている時は取らないで」と相手に伝えたりしている。	自分のことを伝える
	○仲良しの友達と一緒に逃げたり、友達や先生と向き合ったり、いろいろな友達の尻尾を取ったりして笑顔になったり、面白さを感じたりしている。	他者といる喜びを感じる
	○尻尾に狙いを定めて手を伸ばし尻尾を取ったり、取られないように素早く相手をかわしたり、思い切り走ったり、友達に背中を向けないようにしたりしている。	身体を操作する
	○尻尾をたくさん取れた、取られそうになったけど最後まで取られなかった、思い切り走れるようになったと自分で感じたり、友達や先生に褒めてもらって気付いたりしている。	自分のことを知る
降園準備・降園	○タオルを綺麗に畳んだり、小さく畳んだりしたことを嬉しく思ったり、「こんなに小さいよ」と見せたりしている。	自分に満足する
	○水筒や帽子を忘れている子がいると「忘れてる」と声をかけて友達が気付いて取りに行けるようにしたり、鞄が閉まらなくて「手伝って」と言っている友達の側に行き閉めたりしている。	他者のことを考えて行動する
	○朝との気温差を感じ、暖かくなったことを呟いたり、朝は寒かったから上着を着てきたことなど話したりしている。	自然環境を見つめる

3．本日のねらい

① 昨日までの遊びを思い出して向かったり、友達と遊びたい、したいこと、作りたいものに向かって、必要な材料を探したり、色を選んだり何度も挑戦したりして、しようとする。 — 自ら決める・選ぶ

② したい遊びでたくさん遊べた、やってみて楽しかった、友達と遊べて楽しかった、などと嬉しく思う。 — 自分に満足する

③ 友達と衝突した時や片付けの時に、手伝ってもらったり、自分の気持ちを友達や先生に聞いてもらったり、納得できる案を考えたりして気持ちに折り合いをつけたり、終わりを決めたりして、気持ちを切り替えようとしたりする。 — 気持ちをコントロールする

④ 型抜きが何度も綺麗に作れるようになった、凧をあげられた、羽を打ち返せた、こまを回せるようになった、同じ絵柄のカードをたくさん取れるようになった、尻尾をたくさん取れた、思い切り走れたことなど頑張った自分、うまくいった自分に気付いたり、感じたりする。 自分のことを知る

⑤ 先生や友達と出会ったり、挨拶をしたり、話をしたり、一緒に遊んだり、片付けたり、一緒に尻尾取りをしたりする楽しさや、面白さ、心地よさを感じる。 他者といる喜びを感じる

⑥ 見たり、聞いたりして、友達の得意なことや、友達の楽しんでいた遊びや作ったもの、考えや気持ちに気付いたり、関心をもったりする。 他者のことを知る

⑦ 自分がしたいこと、して欲しいこと、困ったこと、考えたことを先生や友達に言葉で言ったり、指さしたり、体を動かし見せたりして、伝えたり、伝えてよかったと感じたりする。 自分のことを伝える

⑧ 泣いたり、困ったりしている友達に気付いて、何かしてあげようと声をかけたり、思いを代弁したり、友達が忘れ物に気付けるように知らせたりなど、どうするか考えたり、考えてしたりする。 他者のことを考えて行動する
問題を認識する

⑨ 手や喉のばい菌を洗い流すために、ガラガラと音をならしてうがいをしたり、丁寧に手を洗ったり拭いたり、虫歯にならないようにブクブクうがいをしたりする。 体の健康を保つ
問題を認識する

⑩ 危なくないように乗り物を遊具の周りに置くことを避けたり、躓かないようストライダー同士が重なっているものを降ろしたりする。 身を守る
問題を認識する
豊かに発想し追求の手立てを構想する

⑪ 足に力を入れ、地面を蹴って速いスピードを出したり、ハンドルを左右に動かし、方向転換をして乗り物で走ったり、しっぽとりで取られないように体を素早くかわしたりする楽しさや面白さを感じる。
指先を使ってストローやお菓子の袋を開けたり、やり方のコツを掴んだりする。 身体を操作する

⑫ 朝と昼の気温差を感じて上着を調節したり、日向の暖かさを心地いいと感じたりする。 自然環境を見つめる

⑬ 砂がバケツや型抜きの形になる面白さを感じ繰り返したり、テープの剥がれやすさ、剥がれにくさの違いを感じて使おうとしたりする。 事物・現象を捉える

⑭ 作りたいものをイメージして素材を選んだり、貼ったり、描いたり、切ったりして作ったり、作ったものを使って遊んだりする楽しさを感じたり、友達の作ったものの作り方を聞いたりしてよさを感じたりする。 造形に表す

⑮ 「しっぽどんなことするの？」の絵本を見て、様々な動物の尻尾ついて知ったり、様々な尻尾の違いを感じたり、色々な尻尾が次々出てくる展開を楽しんだりする。 文芸に表す

⑯ 口調「○○よ」と丁寧に変えたり、役割を演じたりして、なりきって遊ぶことを楽しむ。 身体の動きに表す

⑰ 友達とおやつを食べて、みんなで話したり、一緒に食べたりすることを嬉しく思ったり、美味しさを感じたりする。 食を見つめる

⑱ 遊ぶ場や身支度をする場を広く使いやすいように物を動かしたり、園庭に残っているものに気付いて片付けようとしたり、使いやすいように整えたりする。 場や状況を整える
問題を認識する

４．展 開

時刻	予想される子どもの活動	＊環境の構成及び再構成　◎教師の援助	◇評価の観点
9:00	登園する ・挨拶する ・靴を履き替える ・通園ノートにハンコを押す ・鞄や水筒、タオル帽子、上着を収める ・手洗いうがいをする	◎先生や友達と出会う嬉しさや挨拶をする心地よさを感じられるように、目を合わせて笑顔で挨拶をする。 ◎自分や周りの友達が朝の支度をしやすくするために、場を整えようとするように、ロッカー前に鞄を置くと通りやすいことや物が広がりすぎていることを知らせる。 ◎風邪の予防になることを知って、外から保育室に入ってきた時に、手を綺麗にしたい、喉のばい菌を洗い流したいと思えるように、している友達の	◇笑顔で挨拶したり、話したり、友達を待ったりしているか⑤ ◇鞄をロッカー前に置き支度をしているか⑱ ◇手洗いやうがいをしているか⑨

		姿を知らせたり、うがいの音が聞こえたことを伝えたり、丁寧に手を洗ったり拭いたりしている姿を認めたりする。	
9:15	**好きな遊びをする** ・友達を誘う ・したい遊びの話をする ・友達がしていることや話している様子を見たり聞いたりする ・友達の様子を見て声をかける	＊昨日までの遊びを思い出して遊びに向かえるように、遊びの写真を掲示しておく。 ◎友達との遊びを楽しみに出かけていけるよう、誰がどこで何をして遊んでいるかや、教師が今日しようと思っている遊びを伝える。 ◎友達や教師に困っていることや考えたことを伝えられるように、教師が間に入ってお互いの思いを聞いたり、一緒に友達のところに行って尋ねたり、どうすればいいか一緒に考えたりする。 ◎友達と思いがぶつかった時に気持ちを落ち着かせられるように、泣いたり、怒ったりしている時には思いを聞いて受け止め、どうしたらよいか一緒に考えたり提案したりする。 ◎泣いたり、困ったりしている友達の存在に気付いたり、心配したりするように、友達の様子を伝えたり一緒に心配したりする。 ◎遊ぶ場が広く使いやすく、気持ちよくなるよう、使っていないものを片付けながら遊ぶ声掛けをしたり、玩具が広がりすぎていることを伝えたり、一緒に整えたり、玩具が広がった時と広がっていない時とどちらのほうが遊びやすいか尋ねたりする。	◇したい遊びの話をしたり、支度を終えすぐに遊び始めたりしているか① ◇友達や先生を見つけ笑顔で近づいていくか⑤ ◇どうしたいか、何をしてほしいかを言ったり、体を動かし示したりするか⑦ ◇自分の思いを話したり、話を聞いたりしているか③ ◇「大丈夫？」と声をかけたり、友達の気持ちを代弁したりしているか⑧ ◇一緒に物を動かしたり、広くなったことを感じて言葉にしたりしているか⑱
	○砂場遊び ・料理を作る ・型をとる ・穴を掘る	＊必要な物やお皿やスコップなどを自分たちで選んだり使ったりするように、タライに水を溜めておいたり、玩具を取りやすい位置に並べておいたりする。 ◎先生や友達と店員やお客になって一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、出来上がった料理を食べて感想を伝えたり、同じような遊びをしている友達の存在を言葉にして示したりする。 ◎作った料理をふるまってよかったと思えるように、美味しかったことを伝えたり、近くの子にも美味しいから食べてみるか尋ねたりする。 ◎砂がバケツや型抜きの形になる面白さを感じ、何度も繰り返し作ることを楽しめるように、型抜きをする面白さを伝えたり、砂の硬さや柔らかさを知らせたりする。 ◎型抜きが得意、前よりもうまくいったなどと、自分の頑張りや成長を感じられるように、綺麗に型を抜けたことを言葉にしたり、お店屋さんみたいと伝えたりする。	◇必要な物を出したり、道具を使ったりしているか① ◇先生や友達と話しているか⑤ ◇料理をふるまい笑顔になっているか② ◇型抜きの形になっている砂を見て笑顔になっているか⑬ ◇「こんなに作れるようになった」などと笑顔になっているか④
	○ストライダーを使った遊び ・選んだり、探したりする ・ストライダーで走ったり曲がっ	◎友達に貸して欲しい思いを伝えたり、交渉したりするように、一緒に声をかけたり、傍で見守ったり、話を補ったりする。 ◎ストライダーで速いスピードで走ったり、方向転換しながら走ったりする面白さを感じられるよう	◇自分の思いを伝えたり、交渉したりしているか⑦ ◇足を踏ん張ったり、スピードを出した

	たりする ・競争する	に、競争をしたり、足に力を入れると速く走れることやハンドルを左右に動かしたり、車体を傾けるとバランスをとれることを言葉にして伝えたり、そのようにする姿を認めたりする。	り、曲がったりしているか⑩
		◎遊具の周りにストライダーを置くことを避けたり、躓かないようストライダー同士が重なっているものを降ろしたりしようとするように、そういった状況の時に声をかけ危ないことに気付かせたり、危なくないか尋ねたりする。	◇置く位置を変えたり、通り道を避けたりしているか⑩
	○ごっこ遊び ・赤ちゃんの世話をする ・ディズニーランドに行く ・買い物に行く ・ご飯を食べる	◎設定を決めてご飯を食べたり、出かけたりして友達と一緒に遊ぶ楽しさや心地よさを感じられるように、楽しそうな場面を言葉にしたり、教師も一緒に遊んで楽しむ姿を見せたりする。	◇友達とご飯を食べたり、出かけたりするか⑤
		◎話し方や動きを変え色々な役割になりきって遊ぶことを楽しめるように、何役か尋ねたり、なりきった姿を認めたり、同じような口調で話したりする。	◇何になっているか言ったり口調を変えたりしているか⑯
	○作って遊んだり、遊びに必要なものを作ったり作り変えたりする ・素材や道具を出す ・切ったり貼ったり、描いたりする	＊好きな物を選んで作りたい思いが叶うように、机の近くにテープやハサミを置いたり、廃材を種類別に整えて置いたりしておく。	◇廃材やテープ、ペンなど必要な物を探しているか①
		◎イメージしたものを作る嬉しさや楽しさを感じられるように、作りたいものを尋ねたり、必要な物を聞き用意したり、提案したり、作る姿を見せたりする。	◇笑顔で貼ったり、描いたり、「作りたい」と言ったりしているか⑭
		◎テープの違いを感じて使えるように、剥がれやすくないか尋ねたり、素材によって剥がれないものがある面白さを伝えたりする。	◇他のテープを試し剝がれにくいものを探しているか⑬
	○伝統遊び	＊凧あげをしたい、羽根つきがしたい、こまを回したい、福笑いがしたい、カード遊びがしたいと思えるように、取りやすく物を置いたり写真でわかりやすく示したりする。	◇やりたい遊びをみつけているか①
		◎凧を高くあげられた、羽を打ち返せた、こまを回せるようになった、同じ絵柄のカードをたくさん取れるようになったなどできるようになったことを自分で感じられるように、できるようになったことを言葉で伝えたり、知らせたりする。	◇できるようになって笑顔になったり、「前はできなかった」など呟いたりしているか④
10:10	片付ける ・使ったものを元の場所に片付ける ・まだ遊びたい気持ちからそのまま遊ぼうとする ・先生や友達と一緒に運んだり、片付けたりする ・残っているものがないか探す	◎遊んだ満足感を感じられるように、楽しかったことを聞いたり、面白そうにしていた様子を尋ねてたりする。	◇「楽しかった」「明日もやろうね」などと話しているか②
		◎気持ちを切り替え片付けに向かえるように、「おやつ何だろうね」など次の活動に期待できる声かけをしたり、遊びをどこまでにするか尋ねたり、一緒に片付けたりする。	◇友達や教師と片付けたり、終わりを決めて片付けたりしているか③
		◎教師や友達と一緒に片付けをする楽しさを感じられるように、一緒に片付けている姿や楽しそうに片付けている姿を言葉にしたり誘ったりする。	◇一緒に運んだり、話をしたりしながら、片付けているか⑤
		◎片付け忘れたものがないか気付いて片付けようとするように、片付け終えた子と一緒に他に片付ける物を探したり、気付いた子に声をかけたりする。	◇片付け忘れた物を片付けているか⑱
	・排泄をする ・手洗い、うがいをする	◎手洗いうがい、手を拭くことを丁寧にしようと思えるように、一緒に手を洗って見せたり、うがいの音が聞こえたことを言葉にしたり、タオルで手	◇指の間まで洗ったり、うがいをしたり、水滴がなくな

		を拭く気持ちよさを伝えたりする。	るまで手を拭いたりしているか⑨
10:25	**遊びの振り返りをする** ・楽しかった遊びを思い出し話したり、作ったものを見せたりする	◎友達のしていたことや遊びの楽しさ、面白さを知ったり感じたりするように、遊びでしていたことを尋ねたり、一緒に聞いて驚いたり、感心して見せたりする。 ◎友達の作ったもののよさを感じられるように、みんなの前で見せたり、何を作ったのか、何を使って作ったのか、どう使うのか尋ねたりする。	◇笑顔で話したり、尋ねたり、じっと見つめ話を聞いたりしているか⑥ ◇作り方を尋ねたり、よさを言葉にしたりしているか⑭
10:40	**おやつ・牛乳を飲食する** ・おやつを食べる、牛乳を飲む ・手洗い、うがい、排泄をする	◎みんなで食べる楽しさを感じられるように、おやつの前に形や色、味を伝えクイズを出したり、おやつの味を尋ねたりする。 ◎おやつやストローの袋を自分で開けたり、やり方のコツを掴んだりするように、指先の動きを見せたり、開けやすい箇所を教えたりする。 ◎虫歯にならないためにブクブクうがいをしようと思えるように、うがいをする大切さを伝えたり、上手にうがいをしている子の口に注目するような声掛けをしたりする。	◇おやつの名前を答えたり、笑顔でおやつを食べたりしているか⑰ ◇指先を見つめたり動かしたりしているか⑪ ◇コップを外し、うがいをしているか⑨
10:50	**絵本「しっぽどんなことするの？」を見る** **しっぽとりをする** ・尻尾をつける ・思い切り走る ・尻尾を取る	◎様々な動物の尻尾について知ったり、なりたい動物を考えたりするように、写真をじっくり見せたり、質問をしたりする。 ◎尻尾をつけている時はとってほしくないことを自分の言葉で伝えられるように、見守ったり、足りないところを言葉にして補ったり、どうしてほしいのか尋ねたりする。 ◎友達や先生と逃げたり、追いかけたりする楽しさを感じられるように、名前を呼んで追いかけられていることを知らせたり、友達と走る楽しさや面白さを言葉にしたりする。 ◎相手を素早くかわしたり、走って逃げたり、背中を見せないようにしたりする楽しさや面白さを感じられるように、教師がやって見せたり、素早くかわす友達に注目するような声をかけたりする。 ◎思い切り走ったり、相手をかわしたりして頑張ったことや工夫したことを感じたりするように、教師が感じた子どもの頑張りや工夫を言葉で伝えたり、どんなことに工夫したか尋ねたりする。	◇尻尾の違いに驚いたり、笑顔になったりするか⑮ ◇やめてほしいことを伝えているか⑦ ◇笑顔で走ったり、笑い合ったりしているか⑤ ◇友達に背中を見せないようにしたり、横に動いたりするか⑪ ◇「背中見せなかった」などと言ったり、工夫した動きをやって見せたりするか④
11:25	**降園準備・降園する** ・タオルを折ったり丸めたりする ・帽子を被りリュックを背負う ・忘れている子に声をかける	◎タオルの角を合わせて綺麗に畳めたと思えるように、角を揃えて畳んでいる姿に他の子が注目するような声をかけたり、綺麗に畳めたことを認めたりする。 ◎周りの友達の様子に気付いて声をかけられるよう、忘れていることを呟いたり、鞄や上着のチャックに困っている子の様子を伝えたりする。 ◎朝との気温の違いを感じ、上着が必要か考えたり、日向の心地よさを感じたりするように、朝の寒さを振り返ったり、寒いか暖かいか尋ねたり、外に出た時に暖かさを言葉にしたりする。	◇畳んだタオルを笑顔で見せているか② ◇残った物や上着鞄を見て友達に声をかけているか⑧ ◇「今は暖かい」など気温について話しているか⑫
11:40			

背番号　青 1～20

４歳児もも１組（男 9 女 11 計 20 名）保育指導案

指導者　髙橋　梨花

１．日時　令和７年１月３０日（木）９：００～１１：５０

２．最近の具体的な子どもの姿

登園する、持ち物の始末をする	○先生や友達を見付けて自分から挨拶をしたり、写真カードを見て友達の出欠を確認したりして、友達が来ていることを喜んでいる。 ○持ち物の始末をしながら何をして遊ぶか友達と話したり、友達を遊びに誘ったり誘われたりして一緒に遊ぶことを嬉しく思っている。	他者といる喜びを感じる 他者といる喜びを感じる
おかしやさんごっこ	○紙粘土を使ってクッキーやケーキを作りたい、お金やレジを作りたいと思って道具や材料を選んでいる。 ○自分が作りたいと思っていた物が作れた、自分が作った物を友達や先生に褒めてもらい改めて自分が作った物の素敵さを感じて満足している。 ○友達と一緒にお菓子や必要な道具を作ったり、お客さんが来てくれたり注文を受けたりしたことを喜んでいる。 ○クッキーやケーキ、三色だんごなど、作りたい物を思い浮かべて素材を選んだり、絵の具の色を選んだり、形を変えたり、友達の作っている物を見て、取り入れながら作ったりしている。	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 他者といる喜びを感じる 造形に表す
挑戦する遊び（こま、フープ、けん玉、縄跳びなど）	○こまを回せるようになりたい、紐を巻けるようになりたい、フープを長く回したい、けん玉の玉を大皿の上に乗せたい、前跳びができるようになりたいなどと思って諦めずやり続けている。 ○こまが回せるようになった、紐が巻けるようになった、〇回回せるようになった、フープが昨日よりも長く回った、けん玉の玉を大皿に乗せられた、前よりも前跳びができる回数が増えたなど、できなかったことができるようになって喜んだり、先生や友達に褒めてもらって、できたことを感じ嬉しくなったり自信をもったりしている。 ○応援してもらって嬉しく思ったり、こまやフープが回ったことを一緒に喜んだり、どちらが長く回せるか勝負したり、同じタイミングで一緒にフープを回してみたり、けん玉や前飛びのコツを教えたり教えてもらったりして嬉しく思っている。 ○こまの紐を巻く時の力を調節しながら指先で紐を巻いたり、足を開いて腰を動かすとフープが回りやすかったり、膝を曲げた後すぐに膝を伸ばしてけん玉の玉を引き上げたり、縄を持つ手が下に下がった時に跳ぶと縄に足がひっかかりにくいと感じたりしている。 ○こまを回しやすいようにこまの板を持ってきて置いたり、こまや縄跳びの紐が絡まったり無くなったりしないように結んで片付けたりする。	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 他者といる喜びを感じる 身体を操作する 場や状況を整える
アイドルごっこ、ショーごっこ	○アイドルになって踊りたい、ガッチャードになって闘いショーをしたいと思ったり、踊りたい曲を選んだりしている。 ○前よりも側転ができるようになった、考えた振り付けで踊れたなど、できるようになった自分を感じて嬉しく思っている。 ○友達と同じ振り付けを踊ったり、同じタイミングで同じポーズを取ったり、手を繋いだり目が合ったりする嬉しさを感じている。 ○前転や側転、ジャンプ、ブリッジをしたり、手や足を様々な方向に動かして踊ったりしている。 ○音楽のテンポやリズムを感じて踊ったり歌詞を聴いて振り付けを考えて踊ったりしている。 ○アイドルらしくなるために、手でハートを作ってポーズをしたり笑顔でポーズを決めたり、ガッチャードらしく勇ましい表情をして武器を持って闘ったりポーズを取ったりしている。 ○アイドルになるために必要な衣装やステッキなどの装飾品を作ろうとしたりより舞台らしくなるように、マットを敷いたり、高い場所からジャンプができるようにゲームボックスを置いたりしている。 ○お客さんが見やすいように、イスを舞台の前に並べたり、すぐに踊り始められるように CD デッキを舞台の近くに置いたりしている。	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 他者といる喜びを感じる 身体を操作する 音楽に表す 身体の動きに表す 演出に表す 場や状況を整える
砂・水を使った遊び	○葉っぱや花びら、木の枝を果物やろうそくに見立ててケーキを作りたいと思って飾り付けをしたり、大きな山や穴を作りたいと思って砂を掘ったりしている。 ○大きなホールケーキが作れた、使いたかった花びらや木の枝で料理を作れ	自ら決める・選ぶ 自分に満足する

	た、深い穴を掘れた、大きな山を作れたなど、作りたいものを作れて嬉しく思っている。	
	○砂で作ったケーキや珈琲などを友達や先生に食べてもらったり、お客さんが来てくれたり注文してくれたりすることを喜んでいる。	他者といる喜びを感じる
	○寒い日にたらいに水を張っていると氷ができることを知り、氷を触ったり砕いたりしている。	事物・現象を捉える
	○氷を日向に置いておくと溶けるスピードが速くなっていることを感じたり、氷に水をかけるとすぐに溶けることを感じたりしている。	事物・現象を捉える
忍者・敵ごっこ	○今日も忍者・敵ごっこをしたいと思って友達を誘ったり、忍者になって逃げたい、敵になって追いかけたいと思い帽子の色を変えたり、逃げ切りたい、勝ちたいと思って追いかけたり逃げたりしている。	自ら決める・選ぶ
	○忍者になって逃げきれた、敵になって忍者を捕まえた、牢屋にいる友達を助けられたことを嬉しく思っている。	自分に満足する
	○友達を追いかけたり追いかけられたり、牢屋にいる友達を助けたり助けられたりして一緒に遊ぶことを喜んでいる。	他者といる喜びを感じる
	○より遊びが楽しくなるように、敵と忍者をどのようにわけるか考えたり、始める準備ができたことを知らせて合図を出したりしている。	人と物事を進める
	○友達の動きを見て方向転換したり、急に動いたり止まったりしたり思い切り走ったりすることを楽しんでいる。	身体を操作する
	○忍者と敵の数を数えて何人ずついるのか比べている。	数・量を捉える
片付ける	○片付けの時間であると知り、あとこれだけしたら片付けようと決めて片付けたり、友達に声をかけられて片付け始めたりしている子どもや、まだ遊びたい気持ちからずっと遊び続けていて、先生に何度も声をかけてもらってやっと片付けに向かう子どもがいる。	気持ちをコントロールする
	○次にする活動を楽しみだと思い、遊びに区切りを付けて片付けに向かおうとする子どもがいる一方で、まだ遊びたいと思い遊び続けている子どももいる。	自ら決める・選ぶ
	○砂場を見て、プレイウォールについた砂を落として綺麗にした方がよいと思い、箒で払い落としたり、リアカーの持ち手を取りやすい向きに揃えて片付けたりしている。	場や状況を整える
野菜･生き物の世話をする	○カメやメダカが寒さが続くことによって餌をあまり食べていないことに気付き、餌を食べる量を考えてあげている子どもや、あまり動いていなかったり餌を食べていなかったりする様子を見て不思議に思っている子どももいる。	生き物・命を見つめる
	○育てている野菜の様子を見て収穫を楽しみに水やりをしている子どもや、先生に気付かされたり友達の姿を見たりして水やりをする子どもがいる。	生き物・命を見つめる
	○自分が育てる野菜を観察しながら葉や実が大きくなっていることに気付き、もうすぐ収穫できそうだと嬉しく思ったり、なかなか大きく野菜が育たないことに疑問を抱いて図鑑や絵本で調べようとしている。	生き物・命を見つめる
手洗いうがいをする	○戸外から帰ってきた後に手洗いやうがいをして手や口内を清潔にしようとしたり、先生に声をかけられて気付き、手洗い場に向かったりしている。	体の健康を保つ
	○手についた汚れを落としたいと思い、絵表示を見て手首や爪の間まで丁寧に手を洗ったりうがいをしようとしている子どもや、先生に気付かされて手洗いうがいをしようとしている子どももいる。	体の健康を保つ
遊びの振り返りをする	○明日もしたいことを話したり、友達の話を聞いて自分もしてみたいと思ったりしている。	自ら決める・選ぶ
	○自分がしたい遊びを振り返ったり、友達の話を聞いたりして明日やりたい遊びを決めたり楽しみに思ったりしている。	自ら決める・選ぶ
	○自分の楽しかった遊びや頑張ったこと、困ったことを伝えたり、友達の話を聞いて思ったことを話したりしている。	自分のことを伝える
	○友達が楽しんでいる遊びやしたいと思っていることを感じている。	他者のことを知る
牛乳とおやつを食べる	○おやつの袋が同じ絵や色だったことを嬉しく思ったり、好きなおやつだったことに喜んだりし、一緒におやつを食べて笑顔になっている。	食を見つめる
絵本を見る	○読みたい絵本を持っている友達に「次見せて」と言ったり、「これ見て」と声をかけたりして、一緒に見ることを喜んでいる。	他者といる喜びを感じる
	○先生に絵本を読んでもらって登場人物の心情を感じたり、話の展開や内容を楽しんでいる。	文芸に表す

ブレーメンごっこ	○今日もロバや犬、猫や鶏になりたいと思って役になりきったり、老いた動物の動きや話し方、動物達の暮らしを考えたり、考えを出したりしている。 ○友達と一緒に役になりきったり、いろいろな友達と身体を触れさせたり、友達が考えたことを一緒にやってみたりしながら楽しんでいる。 ○先生や友達と一緒に絵本を見て話の展開を考えたり、イメージを膨らませて役の設定を考えたりすることを楽しんでいる。。 ○ロバや犬、猫や鶏になりきって鳴き真似をしたり、四つん這いになって動いたりして喜んで表現している。	自ら決める・選ぶ 他者といる喜びを感じる 文芸に表す 身体の動きに表す
降園準備をする・降園する	○帽子や水筒、タオルなどの忘れ物が無いように確認しながら降園準備をしている。 ○タオルを丁寧に畳んだり、ロッカーを綺麗に整えようとしている子どもがいる一方で、早く外に出て 1 番に並びたいという気持ちからタオルを畳まずに鞄に入れたり、ロッカーが整っていないままの子どももいる。	自ら決める・選ぶ 場や状況を整える

３．本日のねらい

①	昨日した遊びを今日もしたいと思って遊びに向かったり、今日もロバや犬、猫や鶏になりたい、砂や水を使ってケーキや珈琲を作りたいなど、こんな風にやってみたいと思ってしようとする。	自ら決める・選ぶ
②	自分が作りたいと思っていた物が作れた、大きなホールケーキが作れた、こまが回せた、フープが前よりも長く回せるようになった、けん玉の玉を大皿に乗せられた、前よりも前跳びができる回数が増えたなど、やりたかったことができたり、自分の頑張りを感じたりする。	自分に満足する
③	困った時や悲しい時、やりたいことが叶わなかった時に友達や先生に声をかけてもらって納得のいく方法を考えて気持ちを落ち着けたり、困ったことに向き合おうとしたり、片付けの時間だとわかり、遊びに区切りをつけて片付けを始めようとしたりする。	気持ちをコントロールする
④	先生や友達と挨拶や話をしたり、ロバや犬、猫や鶏になって一緒に遊んだり、遊びに誘ったり誘われたりする嬉しさを感じたりする。	他者といる喜びを感じる
⑤	友達のしていることを見たり聞いたりして、友達が楽しんでいることや友達の優しさ、面白さ、頑張りに気付いたりする。	他者のことを知る
⑥	自分が考えたこと、したいことやしてほしいと思うことを友達や先生に言葉や態度で伝えようとしたり、伝わってよかったと感じたりする。	自分のことを伝える
⑦	友達と一緒に目的を共有したり、より遊びが面白くなるように自分の考えを友達に伝えたり、友達の話を聞いてみんなが納得するように考え進めていこうとする。	人と物事を進める 問題を認識する
⑧	登園時や戸外から戻ってきた時やおやつを食べる前には、手や口内についたバイ菌を除こうと思って手洗いうがいをする。	体の健康を保つ
⑨	手や足を様々な方向に動かして踊ったり、体勢や体の動かし方などを考えたり試したりする。	身体を操作する
⑩	野菜の葉っぱの大きさや色、茎の長さ、太さを見て変化に気付いたり、愛着をもってカメやメダカ、ザリガニを観察したり餌をあげたりする。	生き物・命を見つめる 比較する
⑪	寒いと水が凍ったり、氷は時間が経つと溶けたり、日向に置いておくと解けるスピードが速くなったりすることを感じる。	事物・現象を捉える
⑫	遊びに使いたい物や作りたい物を思い浮かべて素材や色、形、道具を選んだり組み合わせたり切ったり貼ったりこねたりすることを楽しむ。	造形に表す 関連付ける
⑬	曲のリズムやテンポを感じて身体を動かしたり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。	音楽に表す
⑭	「ゆうびんうさぎとおおかみがぶり」を読んでもらい、がぶりの気持ちに気付いたり、ゆうびんうさぎがどうすればがぶりに手紙を配達できるか考えている姿を感じたり、ゆうびんうさぎの素敵な所に気付いたりする。	文芸に表す
⑮	ロバや犬、猫や鶏になって遊んだり、ガッチャードになって走ったり闘ったり、アイドルになって踊ったり、友達の踊りをや闘いの姿を真似して踊ったり闘ったりすることを楽しむ。	身体の動きに表す
⑯	友達と一緒に顔を見ながらおやつや牛乳を飲食する楽しさを感じる。	食を見つめる
⑰	自分や友達が気持ちよく遊べる場となるように、作りたい物や使いたい物を作るために机やマット、ゲームボックス、椅子を出したり、綺麗な場になるように、箒で砂を落とそうとする。	場や状況を整える

４．展 開

時刻	予想される子どもの活動	＊環境の構成及び再構成　◎教師の援助	◇評価の観点
9:00	登園する ・挨拶する ・持ち物の始末をする ・通園ノートにシールを貼る ・手洗いうがいをする	◎友達や先生と挨拶をしたり、会って話をする喜びを感じられたりするように、視線を合わせて名前を呼んだり、笑顔で挨拶を返したり、話を聞いて答えたりする。 ＊昨日の遊びの続きや自分のしたい遊びを見付けられるように、昨日の遊びの様子や話していたことがわかる写真やドキュメンテーションを子どもの見える場所に掲示したりする。 ◎バイキンを取り除くために丁寧に手洗いとうがいをしようと思えるように、丁寧にうがいをする姿を褒めたり、手洗いうがいをする友達の姿を知らせたり声をかけたりして気付かせたりする。	◇友達や先生と挨拶をしたり話をしたりして笑顔になっているか④ ◇写真を見て「○○して遊ぶ」としたい遊びを見付けているか① ◇手洗い場に向かい、手を洗ったりうがいをしたりしているか⑧
	○生き物の世話をする ・餌をあげる ・観察をする	◎必要に応じて餌をあげようとするように、カメやメダカ、ザリガニの様子を一緒に見たりどんな気持ちか想像する言葉をかけたりする。	◇生き物の気持ちを予想して言葉にしたり餌をあげたりしているか⑩
9:20	ブレーメンごっこをする ・ロバや犬、猫や鶏になる	＊色々な動物なって遊びたい、今日はこんなことをしてみたいと具体的に考えようと思えるように、前日に決めたことややってみたいことを記入したり印刷物を貼っているホワイトボードを用意したりしておく。 ◎友達と考えたことを一緒にやってみたり、声を合わせて遊ぶ楽しさを感じられるように。場面や情景をイメージできるような言葉を言ったりする。 ◎ロバや犬、猫や鶏の動きや気持ち、表情を考え友達とやってみようと思えるように、表現している友達の姿を言葉にしたり一緒にやってみたりする。	◇ホワイトボードを見て今日したい遊びについて言っているか① ◇友達と一緒に同じ動きをして笑顔になったり声を出したりしているか④ ◇友達の表現を見てやってみようとしているか⑮
9:50	好きな遊びをする ・友達や先生を誘って好きな遊びを始める ・自分が作ってみたいものややってみたいことを友達に伝え、やってみようとする ・友達とイメージを共有しながら遊ぶ ・自分の考えや気持ちを友達に伝えて遊びを進めていこうとする	◎遊びたい気持ちが増すように、すでに遊んでいる友達の姿を知らせたり、誘いかけたりする。 ◎友達との関わりが上手くいかずに困ったりトラブルになったりした時には、友達や先生に気持ちを伝えながら気持ちを落ち着かせられるように、気持ちを受け止めたり、どのようにすれば納得するのか一緒に考えたりする。 ◎友達が楽しんでいる遊びを知れるように、友達が遊ぶ姿を言葉にしたり一緒に遊んで楽しさに共感したりする。 ＊遊びに使いたい物をすぐに作ったり、取り出したりするように、テラスにガムテープやスズランテープ、廃材を出しておく。 ◎自分の気持ちが伝わらずに困ったり黙っていたりするときには、自分の気持ちを伝えるきっかけになるよう、何に困っているのか何をしたいのか、子どもの気持ちを尋ねながら傍で見守ったり言葉を加えたり伝えることを勧めたりする。	◇すぐに遊び始めているか① ◇落ち着いて話し始めているか③ ◇友達がしている遊びを見たり一緒に遊んだりしているか⑤ ◇作ったり修理したりして遊んでいるか① ◇自分の思いを友達や先生に伝えているか⑥
	○おかしやさんごっこ	＊作りたいものをイメージして使いたい道具や素材を選んだり使ったりして作る楽しさを感じられるように、型抜きやプレイボード、画用紙、廃材等をテラスや保育室の出入り口に置いておく。 ◎作りたいものが作れた嬉しさを感じられるよう、作品の素敵な所や頑張りを具体的に言葉で伝えたりする。	◇自分がイメージするものに合わせて素材や道具を選んだり、作ったものを言葉にしているか⑫ ◇素敵な所や頑張りを聞いて笑顔になっているか②
	○挑戦する遊び ・こまやフープを回す ・縄跳びで前跳びをする	＊自分がやりたい時にすぐに取り出して挑戦するように、縄跳びやこま、フープ、けん玉を子ども達が目につきすぐに取りやすいテラスに置いておく。 ◎こまやフープをたくさん回せた、けん玉で大皿に○回乗せられた、前跳びができたなど、前よりもできたことを嬉しく	◇したい遊びを言いながら手に取って遊びに向かっているか① ◇頑張りを褒められて笑顔になっているか②

	・けん玉で玉を大皿に乗せる	感じたり、頑張ってきた自分を感じて自信をもてたりするように、頑張っていた姿を具体的に褒めたり感心したりする。	
		◎友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、友達の名前を呼んだり友達と一緒に挑戦している嬉しさに共感したりする。	◇友達と顔を合わせて笑顔になったり話しかけたりしているか④
		◎体勢や体の動かし方を知ってやってみようと思えるように、教師も一緒に遊んでやって見せたり、コツが掴めそうな瞬間を言葉にしたり、子どもが動かしている体の部位を具体的に言葉にして伝えたりする。	◇体勢や体の動きを変えて何度もやっているか⑨
	○アイドル・ショーごっこ ・CD デッキを持ってくる ・曲をかける ・マットやゲームボックス、椅子を出す ・友達と一緒に踊る ・友達と一緒に闘う	＊自分達がしたい遊びがしやすくなるように考えて舞台を作ろうと思えるように、前日と同じ物を少し出して置いたり、近くに椅子やマットを置いておいたりする。	◇自分達で必要な物を取り出し、整えたり作ったりしているか⑰
		◎踊りたい踊りができた、かっこよく闘えた、前回りや側転などの難しい動きができた、作りたかった装飾品や武器ができたなど、したいことができた嬉しさを感じられるように、できた嬉しさに共感したり、具体的に褒めたりする。	◇できるようになったことを言ってもらい、笑顔になっているか②
		◎友達を誘ったり誘われたり、一緒に同じ踊りをしたりする嬉しさを感じられるように、友達と遊んでいる姿を言葉にしたり、友達が同じ動きをしていることを知らせたり、誘ったり誘われたりする嬉しさに共感したりする。	◇友達の顔を見たり話をしたりして笑顔になっているか④
		◎自分の思いを友達に伝えたり、友達の話を聞いたりして、みんなで遊びを進めていこうと思えるように、教師も遊びの仲間の一員として思いを伝えたり、伝えるように促したり、思いを尋ねたりする。	◇自分の思いを伝えたり、友達の話を聞こうとしたりしているか⑦
		◎指先や腕、膝や脚などの身体の細かい場所を動かすことに意識を向けられるように、教師も一緒に踊ったり、身体の細かい部位を意識しながら踊る姿や闘う姿を具体的に言葉にしたりする。	◇身体の動かし方を変えているか⑨
		◎曲のリズムやテンポ、曲調が変わったことに気付き、踊りを楽しめるように、手拍子をしたり教師も一緒に楽器を鳴らしたり、曲調が変わったことを知らせたりする。	◇リズムやテンポ、曲調を感じて踊りを変えているか⑬
		◎アイドルやガッチャードになって踊ったり闘ったりする楽しさを感じられるように、教師も一緒に遊んだり、子どもの表現のよさを言葉にしたり役の名前で呼んだり、役の設定を尋ねたりする。	◇アイドルやガッツチャードになって踊ったり闘ったり、役になって動いたりしているか⑮
	○砂・水を使った遊び ・砂で料理を作る ・木の枝や花びらを探す	◎こんなケーキやプリンが作りたい、飲み物を作りたいなどと思って木の枝や花を選んで作れるように、いろいろな色の花があることを知らせたり、木の枝が落ちている場所を一緒に探したり、試したりする。	◇使いたい木の枝や花を選んでいるか①
	・お客さんに料理を食べてもらう	＊自分が作りたいものに向けてすぐに取り出して試せるように、スコップや型抜き、鍋などを砂場のすぐ傍に置いておく。	◇使いたい道具を選んで取り出しているか①
		◎自分が作りたいと思った料理ができたり、お客さんが食べてくれた嬉しさを感じたり、頑張って作ってきた自分を感じて自信をもったりするように、料理を作る様子を言葉にしたり、作っていた姿を具体的に伝え感心したりする。	◇作った料理を教師に見せたりして笑顔になっているか②
		◎こんな風にしたいと思うことを友達に伝えて遊んでいくよさを感じられるように、話したことが実現する方向に向けて教師も一緒にしたり、友達が聞いて同じようにし始めている姿を知らせたりする。	◇したいことを言葉にしているか⑥
		◎寒い日に水を張っていると氷ができることを感じられるように、水が凍っている様子を言葉にしたり、教師も一緒に触ってみたりする。	◇氷の様子を見たり言葉にしたりしているか⑪
		◎氷は時間が経つと溶けたり、日向に置いておくと解けるスピードが速くなったりすることを感じ、観察したり比較したりするように、していることとその後の氷の様子を言葉にしたり、変化を尋ねたりする。	◇観察したり比較したりする場所を考え変えているか⑪
	○忍者・敵ごっこ	＊遊びに必要なものをすぐに取り出して遊べるように、取り	◇必要だと思うものを取

		出しやすい場所にタイマーや忍者城を置いておく。 ◎困ったことややってみたいことを伝えられるように、どうしたら伝わるか一緒に考えたり、伝えている姿を傍で見守ったりする。 ◎やりたいことを友達に伝えたり、友達の話を聞いて遊びを進めていく楽しさを感じられるよう、今日やってみたいことを尋ねたり、友達に伝えることを勧めたり、友達の話を聞くことで新しい方法が見つかったことを一緒に喜んだりする。	りに行っているか① ◇友達の顔を見て自分の思いを伝えているか⑥ ◇自分の話を伝えたり、友達の話を聞いてルールを考えたり遊びを進めているか⑦
10:40	片付ける ・使った物を元の場所に戻す ・砂場道具を洗う ・使った場所を綺麗に片付けようとする ・手洗いうがいをする	＊砂場の道具の汚れを落とし洗えるように、片付けるカゴの近くに水を張ったタライを置いておく。 ◎まだ遊びたい気持ちを切り替えて楽しみながら片付けに向かえるように、今日の遊びの満足感に共感したり、次の活動の話をしたり、教師も一緒に片付けながら楽しい雰囲気を作ったりする。 ◎遊んだ場所が綺麗になるように、教師も一緒に箒を使って綺麗にしたり、綺麗になってきた様子を言葉にしたりする。 ◎外から帰ってきたときに泥やバイキンを除こうと思って丁寧に手洗いやうがいをしようと思えるように、教師の手が綺麗になっていく様子を見せたり友達が丁寧に洗っていたりうがいをする姿を知らせたり、絵を見て順番に丁寧に手を洗う姿に感心したりする。	◇道具を洗った後、写真表示を見ながら玩具を仕分けてカゴに入れるか⑰ ◇遊びを終えて玩具を洗ったり片付けたりしているか③ ◇遊んだ場所を見て掃除を始めているか⑰ ◇絵を見て丁寧に手を洗っていたりうがいをしたりしているか⑧
	野菜の世話をする ・野菜に水をあげる ・雑草を抜く ・野菜の様子を見る ・図鑑で調べる	＊野菜の様子を気にかけて世話をしようと思えるように、これまでの世話の様子を知らせる写真を置いておく。 ◎野菜の収穫を楽しみにして水をやったり様子を見たり葉っぱや実など野菜の特徴に気付いたりするように、教師が野菜の様子を気にして呟いたり、近付いて一緒に様子を見たり触ったりする。 ◎野菜の葉が変色していたり、成長していなかったり、雑草が生えていたりすることに気付き、どうすれば収穫できるか考えられるように、気付いた様子を言葉にしたり、疑問を投げかけたり、教師も一緒に絵本や図鑑で調べたりする。	◇写真を見て野菜の場所に向かっているか⑩ ◇水をやったり観察して気付いたことを言ったりしているか⑩ ◇野菜の様子を言葉にしたり、絵本や図鑑で調べたりしようとしているか⑩
11：00	遊びの振り返りをする ・誰とどんな遊びをしたか話す ・新しい発見をしたことを話す ・明日もしたいことを話す	◎友達が好きな遊びやどんな遊びを楽しんでいるかを知ろうと思えるように、教師が関心を寄せている姿を見せたり、聞きたいことがないか尋ねてみたりする。 ◎自分が遊んで楽しかったことや頑張ったこと、工夫したことを感じられるように、考えややってみたことを尋ねてみたり、教師が見ていたことを言葉にしたりする。 ◎言いたいと思ったことを伝えてよかったと思えるように、子どもが言ったことに反応したり質問をしたりする。 ◎自分から発言しない子どもも自分の考えを伝えようと思えるように、遊びの最中に教師と共有した話について尋ねる機会を設ける。	◇話をしている友達の顔を見て話を聞いたり、聞きたいことを尋ねたりしているか⑤ ◇楽しかったことや頑張ったこと、やってみたことを言葉にしているか⑥ ◇言いたいことを言ったり伝えた後に笑顔になったりしているか⑥ ◇自分なりの言葉で伝えているか⑥
11：15	おやつ・牛乳を飲食する	◎友達と一緒に輪になって顔を見ながらおやつや牛乳を飲食する楽しさを感じられるように、みんなで一緒に食べ始めたり、楽しい話をしたりする。	◇笑顔で食べているか⑯
11:30	絵本をよんでもらう ・「ゆうびんうさぎとおおかみがぶり」を読む	◎「ゆうびんうさぎとおおかみがぶり」の絵本を読んでもらい、がぶりの気持ちやゆうびんうさぎの素敵な所に気付けるように、ゆっくりページをめくったり読むスピードを変えたり、読む声の高さを変えたりする。	◇絵本をじっと見てがぶりの気持ちやゆうびんうさぎの素敵なところを言ったりしているか⑭
11:40	降園準備・降園 ・用便、身支度をする ・明日の話をする	◎明日の遊びに期待をもてるように、明日したいと思っている話をしたり好きな遊びでしたいことを尋ねたりする。	◇どんな遊びをしようか楽しみにしていたり、明日しようと思っていることを言ったりしているか①
11:50	・降園する		

背番号　青 21～39

４歳児　もも２組（男 8　女 11　計 19 名）保育指導案

指導者　千葉　加奈子

１．日　時　　令和７年１月３０日（木）９：００～１１：５０

２．最近の具体的な子どもの姿

登園する・持ち物の始末をする	○冬の寒さや水の冷たさ、風の強さなどを感じて寒いと言ったり、水が冷たいなど、友達や教師と話をしたりしている。 ○先生や友達を見付けて名前を呼んで挨拶をしたり、仲良しの友達と一緒に写真カードを並べて貼ったり、靴を履き替えながら友達と話をしたり、家で作ってきた物を先生や友達に見せたりしている。 ○忘れずに自分から丁寧に手洗い・うがいをしようとしたり、先生に知らされて思い出してしようとしたり、必要であることをわかっているが遊びたい気持ちが優先してそのまま遊び始める子どももいる。	自然環境を見つめる 他者といる喜びを感じる 体の健康を保つ
生き物や球根の観察・世話をする	○メダカが泳いだり、餌をあげて食べている様子や、エビや貝が動いている姿を見たり、ヒヤシンスやクロッカスの芽が出ている様子や根が伸びている様子を見て驚いたりしている。	生き物・命を見つめる
ガッチャードごっこ	○自分で作ったお気に入りの武器を、先生や友達に褒めてもらって嬉しく思ったり、どうやって作ったかを尋ねられて自分が作った物のよさを感じて嬉しく思ったり、かっこいいと言われて笑顔になって喜んだりしている。 ○自分が遊んでいた武器が当たって痛そうにしている友達を見て謝りたい気持ちを友達に伝えようとしている。 ○武器を持って、走り回ったり、思い切り逃げたり、武器が当たらないように身をかわしたりしている。	自分に満足する 自分ことを伝える 身体を操作する
鬼ごっこ	○今日も鬼ごっこをしたいと思ったり、鬼になって追いかけたい、逃げになって逃げたいなど、したいことを決めたりしている。 ○最後まで捕まらないように逃げきったり、たくさんタッチをして敵を捕まえたり、友達と一緒に挟み撃ちをして作戦が成功したことを喜んだりしている。 ○友達と一緒に物陰に隠れて鬼に見付からないように身体を寄せ合ったり、鬼の動きを一緒に見たり、鬼に見つかりそうになって一緒に走って逃げたりすることを喜んでいる。 ○自分がしたい役を友達に知らせたり、タッチされて仲間に助けに来てほしいことを伝えたりしている。 ○友達と相談して足を寄せ合って鬼決めで鬼を決めようとしたり、鬼ごっこが面白くなるように、鬼と逃げる人の人数のバランスを考えたり、鬼ごっこを始める合図を知らせたりしている。 ○タッチされないように思いきり走って逃げたり、振り返って鬼の動きを見たり、タッチされそうなときには身体を素早くかわしたりしている。 ○鬼の動きを見て、鬼から離れた場所に逃げようとしたり、鬼から見えにくそうな場所に隠れたりしている。	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 他者といる喜びを感じる 自分のことを伝える 人と物事を進める 身体操作をする 空間を捉える
アイドルごっこ	○アイドルになりきって踊り、やってみたかった振り付けで踊れた、フラフープを前より長く回せた、ジャンピングをしながら踊れたなど、したい遊びができて嬉しいと思っている。 ○友達を誘ったり、誘われたりして、同じ遊びを一緒にすることを喜んでいる。 ○アイドルらしくなるように、衣装やステッキなど必要なものを作って身につけている。 ○音楽のリズムを感じながら、踊ったりポーズを取ったりしている。	自分に満足する 他者といる喜びを感じる 演出に表す 音楽に表す
固定遊具での遊び ・ブランコ ・グローブジャングル	○友達と一緒にブランコやグローブジャングルに乗って、笑顔で顔を見合わせたり、話をしたりして過ごすことを喜んでいる。 ○思いきり足を曲げたり伸ばしたりして、ブランコを漕いでいる。 ○鉄棒やブランコから落ちないように、手にしっかり力を入れて握ろうとしている。	他者といる喜びを感じる 身体を操作する 身を守る
挑戦する遊び ・こま回し ・羽つき ・けん玉	○こまを回せるようになりたい、羽子板で羽をつけるようになりたい、けん玉をやってみたいなど、自分でしたい遊びを決めて挑戦したり遊んだりしている。 ○こまを回せた、羽子板で羽がつけるようになったなど、諦めずに挑戦して上手くなったことを喜んでいる。 ○コマ回しや羽子板など、難しいことを諦めずに何度も挑戦したり、前よりも上手になった自分に気付いたりしている。 ○こまの紐を巻く時に、手に力を入れて強く巻く所と手の力を弱めて緩く巻く所があることを知り、手の力加減を調整したり、こまを投げる方向をよく見て身体の向きを考えて回そうとしたり、こまがまっすぐ着地するように手首の角度を考えて持ったり、羽子板の羽の落ちるタイミングをよく見て羽つきをするなど、色々な身体の使い方を感じている。	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 自分のことを知る 身体を操作する
描いたり作ったりする遊び	○好きなキャラクターの絵を描きたいと思って描いたり、カバンや動物などを作りたいと思って廃材やテープの色を決めたりして作っている。 ○自分の作ったものを見て、イメージ通りにできたことを喜んだり、先生	自ら決める・選ぶ 自分に満足する

	や友達に見てもらって素敵と言ってもらって嬉しく思ったりしている。 ○作りたいものをイメージして、丁寧に色を塗ったり、細かく描こうとしたり、色々な形や大きさの廃材や色々なテープ等を利用して、貼ったり組み合わせたりしている。 ○描いたり作ったりしている物を友達と見せ合って笑顔で話をしたり、絵を見ながら真似てみたりして、友達と一緒にいることを喜んでいる。	造形に表す 他者といる喜びを感じる
ままごと遊び	○友達を誘ったり誘われたりして嬉しいと思ったり、一緒にご飯を作ったり食べるたりすることを楽しいと思ったりして、友達と一緒に遊ぶことを喜んでいる。 ○ままごと遊びに必要な食べ物や飲み物をイメージして、砂や紙や紙粘土等の材料を選んで作り、それを使って遊ぼうとしている。 ○ままごと遊びに必要な衝立やテーブルなどを出して、本当の家のように遊びに必要な場所作りをしている。	他者といる喜びを感じる 造形に表す 場や状況を整える
片付け	○片付け始めた方がよいと感じているが、まだ遊びたくて先生にあと少しだけと伝えて、遊びの続きをして切り替えた後、片付け始めようとしている。 ○自分たちで最後まできれいに片付けられたことを嬉しく思い、きれいに片付けられたことを先生に知らせている。	気持ちをコントロールする 自分に満足する
野菜の世話をする	○自分が植えた野菜を見て、葉の色や大きさの変化に気付いたり、自分の育てている野菜が生長していることを喜んだりしている。	生き物・命を見つめる
振り返りをする	○自分がした遊びを紹介したり、友達が遊んで楽しかったことや挑戦したことなどを聞いたりして、次の日にどんな遊びをしたいかを考えようとしている。 ○色々な友達の考えていることや、挑戦したこと、困っていることなどを聞いて友達のことを知ろうとしている。	自ら決める・選ぶ 他者のことを知る
おやつを食べる	○石鹸で丁寧に手洗いをしようとしたり、ガラガラうがいとブクブクうがいの違いをわかって、口の中をきれいにしようしたりしている。 ○手洗い後、手が乾燥してカサカサになったりあかぎれになったりしないように、タオルで水分がなくなるまで拭くことを教えてもらって、丁寧にタオルで拭こうとしている。 ○今日のおやつが何かを予想したり、好きなおやつだったことを喜んだり、おやつを食べて美味しいねと言ったりしている。	体の健康を保つ 体の健康を保つ 食を見つめる
ももたろうごっこをする	○おじいさん役やおばあさん役など、なりたい役を決めて遊びたいと思ったり、自分がしたい挑戦遊びを決めて遊ぼうとしたりしている。 ○腰を曲げたり杖をついてゆっくり歩いたりするおじいさんやおばあさんになりきって遊べた、縄跳びやなべなべ底抜けなど前より上手になったなど、できるようになったことを嬉しく思っている。 ○友達と一緒に役になりきって楽しいと感じたり、友達の遊んでいる姿を見て真似てみたり、縄跳びをしているときに友達に応援してもらうことを嬉しく思ったりして、一緒に遊ぶことを喜んでいる。 ○友達の挑戦している姿や工夫しているところを見てすごいと思ったり、自分も真似てみようとしたりする。 ○ピアノのリズムやテンポに合わせて身体の動きや速さを合わせたり、ピアノの音が高い音に変わったら自分の席に戻ることを知って動こうとしたりしている。 ○役になりきって、鬼になって大きく身体を動かしたり、勇ましい表情をしたりして表そうとしている。	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 他者といる喜びを感じる 他者のことを知る 音楽に表す 身体の動きに表す
降園準備・降園をする	○カバンを掛けやすいように、コートを着る順番を先にするか後にするのかを考えて着ようとしている。 ○降園準備をした後にもう一度忘れ物がないか確認して自分で忘れ物がないように準備できたことを喜んでいる。	事物・現象を捉える 自分に満足する

３．本日のねらい

① 鬼ごっこをしたい、アイドルごっこがしたい、こまを回せるようになりたい、羽子板で羽がつけるようになりたい、けん玉をやってみたい、自分でイメージした絵を描いたり制作をしたい、次の日に遊びたいことを考えたいなどしたり、前日の続きの遊びをしようとしたり、その日に遊びたいことを決めて遊ぼうとしたりする。 自ら決める・選ぶ

② 武器やイメージしていた物が作れた、鬼ごっこで最後まで逃げきれたり捕まえたりした、挟み撃ちが成功した、アイドルになっていっぱい踊れた、こまが回せた、羽子板で羽がつけるようになった、縄跳びでいっぱい飛べるようになった、自分で忘れ物がないように準備できたなど、自分がしたい遊びができて嬉しく思ったり、挑戦してよかったと思ったり、したいことができたことを嬉しく思ったりする。 自分に満足する

③ まだ遊びたい気持ちはあるが、あともう少しだけと言って自分で折り合いをつけようとする。 気持ちをコントロールする

④ コマ回しや羽子板、縄跳びやなべなべ底抜けなど、前よりも上手になった自分に気付き、挑戦したり、頑張った自分の成長や変化に気付いたりする。 自分のことを知る

⑤ 先生や友達と挨拶をしたり、友達と一緒に同じ遊びをしたり、遊びに誘ったり誘われたり、友達の様子を見たり、応援してもらったりするなど、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。 他者といる喜びを感じる

⑥ 友達が遊んでいる様子や挑戦している姿を見たり、楽しかったことや困っていることを聞いたりして、友達の素敵な姿や考えていることを知ろうとする。 他者のことを知る

⑦ 自分の役割を知らせたり、遊びや助けて欲しいことを伝えたり、楽しかったことや困った事、嫌だった気持ちを先生や友達に言葉や表情で伝えようとしたりする。 自分のことを伝える

⑧ 友達と遊びの準備をしたり、もっと遊びが楽しくなるように自分の考えを伝えたり、友達の話を聞いて自分のすることを考えたり、必要なルールを相談したりして一緒に遊びを進めようとする。 人と物事を進める

⑨ 丁寧に手洗いをしたり、手洗い後水分が残らないようにタオルで拭こうとしたり、ガラガラうがいとブクブクうがいの違いをわかって口の中や喉をきれいにしようとしたり、冬でも水分補給が必要である理由を教えてもらってお茶や水を飲もうとしたりする。 体の健康を保つ

⑩ 固定遊具で遊ぶときにはしっかり手に力を入れて握ったり、武器で遊ぶときには当らないように人の気配を気にしたり、周りを確かめたりして、危なくない方法を考えようとする。 身を守る

⑪ 思い切り走ったり、素早く身をかわして逃げたり、足の曲げ伸ばしをしてブランコを漕いだり、こまの紐巻きのときに手の力加減を調節したり、身体の向きを考えてこまを投げたり、縄の動きに合わせ飛んだり、羽子板の羽の動きに合わせて腕を動かしたり、膝を使ってけん玉をしたりするなど、色々な身体の使い方をして、身体を動かすコツを感じる。 身体を操作する

⑫ 冬の寒さや水の冷たさ、風の強さや日向の暖かさを不思議に思ったり違いを感じたりする。 自然環境を見つめる

⑬ メダカの餌をあげたり、野菜の生長に興味を持って世話をしたり、球根の芽が出たり、根が伸びたりしている様子をじっくり見ようとする。 生き物・命を見つめる

⑭ コートと鞄のどちらを先にしたらカバンが掛けやすいのかを試したり、順番を考えたりする。 事物・現象を捉える

⑮ 武器やカバン、衣装やステッキなどアイドルごっこになりきるためのグッズ、ままごとのごちそうなど、自分の作りたい物をイメージして、素材を選んだり、形を工夫したり、友達の作っているものを見て、その良さを感じて取り入れたりして作ることを楽しむ。 造形に表す

⑯ 音楽のリズムやテンポに合わせて踊ったり、身体の動きや速さを合わせたり、ピアノの高い音や低い音の違いを感じて動こうとしたりする。 音楽に表す

⑰ 役になりきって身体で動きを表現しようとしたり、表情で感情を表そうとしたりすることを楽しむ。 身体の動きに表す

⑱ 今日のおやつが何かを予想したり、好きなおやつだったことを喜んだり、食べた感想を言ったりして、おやつの時間を楽しむ。 食を見つめる

⑲ 机やままごと道具など、遊びに必要な物を準備したり、遊びやすいように物を置く位置を考えたり、遊んだ場をきれいにしようと思って片付けに向かおうとしたりする。 場や状況を整える

４．展　開

時刻	予想される子どもの活動	＊環境の構成及び再構成　◎教師の援助	◇評価の観点
9:00	登園する ・挨拶をする ・通園ノートにシールを貼る ・持ち物の始末をする ・用便をする ・手洗い・うがいをする ・水分補給をする	◎冬の寒さや水の冷たさ、風の強さ、日向の暖かさなどを感じられるように、前日と比べてどうか尋ねたり、一緒に水を触ってみたり、感じたりしたことを友達や教師と話したりする。 ◎先生や友達と挨拶をして嬉しいと感じられるように、視線を合わせて挨拶をしたり、挨拶をしてもらって気持ちがいいことを伝えたりする。 ◎自分の身体が清潔に保てるように、手洗い・うがいを丁寧にしていることを具体的に知らせたり、きれいになって気持ちがよいことを言葉で伝えたりする。 ◎こまめに水分補給をしようと思えるように、風邪予防や身体の乾燥を防ぐために、冬でも水分補給が必要であることを伝えたり、教師も一緒に水分補給をする姿を見せたりする。	◇「寒い」と言葉にしているか⑫ ◇先生や友達に自分から挨拶をしているか⑤ ◇手洗い・うがいを忘れずにしているか⑨ ◇水筒置き場に行き、水分補給をしているか⑨
	生き物や球根の観察・世話をする ・メダカにエサをあげる ・赤ちゃんザリガニを見る	＊メダカや赤ちゃんザリガニの観察や世話をしたり、球根の成長を気付いたりするように、目のつく場所に餌や虫眼鏡、水栽培の球根を置く。 ◎水栽培の球根の成長が感じられるように、芽が出ている様子を教師も一緒に見たり、色々な角度から見た方が根の様子がよく見えることを知らせた	◇気付いたことや変化を言葉にしようとしているか⑬ ◇球根の芽や根の部分を見て気付いたことを呟いているか⑬

	・ヒヤシンス・クロッカスの観察をする	りして、気付いたり驚いたりして呟いている言葉に共感する。	
9:15	好きな遊びをする	＊前日の遊びの続きをしたいと思えるように、遊びの姿の写真を貼ったり、目のつくところに遊びに必要なものを置いておいたりする。	◇遊びの写真を見ているか①
		◎自分でしたいことや遊びを決めて、取り組めるように、今日はどんな遊びをしたいと思っているかを尋ねたり、昨日の遊びのことについて話したりして、いってらっしゃいと明るい声で送り出す。	◇したい遊びを言葉にしたり、道具を触ったりして、遊びに向かっているか①
		◎友達が楽しんでいること、友達が自分の考えが違って困っていることなど知ろうと思えるように、教師も一緒に話を聞いたり、聞きたいことがないか尋ねたりする。	◇友達の話を聞こうとしているか⑥
		◎自分のしたいことや気持ちが伝えられるように、自分の役割を知らせたり、遊びや助けて欲しいことを伝えたり、楽しかったことや困った事、嫌だった気持ちを言葉や表情で伝えている姿を見守ったり代弁したりする。	◇自分のことを伝えているか⑦
		◎友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、準備をしたり、友達の話を聞いて相談したり、自分の考えを伝えたりして、一緒に遊びを進めようとしている姿を言葉にしたりする。	◇友達と相談して遊びを進めているか⑧
		◎自分の周りやみんなで使う場所が、気持ちよく使いやすく楽しい場となるように、道具の置き方を考えている姿を褒めたり、生活する場で気持ちよく過ごすために、きれいに片付いた心地よさを言葉で伝えたりする。	◇道具の置き方や、片付け方を考えて整えようとしているか⑲
	○ガッチャードごっこ ・武器を作る ・武器を持って戦いごっこをする	＊かっこいい武器やベルトが作れるように、色々な廃材を組み合わせたり、テープの貼り方や長さを考えたりして、作りたいものを作れるように、色々な色や大きさの廃材やテープ類などを準備しておく。	◇自分の作った武器を見ながら、工夫したところを話しているか⑮
		◎自分がイメージした武器が作れた嬉しさを感じられるように、廃材の組み合わせ方や、テープの色の使い方、丁寧に貼っているところなど、具体的に伝えたり褒めたりする。	◇先生に言葉で伝えてもらって完成した物を嬉しそうに教師に見せているか②
		◎武器が当たったりしない危なくない方法を考えられるように遊ぶには、どのようなことに気をつけたらいいか尋ねたり、どうすれば危なくないかを思い出させたりする。	◇安全に遊べる方法を言葉で伝えているか⑩
		◎身体を動かしてごっこ遊びが楽しいと思えるように、友達の動きを見て走って逃げたり、身をかわしたりしている身体の使い方を具体的に褒める。	◇友達の動きを見て、走ったり、身をかわしたりしているか⑪
	○鬼ごっこ ・ケイドロ ・しっぽとり	◎友達がしている姿を見て自分もやってみたいと思えるように、鬼ごっこが始まっていることを知らせたり、教師も一緒に遊んだりして楽しそうな姿を見せる。	◇入れてと言って集まってきているか①
		◎最後まで逃げきった、たくさんタッチができた、挟み撃ちが成功したなど、頑張ったことに嬉しさを感じたり自信を持ったり、諦めずに追いかけている姿を応援したり、作戦を考えて成功したことを一緒に喜んだりする。	◇笑顔で追いかけたり逃げたりしているか②
		◎友達と一緒に鬼ごっこをする楽しさが味わえるように、声を掛け合って友達と走ったり、一緒に隠れていたりしている楽しそうな姿を言葉で伝える。	◇友達と顔を見合わせて声をかけたり、身体を寄せ合って隠れたりしているか⑤
		◎友達と相談して遊びが進められるように、友達の話を聞いて考えている姿を見守ったり、共通のルールがわかっているか尋ねたりする。	◇ルールを相談しているか⑧
		◎思い切り走って追いかけたり逃げたり、身体の色々な使い方をして鬼ごっこをすることが楽しいと思えるように、友達の動きを見て走って逃げたり、身をかわしたりしている身体の使い方を具体的に褒める。	◇友達の動きを見て、走ったり、身をかわしたりしているか⑪

	○アイドルごっこ ・フープを回す ・ジャンピングをする ・踊る	＊自分のしたいことがすぐに始められるように、色やサイズの違うフープ、CD デッキや CD を手に取りやすい場所に置いておく。	◇フープやデッキを手に取り用意し始めているか①
		◎アイドルになっていっぱい踊れた、フープが長く回せた、一度にたくさんのフープを回せたなど、挑戦したことを嬉しいと思えるように、何度も頑張っている姿を褒めたり、応援したりする。	◇笑顔で何度も挑戦しているか②
		◎友達と一緒にアイドルごっこをする楽しさを存分に味わえるように、教師もお客さんになって応援したり、友達と一緒に嬉しい気持ちを言葉にしたりする。	◇嬉しい気持ちを言葉に表して喜んでいるか⑤
		◎なりたいアイドルに近付くために、必要な物を思い浮かべて考えられるように、どんなものが必要か尋ねたり、どんな時に使って遊ぶのかを尋ねたりする。	◇色々な材料を探して貼ったり組み合わせたりしているか⑮
		◎リズムやテンポを感じながら、遊ぶことが楽しいと思えるように、テンポやリズムに合わせて身体の動きや踊りを変えている姿を言葉にしたり、手拍子をしたりする。	◇音楽のリズムに合わせて、踊っているか⑯
	○固定遊具での遊び ・ブランコを漕ぐ ・グローブジャングル回す・乗る	◎思いきり足を曲げたり伸ばしたりしてブランコをこぐことが楽しいと思えるように、木の葉に届きそうなことを伝える。	◇足を曲げたり伸ばしたりしてブランコをこいでいるか⑪
		◎友達と一緒に遊具に乗って過ごすことが楽しいと思えるように、顔を見合わせて楽しそうに遊んでいる時には笑顔でそっと見守ったり、楽しそうだったことを言葉で伝えたりする。	◇顔を見合わせて、笑顔で楽しそうに話をしているか⑤
		◎鉄棒やブランコから落ちないように、親指も使って手に力を入れるといいことを知らせ、力が入っている姿を褒める。	◇親指も使ってしっかり握っているか⑩
	○挑戦する遊び ・こま回を回す ・羽子板で羽をつく ・けん玉を大皿に乗せる ・縄跳び	◎こまを回せるようになりたい、羽子板で羽をつけるようになりたい、けん玉をやってみたいなど、自分でしたい遊びを決めて挑戦をしようと思えるように、どの遊びに挑戦したいか尋ねる。	◇自分で決めた遊びに挑戦しているか①
		◎こまを回せた、羽子板で羽をつけるようになったなど、自分の成長や変化に気付けるように、前と比べてどうだったか具体的に伝えたり、自分で振り返って気付いたりする。	◇自分の変化を言葉にして言っているか④
		◎遊びに合わせて手の力加減や身体の向き、腕の動かし方や膝の動きなど意識したり、縄の動きに合わせて飛んだりして挑戦しようと思えるように、教師が見本を見せてコツを知らせたり、意識して身体で覚えようとしている姿を具体的に褒めたりする。	◇身体の使い方を意識して遊んでいるか⑪
	○描いたり作ったりする遊び ・好きな絵を描く ・作りたい物を作る	◎自分でイメージした絵を描きたい、作りたい物をイメージして廃材を選びたい、使いたいテープ類の色を決めたい、マジックの種類を決めたいと思って作る。	◇使いたい材料を選んで作りたい物を作っているか①
		◎自分が描きたかった絵が描けた、作りたかったが作れた嬉しさを感じられるように、頑張りを褒めたり、作品の素敵なところを言葉にしたりする。	◇完成したものを見て笑顔になっているか②
		◎描きたい絵や作りたい物、遊びに必要な物を思い浮かべて制作したいと思えるように、どんなものを作りたいか尋ねてみたり、工夫して描いたり作ったり飾ったりしている姿を具体的に言葉にしたりする。	◇色々な形や色、素材など工夫して描いたり作ったりしているか⑮
	○ままごと遊び ・ごちそうを作る ・お客さんに食べてもらう	＊ままごとのごちそうなど、作りたい物を思い浮かべてそれにあった素材を選べるように、紙や紙粘土などの素材や絵の具などを準備しておく。	◇作りたいイメージに合わせて素材を組み合わせて作っているか⑮
		◎友達と一緒に遊ぶことが楽しいと思えるように、友達を誘ったり誘われたりしている嬉しい気持ちを言葉にしたり、教師もお客さんになって作った物を食べたり、食べた物の感想を伝えたりする。	◇お客さんが来てくれて笑顔になっているか⑤

		◎友達と相談して遊びの場作りをしようと思えるように、物の置き場所や狭くないか尋ねたり、広く使えるようになって遊びやすくなったことを伝えたりする。	◇友達と相談して場作りをしているか⑲
10:15	片付ける ・使った物を元の場所に戻す ・ゴミ拾いをする	◎遊びたい気持ちに折り合いをつけられるように、あと少しだけと言っている子どもには、その気持ちを受け入れ、片付け始めている姿を褒める。 ◎自分達が使っていたものを最後まで片付けようと思えるように、元の場所に戻そうとしたり、場がきれいになった気持ちよさを言葉にしたり、残っているゴミや道具がないか教師も一緒に確認したりする。	◇気持ちに折り合いをつけて片付けているか③ ◇自分が使ったものを片付けたり、ゴミを見付けて拾ったりしているか⑲
	野菜の世話をする ・水やりをする ・野菜の成長を見る	◎野菜の生長に気付けるように、教師も一緒に見たり、変化に気付いて呟いている言葉に共感したり、発見したことを他の子ども達に知らせたりする。	◇野菜を見て、生長している様子を呟いているか⑬
10：40	振り返りをする ・自分のした遊びを伝える ・友達のした遊びを知る	◎次の日にどんな遊びをしたいかを考えられるように、自分がした遊びを紹介したり、友達が遊んでいた遊びを知ったりして、次の日にどんな風に遊びをしたいかを聞いたり、どんな物を作りたいかなどを尋ねたりする。	◇次の日にしたい遊びを、先生や友達に話しているか⑦
10：55	おやつを食べる ・手洗い・うがいをする ・おやつを食べ牛乳を飲む ・うがいをする	◎手洗い後、手が乾燥してカサカサになったりあかぎれになったりしないように、タオルで手の甲まで丁寧に拭くことを知らせたり、丁寧に拭いている姿を褒めたりする。 ◎ガラガラうがいとブクブクうがいの違いをわかってうがいをするように、喉や口の中がきれいになったか尋ねる。 ◎おやつの時間が楽しいと思えるように、今日のおやつが何かを尋ねてみたり、食べた感想を聞いてみたりする。	◇手の甲まで水分が残らないように丁寧にタオルで拭いているか⑨ ◇ガラガラうがいとブクブクうがいを使い分けてしているか⑨ ◇どんな味かを言ったり美味しいと言ったりして食べているか⑱
11:15	ももたろうごっこをする ・なりたい役になって遊ぶ ・縄跳びに挑戦する ・なべなべ底抜けをする ・鬼について知っていることを話し合う。 ・鬼になって遊ぶ	◎自分でなりたい役ややってみたい遊びをしようと思えるように、どんな役がしたいかを尋ねたり、友達の遊びの姿を紹介したりする。 ◎したいことや挑戦したいことができた嬉しさを感じられるように、なりきって演じている姿や諦めずに挑戦している姿を褒めたり素敵なところや、頑張り具体的に伝えたりする。 ◎クラスの友達みんなで一緒に遊ぶ楽しさが味わえるように、顔を見合わせて遊んでいる姿や、友達を応援している様子を伝えたり、クラスみんなで遊んで楽しかった気持ちを言葉にしたりする。 ◎友達の頑張りに気付くように、なりきって遊んでいる友達が考えたことを一緒にやってみたり、縄跳びやなべなべ底抜けなど、難しいことに何度も挑戦したりしていることを知らせる。 ◎ピアノに合わせて表現遊びをする楽しさが感じられるように、リズミカルな曲を選んだり、テンポを速くしたり遅くしたりして変化をつける。 ◎なりきって遊ぼうと思えるように、役の特徴を尋ねたり、友達の姿を見たりして、工夫して表現している姿を具体的に褒める。	◇なりたい役や遊びたいことを決めているか① ◇頑張ったことや嬉しかったことを呟いているか② ◇クラスみんなで遊んで楽しかったと言っているか⑤ ◇友達の様子をじっと見たり、驚いたりしているか⑥ ◇リズムやテンポに合わせて動いているか⑯ ◇なりきって身体や表情で表現しているか⑰
11:40	降園準備 ・用便をする ・水分補給をする ・降園する	◎忘れ物がないか自分で気付いたよさが感じられるように、尋ねてみたり、自分で気付いたことをほめたり教師も一緒に喜んだりする。 ◎上着と鞄のどちらを先にしたらカバンが掛けやすいのかを気付けるように、見守ったり、どちらが掛けやすいか一緒に考えたり、声をかけたりして、順番を考えて準備をしようとしている姿を褒める。	◇自分から気付いて持ち物を持ち帰っているか② ◇上着と鞄の順番を考えて準備をしているか⑭
11:50	降園をする		

背番号　黄１～19	５歳児　さくら１組（男９　女10　計19名）
背番号　黄21～39	５歳児　さくら２組（男10　女９　計19名）

５歳児学年合同保育（グループ別）指導案

指導者　小園佳歩・筒井日奈子

１．　日　時　　令和７年１月３０日（土）９：００～１２：００

２．　最近の具体的な子どもの姿 ⟶ **発表会の取組については、グループ別指導案（１）～（５）参照**

登園・持ち物の始末をする	○友達や教師に親しみを感じ、自分から顔を見合わせて笑顔で挨拶をしたり昨日の遊びの続きに誘ったり遊びの相談をしたりしている。 ○昨日の続きの遊びや発表会で取り組んでいることをしたいと思い、必要なものを準備したり、今日したいことを話したり、友達を誘ったりしている。 ○今日の予定や時間を確かめて、したいことが複数ある時にどちらもできるように遊びを変える時間を決めたり、発表会の時間に間に合うようにするにはいつ片付け始めた方がよいか考えたり友達と相談して決めたりしている。 ○荷物の始末で友達の手拭きタオルが出し忘れていることや名前カバーを外し忘れていることに気付いて教えてあげようとしている。	他者といる喜びを感じる 自ら決める・選ぶ 他者のことを考えて行動する
カプラ	○カプラを積み上げて天井まで届かせたい、上段と下段をビー玉が転がるような高速道路を作りたい、本物みたいな城を作りたいなどと思い、試したり崩れてももう一度やり直したり何度も取り組んだりしている。 ○カプラの積み重ねる面や積み重ね方によって崩れやすさが違うことに気付いたり、傾いていくと崩れてしまうことを感じたりして、崩れないように積み重ねる面や積み重ね方を考えたり試したりしている。 ○カプラを積み重ねて自分より高くなったことや本物の城のように屋根を斜めにできたこと、ビー玉が思うように転がったことなどを嬉しく思っている。	自ら決める・選ぶ 事物・現象を捉える 自分に満足する
鬼ごっこ	○友達と一緒に遊ぶことや凍った自分をタッチして助けてくれた、一緒の遊びに誘い誘われたりすることを嬉しく思っている。 ○友達にタッチできた、捕まってしまった友達を助けてあげた、一度もタッチされなかったことを嬉しく思い、笑顔になったりタッチされなかったことを喜んだりしている。 ○今遊んでいる遊びがより面白くなるために、困っていることやもっとこうしたいと思っていることを集まって話し合おうとしている子もいれば、話し合いの途中で気持ちが途切れて自分の好きなことをしようとしている子もいる。 ○友達に追いついたり追いつかれたりしないために足を素早く動かしたり腕を大きく振ったりして走る速度を上げようとしている。 ○相手の動きに合わせて方向転換したり体をひねってかわしたりしている。	他者といる喜びを感じる 自分に満足する 人と物事を進める 身体を操作する
縫いもの	○かわいい人形を作りたい、ストラップを作りたいと思って作りたいものを決めて作り始めている。 ○作りたいものが完成した、何日もかけてやっとできたことを嬉しく思い、作ったものを笑顔で鞄に入れたりやっと完成したことを笑顔で言葉にしている。 ○自分の作りたいものを思い浮かべて、より本物らしく見えるよう	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 造形に表す

	に、どの色のフェルトだとイメージに近いか見比べたり感触に似ている素材を探して使い分けようとしたりしている。	
片付けをする	○発表会の準備をすることを楽しみに思い、活動が始まる時間を意識して片付けの時間を友達と事前に相談し、その時間になったら片付け始めている子どもがいる一方、次の活動への見通しをもたず友達の声掛けで気付いて片付け始めている子どももいる。 ○自分達が使ったものを綺麗にしたい、整えたいと思って片付けを進めているが、道具が少し残っていたり、元の場所に丁寧に収まっていなかったりしても気にせず片付け終わったことにしている。	自ら決める・選ぶ 場や状況を整える
振り返りをする	○教師や友達に自分の話を聞いてほしいと思って笑顔で手を挙げて当てられることを待っている。 ○友達や教師に話や考えを聞いてもらうために、話し始めてもよいか尋ねたり声の大きさを変えたりして伝えようとしているが、伝えたい友達ではなく教師を見ながら話し始めることがある。 ○友達がしたことや頑張っていることを知って、グループの考えのよさを感じたり頑張りを認めたりしている。 ○今日したことを伝える時に友達と一緒に言おうと誘ったり一緒に話す友達の顔を見て笑顔になったりしている。 ○遊びや発表会のことで悩んでいるグループの話を聞いて、何かしてあげたいと思って、友達が悩んでいることについて一緒に考えたり案を出したりしている。 ○教師や友達が自分の話したいことが伝わるように、教師に言葉を補ってもらいながら言葉を言い換えたり順序立てたりポイントを押さえたりして伝えようとしている。	自ら決める・選ぶ 自分のことを伝える 他者のことを知る 他者といる喜びを感じる 他者のことを考えて行動する 文章の構成を整える
降園準備・降園する	○必要なものを自分で気付いて家に持って帰ることを忘れないように、朝持ってきて出したものが鞄に入っていたり手に持っていたりするか確かめようとしている子もいれば、見返そうとせずに忘れて降園している子もいる。 ○明日はどんなことをして遊ぼうか悩んでいたり自分たちで決めたりしている。 ○友達が自分で忘れ物に気付いて取りに行けるように、まだタオル掛けにタオルが残っていたりロッカーにバスケットが置いたりしていることを知らせている子もいれば、友達に自分が届けたいと思って友達のところまで持って行ってあげようとしている子もいる。 ○明日も気持ちよく保育室を使えるように自分達の使った椅子や作ったものを片付けたり作ったものを持ち帰ったりしてから降園しようとしている子もいれば、場を整える意識が低くそのまま置いて降園している子もいる。	自ら決める・選ぶ 自ら決める・選ぶ 他者のことを考えて行動する 場や状況を整える

3．　本日のねらい ⟶ **発表会の取組については、グループ別指導案（1）～（5）参照**

① 昨日の遊びの続きや発表会の取り組んでいることをしたい、考えたことを試してみたい、もっと難しいことに挑戦してみたい、新しい技や魅せ方を生み出したいなど具体的にしたいことを決めて、遊びに向かったり、考えたり試したり何度も取り組んだりしようとする。　自ら決める・選ぶ　問題を認識する

② 遊びが前よりも進んだ、考えたり試したりしたことで前より面白くなった、難しいことが少しずつできるようになってきた、諦めずに取り組んだなどと思い、充実感を味わう。　自分に満足する　比較する

③ 自分で言動を振り返ったり友達や教師に言葉にしてもらったりして、難しいことにも挑戦し続ける自分や自分の頑張り、面白い考えをもっている自分、自分の好きなことや苦手なことを自覚したり、素直に認めたりしようとする。　自分のことを知る

④ 友達と一緒に過ごす中で、一緒に考えたり試したり、困った時に助けてくれたり、応援してくれたり、楽しんだりする仲間がいることを嬉しく思う。	他者といる喜びを感じる
⑤ 友達の考えの面白さや頑張り、好きなこと、苦手なこと、苦手なことに対する取り組み方などを知ったり認めたり、友達の考えや思いを知ろうとしたりする。	他者のことを知る
⑥ 自分の考えや気持ちを分かってくれるまで、話すタイミングを考えたり、相手の様子を見ながら伝えたり、理由を添えたり、話す順序を考えたり、実際にやって見せたりなどして、伝え方をいろいろに工夫しながら伝えたり、伝えるよさを感じたりする。	自分のことを伝える 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する 実行し、その結果を基に判断を下す
⑦ 友達のためにどこまで伝えたりやってあげるのがよいか考えて、待ったり、促したり、気持ちを尋ねながら一緒にしたり、考えたり提案したり、教えてあげたりしようとする。	他者のことを考えて行動する 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
⑧ 同じイメージや目的をもって遊びを進めていくために、自分ができることを考えてしたり、必要なことを友達を集めて提案したり、自分や友達の困り事をみんなで納得するまで話し合おうとしたりする。	人と物事を進める
⑨ カプラの積み重ねる面や重ね方によって崩れやすさが違うことを感じ、どうしたら崩れないか考えたり試したり、試した重ね方で傾いていないか崩れにくくないかを確かめながら何度も取り組もうとする。	事物・現象を捉える 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する 実行し、その結果を基に判断を下す
⑩ 自分の作りたいものを思い浮かべて、より本物らしく見えるように、どの色のフェルトだとイメージに近いか見比べたり感触に似ている素材を探して使い分けようとしたして作ることを楽しむ。	造形に表す
⑪ 話したいことや考えが友達や先生に伝わりやすくするために、言葉を言い換えたり順序立てたりポイントを押さえたりして伝えようとする。	文章の構成を整える 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
⑫ 最後まで丁寧に場所や物を整えようと思い、場が整っているか確かめたり、丁寧に物が戻っていない時に最後まで丁寧に戻そうとしたりして、整っている気持ちよさを感じる。	場や状況を整える

４．　展開

時刻	予想される子どもの活動	＊環境の構成及び再構成　　◎教師の援助	◇評価の観点
9：00	登園する ・持ち物や上着の始末をする	＊したいことを具体的に決めて遊びに向かっていけるように、これまでの遊びで決めていたことやしたいと思っていたことをホワイトボードにかき残し、子どもの目に入る場所に置いておく。 ◎したいことを具体的に決めて遊びに向かっていけるように、これまでの遊びの過程やしたいと話していたことを言葉にしたり、すでに遊びの準備をしている友達を知らせたりする。	◇掲示を見たりしたいことを具体的に言葉にしたりして遊びに向かっているか① ◇したいこと具体的に言葉にしたり友達を見て遊びに向かったりしているか①
	好きな遊びをする ・昨日の遊びの続きをする ・友達を遊びに誘う ・遊びに必要なルールやものを話し合って決める	◎自分の頑張りや個性を自覚したり認めたりするように、これまでの頑張りを言葉にしたり、自分ではどう思っているか尋ねたりする。 ◎遊びを進めていく仲間がいる嬉しさを感じられるように、遊び仲間の名前を出しながら楽しん	◇笑顔になったり自分の頑張りや個性を話したりしているか③ ◇友達の顔を見合って笑顔になったり友達

		でいることや仲間がいるからこそ進んでいることを言葉にする。		と話したりしているか④
		◎友達の考えや思い、個性を知ろうとしたり、それを認めたりするように、友達の考えや思いを聞いてどう思うか尋ねたり、教師が個性を認める姿を見せたりする。		◇友達の様子を見聞きしたり、友達の個性について話したりしているか⑤
		◎分かってくれるまで伝え方を工夫して伝えたり伝えるよさを感じたりするように、伝えた時の相手の反応を尋ねたり、一緒に伝え方の工夫を考えたり、諦めずに伝えたからこそ分かってくれたことを一緒に喜んだりする。		◇何度も伝えたり伝え方を変えたり相手の反応を見たり、伝わった後に笑顔になったりしているか⑥
		◎友達のことを思ってどこまで何をしたらよいか考えて動こうと思えるように、全てやってしまうことが友達のためにならないことを伝えたり、次に友達が自分でする時に困らないためにどこまで助けたらよいか尋ねたりする。		◇友達の様子を見聞きしてから教えたり待ったり、励ましたりしているか⑦
		◎同じイメージや目的をもって進めていくために自分ができることをしたり納得するまで話し合ったりするように、今日はみんなで何をしようと決めているのか尋ねたり、全員が納得していることなのか確かめたりする。		◇遊び仲間全員で集まったり、することを話し合ったりしているか⑧
		◎遊びが進んだことや頑張ったことに充実感を味わえるように、これまでの遊びからの変化を具体的に言葉にしたり、それまでの過程に感心したりする。		◇笑顔になったり自分の頑張りや進んだことを具体的に話したりしているか②
	○カプラ ・カプラを積む ・積んだものを見る	◎カプラがどうしたら崩れないか考えたり試したり、試したことを振り返りながら取り組んだりしようと思えるように、どんな積み方が崩れにくいか尋ねたり、教師がいろいろな積み方を見せたり、試してみてどうだったか尋ねたりする。		◇崩れないと思う積み方を話したり、積んだものを見たり積み方を変えたりしているか⑨
	○氷鬼ごっこ ・集まって鬼を決める ・逃げをタッチしたり、鬼にタッチされてなって凍ったり、タッチしてあげて助けてあげたりする	◎氷鬼ごっこがより面白くなるために、友達と困ったことやもっとこうしようと思っていることを相談しながら決めていこうと思えるように、実際にやってみてどんなことに困ったのか尋ねたり困ったことをどう変えていけばよいかを一緒に考えたりする。		◇困ったことやもっとこうしたいと思ったことを集まり合って話しているか⑧
	○縫いもの ・フェルトを好きな形に切る ・針と糸で縫い合わせる	◎作りたいものを思い浮かべて、それらしく色やフェルトの中に詰めるものを比べてみたり試してみたりするように、いろいろな種類の糸を出したり作りたいものの感触に近そうなものを一緒に探したりする。		◇作りたいものによって糸やフェルトの色を変えたりより素材の感触を比べたり試したりしているか⑩
	○けん玉 **○一輪車** **○バスケットボール**			
	片付けをする ・使った道具を元の場所に戻す ・場を整える ・片付けた場所を確かめる	＊見通しをもって片付けようと思えるように、今日の予定や始まる時間を子どもの目につく場所にかいておく。 ◎最後まで丁寧に片付けようと思えるように、使った場所を最後に確かめたか尋ねたり、最後まで丁寧に整える姿に感心したりする。		◇今日の予定を見たり片付ける時間を友達と話し合ったり決めた時間で片付け始めたりしているか① ◇使った場所を見たり落ちている物を拾ったり物を整えたりしているか⑫
10：00		**グループで発表会の準備や練**		

		習をする グループ別指導案（１）～（５）参照 （１）跳び箱・縄・ブリッジ （２）フープ・はねつき・ヨーヨー （３）けん玉・こま・一輪車 （４）歌合戦・アイドル・人形劇・音楽隊 （５）バスケットボール・ドリブル 「発表会」の計画　４.展開Ｂ　参照 グループでおやつや牛乳を飲食する 片付けをする	
11：30	振り返りをする ・発表会のグループごとに今日したことや決まったこと、悩んでいること明日しようと思っていることをクラスで共有する	◎他のグループがしていることや頑張っていることを知って、頑張りを認めたりするように、グループごとで今日決まったことや頑張っていることを尋ねたり教師が聞いて感じた気持ちを言葉にしたりする。 ◎他のグループの友達が悩んでいることを一緒になって考えたり、考えたことを提案したりしてあげようと思えるように、自分のグループが同じような状況になったらどうするか尋ねたり、素敵な考えがたくさん出てきて友達が喜んでいることや助かったこと、解決したことを言葉にしたりする。 ◎友達に自分やグループでしたことを伝えるために、伝え方を工夫しようと思えるように、話し始めるタイミングは友達がどうだったら話しやすいのか尋ねたり、話し始めてよいか尋ねることを提案したり、教師を見たまま話し始めて友達に伝わりやすいか伝えたりする。 ◎友達や教師に話したいことや考えを言葉を言い換えたり順序立てたりポイントを押さえたりして伝えようと思えるように、子どもが言った言葉を別の言葉で言い換えたりそう思った過程や一番言いたいと思っていることは何かを尋ねたりする。	◇他のグループの話を聞いて、自分もやってみようと話したり頑張りを認めたりしているか④ ◇友達の話を聞いて、自分の考えを提案したりしているか⑦ ◇友達が自分を見るまで待ったり、話し始めてもよいか尋ねたり、伝えたい人に体の向けてたりして話しているか⑥ ◇教師が言い換えた言葉を使ったり順を追って説明したり結論から話し始めたりしているか⑪
11：50	降園準備をする ・必要なものを身に付けたり上着を羽織ったりする	◎降園の準備で忘れ物をしている友達のためにどうしたらよいか考えて行動しようと思えるように、友達のところまで渡しに行くことがその子の為になるのかや友達が自分で気付くにはどう伝えたらよいか忘れ物をしていると気付く声掛けはどんな言葉かを一緒に考えたりする。	◇声をかけたことで、友達が忘れ物を取りに行ったりロッカーやタオル掛けを見に行ったりしようとしているか⑦
12：00	降園する ・椅子を片付けて保育室を出る ・グループごとに並んで保護者のところまで行く	◎明日はどんなことをしようか楽しみに感じられるように、明日はどんなことをして遊ぶのか尋ねたり発表会の振り返りでいろいろなことが決まって試したいことが増えたことを伝えたりする。 ◎明日幼稚園に来たときに気持ちよいと思えるのはどんな部屋かを考え、椅子を片付けたり作ったものを持って帰ったり入れ物に入れようと思ったりするように、登園した時、部屋がものに溢れていたらどう思うのか尋ねたり溢れないためにはどうしたらよいか一緒に考えたりする。	◇明日したいことや試してみたいことを言葉にしたり教師の話に頷いたりしているか① ◇椅子を片付けたりロッカーに置いているものを整理したりしているか⑫

グループ別指導案（1）　跳び箱・縄・ブリッジ

最近の具体的な姿	○ やったことがなかった跳び箱に挑戦してみたい、縄を前よりも多く跳べるようになりたい、面白い跳び箱の跳び方を生み出したい、道具を組み合わせて自分達ならではの技を作りたいと思って考えたり試したり何度も取り組んだりしている。	自ら決める・選ぶ
	○ 苦手だと思っていた技を挑戦したらできた、毎日頑張り続けて前よりも多く跳べるようになった、面白い技を生み出した、そのことを友達に認めてもらったなどと思い、自信をもったり嬉しく思ったりしている。	自分に満足する
	○ 友達や先生に言葉にしてもらって、苦手なことに向き合いにくい自分を感じたり、難しいことでも挑戦し続ける自分の頑張りを感じたり、自分の考えのよさを認めたりしている。	自分のことを知る
	○ 好きな遊びでも発表会の取り組んでいることをする際に誘ってくれたり、誘ったら一緒にしてくれたり、コツを教えてくれたり、応援してくれたり、考えを認めてくれたり、一緒に頑張ったりする仲間がいることを嬉しく思っている。	他者といる喜びを感じる
	○ みんなで素敵な発表会にしたいと思い、話し合うためにみんなで集まろうとしたり、今日することを決めたり、一緒に新しい技を考えたりしている一方で、自分が苦手な技は自分事として考えにくかったり、声を掛け合わずそれぞれがしたいことをし続けたりしていることがある。	人と物事を進める
	○ 安全に跳び箱をするために、跳び箱の下にマットを敷いたり、跳んだ先のマットの広さを確かめたり、跳び箱を持つ時に持つ箇所を考えたり、置く時に指や足が挟まらないようにゆっくりを置いたりしている。	身を守る
	○ 跳び箱では勢いをつけるために助走をして跳ぼうとしたり、跳び越えている友達の手を突く位置を見たり、縄を跳ぶ際に縄が足元にくるタイミングで跳ぼうとしたり、ブリッジでは手足を伸ばすために目線を位置を考えたりして、コツを感じたり教えてもらって試したりしながら体を動かすことを楽しんでいる。	身体を操作する
	○ お客さんへの見え方を考えて、跳び箱を置く位置や跳ぶ向き、縄を跳ぶ場所、登場の仕方、曲などを考えたり試したり試したことを振り返ったりしている。	演出に表す
ねらい	① 自分達の発表の見せ合いに向けて、自分が考えたことや思っていることを伝えたり、友達の考えを受けてどう思うかを自分事として考えたり、より発表が素敵になる見せ方や技などをみんなが納得するまで話し合おうとしたりする。	人と物事を進める 問題を認識する
	② 手をつく位置を意識して跳び箱を跳んだり、短縄が足元にくるタイミングで跳んだり、友達の大縄の動きに合わせて跳んだり、目線の方向や手足の位置を考えてブリッジや側転をしたりして、コツを意識して体の動きを調整しようとする。	身体を操作する
	③ お客さんに自分達の見せたいことが効果的に見せられるように、技をする位置や技の順番、技の紹介の仕方などを考えたり試したり、やってみてどうだったかみんなで振り返ったりしようとする。	演出に表す 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する 実行し、その結果を基に判断を下す

予想される子どもの活動	＊環境の構成　◎教師の援助	◇評価の観点
・遊戯室にマットを敷いたり跳び箱を置いたりして必要なものを準備をする ・今日することを確かめる ・考えたプログラムを試す ・自分達の発表の動画を見てみんなで話し合う ・道具や自分達の位置などを決める ・決めたことを試す ・片付ける ・おやつを飲食しながら今日の活動を振り返る	＊これまで考えてきたことや決めたことを踏まえて振り返ったり納得するまで話し合ったりするように、これまでに決めた隊形や道具の位置を写真で印刷して決めたことをかいているボードに貼っておく。 ◎自分の考えを伝え合いながら納得するまで話し合おうとするように、全員が納得しているのか尋ねたり、考えを伝えたことで発表がより素敵になっていることを言葉にしたりする。 ◎技をする際にコツを意識して体の動きを調整しようとするように、子どもが意識しているコツを言葉にしたり、動きを動画に撮って見せたりする。 ◎自分達の見せたりことを効果的に見せるために工夫したり試したことを振り返ったりするように、子どもの発表を動画で撮って見せたり、自分達の発表を見てどう思ったか尋ねたり、教師がお客さんの立場で感じたことを伝えたりする。	◇ボードを見たり見ながら話し合ったりしているか③ ◇全員が考えを話したり納得しているか尋ねたりしているか① ◇技によって目線や手足の位置を変えているか② ◇動画を見て感じたことを話したり位置や順番を変えたりしているか③

グループ別指導案（2）　フープ・はねつき・ヨーヨー

最近の具体的な姿	○ 遊んだ経験がない道具を使った発表は難しいかもしれないが、まずはやってみようと前向きに何度も取り組んでいる子どもがいる一方で、難しいと思うとすぐにやめてしまったりできる技だけをし続けたりしている子どももいる。	自ら決める・選ぶ
	○ 苦手だと思っていたことやできなかったことを諦めずに取り組み続けることでできるようになった、フープの本数を増やして回すことができた、羽根突きが続くようになった、自分達で新しい技を生み出したとことを嬉しく思っている。	自分に満足する
	○ 一緒に頑張ったり難しいことは教えてくれたりする仲間がいることを嬉しく思っている一方で、自分がしたい技に取り組んでいることも多く、取り組んでいる際に声を掛け合ったり、助け合ったりすることはまだ少ない。	他者といる喜びを感じる
	○ どの道具を使った発表もみんなで取り組んで素敵な発表にしたいと思い、自分が苦手なことに向き合ったり、みんなで話し合って新しい技を生み出したりしている一方で、誰かが進めてくれるという思いから、自分の考えを伝えたり、相手の話していることが分からなくても聞き直さなかったりして、自分事として一緒に進めていく意識がまだ薄い。	人と物事を進める
	○ フープを腕で回す際に最初に手でフープに勢いを突けてからフープの回るタイミングに合わせて腕を回したり、羽の動きや落ちる位置をよく見て腕を伸ばしたり足を大きく踏み出したりして羽を付こうとしたり、ヨーヨーをタイミングよく引き上げたりして、コツを感じたり意識して体を動かしたり体の動かし方を調整したりしている。	身体を操作する
	○ 羽根突きの羽は玉のところを打つと音がしたりしっかり突けたりすることを感じたり、羽が当たる位置によって飛ぶ方向や高さ、勢いが変わることを感じたり、ヨーヨーは引くタイミングによって上がり方が違うことに気付いたりしている。	事物・現象を捉える
	○ お客さんに自分達の技を素敵に見せるために、技をするタイミングを全員で合わせたり、技が決まった時にポーズを取ったりすることを考えたり試したりし始めている。	演出に表す
ねらい	① 一緒に技を考えたり揃えたり、うまくいったことを一緒に喜んだり、困った時に声をかけてくれたり助けてくれたりして、発表会に向けて一緒に頑張る仲間がいることを嬉しく思う。	他者といる喜びを感じる
	② みんなで素敵な発表にするために、自分の考えを伝えたり、友達の考えで分からないことは自分から尋ねたり、活動の合間でもしたいことや決めたいことを全員に呼びかけて集めて話したり、みんなが納得いくまで話し合おうとしたりする。	人と物事を進める 問題を認識する
	③ お客さんに自分達の発表をより素敵に見せるために、技の内容や順番、自分達の立ち位置、技の最中の曲、技の紹介の仕方、技の合わせ方などを考えたり試したりして、試してどうだったか振り返って話し合おうとする。	演出に表す 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する 実行し、その結果を基に判断を下す

予想される子どもの活動	＊環境の構成　◎教師の援助	◇評価の観点
・今日することを確かめる ・発表したい技に取り組む ・友達を集めて必要なことを伝えたり話し合ったりする ・考えたことを試す ・試したことを振り返る ・片付ける ・おやつを飲食しながら今日の活動を振り返る	＊お客さんにより素敵な発表を見せるために工夫しようと思えるように、写真や動画が撮れる ipad をクラスに置いておき、発表会でどう見えるか確かめるためにも使ってよいことを事前に知らせておく。 ◎一緒に頑張る仲間がいる嬉しさを感じられるように、仲間がいたからこそ創り上がっていることや仲間の絆が深まってきたことを言葉にする。 ◎自分から考えを伝えたり呼び集めたりして納得いくまで話し合おうとするように、みんなで考えを出し合うからこそ素敵な発表になることを伝えたり、本当に納得しているのか尋ねたりする。 ◎お客さんにより素敵に発表を見せるために工夫して試し、試したことを振り返ろうと思えるように、教師がお客さんとして感じたことを伝えたり、試してみて自分達ではどう思ったか尋ねたり他に工夫できることはないか一緒に考えたりする。	◇ipad で写真や動画を撮ったりそれを見て話し合っているか③ ◇友達と笑顔で顔を見合わせているか① ◇自分から考えを伝えたり友達を呼び集めたりしているか② ◇技の揃え方や順番などについて感じたことや考えたことを話し合っているか③

グループ別指導案（3）　けん玉・こま・一輪車

最近の具体的な姿	○ けん玉の「もしかめ」をもっと連続してできるようになりたい、苦手な一輪車にも挑戦したい、コマを下敷きや手に載せるような難しい技をできるようになりたいと思い、好きな遊びや家庭でも道具を持ち帰ってしたり、何度も取り組んだりしている。	自ら決める･選ぶ
	○ 前よりも連続して「もしかめ」ができた、少し手離しをして一輪車に乗れた、初めてコマを下敷きに載せることができたなどと思い、苦手なことでも挑戦したり頑張り続けたりしていることに自信をもったり嬉しく思ったりしている。	自分に満足する
	○ グループの友達の真剣な思いや頑張り続けている姿を見聞きして、苦手なことに向き合いたくなくて技の本を読み続けてその場をやり過ごしたい気持ちや話し合いに思いが向きにくい気持ちに折り合いをつけて苦手なことにも少しずつ向き合おうとしたり、話し合いに向かおうとしたりし始めている。	気持ちをコントロールする
	○ 自分がやりたいことだけでなく友達がしたい発表も含めて全て頑張りたいと思ったり、苦手なことにもみんなで挑戦してお互いを励ましあったり、難しいと思っていることを友達が教えてくれたりして、一緒に頑張る仲間がいることを嬉しく思っている。	他者といる喜びを感じる
	○ 友達がけん玉を得意なことや頑張り続けて「もしかめ」の連続回数が増えていっていること、苦手なことにも挑戦してみていること、困っていたら助けてくれることなどを感じたり、友達の考えを認めたりしている。	他者のことを知る
	○ みんなで３つの発表をする発表にしたいという共通の思いはあるが、自分のしたいことをどんどんしたいという思いから、どの技をするか考えを伝えたり、友達の思いを受けて自分の気持ちを伝えたり、納得するまで話し合ったりする姿はまだ少ない。	人と物事を進める
	○ けん玉をする際に膝をしっかり使って引き上げたり、手首の動きを調整したり、一輪車をする際にお腹に力を入れて姿勢を維持したりバランスを取ったり、コマをする際に足の開き方や投げる勢い、角度などを意識したりして、コツを感じたり意識したりいろいろに体を調整したりする。	身体を操作する
	○ けん玉は引き上げる力の強さや勢いなどによって玉の上がる方向や高さ、勢いなどが変わることを感じたり、こまは紐を巻く硬さや投げる角度などによって回り方や勢い、こまの角度などが変わることを感じたりしている。	事物･現象を捉える
ねらい	① 友達が難しいと思っていることや困っていることに気付き、何に困っているのか尋ねたり、友達が自分でできるようになるために、自分が感じているコツを伝えたり、一緒に何度も練習したり、自分の経験も踏まえて励ましたりしようとする。	他者のことを考えて行動する
	② みんなで素敵な発表にするために、集まって自分事として発表する内容や見せ方などについて考えたり、友達の考えを真剣に聞いてそのことを踏まえてどうするのがよいか自分の考えを伝えたり、納得するまで話し合ったりしようとする。	人と物事を進める 問題を認識する
	③ けん玉では力加減や手首の角度を調整しながらリズムよく引き上げたり、一輪車では腹に力を入れてバランスを取りながら姿勢を維持したり、コマでは投げる時の角度を意識したりして、コツを掴んで体の動きを調整したり振り返ったりする。	身体を操作する 実行し、その結果を基に判断を下す

予想される子どもの活動	＊環境の構成　◎教師の援助	◇評価の観点
･今日することを確かめる ･発表したい技に取り組む ･したい技やその順番などを話し合う ･考えたことを試す ･試したことを振り返る ･片付ける ･おやつを飲食しながら今日の活動を振り返る	◎友達が自分でできるようになるために自分ができることを考えてしてあげようと思えるように、困っている友達の様子を知らせたり、どこを助けてあげるのが友達にとってよいのか尋ねたりする。 ◎自分事として考えたり友達の考えを踏まえて考えを伝えたりして納得するまで話し合おうと思えるように、みんなの発表のための話し合いであることを言葉にしたり、納得していない友達の様子を知らせたり、友達の考えを踏まえてどう思うか尋ねたりする。 ◎コツを掴んで体の動きを調整したり振り返ったりするように、技によって変わっている動きのポイントを言葉にしたり、考えたコツで試してどうだったか尋ねたりする。	◇友達を見て声をかけたり教えたり励ましたりしているか① ◇自分の考えを伝えたり友達の反応を見て納得しているか尋ねたりしているか② ◇技によって動きを変えたり感じたことを話したりしているか③

グループ別指導案（4）　歌合戦・アイドル・人形劇・音楽隊

最近の具体的な姿	○ 素敵だなと、思ってもらえるような歌合戦やアイドル、人形劇、音楽隊で考えてきたことや、やりたいと思ったことを試そうとしたり何度も挑戦しようとしたりしている。	自ら決める･選ぶ
	○ 友達とやりたいことが違う時に高まった気持ちが抑えられず、大きな声で自分の気持ちを強く伝えたり話し合いの場から離れて行こうとしたりしている。	気持ちをコントロールする
	○ グループの友達と一緒にしたいと思ってまだ集まっていない子を呼びに行ったり友達に呼ばれて笑顔になって行こうとしたりする。	他者といる喜びを感じる
	○ 友達はどう思っているのか、なぜそう思ったのかを疑問に感じ、知りたいと思って聞こうとしたり友達の気持ちに気付いたりしている子もいれば、友達の気持ちを知りたいと思う気持ちが薄く、自分が話し終えたら違うことに意識が向いたり別のことをしようとしたりしている子もいる。	他者のことを知る
	○ お客さんがワクワクする、素敵だ、かわいい、かっこいいと思ってくれるような発表にするために、それぞれのしたいことや叶えたいこと、取り入れたいことを教師に尋ねられながら意見を出し合い、一つのものを作ろうと話し合っている。	人と物事を進める
	○ 発表会で使う曲は踊りやすくて歌いやすい、かわいい、かっこいいリズムや曲調がよいと思って、実際に曲を聴いてリズム感や歌の曲調を感じたりしている。	音楽に表す
	○ お客さんから見て自分達がどのように見えるのか、写真や映像に録って見たり登場の仕方を考えたりしている。	演出に表す
ねらい	① 自分のしたいことと友達のしたいこと、どちらも叶えられるにはどうしたらよいか、意見を出し合ったり教師に意見を尋ねてもらいながらそれぞれのしたい発表が叶えられる新しい案を出したり折り合いを付けて進めていこうとしたりする。	人と物事を進める 問題を認識する 豊かに発想し追求の手立てを構想する
	② 曲のリズムにのって体を動かすことを楽しく思ったり歌詞の情景を思い浮かべながらそれにぴったりな振り付けを考えようとしたりする。	身体の動きに表す
	③ お客さんから見て自分達がどのように見えてほしいのかを考えながらステージの使い方やダンスの振り付け、自分達の向きを考えたり意識したりしようとする	演出に表す 問題を認識する 豊かに発想し追求の手立てを構想する

予想される子どもの活動	＊環境の構成　◎教師の援助	◇評価の観点
･今日することをみんなで確かめる ･ダンスの振り付けを友達と一緒に考えたり話し合ったり折り合いを付けたりして決めていく ･片付けをする ･今日の進歩状況や次にしたいことをおやつを飲食しながら話し合う	◎今日はどんなことをしようと思っているのかみんなで確かめ、話し合って始められるように、昨日決めておいたことを話題にしたりどんなことをしようと思っていたのか尋ねたりする。 ◎ダンスの振り付けをかわいくてかっこよくしたいと思って考えたり試したりするように、話し合っている姿をそばで見守ったり聞いていることが多くなっている子にどう思っているのか尋ねたり考えたことをホワイトボードに書き出していったりする。 ◎お客さんから見て自分達がどのように見えてほしいのかを考えながらステージの使い方やダンスの振り付け、自分達の向きを考えたり意識したりするように、教師が観客席から見てどう思ったのか感想を伝えたり動画に撮って自分達の動きを見る機会を設けたりする。 ◎音楽のリズムに合わせて体を動かすことや曲のタイミングに合わせて静と動の組み合わせ、盛り上がるタイミングでの動きを楽しめるように、教師がリズムに乗って見たり曲の盛り上がりや曲調が変わるタイミングを言葉にしたりする。 ◎明日しようと思っていることを友達と話し合って決められるように、今日やってみてどうだったのかや歌合戦や人形劇の進捗はどうなのか尋ねたり困っていたことを話題にしたりする。	◇今日しようと思っていることを話し合って決めているか① ◇自分だけでなく友達の話も意見を聞いて話を進めているか① ◇感想を聞いたり動画を見たりして、立ち位置を変えたり新しい案が出ているか③ ◇曲のリズムに乗りながら笑顔で踊ったり曲調によって変えて動いているか② ◇明日しようと思っていることを話し合って付箋に書き出しているか①

グループ別指導案（５）　バスケットボール・ドリブル

最近の具体的な姿	○ ドリブルが長く続くようになりたい、もっとシュートが入れられるようになりたい、新しい技を考えたいと思って、何度も繰り返し取り組んだり、新しい技を試したりしている。	自ら決める･選ぶ
	○ 何回ボールをつくことができた、何回シュートが入った、練習したら技が少しできるようになってきたなどと感じ、自信をもってきている。	自分に満足する
	○ 友達と一緒にドリブルをすることに誘い誘われたり、バスケの試合をしていて自分のチームに得点が入ったことを一緒になって喜んだりしている。	他者といる喜びを感じる
	○ かっこいいグループ名やシンボルマークを考えたいと思って、友達と集まることを提案したり自分はどんな言葉やマークを入れたいか意見を出し合って決めようとしている。	人と物事を進める
	○ ドリブルでボールの跳ね返る高さやスピードを調節するために、ボールをつく力を調整したり腰を落として足を踏ん張りながら低い位置でボールをついたりしている。	身体を操作する
	○ バスケの試合で友達からボールを取ったり取られたりしないように、腕を横に大きく広げて相手の動きに合わせながら自分も動くことでボールを取ろうとしたり体を捻って避けたりしている。	
	○ 登場の仕方や技の見せ方でどうしたらお客さんにかっこよく見えるかを考えたり試したりしている。	演出に表す
	○ 中央テラスにあるものや別のグループが床に置いているものをあまり見ずに始めてぶつかりそうになったり転びそうになったりしている。	身を守る
ねらい	① お客さんにかっこいいと思ってもらえるような発表をするために、友達と困ったことや話し合って決めたいことを相談したり、一緒に考えたり、新しい案を出したり、チームとしての役割を決めたりして、発表会のことを進めていくことする。	人と物事を進める 問題を認識する 豊かに発想し追求の手立てを構想する
	② ケンケンドリブルで跳ね返るタイミングに合わせてジャンプしたり両手ドリブルで真下に向けてボールをつく力加減を感じたり掴んだりする。	身体を操作する
	③ かっこよく登場したい、お客さん全員に見えるように技を見せたいと思い、教師の感想を聞いたり動画を見たりして、どうしたらお客さんにかっこよく見えるかを考えたり試したりしようとする。	演出に表す 問題を認識する 実行し、その結果を基に判断を下す

予想される子どもの活動	＊環境の構成　◎教師の援助	◇評価の観点
・今日することをみんなで確かめる ・登場や技、バスケットボールの勝負をどうやって進めていくのかをやりながら決めていく ・技をしながら体の使い方やコツを感じたり掴んだりする ・片付けをする ・今日の進歩状況や次にしたいことをおやつを飲食しながら話し合う	◎今日しようと思っていることを話し合っていけるように、今日はどんなんことをしようと思っているのか尋ねたり子ども達が昨日したいと言っていたことを言葉にしたりする。 ＊ どうやってかっこよく登場しようか、技を見せようか考えたりイメージを膨らませるように、バスケットボール選手の登場シーンや立ち方を見るためのパソコンを用意しておく。 ◎お客さんからどのように見えているのかを感じて立ち位置や技の見せ方を変えたり工夫したりするように、教師がお客になって見て感じたことを伝えたり写真や動画を撮って一緒に見る機会を作ったりする。 ◎ケンケンドリブルでボールが跳ね返るタイミングに合わせてジャンプしたり両手ドリブルで真下に向けてボールをつく力加減を感じたり掴んだりするように、お互いの技を見せ合う場を作り、気を付けているポイントを尋ねたり子どもの技を見ながらボールをつく、ジャンプのタイミングを言葉にしたりする。	◇しようと思っていることを相談し合い、決めているか① ◇動画や画像を見て登場方法や立ち位置を話したり変えたりして試しているか③ ◇感想を聞いたり写真を見たりしながら、立ち位置や見せ方を変えているか③ ◇友達の動きを見たり話を聞いたりして、実際にやって見たり動きが変わってきたりしているか② ◇

令和６年６月１９日	３年保育３歳児	神戸大学附属幼稚園（長野　萌映）
用意をして一緒に遊ぼう！		
事実	・解釈　◎教師の意図	資質・能力 （〇社会□固有☆汎用）
Ｒが泣いて登園してきた。しばらくの間靴箱の前で座り込んで泣いていたが、涙が収まってきて、保育室に入ってきた。前日まで一緒に探検ごっこをしていたＡＫＹは先に園庭で遊び始めていたが、すすり泣きながら保育室に入るＲの姿を見て保育室にやってきた。	・悲しい気持ちが落ち着いてきた。 ・泣いているＲのことが気になる。 ・Ｒと一緒に遊びたい。	〇他者といる喜びを感じる
Ｒ（自分のロッカーの前に立ち、帽子を置く。その場で鼻を啜り、涙を拭う。） Ａ（後ろからＲの両肩に手を添えて近付き、Ｒの顔を覗き込む。頭を撫でる。） 教師「よしよしってして、あったかい気持ちやね。」	・悲しい気持ちだが朝の用意に向かおうと思った。 ・泣いているＲのことが気になって、表情を確かめようと思った。 ・Ｒが泣いているので、頭を撫でて慰めようと思った。 ◎友達のことを思いやるよさを感じられるように、教師が見ていて感じた気持ちを言葉にした。 ◎自分のことを思って友達がしてくれていることをＲが感じられるように、Ａの行動と教師が見ていて感じた気持ちを言葉にした。	〇気持ちをコントロールする 〇他者のことを知る 〇他者のことを考えて行動する
Ｙ（Ａの様子を見てＲの頭を撫でる。Ｒのリュックの肩紐を下にずらす。）	・Ａが泣いているＲの頭を撫でているのを見て、自分も頭を撫でてあげようと思った。 ・ＡＫがする前に自分がリュックを下ろすのを手伝ってあげたい。	〇他者のことを考えて行動する 〇自ら決める・選ぶ
Ｋ「Ｙくん僕持つよ。」（Ｙが肩紐を下げたリュックを下から持ち、床に置く。） Ａ（Ｒがかけている水筒の紐を持ち上げ、頭をくぐらせ下ろす。） Ｒ（その場で真顔でうつむき立ち続けている。） 教師「何か言ったらどうかな？リュック下ろそうか～？水筒下ろそうか～？何か手伝えることない～？って。Ｒちゃん自分でしようって気持ちもあると思うから。」	・リュックを下ろす手伝いを自分がしてあげたいと思い、Ｙが途中まで下ろしたリュックを受け取った。 ・水筒を下ろすのを手伝ってあげようと思った。 ・友達が用意を手伝ってくれることは受け入れているが、気持ちは悲しいままである。 ◎Ｒの自分でしようとする気持ちも大切にしようと思えるように、Ｒの思いを推測して言葉にし、Ｒに尋ねてから手伝うことをＡＫＹに提案した。 ◎してあげようとしていることを言葉にして伝えられるように、伝え方の例を出した。 ◎友達に全て手伝ってもらうのではなく、自分でも朝の用意に向かっていけるように、自分でしようとする気持ちがあるであろうことを推測して言葉にした。	〇自ら決める・選ぶ
ＡＫＹ（教師に目線を向けて少し止まる。） Ｒ（Ａが下ろした水筒の紐に手を掛ける。） 教師「早く一緒に遊びたいから手伝って	・先生に声を掛けられて少し考え、止まった。 ・Ａに下ろしてもらった水筒を受け取り、自分で用意をしようと思った。 ◎自分のことを思って友達がしてくれ	〇自ら決める・選ぶ

くれてるんやね。」	ていることを感じられるように、ＡＫＹの行動と教師が推測したその理由を言葉にした。 ◎友達と一緒に遊ぶことを楽しみに感じられるように、ＡＫＹの早く一緒に遊びたい気持ちを言葉にした。	
Ｒ（鼻を啜り、水筒を持ってワゴンに向かう。）	・友達が自分のことを思って用意を手伝ってくれていることを感じ、悲しい気持ちが落ち着いてきたので用意を進めようと思った。 ・自分で水筒を置きに行こうと思った。	○気持ちをコントロールする ○自ら決める・選ぶ
教師「おっ。Ｒちゃん水筒は自分で頑張るぞ。」	◎自分で用意に向かっていく自分の頑張りを感じられるように、自分でしようとしている姿を認めた。	
Ｙ（リュックのファスナーを開ける。）	・リュックの中身を出してあげたいと思った。	
Ａ「Ａくんが。」（Ｙが持つリュックを素早く自分の前に引き寄せ中を見る。）	・自分がリュックの中身を出してあげたい。	○自ら決める・選ぶ
Ｋ（Ａが持つリュックからタオルを取り出し、広げながらタオル掛けに向かう。）	・Ｒの代わりにタオルを置きに行こうと思った。	
Ａ（通園ノートを取り出し）「ノートあったよ。」（ノートを集めるカゴの方へ向かう。）	・リュックの中に通園ノートを見付け、出してあげようと思った。	
Ｙ（ＡＫに視線を向ける。すぐに視線をリュックに戻し、ファスナーを閉める。）	・リュックの中身は友達が出したので、リュックの口を閉めて片付けてあげたいと思った。	
教師「Ｒちゃんのバックやしさ、Ｒちゃん自分で中身のこと分かってるんじゃない？」	◎Ｒの自分でしようとする気持ちをＡＫＹが大切にしようと思えるように、Ｒの持ち物であることと、Ｒが自分で入っている物や、朝の用意でするを分かっていそうなことを改めて伝えた。	
Ｋ（タオルの紐の部分を持ってＲに渡す。ロッカーの方を向いて）「まだあるかな。」	・先生の言葉を聞いて、Ｒが自分でタオルを掛けに行けるように渡してあげた。 ・朝の用意で自分にできることは他にないか考えている。	○他者のことを考えて行動する
Ｒ（Ｋを見て真顔でタオルを受け取り、タオル掛けに向かう。）	・タオルを掛けに行こうと思った。	
教師「Ａくん、Ｒちゃんさ、ノートないって思うんじゃない？これ出したらいいよ～って教えてあげたらどう？」	◎自分の行動がＲにとってどうか振り返られるように、ノートがないとＲがどう思うか推測して伝えた。 ◎Ｒのためになることを考えてしてあげようと思えるように、ノートがなくて困りそうなことを伝えたり、してあげるのではなく教えてあげることを提案したりした。	
Ａ（教師を見て止まる。Ｒのもとに戻りノートを渡す。）	・先生の言葉を聞いて、Ｒが自分でノートを出した方がいいと思ってノートを渡した。	○他者のことを考えて行動する
Ｒ（ノートを開いて保育室内を見回す。） 教師（ノート入れを指差して）「Ｒくん。ノート出すところそこにあるよ。６月のところ開けてくれたらハンコ押	・ノートを出す場所を探している。 ◎自分で朝の用意に向かっていけるように、ノートの提出場所と出し方を知らせた。	

しやすい。」 ＡＫ（小走りでノート入れの元へ向かい、ノート入れを二人で持ち、Ｒに近付く。）	・Ｒがノートをすぐに出せるようにノート入れを近くに持って行ってあげようと思った。	○他者のことを考えて行動する
学び （ＡＫ）	先生の言葉を聞いて、友達が自分で用意を進められるように考えて手伝う。	○他者のことを考えて行動する （道徳性・規範意識の芽生え）
教師「おっ。助かる～。」 Ｋ（Ｒにノート入れを見せて）「はい。」 Ｒ（ノート入れにノートを開いて入れる。） 教師（ノートにハンコを押して）「よし、押せた！よかった！４人で用意したからあっという間やったね。あと手洗って帽子被ったら行けそうよ。」	◎Ｒを思ってしてあげたことがＲのためになったと感じられるように、Ｒが助かる気持ちを言葉にした。 ・ここに入れたらよいことを見せながら知らせた。 ・ＡＫが持ってきてくれたのでノートを入れた。 ◎自分のことを気にかけて手伝ってくれる友達がいるありがたさを感じられるように、友達と一緒にしたから用意が早く済んだことを喜んだ。 ◎悲しい気持ちを切り替えて幼稚園での遊びに向かっていけるように、用意があと少しなことを知らせて励ました。	
Ｒ（ゆっくり手洗い場に向かい、手を洗う。） Ｙ（Ｒのロッカーから赤白帽子を取り出し、その場でＲを待つ。手を洗い終えたＲに赤白帽子を手渡す。） 教師「Ｙくん帽子も渡してくれた。もう行けるね。外行こ～。」	・先生に励ましてもらって手を洗いに行こうと思った。 ・先生の言葉を聞いて、Ｒが手を洗い終えるのを待ち、赤白帽子を渡してあげようと思った。 ◎Ｒを思ってしてあげたことがＲのためになったと気付けるように、Ｙの行動を言葉にした。 ◎悲しい気持ちを切り替えて幼稚園での遊びに向かっていけるように、もうすぐ外へ行けそうなことを言葉にし、誘った。	○気持ちをコントロールする
Ｒ（赤白帽子を手に持ち、真顔でゆっくりと保育室から出て靴箱に向かう。） ＡＫＹ（Ｒに続いて保育室の外に出る。） 教師（Ｒを追いかけて小声で）「Ｒちゃん、みんなが力貸してくれてよかったね。」	・先生に誘ってもらって外に遊びに行こうと思った。 ・Ｒと一緒に遊びに行こうと思った。 ◎友達に助けてもらった嬉しさを感じられるように、手伝ってもらえたことを一緒に喜んだ。 ◎友達が手伝ってくれたおかげで気持ちを切り替え用意を済ませられた自分を感じられるように、用意が終わって外に出るタイミングで友達が助けてくれたことを改めて言葉にして伝えた。	○気持ちをコントロールする ○他者といる喜びを感じる
Ｒ（少し頬を緩めて頷く。）	・友達が自分のために手伝ってくれた嬉しさを感じている。 ・友達に気にかけてもらい、悲しい気持ちを切り替えて用意ができた自分を感じた。	○他者といる喜びを感じる ○自分のことを知る
学び （Ｒ）	友達に気にかけてもらい、悲しい気持ちを切り替えて用意ができた自分を感じる。	○自分のことを知る （自立心）

教師「なんで泣いとったん？」	◎泣いていた理由を確かめようと思って尋ねた。	
R（少し黙って）「お姉ちゃんとバイバイしたかった。」	・悲しくて泣いていたのは姉とバイバイしないで別れたからだと改めて自覚した。	○自分のことを知る
教師「そうなんや～。お姉ちゃんと来たんや。まだ行かんといてって思ったんや。」	◎悲しかった気持ちを落ち着けて幼稚園での遊びに向かっていけるように、Rの思いを受け止めた。	
R（頷く。）	・先生が言うようにお姉ちゃんにまだ行かないで欲しいと思っていた。	
教師「帰ったらお家におる？」	◎状況を把握するためにRが帰宅した時にお姉ちゃんが家にいるかを尋ねた。	
R（頷いて小さな声で）「うん。」	・先生に尋ねられ、帰ったら姉が家にいると思って答えた。	
教師「じゃあお家に帰って遊べたらいいね。いっぱい探検したんだよって教えてあげよ。」	◎悲しかった気持ちに折り合いをつけて幼稚園での遊びに向かっていけるように、幼稚園での遊びに触れつつ降園後に期待を寄せる言葉をかけた。	
R（小さく頷き靴箱に向かってゆっくり歩き始める。）	・先生に話を聞いてもらって気持ちが落ち着き、外に探検に行くために靴を取りに行こうと思った。	○気持ちをコントロールする
教師（明るい声で）「幼稚園には仲間がいっぱいいるから、その寂しい気持ちもすぐに吹っ飛ぶわ。」	◎悲しかった気持ちに折り合いをつけて幼稚園での遊びに向かっていけるように、幼稚園には友達がたくさんいて寂しくないことを明るく伝えた。	
K（靴を履きながら笑って）「ひゅーって行くかも。」	・「吹っ飛ぶ」という先生の言葉を聞いてイメージを膨らませ、「ひゅーっ」という擬音語で表現した。	□文芸に表す
教師「ひゅーって？ふふふ。心強いね～。」	◎表現の面白さを感じて一緒に笑った。 ◎友達と過ごすことに安心感を抱けるように、友達がいる心強さを言葉にした。	
R（少し口角を上げ、外靴を持ってきてテラスに座り、靴を履き替え始める。）	・先生とKのやり取りを聞いて気持ちが落ち着き、靴を履いて外に行こうと思った。	○気持ちをコントロールする
K（靴を履いて立ち上がり、Rに近付く。Rを覗き込む。顔を上げて教師を見て）「靴自分で履きたいかもしれん。」（Rの横にしゃがみ、Rを見る。）	・Rが自分でノートを出せるように手伝ったことを思い出し、Rが靴を自分で履きたいと思っているかもしれないと思った。	○他者のことを知る ☆関連付ける
	・Rのために見守った方がよいと思い、手伝わずに見ていることにした。	○他者のことを考えて行動する
学び（K）	友達が自分で用意を進められるように考えて手伝ったことを思い出し、友達が靴を自分で履きたいと思っているかもしれないと思う。	○他者のことを知る ☆関連付ける （道徳性・規範意識の芽生え）
学び（K）	友達のために見守った方がよいと思い、手伝わずに見ていることにする。	○他者のことを考えて行動する （道徳性・規範意識の芽生え）
教師「Rちゃん自分で頑張れそうって思ったんやね。」	◎Rの気持ちに気付いて手伝わず見守ることにした自分を感じられるように、教師が見取ったKがそう考えた理由を言葉にして認めた。	
K（微笑みながらRを見続けている。）	・Rと一緒に遊びたいと思い、Rが靴を履き終えるのを待っている。	○他者といる喜びを感じる

ＡＹ（靴を履いて立ち上がり、ＫＲのそばに来る。） 教師「よーし。みんなのお助けパワーでＲちゃんも出発だー！」	・ＫＲと一緒に遊びたいと思い、Ｒが靴を履き終えるのを待っている。 ◎友達に助けてもらった嬉しさを感じられるように、みんなが助けてくれたことについて言及した。 ◎気持ちを切り替えて幼稚園での遊びに向かっていけるように、明るく勢いづけた。	○他者といる喜びを感じる
Ｒ（靴を履き終え、少し口角を上げて立ち上がる。）	・悲しかった気持ちを切り替えて遊び始めようと思った。	○気持ちをコントロールする
学び（Ｒ）	友達に慰めてもらったり、用意を手伝ってもらったり、先生に励ましてもらったり、誘ってもらったり、話を聞いてもらったりして悲しい気持ちを切り替えて遊び始める。	○気持ちをコントロールする（自立心）
Ｋ（笑顔で立ち上がり、Ｒの手を取って走り出す。）	・Ｒと一緒に遊びたいと思い、手を引いて誘った。	○他者といる喜びを感じる
Ｒ（笑顔でＫに手を引かれて走る。）	・手を引いて誘ってもらい、遊び始めようと思った。 ・手を引いて誘ってもらい、嬉しくなってついていった。	○自ら決める・選ぶ ○他者といる喜びを感じる
ＡＹ（笑顔でＫＲの後に続いて走る。） 教師「さあ、探検隊。いってらっしゃーい！」	・一緒に遊びたいと思ってついて行った。 ◎友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、遊びの呼び名で呼んで明るく見送った。	○他者といる喜びを感じる
ＡＫＲＹ（笑顔で走る。大芝生を突っ切り端まで走り、カーブして折り返し、太鼓橋に登る。） 教師（近付いて笑顔で）「あれ！今日は秘密基地じゃなくて追いかけっこなのね！みんなで走って楽しそう！」	・友達と隣り合って方向に走って楽しい。 ・芝生を思い切り駆け回ることが楽しい。 ◎昨日までとは違う遊びをすることに驚いた。 ◎友達と一緒に遊ぶ楽しさをより感じられるように、教師から見て楽しそうに見えていることを言葉にした。	○他者といる喜びを感じる □身体を操作する
ＡＫＹ（笑顔で走り続ける。）	・友達の用意を手伝ったり、用意を終えるのを待ったり、誘ったり、ついて行ったりしてようやくみんなで一緒に遊べて嬉しい。	○他者といる喜びを感じる
Ｒ（笑顔で走り続ける。）	・悲しかった気持ちを切り替えて友達と一緒に遊べて楽しい。 ・泣いていたけれど、友達に用意を手伝ってもらったり、待ってもらったり、誘ってもらったりして友達と一緒に遊べて嬉しく、楽しいと思った。	○自分に満足する ○他者といる喜びを感じる
学び（ＡＫＹ）	友達の用意を手伝ったり、用意を終えるのを待ったり、誘ったり、ついて行ったりしてようやくみんなで一緒に遊べて嬉しく思う。	○他者といる喜びを感じる（協同性）
学び（Ｒ）	泣いていたけれど、友達に用意を手伝ってもらったり、待ってもらったり、誘ってもらったりして友達と一緒に遊べて嬉しく、楽しいと思う。	○他者といる喜びを感じる（協同性）

【考察】（学びと学びに至った要因を中心に）
◆「他者のことを考えて行動する」（道徳性・規範意識の芽生え）の観点から
ＡＫは、先生の言葉を聞いて、Ｒが自分で用意を進められるように考えて手伝った。ＡＫＹらは、泣いているＲの姿を見て気になり、一緒に遊びたいと思って、頭を撫でて慰めようとしたり、朝の用意を手伝ってあげようと思ってリュックや水筒を下ろしたり、リュックから持ち物を出したりした。

Ｒのために全てやってあげようとする姿を見て、教師はＲの自分でしようとする気持ちも大切にしようと思えるように、Ｒの思いを推測して言葉にし、Ｒに尋ねてから手伝うことを提案したり、Ｒの持ち物であることと、Ｒが自分で入っている物や、朝の用意ですることを分かっていそうなことを改めて伝えたりした。また、自分の行動がＲにとってどうか振り返られるように、ノートがないとＲがどう思うか推測して伝えた。その上で、Ｒのためになることを考えてしてあげようと思えるように、ノートがなくて困りそうなことを伝えたり、してあげるのではなく教えてあげることを提案したりした。これらの援助から、全てしてあげるのではなく、タオルを掛けに行けるように手渡したり、ノート入れを近くに持って行ってあげたり、Ｒが自分で用意を進められるように考えて手伝う姿につながったと考える。

Ｋは、Ｒのために見守った方がよいと思い、手伝わずに見ていることにした。Ｒのために朝の用意を全てやってあげようとする姿があった際に、教師はＲの自分でしようとする気持ちも大切にしようと思えるように、Ｒの思いを推測して言葉にし、尋ねてから手伝うことを提案したり、Ｒの持ち物であることと、Ｒが自分で用意を進められそうなことを伝えたりした。また、Ｋに対する直接の援助ではないが、Ａに対して自分の行動がＲにとってどうか考えられるように、ノートがないとＲがどう思うか推測して伝えた。その上で、Ｒのためになることを考えてしてあげられるように、ノートがなくて困りそうなことを伝えたり、してあげるのではなく教えてあげることを提案したりしてきた。これらの教師の援助を踏まえ、ＫはＲが靴を履き替える場面でも手伝ってあげようと思ったが、Ｒは靴を自分で履きたいと思っているかもしれないと思う、「他者のことを知る」「関連付ける」の資質・能力を発揮し、Ｒのために手伝わずに見ていることにする姿につながったと考える。

◆「自分のことを知る」（自立心）の観点から

Ｒは、友達に気にかけてもらい、悲しい気持ちを切り替えて用意ができた自分を感じた。この学びに至るまでに教師は、「他者のことを知る」の資質・能力の発揮に向けて、自分のことを思って友達がしてくれていることをＲが感じられるように、Ａの行動と教師が見ていて感じた気持ちを言葉にしたり、ＡＫＹの行動と教師が推測したその理由を言葉にしたりした。また、友達が手伝ってくれたおかげで気持ちを切り替え用意を済ませられた自分を感じられるように、用意が終わって外に出るタイミングで友達が助けてくれたことを改めて言葉にして伝えた。こうした教師の関わりによってこの学びの姿につながったと考える。

◆「他者のことを知る」「関連付ける」（道徳性・規範意識の芽生え）の観点から

Ｋは、友達が自分で用意を進められるように考えて手伝ったことを思い出し、友達が靴を自分で履きたいと思っているかもしれないと思った。ＫはＲと遊びたいと思い、Ｒが靴を履き替えるのを待っていた。教師は「他者のことを考えて行動する」の資質・能力の発揮・伸長に向けて、Ｒの自分でしようとする気持ちも大切にしようと思えるように、Ｒの思いを推測して言葉にし、Ｒに尋ねてから手伝うことを提案したり、Ｒの持ち物であることと、Ｒが自分で入っている物や、朝の用意ですることを分かっていそうなことを改めて伝えたりしてきた。こうした関わりを見聞きしたことも要因となり、Ｒのために手伝おうと思ったが、それまでの用意の場面での状況と関連づけて、Ｒが靴を自分で履きたいと思っているかもしれないと考えることにつながったと考える。

◆「気持ちをコントロールする」（自立心）の観点から

Ｒは、友達に慰めてもらったり、用意を手伝ってもらったり、先生に励ましてもらったり、誘ってもらったり、話を聞いてもらったりして悲しい気持ちを切り替えて遊び始めた。この学びに至るまでに、ＡＫＹは、泣いているＲが気になり、一緒に遊びたいと思って、慰めたり、用意を手伝ったりした。また、教師は、悲しい気持ちを切り替えて幼稚園での遊びに向かっていけるように、用意があと少しなことを知らせて励ましたり、もうすぐ外へ行けそうなことを言葉にして誘ったりした。また、悲しかった気持ちを落ち着けて幼稚園での遊びに向かっていけるように、Ｒの思いを受け止めた。さらに、悲しかった気持ちに折り合いをつけて幼稚園での遊びに向かっていけるように、幼稚園での遊びに触れつつ降園後に期待を寄せる言葉をかけたり、幼稚園には友達がたくさんいて寂しくないことを明るく伝えた。そして、気持ちを切り替えて幼稚園での遊びに向かっていけるように、明るく勢いづけた。こうした友達の姿や教師の援助に支えられて、この学びの姿につながったと考える。

◆「他者といる喜びを感じる」（協同性）の観点から

ＡＫＹは、友達の用意を手伝ったり、用意を終えるのを待ったり、誘ったり、ついて行ったりしてようやくみんなで一緒に遊べて嬉しく思った。それまでに教師は、友達と一緒に遊ぶことを楽しみに感じられるように、早く一緒に遊びたい気持ちを言葉にしたり、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、遊びの呼び名で呼んで明るく見送ったり、教師から見て楽しそうに見えていることを言葉にしたりした。教師の援助によってこの学びの姿につながったと考える。

Ｒは、泣いていたけれど、友達に用意を手伝ってもらったり、待ってもらったり、誘ってもらったりして友達と一緒に遊べて嬉しく、楽しいと思った。それまでに教師は、友達と一緒に遊ぶことを楽しみに感じられるように、ＡＫＹの早く一緒に遊びたい気持ちを言葉にした。また、自分のことを気

にかけて手伝ってくれる友達がいるありがたさを感じられるように、友達と一緒にしたから用意が早く済んだことを喜んだ。さらに、友達に助けてもらった嬉しさを感じられるように、手伝ってもらえたことを一緒に喜んだり、みんなが助けてくれたことについて言及したりした。また、友達と過ごすことに安心感を抱けるように、友達がいる心強さを言葉にした。その後、遊び始めた際にはＡＫＹと同様に、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、遊びの呼び名で呼んで明るく見送ったり、教師から見て楽しそうに見えていることを言葉にしたりした。こうした教師の援助によってこの学びの姿につながったと考える。

【Ｉ】事例、考察から得られたカリキュラムへの知見（伸長している姿より）

学年	月	資質・能力	１０の姿	資質・能力が伸長している姿（学び）	有効と考える環境の構成や教師の援助
3	6	他者のことを考えて行動する	道徳性・規範意識の芽生え	先生の言葉を聞いて、友達が自分で用意を進められるように考えて手伝う。	友達の自分でしようとする気持ちを大切にしようと思えるように、相手の思いを推測して言葉にし、尋ねてから手伝うことを提案したり、友達の持ち物であることと、友達が自分で入っている物や、朝の用意ですることを分かっていそうなことを改めて伝えたりする。
3	6	他者のことを考えて行動する	道徳性・規範意識の芽生え	先生の言葉を聞いて、友達が自分で用意を進められるように考えて手伝う。	自分の行動が友達にとってどうか振り返られるように、友達がどう思うか推測して伝える。
3	6	他者のことを考えて行動する	道徳性・規範意識の芽生え	先生の言葉を聞いて、友達が自分で用意を進められるように考えて手伝う。	友達のためになることを考えてしてあげられるように、友達が困りそうなことを伝えたり、してあげるのではなく教えてあげることを提案したりする。
3	6	自分のことを知る	自立心	友達に気にかけてもらい、悲しい気持ちを切り替えて用意ができた自分を感じる。	友達が手伝ってくれたおかげで気持ちを切り替え用意を済ませられた自分を感じられるように、用意が終わって外に出るタイミングで友達が助けてくれたことを改めて言葉にして伝える。
3	6	他者のことを知る関連付ける	道徳性・規範意識の芽生え	友達が自分で用意を進められるように考えて手伝ったことを思い出し、友達が靴を自分で履きたいと思っているかもしれないと思う。	
3	6	他者のことを考えて行動する	道徳性・規範意識の芽生え	友達のために見守った方がよいと思い、手伝わずに見ていることにする。	友達の自分でしようとする気持ちも大切にしようと思えるように、相手の思いを推測して言葉にし、尋ねてから手伝うことを提案したり、友達の持ち物であることと、友達が自分で入っている物や、朝の用意ですることを分かっていそうなことを改めて伝えたりする。
3	6	気持ちをコントロールする	自立心	友達に慰めてもらったり、用意を手伝ってもらったり、先生に励ましてもらったり、誘ってもらったり、話を聞いてもらったりして悲	気持ちを切り替えて幼稚園での遊びに向かっていけるように、用意があと少しなことを知らせて励ましたり、もうすぐ外へ行けそうなことを言葉にして誘ったり、明るく勢いづけたりす

				しい気持ちを切り替えて遊び始める。	る。
3	6	気持ちをコントロールする	自立心	友達に慰めてもらったり、用意を手伝ってもらったり、先生に励ましてもらったり、誘ってもらったり、話を聞いてもらったりして悲しい気持ちを切り替えて遊び始める。	悲しかった気持ちを落ち着けて幼稚園での遊びに向かっていけるように、思いを受け止める。
3	6	気持ちをコントロールする	自立心	友達に慰めてもらったり、用意を手伝ってもらったり、先生に励ましてもらったり、誘ってもらったり、話を聞いてもらったりして悲しい気持ちを切り替えて遊び始める。	悲しかった気持ちに折り合いをつけて幼稚園での遊びに向かっていけるように、幼稚園での遊びに触れつつ降園後に期待を寄せる言葉をかけたり、幼稚園には友達がたくさんいて寂しくないことを明るく伝える。
3	6	他者といる喜びを感じる	協同性	友達の用意を手伝ったり、用意を終えるのを待ったり、誘ったり、ついて行ったりしてようやくみんなで一緒に遊べて嬉しく思う。	友達と一緒に遊ぶことを楽しみに感じられるように、早く一緒に遊びたい気持ちを言葉にする。
3	6	他者といる喜びを感じる	協同性	友達の用意を手伝ったり、用意を終えるのを待ったり、誘ったり、ついて行ったりしてようやくみんなで一緒に遊べて嬉しく思う。	友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、遊びの呼び名で呼んで明るく見送ったり、教師から見て楽しそうに見えていることを言葉にしたりする。
3	6	他者といる喜びを感じる	協同性	泣いていたけれど、友達に用意を手伝ってもらったり、待ってもらったり、誘ってもらったりして友達と一緒に遊べて嬉しく、楽しいと思う。	友達と一緒に遊ぶことを楽しみに感じられるように、早く一緒に遊びたい気持ちを言葉にする。
3	6	他者といる喜びを感じる	協同性	泣いていたけれど、友達に用意を手伝ってもらったり、待ってもらったり、誘ってもらったりして友達と一緒に遊べて嬉しく、楽しいと思う。	自分のことを気にかけて手伝ってくれる友達がいるありがたさを感じられるように、友達と一緒にしたから用意が早く済んだことを喜ぶ。
3	6	他者といる喜びを感じる	協同性	泣いていたけれど、友達に用意を手伝ってもらったり、待ってもらったり、誘ってもらったりして友達と一緒に遊べて嬉しく、楽しいと思う。	友達に助けてもらった嬉しさを感じられるように、手伝ってもらえたことを一緒に喜んだり、みんなが助けてくれたことについて言及したりする。
3	6	他者といる喜びを感じる	協同性	泣いていたけれど、友達に用意を手伝ってもらったり、待ってもらったり、誘ってもらっ	友達と過ごすことに安心感を抱けるように、友達がいる心強さを言葉にする。

				たりして友達と一緒に遊べて嬉しく、楽しいと思う。	
3	6	他者といる喜びを感じる	協同性	泣いていたけれど、友達に用意を手伝ってもらったり、待ってもらったり、誘ってもらったりして友達と一緒に遊べて嬉しく、楽しいと思う。	友達と一緒に遊ぶことを楽しみに感じられるように、早く一緒に遊びたい気持ちを言葉にする。
3	6	他者といる喜びを感じる	協同性	泣いていたけれど、友達に用意を手伝ってもらったり、待ってもらったり、誘ってもらったりして友達と一緒に遊べて嬉しく、楽しいと思う。	友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、遊びの呼び名で呼んで明るく見送ったり、教師から見て楽しそうに見えていることを言葉にしたりする。

【Ⅱ】事例、考察から得られたカリキュラムへの知見（発揮している姿より）

学年	月	資質・能力	１０の姿	資質・能力を発揮している姿	有効と考える環境の構成や教師の援助

【Ⅲ】検討する中で得られた手立て

学年	月	資質・能力	１０の姿	有効と考える環境の構成や教師の援助
3	6	自分のことを知る	道徳性・規範意識の芽生え	自分の行動が友達にとってどうか振り返られるように、友達がどう思うか推測して伝える。

令和６年６月６日	３年保育４歳児	神戸大学附属幼稚園（吉田　紘子）
ドキドキする時はどうする？		
事実	・解釈　◎教師の意図、解説	資質・能力 （○社会☆汎用□固有）
コーンやゲームボックス、フラフープ等を使って子どもたちが挑戦コースを作っている。最終地点には、平均台からジャンプして鉄の棒にぶら下がることができるコースになっている。Ｉ を先頭にＡＧＨＫＮＲＴＵＹらが平均台の上に並んでおり、その後ろにも長蛇の列ができている。この日は他のクラスの教師が保育を参観しており、コースを挑戦している子どもたちを見ている。		
Ｉ（教師をじっと見る。） 教師（Ｉ に近付く。）	・先生に言いたいことがある。 ◎Ｉ が言いたいことが言えるように、Ｉ に近付いた。	
Ｉ「ドキドキする。」	・ドキドキする気持ちを先生に手伝ってもらってどうにかしようと思っている。 ・先生に手伝ってもらえるように自分の気持ちを伝えた。	○気持ちをコントロールする ○自分のことを伝える
教師「ドキドキする？何がドキドキする？」	◎他の教師に見られていることなのか、跳ぶことなのか、どこに緊張と不安を感じているのかＩの気持ちを知ろうと、何にドキドキしているのか尋ねた。	
Ｉ「跳ぶの。」 教師「跳ぶことが？どうする？ジャーンプだけでもいいんじゃない？届かなくても。」	・跳ぶことに緊張していることを伝えた。 ◎自分が出来そうなところでやってみようと思えるように、鉄の棒を掴まない選択もあることを伝え、どうするか尋ねた。	
Ｉ（眉をひそめて首を傾げている。） 教師「先生手つなぐ？」	・どちらも踏み出せない。 ◎手をつなぐことで安心して跳んでみようと思えるように、手を繋ぐかどうか尋ねた。	
Ｉ（黙っており、身体が傾いて一度平均台から落ちるがまた登る。）	・手はつなぎたくない。 ・バランスを崩して落ちてしまったが、ジャンプしたいと思っている。	○自ら決める・選ぶ
教師「でもジャンプしようとは思ってるんだね？Ｉ ちゃん、みんなが待ってくれています。」	◎周りの待ってくれている友達の存在に気付けるように、みんなが待っていることを知らせた。 ◎みんなが待っていることに気付いて、気持ちを切り替えて跳んでみようと思えるように、ジャンプしようとしている気持ちを受け止めながらも、みんなが待っていることを知らせた。	
Ｔ「早く～。」	・自分も跳びたいので早く跳んでほしい。	○自ら決める・選ぶ
ＨＫＹ「早く～。」	・Ｔが言ったのを聞いて自分の早くしてほしいという気持ちが溢れ始めた。	○自ら決める・選ぶ
教師「先生と手つないでジャンプする？」	◎勇気を出して跳んでみようと思えるように、教師と手をつないでジャンプするかもう一度尋ねた。	
Ｉ（眉をひそめたまま横に小さく首を振	・手をつないでジャンプしたくない。	

る。） 教師「自分でやりたいの？」	◎どうしたいのか伝えられるように、自分でやりたいと思っているのか尋ねた。	
I（縦に小さく首を振る。）	・自分で跳びたいと思っている。	○自ら決める・選ぶ
教師「先生がせーのーでって。声かけようか？行く？」	◎跳び出せるきっかけを見付けて跳んでみようと思えるように、教師の合図で跳ぶのはどうか尋ねた。 ◎待っている子ども達が応援する気持ちをもてるよう、教師がＩのためにいろいろ考えている姿を見せた。	
I（首を横にふる。） 教師「みんなドキドキするときはどうして跳んでるの？」	・合図はいらない。 ◎待っている子ども達がＩの気持ちを感じて自分はＩのためにどうしてあげられそうか考えていけるように、みんなもドキドキすることがあることを思い出させた。 ◎待っている子ども達が自分もやりたいけど出来なくてドキドキする時があり、その時はどんな風に思って踏み出しているのか振り返られるように、みんなはどうしているのか尋ねた。 ◎I が友達の思いを聞いて、自分もそのやり方でやってみようと思えるように、同じ場面になった時にどうしているのか知る機会を作った。	
T「頑張れ～。」	・Ｉのドキドキしている気持ちを感じている。	○他者のことを知る
	・ドキドキしている時は、応援してあげたらいいと思い、Ｉに声を掛けた。	○他者のことを考えて行動する
Y「頑張れ～。」	・Ｉのドキドキしている気持ちを感じている。	○他者のことを知る
	・Ｔの言葉を聞いて自分も応援してあげようと思った。	○他者のことを考えて行動する
K「心の中で応援してるの。」	・Ｉのドキドキしている気持ちを感じている。	○他者のことを知る
	・Ｉのことを応援してあげたいと思っており、頑張れと言わない方がＩにとっていいと思い、心の中で応援することにした。	○他者のことを考えて行動する
教師「心の中で応援しているんだ。怖いな～って思ってるときはどうやって跳んでるの？」	◎教師の先ほどの声かけでは教師が何を尋ねているのか子どもたちに伝わっていないと感じ、言葉を言い換えて尋ねた。	
A（少し間が空いてから）「パワー溜めて。」	・いつもどうしているかを振り返り、パワーを溜めている自分を思い出している。	○自分のことを知る
N「パワー溜めて。」	・いつもどうしているかを振り返り、自分もＡと一緒でパワーを溜めてから跳び始めていることを思い出している。	○自分のことを知る
教師「パワー溜めてから。」	◎Ｉが友達の経験を取り入れてやってみようと思えるように、言葉を繰り返した。	
R「それかさ、怖くなくなってから。」	・Ｉのために他の方法もないかと考えている。	○他者のことを考えて行動する
	・パワーを溜めることに加えて、いつもどうしているかを振り返り、自分は怖くなくなってからやっていたことを思い出している。	○自分のことを知る

T（鉄の棒を掴む真似をして）「掴まなくたっていいんだよ。」	・自分は怖い時には掴まずにジャンプしていることを思い出している。	○自分のことを知る
学び（ＡＮＲＴ）	友達と同じ気持ちになっていた場面を振り返り、自分の考えていることに気付く。	○自分のことを知る（健康な心と体・自立心）
教師「掴まなくたっていいんだよ。って。」	◎Ｉが、友達の言ってくれていることも取り入れてみようと思えるように、Ｉの言葉を繰り返した。	
Ｒ「掴まないであっちに行ったっていいよ。（平均台から降りてＩの顔を見て）「掴まなくてもいいよ。」	・Ｉが跳び出せるように、声を掛けてあげたい。	○他者のことを考えて行動する
	・Ｉが掴まないといけないと思っていると考えている。	○他者のことを知る
	・掴まなくてもいいことをしっかり伝えたいと思い、Ｉの顔を見て伝えた。	○自分のことを伝える
Ｃ「掴まなくっていいよ。」	・Ｉが跳び出せるように、声を掛けてあげたい。	○他者のことを考えて行動する
Ｈ「掴まなくていいよ。」	・Ｉが跳び出せるように、声を掛けてあげたい。	○他者のことを考えて行動する
学び（ＣＨＲ）	Ｉが跳び出せるように、声を掛けてあげたい。	○他者のことを考えて行動する（道徳性・規範意識の芽生え）
Ｒ「それか、一回休憩してからにするか。」	・一度休憩することも考えらえるのではないかと思っている。	
教師「あ、一回休憩するのもどうって言ってるけど。Ｉちゃん。どうする？」	◎一度休憩するという提案を聞いてどうするか考えられるようにＲの提案をもう一度言葉にしてどうするか尋ねた。	
Ｉ「やだ。」	・休憩するのではなく今跳びたい。	○自ら決める・選ぶ
教師「やだ？今やりたいの？じゃあどうやって跳ぶ？パワー溜めて跳ぶって言ってたけど。」	◎気持ちを切り替えて自分の出来そうな方法で跳び出せるように、どの方法で跳ぼうか一緒に考える姿を見せた。	
Ｉ（口を押さえながら笑顔で肩を上げて首を傾けている。）	・みんなが考えたり声をかけてくれたりしていることが嬉しく、照れている。	
Ｒ「でも早く～！」	・Ｉの気持ちも分かるが、早く自分も跳びたいので、早くしてほしい気持ちが高まってきている。	○気持ちをコントロールする
ＧＨＫＮＴＵＹら（眉間にしわを寄せたりＩの方を見たりして口々に）「早く～！」	・Ｒの言葉を聞いて早く自分も跳びたいので、早くしてほしい気持ちが高まり苛立ってきている。	○気持ちをコントロールする
Ｔ「時間なくなるよ～。」	・このままだと自分の遊ぶ時間がなくなってしまうので嫌だと思っている。	□資源の活用を見つめる
教師「段々みんな、早く跳びたいなーって気持ちが強くなってきてる…。行く？せーので。」	◎みんなの早くしてほしい気持ちも感じられるように、待っている子どもたちの気持ちの変化を言葉にした。	
	◎待っている子どもたちが気持ちを落ち着かせられるように、跳びたいという思いを受け止めた。	
	◎勇気を出して跳び出せるように、合図を送り、きっかけを作った。	
Ｉ（少し微笑むがまた斜め下を見る。）	・少し気持ちがほぐれてきているがやっぱり跳ぶ気持ちになれない。	

何度も声をかけるがＩは動かず、ＧＴは降りて違う遊びに行く。その後もいろいろな提案を教師や友達がしているがＩの様子は変わらない。		
Ｕ（大きな声でＩの方を見て）「早くしてほしい。」（もう少し大きな声で）「早くしてほしい。」	・自分も早く跳びたい。 ・早く跳んで欲しい気持ちが溢れて声を大きくして伝えている。 ・早く跳びたいのに、跳べない状況に苛立っている。	○自ら決める・選ぶ ○自分のことを伝える ○気持ちをコントロールする
教師「早くしてって言っている友達もいる。」	◎Ｉが周りの気持ちを感じられるように、周りの友達の様子を知らせた。 ◎苛立つ気持ちを落ち着かせられように、早くして欲しい気持ちを周りの子どもたちに聞こえるように声に出すことで受け止めた。	
ＨＫＮＲＹ（語尾強めに口々に）「早くして～。」	・Ｕが先生に早くしてほしい気持ちを受け止めてもらったのを聞いて、自分も早くしてほしく、苛立ってきている気持ちが溢れてきている。	○気持ちをコントロールする
Ｉ（苦笑いをして教師を見る。）	・友達の声を聞いて友達が待っていることを感じている。 ・早くした方がいいことは分かっているが、どうしようか考え続けている。	○他者のことを知る ○気持ちをコントロールする
教師「分かってるんだけど～。ドキドキするな～。」	◎待っている子どもたちがＩの葛藤している気持ちにも気付けるよう、Ｉの気持ちを推測して言葉にした。	
ＨＫＮＲＹ（黙ったり前のＩを見たりする。）	・教師に言われてＩの気持ちを感じている。 ・早くしたい気持ちを落ち着かせている。	○他者のことを知る ○気持ちをコントロールする
Ｒ「先生と一緒にやったら？」	・ドキドキする気持ちは理解しているが、自分も早く跳びたいので早くしてほしいと思っている。 ・先生と一緒にやってみると跳べるのではないかと思い、提案した。	○自ら決める・選ぶ ○他者のことを考えて行動する
教師「先生と一緒に？」	◎みんなの思いを聞いた今、先生と一緒にするということに妥協できるかどうか考えられるよう、尋ねた。	
Ｉ「いや！」 教師「一人でやりたいの？」	・一人でやりたい。 ◎自分はどう思っているのか伝えられるように一人でやりたいのか尋ねた	
Ｉ（うなずく。）	・一人でやりたい。	○自ら決める・選ぶ
教師「よし、じゃあ、頑張れっ！行くよ、せーのーで！」	◎気持ちを切り替えて踏み出せるように、語尾を軽くして合図を送り、きっかけをつくった。	
ＨＫＮＲＹら「せーのーで！せーのーで！」（先頭にいるＩを見る。） Ｉ（黙っている。）	・教師が合図を送ったので自分も一緒に送って応援しようと思った。 ・踏み出したいと思っているが踏み出せない。	○他者のことを考えて行動する ○気持ちをコントールする
Ｒ「いけない？怖いんだね。早く～。」	・踏み出したいけど怖いと言うＩの気持ちを感じている。	○他者のことを知る

	・怖いというＩの気持ちを受け止めたい気持ちと、早くしてほしい気持ちがある。	○気持ちをコントロールする
ＨＫＮＵＹら（強めに）「早く～早く～！」	・早くしたいのに出来ない状況に苛立ちを感じており、Ｉにいい加減早くしてほしいと思っている。	○気持ちをコントロールする
教師（Ｉを見て）「ドキドキするんだよね。でもIちゃん、みんなも待ってくれてるわ。後で挑戦する？」	◎気持ちを切り替えられるように、Ｉの気持ちを受け止めつつ、後で挑戦することを勧めた。 ◎跳びたいと思いながらもＩを待ってあげようと思っている気持ちがＩや教師に伝わっていると分かって、気持ちを落ち着かせられるよう、待ってくれていることを言葉にして認めた。	
Ｉ（大きな声で教師の言葉の後すぐに）「いや！」	・今挑戦したい。 ・意固地になってきている。	
教師「じゃあどうする？でもでも後ろ見て、み～んな待ってくれてるよ。」	◎実際にどれほどの友達が待ってくれているのか、待たせているのかが分かり、気持ちに折り合いをつけられるように、待っている友達に目を向けさせた。	
ＨＫＮＲＵＹら（Ｉを見たり後ろを見たりしている。）	・教師に自分が待っている気持ちを知ってもらい、気持ちが落ち着いてきている。	○気持ちをコントロールする
Ｉ（後ろを見て視線を下げたり教師を見たりする。）	・自分が随分たくさんの友達を待たせていることに気付き、気まずい気持ちになっている。	○自分のことを知る
教師「後で挑戦するか今ちょっと跳んでみるか。パワーを溜めてからするか。いろいろみんな言ってくれてるけど。」	◎たくさんの友達が待っているのを見て、自分の出来そうなことを選んで踏み出せるよう、これまで出てきた案を改めて言葉にした。 ◎ＨＫＮＲＵＹらが、自分がＩのことを思ってしていることを感じられるように、Ｉのために考えたり伝えたりしてくれていることを言葉にした。	
Ｒ「あとさ、休憩してから跳ぶか。」	・休憩することを先生が言っていないので自分の案も付け足した。	○自分のことを伝える
教師「みんなの見てる？どういう風に跳ぶか。」	◎休憩してみんなの姿を見ることでどのように跳ぶといいか考えられるよう、みんなが跳ぶ姿を見ることを提案した。	
Ｉ（首を横に振る。）	・今跳びたいので見ているのは嫌だ。	
ＨＫＮＲＵＹら（口々に）「遅い～！」	・いい加減早くしてほしく、もう待てなくなっている気持ちを、遅いと言うことで発散している。	○気持ちをコントロールする
Ｉ（前を向いて黙っている。）	・どうすればいいのか分からない。	○気持ちをコントロールする
再びいろいろな提案を教師や子どもたちがするが、跳ぼうとしない。		
教師「みんなも待ってくれてるし、一回降りて見てみよう。」（手を差し出す。）	◎周りの様子に気付きながらも意固地になってきて切り替えが難しいＩが、冷静になってどうしようか考えていけるように、強引にでも手を引いて降ろし、切り替えるきっかけを作ろうとした。 ◎ＨＫＮＲＹらがＩのことを思っている気持ちのまま続けられるよう、一旦挑戦を待ち続けている状況を終わらせようと	

Ｉ（教師の手を握り、平均台から自分から足を降ろす。）	した。 ・みんなを待たせていることを感じており、先生にきっかけを作ってもらって気持ちを切り替えて降りようと思う。	○気持ちをコントロールする
学び（Ｉ）	みんなを待たせていることを感じており、先生にきっかけを作ってもらって気持ちを切り替えて降りようと思う。	○気持ちをコントロールする（道徳性・規範意識の芽生え）
学び（ＨＫＮＲＹ）	跳びたい気持ちが強くあり、進まない状況やなかなか跳び出さない友達に苛立ちを感じながらも、Ｉの頑張りたい気持ちや緊張している気持ちも感じて、気持ちを落ち着かせたり待ったりしている。	○気持ちをコントロールする（道徳性・規範意識の芽生え）
この後、Ｉは教師と一緒に友達の跳ぶ姿をそばで見てからもう一度コースの始めから挑戦する。	・もう一度最初からやってみようと思った。	○自ら決める・選ぶ

【考察】（学びと学びに至った要因を中心に）

◆「自分のことを知る」（健康な心と体・自立心）の観点から

ＡＮＲＴは、友達と同じ気持ちになっていた場面を振り返り、自分の考えていたことに気付いている。Ｉは、跳びたいけれど緊張と不安で跳び出せない状況が続いていた。Ｉの後ろに立って待っている子ども達は、Ｉが跳び出さない様子を見て、最初は待っているけれど、早く跳んでほしいという思いが溢れてきていた。そこで、教師は、自分もやりたいけど出来なくてドキドキする時があり、その時はどんな風に思って踏み出しているのか振り返られるように、自分ならどうしているのか尋ねた。そのことがＡＮＲＴが自分自身を振り返る姿につながった。

◆「他者のことを考えて行動する」（道徳性・規範意識の芽生え）の観点から

ＣＨＲは、友達が跳び出せるように、声を掛けてあげたいと思っている。教師は、待っている子どもたちが応援する気持ちをもてるよう、Ｉのためにいろいろ考えている姿を見せた。また、待っている子どもたちが友達の不安や緊張する気持ちを感じて自分はＩのためにどうしてあげられそうか考えていけるように、みんなも同じ気持ちになることがあることを思い出させた。そのことがこの学びにつながっている。

◆「気持ちをコントロールする」（道徳性・規範意識の芽生え）の観点から

Ｉは、みんなを待たせていることを感じており、先生にきっかけを作ってもらって気持ちを切り替えて降りようと思っている。教師は、気持ちを切り替えられるように、待っている友達の気持ちを受け止めて言葉にし、後で挑戦することを勧めた。それでも意固地になっているＩに、実際にどれほどの友達が待ってくれているのか、待たせているのかが分かって気持ちに折り合いをつけられるように、待っている友達に目を向けさせた。そして、周りの様子に気付きながらも意固地になってきて切り替えが難しいＩが、冷静になってどうしようか考えていけるように、強引にでも手を引いて降ろそうと手を差し伸べた。そのことが周りの状況と自分の気持ちに折り合いをつけようとするＩの姿につながった。

ＨＫＮＲＹは、跳びたい気持ちが強くあり、進まない状況やなかなか跳び出さない友達に苛立ちを感じながらも、頑張りたい気持ちや緊張している気持ちも感じて、気持ちを落ち着かせたり待ったりしていた。教師は、なかなか跳んでくれないＩに対する苛立つ気持ちを落ち着かせられよう、子どもたちの早く跳んで欲しい気持ちを受け止めたり、跳びたいと思いながらもＩを待ってあげようと思っている気持ちがＩや教師に伝わっていると分かって、気持ちを落ち着かせられるよう、Ｉのことを待ってくれていることを言葉にして認めたりした。一方で、待っている子どもたちがＩのドキドキする気持ちに気付けるよう、皆にもそんな時があることを思い出させたり、友達の葛藤している気持ちにも気付けるよう、友達の気持ちを推測して言葉にしたりしたことによる「他者のことを知る」の資質・能力の発揮があったこともこの学びの要因といえる。

【Ｉ】事例，考察から得られたカリキュラムへの知見（伸長している姿より）

学年	月	資質・能力	１０の姿	資質・能力が伸長している姿（学び）	有効と考える環境の構成や教師の援助
4	6	自分のことを知る	健康な心と体・自立心	友達と同じ気持ちになっていた場面を振り返り、自分の考えていたことに気付く。	自分もやりたいけど出来なくてドキドキする時があり、その時はどんな風に思って踏み出している

					のか振り返られるように、自分ならどうしているのか尋ねる。
4	6	他者のことを考えて行動する	道徳性・規範意識の芽生え	友達が跳び出せるように、声を掛けてあげたい。	待っている子ども達が応援する気持ちをもてるよう、教師が友達のためにいろいろ考えている姿を見せる。
4	6	他者のことを考えて行動する	道徳性・規範意識の芽生え	友達が跳び出せるように、声を掛けてあげたい。	友達の気持ちを感じて自分は友達のためにどうしてあげようか考えていけるように、みんなも同じ気持ちになることがあることを思い出させる。
4	6	気持ちをコントロールする	道徳性・規範意識の芽生え	みんなを待たせていることを感じており、先生にきっかけを作ってもらって気持ちを切り替えて降りようと思う。	気持ちを切り替えられるように、待っている友達の気持ちを受け止めて言葉にし、後で挑戦することを勧める。
4	6	気持ちをコントロールする	道徳性・規範意識の芽生え	みんなを待たせていることを感じており、先生にきっかけを作ってもらって気持ちを切り替えて降りようと思う。	実際にどれほどの友達が待ってくれているのか、待たせているのかが分かって気持ちに折り合いをつけられるように、待っている友達に目を向けさせる。
4	6	気持ちをコントロールする	道徳性・規範意識の芽生え	みんなを待たせていることを感じており、先生にきっかけを作ってもらって気持ちを切り替えて降りようと思う。	周りの様子に気付きながらも意固地になってきて切り替えが難しい時には、冷静になってどうしようか考えていけるように、落ち着ける場所に移動して切り替えるきっかけを作る。
4	6	気持ちをコントロールする	道徳性・規範意識の芽生え	跳びたい気持ちが強くあり、上手く進まない状況やなかなか跳び出さない友達に苛立ちを感じながらも、頑張りたい気持ちや緊張している気持ちも感じて、気持ちを落ち着かせたり待ったりする。	苛立つ気持ちを落ち着かせられように、早くして欲しい気持ちを受け止める。
4	6	気持ちをコントロールする	道徳性・規範意識の芽生え	跳びたい気持ちが強くあり、上手く進まない状況やなかなか跳び出さない友達に苛立ちを感じながらも、頑張りたい気持ちや緊張している気持ちも感じて、気持ちを落ち着かせたり待ったりする。	跳びたいと思いながらも友達を待ってあげようと思っている気持ちが友達や教師に伝わっていると分かって、気持ちを落ち着かせられるよう、待ってくれていることを言葉にして認める。

【Ⅱ】事例，考察から得られたカリキュラムへの知見（発揮している姿より）

学年	月	資質・能力	１０の姿	資質・能力を発揮している姿	有効と考える環境の構成や教師の援助

【Ⅲ】検討する中で得られた手立て

学年	月	資質・能力	１０の姿	有効と考える環境の構成や教師の援助
4	6	気持ちをコントロールする	道徳性・規範意識の芽生え	挑戦したい気持ちややりたい気持ちはあるものの、怖さや不安から踏み出せない時には、気持ちを切り替えて自分の出来そうな方法でやってみようと思えるように、どの方法で跳ぼうか一緒に考える姿を見せたり、待っている周りの友達の早くしてほしい思いに触れたり見たりする機会を作ったり、その後、最初は嫌だと思っていた案も受け入れてみようと考えられるよう、もう一度尋ねたり、自分の出来そうなことを選んで踏み出せるよう、これまで出てきた案を改めて言葉にしたりする。

令和６年６月１７日	３年保育４歳児	神戸大学附属幼稚園（吉田　紘子）
言い方きつくなっちゃってた？		
事実	・解釈　◎教師の意図、解説	資質・能力 （○社会☆汎用□固有）
KMORらがガッチャードになり、毎日のように廃材で作った武器で闘って遊んでいる。今日も武器を持って保育室前の芝生に出ており、DとRがトイレットペーパーの芯で作った剣を取り合っている。	・今日もガッチャードになって武器で闘おうと思っている。	○自ら決める・選ぶ
K（DRに近付き、剣を片手で掴みDに向かって眉間にシワを寄せて大きな声で）「ガアーガアー！」	・大好きなRが困っているので、どうにかしてあげたい気持ちが高まり、興奮している。	
教師「Kくん、Kくん。」（小さな声で笑顔で）「ほら、さっきの思い出して。」	◎少し前に友達に怖いと言われたことがどういう自分の姿のことを言っているのか気付けるように、Kがその時と同じような状況になっている時に先ほど言われたことを思い出すよう声を掛けた。	
K（剣から手を離して真顔で止まる。）	・先生に言われたことを考え始めている。	
D（Rに）「自分で作ったらいいやん！」	・自分の剣を使わないでほしい。 ・人の剣をとるのではなく自分の剣は自分で作ったらいいと思っている。	
	・剣を返してもらえるように、Rに自分で自分の剣を作ったらいいことを伝えた。	○自分のことを伝える
R（剣から手を離して）「作るってばー！」（廃材コーナーに行き、トイレットペーパーの芯を取り机で作り始める。）	・早く闘いに行きたいが、Dが貸してくれないので、切り替えて自分で作ろうと思った。 ・自分が前に作った剣ではなく、Dのような剣が欲しい。	○気持ちをコントロールする
D（剣を持って保育室に入る。）	・手を離してもらえたので、剣を片付けておこうと思った。	
教師（K を見て）「Kくん、今どうなってた？」	◎自分がどんな状態になっていたのか落ち着いて振り返られるように、自分がどうなっていたのか尋ねた。	
O「引っ張りっこしとったね。」	・Kが武器を引っ張っていたことを思い出している。	
K（一点を見つめて真顔で頭をかく。）	・どうなっていたのか自分でも分からなくなってきている。	
教師「今Rちゃんをどうにかしてあげたいって思ったんだよね？」	◎自分がどんな気持ちでいたのか思い出せるように、教師が読み取ったRの気持ちを言葉にした。	
	◎OがKの行動に対して否定的に捉えず、Kの思いに気付けるよう、教師が読み取ったRの気持ちを言葉にした。	
K（引き続き一点を見つめて髪をかく。）	・先生の言っていることを考えているが、先生の言っていることがぴったり気持ちに当てはまってはいない。	
忍者をしていたGHがガッチャードのKMORを闘いに誘いにきて、教師も交えて話をし、MOが先に園庭に向かって行った。Rは引き続き剣を作っている。		
K（GHMO教師が話をしている間、近くでGHMO教師を黙って見ている。）	・先ほど先生に言われたことが何を言っているのかよく分からないが、気になっている。	
教師「Kくん、Rくんのことさっき心配し		

たん？」		
	◎さっきの質問だと、Kの返事がなかったので、違う言葉の方が合っているのかと考え、言葉を変えて尋ねた。	
K「うん。」	・そうだと思った。	
教師「でもまた怖くなってたよ。」	◎自分の状態がどのようになっていたのか考えられるよう、教師にはどう見えたかを言葉にした。	
K（小さな声で）「えー。」	・そのつもりはなかったけどそうなのかもしれないと思い始めている。	
R（K教師の近くの机で、Dと同じような形にトイレットペーパーの芯を繋げて剣を作りながら）「Dくんどこ行ったの？」（周りを見てからすぐに剣作りの続きをし始める。）	・教師がDのことを気に掛けているので、Dのことが気になってきている。 ・早くDと同じような剣を完成させて闘いに行きたい。	○他者のことを考えて行動する ○自ら決める・選ぶ
K（周りを見渡す。）	・Rの言葉を聞いて自分もDのことが気になってきている。	○他者のことを考えて行動する
教師「どこかなー。」（周りを見る。）「Dくんちょっとびっくりしていたんじゃないかと先生は思うんやけど。」	◎Dを気にする姿を持ち続けられるよう、教師も一緒に気にしている姿を見せたり、推測したDの気持ちを知らせた。	
K（斜め下を見ながらゆっくりと）「うーん。」	・Dの気持ちを先生に言われてびっくりさせたかもしれないと思い始めている。	
教師「Rのことどうしてあげたいと思ったの？」	◎自分がどう思っていたのか思い出して、自分の言葉で言えるようにどんな気持ちだったのか尋ねた。	
K「えー。助けてあげようと。」	・助けてあげようと思ったことを振り返っている。	○自分のことを知る
教師「そうなん？何があったの？」	◎教師の知らない理由があるのかもしれないと思い、尋ねた。	
K「だってさ、Rちゃんが悲しくなって取ろうとしとって。」	・Rが悲しくなっていたと思ったことや状況を伝えた。	
教師（少し間を開けて）「何を取ろうとしてたの？」	◎Kの言葉が続くと思ったが、終わったようなので、Kが今の言い方では伝わっていないことが分かり、言葉を足せるよう、足りていない部分を尋ねた。	
K「Dくんが剣を。」（斜め下を見て）「それで、なっちゃった。」	・先生に聞かれたことを答えた。 ・自分が怖くなってしまっていたことを感じている。	○自分のことを知る
教師「で、KくんはDくんに何を言いたかったの？」	◎本当は何を言いたかったのか、Dに伝わっていなかったことを感じ、伝え方を考えようとするよう、まず、何が言いたかったのか尋ねた。	
K「剣を貸してあげたかったの。」	・Dの剣をRに貸してあげたかったことを振り返っている。	○自分のことを知る
教師「そうなんや。Rに貸してあげたかったんや。それがさっきの言い方だと分からんかった。」	◎言いたいことが伝わっていなかったことを感じられるよう、気持ちを受け止めつつ、Kの言い方では分からなかったことを伝えた。	
K「うん。」	・伝わっていなかったと感じた。	○自分のことを伝える
D（武器を置いて教師KRがいる靴箱近くにやってくる。）	・武器を置いたので安心して他の遊びをしようと外に出てきた。	
教師「Dくん、さっきKくんに言われてちょっとびっくりしちゃったねー？」	◎KがDの気持ちに心を寄せられるよう、教師が推測したDの気持ちを言葉にして	

	尋ねた。	
D「うん。」	・びっくりしたかと聞かれるとびっくりした。	
教師「だって。どう言ってあげたらよかったんやろ～。」	◎Dの思いを聞いて、どうすればよかったのか考えられるよう、一緒に考える姿勢を見せた。 ◎Kが安心して自分でどうすればよかったのか考えられるように、できるだけ口調を柔らかく問いかけた。	
K「優しく言えばよかった。」	・言い方がきつくなってしまっていた自分を振り返って感じている。 ・びっくりさせないように、今度からは優しく言おうと思った。	○自分のことを知る ○他者のことを考えて行動する
学び（K）	びっくりさせないように、今度からは優しく言おうと思う。	○他者のことを考えて行動する
教師「え？きつくなっちゃってたな～とは思ったの？」	◎どんな自分になっていたのか確かに感じられるように、Kが振り返って感じたことを言葉にして合っているか尋ねた。	
K「うん。」	・教師の言っている通りだと改めて思った。	
学び（K）	教師に気付かせてもらい、言い方がきつくなってしまっていた自分を振り返って感じている。	○自分のことを知る （道徳性・規範意識の芽生え）
教師「そっか、そう思ってるんか。」	◎自分で振り返って考えていることのよさを感じられるよう、Kの考えていることを受け止めた。	
D（Kの顔を見ている。）	・Kの思いを感じている。	○他者のことを知る
教師「Dくんが自分で作ったらって言ったらRくんも自分で作ってるわ。そんなことを伝えてもいいかもね。自分でも作ってみたら？って。」	◎人の物を無理矢理取る以外の方法も今後考えていけるように、Dが自分で作ることを提案するとRが作り始めたことを伝えた。	
K「うん。」	・確かにそうだと思った。	
R「チャキーン！」（作った剣を振る。）	・作った剣を気に入っている。	○自分に満足する
教師「かっこいいのができてるやん。ガッチャードの仲間にできたよ～って言ってきたら？忍者も待ってるんじゃない？」	◎欲しい剣を自分で作ってよかったと思えるように、作った剣の素敵さを言葉にした。 ◎気持ちを切り替えて遊びに向かえるよう、仲間が待っていることや、誘われていたことを思い出させた。	
KR「うん！」（走り出す。）	・闘いに行きたい。	○自ら決める・選ぶ
K（振り返ってDに）「ごめんねー！」	・自分のしてしまったことをDは嫌なことだと感じたと思い、謝った。	○他者のことを考えて行動する
学び（K）	自分のしてしまったことを友達は嫌なことだと感じたと思い、謝る。	○他者のことを考えて行動する （道徳性・規範意識の芽生え）

【考察】（学びと学びに至った要因を中心に）

◆「自分のことを知る」（道徳性・規範意識の芽生え）の観点から

Kは、教師に気付かせてもらい、言い方がきつくなってしまっていた自分を振り返って感じている。Kは少し前に別の友達に言い方が怖いと言われていたが、そのことを受け止めようとしない姿が見られてい

た。そこで教師は、自分が興奮した時にどのような状況になっているのか振り返って感じられるよう、同じような場面に遭遇した時に声をかけようと考えていた。友達からその話を受けた後、Kは大好きなRが武器の取り合いをしていて困っているので、どうにかしてあげたい気持ちが高まり、興奮し、言葉にならない叫びをあげてDに訴えていた。教師は、友達に怖いと言われたことがどういう自分の姿のことを言っているのかを考えられるよう、同じような状態になっている時に声を掛けた。そしてKが考え始めているところで、自分がどうなっていたのか落ち着いて振り返られるように、自分がどんな状態になっていたのか尋ねた。しかし、このときは、尋ねた言葉がKは理解できず、具体的に自分がどうなっていたのか分からなくなっていた。そのため、その後関わりを変えた方がいいと判断し、教師が見ていて思ったことを言葉にしたり、友達の思いに触れたり、友達の思いを聞いて、どうすればよかったのか考えられるよう、考えるきっかけを作ったりした。さらに、どんな自分になっていたのか確かに感じられるように、Kが振り返って感じたことを言葉にして合っているか尋ねた。そのことがKが自分の姿を振り返って考える姿につながったといえる。

◆「他者のことを考えて行動する」（道徳性・規範意識の芽生え）の観点から

Kは、びっくりさせないように、今度からは優しく言おうと思っている。Kは、大好きなRが困っているので、どうにかしてあげたい気持ちが高まり、Dに対して興奮して叫んでいた。Kが落ち着いてきたころ、教師は、KがDの気持ちに心を寄せられるよう、教師が推測したDの気持ちを言葉にして尋ね、Dの思いを聞ける機会を作った。この「他者のことを知る」の資質・能力の発揮、伸長に向けての援助に加えて、Dの思いを聞いて、どうすればよかったのか考えられるよう、一緒に考える姿勢を見せたことで、Kが言い方を考える姿につながったといえる。

Kは、自分がしてしまったことをDは嫌なことだと感じたと思い、謝った。教師は、Kが、Dを気にかけるRの言葉を聞いて自分もDのことが気になってきている時に、Dを気にする姿を持ち続けられるよう、教師も一緒に気にかけている姿を見せたり、推測したDの気持ちを知らせたりした。また、KがDの気持ちに心を寄せられるよう、教師が推測したDの気持ちを言葉にして尋ねた。そしてその援助に加え、言い方がきつくなってしまっていた自分を振り返ってよくなかったと感じた「自分のことを知る」の資質・能力が発揮されたこと、このことがKのこの学びに繋がったと考える。

【Ⅰ】事例，考察から得られたカリキュラムへの知見（伸長している姿より）

学年	月	資質・能力	１０の姿	資質・能力が伸長している姿（学び）	有効と考える環境の構成や教師の援助
4	6	自分のことを知る	道徳性・規範意識の芽生え	教師に気付かせてもらい、言い方がきつくなってしまっていた自分を振り返って感じている。	友達に怖いと言われたことがどういう自分の姿のことを言っているのかを考えられるよう、その時と同じような状況になっている時に声を掛ける。
4	6	自分のことを知る	道徳性・規範意識の芽生え	教師に気付かせてもらい、言い方がきつくなってしまっていた自分を振り返って感じている。	自分の状態がどのようになっていたのか考えられるよう、教師が見ていて思ったことを言葉にする。
4	6	自分のことを知る	道徳性・規範意識の芽生え	教師に気付かせてもらい、言い方がきつくなってしまっていた自分を振り返って感じている。	友達の思いを聞いて、どうすればよかったのか考えられるよう、考えるきっかけを作る。
4	6	自分のことを知る	道徳性・規範意識の芽生え	教師に気付かせてもらい、言い方がきつくなってしまっていた自分を振り返って感じている。	どんな自分になっていたのか確かに感じられるように、友達が振り返って感じたことを言葉にして合っているか尋ねる。
4	6	他者のことを考えて行動する	道徳性・規範意識の芽生え	友達をびっくりさせないように、今度からは優しく言おうと思う。	友達の思いを聞いて、どうすればよかったのか考えられるよう、一緒に考える姿勢を見せる。
4	6	他者のことを考えて行動する	道徳性・規範意識の芽	自分がしてしまったことが友達にとってよくなかったと思い、	

			生え	謝る。	

【Ⅱ】事例、考察から得られたカリキュラムへの知見（発揮している姿より）

学年	月	資質・能力	１０の姿	資質・能力を発揮している姿	有効と考える環境の構成や教師の援助

【Ⅲ】検討する中で得られた手立て

学年	月	資質・能力	１０の姿	有効と考える環境の構成や教師の援助
4	6	自分のことを知る	道徳性・規範意識の芽生え	自分がどんな状態になっていたのか落ち着いて振り返られるように、自分がどうなっていたのか尋ねた。
4	6	他者のことを知る		友達の気持ちに心を寄せられるよう、教師が推測した友達の気持ちを本児の前で言葉にして尋ね、聞ける場を作る。

令和６年６月 28 日	３年保育４歳児	神戸大学附属幼稚園（髙橋　梨花）

お部屋に戻ろう

事実	・解釈　◎教師の意図、解説	資質・能力 （〇社会□固有☆汎用）
Gが A に口付けをしたことがあったので、数日前にクラスでプライベートゾーンについて話をしていた。 この日はクラス全員で猛獣狩りのゲームをしている。出てきた動物の言葉を音に区切り、動物の名前の文字数と同じ人数のグループにするために、子ども同士で誘ったり誘われたりしている。	◎体のことや相手のことを大切にしようと思えるように、プレイベートゾーンの話を交えてクラスで話をした。	
G（A に近付き、笑顔で）「一緒にやろう！」	・気心の知れた A と一緒のグループになりたい。	〇他者といる喜びを感じる
A（笑顔で）「うん！いいよー！」	・気心の知れた G に誘われたことが嬉しく、同意した。	〇他者といる喜びを感じる
G（笑顔で A の頬に唇を近付けて触れる。）	・A に受け入れてもらえたことが嬉しく、頬に口付けをすることで嬉しい気持ちが溢れた。	〇他者といる喜びを感じる
A（笑顔で立っている。）	・G に頬に口付けされたことは嫌だとは思っていない。	
教師「あれ？G ちゃん？」	◎G が自分のしたことを考えられるように、G が A の頬に唇を近付けた直後に教師が G の行動を疑問に感じたことを伝えた。	
G（眉間に皺を寄せて口角を下げて保育室の出入り口に向かって早歩きで）「もう知らん！」	・自分があまりよくないことをしてしまったと自覚した。 ・先生にこれから何か言われるのが嫌で気持ちが昂り、保育室にいたくないと思った。	〇自分のことを知る
教師（保育室から出た座っている G を屈んで覗き込んで見て）「G ちゃんお部屋に戻っておいでよー。先生 G ちゃんが戻ってくるの待ってるよー。」	◎G が昂った気持ちを落ち着け、保育室にいたくない気持ちを自分で切り替えて保育室に戻って来ようと思えるように、目線を合わせ待っていることを伝えた。 ◎自分の力で保育室に戻ってこられるように、待っていることだけを伝えた。	
G（教師と何度か目が合うが、視線を地面に逸らし、遊戯室に向かって歩く。）	・先生に待っていることを言われたが、まだ保育室に戻りたくない。	
E（教師を見て口角を下げて）「G ちゃん外行ってもたなー。心配やな～。」	・気持ちが昂り保育室から一人で出て行った G のことが心配になり、先生に伝えようと思った。	〇他者のことを考えて行動する
	・G が保育室から出た姿を見て、困って気持ちが昂っているのではないかと気付いた。	〇他者のことを知る
教師（E を見て）「そうやんね。G ちゃん１人やったら心配やんね～。」	◎友達のことを思って気にかける気持ちを大切に感じられるように、E の気持ちに共感した。	
G（保育室の出入り口にいる教師や職員室の近くを俯きながら歩くが、時々保育室を見る。）	・先生の呼んでいる声は聞こえており、保育室の様子が気になるが、まだ保育室に戻れずにいる。	
教師（G を見て大きな声で）「お友達が G ちゃんのこと心配してくれてるよ？一緒に続きしようよ。みんな待ってくれて	◎友達が心配してくれていることを感じて気持ちを切り替えて保育室に戻って来ようと思えるように、友達が心配し	〇他者のことを知る

るしさー！」	ていることを伝えた。 ◎G が気持ちを切り替えてまずは自分の力で保育室に戻って来られるように、A のことには触れず心配して声をかけた。	○気持ちをコントロールする
G（口角を下げ首を横に振る。）	・まだ保育室に戻りたくない気持ちである。	
教師（G に近付き）「今は遊びたくない気持ちなん？」	◎どう思っているのか自分の気持ちを言葉で伝えようと思えるように、遊びたくない気持ちなのか尋ねた。	
G「うん。」	・今は気持ちが立て直っておらず、保育室に戻って遊びたくない。	○自分のことを伝える
教師「そうなんやね。じゃあお部屋に戻ってみんなが遊んでるの見とく？」	◎気持ちを落ち着け保育室に自分で戻ろうと思えるように、今は遊びたくない気持ちを受け止めた。 ◎保育室に自分で戻ろうと思えるように、友達が保育室で遊んでいる様子を見ることを提案して、きっかけを作った。	
G（首を横にふって）「いいわ。」	・やっぱりまだ戻りたい気持ちにはなれない。	
教師「分かった。もし猛獣狩りやりたくなったらいつでもお部屋においでよ～！待ってるね～。」	◎G の気持ちが落ち着いたタイミングで戻ろうと自分で切り替えられるように、待っていることを伝えた。	
G は友達や教師が気になって保育室を見ながら歩いているが、保育室に戻ってこない。その様子を教師は保育室の出入り口近くで見守っている。クラスでは引き続き猛獣狩りゲームで遊んでいたが、昼食の時間になったため、遊びが終わった。他の子ども達は昼食の用意を始めている。	◎時々G の様子を見つつ、G の力で戻って来て保育室に入れるように、G の行動を把握しながら見守り続けた。	
E（教師を見て）「先生、やっぱりな、G ちゃん心配やから戻っておいでって言ってきていい？」	・なかなか保育室に戻ってこない G のことが心配なため、自分が呼び戻してあげたい思った。	○他者のことを考えて行動する
学び（E）	なかなか保育室に戻ってこない友達のことが心配なため、自分が呼び戻しに行ってあげたいと思う。	○他者のことを考えて行動する（道徳性・規範意識の芽生え）
教師（E を見て笑顔で）「おっ！優しいね～！G ちゃんにお部屋に戻ってきてほしいもんね。呼んできてあげて～！」	◎G のことを思ってしようとしていることの素敵さを感じられるように、教師が見取ったE の優しい気持ちを言葉にし、G を呼びにいくことを後押しした。	
E「分かったー！」（G がいる方向に向かって早歩きで行く。）	・G が心配なので、早く G のところに行き、伝えてあげたいと思った。	○他者のことを考えて行動する
R（早歩きで行く E を見て）「僕も行くー！」	・E と先生の話を聞いて、自分も呼びに行きたいと思った。	○自ら決める・選ぶ
E R（遊戯室前にいる G のところまで行く。）	・G を見付けたので G に近付き声をかけようと思った。	
G（E R を見たが、下を向いて歩く。）	・E R を見て自分の元に来てくれたことに気付いたが、E R と話す気持ちにはなっていない。	
E（G の両肩に手を添え、G の顔を見て声を高く弾ませて）「G ちゃん、一緒にご	・保育室に戻って一緒に昼食を食べたいと思い、G が戻りやすいように、明るく	○他者のことを考えて行動する

飯食べに行こう。」	楽しい雰囲気でGを誘った。	
	・Gに思いが伝わるように、肩に手を添えて明るい声で話した。	○自分のことを伝える
G（眉間に皺を寄せ、口角を下げ首を横に振ってEの目を見て）「いいわ。」	・友達が誘ってくれているが、まだ気持ちの整理が付かず、保育室に戻りたくないと思っている。	
E「なんでなん？戻ってきたらいいやん。」	・Gが保育室に戻りたくない理由を知りたいと思った。	○他者のことを知る
G「いいわ。後で行くねん。」	・自分のタイミングで戻りたいと思った。	○自分のことを伝える
E（笑顔でGの手を握り）「そうなん？それやったら今から私がもも１組レストランへ連れて行ってあげましょう！」	・保育室に戻ることを拒むGの気持ちをおどけてほぐし、一緒に保育室まで連れて行ってあげようと思った。	○他者のことを考えて行動する
	・Gは明るく関わると気持ちがほぐれると思い、おどけて店員のような言葉を使った。	□身体の動きに表す
R（笑顔でGの手を握り）「どうぞどうぞ、ご飯の準備はできてまーす！」	・Eが冗談を言うのを聞いて、自分も同じようにおどけてレストランの世界観に誘おうと思った。	○他者のことを考えて行動する
G（笑顔で）「連れて行くんかいっ！」（ERに手を引かれ歩き始める）	・気持ちが切り替わらずにいたが、友達のおどけた言葉を聞いたり手を握ったりして気持ちが和らぎ、切り替わった。	○気持ちをコントロールする
	・友達が自分を気にかけてくれていることを知った。	○他者のことを知る
	・自分のことを必要としていることを感じて嬉しく、一緒に戻りたいと思った。	○他者といる喜びを感じる
EGRが保育室まで戻ってくる。ERは保育室に入るが、Gは眉間に皺を寄せて口角を下げ、保育室の出入り口の傍に立って入らず、保育室を見ている。	・みんなに一緒に保育室まで連れて来てもらったが、保育室にいる先生に理由を尋ねられたくないと思い、入りたくない。	
	・保育室に戻るまでに時間がかかってしまったため、ばつが悪いと思っている。	
E（保育室に入らないGを見て笑顔でGの水筒とバスケットをGに渡して席を差し）「はい、ここがあなたの席です。どうぞ～！」	・なかなか保育室に入ってこないGのために、水筒とお弁当ボックスを持ってきて、席を座るように誘った。	○他者のことを考えて行動する
	・Gの気持ちが和らぎ保育室に入れるように、店員になりきって座る場所を知らせた。	○身体の動きに表す
R（笑顔で）「みんなで食べると美味しいですよ～。どうぞ～！」	・Eが話す口調が面白いと思い、真似をして座ることを誘った。	
教師「一緒に食べたいから場所教えてくれたり用意手伝ってくれてるんやね。」	◎ERが自分のことを思ってしてくれていることをGが感じられるように、教師が見取ったERの行動の理由を言葉にした。	
G（少し口角をあげ、案内された場所に座る。）	・おどけて誘ってもらったったり、友達が自分の席を用意してくれたりしてくれたことが嬉しく、少し気持ちが落ち着いてきた。	○他者といる喜びを感じる
	・おどけて誘ってもらって少し気持ちが落ち着いてきた。	○気持ちをコントロールする
教師（笑顔でGを見て）「EちゃんとRくんが一緒にご飯食べようって誘ってくれたり用意手伝ってくれて嬉しいね！」	◎友達が誘ってくれたり手伝ってくれたりした喜びを感じられるように、誘ってくれたり、手伝ってくれたりしたこ	

	とを喜んだ。	
G（顎を上げて少し目を細めて頷く。）	・友達が誘ってくれて嬉しいと思っている。 ・友達が自分のために誘ったり手伝ってくれてたりして気にかけてくれている友達がいる自分を感じている。	○他者といる喜びを感じる ○自分のことを知る
学び (G)	友達が自分のために誘ったり手伝ってくれてたりして気にかけてくれている友達がいる自分を感じる。	○自分のことを知る（道徳性・規範意識の芽生え）
教師（G を見て）「E ちゃんが廊下に一人でいるからってずっと G ちゃんのこと心配やったんやって。大丈夫かなぁって。」	◎G のことを思って E がしてくれたことを感じられるように、教師が E の言葉や気持ちを代弁した。	
G（教師と E を見てはにかむ。）「そんなん大丈夫やわ。」	・友達が自分のことを気にかけてくれたり心配してくれたりすることを嬉しく思うが照れ臭い。	○他者といる喜びを感じる
教師（笑顔で）「G ちゃんのこと心配してくれるお友達がいて嬉しいね。」	◎友達が自分のことを心配してくれている嬉しさを更に感じられるように、心配してくれる友達がいることで嬉しい気持ちになることを言葉にした。	
G（はにかみ何度か頷く。）	・友達が自分のことを気にかけたり心配してくれたりしたことを嬉しく思う。	○他者といる喜びを感じる
教師（G を見て）「なんで廊下行ってもたん？」	◎A の頬に唇を近付けたことを思い出し、自分のしたことを振り返り考えられるように、G の気持ちが落ち着き、保育室に入ったタイミングで廊下に行った理由を尋ねた。	
G（口角を下げて眉間に皺を寄せ）「言わん！」	・先生に理由を聞かれたため、A の頬に唇を近付けたことを思い出し、自分の非を認めることが嫌だと思った。	
教師（柔らかい声で）「そうなん？先生 G ちゃんがどんな気持ちなんか知りたくてさ。もし困ってたり嫌やなって思うことあったら助けたいなと思ったんやけどなぁ～。」	◎自分のしたことを思い出し、昂った気持ちを落ち着けて自分の気持ちを伝えようと思えるように、落ち着いた口調で教師が予想した G の気持ちを言葉にして寄り添った。 ◎困ったり嫌な思いをしていたりしているのであれば、助けられるように、知らせてほしいことを伝えた。	○自分のことを伝える
G(口角を下げて)「今は言いたくないから後で言うねん。先生は向こう行っとって。」	・廊下にいた理由を言いたくないので、後で言おうと思い、先生に向こうに行ってほしいことを伝えた。	
教師「そうなんや～。分かった。じゃあ言いたい気持ちになるまで先生待つね。」	◎G が伝えようと思ったタイミングで気持ちを切り替えて伝えられるように、言いたくなるまで待っていることを伝えた。	
教師（5 分程 G の傍を離れたが、G の元に再度戻ってくる。）	◎自分の気持ちを伝えられるように、落ち着いたタイミングで声をかけた。	
G（教師に近付いて来て教師を見て）「G ちゃんなぁ～、怒ってまう時があるねん。」	・振り返って自分のことを伝えようと思った。 ・苛立っている自分の感情に気付き、振り返って怒ってしまう自分を感じている。	○自分のことを伝える ○自分のことを知る

学び (G)	苛立っている自分の感情に気付き、振り返って怒ってしまう自分を感じる。	○自分のことを知る（自立心）
教師（笑顔で）「分かる分かる。イライラして怒ってまう時ってあるよね～。でも、怒りたくなるほど嫌なことがあるから怒っちゃったりするんよね～。」 G（頷いて）「うん。」 教師（笑顔で）「怒ってしまってもさ、なんで怒ってるか G ちゃんが気持ち教えてくれたらさ、先生も友達もそっか～！ってわかってくれると思うよ？」 G（教師から目を逸らして）「うん。」 教師（笑顔で）「大丈夫大丈夫、G ちゃんの気持ち言ったら伝わるから次から伝えてみよう！ G（はにかんで頷く。） 教師（笑顔で）「よーし、それじゃあ早く食べて遊びにいこっか！」 G「先生、後でEちゃんにありがとって言うわ。」	◎自分の気持ちを伝えたことで自分の気持ちをわかってもらえた嬉しさを感じられるように、G の気持ちに共感し、寄り添った。 ・先生が言ったことと同じように、怒っている時には理由があると思った。 ◎怒っても自分の気持ちを伝えることで、相手には伝わることを感じられるように言葉にした。 ・わかってはいるが、前向きにはなれていない。 ◎自分の気持ちを素直に伝えてみようと思えるように、伝えてみることを後押しした。 ・次から伝えてみようと思った。 ◎気持ちを切り替えて次の活動に向かえるよう、明るく声をかけた。 ・教師に励ましてもらってEに誘ってもらったことや心配してくれたことが嬉しく、嬉しい気持ちを素直にちゃんと伝えたいと思った。	○自分のことを知る ○自分のことを伝える
学び (G)	教師に励ましてもらって友達に誘ってもらったことや心配してくれたことが嬉しく、嬉しい気持ちを素直にちゃんと伝えたいと思う。	○自分のことを伝える（自立心）
教師（笑顔で）「うんうん、G ちゃんの気持ち絶対伝わるから伝えよう！」 G（笑顔で教師を見る。）	・自分の気持ちを直接伝えられるように、明るく後押しした。 ・教師に後押しされ、改めて伝えてみようと思った。	

【考察】（学びと学びに至った要因を中心に）

◆「他者のことを考えて行動する」（道徳性・規範意識の芽生え）の観点から

Eはなかなか保育室に戻ってこない友達のことが心配なため、自分が呼び戻しに行ってあげたいと思った。気持ちが昂って出ていった G が保育室から出て行ったことをEは心配した。その後も G はしばらく保育室に帰って来ない。その際教師は、友達のことを思って気にかける気持ちを大切に感じられるように、Eの気持ちに共感した。また、G のことを思ってしようとしていることの素敵さを感じられるように、教師が読み取ったEの気持ちを言葉にし、G を呼びにいくことを後押しした。そのような G の帰って来ない状況や教師が心配する姿を見せた教師の関わりにより実際に呼びに行き、学びの姿につながったと考える。

◆「自分のことを知る」（自立心）の観点から

G は苛立っている自分の感情に気付き、振り返って苛立ち怒ってしまう自分を感じた。G は、保育室を出てしまった理由を聞かれた際、教師に廊下にいた理由を言いたくないので、後で言おうと思い、先生に向こうに行ってほしいことを伝えた。その際教師は、気持ちを落ち着けて自分の気持ちを伝えられるように、落ち着いた口調で教師が予想した G の気持ちを言葉にしたり、G が伝えようと思ったタイミングで気持ちを切り替えて伝えられるように、言いたくなるまで待っていることを伝えた。そのような「自分のことを伝える」の資質・能力の発揮伸長に向けた援助によって、自分の思いを言葉にすることで自分の感情に気付く姿につながった。

G は自分のために誘ったり手伝ってくれてたりして気にかけてくれている友達がいる自分を感じた。その際教師は、ERが自分のことを思ってしてくれていることを感じられるように、教師が見取ったERの行動の理由を言葉にしたり、友達が誘ってくれたり手伝ってくれた喜びを感じられるように、誘ってくれたことを喜んだ。これらの教師の援助によりこの学びの姿につながったと言える。

◆「自分のことを伝える」（自立心）の観点から
Gは教師に励ましてもらって友達に誘ってもらったことや心配してくれたことが嬉しく、嬉しい気持ちを素直にちゃんと伝えたいと思った。その際教師は、Gのことを思ってEがしたことを感じられるように、教師がEの気持ちや言葉を代弁したり、友達が誘ってくれたり手伝っていくれたりしたことを感じられるように、誘ってくれたことを喜んだり、怒っても自分の気持ちを伝えることで、相手に伝わることを感じられるように、伝えればわかってもらえることを言葉にしたり、自分の気持ちを直接友達に伝えられるように、明るく後押しした。こうした「他者のことを考えて行動する」や「他者といる喜びを感じる」、「自分のことを伝える」の資質・能力の発揮伸長に向けた援助によってこの学びの姿につながったと言える。

【Ⅰ】事例、考察から得られたカリキュラムへの知見（伸長している姿より）

学年	月	資質・能力	１０の姿	資質・能力が伸長している姿（学び）	有効と考える環境の構成や教師の援助
4	6	他者の事を考えて行動する	道徳性・規範意識の芽生え	なかなか保育室に戻ってこない友達のことが心配なため、自分が呼び戻そうと思う。	友達のことを思って気にかける気持ちを大切に感じられるように、Eの気持ちに共感する。 友達のことを思ってしようとしていることの素敵さを感じられるように、教師が読み取ったEの気持ちを言葉にし、友達を呼びにいくことを後押する。
4	6	自分のことを知る	自立心	苛立っている自分の感情に気付き、振り返って苛立ち怒ってしまう自分を感じる。	気持ちを落ち着けて自分の気持ちを伝えられるように、落ち着いた口調で教師が予想した気持ちを言葉にする。 伝えようと思ったタイミングで気持ちを切り替えて伝えられるように、言いたくなるまで待っていることを伝える。
4	6	自分のことを知る	自立心	自分のために誘ったり手伝ってくれてたりして気にかけてくれている友達がいる自分を感じた。	友達が自分のことを思ってしてくれていることを感じられるように、教師が見取った友達の行動の理由を言葉にする。 友達が誘ってくれたり手伝ってくれた喜びを感じられるように、誘ってくれたことを喜ぶ。
4	6	自分のことを伝える	自立心	教師に励ましてもらって友達に誘ってもらったことや心配してくれたことが嬉しく、嬉しい気持ちを素直にちゃんと伝えたいと思った。	自分のことを思って友達がしたことを感じられるように、教師が友達の気持ちや言葉を代弁する。 友達が誘ってくれたり手伝っていくれたりしたことを感じられるように、誘ってくれたことを喜ぶ。 怒っても自分の気持ちを伝えることで、相手に伝わることを感じられるように、伝えればわかってもらえることを言葉にしたり、自分の気持ちを直接友達に伝えられるように、明るく後押しする。

【Ⅱ】事例、考察から得られたカリキュラムへの知見（発揮している姿より）

学年	月	資質・能力	１０の姿	資質・能力が伸長している姿（学び）	有効と考える環境の構成や教師の援助

【Ⅲ】検討する中で得られた手立て

学年	月	資質・能力	１０の姿	有効と考える環境の構成や教師の援助

令和６年７月４日	３年保育５歳児	神戸大学附属幼稚園（小園　佳歩）
的を倒されないようにするために		

事実	・解釈　◎教師の意図、解説	資質・能力 （○社会☆汎用□固有）
５歳児２人と１年生４人でグループを作り、１年間の内数日、幼小合同学習や日常の交流の中で、グループで遊んでいる。この日は、各グループ 10 個のプラカップの的を並べ、自分のグループの的を守りつつ他のグループの的を水を使って倒す遊びを初めてしている。ルールとして、10 個のプラカップを全て倒すと勝ちということのみを伝えている。またグループの活動拠点の近くに、的を置くゲームボックスや水を汲める廃材や水鉄砲を置いている。最初の勝負をする前にグループで的を並べたり水を掛けたりして試す時間を設けており、ある６人のグループが地面にプラカップをピラミッド状に重ねているところである。	◎自分達でルールを作ったり作り替えたりして遊びを作っていく楽しさを感じられるように、あえて最小限のルールのみを伝えた。 ◎道具によって水を汲める量や水が掛かる勢いや距離などが違うことに気付いたり面白いと感じたりするように、水を汲める様々な廃材や水鉄砲を用意した。 ◎プラカップの置き方や積み方を試してどうしたら倒れにくい的になるか考えられるように、事前にグループで試す時間を十分に設けた。	
６Ａ（10 個目のプラカップをピラミッド状になっている１番上に乗せる。） 教師「おぉ。ピラミッドみたい！」	・ピラミッド状にした的の１番上に最後のカップを積もうと思った。 ◎どう積もうか考えられるように、教師が思った的の特徴を言葉にした。 ◎自分達で試してみて感じたり考えたりするように、倒れやすい形になっていることをあえて伝えず見守った。	
 ６Ａ「これでい　　挙げて。」	・カップの積み方がこれでよいかグループのみんなに確かめようと思った。	○人と物事を進める
５Ｕ５Ｙ６Ｋ６Ｍ６Ｓ（カップを見た後に６Ａを見て手を挙げる。）	・今の積み方でよいと思っている。 ・グループの仲間として自分に尋ねられていると思い、答えようと思った。	○人と物事を進める
教師「おぉ！水掛けたりしてみる？」	◎早速水を掛けて試してみたいと思えるように、グループ全員がこの積み方でよいと思っていることが確かめられたタイミングで、的に水を掛けることを提案した。	
５Ｕ（笑顔で）「プシューって！」	・プシューと水を掛けることを楽しみにしている。	
教師（笑いながら）「プシューって！」	◎５Ｕの表現が面白いと思い、笑いながら５Ｕの言葉を繰り返した。	
５Ｕ５Ｙ６Ａ６Ｋ６Ｍ６Ｓ（水を汲める道具がある方へ行く。）	・早速水を汲んで的に当ててみようと思っている。	○自ら決める・選ぶ
教師がしばらく離れ、戻るとプラカップが全て倒れていた。		
教師「試してみてどうだった？」	◎考えたことを試してみてどうだったか考えられるように、試してみてどう	

	だったか尋ねてきっかけを作った。	
６Ａ（教師を見ながら）「倒れちゃった。」	・この積み方だと水を掛けると倒れやすいと感じ、残念に思っている。	
教師「じゃあこれだったら敵に倒されちゃう？」	◎倒れにくい的にするためにどんな積み方がよいか考えようと思えるように、今の的だと敵に倒されてしまうか尋ねた。	
６Ａ（頷きながら）「うん。」	・この積み方だと敵に倒されてしまうと思っている。	
６Ｓ（６Ａと教師の会話を聞いて）「やばっ！」	・このままでは負けてしまうと思い、まずいと思った。	
教師「このやり方じゃあ倒されてしまうかぁ。どうしたら倒されへんやろうねぇ。」	◎倒れにくい的の積み方にするためにはどうしたらよいか考えようと思えるように、教師も一緒に考える姿勢を見せた。	
６Ｓ「タワーの方が潰れやすくなんで！」	・タワーのような積み方を試してみたが、水を掛けると倒れやすいと感じた。	□事物・現象を捉える ☆実行し、その結果を基に判断する
学び （６Ｓ）	プラカップの的を積む際に、タワーのような積み方を試してみたが、水を掛けると倒れやすいと感じる。	□事物・現象を捉える ☆実行し、その結果を基に判断する （思考力の芽生え）
６Ａ６Ｋ６Ｍ６Ｓがプラカップを地面に並べている。	・早速違う並べ方を試そうとしている。	○自ら決める・選ぶ
教師（近くにいた５Ｙに）「戦う時は」（誰も使っていないゲームボックスを指差して）「ゲームボックスの上に並べるからそれ使ってもいいんだよ。」	◎勝負本番と同じ状況で考えたり試したりしようと思えるように、勝負本番の状況を伝えた上で、本番でも使うゲームボックスを使ってもよいことを知らせた。	
５Ｙ「それでする！」	・本番の勝負と同じようにゲームボックスの上でしたいと思った。	○自ら決める・選ぶ
教師「じゃあグループの友達に言ってみたら？」	◎まだあまり親しみがない１年生に直接伝えようと思えるように、伝えてみることを提案して後押しをした。	
	◎グループの友達とゲームボックスの上で試せるように、グループの友達とすることを促した。	
５Ｙ（６Ａ６Ｋの方を向いて）「台の上でやろう。」	・グループの友達と一緒にしたいと思っている。	
	・教師に後押しされて、グループの友達に知らせようと思った。	○自分のことを伝える
６Ａ６Ｋ（プラカップを地面に並べ続けている。）	・５Ｙの声が聞こえていない。	
教師「５Ｙちゃん、なんか聞こえてなさそうやね、６Ａちゃんと６Ｋちゃん。」	◎伝え方を工夫して伝わるまで伝えようと思えるように、聞こえていなさそうな状態を言葉にした。	
５Ｙ（真顔で６Ａ６Ｋを見ている。）	・まだあまり親しみがない１年生にどう伝えたらよいか悩んでいる。	
教師「ねぇねぇ、６Ａちゃんと６Ｋちゃんって。」	◎伝え方を工夫して伝わるまで伝えようと思えるように、名前を呼んで声をかける伝え方を提案した。	

５Ｙ（６Ａ６Ｋの方を向いて）「ねぇ。」	・もう一度勇気を出して伝えてみようと思った。	○自分のことを伝える
６Ａ６Ｋ６Ｍ６Ｓ（プラカップを地面に並べ続けている。）	・５Ｙの声が聞こえていない。	
５Ｙ（６Ａ６Ｋの方を向いて少し大きな声で）「ねぇねぇあのさぁ。」	・何度も声を掛けたり少し声を大きくしたりして、まだあまり親しみがない１年生に伝わるまで諦めずに伝えようとしている。	○自分のことを伝える
６Ｋ（５Ｙの方を見て）「なに？」 教師「おっ聞こえた。」	・自分達に声を掛けていると気付いた。 ◎諦めずに伝えてよかったと思えるように、６Ｋが気付いたことを言葉にした。	
５Ｙ（ゲームボックスを指差して）「あそこでやりたい。」	・返事をしてくれたので、自分のしたいことを伝えようと思った。	○自分のことを伝える
６Ｋ（カップを集めながら６Ｍ６Ｓの方を向いて）「あそこでやりたいって。」	・５Ｙの思いをグループみんなにも伝えてみんなで一緒にしようと思っている。	○人と物事を進める
教師「伝わったね、５Ｙちゃん！」	◎諦めずに伝えてよかったと思えるように、伝わったことを一緒に喜んだ。	
５Ｙ（口角を少し上げて）「うん！」	・諦めずに伝えてよかったと思っている。	○自分のことを伝える
学び （５Ｙ）	何度も声を掛けたり少し声を大きくしたりして、まだあまり親しみがない１年生に自分の思いを伝わるまで諦めずに伝えようとし、諦めずに伝えてよかったと思う。	○自分のことを伝える （自立心） （言葉による伝え合い）
教師（笑顔で）「よかった！」	◎諦めずに伝えてよかったと思えるように、伝わってよかったことを言葉にした。	
グループのみんなでカップを持ってゲームボックスに向かう。教師は少しの間場を離れ、戻って来る。		
５Ｕ（笑顔で水を満杯に入れた水鉄砲を教師に見せながら）「これ満タンになる。」	・水鉄砲が使えることを楽しみに思っている。	○自ら決める・選ぶ
教師「うん。」（グループの友達の方を指差して）「おっ、なんか作戦立ててそうだよ？」	◎受け止めてもらえる嬉しさを感じられるように、反応をした。 ◎グループの仲間のことを気にかけたり今何をしたらよいか考えて動いたりしようと思えるように、グループの友達がしていることを知らせた。	
５Ｕ（グループの友達がいる方へ行く。）	・教師に知らされて、グループの友達の存在を思い出し、向かおうと思った。	
５Ｙ６Ａ６Ｋ６Ｍ６Ｓ（ゲームボックスの上にプラカップを各列３個４個３個に置いている。）	・タワー状にすると倒れてしまったので、積まずに置いてみようと思っている。	
教師「おぉ、真っ平に並べてみた。」	◎どんな置き方がよいか考えようと思えるように、教師が思った置き方の特徴を言葉にした。	
６Ａ「倒れにくいから。」	・積むより積まずに並べると倒れにくいと考えた。	□事物・現象を捉える ☆実行し追求の手立てを構想する
６Ｍ「でもさ、下あたりを狙って」（ゲーム	・６Ａの考えを受けてさらに倒れにく	○人と物事を進め

ボックスの側面上部を触り)「ここに当たりやすいんじゃない？」	いと思った理由を伝えた。 ・積まずに並べておくと水鉄砲の狙いの幅が狭まると考えた。 ・高く積まないことで、水鉄砲の狙いが下になり狙いの幅が狭まるため、的から外れてゲームボックスに当たり、倒れにくくなるのではないかと考えた。	る □空間を捉える □事物・現象を捉える ☆推論する
学び （６Ｍ）	高く積まないことで、水鉄砲の狙いが下になり狙いの幅が狭まるため、的から外れてゲームボックスに当たり、倒れにくくなるのではないかと考える。	□事物・現象を捉える ☆推論する （思考力の芽生え）
６Ｓ（プラカップの最後列の後ろに水を入れたペットボトルを２本置き)「これ全然押してもさ、後ろだけ倒れない。」 	・水が入ったペットボトルを後ろ盾に置いておくと、前列のプラカップが押されても後列のカップだけは倒れないと考えた。	□事物・現象を捉える ☆豊かに発想し、追求の手立てを構想する
学び （６Ｓ）	積まずにに並べたプラカップの的の後ろに水が入ったペットボトルを後ろ盾に置いておくと、前列のプラカップが押されても後列のカップだけは倒れないと考える。	□事物・現象を捉える ☆豊かに発想し、追求の手立てを構想する （思考力の芽生え）
５Ｕ（自分の持っている水鉄砲をプラカップに向けて)「プシューってしても」（５Ｙの顔を見て)「倒れないね！」	・６Ｓの考えがよいと思った。 ・６Ｓの話を聞いて確かに後ろにペットボトルを置くと水鉄砲でプラカップに水を当てても倒れないと思った。 ・自分の思っていることを５Ｙにも伝えたいと思った。	○他者のことを知る □事物・現象を捉える ○自分のことを伝える
５Ｙ（頷き)「うん。」 教師「後ろに置いとくの？」	・確かにそうだと思った。 ◎どこがポイントなのか意識できるように、教師が思った工夫のポイントを言葉にして尋ねた。	
６Ｓ「後ろに置いてたら頼りになる。」	・水を入れたペットボトルをプラカップの後ろに置いておくと、支えてくれると考えている。	□事物・現象を捉える
６Ａ（最前列のプラカップを触り)「じゃあこれをいっぱい前に置いてた方がいいんじゃない？」	・６Ｓの考えを受けて的が倒れないようにするために思ったことを伝えた。 ・その作戦でいくなら前列のプラカップを増やした方がよいと考えた。	○人と物事を進める
教師「おぉ！前、なんで？」	◎みんながどうして前に置くのか理由を分かって置き方を考えていけるように、理由を尋ねた。	
６Ａ「だって一番前にいっぱい置いとくと、後ろが落ちてもいっぱい前が残ってるから！」	・前列にプラカップがたくさんあると、後ろのカップが押されて落ちても前のカップは残り、落ちにくいと考えた。	□事物・現象を捉える ☆豊かに発想し、追求の手立てを構想する

学び （６Ａ）	プラカップを積まずに並べた時に、前列にプラカップがたくさんあると、水鉄砲で水を当てられて後ろのカップが押されて落ちても前のカップは残り、落ちにくいと考える。	□事物・現象を捉える ☆豊かに発想し、追求の手立てを構想する （思考力の芽生え）
教師「おぉなるほど！」	◎自分の考えに自信をもてるように、６Ａの考えに感心した。	

【考察】（学びと学びに至った要因を中心に）

◆「事物・現象を捉える」「実行し、その結果を基に判断する」（思考力の芽生え）の観点から

６Ｓは、プラカップの的を積む際に、タワーのような積み方を試してみたが、水を掛ける倒れやすいと感じた。教師は、プラカップの置き方や積み方を試してどうしたら倒れにくい的になるか考えられるように、事前にグループで試す時間を十分に設けていた。ピラミッド状にプラカップを積んだ際には、自分達で試してみて感じたり考えたりするように、倒れやすい形になっていることをあえて伝えず見守った。また、的が完成した際には早速水を掛けて試してみたいと思えるように、グループ全員がこの積み方でよいと思っていることが確かめられたタイミングで、的に水を掛けることを提案した。水を掛けて的が倒れた時には、考えたことを試してみてどうだったか考えられるように、試してみてどうだったか尋ねてきっかけを作った。このように、「事物・現象を捉える」の資質・能力だけでなく「自ら決める・選ぶ」の資質・能力の発揮を支える援助もあり、じっくり自分達で考えたり試したりしたことにより、６Ｓはタワー状にプラカップを積むと倒れやすいことを感じることに繋がった。

◆「自分のことを伝える」（自立心）（言葉による伝え合い）の観点から

５Ｙは、何度も声を掛けたり少し声を大きくしたりして、まだあまり親しみがない１年生に自分の思いを伝わるまで諦めずに伝えようとし、諦めずに伝えてよかったと思った。５Ｙは同学年の友達に対しても思っていることをまず教師に伝えて直接言わなかったり、直接言うよう促しても伝えるのを諦めてしまう姿があった。５Ｙが本番と同じ場所で試したいと思った際に教師は、まだあまり親しみがない１年生に直接伝えようと思えるように、伝えてみることを提案して後押しをし、５Ｙも１年生に声を掛けた。相手の反応がなかった際に、伝え方を工夫して伝わるまで伝えようと思えるように、聞こえていなさそうな状態を言葉にしたり、名前を呼んで声をかける伝え方を提案したりした。そうすることにより、諦めずに何度も伝えたり少し声を大きくすることに繋がった。また、諦めずに伝えてよかったと思えるように、１年生が気付いたことを言葉にしたり、伝わったことを一緒に喜んだりした。そうすることにより、諦めずに伝わってよかったとも感じていた。

◆「事物・現象を捉える」「推論する」（思考力の芽生え）の観点から

６Ｍは、高く積まないことで、水鉄砲の狙いが下になり狙いの幅が狭まるため、的から外れてゲームボックスに当たり、倒れにくくなるのではないかと考えた。最初、地面にプラカップを置いて試していた際に、グループの別の友達に教師は勝負本番と同じ状況で考えたり試したりしようと思えるように、勝負本番の状況を伝えた上で、本番でも使うゲームボックスを使ってもよいことを知らせた。本番の勝負と同じ状況があり、また６Ａが出した考えを、グループの仲間として一緒に考える気持ちがあったからこそ、６Ｍは的を平らに置くことによって倒れる確率が下がるということを考えることに繋がった。

◆「事物・現象を捉える」「豊かに発想し、追求の手立てを構想する」（思考力の芽生え）の観点から

６Ｓは、積まずにに並べたプラカップの的の後ろに水が入ったペットボトルを後ろ盾に置いておくと、前列のプラカップが押されても後列のカップだけは倒れないと考えた。教師は、道具によって水を汲める量や水が掛かる勢いや距離などが違うことに気付いたり面白いと感じたりするように、水を汲める様々な廃材や水鉄砲を用意した。さらに勝負本番と同じ環境で試してみる状況があったことで、プラカップの置き方だけでなく、ペットボトルを後ろ盾として置く発想し繋がった。

６Ａは、プラカップを積まずに並べた時に、前列にプラカップがたくさんあると、水鉄砲で水を当てられて後ろのカップが押されて落ちても前のカップは残り、落ちにくいと考えた。６Ｓ同様、本番と同じ環境で試してみる状況があったことが要因となっている。また。グループで勝つために６Ｓの考えを受けて倒れないようにするために思ったことを伝えるという「人と物事を進める」の資質・能力を発揮する姿にも支えられ、学びに繋がったと考える。

【Ｉ】事例、考察から得られたカリキュラムへの知見（伸長している姿より）

学年	月	資質・能力	１０の姿	資質・能力が伸長している姿（学び）	有効と考える環境の構成や教師の援助
6	7	事物・現象を	思考力の芽	プラカップの的を積む際	試してどうしたら倒れにくい

		捉える 実行し、その結果を基に判断する	生え	に、タワーのような積み方を試してみたが、水を掛けると倒れやすいと感じる。	的になるか考えられるように、事前にグループで試す時間を十分に設ける。
6	7	事物・現象を捉える 実行し、その結果を基に判断する	思考力の芽生え	プラカップの的を積む際に、タワーのような積み方を試してみたが、水を掛けると倒れやすいと感じる	自分達で試してみて感じたり考えられるように、倒れやすい形になっていることをあえて伝えず見守る。
6	7	事物・現象を捉える 実行し、その結果を基に判断する	思考力の芽生え	プラカップの的を積む際に、タワーのような積み方を試してみたが、水を掛けると倒れやすいと感じる	的が完成した際には早速水を掛けて試して的の積み方を考えられるように、グループ全員がこの積み方でよいと思っていることが確かめられたタイミングで、的に水を掛けることを提案する。
6	7	事物・現象を捉える 実行し、その結果を基に判断する	思考力の芽生え	プラカップの的を積む際に、タワーのような積み方を試してみたが、水を掛けると倒れやすいと感じる	考えたことを試してみてどうだったか考えられるように、試してみてどうだったか尋ねてきっかけを作る。
5	7	自分のことを伝える	自立心 言葉による伝え合い	何度も声を掛けたり少し声を大きくしたりして、まだあまり親しみがない1年生に自分の思いを伝わるまで諦めずに伝えようとし、諦めずに伝えてよかったと思う。	まだあまり親しみがない友達に直接伝えようと思えるように、伝えてみることを提案して後押しをする。
5	7	自分のことを伝える	自立心 言葉による伝え合い	何度も声を掛けたり少し声を大きくしたりして、まだあまり親しみがない1年生に自分の思いを伝わるまで諦めずに伝えようとし、諦めずに伝えてよかったと思う。	伝え方を工夫して伝わるまで伝えようと思えるように、聞こえていなさそうな状態を言葉にしたり、名前を呼んで声をかける伝え方を提案したりする。
5	7	自分のことを伝える	自立心 言葉による伝え合い	何度も声を掛けたり少し声を大きくしたりして、まだあまり親しみがない1年生に自分の思いを伝わるまで諦めずに伝えようとし、諦めずに伝えてよかったと思う。	諦めずに伝えてよかったと思えるように、友達が気付いたを言葉にしたり、伝わったことを一緒に喜んだりする。
6	7	事物・現象を捉える 推論する	思考力の芽生え	高く積まないことで、水鉄砲の狙いが下になり狙いの幅が狭まるため、的から外れてゲームボックスに当たり、倒れにくくなるのではないかと考える。	勝負本番と同じ状況で考えたり試したりしようと思えるように、勝負本番の状況を伝えた上で、本番でも使う台を使ってもよいことを知らせる。
6	7	事物・現象を捉える 豊かに発想し、追求の手	思考力の芽生え	積まずにに並べたプラカップの的の後ろに水が入ったペットボトルを後ろ盾に置いておくと、前列	道具によって水を汲める量や水が掛かる勢いや距離などが違うことに気付いたり面白いと感じたりするように、水を

		立てを構想する		のプラカップが押されても後列のカップだけは倒れないと考える。	汲める様々な廃材や水鉄砲を用意する。
6	7	事物・現象を捉える 豊かに発想し、追求の手立てを構想する	思考力の芽生え	プラカップを積まずに並べた時に、前列にプラカップがたくさんあると、水鉄砲で水を当てられて後ろのカップが押されて落ちても前のカップは残り、落ちにくいと考える。	

【Ⅱ】事例、考察から得られたカリキュラムへの知見（発揮している姿より）

学年	月	資質・能力	１０の姿	資質・能力を発揮している姿	有効と考える環境の構成や教師の援助

【Ⅲ】検討する中で得られた手立て

学年	月	資質・能力	１０の姿	有効と考える環境の構成や教師の援助

令和６年７月４日	３年保育５歳児	神戸大学附属幼稚園（筒井　日奈子）
どうしてトウモロコシは黄色くなるの？		

事実	・解釈　◎教師の意図、解説	資質・能力 （〇社会□固有☆汎用）
４月に子ども達が育てたい野菜でグループに分かれ、一緒に野菜を育てている。ＪＲＳＹはトウモロコシを育てているグループでこの日に２本収穫した。そのうちの１本はまだ熟しておらず、黄緑の実が付いていた。黄色い実のトウモロコシは教師が４等分に切り分け、ＪＲＳＹはその切り分けたトウモロコシを手に持って実を触ったり匂いを嗅いだりしている。	◎（まとまりの計画を参考にする） ・トウモロコシを食べることを楽しみに思い、匂いや手触りを味わっている。	□食を見つめる
Ｊ（黄緑のトウモロコシを持って、眉をしかめて首を傾けながら教師に）「これ、無理？」	・収穫したトウモロコシを食べたいと思っているが、実が黄緑だったら食べられるのか分からないので先生に聞こうと思った。	□食を見つめる
教師「これまた分ける？食べるのはどうかな～。」	◎一人一人が黄緑のトウモロコシと黄色のトウモロコシを自分の手に持ち、見比べて違いに気付くきっかけになるように、切り分けるか尋ねた。 ◎Ｊが黄緑のトウモロコシを見たいのではなく、食べたいと思っていることに気付き、食べられるものなのか見たり調べたりしてみようと思えるように、教師が感じた事を言葉にし、判断はせず一緒に考えた。	
Ｙ（持っている黄色のトウモロコシの薄い黄色の部分を指差しながら）「これは無理？」	・Ｊと教師の会話を聞いて自分の持っているトウモロコシにも薄い黄色の熟していない実があったので、食べられるのか確かめてみようと思った	□食を見つめる
教師（実を見て）「いや、いけるいける～。」	◎せっかく収穫したトウモロコシを安心して楽しみにして食べられるように、実の色が黄緑ではなかったので食べられることを伝えた。	
Ｈ（教師の横に来てトウモロコシを見ている。）	・トウモロコシを育てているメンバーではないが、人が集まっているので何をしているのか気になって見てみようと思った。	
教師（Ｊが持つ黄緑のトウモロコシを触りながら）「でもさ、やっぱりちょっと違うよね。しわっしわっじゃない？」	◎熟したトウモロコシと熟していないトウモロコシを見たり触ったりして、違いを感じたりそれはなぜなのか知りたいと思ったりするように教師が見たり触れたりして気付いた実の違いについて言葉にして触れた。	
Ｓ（目を見開いて大きな声で）「てことは中に黄色いのが入ってるかもよ。」 教師（笑顔で）「黄色いのが中に入ってるんかな。」	・黄緑の実の中には黄色い実が入っているのではないかと思った。 ◎黄色い実が中に入っているかもしれないというＳの考えについてＪＳＹが想像したり、別の予想をたててみようと思ったりするように、教師も一緒に考える姿を見せた。	□生き物・命を見つめる

Ｓ「うん。」	・そうだと思っている。	
Ｊ（黄緑のトウモロコシの中間部分を指差して）「でもさ、ここさ、なんかちょっと黄色いで。」	・１本のトウモロコシの中に黄緑の実と薄い黄色の実を見付けたのでので、Ｓと教師の会話を聞いてＳの緑の実の中に黄色い実が入っているという考えは違うのではないかと思っている。	□事物・現象を捉える ☆推論する
教師「わぁ、ほんまや。」（ＨＲＳＹを見て）「見て見て～。」	◎Ｊが１本のトウモロコシの中に黄緑の実と薄い黄色の実を見付けたので、気付いた自分を誇らしく思えるように、Ｊが気付いたことに驚いた。 ◎Ｊの気付いたことを周りにいる子も知ることができるように、黄色い実に注目して、見ることを促した。	
ＲＳＹ（身を乗り出してＪの指差した部分を見る。）	・黄色い実があると聞いて見たいと思った。	○自ら決める・選ぶ
Ｓ（教師を見ながら実を指さし）「もしかして、これをめくってみたら。」	・黄緑の実の皮をめくると熟した黄色い実が出てくるのではないかと考えている。	□生き物・命を見つめる
教師「どうなんやろ。ちょっとめくってみる？」	◎自分で実際に皮を剥いて確かめられるように、実の皮を剥いてみることを提案した。	
Ｒ（教師の言葉に被せて教師とＳを交互に見ながら）「でもめくれへんのちゃうん。トウモロコシって。」	・トウモロコシの実の皮はめくれないだろうと思っている。 ・教師ならこのことを知っているのではないかと思い尋ねた。	□事物・現象を捉える
教師「切ってみる？」	◎実の中がどうなっているのか確かめて見比べたり予想との違いに気付いたりするように、教師が判断するのではなく、切ることを提案した。	
Ｒ「そうやん！切ってみたらいいねん。」	・教師の言う通り、剥くのではなく切ったら中身が見えて、色がわかると思った。	□事物・現象を捉える
教師（Ｊの持っている黄緑のトウモロコシを受け取り、包丁で切る。）	◎気になっている実の中の色を実際に見て確かめられるように、包丁で切ろうとした。	
ＨＪＲＳＹ（包丁で黄緑のトウモロコシを切る様子を、身を乗り出して見ている。）	・中身が気になるのでトウモロコシを切っているところを見たい。	□生き物・命を見つめる
教師（包丁の刃を入れながら）「うわっ、なんか柔らかい。おっ、見て！」（切り終えて断面をＨＪＲＳＹに見せる。）	◎黄色と黄緑のトウモロコシを切ったときの真の感触の違いを知れるように、切ったときの感触を伝えた。 ◎実際に見て確かめられるように、断面を見せた。	
実の断面は外側が黄緑、内側が黄色になっていた。		
Ｊ（教師の手から切ったトウモロコシを取る。）	・実の中身がどうなっているのか早く見たい。	○自ら決める・選ぶ
ＲＳ（先程よりも身を乗り出してＪの持つトウモロコシの断面を見る。）	・実の中身がどうなっているのかもっとよく見たい。	○自ら決める・選ぶ
Ｒ（目を大きく開けて教師を見ながら）「黄色い。」	・熟していない黄緑のトウモロコシの実を切ったら内側が黄色いことに驚いている。	□生き物・命を見つめる
学び	熟していない黄緑のトウモロコシの実を切ったら内側が黄色いことに	□生き物・命を見つ

（R）	驚いている。		める （自然との関わり・生命尊重）
J（Rを見た後、眉をしかめて）「えぇ？」（手に持っているトウモロコシを見る。）		・Rの話を聞いて、本当に中が黄色いのかよく見てみようと思った。	□生き物・命を見つめる
Y（少し笑いながら教師を見て）「えぇ？」（語尾を上げながら）		・Jの言い方が面白くて言い方を真似している。	
R（自分の持っている黄色のトウモロコシを少し上にあげて）「でもこっちの方が黄色いよ。」		・切って中を見たトウモロコシも黄色いが手に持っているトウモロコシの方がより黄色いと思った。	□生き物・命を見つめる
S（大きな声で）「分かった！じゃあ剥いたら黄色いの出てくるかも！」		・中を見るために切ったが、確かめきれないので剥いて確かめてみたい。	
Y（大きな声で）「そうだ！」		・Sの考えを聞いてそうだと思った。	
教師「剥いたらいいの？」		◎剥いてみて実がどうなっているのか確かめ、Sが確かめたいと思っていることが叶うように、本当に剥いたら黄色い身が出てくると思っているのか確かめた。	
S「剥く！」		・剥いてみたい。	○自ら決める・選ぶ
教師（熟した実を指さしながら）「じゃあこれはなんで黄色くなってるの？」		◎皮が付いている黄色いトウモロコシがあることを不思議に思ったり関連付けて考え直したりするように、熟したトウモロコシの実はなぜ黄色いのか尋ねた。	
S「剥かれたから。」		・トウモロコシの実は元は緑の膜、殻を被っていて何かに剥かれたから黄色くなっていると思っている。	□生き物・命を見つめる
教師「何に？」		◎実がどのようにして黄色くなっていくのかを予想して考えられるように、何に剥かれて黄色くなるのかを尋ねた。	
S「え、これが剥かれると…。剥かれてどうなるんだろう？」		・だんだん分からなくなってきた。	
教師（笑いながら）「剥かれたらどうなるんやろうね。」（周りにいるHJRYを笑いながら見る。）		◎どのようにして実が黄色くなるのかを調べてみようと思えるように、一緒に考える姿勢を見せた。 ◎SだけでなくHJRYも自分の考えを言おうとするように、黙って聞いていたHJRYにも尋ねた。	
H（トウモロコシが包まれていた葉を手に取り）「これじゃないん。これが取れたんちゃうん。」		・収穫の時にみんなで周りの葉を剥いていたことを思い出し、葉を取ったときに、黄色くなったのではないかと思っている。	□事物・現象を捉える ☆関連付ける
教師「なるほどね。この葉っぱが取れて黄色くなると。」		◎Hの考えをみんながわかるように、言葉を補って繰り返した。	
H（頷いて）「うん。」		・その考えで合っている。	
好きな遊びで鬼ごっこをしていた友達が遊びに誘いに来て、HJRSYは鬼ごっこをしている友達の方を見ている。		・トウモロコシへの興味が薄れてきている。 ・早く鬼ごっこで遊びたい	
教師「じゃあ、なんで黄色くなるのか調べてみる？」（スマートフォンを取		◎自分たちが考えたことが実際どうなのか確かめられるように、予想を調べた	

り出す。）	いと思えるように、スマートフォンを使って調べてみることを提案した。 ◎最後までトウモロコシの気になっていることを集中して調べられるように、手早く調べられるスマートフォンを使用した。	
ＨＪＲＳＹ（頷いて）「うん」 タブレットを使ってトウモロコシの実が黄色くなる理由を調べた。ＨＪＲＳＹはスマートフォンを机の上に置き、画面を囲むように身を乗り出して見ている。	・教師に言われ調べてみたいと思った。	○自ら決める・選ぶ
ＨＳＹ（しばらくスマートフォンの画面を見ていたが、途中で机の上に置いてあったとうもろこしの葉を触る。）	・文字が多く何が書いているのか分からないので興味が葉っぱに逸れている。	
ＪＲ（教師がスマートフォンを操作する画面をじっと見ている。） 教師（スマートフォンを操作しながら）「分かりました！」	・どうして実が黄色くなるのか早く知りたい。 ◎自分たちが疑問に感じていたことを再び気持ちが向けられるように、目的の記事が見つかったことを明るく伝えた。	□生き物・命を見つめる
ＪＲ（教師を見ながら笑顔で）「えっ。」	・どうやって黄色くなるのか気になっていたことがわかるかもしれないので、楽しみに思っている。	
ＨＳＹ（教師を見て葉っぱを机に置く。） 教師（笑顔でＨＪＲＳＹを見て）「読むよ。」	・気持ちが逸れていたが実が黄色くなる理由が気になり、葉を机に置いた。 ◎実が黄色くなる理由を知ることを楽しみに思えるように今から読むことを伝えた。 ◎記事は漢字も使われていて子ども達だけで読むことは難しいと判断したので教師がわかりやすくまとめて読み上げようと思った。	
ＨＪＲＳＹ（無言で教師の顔をじっと見る。） 教師「あの、トマトと一緒で…。」	・なぜ、黄色くなるのか気になる。 ◎今見ている黄緑のトウモロコシは、時間をかけて熟して色が変わっていくことを自分の経験と関連付けて考えられるように子ども達がよく知っているトマトを例に出した。	
Ｒ（教師の言葉に被せながら目を大きく見開き）「えぇっ！？」 教師「トマトって最初さ、できた時ってさ…。」	・トウモロコシがトマトと一緒のところがあることに驚いている。 ◎トマトも熟したら色が変わることを思い出し、関連付けて考えられるように、トマトの実ができた時の色を話題にした。	□生き物・命を見つめる
Ｓ（教師の言葉に被せながら）「緑！」 教師（頷きながら）「そう、緑じゃない？で、だんだん大きくなってきて、もうすぐ食べれますよってなったらこんなふうに、」（黄緑のトウモロコシを手に取り、断面が黄色くな	・緑であることを思い出した。 ◎トウモロコシが成長して少しずつ黄色くなり熟していくしくみを知って面白いと思えるように、黄色く熟している途中である部分のトウモロコシを見せながら伝えた。	

っている部分を指差しながら）「黄色くなるらしい。」 ＨＪＲＳＹ（口を開けて黄色くなりかけている実の部分を見ながら）「へぇ～。」	・トマトも大きくなると色が変わるように黄緑のトウモロコシもだんだん大きくなって実が黄色くなっていくことがわかり驚いた。	□生き物・命を見つめる
学び（ＨＪＲＳＹ）	トマトも大きくなると色が変わるように黄緑のトウモロコシもだんだん大きくなって実が黄色くなっていくことがわかり、驚いている。	□生き物・命を見つめる（自然との関わり・生命尊重）

【考察】（学びと学びに至った要因を中心に）
◆「生き物・命を見つめる」（自然との関わり・生命尊重）の観点から
Ｒは熟していない黄緑のトウモロコシの実を切ったら内側が黄色いことに驚いている。黄色いトウモロコシと黄緑のトウモロコシの実を見比べると色が違っていた。Ｓの黄緑の皮の下は熟した黄色い実が入っているのではないかという考えを聞き、Ｒはトウモロコシの実の皮はめくれないだろうと考えていた。教師は実の中がどうなっているのか確かめて見比べたり予想との違いに気付いたりするように、熟していないトウモロコシを切り、断面を見せた。そうすることで実の中が薄い黄色になっていて自分の考えていた実の断面の色とは違うことに驚いている。
ＨＪＲＳＹはトマトも大きくなると色が変わるように黄緑のトウモロコシもだんだん大きくなって実が黄色くなっていくことがわかり驚いている。ＨＪＲＳＹはどうしてトウモロコシの実が黄色くなるのか疑問に感じ、黄色い実と黄緑の実を見比べたり切った実の断面を見たりして理由を推測していた。教師は黄緑のトウモロコシは実も小さく熟していないため、時間をかけて熟して色が変わっていくことを自分の知っている経験と関連付けて考えられるように子ども達がよく知っているトマトを例に出した。トウモロコシが生長して少しずつ熟していく過程を知って面白いと思えるように、黄色く熟している途中である部分のトウモロコシを見せながら伝えた。そのことでどうやって黄色くなるのかを知り学びに繋がったと考える。

【Ｉ】事例、考察から得られたカリキュラムへの知見（伸長している姿より）

学年	月	資質・能力	１０の姿	資質・能力が伸長している姿（学び）	有効と考える環境の構成や教師の援助
5	7	生き物・命を見つめる	自然との関わり・生命尊重	熟していない黄緑のトウモロコシの実を切ったら内側が黄色いことに驚いている。	実の中がどうなっているのか確かめて見比べたり予想との違いに気付いたりするように、切ってみることを提案し、切って断面を見せる。
5	7	生き物・命を見つめる	自然との関わり・生命尊重	熟していない黄緑のトウモロコシの実を切ったら内側が黄色いことに驚いている。	切った断面を見て、実の中がどうなっているのか見て熟した実と比べられるように、断面を見せる。
5	7	生き物・命を見つめる	自然との関わり・生命尊重	トマトも大きくなると色が変わるように黄緑のトウモロコシもだんだん大きくなって身が黄色くなっていくことが分かる。	今見ている黄緑のトウモロコシは実も小さく熟していないため、時間をかけて熟して色が変わっていくことを自分の知っている経験と関連付けて考えられるように子ども達がよく知っているトマトを例に出して伝える。
5	7	生き物・命を見つめる	自然との関わり・生命尊重	トマトも大きくなると色が変わるように黄緑のトウモロコシもだんだん大きくなって身が黄色くなっていくことが分かる。	トウモロコシが生長して少しずつ熟していく理由を知って面白いと思えるように、黄色く熟している途中である部分のトウモロコシを見せながら伝える。

【Ⅱ】事例、考察から得られたカリキュラムへの知見（発揮している姿より）

学年	月	資質・能力	１０の姿	資質・能力を発揮している姿	有効と考える環境の構成や教師の援助

【Ⅲ】検討する中で得られた手立て

学年	月	資質・能力	１０の姿	有効と考える環境の構成や教師の援助
5	7	自ら決める・選ぶ	自然との関わり・生命尊重	自分の知りたいことを気になり続けられるように、子どもが知りたい事を調べる手立てとして、周りの教師に聞いたり図鑑を一緒に見たりインターネットで調べたり保護者に聞いたりする等、いろいろな方法を提案して、知りたいものを様々な方法で知ろうとする力を支える。

あんとんせんせいごっこ ～なりきって遊ぶ編～

動物ごっこ











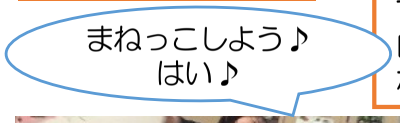






ニワトリやトラ、ワニ、フラミンゴ、ヘビ、それから自分たちの好きな動物になりきって遊んでいます。動物の特徴を捉えて、爪や歯、歩き方立ち方、鳴き声などを真似して体いっぱいに表現しています。友達と真似し合いながらなりきったり、なりきった生き物の世界で触れ合ったり、それぞれの表現をする中でも、友達の存在を存分に感じています。

まねっこ遊び



いろいろな動物になりきって面白いポーズをしたり、それをみんなに見てもらったり、一緒にしたりしてきたところから、真似っこ遊びが始まりました。曲のリズムに合わせてポーズを決め、次々と交代しあいながら遊んでいます。
自分の順番が来て前で真似っこしてもらうことを楽しみにしたり、自分の思う素敵なポーズをしたり、友達のしているポーズに影響を受けて自分もしてみたりしています。









お医者さんごっこ

アントン先生と言えば、次々といろいろな患者さんがやってくる場面。子どもたちが大好きなところです。動物役の子どもたちは、ぐったりと這ったり、足を引きずったりして病院にやってきたり、動けずにいたりします。一人ずつどこの調子がよくないのか、自分で考えたことを喜んで言っています。みんなの前で言うのがドキドキする時、気分がなんだか乗らない時には、周りの友達が「どうしたの？」「ドキドキする？」と心配して声をかけたり、「わかるわかる」と共感したり、そっと見守り寄り添ってあげたりしています。











アントン先生役の子どもたちは、自然と「どうしましたか？」と動物たちに尋ねます。病院に行ったとき、いつも言ってくれるよね、とみんなで話をして、アントン先生役の子どもたちは「どうしましたか？」「お大事に」のセリフを言うことにしました。











腕も足もお腹も全部痛い！こっちの足もこっちの足も折れた！など、思わずクスリとしてしまうような患者さんがどんどんやってきます。アントン先生も必死に病院に引き連れたり、救急要請をしたりして対応します。発表会の当日の病院はどんな様子になるのでしょうか。

野菜や果物をとるぞ













アントン先生のために野菜や果物を取ってきて、ご馳走を作る場面。野菜を育てた経験と重ね合わせ、野菜の種や実になったり、これまでにしてきた種まきや、水やり、収穫などの世話をしたりして遊びました。

初めは畑の野菜や木になった果物をひょいと取ってくる子どもたちでしたが、大根を抜いた子どもたちの「すっごい固かった」「周り掘ってん」という声や、「動物は木を揺するんだよ」という声から、よりそれらしくとる動きをするようになっていきました。
作った食べ物や、保育室のままごとのおもちゃを使って、それぞれに切ったり焼いたり、煮込んだりしています。





ごちそうづくり











倒れたアントン先生に動物たちがご馳走を振る舞う展開を思い出して、「先生、アントン先生して」と子どもたちの方から動物とアントン先生の役に分かれて遊ぶ提案がありました。お皿に並べて次々とご馳走を運ぶ動物たちです。





できたよ

みんなで作った料理の歌







「きゅうりができた」のふれあい遊びの替え歌で、野菜を調理しています。料理するとき、まず野菜どうする？という話から、「洗う」「皮剥く」「塩こしょう」「混ぜる」などいろいろな工程が出てきました。言葉に合わせて自分の体や友達の体に触れたり、大きくジェスチャーしたり、手に持つ野菜を調理したりしています。お野菜レポートを出してくれた時も、「包丁使ったの」「ピーラー自分でやった」「味噌汁作ったの」などと喜んで話していました。そんな経験が繋がっているなと思います。



最後はあぶくたったの大鍋でぐつぐつ♪
入るところがなくて困っている友達を誘ってあげたり、手がほどけて鍋に穴が開いてしまった時に、「〇〇ちゃんこぼれちゃうよ」と知らせてあげたりする姿があります。





歌ったり、楽器を鳴らしたり

ステージごっこで鳴らしたり、砂場のレストランごっこで呼び鈴に使ったり、身近に手に取れる場所にいつも置いてあった楽器。いろいろな楽器の音色を感じたり、友達と一緒に鳴らしたり、音楽に合わせて鳴らしたりする楽しさを感じられたらいいなと思い、みんなでする遊びの中に取り入れました。
教師のジェスチャーに合わせて大きい音や小さい音を鳴らしたり、教師が言う楽器の名前を聞いて鳴らしたりしています。











好きな楽器を選んで遊んでいますが、数に限りがある楽器では、思いがぶつかることもあり、怒ったり、涙したり、引っ張り合いになることもありました。都度「どうする？」「代わって」「あとでね」「じゃあ待ってるね」などとやりとりしながら、気持ちに折り合いをつけています。

写真カードを貼って、したい楽器を選んでいます。今日はマラカス！と喜んで写真カードを貼ったり、友達が何の楽器を選んだのか興味をもって見たり、一緒にしようと友達を誘ったりしています。





初めはこんなふうに好きな場所で鳴らしていましたが、この写真を見せながら、みんなの顔が見えにくいね、と話しました。並んだらいいんじゃない？とアイデアが出てきて、ステージに並んで歌ったり楽器を鳴らしたりすることになりました。
よく顔見えてるよ～素敵～！とカメラを構えるとこの笑顔です。



もうすぐ発表会

それぞれの椅子に持ち物、そしてみんなで使う道具がたくさんあるアントン先生ごっこ。「今日も遊戯室でアントン先生するよ」と話すと、「ベンチもいるよね？」「ドアは？」「キッチンも！」とあれこれ自分たちで必要なものを思い浮かべて用意して向かっています。大人が遊びや場を全て用意するのではなく、自分たちで用意、片付けもして作り上げていく姿が立派だなと成長を感じます。

よいしょ
よいしょ









自分たちが遊戯室で遊んでいるように、他のクラスや学年もたくさん遊戯室に出入りする様子を見かけるようになりました。他のクラスがこんなお話で遊んでいるらしいよ、さくら組さんがかっこいいことをしてるらしいよと聞き、興味をもって見に行っています。





うめ2組の「もりのおふろ」のお話を見て、背中を流してあげる動物たちの様子を真似しています。





さくら組さんが見にきてくれました。

「今度の参観日、みんなのアントン先生ごっこをおうちの人が観てくれるよ」と知らせると、「やったー！」という声もあれば、「緊張する」との声も。発表会という日ではありますが、日々の保育の延長として、いつものようにアントン先生を楽しみながら進めていきたいと思います。暖かく見守ってくださると嬉しいです。

この遊びに見られる子どもの姿		資質・能力
○	大きな口を開けたワニになりたい、羽を広げたニワトリになりたい、鋭い牙を持つにトラになりたい、フラミンゴになって片足で立ちたい、真似っこ遊びで可愛いポーズがしたい、足が折れたことにしたい、アントン先生になって包帯を巻きたい、鍋で料理したい、太鼓を鳴らしたい、大きな道具を運びたい、他のクラスの遊びを見たいなど、したいことを思い浮かべたり、選んだり、自分で決めたり、誘ってもらったりしてしようとする。	自ら決める・選ぶ
○	アントン先生ごっこでたくさん遊んだ充実感をもったり、こんな動物になりたい、こんなポーズをしたい、この楽器をしたいなど、したいと思ったことができて嬉しく思ったり、自分が考えてした動きや表情、言葉を友達や先生に見てもらったり、褒めてもらったりして自信をもったりする。	自分に満足する
○	友達とぶつかって痛い思いをしたり、恥ずかしかったり元気がなかったりして気持ちが乗らなかったり、同じ物を使いたくて取り合いになって嫌な気持ちになったりした時に、先生や友達に話を聞いてもらったり、共感してもらったり、どうすればよいか一緒に考えたり、代替案を提示してもらったり、その場を離れて時間をおいたりして気持ちを落ち着けている。	気持ちをコントロールする
○	大きな口を開けたワニになった、真似っこ遊びで自分が得意なポーズができた、具合が悪い患者さんになりたくてよろよろ歩いた、本物みたいに野菜を抜いた、友達の分までたくさんの荷物を運んだなどと、見てもらったり褒めてもらったりして自分のこだわりや頑張りを感じている。	自分のことを知る
○	友達と一緒に同じ動物になりきったり、なりきって身を寄せ合ったり、ポーズを真似し合ったり、お医者さんと患者さんになりきってごっこ遊びをしたり、料理を作ったり、同じ動きをしながら歌ったり、一緒の楽器を選んだり、一緒に鳴らしたり歌ったりして、友達と一緒に遊ぶ楽しさや心地よさを感じている。	他者といる喜びを感じる
○ ○	友達の表現や考えを見聞きしたり、真似したりして、友達のすごいところや面白いところを感じたり、憧れたり、いいなと思って取り入れたりする。 泣いたり怒ったりして困っている友達の姿を見聞きして、友達の気持ちを感じたり、先生と一緒にその気持ちになった理由を思い浮かべたりする。	他者のことを知る
○	自分がしたいことや考えてしていること、知っていること、困ったことなどを、友達や先生に伝わるように、やって見せたり、近くに呼んだり、実物を見せたりして伝えたり、先生や友達に尋ねてもらったり、言葉を補ってもらったりして伝えたり、伝えてわかってもらえた、変わってくれたなど、伝えてよかったと思ったりする。	自分のことを伝える 問題を認識する
○	真似っこ遊びの順番が来ていることを教えてあげたり、どんな症状か伝えるのに緊張している友達に尋ねてあげたり、おもちゃが足りなくて困っている友達に分けてあげたり、空いている楽器を知らせてあげたり、あぶくたったで入るところが見つからない友達を誘ってあげたり、重たい物を持っている友達に気付いて手伝ったりしている。	他者のことを考えて行動する






この遊びに見られる子どもの姿		資質・能力
○	みんなでなりきって遊ぶときに周りを見ないで走ったり、ステージの段差があるところや狭いところで押しあったり、重たい物を高く持ち上げて運んだりすると危ないことを言ってもらったり、実際に怖い思いをしたりして感じたりして、気を付けて動いたり扱ったりする。	身を守る 問題を認識する
○	色々な動物になりきってケンパをしたり、ギャロップをしたり、片足で立ったり、這ったり、真似っこ遊びで開脚したり、跳ねたり、身体を様々に動かして遊ぶことを楽しんでいる。	身体を操作する
○	曲のリズムに合わせて楽器を鳴らしたり、同じ楽器の友達と一緒に鳴らしたり、歌詞にあった動きをしながら歌ったり、ピアノの音に合わせて友達と一緒に歌ったりすることを楽しむ。	音楽に表す
○	アントン先生や動物たちの楽しさや面白さ、大変さ、忙しさなどの気持ちを感じたり、アントン先生のもとに病気や怪我をした動物たちが次々とやってきたり、アントン先生が倒れてしまったり、みんなでごちそうを作ったりする展開の面白さを感じたり、みんなで野菜を調理していく工程を考えて遊びのストーリーを作る楽しさを感じたりする。	文芸に表す
○	色々な動物の特徴や動き、病気や怪我をした動物たちの動き方や表情を思い浮かべてなったり、アントン先生になりきって丁寧な言葉で優しく診察や手当てをしたり、本当に料理をするように野菜を洗ったり皮を剥いて切ったり、設定やお話、歌詞のイメージにあった動きをすることを楽しむ。	身体の動きに表す
○ ○	自分のなりたい登場人物や、遊びの場面を思い浮かべて、セリフを決めて言ったり、白衣や包帯、絆創膏、おたまや包丁など必要な道具や装飾を作ったり身につけたりして遊ぶことを楽しむ。 どう見えているか、聞こえているか、先生に知らせてもらったり、写真を見せてもらったりして、椅子の向きを変えたり、顔が見えるようにステージに並んだり、声を合わせてセリフを言ったり、それらしく力を込めて動いたりする。	演出に表す 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
○ ○	遊びに必要な病院の絵や看板、木や畑、テーブル、鍋などをどこに置いたらよいか先生や友達と場所を決めて置こうとする。 使い終わった道具を自分の箱に収めたり、遊戯室の隅に運んだりして、みんなで遊ぶ場を整えたり、片付けたりするよさを感じる。	場や状況を整える
○	先生に教えてもらって、楽器や自分たちの作った野菜、果物などの小道具を丁寧に扱う必要やよさを感じたり、気を付けて扱おうとしたりする。	資源の活用を見つめる











おふろごっこ









枠の中に集めて、取っておいた落ち葉を入れるとお風呂に変身です。遊び疲れて休憩で入る子や、枯れ葉のサクサクする音が心地よくて何度も踏む子、上に投げると舞って落ちてくる様子を見て面白くてたくさん投げたりする子がいましたよ。

こうじちゅうです









おふろのおもちゃ





ぱぁてぃするよ



みんなで！



いただきます

たべたらおんせんいこう

しごとでつかれたからはいるわ



なべなべそこぬけ　ロンドンばしおちた

ひっくり返れたら嬉しくて嬉しくて「きゃあ」「やった」と色々な喜びの声が聞こえてきます。手が絡まってひっくり返れなくても楽しくて笑顔で笑い合っていて、もう一度挑戦しようとする姿も見られます。



















落ちるタイミングを見計らって素早く通ったり、落ちる直前まで待ってわざと捕まったりしながら遊ぶことを楽しんでいます。



トンネルあそび

トンネルを作る子、トンネルを通る子、通る子が少なければ通る方に移動する子など、どちらにするか考えて遊ぶ姿が見られます。
また、足を広げる幅を変えてみたり、狭い足の間を二人で通ってみて「狭い」と言い合って足の間でニコニコしながら止まってみたり、色々な場面でたくさんの笑顔が見られますよ。





















なりきりどうぶつ





手で耳にしたり、鳴き声を真似たり、動物の歩き方をしたり、動物になって尻尾取りをしたりと様々な動物になることを楽しんでいます。













みんなでつくる　おはなし



♪おててを
あらいましょう





歌に合わせて体の色々な部分を洗います。手を洗う時には、日頃の園生活でよく洗っているからなのか、特に指先まで綺麗にしようと入念に洗っています。その姿が可愛らしく日頃の様子が目に浮かぶと思います。



腕まくりして、
と・・・！



♪なにが
おちた

♪いとまきまき
いとまきまき









がんばれ
がんばれ



音楽が止まると
ピタっと止まる
うさぎさん。
よく聞いていますね。

さむい





つぎ
わたし！





好きな遊びの時にブロックを組み立てて、お風呂を作っていたり、お部屋で椅子を並べて列になったりする姿から「もりのおふろ」に決まりました。お部屋でしていた遊びを取り入れたり、動物の特徴について話し合い遊びに取り入れてみたりしています。

この遊びに見られる子どもの姿	資質・能力
・動物になりたい、走りたい、丁寧に手を洗いたいと思ってしたり、友達や先生がしていることを楽しそうと思ってやってみたりする。	自ら決める・選ぶ
・自分のしたいことや、考えたことができたり、足を揃えて跳べた、トンネルをくぐれた、音楽が止まったら動かなかったなどと思い、喜んでいる。	自分に満足する
・一番に座りに行きたい、もっと走りたい気持ちを落ち着けて、友達と一緒にしようとしたり、友達に見られたくない気持ちからドキドキしながらも音楽に合わせて体を揺らしてみたりしている。	気持ちをコントロールする
・友達と一緒にお風呂に入ったり、手を繋いで遊んだり、股の下を通ったり、応援したり、動物になったり、歌ったり、顔を見合わせたりして笑顔になったり、嬉しさを感じたりしている。	他者といる喜びを感じる
・どうしたらいいか、迷っている友達に「一緒にしよう」と声をかけ誘ったり、手を引いて一緒にしようとしたり待ってあげたりしている。	他者のことを考えて行動する
・自分がしたい、困っている、嬉しい、応援したいなどの気持ちを自分で相手に伝えたり、先生に伝えたり、先生や友達に手伝ってもらって伝えたりしている。	自分のことを伝える
・手を繋いで片手を上げてひっくり返ったり、トンネルをくぐるため小さくなって身を屈めたり、足を開いたり、尻尾を狙って手を伸ばしたり、目印まで思いきり走ったりしている。	身体を操作する
・枯れ葉のサクサクした感触が心地よくて何度も足踏みしたり、上に投げるとフワフワ落ちる様子が楽しくてたくさん投げたり、指で潰して粉々になる様子を面白いと思ったり楽しんだりしている。	生き物・命を見つめる
・リズムに乗って歌を歌ったり、体を揺らしたり、跳ねたり止まったりする楽しさを感じている。	音楽に表す
・耳が大きいのは遠くの音まで聞いている、大きな音だと驚くなどというウサギの特徴を絵本で知り、耳を澄まし音楽が鳴ったら動きを止めて遊ぶことにする。	文芸に表す
・なりたい動物の得意なことを思い浮かべたり、絵本に出てくる動物になりきって動いたり、鳴き真似をしたりしている。	身体の動きに表す

忍者ごっこ

引き続き心も体も鍛えるためにフープも使ってみよう。みんなで考えた技を色々やってみました。



こしでまわすのがむずかしいけどがんばるぞ！

フープを手でクルクル回して手を鍛えよう。



腰で回すことにも挑戦だー！



地面にフープを置いて両足で前後左右にジャンプしよう。



仲間と一緒に身体を鍛えよう。２つのフープを使ってトンネルをくぐってみよう。



ふうぷもっとくからくぐっていいよ～！

敵が手裏剣を投げてきても身体を小さくして素早くよけられるようになりたいなぁ。と言う子ども達。頭クルクルの技（前転）がいいんじゃない？それいいね！と決まり、早速挑戦してみることになりました。







前転をするコツは、手と足の距離を縮めることや、両足で思い切り蹴り上げたり、頭頂部ではなく後頭部を地面につけたりすることなどたくさんあります。何度も挑戦したり、時には友達や先生に教えてもらって頑張ったりする姿も見られました。

足も手も同時に鍛えられる技はないかな？とみんなで色々な技を試し、足上げジャンプ（カエルの足打ち）に決まりました。



手で身体を支えて両足を打ちます。難しいけれど何度も挑戦しています。

たくさん修行をして心も身体も鍛えた忍者達。師匠に巻物を取るように頼まれました。



忍者屋敷を出て特別忍者城に向かうぞ！敵に見つからないように顔を隠して小さくなって進もう。



特別忍者城に忍び込んでもまだまだ巻物は見つからない！忍者達は天井が低い部屋に忍び込みました。頭をぶつけないように鍛えた足と手で進んでいきます。



あたまをしたにむけるのはどう？



せいざもよさそう。

師匠の前ではかっこいい姿や返事をしたいな。どんな姿や返事にしよう。みんなで考えます。

いつの間にか仲間が敵に捕まってしまった！大変だ！みんなで力を合わせて助けよう！





牢屋の扉を開けよう。縄を投げるにはどんな腕の動かし方にしよう？それぞれ考えた投げ方でやってみます。

次はみんなで縄を引っ張ろう。縄を引っ張る時はどんな動き？「足に力を入れる。」「腕を何回も伸ばして曲げてる。」「遠くまで何度も引っ張る。」と自分の思う動きを言葉や体で伝えます。でも何度やっても開きません。やっぱりみんなの力が合わないと！合図を出して引っ張ることにしました。





仲間を助けられて嬉しいな！嬉しくてハグをしている忍者もいます。

巻物が見つかった！でも敵がいて取れない。どうやって戦おう？「みんなで一斉に手裏剣を投げる？」「敵は手裏剣だけじゃ逃げないよ！」「お殿様に変身する？」「たくさんお殿様おりすぎたらそれでばれちゃう！」「じゃあ分身の術は？」「みんなでやったら敵も本物の忍者がどれかわからないからいいね！」と言う提案があり、みんなで一斉に分身の術をすることにしました。







敵が目をくらませている間に巻物を取ろう。高い場所にある巻物を取るために高くジャンプをしよう。



高い場所にあってなかなか取れない！飛行機ジャンプ（助走）をして取ることにしました。

この遊びに見られる子どもの姿	
フープを回したり両足で跳んだりする、前転やカエルの足打ちをする、スキップをするなど、少し難しいことをできるようになりたいと思って取り組んでいる。	自ら決める・選ぶ
心も身体も強い忍者になりたい、素敵な話にしたいと思い、忍者になって遊んだリ、考えを出したりしている。	
自分のやりたいことや考えたことを前でやってみたり友達や先生に伝えようとする。	自分のことを伝える
色々な友達と一緒に動いたり、同じ動きをしたり、誘ったり誘われたり、相手の動きを見てそれに合わせて動いたり、考えたことを一緒にしたりして、一緒に遊ぶ嬉しさを感じている。	他者といる喜びを感じる
みんなで一緒にするごっこ遊びが楽しくなるように、何をどのようにすれば楽しく遊べそうか考えたことを話したり、友達に声をかけたりしている。	人と物事を進める 問題を認識する
友達とぶつからないように周りを見たり、間隔をあけたり、どうすると危なくないかを聞いたり考えたりして危なくないように動こうとしている。	身を守る
スキップや片足跳び、両足跳びなどをして、地面を蹴って全身を使って跳ねる感覚を感じている。	身体を操作する
カエルの足打ちや前転をして、頭を下に向けたり両腕で身体を支えたりする感覚を感じたり、何度も挑戦することで、身体で感じたり試したりしている。	
登場人物になりきり、その姿や動きの特徴、気持ちや具体的な場面を思い浮かべたり、友達の表現を取り入れたりしながら、動き方や表情、話し方を考えたりして、身体で表現する楽しさを感じている。	身体の動きに表す 関連付ける

ももたろうごっこ







おもいからせ
なかにせおっ
て・・・



川から流れてきた大きな
ももを家に持って帰るた
めに、手をおおきくひろ
げて運んでいます。

おばあさんが川で洗濯をし
ていると、どんぶらこっこ、
どんぶらこと大きなももが
流れてきました。そのもも
を家に持って帰ることにし
ました。



おもすぎてうしろ
にたおれそう



おとさない
ように・・・



ねことねずみの
しっぽとりゲーム



じゅうかぞえるでー





にげろー





まてー





からだくるりとまわしてかわして・・・

好きな遊びで縄跳びを使って『しっぽとり鬼ごっこ』をしました。何度かしているうちに「いっこも縄跳びのしっぽとれへん」とつぶやいていました。そこで、しっぽとり用のロープがあることを知らせやってみることにしました。
子ども達から「追いかけるのがねこで、逃げるのがネズミにしたら・・・」という意見がでたので、みんなで相談して『ネコとネズミのしっぽとりゲーム』という名前にしました。

ねこごっこ















遊戯室で、ねこになって遊んでみました。本物そっくりに鳴いてみたり、戯れあって仲良く遊んだり、爪を立ててけんかの真似をしてみたり・・・顔の表情も表現してねこになりきることを楽しんでいました。

おもちつきごっこ



きねつきぼうでとんとん
きびだんごをこねて・・・





きびだんごをいれる
ためのおぼんをもっ
てきたよー

ももたろうの絵本を読んで数日後、きびだんご作りが始まりました。
土山遊びで使っている角材を使って「とんとん」と言いながら餅つきのようにお団子をついています。
きびだんごがこねられたら、お団子を入れるためのバットやトレイを準備している子どもや、それをお店まで運ぶリヤカーを準備している子どももいます。子ども達は、どうやってきびだんごを作ったらいいか思い浮かべたり、出来上がったきびだんごをどうするか友達と相談したり、砂場近くにあるテーブルまでリヤカーに載せて運ぼうとしたりしてそれぞれの役割を考えて遊んでいました。



でっかいきびだ
んごつくるわ



りやかぁ
もってきたよー



あかちゃんごっこ









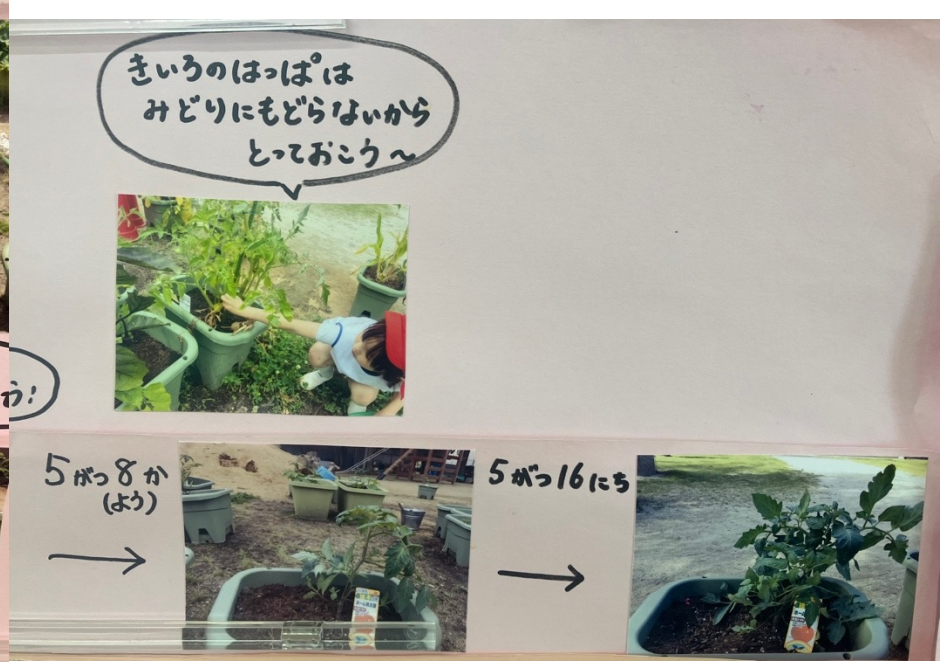
『おばあさんがももを切ろうとすると中から元気な赤ちゃんが産まれてきました』
生まれたての赤ちゃんってどんなんかなぁ？との問いかけに？・・・

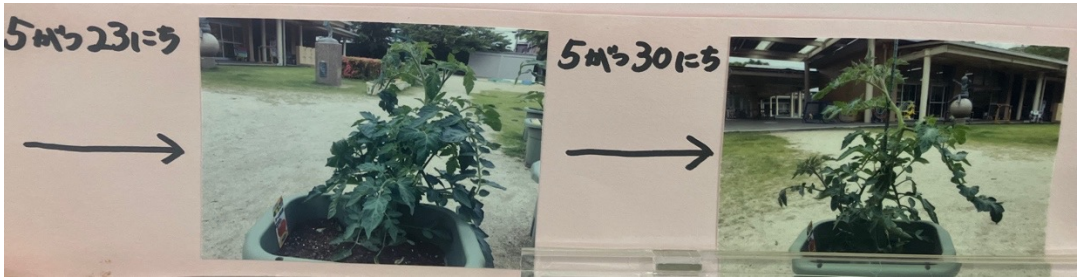
・おさない。
・なでなで、よしよしする。
・赤ちゃんは白黒に見えんだよ。
・いないいないばぁをすると笑う。
・大きくなったら一緒に鬼ごっこをしたい。
・せっかく生まれたからかくれんぼもしたい。
・ちゃんと育てる。
・ご飯あげる→最初はお母さんのおっぱいやミルクを飲むんだよ。
・ミルクをあげる。
・おもゆをあげる。
・おむつをかえる。
・お風呂に入れてあげる。

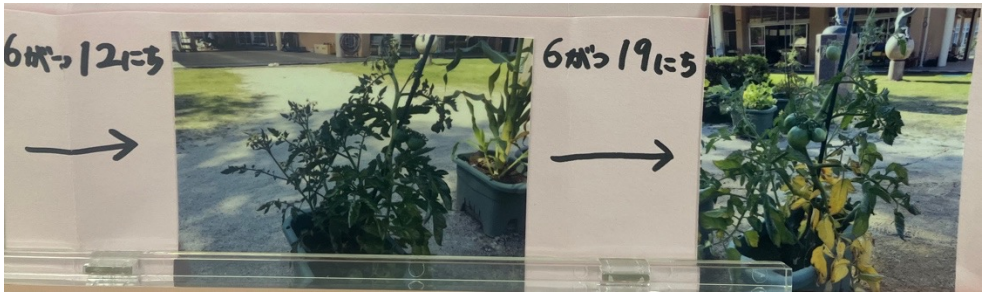
この遊びに見られる子どもの姿	資質・能力
いろいろな役をしたいと思ったり、なりたい役を決めたりして、動き方や話し方、言葉、遊び方などについてこうしたいと考えたりしている。	自ら決める・選ぶ
なりたい役になったり、自分の考えたことができたことに満足している。	自分に満足する
いろいろな友達と身体を触れ合わせたり、顔を見合わせたり、一緒に動いたり、鳴き声を言ったり、もも２組の友達みんなと一緒に遊ぶ楽しさを味わっている。	他者といる喜びを感じる
友達が考えた動きを見たり、友達の言葉を聞いたり、友達の頑張っている姿や真剣な姿を見たり聞いたりして、友達の個性や考えを知ったり、感じたりしている。	他者のことを知る
遊びが楽しくなるように、こうすればよいと考えたことを友達に分かるように伝えようとしている。	自分のことを伝える
みんなでするごっこ遊びやお話に取り入れた遊びが楽しくなるように、友達のしていることを見たり考えを聞いたり、したいことや考えたことを言ったりして、自分のできることをしようとしている。	人とものごとをすすめる
大勢の友達と動く時に、どうすると危ないか、何が危なかったかを一緒に考え、同じ方向に走ったり、周りをよく見て動いたり、声をかけたりするなど、危なくないように考えた方法を意識して動こうとしている。	身を守る
リズムやメロディー、テンポ、曲の雰囲気を感じて，身体を動かす楽しさを感じている。	音楽に表す
絵本を見たり、お話を考えたり、役になって遊んだりする中で、お話それぞれの場面の様々な登場人物の気持ちや素敵なところを感じたり考えたりしている。	文芸に表す
登場人物の気持ちや性格、具体的な場面を感じたり思い浮かべたり、友達の表現を取り入れたりしながら、その役らしい表情や言葉、話し方、動き方でなりきって表現している。	身体の動きに表す


とまと


まえの やさいの ねっこ
ながながぬけない！
てっだってー！
いいよ！
たおれないように
しちゅうを たて！
4月25日(木)
5がつ2か(ふつ)


きいろのはっぱは
みどりにもどらないから
とっておこう～
5がつ8か(よう)
5がつ16にち


5がつ23にち
5がつ30にち


6がつ12にち
6がつ19にち


みにとまと

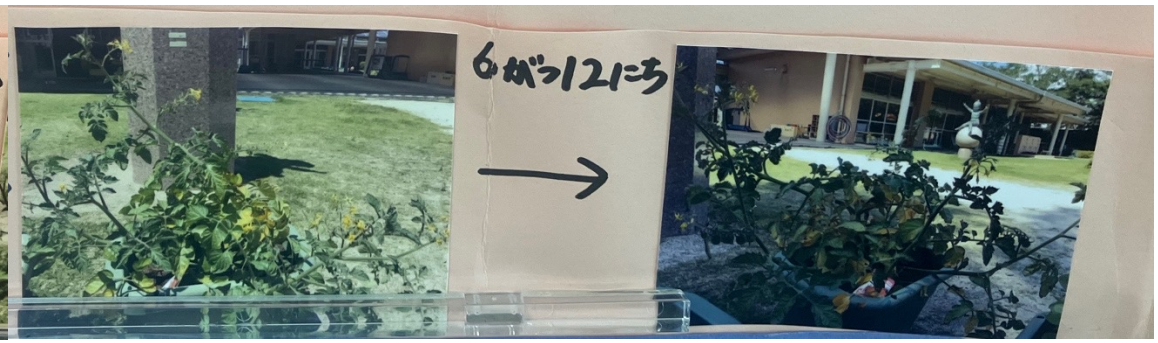

けっこう かたい
うわあ！じゅんぐるみたいになってる！
わきめをとろう
4月25日(木)
5がつ2か(ふつ)


ありがとう
しっかりとめておこう！
しちゃうたてるのてっだおうか？
5がつ8か(よう)
5がつ16に

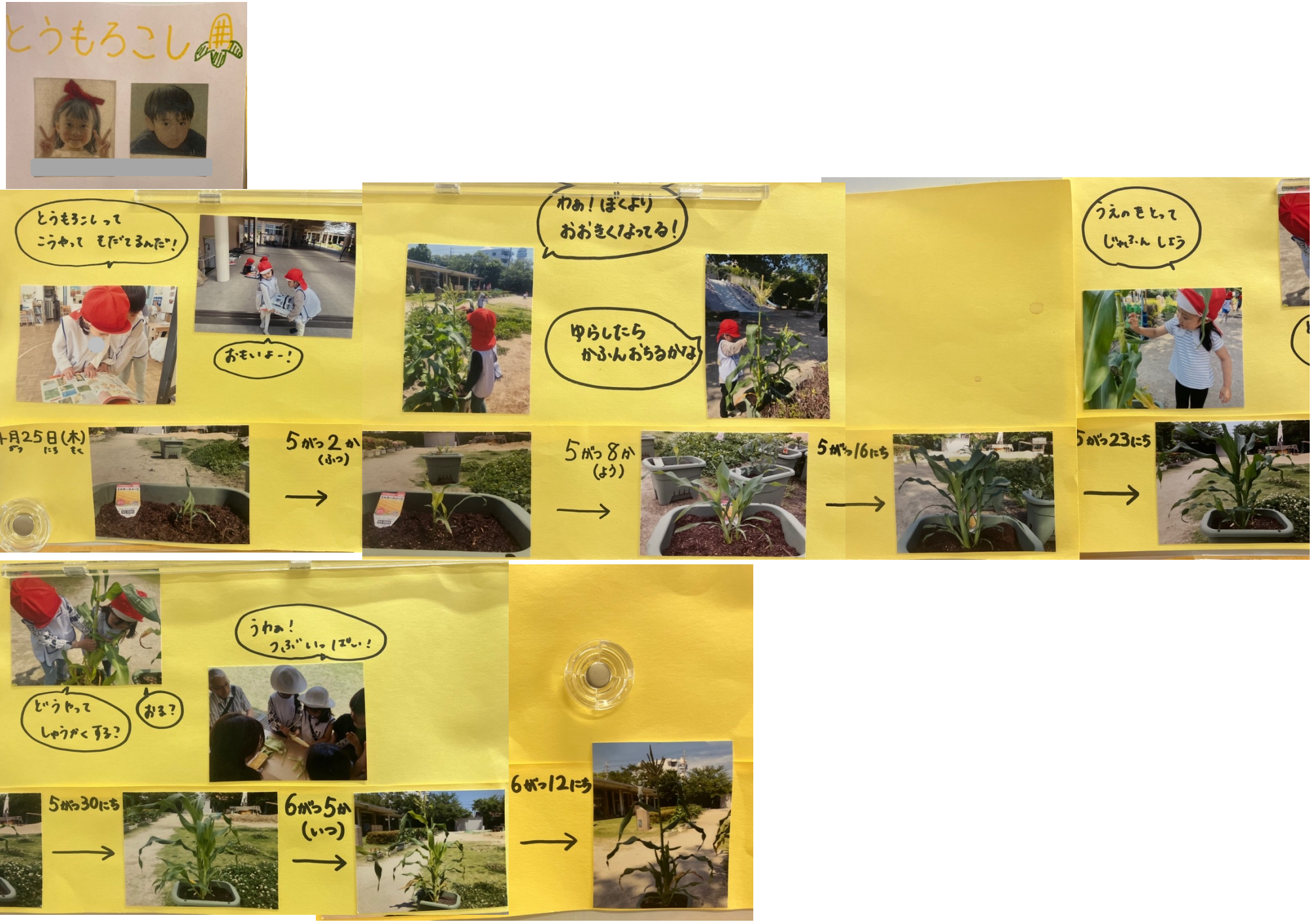

えいようがたりないのかな？ひりょうをあげよう！
16にち


おれたやつをみずにさしたらあかくなるかなあ
5がつ23にち


5がつ30にち
6がつ5か(いつ)


6がつ12にち


なす
あたらしい つちを いれる
ために いまの つち へらすぞ!
どれが なすの
なえかなの
つぼみがでたよー!
おいしくなれ
したの はっぱは
とるみたい
これ はなが
さきそう!
たおれないように
しちゅうをたてよう!
4月25日(木)
5がつ2か(ふつ)
5がつ16にち
5がつ30にち
6がつ5か(いつ)
くきのさきになすが
できたら えいようが
たりてないみたい!
たべごろに
なってきた!
からすにたべられてる～ΩΩ
6がつ12にち
6がつ19にち

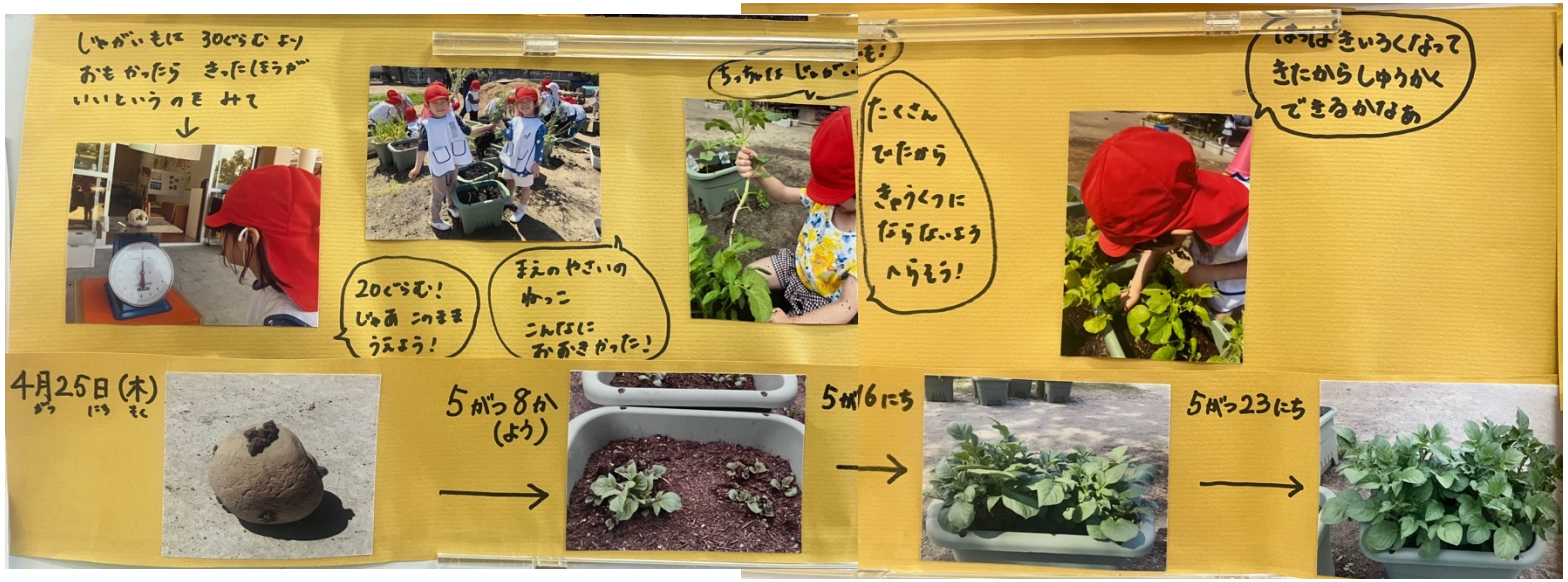

とうもろこし
とうもろこしって
こうやって そだてるんだ!
おもいよー!
わぁ! ぼくより
おおきくなってる!
ゆらしたら
かふんおちるかな
うえのをとって
じゃがりん しよう
4月25日(木)
5がつ2か
(ふつ)
5がつ8か
(よう)
5がつ16にち
5がつ23にち
うわぁ!
つぶいっぱい!
どうやって
しゅうかくする?
おる?
5がつ30にち
6がつ5か
(いつ)
6がつ12にち


かぼちゃ

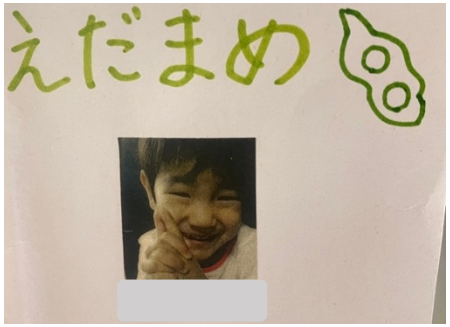

なえまの　うちがくりも
てっだうぞ～！
めばなにおばなのさきを
つけるとかぼちゃが
できるとしらべたよ
あとそう ちょっと！
これでかぼちゃできるかな？
からすに たべられる
まえに やってて
すのすぷれーつくろ～
4月25日(木)
5がつ2か(ふつ)
5がつ8か(よう)
5がつ16にち
5がつ23にち


うどんこびょうなおるかなぁ
5がつ30にち
6がつ12にち
6がつ19にち


じゃがいも


じゃがいもに 30ぐらむより
おもかったら きったほうが
いいというのを みて
20ぐらむ!
じゃあ このまま
うえよう!
まえのやさいの
ねっこ
こんなに
おおきかった!
ちっちゃい じゃがいも!
たくさん
できたから
きゅうくつに
ならないよう
へらそう!
はっぱ きいろくなって
きたからしゅうかく
できるかなあ
4月25日(木)
5がつ8か
(よう)
5がつ16にち
5がつ23にち

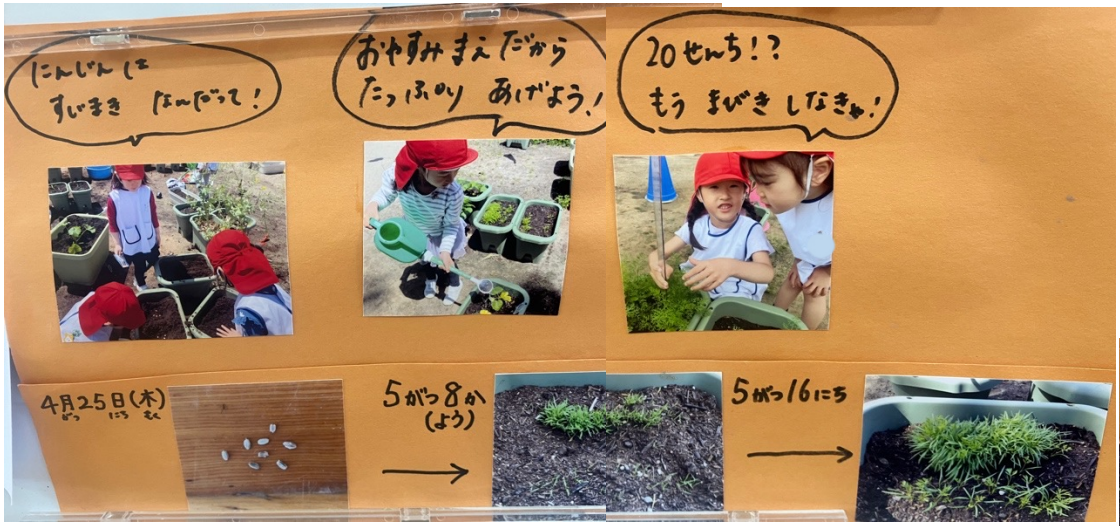

かれてきた!!
もうたべれるのかなあ?
ねっこながっ!
5がつ30にち
6がつ5か
(いつ)
6がつ12にち

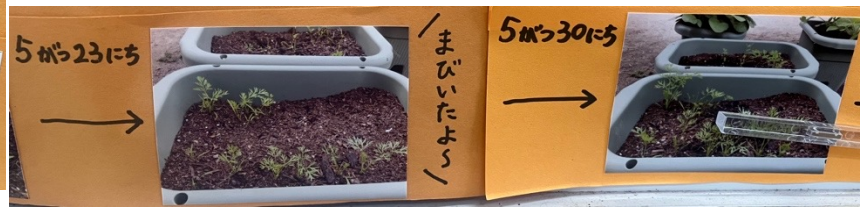

えだまめ


えだまめって
こんなたねなんだ
みせて～！
めがでてる～
4月25日(木)
5がつ2か(ふつ)
しらべてみたらかぶごと
ぬくといいってかいてた
けど、っちがかたくて
なかなかぬけない～
まわりのっちをすこっぷで
ほぐしてみよう！
5がつ8か(よう)
やっとぬけた～
やった～
こんなにとれた！
5がつ16にち

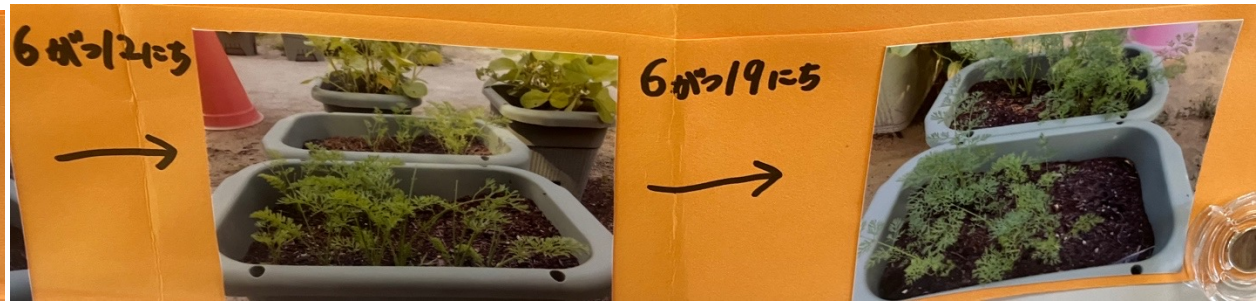

5がつ30にち
6がつ5か(いつ)
6がつ12にち


にんじん


にんじんに
すいをき　してって！
おやすみまえだから
たっぷりあげよう！
20せんち！？
もうまびきしなきゃ！
4月25日(木)
5がつ8か(よう)
5がつ16にち


5がつ23にち
まびいたよ～
5がつ30にち


6がつ5か(いつ)


6がつ12にち
6がつ19にち


めろん画


じゃあ いっしょに
わって しらべよう
つち ほかほか！
おおきくなって
ほしいなぁ
めろん ずかんに
のってない！
4月25日(木)
5月8日
5がつ16にち
しっかり おみずも
あげて おこう！
はなが さいた！
5がつ23にち
じゃあ、これを
つかってみる～？
めろんは あめが
かかると よくないん
だって～
5がつ30にち
6がつ5か(いつ)


ぴったりだ!!
さきっちょを きると
いいんだって～
6がつ5か(いつ)
6がつ12にち
めばなと おばなを
くっつけると めろん
できるんだって～
なんか
かわいてきた
えいようが
たりてない
のかな？
6がつ19にち


からすに たべられない
ように ねっとを はろう！
こっちもって～
うどんこびょうの こと
しらべてきた！

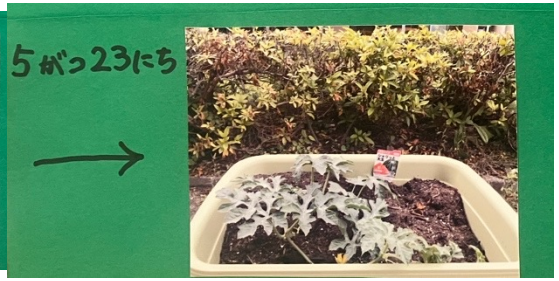

きってみたらめろんだ!!
げんきになあれ～
うわっ！
くさってる！
うめてみよう！
ぽぷらのえいように
なるかな～
くさったのうめると
えいようになる!?


すいか

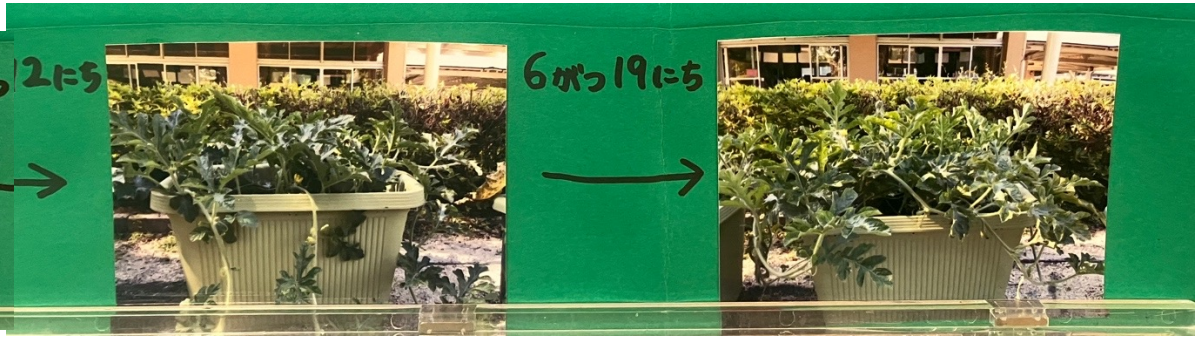

なえが おれないように
やさしく そおっと・・・
これつぼみになりそう！
4月25日(木)
がつ にち もく

5がつ2か
(ふつ)


5がつ16にち


5がつ23にち


5がつ30にち


6がつ2にち
6がつ19にち

５・６歳（3日目・4日目）
まとあてあそび

3日目



一緒に触れ合い遊びや水遊びをしてきて、一年生の友達に親しみを感じてきています。一年生のお兄さん、お姉さんが幼稚園に来てグループで集まる時に今までだと「〇〇グループの人～」と呼んでいましたが、「〇〇ちゃ～ん」と名前で呼び合う姿が増えていました。

的当てでは、より遊びが面白くなるにはどんなルールにしていけばよいか子ども達が話し合って、考えて、試してみようと思えるように、「的に使うカップは１０個全て使うこと」「カップが台の上から全部落ちたらおしまい」この２つだけを伝えて遊びを始めました。

教師は自分達が持ってきた道具を使ってみたり友達が道具を使っている姿を見たりして、水の勢いを比べて、道具を選べるように、勝負の前に道具を使ってみる時間を作りました。子ども達は自分の持ってきた道具を使い比べたり友達と貸し合ったりして道具を選んでいました。



みず、むっちゃいれたらいいんちゃう



ちょっとためしにうってみてよ



これならどうだ



3日目は３グループずつ集まって、２グループで勝負をします。
勝負の準備をしながら作戦を考え始めるグループもいました。的を守る人、的を倒すために攻めていく人と分かれ、自分たちの役割を決めて勝負に臨みます。
カップの的を組み立てる中でテープで的を固定してはどうだろうと試してみるグループもいました。





的を倒す・守るために、右足に体重をかけて、右に進む振りをした時に、左足に重心を移動させ、左に進むフェイントを使い、隙をついて水をかけようとする工夫もありました。







てきをよけるぞ

ふぇいんとをつかって
たたかっています！






いまだっ


とどけ～！！


うわあ～



やってみてどうだった？



これむっちゃみず
はいるんだよ



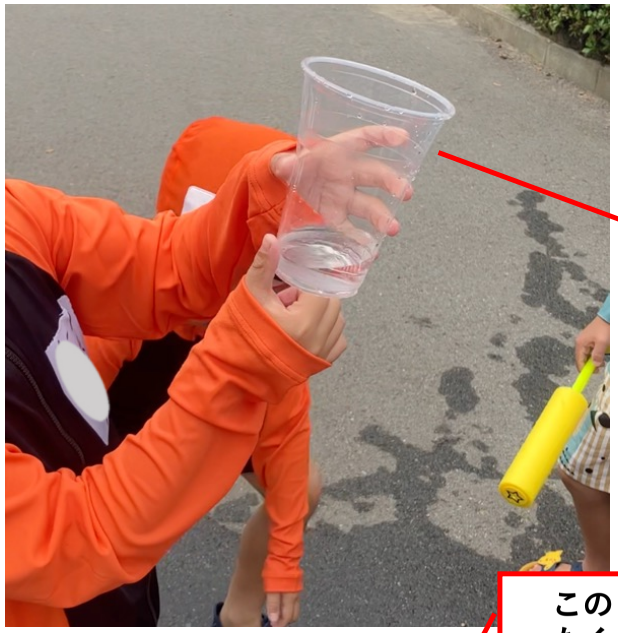
すたあとのばしょ
はどこにする？



かっぷにすなをいれすぎだよ
ぜんぜんうごかなくてこまった

　勝負をしてもっとこうしたら面白いと思ったり楽しく遊ぶためにどうしたよいか考えたり話し合ったり試してみたりすることができるように、教師は子ども達に困ったことはないか、先程みんなで決めたやり方はどうだったのか尋ねたり、出た意見をホワイトボードに書き込んだりしていました。話し合いを重ねていくうちに「やっぱりこのやり方は難しいから新しい方法を考えよう」「水を入れすぎると重すぎてしまうから少しにしよう」などそれぞれの集まった３グループならではの遊び方ができていきます。友達と一緒になって遊びを考えてより面白くなっていくことに楽しさを感じていました。

　次の4回目の遊びに期待がもてるように、次回は３グループが同時に勝負することを伝えると「えぇー！」と笑顔で近くにいる友達と驚いていました。



みずはおやゆびの
だいいちかんせつまで





すなをいれてみたよ

このどうぐはみずが
たくさんでてつよい







みずをいれてみたよ



的に砂や水を入れたり、固定したりする作戦を考えついた子ども達ですが、入れすぎると全く的が動かず「勝負が決まらない」と困っていました。どのくらい入れたらちょうどよい量になるのか、測ってみたり重さが違うと感じたりするように、指で長さを測ったりかっぷに砂や水を少しずつ入れて持ってみたりして、カップに入れる量を子ども達と話し合って決めていきました。量が決まったら、自分たちの指やカップの印を目印に砂や水の量をピッタリに入れようと調節する姿が見られました。

４日目

登園してきて、子ども達は「まけへんで」と的当てへの意気込みを話し合っていました。中には強そうな新しい道具を持ってきている子もいて準備はバッチリです。







きづかれていないうちに…！

これはそんなにつよくなさそう





からだをあいてのうごきにあわせて、みずからまとをまもっています！



まとはまもるぞ





みずとすなのりょうは
このくらい？







これけっこうおもいで

どっちから
いこうかな





うごきすぎて
じぶんのちいむの
ばしょがわかんな
くなってきたよ



さきにみずをいれてじゅんびをしておこう



みずとすなをかっぷにいれたらたおれにくかったよ

みずとすなのりょうはみんなできめたけど、かさねるのはあり？



これはぜったいたおれないね



いいことおしえてもらったね



３グループが一気に勝負をすると人数が多くなることはもちろんですが、守りと攻める人数が少なくなってしまいます。たくさんの水を使うので、水を何度も汲みに行かなければなりません。そこで子ども達は何度もタライまで戻りにいかなくてもよいように、給水ポイントを作ったりよりたくさんの水が入りそうな道具を選んだりしていました。自分たちで考えがうまくいったことに満足できるように、考えた作戦を発表し合ったり教師がうまくいってよかったことを言葉にしたりしました。

友達が考えた作戦のよさを知ったり認めたりするように、どんな方法でしてみたのかを尋ねたり実際にしている姿を見せ合ったりしていました。



まんなかに
かためたら
たおれにくそう

いっかしょだけとめてい
いってことにしたね！











みんなでいっせい
こうげき！





最後は友達が考えたことに興味をもったり、していたことを知ったりするように、みんなで集まって自分たちのグループで考えた作戦、うまくいった作戦を発表しました。
一年生と別れるときは、「また遊ぼうね」とそれぞれが言葉を交わして別れていました。この４日間で子ども達同士が関わり合って親しみが深まったように感じています。

やってみてこれよかったよ
っておもったさくせん
ありますか



はあ～い



おおきいばけつで
やったら、たくさ
んまとがたおれた





またね

この遊びに見られる子どもの姿	資質・能力
○小学校のお兄さん、お姉さん達と一緒に的当てをすることを楽しみにしたり、遊びをもっと楽しくしたい、的当てで勝ちたいと思い、遊び方を考えたり、倒れにくい的にしたいと思ってカップに入れるものを工夫したり、何度も試したり、挑戦したりしようとしている。	自ら決める・選ぶ 問題を認識する
○的に当てることができた、的を守りきることができた、よい考えを思い付いた、自分たちの考えた作戦がうまくいった、より面白い遊び方になったことを嬉しく思ったり認めてもらったりして満足している。	自分に満足する
○同じグループの友達と会えたことを嬉しく思ったり一緒に的当てをしたり考えを出し合ったりグループで守ったり攻めたりして、幼稚園や小学校の先生や友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じている。	他者といる喜びを感じる
○同じグループの友達がしたことや違う場所でしていた友達の工夫していたことを見たり聞いたりして、友達の意見に関心を寄せたり考えのよさを感じたり認めたりしている。	他者のことを知る
○自分の気持ちや考えを友達に伝えようとしたり、分かってもらえるように前に出てきて話したり、相手に呼びかけてから話し始めたり声を少し大きく出したりして伝えようとしている。	自分のことを伝える
○同じグループの友達とより遊びを面白くしたりどうやって相手の的を倒すのか考えたりするために、的を守る役攻める役に分かれて勝負したり、考えを伝えたり、友達の考えを受け入れたりするなどして、同じグループの友達全員で気持ちや考えを言ったり聞いたりして、遊びを進めようとしている。	人と物事を進める
○的を守ったり攻めたりするために、相手の動きを見ながら、足の重心を素早く入れ替えてフェイントをかけたり相手の動きに合わせて素早く自分の動きを調節したりしようとしている。	身体を操作する 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
○的のカップに砂や水を入れることによって衝撃に強くなることに気付いたり、カップを積み重ねると高さが出て倒れやすいことを感じたり、使う道具によって水が飛ぶ距離や量が違う等ものの性質を感じて楽しんだり、驚いたり、面白いと思ったり、より倒れにくい的を作ったり遠くに跳ばす方法探したりするために、予想して予想したことが確かなのか試したり確かめたりしている。	事物・現象を捉える 問題を認識する 推論する 実行し、その結果を基に判断を下す
○勝負を重ねていきながら的の積み方や置き方を考え、先ほどとは違う組み方をしてみようとしたり動かしたりしようとしている。	場や状況を整える

みんなで　たのしく　がんばる　さくらすぽうつりれえ

２学期が始まって数日経った頃、一人の子どもがぽつりと「リレーもしたい！」と呟いたことから、やりたい子ども達でリレーの遊びが始まりました。
最初から決まったルールでするのではなく、子ども達が必要に応じてルールを作ったり変えたりしていってほしいと思い、このままではうまくいかないだろうと分かってはいながらもまずは見守ることにしました。





最初のリレーでは、リレーで走る場所に並び、次が誰か分からなかったり、いろいろな友達にぶつかりながら走る様子が見られました。「走りにくそうだね」「次誰か分かった？」など子どもの困り感を呟いたりや尋ねたりすると、子ども達から「ぶつかるし次誰か分からん！」「芝生に並ぼう！」と声を掛け合ってもう一度やり直していました。最初のリレーではたくさん走りたい思いから、アンカーという考えは子ども達にはなく、エンドレスリレーを楽しんでいました。

好きな遊びでリレーを楽しんだ子ども達からは「次は１組対２組でしたい！」という声が上がり、クラス対抗リレーをすることになりました。リレーをする前に好きな遊びのリレーで感じたことや考えたルールを伝えあい、最初に確かめたいことを尋ねました。子ども達からは走るコースのこと、そして昨年のさくら組さんのように、技もしたいという思いなどが出てきました。







子ども達の中には１回戦・２回戦という考えはなく、最初は全員で繋ぐリレーから始まりました。そこからあまりに１回が長いことあり、１回戦と２回戦に分けることになりました。





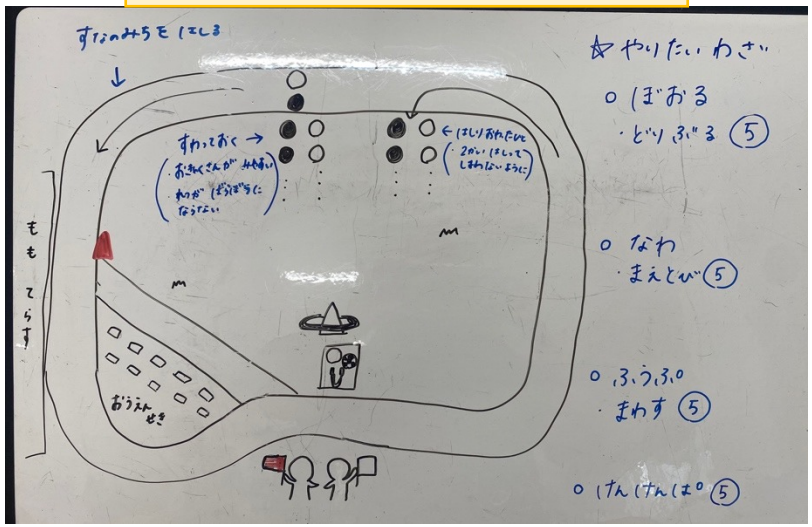
フープが体に当たるタイミングに合わせて、腰を動かしていますね！



早速やってみると、やってみて気付いたことやみんなで確かめたいことが出てきました。さくら組のリレーではやっていく中で子ども達の気付きから話し合い、ルールを作ったり変えたりすることを大事にしています。

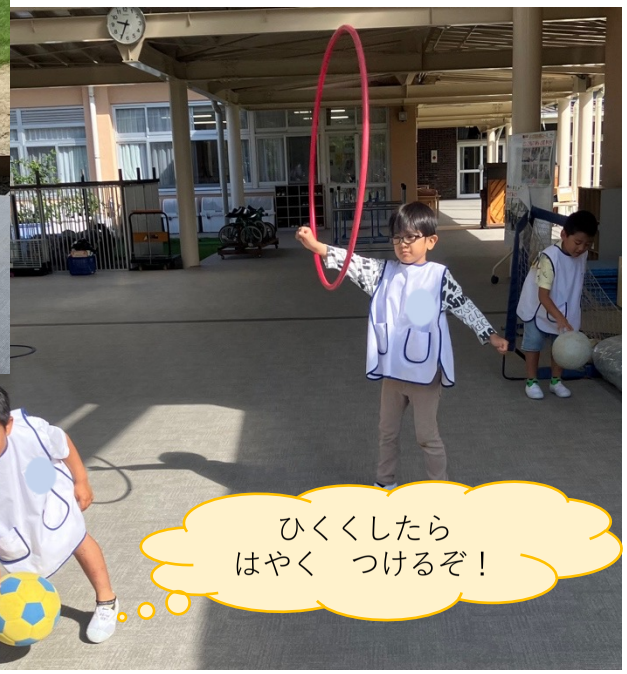


1かいせんがおわったあと

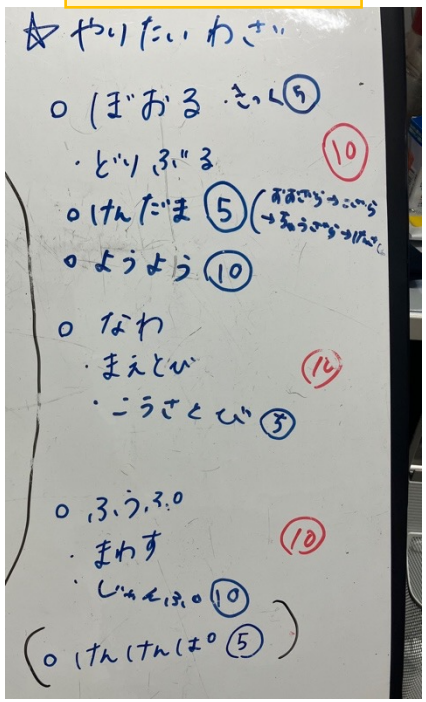


どんな技を何回するかを決めることもさくら組のリレーで大事な要素の１つです。最初は自分が今できる技がたくさん上がり、それをまずやってみることを試していました。ですが、どんなリレーにしたいのか、どんな思いで技を選びたいと思っているのかもう一度尋ねると、今できることをもっとうまくなりたい、まだ難しい技に挑戦したいという思いが出てきました。そこから、自分でやりたいと思っている技を好きな遊びなどでもする姿が増えてきました。



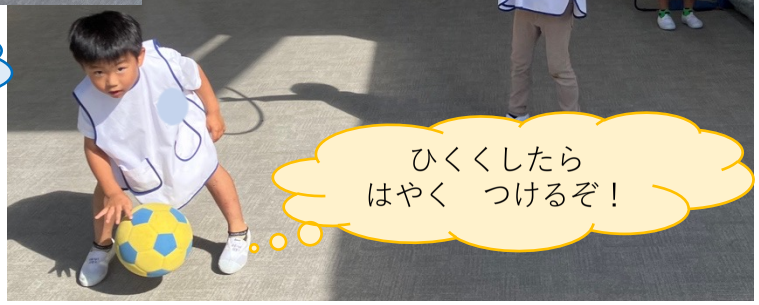


がんばりたいわざ





ふうぷじゃんぷも
ためしてみよう



ひくくしたら
はやく　つけるぞ！

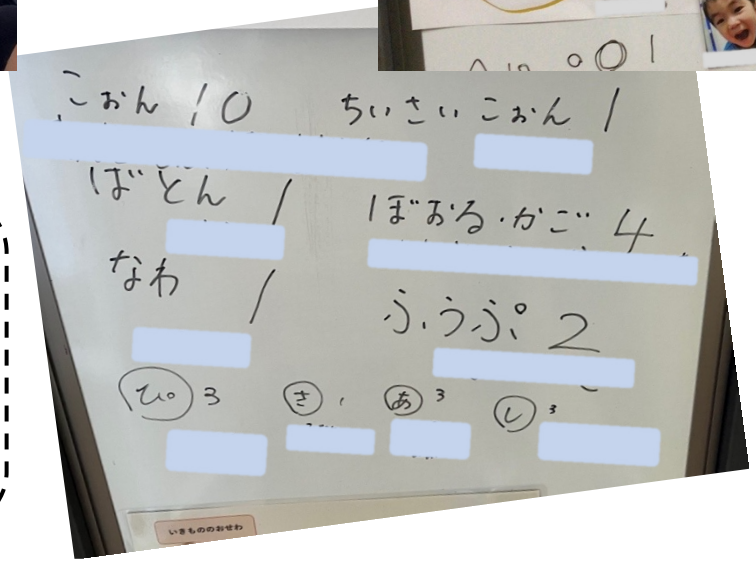
けん玉やヨーヨーなど新たな道具を使った技も出てきました。コマなども出てきましたが、「巻くの時間かかりそうじゃない？」「どこで回すの」など子ども達から疑問が出てきました。挑戦したい気持ちと実際リレーとしてする時に適しているのかを考えながら決めています。ヨーヨーを実際にした子どももいましたが、巻くのに時間が掛かり、話し合って子ども達の中の選択肢としてはなくしました。

うめ組やもも組にも見てもらったリレーでは、自分達やお客さんのために走る人以外は座って待っておくと決めていたものの、気持ちが昂りそのことをすっかり忘れ最後にはほぼ全員立っているような姿が見られました。その姿を写真で見せると、「え、こんな立ってたんや」「これじゃあ見えないね」と自分達の姿を自覚し、走る時以外もどんな姿を見せたいのかを意識するきっかけになっていました。









学年でリレーをする際、毎回始まるまでにとても時間が掛かってしまっています。自分の準備は終わった、自分は並んでいるという思いから、まだ準備物が揃っていなかったり、人数調整ができていなかったりしても「先生まだ？」「早く始めて！」と言う子どもも多くいます。もっとリレーをみんなで進めていこうと思えるように、準備ができたら始めようと思っていることを伝えたり、今自分が何ができそうか尋ねたりしています。少しずつ休みの友達の準備物を気にしたり、人数が揃っているか確かめたりする姿も出てきました。



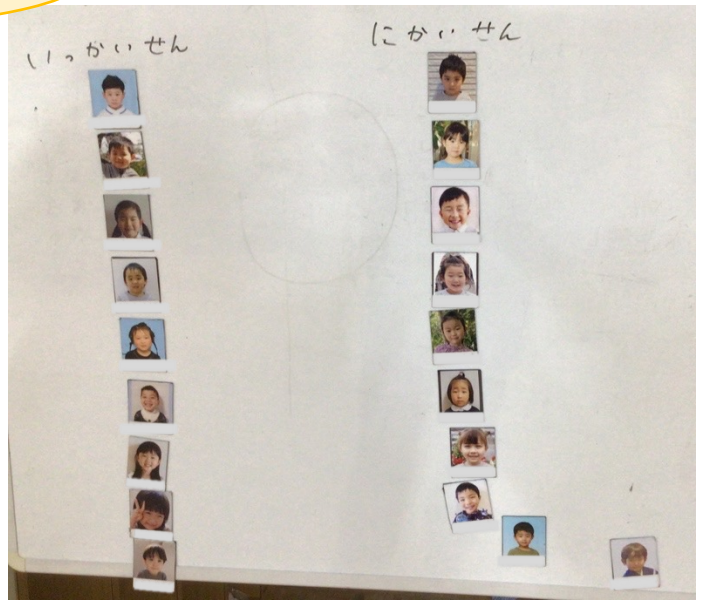


リレーが始まるまでに時間が掛かる理由として、準備物が揃わないことと、人数が揃わないことが毎回上がっていました。準備物に関しては役割を決めたらいいという考えが子どもから出てきて、子ども達の中で自分の準備するものを決めています。準備と片付けをどちらも経験できるように、１組と２組の交互でしています。

最初に走るのに自信がある人、真ん中は技に自信がある人、最後も走るのに自信がある人がいいんじゃないか、という作戦から決まっていきました！
その際友達の頑張りも感じて推薦する姿もありました。

人数を揃えることは毎回大芝生についてから確かめていました。本番の日もそうするつもりでいるのか尋ねると、そんな姿は見せたくないという声が上がりました。教師が状況を整えて人数が揃うようにしてあげるのではなく、自分達で集まったり人数を数えたり、揃えたり、２回走る人を決めたりしてほしいとと思い、あえて全員で集まって決める時間は設けず、自分達で次のリレーまでに決めることを伝えました。子ども達の必要感で各クラスで順番を決め、リレーに臨む様子が見られ、子ども達の成長が見られました！





この遊びに見られる子どもの姿	資質・能力
前よりも速く走れるようになりたい、ボールや縄、フープの技を上達 させたい、今までやったことない道具や技に挑戦したい、バトンを落とさないようにしたい、勝ちたいなど、自分の目標に向けて何度も練習した り、最後まで全力を出したりしようとしている。	自ら決める・選ぶ 問題を認識する
前よりも速く走れた、勝った、ボールや縄、フープの技が上達したなど自分の目標を達成したり、それに近付いたことや目標に向 けて一生懸命頑張ったこと、自分達で準備や片付けを進めていることや、最初難しさを感じていたことができるようになったりした ことを感じて自信をもっている。	自分に満足する
自分で振り返ったり、先生や友達に自分の頑張りを言葉にしてもらったりすることで、上達するため、勝つために走ることや技を何度も試したり、もっと上手くなりたいと思ったり、技がうまくいかなかった時や負けた時に悔しさを感じる自分に気付いたり、認めたりしようとする。	自分のことを知る
友達と一緒に技を頑張ったり走ることに誘ったり、励まし合ったり、頑張りを認めてくれたりする友達がいる嬉しさを感じたり、勝ったことを友達と一緒に喜んだりしている。	他者といる喜びを感じる
友達が好きな遊びで何度も技をしている頑張りや上手くなるための工夫、技や走ることが苦手だと言ったら助けてくれる素敵なところなどに気付いたり認めたり、友達の表 情や動き、話、その状況から、気持ちやその気持ちになった理由を考えたり、 知ったり、認めたりしようとしている。	他者のことを知る
勝負に勝つために、どうしたら技が上達するか一緒に考えたり、芝生でボールをすると跳ねにくいなど自分の知っていることを友達に教えたり、一緒に練習したり、応援したり、友達と作戦を考えたり決めたりしている。	人と物事を進める 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
皆が納得して遊ぶために、必要を感じてチームの人数や、使用する道具、技の回数、走るコース、並ぶ場所、走る時以外の待ち方などの遊び方やルールを、友達と一緒に考えたり決めたりしようとしている。	人と物事を進める 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
友達と一緒に準備や片付けをするために、自分ができることをしようとしたり、全員で準備や片付けをしたいと思い、道具の担当を決めたり、欠席の友達の分を誰がした方がいいか話し合おうとしたり、全ての準備物が揃っているか、片付いているか確かめたり、決めた役割を責任もってしようとしたりしている。	人と物事を進める
力いっぱい走りきる気持ちよさやスピード感、コーナーを曲がる時に外 側に広がる感覚、続けてボールを受けて突き出す感 覚、縄が足元に来るタイミング合わせて跳ぶ感覚、フープの動きを感じて体でフープを押し出す感覚など、走ったりボールや縄、フープを使ったりすることで感じる様々な感 覚を感じている。	身体を操作する
どのようにしたら速く走れたり、上手くボールが突けたり、縄が跳べたり、フープを 回せたりするのかを考えたり、コースを走ったり、ボールのつき方や縄の回し方 や跳び方、フープを回す際の体の動かし方を変えたりして試したり、走ることやボール、縄、フープが得意な友達の走り方 動きを見たりして、ボールは低く突くと速く突けるなどのコツをつかんだり体で覚えたりしようとしている。	身体を操作する 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する

この遊びに見られる子どもの姿	資質・能力
ボールを突く場所や突き方によって弾み方が変わることや、ボールによって大きさや重さ、弾み方が違うこと、縄やフープを回す速さや回し方によって様子が変わること、コーンは離れても見やすいことなど、道具の特徴や様子の変化の面白さや不思議さを感じ、扱い方に慣れながら準備や片付けをしようとしたりする。	事物・現象を捉える
チームの人数を揃えるために、数えたり、比べたり、差を感じたり、人を増減させたり一人が走る回数を増やしたりなどして調整したりしようとしている。	数・量を捉える 比較する
競争したり、友達が競争しているのを見たりして、相手との距離が縮まったり広がったりしたことを感じたり、そのことから、速さの違いを感じたりしている。	数・量を捉える
隣との距離を考えてコーンを置いたり、等間隔に置けているか確認したり、距離が近かったり離れたりしていることを感じて置く位置を調節したり走っている相手チームと自分のチームが離れている距離を見て戦況を感じたりしている。	空間を捉える 問題を認識する 実行し、その結果を基に判断を下す
走っている人が見やすいように、並ぶ位置や向きを考え整えたり、これから走る人と走り終えた人が分かりやすいように、待つ場所を設定したり、コーナーでショートカットしやすいと感じてコーンをコーナーに置いたりするなど、必要に応じて遊びがしやすいように場を整えようとしている。	場や状況を整える 問題を認識する 実行し、その結果を基に判断を下す





約１ヶ月の間、子どもと考えたプログラム名通り「楽しく」「頑張る」経験をしてきました。５歳児になると本番への気持ちは楽しいだけでなく、緊張や不安も大きくあるんだなと感じています。子ども達から「本番こけるかも」「技が上手くいかないかも」などという気持ちも言葉として出てきていますが、「でも諦めない！！」という思いはそれ以上にあります！子ども達の過程を姿から想像したり結びつけたりしてぜひ応援してください！



令和６年 11 月 30 日
神戸大学附属幼稚園

令和６年度　幼 児 教 育 を 考 え る 研 究 会
令和６年度　全国幼児教育研究協会　兵庫支部研修会

＜幼児教育を考える研究会　今年度テーマ＞
「遊びの中の学びを見取る　～資質・能力の発揮、伸長を支えるために～」

本研究会は、子どもの事実に基づいて語り合う参加型研究会です。参観者がとらえた印象ではなく、子どもの事実と事実の解釈に基づいて、語り合いましょう。

子どもは遊びや生活を通して、様々なことを学んでいます。保育参観を通して、子どもがどんな資質・能力を発揮、伸長して遊んでいるかを、本校園で見出している資質・能力を観点にして丁寧にとらえ、他の参加者の方とともに、遊びの中の学びを見取っていきましょう。

参観後、子どもが遊びの中で、資質・能力を発揮、伸長している姿を『学びのカード』に書いてください。その際、思い込みにとらわれないように、子どもの事実と事実の解釈を分けて書きましょう。この『学びのカード』を基に、グループ協議で、遊びの中の学びについて語り合います。

参観の際には、子どもの姿を行動・発言だけでなく、表情・しぐさ・視線などの細かな点にも注目して記録しましょう。また、学びのカードには教師の援助や環境の構成からとらえた教師の意図についても記録しましょう。

☆**事実**とは、解釈を入れないありのままの子どもや教師の発言・行動・表情・しぐさ・視線などのことです。保育を見ていない人にも伝わるように書きましょう。
☆**解釈**とは、事実からとらえた子どもの内面などのことです。印象ではなく、必ず、自分が見た子どもの事実に基づいて書きましょう。
☆**教師の意図**とは、教師の援助や環境の構成から読み取られた教師の意図のことです。

＊**取り上げる遊び**については、**指導案の表紙**に示しています。
＊**『学びのカード』は、12 時 10 分までに、遊戯室を出たところに提出してください。**

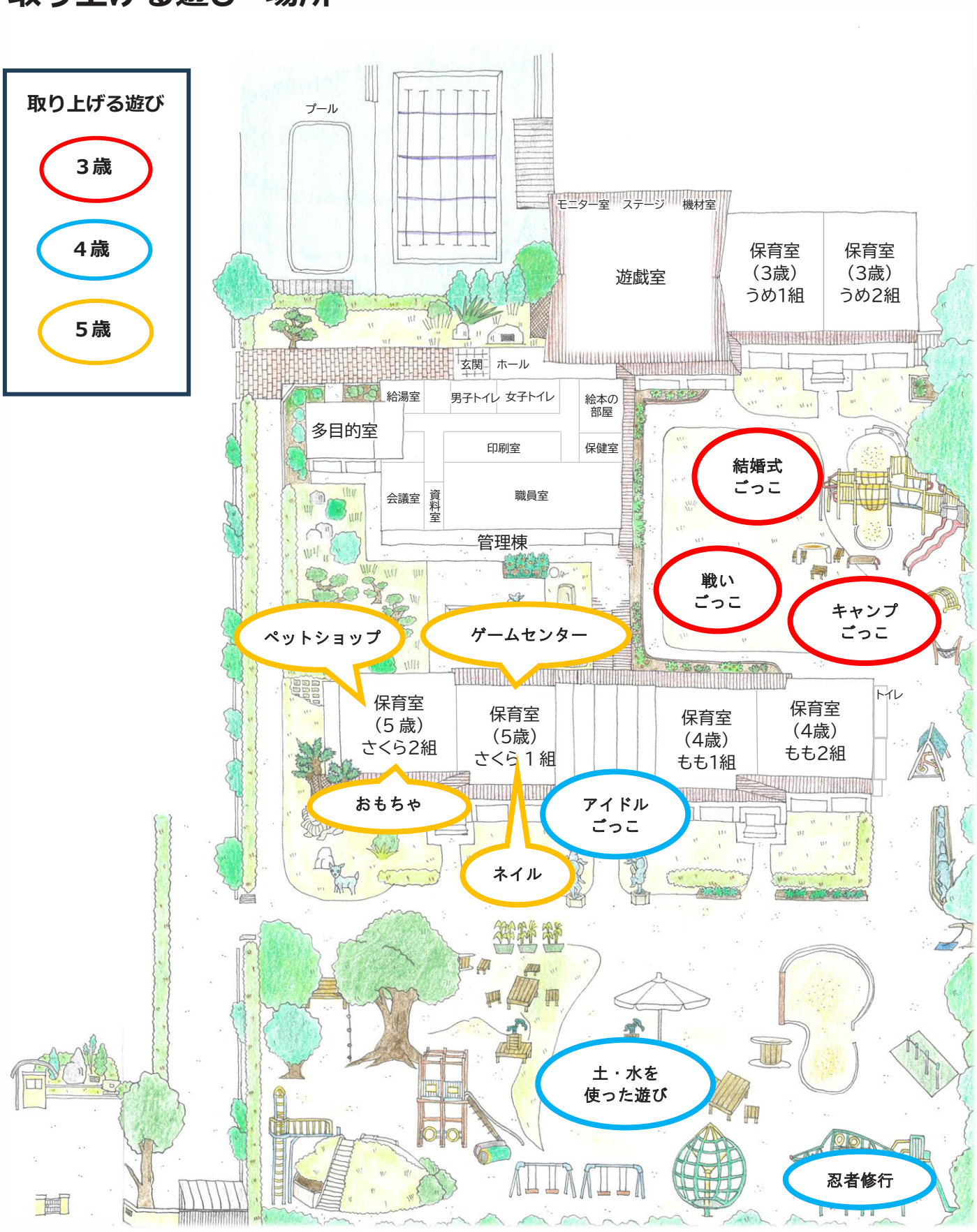
〈本日の流れ〉

9:10～ 9:30	**研究会の趣旨説明**（必ずご参加ください。）	＜遊戯室＞
9:30～11:30	**保育参観及び記録**	
11:30～12:10	**『学びのカード』記入**（提出は 12:10 まで）	＜遊戯室＞
	（昼食・移動）	＜遊戯室、保育室＞
13:10～14:45	**グループ協議**	＜保育室＞
	（休憩・移動）	
15:00～15:30	**全体会**	＜遊戯室＞
15:30～16:30	**講話「保育のノロイをちょっぴりほぐす」**	
	神戸大学大学院 人間発達環境学研究科　教授 赤木 和重 先生	

〈公開保育クラス〉

３歳児	う　め１組	（背番号　赤　1～20）	長野　萌映
３歳児	う　め２組	（背番号　赤 21～40）	森　　香奈子
４歳児	も　も１組	（背番号　青　1～20）	髙橋　梨花
４歳児	も　も２組	（背番号　青 21～39）	千葉　加奈子
５歳児	さくら１組	（背番号　黄　1～19）	小園　佳歩
５歳児	さくら２組	（背番号　黄 21～39）	筒井　日奈子

取り上げる遊び・場所



トイレは、管理棟の他に各学年の保育室にもございますので、ご利用ください

学びのカード

※

日	令和４年 12 月５日（月）	時刻	9：45
年齢	３歳 ・ ４歳 ・ ５歳	場所	園庭
遊び名	落ち葉滑り台		

事実 （発言、行動、表情、しぐさ、視線など）	・解釈（事実からとらえた子どもの内面） ◎教師の意図
滑り台の近くに、ワイヤーネットで作った高さ 30 ㎝、直径２ｍほどの囲いがあり、中に落ち葉を集めている。	◎落ち葉を様々に使って遊ぶ楽しさを感じられるように、囲いを置いて落ち葉を集めておいた。
46（笑顔で滑り出し部分に座っている。） 教師（46 を見て笑顔で滑り台の滑り終わり部分に落ち葉を子ども用の熊手ですくってのせる。）	・落ち葉滑り台を滑ることを楽しみにしている。 ◎滑り台に落ち葉をのせて滑りたいという思いがかなうように、滑り台の滑り終わり部分に落ち葉をのせた。 ◎勢いよく落ち葉に向かって滑るスリルや、落ち葉を体で押し出す感覚を感じて楽しめるように、滑り台の滑り終わり部分に落ち葉をのせた。
49（教師が落ち葉を熊手でのせている様子や 46 の様子を見て、遊具に登り始める。） 46（微笑んで教師が落ち葉を熊手でのせる様子を見る。笑顔で滑り台を滑り始め、落ち葉を体で押し出す。）	・落ち葉滑り台が楽しそうでやってみたいと思った。 ・落ち葉滑り台を滑ることを楽しみにしている。 ・先生に落ち葉をのせてもらって嬉しい。 ・落ち葉に体が突っ込むことが面白い。
教師（笑顔で）「シュー！どうですか？」	◎勢いよく落ち葉に向かって滑るスリルや、落ち葉を体で押し出す感覚を感じて楽しめるように、滑る様子を言葉で表して喜んだ。 ◎滑って感じた思いを表せるように、どう感じたか尋ねた。
46（教師と目を合わせ、笑顔で着地し走り出す。遊具に登って再び滑り出し部分に向かう。） 教師（49 が滑り出し部分まで来たのを見て、落ち葉を熊手で滑り終わり部分いっぱいにのせる。）	・落ち葉めがけて滑れて楽しい。 ・もう１度滑りたいと思った。 ◎滑り台に落ち葉をのせて滑りたいという思いがかなうように、落ち葉を滑り終わり部分いっぱいにのせた。 ◎勢いよく落ち葉に向かって滑るスリルや、落ち葉を体で押し出す感覚を 49 も感じて楽しめるように、滑り終わり部分いっぱいに落ち葉をのせた。
49（滑り出し部分に座り、教師に向かって）「もっともっともっともっと！」	・先生に落ち葉をのせてもらって滑ることを楽しみにしている。 ・もっとたくさんの落ち葉をのせてほしいことを「もっと」を何度も言って伝えようとしている。
教師（落ち葉を熊手でのせながら）「もっともっともっともっと！？」	◎たくさんの落ち葉をのせて落ち葉に向かって滑りたいという思いがかなうように、滑り終わり部分に落ち葉をのせた。 ◎教師と同じ言葉を繰り返してやりとりする楽しさを感じられるように、49 の言葉をリズムよく繰り返し、驚いてみせた。
49（教師を見て笑顔で）「もっともっともっともっともっともっと！！」	・さらにたくさんの落ち葉をのせてほしい。 ・先生と同じ言葉を繰り返し言うことが楽しい。 ・何度も繰り返し「もっと」とリズムよく言うことが楽しい。
教師（落ち葉を熊手でのせながら）「もっともっと…。どうですか？」	◎たくさんの落ち葉をのせて落ち葉に向かって滑りたいという思いがかなうように、49 の言葉を繰り返しながらさらに落ち葉をのせて、十分な量になったか尋ねた。 ◎教師と同じ言葉を繰り返してやりとりする楽しさを感じられるように、49 の言葉をリズムよく繰り返して言った。
49（教師がのせた落ち葉を見て笑顔で滑り始める。落ち葉を体で押し出し、笑顔で立ち上がる。）	・滑るのに十分な量まで落ち葉が増えたと思った。 ・勢いよくたくさんの落ち葉に向かって滑るスリルや、落ち葉を体で押し出す感覚を感じて楽しい。

学び［黄 49］	勢いよくたくさんの落ち葉に向かって滑るスリルや、落ち葉を体で押し出す感覚を感じて楽しいと思う。	資質・能力 身体を操作する
学びの要因 （教師の援助、環境の構成、状況等）	・落ち葉を様々に使って遊ぶ楽しさを感じられるように、囲いを置いて落ち葉を集めておいたこと。 ・教師と友達が先に落ち葉滑り台で遊び始めていたのを見ていたこと。 ・たくさんの落ち葉をのせて落ち葉に向かって滑りたいという思いがかなうように、教師が滑り台の滑り終わり部分に落ち葉をのせたこと。 ・勢いよく落ち葉に向かって滑るスリルや、落ち葉を体で押し出す感覚を感じて楽しめるように、教師が滑り台の滑り終わり部分に落ち葉をのせたこと。	

※印刷の都合上、枠内に収めてご記入ください。

グループ協議の進め方

＊子どもの事実に基づいて、遊びの中の学びをとらえましょう。
＊常に事実を基に話ができているか、確かめ合いながら協議しましょう。

（１） 各々の「学びのカード」について、下の①②③④を繰り返し、グループ全員の「学びのカード」について協議を深める。

① ご自身の「学びのカード」について話す。（１枚目）

「学びのカード」

事実	・解釈 ◎教師の意図
㋑	㋒
学び	㋐
学びの要因	㋓

㋐自分自身が今日の遊びの中でとらえた、子どもにとっての「学び」は何か。
㋑それは具体的に、どんな「事実」が基になっているか。
㋒「事実」をどのように「解釈」したか。
㋓「学び」に至る要因（環境の構成や教師の援助、状況等）は何か。

＊グループに同じ場面の「学びのカード」がないか確かめる。あれば、続けてその「学びのカード」について話す。

② １枚目の「学びのカード」を基に、子どもの「学び」について話し合う。

＊他の方がとらえた事実がさらにあれば挙げたり、解釈が異なっているところや疑問があれば、子どもの事実を基に、何が「学び」かを確かめる。グループ全員で協議し、共通理解した子どもの「学び」を付箋に書く。

ピンク付箋
共通理解した「学び」

③ 共通理解した「学び」が、どの資質・能力の方向に向かっている姿かとらえる。

＊共通理解した「学び」が、どういう方向に向かっている姿なのかを、別紙資料「神戸大学附属幼稚園・小学校　資質・能力の定義」「神戸大学附属幼稚園　入園から修了までのねらい一覧」に照らして考える。とらえた資質・能力名を付箋に書き、模造紙に資質・能力毎に「学び」を貼っていく。（次ページ参照）

ブルー付箋
資質・能力名

④「学び」に至った要因（環境の構成や教師の援助、状況等）は何か検討する。

＊共通理解した「学び」につながったと思われる学びの要因を協議し、簡潔な文章にして、付箋に書く。

イエロー付箋
「学び」に至った要因

⑤ 次（２枚目）の「学びのカード」へ

※協議の中で、新たにとらえられた「学び」（資質・能力を伸長している姿）が出て来たら、ピンク付箋に書く。
※グループ協議の中で、気付いたことや考えたこと、話題に上がったことを赤マジックで随時模造紙に書き込む。

（２）協議を振り返る。

遊びの中の学びを事実と解釈に分けて丁寧に見取ることや、本校園で見出している資質・能力を観点にして学びを見取ったことについて、また、グループの話題の中心になったことなどについて、簡潔にまとめ、赤マジックで書く。（掲示し、他のグループと交流します。）

グループ協議用紙について

各グループで協議された遊びの中の「学び」や「学びの要因」について、また、協議の話題を、皆さんで共有したいと思います。

模造紙や付箋を例のようにお使いください。

＜例＞

＜A グループ・５歳・ショーごっこ＞

本校園で見出している「資質・能力」を**ブルー付箋**に書く。

別紙資料「神戸大学附属幼稚園　資質・能力の定義」「神戸大学附属幼稚園　入園から修了までのねらい一覧」等に照らし、どの方向に向かっている姿かを、資質・能力毎に集めて貼る。

人と物事を進める

＜学　び＞	＜要　因＞
・・・ようとする。	・・・がいたこと。

身体の動きに表す

＜学　び＞	＜要　因＞
・・・しようとする。	・・・したこと。

＜学　び＞	＜要　因＞
・・・を楽しむ。	・・・があること。

グループ協議で共有された「学び」を**ピンク付箋**に書く。

「学びの要因（環境の構成や教師の援助、状況等）」は簡潔な文章にして**イエロー付箋**に書く。

協議の中で、気付いたことや考えたこと、話題になったことなどを**赤マジック**で空いているところに随時記録する。

自分のことを伝える

＜学　び＞	＜要　因＞
・・・しようとする。	・・・が ・・・したこと。

○神戸大学附属幼稚園の資質・能力を観点にしてとらえると、・・・だった。
○遊びの中にある豊かな学びを発信するには・・・である。
○同じ事実を見取っても、人によって・・・など様々な解釈があった。
○・・・とは、どういうことだろう？
○・・・の議論が盛り上がった。

令和６年度　幼児教育を考える研究会　アンケート（Google フォーム）回答のお願い

本日はご参加いただきありがとうございました。本研究会が研修の場として参加者の皆様のお役に立てているのかを把握することで、今後も学び合いや資質向上につながる研究会を目指して参ります。つきましては、アンケートへのご協力をお願いいたします。

回答は Google フォームへ

パソコンからの方は、神戸大学附属幼稚園の HP よりご回答ください。
https://www.edu.kobe-u.ac.jp/hudev-akashikg/

アンケートの内容

１．所属　□国公立幼稚園　□公立保育所　□国公立認定こども園
□私立幼稚園　□私立保育所　□私立認定こども園　□行政　□大学　□その他

２．所属名（省略可）

３．経験年数　□１～３年　□４～１０年　□１１～２０年　□２１年以上　□なし

４．参加回数　□初めて　□２回目　□３回目以上

５．学びのカード番号

６－１．事実と解釈を分けて子どもの学びをとらえることは、意味があると感じた。
□あてはまる　□ややあてはまる　□あまりあてはまらない　□あてはまらない
－２．上記についてのご意見、ご感想をお聞かせください。

７－１．資質・能力が詳細で明確になっていることは、保育の充実につながると感じた。
□あてはまる　□ややあてはまる　□あまりあてはまらない　□あてはまらない
－２．上記についてのご意見、ご感想をお聞かせください。

８－１．一つの遊びの中に、様々な資質・能力を発揮、伸長する姿を見取ることができると感じた。
□あてはまる　□ややあてはまる　□あまりあてはまらない　□あてはまらない
－２．上記についてのご意見、ご感想をお聞かせください。

９－１．グループ協議を通して、様々な考えに触れることで自分自身の学びにつながった。
□あてはまる　□ややあてはまる　□あまりあてはまらない　□あてはまらない
－２．グループ協議を通しての気付きやご感想を自由にご記入ください。

10－１．講師の先生による専門的な立場からの講話は参考になった。
□あてはまる　□ややあてはまる　□あまりあてはまらない　□あてはまらない
－２．グループ協議を通しての気付きやご感想を自由にご記入ください。

11．公開保育を参観されてのご意見、ご感想をご記入ください。

12．参観されたクラス
□うめ１　□うめ２　□もも１　□もも２　□さくら１　□さくら２

13．本日の研究会で学んだこと、分かりにくかったこと、自園に持ち帰って園内研修でしてみたいことなどを自由にお書きください。
また、本研究会をよりよい研究会にするためのアイデアがありましたらご記入ください。

14－１．初任者研修、中堅教諭等資質向上研修、所属所や教育委員会で定められた研修などの一環として参加されている場合は、その研修名をご記入ください。

14－２．研修名を記入いただいた方の所属されている市区町村をご記入ください。

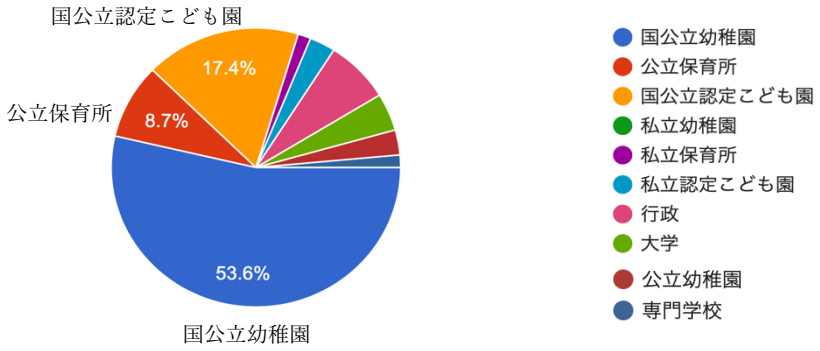
15．これまでにもご参加いただいている方にお尋ねします。本研究会での学びをご自身や所属園の取組に生かされていることがありましたら、全てご選択ください。
□事実と解釈を分けた記録の方法　□意図と行為をセットにした環境の構成や教師の援助の書き方
□指導案への「評価の観点」の記載　□ドキュメンテーションの作成
□本校園の資質・能力　□「遊びや生活のまとまりとしての計画」の考え方
□その他（自由記述）

令和６年度　幼児教育を考える研究会　アンケート結果

参加者 158 人

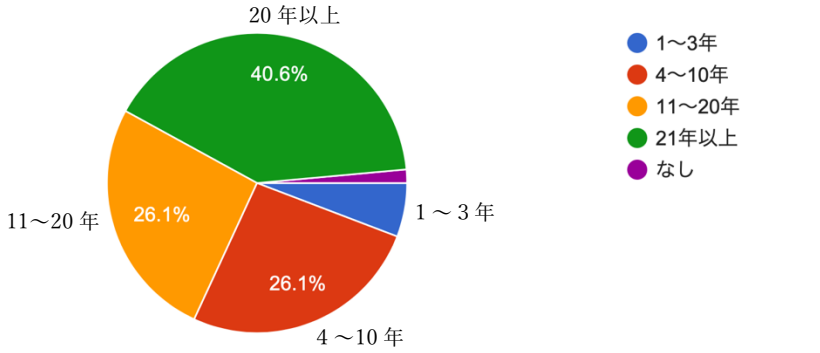
１　所属

69 件の回答



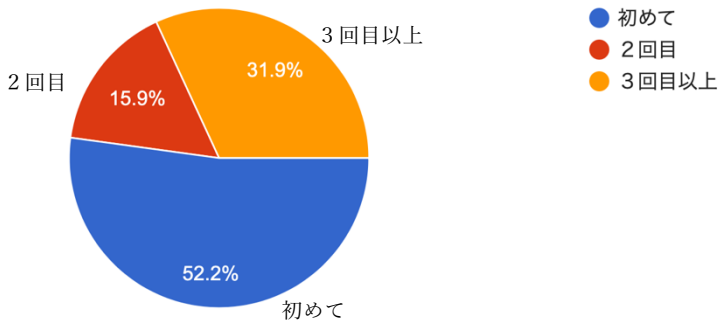
３　経験年数

69 件の回答



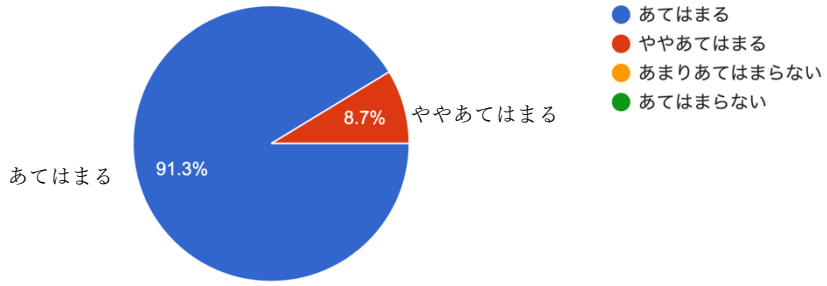
４　参加回数

69 件の回答



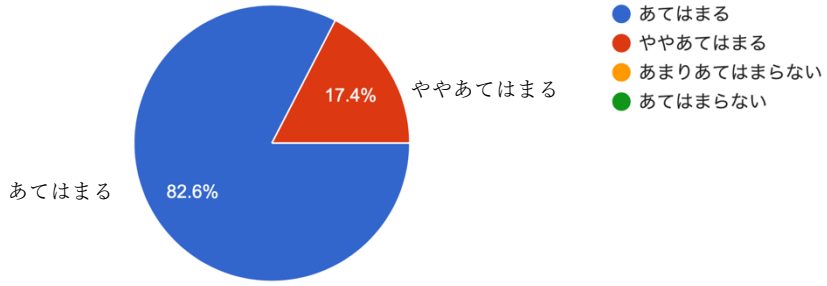
6-1　事実と解釈を分けて子どもの学びをとらえることは、意味があると感じた。

69 件の回答



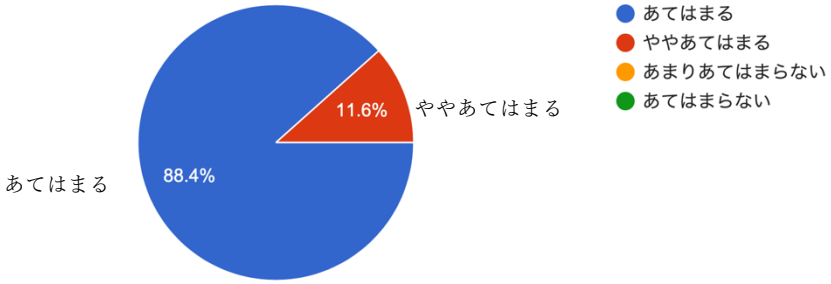
7-1　資質・能力が詳細で明確になっていることは、保育の充実につながると感じた。

69 件の回答



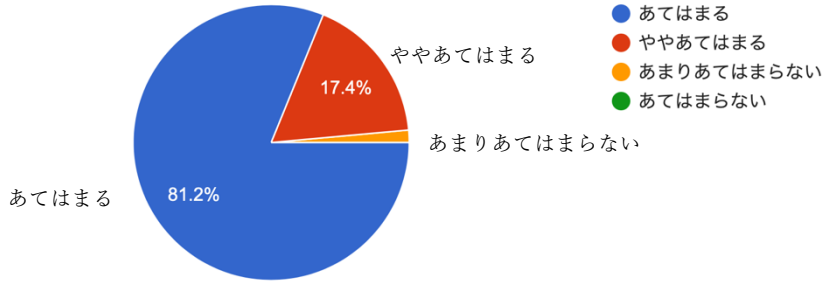
8-1　一つの遊びの中に、様々な資質・能力を発揮、伸長する姿を見取ることができると感じた。

69 件の回答



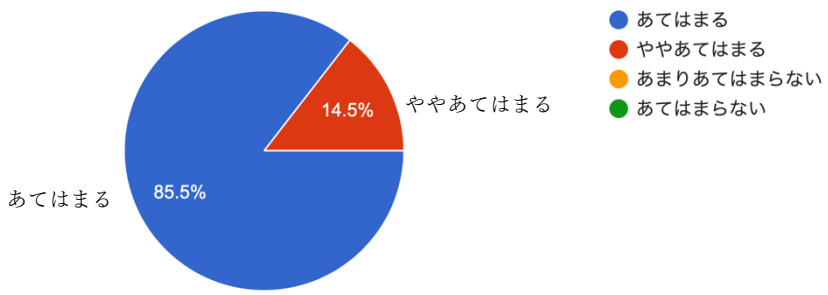
9-1　グループ協議を通して、様々な考えに触れることで自分自身の学びにつながった。

69 件の回答



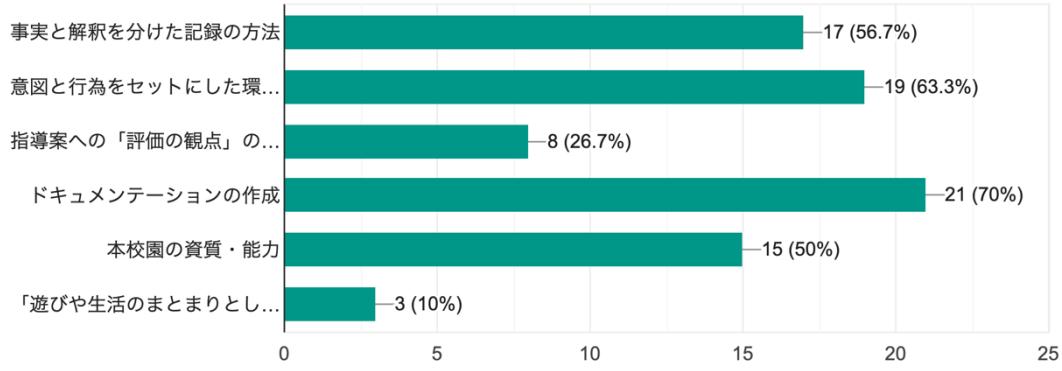
１０-1　講師の先生による専門的な立場からの講話は参考になった。

69 件の回答



15. これまでにもご参加いただいている方にお尋ねします。本研究会での学びをご自身や所属園の取組に生かされていることがありましたら、全てご選択ください。

30 件の回答



令和６年度 幼児教育を考える研究会アンケート（記述内容）

2024.11.30

6 事実と解釈を分けて子どもの学びをとらえることは、意味があると感じた。		7 資質・能力が詳細で明確になっていることは、保育の充実につながると感じた。		8 一つの遊びの中に、様々な資質・能力を発揮、伸長する姿を見取ることができると感じた。		9 グループ協議を通して、様々な考えに触れることで自分自身の学びにつながった。		１０ 講師の先生による専門的な立場からの講話は参考になった。	
	上記についてのご意見、ご感想		上記についてのご意見、ご感想		上記についてのご意見、ご感想		上記についてのご意見、ご感想		上記についてのご意見、ご感想
あてはまる	「事実」を捉えることは学びを読みとっていくために一番大事なことであると感じました。 事実に基づいてこちらの解釈を行い、今後の保育に活かせるものだと思いました。	あてはまる	１０の姿ではなく資質、能力でおさえているところに、深く共感いたしました。特に、幼小接続の点においては、幼児教育を資質・能力で語れる力をもつことが重要かと思います。	あてはまる	1人の幼児について、参加者の様々な見方、捉え方があり、それに伴って、また様々な学びや、学びから育つ資質能力が考えられるのが非常に興味深かった。	あてはまる	1人では見取り、考えに偏りがありますが、いろいろな考えを聞くことができ、見取りに幅ができたと思う。	あてはまる	「特別支援」の視点は保育の中でとくに重要だと感じていますので、とても勉強になりました。本日の保育を見られて資料を作成されたので、とてもわかりやすかったです。「あ！」という創造性が生まれる保育を展開していきたいです。
あてはまる	グループ協議の際に、事実に基づいて話し合いをすることができた。「○歳だから～、自園では～」とならずに、その時の子どもの姿に焦点をしっかりと当てて考えることができてよかった。	あてはまる	10の姿より具体的で子どもの育ちが分かりやすい。保護者にもより伝わると思う。	あてはまる	あれもこれも繋がってくると感じるが、そこを分けてみようとすることでさらに深まる	あてはまる	20番の子どものバケツの中の水量について、2杯目、3杯目をヘッキリと確認をしていなかったところが、事実にそって解釈しきれていなかったと思ったから。	あてはまる	１時間があっという間で、もっとお話を聞きたいと思いました。
あてはまる	どうしても自分の経験から解釈してしまうことが多いため	あてはまる	３つの資質能力だけでは、おっしゃるように、どこが重なっているのかを知ることで、より意識してかかわったり、環境を構成しやすいと思いました。	あてはまる	グループで話すことで　色々な見方があるので　保育は連携し　話し合いが重要であると 感じた。	あてはまる	いろいろな先生方の言葉を借りることでイメージが広がった	あてはまる	これからの問いが深く印象に残り、おおいに共感いたしました。知り合いにも伝えていきたいと思います。
あてはまる	憶測ではなく、事実から解釈することで、その子をより正確に捉えることができると思いました。	あてはまる	PDCAサイクルを意識でき、次への援助、環境構成へと繋がっていくと感じたため。	あてはまる	グループ協議の中で自分が思っている資質能力以外にもたくさんの考えがあって話し合いが深まった。その日の園児が何を狙っているかによっても資質能力が変わってくることを学びました。	あてはまる	いろいろな方と協議することで、自分の見取りの浅さを感じた。	あてはまる	どうしてこのような子どもの姿になったのだろう、教師はどのような意図でこのような行動、言葉掛けをしたのだろう、と考えるきっかけをいただいた。
あてはまる	見える側の主観を入れずに見ようとすることができる	あてはまる	より具体的であることで、子どもの姿を当てはめながら考えることがしやすいと思いました。	あてはまる	ひとつの場面から複数の資質・能力が発揮・伸長していることが見とれました。また、協議することで自分にない視点からの発揮・伸長に目を向けることができました。	あてはまる	グループ協議を参観させていただいて、どのグループも様々な考えが出てきて、子どもたちの姿や遊びを深く見ることができていたように思った。	あてはまる	とても楽しい語りの中に、ふと考えさせられることが多かったです。学び重視になりがちな最近の保育を見直したいと思いました。保育のノロイの話も楽しみにしていたので、聞きたかったです。
あてはまる	個人的な印象や思い込みにとらわれていることに自覚的になり、他の保育者の視点から学ぼうとする姿勢につながると思いました。また、子どもの発達や興味関心を丁寧に捉えることができるようになると思うので、事実と解釈を分けることは必要なことだと思います。	あてはまる	より細かく育ちを見とることができると思いました。また、発信する際にも有用だと感じました。	あてはまる	育ちは重なっていると考えるため	あてはまる	とても具体的に話し合いができた。進めてくださった先生の進め方がわかりやすかったからであると思います。勉強になりました。また、参加の先生と話すと、事実から、さまざまな資質能力がみとれ、多様な意見を知る機会になりました。	あてはまる	とても楽しく話が聞けた 発達心理の視点から子どもの育ちを見取ることの大切さがわかった
あてはまる	子どもの行動や心情を読み取るとこで育ちや学びを深く考えることができるから	あてはまる	育ちを考えやすくなったため	あてはまる	一つの遊びだけでも、全て記録して話し合いに活かすことが難しく、もったいないと感じるくらいの子どもの姿が見られました。それは、深く考えられた環境構成と緻密で温かい保育者の援助の賜物であると思います。保育者の高い能力に感服しました。	あてはまる	一つの遊びの中にも様々な学びがあることや学びの要因があることに気づくことができたから。	あてはまる	なんだか心がほっと軽くなる講話で、幼児の姿を面白がれる温かい先生でいられるような教師でありたいと強く感じた。
あてはまる	思い込みから離れられる、整理できる	あてはまる	何を子ども達が学んでいるかを念頭におきやすい。	あてはまる	一つの遊びの中でも日々違う資質・能力が違うのではないかと感じた。その姿を追うことで伸長した姿も十分見取れるので、文章化してるのが良いと思う。	あてはまる	園内研修などでもそうだが、自分1人の考えだけでなく、様々な視点からの意見を聞くことで、自身が見えていない、気づけていないこともあり、視野が広がったり、学びが深まったりすると感じた為	あてはまる	一緒に考えてみようという形だったので、あっという間に時間が過ぎてしまった感覚だった。もっと話を聞いてみたかった。
あてはまる	事実からしっかり読み取ることで、その時、その行動の学びがより明確になったと思います。	あてはまる	学びとしてみれるかどうかの目安にもなる	あてはまる	一つの遊びの中で様々な物や人との繋がりがあるから。	あてはまる	学びの捉え方も様々で、色々な見方ができることがわかった。	あてはまる	楽しく拝聴いたしました。是非講演にも来ていただきたいと思いました。
あてはまる	事実だけを書くことを心がけることは、保育の中で子どもを見る目が「またあんなことして！」という主観が入ったものから「○○しているんだな」と、やっていることを一旦そのまま受け止めようとすることにもつながっていると思う。	あてはまる	子どもの中で何が育っているのか、具体的に読み取るのに、細かい資質･能力の定義があったが分、詳しく読み解くことができるから。 資質･能力の定義を共有すると、複数の保育者で各自の読み取りを交流し、子どもの育ちにせまることができるから。	あてはまる	一人ひとりの学びは様々であり、さらに、一人の遊びの中にも、様々な学びがあった。同じ場面の一連の流れや前後に、注目して、客観的に見ることで、初めて見る幼児にも、見取ることができる姿がたくさんあった。	あてはまる	協議することで、学びとして見とったことが、より確かなものとして感じたり、新たな視点に気付かされたりしました。	あてはまる	具体的でわかりやすかった
あてはまる	事実と解釈が混じり、本当はどうだったのか分からなくなることがあります。協議を通じて意識することが大切だと感じました。	あてはまる	資質、能力が明確に示され、それが遊びの中で見られること自体が、保育の励みにもなるし、明日の保育の手掛かりになると感じる。	あてはまる	協議の中で1つの遊びを通してまた、子どもの姿を通して　話をするなかで　新たな視点に気づくことができたと感じる。	あてはまる	公立の幼稚園・保育園などで働かれている先生方と共に協議させていただき、それぞれのお立場からの視点で意見を出してもらい自分にはない気づきがありました。子どもを支える保育者の動きや、意図も聞けました。筒井先生にはたくさん質問に答えていただき、ありがとうございました。	あてはまる	講師の先生は、保育の一場面から問い掛けてくださった。隣同士、自分なりの考えを相手に伝わるように言葉にして交わすことができ、有意義だった。専門的に裏付けがあるところが、問い掛けには必要だと感じた。
あてはまる	事実と解釈を混同して、より言うなら解釈(今までの経験や、幼児の姿から考えて)が大半を占めて、幼児を捉えようとしていたことに気付かされた。分けて考えることで、より理解が深まり、さらには自分の保育にも自信をもつことに繋がるのではないかと感じた。	あてはまる	資質・能力が具体的なことで子どもの学びの充実を図ることができるのだと感じた。	あてはまる	見取る中で、複数の資質･能力が当てはまると実感することが多々あった為	あてはまる	資質能力に記されている項目自体の捉え方についても人によって違うと感じることができた。	あてはまる	雑談するからこそ、意見が言いやすかったのかな、と思います。講師先生からの見取りも教えてくださり、そう捉えたらよかったのかと思うと共に、視点を明確に知ることができました。勉強になりました。
あてはまる	事実と解釈を分けて書くことで、教師の思い込みや主観が入りにくくなり、正確に学びを捉えられるように感じる。	あてはまる	資質・能力が詳細なことで、子どもたちの姿がどういう力になっているのかが、教師自身が意識できる。	あてはまる	今回、同じ場面の同じ幼児の姿を見てもグループ協議の参加者それぞれに読み取った資質・能力が様々で面白いと感じました。	あてはまる	事実を元に討議が行われたので、話の内容がブレることなく、子どもの姿や保育者の意図を話し合えた	あてはまる	自身の保育観を”ほぐす”良い機会となった。その日の幼児の様子からお話が聞けたのも頭に入ってきやすく、「そのような考え方もあるなあ」と自分の考えと比べながら学ぶことができた。
あてはまる	事実と解釈を分けて捉えることで、一般論や各々の経験に基づいた偏った見方になるのではなく、客観的に捉えることができる	あてはまる	次の手立てにつながる	あてはまる	今回私は5歳児（さくら2組保育室）の「おもちゃ」のグループを見ていました。友だちと一緒に進める中で資質・能力が発揮されており、その視点で見たのも初めてでしたが、新たな気づきでした。	あてはまる	自分だけでは気付かなかった子どもの学びや資質・能力を他の先生から教えていただき、新たな視点に気づくことができました。	あてはまる	自由な発想が生まれることに価値があるという話が印象的でした。日頃から生み出す力の大切さを感じていたので。
あてはまる	事実と解釈を分けて捉えることは、自分の考えを整理して伝える上で役立ちました。保育を公開する側にとって、明日以降の保育を進める上で有効な方法であることも実感しました。今は行政の立場にいますが、保育現場に戻って自園を公開する機会があったときには参考とさせていただきます。	あてはまる	実態から資質能力をしっかり捉え、今の子どもたちに沿ったものになるた思いました。	あてはまる	子どもの遊ぶ姿を見る時、多くの資質･能力の発揮と伸長が絶え間なく現れるように思います。	あてはまる	自分では捉えきれていなかった育ちの視点をたくさんいただくことができました。協議自体も活発で、大変有意義な時間をいただきました。同じグループの皆さんが、解釈することに対して非常に謙虚で、決めつけるような発言がなく、「こうかもしれない」「それだったらこういうこと？」というような、気付きや発見が広がっていく雰囲気がありました。とても学びが多く、楽しい時間でした。	あてはまる	実際の場面からのお話だったので、とても参考になりました。また、園にも来ていただきたいです。
あてはまる	事実と解釈を分けて幼児の姿を見取るようにしていくと、解釈するためには、より、事実を細やかに見る必要があることがわかってきた。	あてはまる	照らし合わせることで、子どもの育ちを細かくとらえることができました。	あてはまる	子どもは一つの遊びの中でたくさんの学びを得ていることを研究会を通してさらに理解することができた。	あてはまる	自分とは違う捉え方、考え方があり勉強になった	あてはまる	赤木先生の講演では、その日の子どもの姿から、子どもの発達について、資質･能力についてお話しいただきとてもわかりやすかったです。
あてはまる	事実と解釈を分けることで、自分が何を根拠に判断をしているのか、はっきりと分かるから。 事実を挙げれば、複数の保育者の見方の違い、個々が判断した根拠の違いが分かり、互いの資質向上につながるから。	あてはまる	新人の立場に立つと、資質・能力一覧があれば子どもの姿を見たり、保育計画を立てる際に助かるから。	あてはまる	自分が見た場面についても他の先生方と協議する中で、様々な資質・能力があることに気づくことができました。	あてはまる	自分の解釈はこうかなぁと思っていても他の人の話を聞いてそういう解釈の仕方もあるんだなと感じ学びに繋がった。	あてはまる	赤木先生の目線で子どもの姿を考えると理解が広がるように思いました。
あてはまる	事実と解釈を分けることで、余計な教師側の思い込みが入りにくくなり、子どもの実際の姿から分析していけると感じました。	あてはまる	神戸大附属幼稚園さまが、毎年更新されてつくられている資料、拝見させていただきとても感動しておりました。ご資料のHPのアップもありがとうございました。本園職員にも知らせて参考にさせていただければと思います。	あてはまる	自分自身が日頃より資質・能力の定義を活用させていただいてるため、その視点から見取ることができた。	あてはまる	上記にも記入したことと同じです。 同じ遊びを見ていてもそれぞれに見る視点　読み取り方が違うことが　新たな発見や気づきにつながり　自分の保育の振り返りや気づきにも繋がった。 　また、それぞれの先生方が　自分の見立てや姿　感じたことなど　付け足したり　新たな側面から話されたりすることで、自分の気づきにもつながり、今回、協議が楽しい、楽しかったと感じられた。	あてはまる	専門的ではあり、話し合う時間もあったが、適度に頭を使いながら、かしこまらず、また、理解しやすいお話や、ホッとするお話で、研究会の最後にちょうどよく、学びにつながるお話だった。今年初めて赤木先生の研修でお話を聞き、ノロイのお話を聞いて、とても参考になり自分の価値観が変わったが、今日はまた違った角度から、色々な子どもの見方を提案いただき、保育とつながるお話だったこともよかった。

あてはまる	事実に基づいて見とることの大切さを感じたため。	あてはまる	先生方が話し合いや実践を多く重ね、作り上げられたのであろうことを感じました。	あてはまる	他の先生方の考えを聞いて、同じように感じたところと新たな発見があったり、一つの遊びにはいろいろな資質・能力があることを感じた。	あてはまる	色々な意見や考えを聞くことができてよかった。	あてはまる	捉えられている子どもの姿がすてきな姿ばかりで、子どもの姿を肯定的に捉え、それをおもしろがることが大切なのだ、と教えていただいた気持ちがしています。発達的視点をもつことの大切さも再確認したので、発達心理学についての専門的知識も身につける必要があると感じました。
あてはまる	事実を捉えて解釈することで、教師も理解しやすいように感じた。	あてはまる	日頃から遊びの中の学びを考えたり、遊びのねらいを考えたりすることが苦手と感じているので、それを考える視点となってくれると感じた。資質、能力の表と照らし合わせながら遊びを見ることで、いつも見落としている学びにも気づくことができ、日頃から活用していきたいと感じた。	あてはまる	様々な角度からの読み取り方があると、改めて感じました。	あてはまる	同じ協議に入っておられた先生方もいろいろな視点から見取っておられ、広い観点から協議をすることができた。	あてはまる	同じ保育を見た観点からお話をお伺いさせていただき、分かりやすいと感じました。 レジメに挙げてくださっている内容でのお話もお聞かせいただきたいので、機会を見てオファーをさせていただきたいです。
あてはまる	自身が文字にするときに、事実と解釈が混雑してしまうことがあるので、意識的に分けて書くことで理解が深まった。	あてはまる	保育の手だてや意図が明確になる	ややあてはまる	なんとなくこれかな？と当てはめて考えることにとどまり、根拠をしっかりと考えることはとても難しいと感じた。	あてはまる	同じ場面、またその前後を見ていた先生方と話すことができたのがよかった。また、話す中で、同じ場面でも自分の捉え以外の捉えをしている先生の考えにも触れることができ、幅を広げられるいい機会だった。	あてはまる	内容の興味深さ、講師先生の話し方に引き込まれ、もっとお聞きして学びたいと感じました。
あてはまる	自分なりに幼児のみとりや教師の意図を考えることにつながった	あてはまる	保育の道筋になる	ややあてはまる	わかりやすい指標があるため	あてはまる	同じ場面でも多方面からの見方があり、保育に内在する育ちの可能性を感じました。	あてはまる	発達心理のご専門であっても幼児教育の専門ではない方の話であるからこそ、幼児教育での取り組みがどう捉えられているのかを多角的に聞くことができた。そして、違う角度から見ても幼児教育の大切さが実感できた。
あてはまる	自分の主観が入ると子どもの見取りは難しい。事実を見る目を養い、それはなぜかを考えることで、かかわりや環境を考えられると思いました。	あてはまる	保育をする上で　ねらい、内容を的確なものにできると感じた。	ややあてはまる	見取ることはできますが、遊びがあって学びなしのエピソードにも価値はあり、幼児教育で大切にしたいことと考えています。	あてはまる	同じ場面で捉え方の違いや、聞き違いもあったので、生きた意見交換ができたことがよかった。	あてはまる	普段あまりお聞きしない保育の話をお聞きできて面白かった。
あてはまる	主観にとらわれず、事実と解釈を分けることで、いろいろな解釈が出てきて、子どもの学びがいろいろな方面にあることが感じられる。	あてはまる	明確になることで、資質･能力のどのような力につながるのか、どのような力をつけたいのかを整理しやすく、環境構成に活かせると考える為	ややあてはまる	見取ろうと思えばなにがしかの資質・能力を見取ることはできると思いますが、一つ一つの資質・能力の濃淡や、その時の状況や背景などについても捉えていく必要があるのかな、とも思いました。 そういう意味では、今日の保育や、子ども達一人一人の発達や興味関心につについての担任の先生の解釈をお聞きしてみたかったな、という思いがあります。 また、赤木先生の「遊び合って学びなし」のエピソードはなかったか？」という問いかけが大変興味深く、資質・能力が発揮されていることを前提に協議するだけでなく、十分に発揮されていなかったかも？という可能性も含めて協議することが必要なのかな、と思いました。	あてはまる	同じ場面をみて、聞き取れなかったこどもの言葉や仕草、保育者の関わりを繋ぎ合わせて事実が見えてきました。自分にない解釈に学びました。	あてはまる	保育のことを考えてばかりいると、視野が狭くなる瞬間がある。赤木先生の視野の広さや、心の余裕みたいなものを感じられて、自分も枠にとらわれない気持ちをもって保育しようと感じた。
あてはまる	主観ばかりになると事実見えなくなる場合もあると思うから。	あてはまる	幼児に、いまどのような力が育っているのか、どこを大切にしどう伸ばしていきたいか、考えるための重要な材料となり、幼児の興味関心や思いと教師のねらいに大きな差がなくなってきたと感じる。	ややあてはまる	発揮する姿はたくさん見られたが、当日の姿からは伸長する姿について見とるのが難しい	あてはまる	同じ場面をみんなが見ていて、実物もあり話がしやすかった。いろいろな事実からいろいろな解釈があり、内面を考えられて面白かった。	あてはまる	面白かった。
あてはまる	書くことで　大きな意味があると　確認できました。	あてはまる	幼児に何を育てるのかを考える際に教師や教師集団の感性に基づくのではなく、幼児期に育つ広い視点から考えることにつながっている。			あてはまる	同じ場面を通したグループ協議だったので対話が活発に行われ、自分だけでは気付かない考えを知ることができました。対話の充実は、研修の充実感に直結することを実感しました。	あてはまる	幼児の姿(行動、発言など)を面白いと感じ、それを参加者に伝える講師の姿を見て、話に引き込まれた。同時に、話の中で言われていた「創造性」を培うための教師の援助にも通じていると感じた。大人でも心が動かされることは幼児には更に効果的だと思う。今後の保育に、私自身心を動かして臨みたい。
あてはまる	相手に伝える時に相手が場面をイメージしやすくなる。 　事実と解釈を分けて表記することは慣れていないと　混合してしまい今の自分は　表記の仕方を悩んだ	ややあてはまる	具体的な視点で子どもの姿を捉えることで、今育とうとしているところがどこなのかが見えてくる気がします。一方で、見取った資質・能力が本当に適切な見取りかどうかの検証をどうするのか（捉えようとすること自体に意味があるとも思っています）ということや、育みたい資質・能力と、子ども達の興味関心の両方を意識しておかないと、教師の願いが膨らみ過ぎた保育になる危うさもあるかな、と感じます。			あてはまる	同じ遊びの場面でも捉え方の違いがあり、自分のクセや傾向がわかり、視野が広がることを感じた。	ややあてはまる	もともとの演題の講話を聴きたかった。講話も含めこの研修を選択し、楽しみにしていたので残念でした。
あてはまる	卒論を書く際に活かせそうだと感じた。	ややあてはまる	子どもの遊びを読みとる時　また、伝えるときなどの指標として大変有効であるのではないかと感じる。 　また、教師が保育に意図を持って保育を行うにあたっても同じだと感じる。			あてはまる	同じ幼児を中心に参観した先生方との話し合いは、とても面白く、自分の読み取りの甘さや見方の違いも感じ、勉強になった。	ややあてはまる	教師とは違う目線での解釈が面白く、新鮮に感じた。
あてはまる	日々の保育を振り返る際にも活用させていただいている。思い込みから話をするのでなく、協議で多様な読み取りから意見を出し合うことが可能となると考える。	ややあてはまる	思考の部分が難しく感じた。他は、捉えやすかった。			あてはまる	保育をしているけれど　地域、立場など違う先生方と討議できたことは　今後の保育をする上で　貴重な時間でした。ぜひまた参加したいと思います。	ややあてはまる	公開保育の姿に合わせてのお話しとなり、楽しくお話しを聞かせていただきました。専門家の立場としての話ももっと聞いてみたいなと感じました。
あてはまる	遊びの中での学びをより深く考えられた	ややあてはまる	資質・能力が詳細に分かれていることで、自分の保育の振り返りや事例検討をする際などに有効であり、また幼小連携においても小学校の先生に見てもらう視点になると感じた。			あてはまる	様々な考え方に触れることができたから	ややあてはまる	創造性の減衰について改めて考えることができた
あてはまる	予想、妄想ではなく事実が重要だと感じた	ややあてはまる	資質-能力の詳細、明確化だけでは保育の充実は図れないが、子どもの育ちを理解するために有効だと思います。それらを生かしてどのように環境の構成や援助をしていくのかまでが重要だと考えるので、どのように生かしているのかを実際に見せていただいたことがとても深い学びになりました。			あてはまる	話し合いを通じて、自分自身の言動を振り返ることができるから。	ややあてはまる	短い時間では、あったが　もう一度保育を考える、また、保育に向かう自分を振り返る機会を頂いたと感じた。 　また、難しい専門用語でなく　分かりやすい言葉で話をしていただけたことから　スッと話が入ってきた。
あてはまる	話し合いの視点が明確になるので、話し合いがブレず、短い時間で学びを深めることができると思う。					ややあてはまる	なかなかうまく話し合いが進められなかったと感じる。	ややあてはまる	当日の保育内容をタイムリーに話題にされていて、とても面白かった。タイトルにあるノロイのお話も聞いてみたかった。
ややあてはまる	グループ討議がしやすかった					ややあてはまる	同じ場面の遊びでの話し合いのため話がわかりやすく学びに繋がった		
ややあてはまる	分けて記録することで、協議の際に事実だけを見つめることができ、個人の考えにとらわれ過ぎず、様々な視点に立って考えることができると感じました。					あまりあてはまらない	資質能力の定義が十分理解できていないことや頭に入っていないこともあり、協議よりもこの資質能力で合ってるのかな？という正解を求める討議になってしまった。間違いはなく様々な考え方があっていいというふうに持っていけなかったことが反省です。 様々な考えに触れることができ、勉強になりました。		

背番号　赤１～20

３歳児 うめ１組（男11　女９ 計20名）保育指導案

指導者　長野　萌映

１．日　時　　令和６年１１月３０日（土）９：００～１１：３０

２．最近の具体的な子どもの姿

登園する・持ち物の始末をする	○ 気の合う友達と手を繋いで登園したり、教師や友達に自分から挨拶したり、挨拶を返したり、好きな友達が来ているか教師に尋ねたり、登園中に見付けたどんぐりや枝、落ち葉を喜んで教師や友達に見せたりしている。 ○ 昨日までの楽しかった遊びを今日もしたいと思ったり、掲示や園庭の環境、友達が遊んでいる姿を見たりして、したい遊びに向かっている子もいれば、遊びが見つからず通園ノートを眺めたり廃材や保育室の玩具でなんとなく遊んだりする子もいる。 ○ 友達と話したり遊んだりしたい気持ちに折り合いをつけて朝の用意を済ませようとする子もいれば、めんどくさいと思ってタオルを出さなかったり、手洗いうがいをしなかったり、友達の様子が気になって手が止まったり、荷物を身につけたまま友達とくっついたり追いかけあったりすることが楽しくなったりする子もいる。	他者といる喜びを感じる 自ら決める・選ぶ 気持ちをコントロールする
結婚式ごっこ（ダンス、ごちそう作り、式の進行）	○ 結婚式をしたい、エルサになりたい、さくら組のようなアイドルになりたい、髪飾りを付けたい、ドレスを作りたい、「新時代」の曲で踊りたいなど、こうしたいと思ってしている。 ○ 髪飾りを付けて欲しいことや、ドレスの作り方がわからないこと、次はエルサの曲をしたいことなど、したいことや困ったことを教師に伝えているが、友達同士では伝えるのを諦めてしまったり、言い合いになったりすることもある。 ○ 曲調に合わせて大人っぽい表情をしたり、大きく手を広げて高らかに歌ったり、曲の終わりにポーズを決めて止まったりして、アイドルやエルサになりきっている。 ○ 結婚式ごっこで司会やカメラマンをしたり、並んで自己紹介をしたり、みんなで歌を歌ったり、プログラムや内容を考えたり、役割になりきって進めたりしている。 ○ フープを並べてエルサが駆け上がる階段を作ったり、お客さんが座るベンチを用意したり、演じたい役や結婚式の場にぴったりな場を作っている。	自ら決める・選ぶ 自分のことを伝える 身体の動きに表す 演出に表す 場や状況を整える
戦いごっこ（ブンブンジャー、マリオ）	○ 友達や教師を追いかけたり、武器を振り回して走ったり、身を寄せてゲームボックスに乗ったり、武器を振り回して友達を追いかけたりすることを楽しんでいる。 ○ 仲間と戦いごっこをすることが楽しくなって、武器やキック、パンチが相手に直接当たったり、振り回した武器が気付かないうちに周りの友達に当たって痛い思いをさせてしまったりすることがある。 ○ ブンブンジャーやマリオになって、走って友達を追いかけたり、固定遊具や運動遊具に登って逃げたり、ゲームボックスから跳び下りたり、的に向かってジャンプしたり、ボールを投げたりして、さまざまに体を動かしている。	他者といる喜びを感じる 身を守る 身体を操作する
キャンプごっこ（焚き火、テントでの家族ごっこ）	○ 落ち葉を集めて焚き火にしたり、枝に挿してBBQの肉にしたり、落ち葉を溜めた囲いの中に入ったりなど、落ち葉や枝を使って遊ぶことを楽しんでいる。 ○ お母さんになって赤ちゃんのお世話をしたり、お父さんになってストライダーで仕事に出かけたり、犬になってハアハア言いながら四足歩行で散歩したり、口調を変えたり、その役割にあった動きをしたりしてなりきって遊ぶことを楽しんでいる。	生き物・命を見つめる 身体の動きに表す
砂・水を使った遊び（穴掘り、温泉作り、レストランごっこ）	○ 深い穴が掘れたことや、作ったごちそうで机がいっぱいになったこと、教師や友達に食べてもらったことを喜び、笑顔になっている。 ○ じょうごで砂や水を流すのに、湿った砂だと固くて流しにくいと思って教師に話したり、もっと水を足そうとしたり、スコップで掻き出そうとしたりしている。	自分に満足する 事物・現象を捉える
固定遊具・運動遊具・乗り物を使った遊び（三輪車、ストライダー、荷車）	○ 紫のストライダーに乗りたいと好きな乗り物を選んで乗ったり、うつ伏せで滑り台を滑りたい、友達と一緒に走りたい、マリオカートでレースをしたい、ドンキーコングになりたい、荷車を全部繋げたいなどと思ってしたりしている。 ○ 合図に合わせて一斉にスタートして一緒に走ったり、友達を追いかけたり、追い越したり、教師に実況してもらったりして笑顔になっている。 ○ 寝転んだりうつ伏せになったり、様々な滑り方で滑り台を滑ることを楽しんでいる。	自ら決める・選ぶ 他者といる喜びを感じる 身体を操作する

作ったり描いたりする遊び	○ トイレットペーパーの芯を布ガムテープで貼り合わせて望遠鏡やカメラ、武器を作ったり、スズランテープでしっぽや髪飾り、ネックレスを作ったり、モールをねじって指輪を作ったり、紙に描いた顔を箱に貼り付けてロボットを作ったり、いろいろな素材や道具で作りたいものを作ることを楽しんでいる。 ○ 作りたいものの作り方がわからない時や、テープやはさみをうまく使えない時に、「できない」「どうやって作るの？」「手伝って」などと困っていることや助けてほしいことを言葉で伝えている。 ○ 水性ペンはツルツルした箱やポリ袋に描きにくいことや、モールはねじったら留められること、布ガムテープやセロハンテープは斜め下に引っ張ると切りやすいことなど、いろいろな素材・道具の使い方や性質を感じて使っている。	造形に表す 自分のことを伝える 事物・現象を捉える
生き物に触れる遊び （青虫探し、野菜の世話、色水作り）	○ キャベツの葉をめくって青虫を探したり、虫眼鏡で見たり、ポスターと見比べてなんの青虫か調べたり、捕まえたことや触れたことを喜んだりしている。 ○ オシロイバナで濃い色水を作るには、強く擦ったり、長い時間振ったり、水を少なくするとよいと教えてもらって知ったり、やってみて感じたりしている。	生き物・命を見つめる 事物・現象を捉える
片付け	○ 片付けの知らせを聞いて、区切りをつけて片付け始めたり、自分が使った場所や物を思い出して片付けたり、教師がしている姿を見て一緒にしたりする子どももいれば、まだ遊びたい気持ちや片付けをしたくない気持ちから遊び続けたり、違う遊びを始めたり、先に保育室に入ったりする子どももいる。 ○ どこに片付ければよいか元の場所を思い出したり、教師に尋ねて運んだり、砂場や芝生を見回して残っている乗り物や玩具を集めたり、砂のついたおもちゃをタライの水で洗ったり、芝生に落ちている小さなごみを集めたりしている。	気持ちをコントロールする 場や状況を整える
着替え・手洗い、用便を済ます	○ 教師や友達がしているのを見たり、知らせてもらったり、一緒に手洗いの歌を歌ったりして手洗いをしているが、うがいをしている子どもは少ない。 ○ トイレに自分の必要なタイミングで行ったり、知らせてもらい思い出して行ったりする子どももいれば、大丈夫と言ったり、行きたがらなかったりする子どももいる。	体の健康を保つ 体の健康を保つ
遊びの話をする	○ したい遊びをして遊べたこと、お気に入りの武器やドレスができたことを喜び、友達に見せたり、大きな声で知らせたりしている。 ○ 教師に尋ねてもらって楽しかった遊びの話をしたり、作った物を教師や友達に見せて知らせたりしている子どももいれば、教師に聞いてもらいたいと思って前に出てきたり、友達が話している時も大きな声で伝え続けたりする子どももいる。	自分に満足する 自分のことを伝える
おやつ・牛乳を飲食する	○ 今日のおやつが何か楽しみに思い、笑顔でおやつクイズに答えたり、年長児が届けてくれた焼き芋を食べて「ほっかほか」「甘くて美味しい」などと喜んで話したりしている。	食を見つめる
絵本を見たり、読んでもらったりする	○ 以前読んでもらった絵本を見たい、お気に入りの絵本を見たい、何冊も見たい、友達の見ている絵本を一緒に見たいなどと思って選んだり、見たりしている。 ○ 空いているところや見えやすいところを選んで座る子どももいれば、教師のすぐそばで絵本を見たいと思い、走って来たり、先に友達が座っているところに割って入ったり、友達を押したりする子もいる。 ○ 絵本を見て「お家にもある」と話したり、絵本の言葉を繰り返したり、展開を予想して呟いたり、「わぁ！」と反応したり、笑ったり、感じたことや知っていることを呟いたりして絵本の世界を楽しんでいる。	自ら決める・選ぶ 場や状況を整える 文芸に表す
お引越しゲームをする	○ あの場所に座りたい、この友達の隣に座りたい、高くジャンプするカエルになりたい、近くの友達と手を繋ぎたいなどと思ってお引越しゲームをしている。 ○ 教師や友達と声を揃えて手拍子をしながらお引越しの歌を歌ったり、近くになった友達と手を繋いだり、声を合わせて大成功と言ったりして笑顔になっている。 ○ 友達がなりきっている姿を見て真似したり、場所が決まらないでいる友達の姿を見て、空いている場所を知らせたり、近くに誘ったりしている。	自ら決める・選ぶ 他者という喜びを感じる 他者のことを知る
降園準備・降園する	○ 望遠鏡やサンドイッチなど、好きな形にタオルを畳んでカバンに収めたり、教師にロッカーの状態を知らせてもらって溢れた物を収め直したり、カバンに入れて持ち帰ったりしている。	場や状況を整える

３．本日のねらい

①	昨日までの遊びを思い出したり、友達のしていることや用意された玩具を見たり、先生に誘ってもらったり、話を聞いたり、自分で決めたりして、したいと思ったり、したいことをしたり、楽しみに思ったりする。	自ら決める・選ぶ
②	したいことができたことや、難しいことに挑戦してできたこと、楽しかったこと、自分の頑張りを感じて喜んだり自信や満足を感じたりする。	自分に満足する
③	友達と話したい気持ちや周りのことが気になる気持ち、まだ遊びたい気持ち、やりたくない気持ちに折り合いをつけて朝の用意や片付けに向かおうとする。	気持ちをコントロールする
④	先生やいろいろな友達と挨拶をしたり、話をしたり、遊んだり、触れ合ったり、歌ったり、応援してもらったり、おやつや牛乳を飲食したりして、一緒に過ごす楽しさや心地よさを味わう。	他者といる喜びを感じる
⑤	友達のしていることや楽しんでいること、頑張っていること、考え、表現に関心を寄せたり、困っている友達の姿を見てどう感じているか考えたりする。	他者のことを知る
⑥	したいことや嫌だったこと、困ったことなど、自分の気持ちを先生や友達に言葉で伝えようとしたり、伝えるよさを感じたりする。	自分のことを伝える
⑦	外から入ってきた時に手洗いうがいをする必要を感じてしようとする。	体の健康を保つ
⑧	友達と距離をとったり、武器を直接当てないようにしたりして危なくないようにしながら遊ぼうとする。	身を守る
⑨	投げたり、跳ねたり、登ったり、跳び降りたり、いろいろな滑り方で滑り台を滑ったり、地面を強く蹴ってストライダーに乗ったり、強く踏み込んで三輪車を漕いだり、思い切り走ったり、さまざまに身体を動かして遊ぶことを楽しむ。	身体を操作する
⑩	落ち葉や枝、花などの自然物を使って遊ぶことを楽しんだり、青虫やアリ、畑の野菜などの身近な生き物に愛着や関心をもったりする。	生き物・命を見つめる
⑪	水の量や雨樋の置き方、花の量、揉み方などによってものの姿が変わることを感じて、調整したり工夫したり、試したりして遊ぶことを楽しむ。いろいろなものを使って遊ぶなかで素材・道具の使い方や性質を感じて楽しんだり、遊びに使おうとしたりする。	事物・現象を捉える
⑫	作りたいものを思い浮かべて作ったり、作った物を使ったり身に付けたりして遊んだりする楽しさを感じる。	造形に表す
⑬	絵本を読んでもらい、「あったとさ」の繰り返しのフレーズや、巨大な物が次々と現れて子どもたちが遊ぶ展開を楽しむ。	文芸に表す
⑭	なりきって踊ったり、戦ったり、役割を演じたりして遊ぶことや、さまざまな物になりきってお引越しゲームをすることを楽しむ。	身体の動きに表す
⑮	遊びの場面を思い浮かべ、衣装や小道具を使ったり、内容を考えたり、みんなで決めたように進めたりして遊ぶことを楽しむ。	演出に表す
⑯	遊びの世界に合わせた場を作ることを楽しんだり、遊んだ玩具や遊具、持ち物を片付けたり整頓したり、広い場所を探して座ったりして、場が整う心地よさや過ごしやすさを感じたりする。	場や状況を整える

４．展　開

時間	予想される子どもの活動	＊環境の構成及び再構成　◎教師の援助	◇評価の観点
9:00	登園する ・挨拶をする ・靴を履き替える ・水筒、タオルを収める ・通園ノートにハンコを押す ・帽子、鞄を収める ・手洗い、うがいをする	◎先生や友達との出会いに喜びを感じ、一日を気持ちよく始められるように、目線を合わせて笑顔で挨拶をしたり、友達同士で挨拶を交わす姿を言葉にして知らせたり、他の友達が来たことを知らせたり、見付けて持ってきたものについて笑顔で話を聞いたりする。 ◎友達と話したい気持ちや周りのことが気になる気持ちに折り合いをつけて持ち物の始末や手洗いうがいに向かえるように、用意を済ませるよさを知らせたり、この後の遊びの話をしたり、今何をするのがよさそうか尋ねたりする。 ◎外から入って来たときに手洗いうがいをする必要を感じてしようと思えるように、手洗いうがいをするといい理由を言葉にしたり、している友達の様子を知らせたり、教師自身が率先してしたりする。	◇笑顔で教師や友達に挨拶をしたり、挨拶を返したり、話したり、見せたりしているか④ ◇帽子や鞄、水筒を収め、ノートにハンコを押し、手洗いうがいをするか③ ◇手洗いうがいをしているか⑦
9:15	好きな遊びをする	＊昨日までの楽しかったことや友達のしていた遊びを思い出し、今日したいことを意識して遊びに向かえるように、最近の遊びの写真や振り返ったメモを掲示しておく。	◇掲示を見たり、したいことを話したりしているか①

	＊したい遊びをすぐに見つけて始められるように、遊びの道具をいつもの場所やすぐに出せる場所に置いておく。	◇身支度をしてすぐに園庭に出ているか①
	◎したい遊びを見つけて向かえるように、したいと思っていることを尋ねたり、友達がしていることや教師がしようと思っていることを知らせたり、誘って一緒に遊んだりする。	◇したい遊びについて話したり、遊び始めたりしているか①
	◎したいと思っていた遊びができたり、作りたいものが作れたり、難しいことに挑戦してできたりした喜びを感じられるように、遊んで楽しい気持ちを言葉にしたり、できたことに感心したり、一緒に喜んだりする。	◇笑顔になったり、できたものを見せたりしているか②
	◎友達と遊ぶ楽しさや心地よさを感じられるように、友達と遊んでいる姿を言葉にして認めたり、友達と一緒に遊ぶ楽しさやよさを言葉にしたり、名前を出して友達がしていることを知らせたりする。	◇友達の様子を見たり、友達と遊んだりしているか④
	◎友達のしていることや頑張っていることに関心を向けられるように、友達のしていることを言葉にしたり、連れて行って見せたり、友達同士で教え合う機会を設けたりする。	◇友達や教師の話を聞いたり、尋ねたりしているか⑤
	◎したいことや嫌だったこと、困ったことなど、自分の気持ちを先生や友達に伝えたり、伝わるよさを感じたりするように、困っていそうな姿を言葉にしたり、一緒に伝えに行ったり、伝える姿を見守ったり、言葉を補ったり、伝わったことを一緒に喜んだり、伝えたことを褒めたりする。	◇友達に思いを伝えているか⑥
○結婚式ごっこ ・衣装を身に付ける ・ダンスをする ・ごちそう作りをする ・曲を選んで流す ・式の進行をする	＊お客さんに来てもらったり、プログラムを進めたりしながら結婚式をしたいという思いが叶うように、立ち位置のフープやベンチ、結婚式のプログラムを描いた掲示を置いておく。	◇フープに入ったり、掲示を見たりするか⑮
	＊エルサになりたい、この曲で歌いたい、踊りたいという思いがかなうように、マットを置いたステージや、衣装をかけたハンガーラック、表示をつけたCDデッキ、CDを用意しておく。	◇ステージで踊ったり戦ったり、音楽を流したりしているか①
	◎なりきって演じたり踊ったりすることを楽しめるように、何になっているのか尋ねたり、こだわってしている動きや表情を褒めたり、教師も一緒になりきって遊んだりする。	◇歌ったり踊ったり、丁寧な口調で話したりするか⑭
	◎遊びの世界にぴったりな物を作り、身に付けたり使ったりして遊ぶことを楽しめるように、教師自身が作った物を身に付けて遊んだり、作った物を使って遊ぶ姿を周りに知らせたり、作ることに誘ったりする。	◇衣装やカメラ、料理などを作ったり使ったり振る舞ったりするか⑫
	◎結婚式の場面を思い浮かべ、衣装や小道具を使ったり、式の内容を考えたり、みんなで決めたように進めたりして遊ぶことを楽しめるように、あるとよさそうなものを一緒に考えたり、次は何をするか尋ねてプログラムを相談したり、教師が進行役をしたり、考えて演じている姿に感心したりする。	◇衣装を身に付けたり、マイクやカメラを使ったり、ボードを見てプログラムを決めたりするか⑮
○戦いごっこ ・ブンブンジャーやマリオのキャラクターになりきる ・武器を作る ・曲を選んで流す	＊投げたり、跳ねたり、登ったり、跳び降りたり、思い切り走ったり、さまざまに身体を動かして戦うことを楽しめるように、大芝生の広い場にボールやジャンピング、ゲームボックスを置いておく。	◇ボールを投げたり、ジャンピングやゲームボックスに乗ったりするか⑨
	◎追いかけたり、登ったり、跳び下りたり、さまざまに体を動かしながら戦うことを楽しめるように、素早く走ったり、かっこよく跳び下りたりする姿に関心したり、教師自身が大きく身体を動かしながら一緒に戦ったりする。	◇友達を追いかけて走ったり、ゲームボックスに登ったり、跳び降りたりするか⑨
	◎危なくないようにしながら戦いごっこを楽しもうとするように、距離をとりながら戦うふりをする姿に感心したり、痛そう、危なそうに見えるときにはその状況を知らせたりする。	◇武器を当てずに戦いごっこをしたり、友達と距離を開けたりしているか⑧
	◎体を押さえられたり、武器が直接当たったりした時に相手がどう感じるか考えられるように、友達が困った表情をしていることを知らせたり、危なそう、痛そうに見えていることを伝えたり、教師自身が痛い思いをした時には感じた思いを伝えたりする。	◇手を離したり、相手のことをじっと見たりするか⑤
○キャンプごっこ ・落ち葉を集める	＊落ち葉をたくさん集めて遊びに使うことを楽しめるように、ブロックやダンボールの囲い、子ども用の熊手を用意しておく。	◇落ち葉を集めたり使ったりしているか⑩

	・焚き火やBBQをする ・家族で過ごす ・犬や猫になりきる	＊みんなで楽しく過ごせるようなキャンプの場作りを楽しめるように、大型ブロックやテント、レジャーシート、金網、机や椅子を用意しておく。 ◎いろいろな役割になりきって遊ぶことを楽しめるように、何の役をしているのか尋ねたり、役に沿った設定で会話をしたり、なりきって話したり動いたりしている姿に感心したりする。	◇ブロックにストライダーを置いたり、机や椅子を並べたりするか⑯ ◇何になっているか言ったり、口調を変えたりしているか⑭
	〇砂・水を使った遊び ・穴掘り ・レストランごっこ ・樋やじょうごで砂や水を流す **〇固定遊具や乗り物を使った遊び** ・いろいろな滑り方で滑り台を滑る ・ストライダーや三輪車に乗る ・荷車を引く **〇作ったり描いたりする遊び** **〇生き物に触れる遊び** ・青虫探し ・野菜の世話 ・色水作り	＊流したり、溜めたり、水の量を調整したりして試しながら遊ぶことを楽しめるように、水を溜めたタライや雨樋を用意しておく。 ◎水をうまく流そうとして水の量や雨樋の置き方を工夫しようとするように、子どもが考えてしていることを代弁したり、うまく流れている様子を言葉にしたり、詰まっている状況を知らせたりする。 ◎いろいろな滑り方で滑り台を滑る楽しさや面白さを感じられるように、子どもの姿に驚いたり、感心したり、友達がやっていた滑り方を知らせたり、教師も一緒に滑ったりする。 ◎地面を強く蹴ってストライダーに乗ったり、強く踏み込んで三輪車を漕いだり、思い切り走ったりすることを楽しめるように、力一杯漕ぐ姿を言葉にして感心したり、レースに誘ったり、教師も乗り物に乗って追いかけたりする。 ◎作りたい物を作ることや、作ったものを使ったり身につけたりして遊ぶことを楽しめるように、何を作ろうとしているのか尋ねて一緒にどうやって作るか考えたり、ぴったりな道具や素材を提案したり、作っている姿や作ったものを使って遊ぶ姿を言葉にして褒めたり、教師自身が作ったものを身に付けて遊んだりする。 ◎使った物を戻したり、落ちているごみを拾ったりして、作業する場所が整うよさを感じられるように、狭くないか尋ねたり、片付けたら広くなって使いやすいことを言葉にしたり、理由を添えながら教師自身が片付ける姿を見せたりする。 ◎素材・道具の使い方や性質を感じて使おうとするように、使いづらそうにしている時には使い方や他の方法を提案したり、考えて扱っている姿を言葉にして認めたりする。 ◎青虫やアリなど、畑の生き物に愛着や関心をもてるように、見付けたことを一緒に喜んだり、動きや感触に驚いたり、捕まえて子どもに見せたりする。 ◎野菜の生長に関心をもって必要な世話をしようと思えるように、ブロッコリーの苗の葉が食べられていることや、キャベツが穴だらけなことや、土の湿り具合や水やりの必要性を言葉にしたりする。 ◎花の量や揉み方、水の量によって色水の濃さが変わることを感じて工夫しようとするように、色の綺麗さに感心したり、どのように作っているのか尋ねたり、考えてしたことに驚いたりする。	◇水を流したり混ぜてごちそうを作ったりするか⑪ ◇水を何度も流したり雨樋の置き方を変えたりしているか⑪ ◇寝転んで滑ったり、うつ伏せで滑ったりするか⑨ ◇速く地面を蹴ったり漕いだりして運転したり、走ったりしているか⑨ ◇作りたい物を言ったり、作ったり、使ったりするか⑫ ◇切れ端を捨てたり、使い終わったハサミやペンを片付けたりしているか⑯ ◇布ガムテープを使ったりモールをねじったりしているか⑪ ◇虫を探したり、見たり、触ったりするか⑩ ◇野菜をじっと見たり、水やりをしたりするか⑩ ◇花を多く入れたり、強く揉んだりしているか⑪
10:15	片付けをする ・乗り物や運動遊具を元の場所に戻す ・ステージ、デッキ、ベンチを運ぶ ・机、ワゴン、廃材入れを運ぶ ・玩具を洗ってカゴに収め、ワゴンを運ぶ ・落ちている物を拾う	◎まだ遊びたい気持ちを切り替えて片付けに気持ちを向けられるように、遊びの区切りで片付けに誘ったり、楽しかった気持ちに共感したり、明日続きをしようと誘ったり、次の予定の見通しをもたせたり、楽しい雰囲気で一緒に片付けたりする。 ◎やりたくない気持ちに折り合いをつけて、自分が使った場所や玩具を自分で片付けられるように、自分で片付けるまで残しておいたり、遊んでいたことを知らせて思い出させたり、誘って一緒に片付けたり、片付けに向かう姿を褒めたりする。 ◎みんなで使った場所が片付く心地よさを感じられるように、片付いてすっきりしたことを喜んだり、明日も気持ちよく使えることを言葉にしたりする。 ◎片付けを頑張った自信や満足を感じられるように、子どもの頑張りを褒めたり、一緒に片付いたことを喜んだりする。	◇片付けているか③ ◇自分が使った場所を片付けているか③ ◇片付いて笑顔になっているか⑯ ◇片付いて笑顔になっているか②

10:45	**手洗い・うがい、水分補給をする** ・用便をする ・手洗いうがいをする ・水分補給をする	◎外から帰ってきたときに手洗いうがいをする必要を感じてしようと思えるように、手洗い・うがいをしている姿を言葉にしたり、教師が率先して手洗いうがいをする姿を見せたりする。 ◎赤白帽子や作った物を丁寧に収めるよさを感じられるように、整えてロッカーに収めている姿を知らせたり、収めておけば作った大事な物がなくならないことを言葉にしたりする。	◇手洗いやうがいをしているか⑦ ◇帽子や作ったものをロッカーや絵本鞄に入れたりするか⑯
10:50	**遊びの話をする** ・楽しかった遊びや作ったものについて話す ・友達の話を聞く	◎今日の遊びや作ったものに自信や満足を感じられるように、作ったものを紹介する場を設けたり、笑顔で聞いたり、頑張りを褒めたり、楽しかった気持ちに共感したりする。 ◎友達の楽しんでいたことや考えを知れるように、どんなことをしていたか、誰としていたか、どうやって作ったか、どう思ったかなどを尋ねたり、教師が感じたことを言葉にしたりする。 ◎先生や友達の話を聞いて面白そう、やってみたいと思えるように、遊んでいなかった子どもたちにもわかるように遊びの様子を紹介したり、明日はどうやって遊ぶか尋ねたり、どんな場や素材があれば楽しくなりそうか一緒に考えたりする。	◇笑顔で遊びのことについて話しているか② ◇「僕も」「見た」「すごい」などと言っているか⑤ ◇友達を見て話を聞いたり、「やりたい」と言ったりするか①
10:55	**おやつや牛乳を飲食する** ・飲食する ・うがいをする	◎友達と一緒におやつや牛乳を飲食することを楽しみに感じられるように、楽しみな気持ちに共感したり、今日のおやつは何か話したり、温かい雰囲気でおやつを配ったりする。	◇笑顔でおやつを取りに来たり、飲食したりしているか④
11:00	**絵本「きょだいな きょだいな」を読んでもらう** ・絵本を見る ・絵本が見えやすい場所に座る ・絵本を読んでもらう	◎ぶつからない広い場所に座るよさを感じられるように、狭くないか尋ねたり、後ろの方でも見えやすそうなことを知らせたり、空いている場所を知らせたり、後から狭い隙間に来ると先にいた友達が困ってしまうことを伝えたりする。 ◎「あったとさ」の繰り返しのフレーズや、巨大な物が次々と現れて子どもたちが遊ぶ展開を楽しめるように、繰り返しのフレーズを丁寧に読んだり、間を置いてページをめくったり、擬音語を強調して読んだりする。	◇場所を見つけて座っているか⑯ ◇じっと見たり、出てきた動物の名前を言ったりするか⑬
11:05	**お引越しゲームをする** ・色々な生き物や乗り物になりきる ・好きなマットに移動する ・近く友達と触れ合う ・振り返る	◎お引越しゲームをすることを楽しみに思えるように、これまでになりきったものや、出し合ったなりたいもののアイデアについて振り返ったり、今日は誰の近くになるか期待する気持ちを言葉にしたりする。 ◎友達や先生と一緒に歌ったり、手拍子をしたり、なりきったり、ポーズを決めたりすることを楽しめるように、楽しい雰囲気で合図を出したり、一緒に歌ったり、手拍子をしたりする。 ◎さまざまな生き物や乗り物になって表現する楽しさを感じられるように、さまざまな動きのお題を設定したり、面白い表現をしている子どもの姿を言葉にして知らせたりする。 ◎面白い表現をする友達や近くに引っ越した友達に関心を寄せられるように、子どものしている表現の面白さを言葉にしたり、近くにいる友達の存在を知らせたりする。 ◎いろいろな友達と出会ったり触れ合ったりする喜びを感じられるように、名前を挙げて、身を寄せ合っている姿や一緒に過ごす心地よさを言葉にする。	◇生き物の名前を言ったり、笑顔になったりするか① ◇笑顔で歌ったり手拍子したりするか④ ◇跳んだり這ったりして移動しているか⑭ ◇友達のことを見たり、名前を言ったりするか⑤ ◇友達と身を寄せたり、近くの友達の顔を見たりするか④
11:15	**降園準備をする** ・用便をする ・身支度を整える ・先生の話を聞く ・靴を履き替える ・並ぶ	◎身の回りの物を身につけ、ロッカーを整えて帰ろうと思えるように、タオル掛けや水筒掛けに残っている物はないか尋ねたり、準備が進まない子どもとは一緒に身支度したりする。 ◎友達や先生と焼き芋じゃんけんをすることを楽しみに感じられるように、交代でみんなの前でする機会を設けたり、一緒に手遊びをして喜んだり悔しがったりする。 ◎次の登園を楽しみに感じられるように、明日の予定やしたいと思っていることについて話をしたり尋ねたりする。	◇帽子、タオル、水筒、鞄、作った物などを身に付けているか⑯ ◇笑顔で遊んでいるか④ ◇明日したいことを話しているか①
11:30	**降園する**		

背番号　赤 21～40

３歳児　うめ２組（男 10 女 10 計 20 名）保育指導案

指導者　森　香奈子

１．日　時　　令和６年１１月３０日（土）９：００～１１：３０

２．最近の具体的な子どもの姿

登園する、持ち物の始末をする	○荷物をロッカーの前の床に広げずに置き、整理しやすい順番で支度したり、置き場所を教えてもらって置いたりしている。	場や状況を整える
	○友達と登園中起こったことの話をしたり、目を見て挨拶したり、写真カードを見て、友達の登園を待ったりしている。	他者といる喜びを感じる
	○写真を見て、遊びの続きを思い出したり、今日遊びたい遊びの話をしたり、支度を終え、遊びに向かおうとしたりしている。	自ら決める・選ぶ
	○友達を誘い、遊びに向かったり、友達の遊びを教えてもらって楽しみに出かけて行ったりしている。	他者といる喜びを感じる
キャンプごっこ	○みんなで心地よく遊べるようにしようと思って、自分たちで道具を動かしたり、教えてもらって場を広げたりしている。	場や状況を整える
	○恥ずかしい気持ちだが、手伝ってもらって、あまり話したことのない友達に関わろうとしたり、教師と一緒に友達に近付いたり、自ら遊びに加わろうとしたりしている。	気持ちをコントロールする
	○葉が落ちていることを疑問に思ったり、「いっぱい落ちてる」と言ってたくさん落ちていることに気付いたり、葉を集めたりしている。	自然環境を見つめる
	○食べてもらおうと料理を作ったり、友達と同じ料理を作ったり、食べてもらって喜んだり、一緒に作ることを楽しんだりしている。	他者といる喜びを感じる
	○葉をたくさん集めようとして、手を遠くに伸ばしたり近づけたりしながら熊手で落ち葉を集めている。	身体を操作する
	○テントの中に友達と入って、身を寄せ合う心地よさを感じたり、テントの外にいる友達を誘ったりしている。	他者といる喜びを感じる
ストライダーを使った遊び	○友達が使っているストライダーを貸して欲しい、まだ貸したくないなどと自分の言葉で伝えたり、教師に手伝ってもらって伝えたりしている。	自分のことを伝える
	○友達と思いがぶつかったときに、泣いたり怒ったりしながら思いを伝えたり、どうしたらよいか教師や友達と案を出したり、気持ちを受け止めてもらったりして気持ちを落ち着かせようとしたりしている。	気持ちをコントロールする
	○友達が困ったり、助けてほしいと言ったりする姿を見たり聞いたりして、心配し近付いたり、教師に友達の様子を知らせたりしている。	他者のことを考えて行動する
	○足に力を入れ、地面を蹴ってスピードを出したり、ハンドルを左右に動かしたり、車体を傾けて曲がったりしながらバランスをとったりすることを面白く思ったり、楽しんだりしている。	身体を操作する
	○どうしたら危なくないか考えたり、教えてもらったりして、テラスの上はストライダーから降りて歩いたり、障害物を避けて通ろうとしたりしている。	身を守る
	○通り道や友達の遊びの邪魔にならないように、駐車できる場所を探したり、ぴったり収まる場所を見つけたり、作り出したりしている。	場や状況を整える
遊具での遊び	○登ってみたい、色々な場所から登りたいと思って挑戦したり、試そうとしたり、自分が決めたところから登ったりしている。	自ら決める・選ぶ
	○遊具の上に登って登れたことを喜び、近くにいる教師や友達の名前を呼んだり、他の人にも見てもらいたいと思い遠くの教師や友達を呼んだりしている。	自分に満足する
	○前から来ている友達の様子を見て、待ったり、途中で引き返したり、途中で戻ったり、先に通してあげたり、登り方に困っている友達に登り方を教えたりしている。	他者のことを考えて行動する

作って遊んだり、遊びに必要のなものを作ったり、作り変えたりする	○かわいいもの、かっこいいものを作りたいと思って、素材やテープ、ペンを選んだり、探したり、友達がしていることを自分もしてみたいと思いやってみようとしたりしている。	自ら決める・選ぶ
	○作りたいものをイメージして、描いたり、切ったり、テープを貼ったりして作ったり、偶然できた形から連想して作ったりする楽しさを感じている。	造形に表す
	○くっつけたいところにセロハンテープではくっつかないことを感じ、他のテープを試したり、粘着力の強さ弱さの違いや特徴を感じたりしている。	事物・現象を捉える
虫探し	○虫を見付け笑顔になったり、触ろうとしたり、何度も手に乗せたり、捕った生き物を虫カゴやタライの中に入れたり、何を入れたらいいのか教師と話をしたりしながら楽しんだり、世話しようとしたりしている。	生き物・命を見つめる
片付ける	○遊んだ物を片付けながら「今日のおやつ何かな」と気持ちを切り替えて期待しながら片付けをしている。	気持ちをコントロールする
	○教師や友達と同じものを一緒に運んだり、重い物を運んだりして、一緒に片付ける楽しさや喜びを感じている。	他者といる喜びを感じる
	○遊んだ場所を綺麗にしようと思って、使った物を元の場所に戻そうとしたり、使っていない物でも見付けたら片付けようとしたりしている。	場や状況を整える
遊びの振り返り	○友達の遊びの話を聞いて面白そうだと思ったり、作った物を見てすごいと思ったりして、得意なことを知ったり、関心を持ったりしている。	他者のことを知る
	○友達の作ったものを見たり、聞いたりして作り方を尋ねたり、かっこよさや可愛さを感じて褒めたりしている。	造形に表す
手洗い・うがいおやつ	○おやつの前に手を隅々まで洗ったり、うがいをしたり、椅子に座ってから教師と一緒に石鹸の匂いを確かめたり、雫が垂れないよう丁寧に拭いたり、友達のうがいの音を聞いたりしている。	体の健康を保つ
	○「今日のおやつ○○だ」と言い楽しみにしたり、匂いや味を伝えたりしてみんなでおやつを食べることを喜んだりしている。	食を見つめる
なべなべそこぬけ	○手をつないだままひっくり返る方法を、実際に体を動かして「こうしたら？」と伝えたり、「中に入る」などと考えたことを言葉で伝えたりしている。	自分のことを伝える
	○友達とひっくり返ったり、戻ったりするたびに笑顔になったり、面白いと思って何度もやったりしている。	他者といる喜びを感じる
	○うまくひっくり返った友達の様子を見て、片手を上に持ち上げて中に入ろうとする子もいれば、手が交差してひっくり返れずにいる子もいる。	身体を操作する
絵本を見る	○絵本が好きで聞きたい思いが強く、絵本が始まると静かにじっと見つめたり、楽しそうに笑ったり、「わあ」と声を出して驚いたりして絵本の世界に入り込んでいる。	文芸に表す
降園準備をする・降園する	○タオルを折ったり、巻いたりして、サンドウィッチやロールケーキ、巻きずしを作り、見せたり、食べてもらったりして喜んだり笑顔になったりしている。	他者といる喜びを感じる
	○水筒や帽子を忘れている子がいると「水筒、タオル忘れてるよ」と声をかけて友達が気付いて取りに行けるようにしたり、持って行き教えてあげたりしている。	他者のことを考えて行動する
	○朝との気温差を感じ、暖かくなったことを呟いたり、朝は寒かったから上着を着てきたことなど話したりしている。	自然環境を見つめる

３．本日のねらい

① 昨日までの遊びを思い出して向かったり、友達と遊びたい、可愛い髪飾りが作りたい、登れない場所に挑戦したいなど、したいこと、作りたいものに向かって、必要な材料を探したり、色を選んだり何度も挑戦したりして、しようとする。	自ら決める・選ぶ
② したい遊びでたくさん遊べた、やってみて楽しかった、友達と遊べて楽しかった、登れるようになったなどと嬉しく思う。	自分に満足する
③ 恥ずかしい時、友達と衝突した時、片付けの時に、手伝ってもらったり、自分の気	気持ちをコントロールする

持ちを友達や先生に聞いてもらって、納得できる案を考えたり、終わりを決めたりして、気持ちを切り替えようとする。

④	先生や友達と出会ったり、挨拶をしたり、話をしたり、一緒に遊んだり、片付けたりする楽しさや、心地よさを感じる。	他者といる喜びを感じる
⑤	見たり、聞いたりして、友達の得意なことや、友達の楽しんでいた遊びに関心をもつ。	他者のことを知る
⑥	自分がしたいこと、して欲しいこと、困ったこと、考えたことを先生や友達に言葉や表情で伝えたり、指さしたり、体を動かし見せたりして、伝えてよかったと感じる。	自分のことを伝える
⑦	泣いたり、困ったりしている友達に気付いて何かしてあげようと声をかけたり、代弁したり、友達が気付けるように知らせたり、どうするか考えたりする。	他者のことを考えて行動する
⑧	手や喉のばい菌を洗い流すために、ガラガラと音をならしてうがいをしたり、丁寧に手を洗ったり拭いたり、虫歯にならないようにブクブクうがいをしたりする。	体の健康を保つ
⑨	どうしたら危なくないか考えてコンクリートを避けて通ろうとしたり、先生に教えてもらって障害物を避けたりする。	身を守る
⑩	手を遠くに伸ばしたり引き寄せたりしながら落ち葉を集めたり、足に力を入れ、地面を蹴って速いスピードを出したり、ハンドルを左右に動かし、方向転換をしたりして乗り物で走ったり、なべなべそこぬけで手を繋いだままひっくり返ろうと片手を挙げて中に入ろうとしたりして面白さを感じる。	身体を操作する
⑪	たくさん落ち葉が落ちていることに気付いたり、気温の変化を感じたり、寒さ暑さに疑問をもったりする。	自然環境を見つめる
⑫	虫に興味をもち、見たり、触ったり、捕ったり、話しかけたり、世話しようとしたりする。	生き物・命を見つめる
⑬	剥がれやすい、剥がれにくいテープの違いを感じて使おうとする。	事物・現象を捉える
⑭	作りたいものをイメージして素材を選んだり、貼ったり、描いたり、切ったりして作ったり、作ったものを使って遊んだりする楽しさを感じたり、友達の作ったものの作り方を聞いたりして、よさを感じたりする。	造形に表す
⑮	ねずみ達がさつまいもを探している様子を見てワクワクしたり、さつまいもがどこになっているのか知ったり、採れた喜びを感じたりする。	文芸に表す
⑯	みんなで話したり、美味しさを感じたりして、一緒に食べられることを嬉しく思う。	食を見つめる
⑰	遊ぶ場や身支度をする場を広くしたいと思って、動かしたり、通り道や遊んでいる場所の邪魔にならないような場を探し駐車したり、園庭に残っているものに気付いて片付けようとしたりする。	場や状況を整える

４．展 開

時刻	予想される子どもの活動	＊環境の構成及び再構成　◎教師の援助	◇評価の観点
9:00	登園する ・挨拶する ・靴を履き替える ・通園ノートにハンコを押す ・鞄や水筒、タオル帽子、上着を収める ・手洗いをする	◎朝の支度をしやすくするために、場を整えようとするように、ロッカー前に鞄を置くと通りやすいことや物が広がりすぎていることを知らせる。 ◎先生や友達と出会う嬉しさや挨拶をする心地よさを感じられるように、目を合わせて挨拶をする。 ◎風邪の予防になることを知って、外から保育室に入ってきた時に、手を綺麗にしたい、喉のばい菌を洗い流したいと思えるように、している友達の姿を知らせたり、うがいの音が聞こえたことを伝えたり、丁寧に手を洗ったり、拭いたりしている姿を認めたりする。 ＊昨日までの遊びを思い出して遊びに向かえるように、遊びの写真を表示しておく。	◇鞄をロッカー前に置き支度をしているか⑰ ◇笑顔で挨拶したり、話したり、友達を待ったりしているか④ ◇手洗いやうがいをしているか⑧ ◇したい遊びの話をしたり支度を終え

			すぐに遊び始めたりしているか①
9:15	**好きな遊びをする** ・友達を誘う ・したい遊びの話をする ・友達がしていることや話している様子を見たり聞いたりする ・友達の様子を見て声をかける ・場所づくりをする	◎友達との遊びを楽しみに出かけていけるよう、誰がどこで何をして遊んでいるかや、教師が今日しようと思っている遊びを伝える。 ◎あまり話したことのない友達に恥ずかしいけれど、話しかけたり、遊ぼうと誘ったりして関わろうと思えるように、話を聞いたり、一緒に声をかけたり、見守ったりする。 ◎友達や教師に困っていることや考えたことを伝えられるように、教師が間に入ってお互いの意見を聞いたり、一緒に友達のところに行って尋ねたり、どうすればいいか一緒に考えたりする。 ◎泣いたり、困ったりしている友達の存在に気付いたり、心配したりするように、友達の様子を伝えたり一緒に心配したりする。 ◎使っていないものを片付けながら遊べるように、玩具が広がりすぎていることを伝えたり、一緒に整えたり、玩具が広がった時と広がっていない時とどちらのほうが遊びやすいか尋ねたりする。 ◎友達と思いがぶつかった時に、気持ちを落ち着かせられるように、泣いたり、怒ったりしている時には思いを聞き受け止め、どうしたらよいか一緒に考えたり提案したりする。	◇友達に「一緒に遊ぼう」と伝え笑顔になっているか④ ◇友達に近づいたり声をかけたりしているか③ ◇どうしたいか、何をしてほしいかを言ったり、体を動かし示したりするか⑥ ◇「大丈夫？」と声をかけたり、友達の気持ちを代弁したりしているか⑦ ◇一緒に物を動かしたり、広くなったことを感じて言葉にしたりしているか⑰ ◇自分の思いを話したり、話を聞いたりしているか③
	○キャンプごっこ ・落ち葉を集めて、たき火を表現する ・テントの下にシートを敷いてキャンプ場をつくる ・落ち葉を木に挿したりどんぐりを飾りつけたりして料理を作る	＊必要な物を自分たちで作ったり動かしたりできるよう、木に紐を付けたり、ブロックを組んだり、重ねたり、落ち葉が集められるよう熊手を用意したりしておく。 ◎葉がたくさん落ちていることを感じられるように、落ち葉を一緒に集めたり、集めた落ち葉をたき火の遊びに使ったり、なんで落ちているのか疑問を言葉にしたりする。 ◎料理を作って食べてもらうことの嬉しさや、一緒に作ることの面白さを感じられるように、料理を火にかけることで温かくなったこと、焼けていることを言葉にしたり、料理のおいしさを伝えたりする。 ◎遠くに手を伸ばしたり、引き寄せたりすることを意識して、熊手を使うように、一緒に集めたり、手を添え手伝ったり、手の曲げ方を言葉にしたりする。 ◎テントに友達や教師と入る心地よさを感じられるように、教師も一緒に入ったり、外にいる子を誘ったりする。	◇自分たちで必要な物を出したり、道具を動かしたりしているか⑰ ◇「いっぱい落ちてる」など話しながら落ち葉集めをしているか⑪ ◇料理を作り、ふるまうことで笑顔になっているか④ ◇手を遠くに伸ばしたり熊手を手前に引き寄せたりしているか⑩ ◇テントに入り友達と話したり喜んで笑顔になったりしているか④
	○ストライダーを使った遊び ・選んだり、探したりする ・ストライダーで	◎友達に貸して欲しい思いが伝えられるよう、一緒に声をかけたり、傍で見守ったりする。 ◎速いスピードで走ることの面白さを感じられる	◇友達に声をかけたり、自分の思いを伝えたりしているか⑥ ◇足を踏ん張ったり、

	走ったり曲がったりする ・競争する ・駐車場を作る	ように、競争をしたり、速く走れることやハンドルを左右に動かしたり、車体を傾けるとバランスをとれることを言葉にして伝えたり、そのようにする姿を認めたりする。	スピードを出したり、曲がったりしているか⑩
		◎どうしたら危なくないか考えて通れるように、障害物があることを知らせたり、コンクリートで走るとどうなるかを尋ねたりする。	◇障害物やコンクリートを避けているか⑨
		◎遊びの場を広く過ごしやすくするために、乗り物の置き場所を考えられるように、駐車できそうな場所を知らせたり、提案したりする。	◇駐車できそうな場所を探したり作り出したりしているか⑰
	〇遊具での遊び ・色々なところから登ったり降りたりする ・登れるようになったことを先生に知らせたり友達を呼んだりする ・友達の様子を見たり待ったりする	◎まだ登れない場所に挑戦したいと思えるように、色々な登り方を知らせたり友達が登っている姿を一緒に見たりする。	◇ファイヤーマンポールやポストグリップに挑戦しているか①
		◎登れるようになったことに達成感を感じられるように、登りきった時に教師が一緒に喜んだり、挑戦している時に褒めたり応援したりする。	◇登って笑顔になっているか②
		◎反対から進んでくる友達の様子を見てどうするか考えられるように、反対から来ている友達の様子を知らせたり、どうするか一緒に考えたりする。	◇友達を見て、待ったり、声をかけたりしているか⑦
	〇作って遊んだり、遊びに必要なものを作ったり作り変えたりする ・素材や道具を出す ・切ったり貼ったり、描いたりする	＊好きな物を選んで作りたい思いが叶うように、机の近くにテープやハサミを置いたり、取り出しやすいよう、廃材を種類別に整えて置いたりする。	◇廃材やテープ、ペンなど必要な物を探しているか①
		◎イメージしたものを作ったり、作る嬉しさや楽しさを感じられるように、作りたいものを尋ねたり、必要な物を聞き用意したり、提案したり、作る姿を見せたりする。	◇笑顔で貼ったり、描いたり、「できない手伝って」と言ったりしているか⑭
		◎テープの違いを感じて使えるように、剥がれやすくないか尋ねたり、素材によって剥がれないものがある面白さを伝えたりする。	◇他のテープを試したり、「貼れない」と呟いたりしているか⑬
	〇虫探し ・ダンゴムシやアリ、青虫を見つけたり、トンボを追いかけたりする	◎虫に興味をもち、見たり、触ったり、捕まえたりするように、一緒に探したり、どんな虫がいるか会話をしながら植木鉢を動かしたり、葉についている虫を知らせたりする。	◇虫を見付け、笑顔になったり、触ったりしているか⑫
		◎虫に興味をもち世話をしたいと思えるように、虫が何を食べるのか、どんなところが住みやすいのか相談しながら一緒に虫籠やタライの環境を作る。	◇虫が食べるものを尋ねたり、石や葉を入れたりしているか⑫
10:15	片付ける ・使ったものを元の場所に片づける ・まだ遊びたい気持ちからそのまま遊ぼうとする ・先生や友達と一緒に運んだり、片付けたりする ・残っているものがないか探す	◎遊んだ満足感を感じられるように、楽しかったことを聞いたり、遊んでいた様子を知らせたりする。	◇「楽しかった」「明日もやろうね」と話しているか②
		◎気持ちを切り替え片付けられるように、「おやつ何だろうね」など次の活動に期待できる声かけをしたり、遊びをどこまでにするか尋ねたり、一緒に片付けたりする。	◇友達や教師と片付けたり、終わりを決めて片付けたりしているか③
		◎教師や友達と一緒に片付けをする楽しさを感じられるように、一緒に片付けている姿や楽しそうに片付けている姿を言葉にする。	◇一緒に運んだり、話をしたりしながら、片付けを楽しんでいるか④

		◎片付け忘れたものがないか気付いて片付けようとするように、見廻り隊を集めて一緒に探したり、気付いた子に声をかけたりする。	◇片付け忘れた物を拾って片付けているか⑰
	・手洗い、うがいをする ・排泄をする	◎手洗いうがい、手を拭くことを丁寧にしようと思えるように、一緒に手を洗って見せたり、うがいの音が聞こえたことを言葉にしたり、タオルで手を拭く気持ちよさを伝えたりする。	◇指の間まで洗ったり、うがいをしたり、雫が垂れないようになるまで手を拭いたりしているか⑧
10:40	**遊びの振り返りをする** ・楽しかった遊びを思い出し話したり、作ったものを見せたりする	◎友達の遊びの楽しさや面白さを感じられるように、教師が楽しそうなことを聞いて驚いたり、遊びでしていたことを尋ねたりする。	◇笑顔で話したり、尋ねたり、じっと見つめ話を聞いたりしているか⑤
		◎友達の作ったもののよさを感じられるように、みんなの前で見せたり、何を作ったのか、何を使って作ったのか、どう使うのか尋ねたりする。	◇作り方を尋ねたり、「すごい」と褒めたりしているか⑭
10:50	**おやつ・牛乳を飲食する** ・おやつを食べる、牛乳を飲む ・手洗い、うがい、排泄をする	◎みんなで食べる楽しさを感じられるように、おやつの匂いを尋ねたり、おやつの感想を聞いたりする。	◇話しながら笑顔でおやつを食べているか⑯
		◎困っていることを自分の言葉や表情で伝えられるように、おやつの袋や牛乳を開けられず困っている子に何に困っているのか尋ねる。	◇先生の手を引いたり、「開けて」や「一緒にしよう」など言ったりするか⑥
		◎虫歯にならないために、ブクブクうがいをしようとするように、うがいをする大切さを伝えたり、上手にうがいしている子の口に注目するような声掛けをしたりする。	◇コップを外し、うがいをしているか⑧
11:00	**なべなべそこぬけをする** ・二人組になり座る ・手をつないで向き合いひっくり返る ・手をつないだまま背中を合わせる	◎ひっくり返るために考えたことを言葉にして友達に伝えられるように、手をつないだままひっくり返るにはどのようにすればいいのか尋ねる。	◇「こうしたら？」と体を動かしたり、言葉で伝えたりしているか⑥
		◎友達とひっくり返る楽しさを感じられるように、後ろを向いた時や戻ってきた時に顔が見える嬉しさを伝えたり、笑顔で見守ったりする。	◇ひっくり返った時に友達の顔を見て笑顔になっているか④
		◎手をつないだままひっくり返ろうと思えるように、手をつないだまま戻ってこられた友達の様子を知らせたり、片手を持ち上げ回るコツを聞いたりする。	◇友達の様子を見てしたり、片手を持ち上げ、中に入ろうとしたりしているか⑩
11:10	**絵本「ねずみのいもほり」を見る**	◎ねずみたちがさつまいもを探す様子を見てワクワクするように、さつまいものなっている場面までを楽しそうに読んだり、採れた時には笑顔で読んだりする。	◇笑顔になったり、「どこにあるのかな」と呟いたりしているか⑮
11:20	**降園準備・降園する** ・タオルを折ったり丸めたりする ・帽子を被りリュックを背負う ・忘れている子に声をかける	◎友達や教師と一緒に帰る準備を楽しめるように、タオルで作ったサンドウィッチや巻き寿司を食べ味の感想を伝える。	◇作ったものを食べてもらって笑顔になっているか④
		◎持ち物を身につけ忘れている周りの友達の様子に目を向けられるよう、気付いたことに「よく気づいたね」など言葉にしたり、教えてもらった子の代わりに感謝を伝えたりする。	◇残った水筒やタオルを見て声をかけているか⑦
11:30		◎朝との気温の違いを感じられるように、寒いか暖かいか尋ねて、上着が必要か考えられるようにする。	◇「朝は寒かった」など気温について話しているか⑪

背番号　青1～20

４歳児　もも１組（男９　女 11　計 20 名）保育指導案

指導者　髙橋　梨花

１．日　時　　令和６年１１月３０日（土）９：００～１１：３０

２．最近の具体的な子どもの姿

登園する、持ち物の始末をする	○先生や友達を見付けて自分から挨拶をしたり、写真カードを見て友達の出欠を確認したりして、友達が来ていることを喜んでいる。	他者といる喜びを感じる
	○持ち物の始末をしながら何をして遊ぶか友達に話したり、友達を遊びに誘ったり誘われたりして一緒に遊ぶことを嬉しく思っている。	他者といる喜びを感じる
作ったり描いたりする遊び	○段ボールを使って忍者城を作りたい、ブレスレットや指輪、衣装を作りたい、楽器を作りたい、国旗を作りたいと思って道具や材料を選んでいる。	自ら決める・選ぶ
	○自分が作りたいと思っていた物が作れた、自分が作った物を友達や先生に褒めてもらい改めて自分が作った物の素敵さを感じて満足している。	自分に満足する
ごちそう作り	○プリンやケーキを作りたいと思って木の実や葉っぱを探したり、今日はこんな料理を作りたいと思って道具を選んだりしている。	自ら決める・選ぶ
	○友達や先生を誘い、砂で作ったケーキや珈琲などを食べてもらうことを喜んでいる。	他者といる喜びを感じる
ボール遊び	○バスケットゴールにたくさんシュートを決めたい、サッカーでドリブルをしてゴールを決めたいなどと思って諦めずやり続けたりしている。	自ら決める・選ぶ
	○前よりもシュートが決まるようになった、ドリブルを続けられたなど、できなかったことができるようになったことを喜んだり先生や友達に褒めてもらって、できたことを感じ嬉しくなったり自信をもったりしている。	自分に満足する
	○ゴールが決まったり勝ったりして、同じチームの友達と目を合わせ、ハイタッチをすることを喜んでいる。	他者といる喜びを感じる
	○サッカーでシュートをしようと軸足をボールの近くに置き、ボールを蹴りたい方向につま先を向けようとしたり、相手の動きを見てボールを蹴ったり、バスケットゴールにシュートをしようとゴールを見て膝を使ってボールを投げたりしている。	身体を操作する
アイドルごっこ	○推しの子になって踊りたいと思ったり、踊りたい曲を選んだりしている。	自ら決める・選ぶ
	○前よりも側転ができるようになった、考えた振り付けで踊れたなど、できるようになった自分を感じ、嬉しく思っている。	自分に満足する
	○友達と同じ振り付けを踊ったり、手を繋いだり目が合ったりする嬉しさを感じている。	他者といる喜びを感じる
	○前転や側転、ジャンプをしたり、手や足を様々な方向に動かしている。	身体を操作する
	○音楽のテンポやリズムを感じて踊ったり、楽器を鳴らしたり、歌詞を聴いて振り付けを考えたりして踊っている。	音楽に表す
	○アイドルらしくなるために、ハートを手で作ってポーズをしたり、笑顔でポーズを決めたりしている。	身体の動きに表す
	○推しの子になるために必要な衣装や髪飾り、指輪などの装飾品を作ろうとしている。	演出に表す
土・水を使った遊び	○温泉やプールを作りたいと思って土を掘ったり水を流したり、トンネルから水を流したいと思い、樋を長く繋げたりする。	自ら決める・選ぶ
	○トンネルを開通できた、長く樋を繋げて水を出せた、温泉やプールに水をたくさん溜められた、大きな池ができたなど、作りたいものを作れて嬉しく思っている。	自分に満足する
	○友達と作った温泉に足を浸けた気持ちよさや水の冷たさなどを一緒に感じたり、水が流れていくことを喜んだりしている。	他者といる喜びを感じる
	○バケツを重たそうに持っている友達を見て、リアカーを持ってきて一緒に運んだり、満杯になったバケツと空のバケツを交換して運んだりして、必要だと思うことを考えてしようとしている。	他者のことを考えて行動する
	○水溜まりを作ろうと水を穴に入れようとするが、すぐに水がなくなってしまう様子が面白く、じっと見たり水を汲んで流したりしている。	事物・現象を捉える
	○樋の傾く角度によって水が流れる速さが変わることを感じ、樋の置き方や高さを調節して変化を見ている。	事物・現象を捉える
ガッチャード・忍者	○ガッチャードになりたい、忍者になりたいと思い必要なアイテムを作ってどうやって遊ぶか考えたり、闘いごっこをしたりしている。	自ら決める・選ぶ

ごっこ	○作りたいと思った武器が作れた、やりたかった闘いごっこができたことを嬉しく思っている。	自分に満足する
	○この場所を闘いごっこの場所にしたい、こんな武器を使いたいなど、自分の考えを言葉にして伝えている。	自分のことを伝える
	○相手の動きを見て避けたり距離を取ったり、思いっきり走ったり追いかけたりして動くことを楽しんでいる。	身体を操作する
	○ガッチャードになって睨みつけるような表情をしたりポーズをとったり、闘いの動きをしたり、忍者になって隠れたりしている。	身体の動きに表す
忍者修行	○修行をしたいと思い、平均台やラバーリングを出したり、新しいコースを作って修行をしたいと思ったり、友達が修行をする姿を見てやってみたいと思ったりする。	自ら決める・選ぶ
	○使いたい道具を使って修行ができた、ジャンプを高く飛べた、鉄棒で前回りができたなど、やりたかったことができたことを喜んでいる。	自分に満足する
	○ジャンプして的にタッチしようと腕を真っすぐ伸ばしたり、膝を曲げて足に力を入れて跳ぼうとしたり、雲梯や鉄棒で握る手に強く力を入れたりしている。	身体を操作する
片付ける	○片付けの時間であると知り、これをしたら片付けようと決めて片付けていたり、友達に声をかけて片付け始めたりしている子どもや、まだ遊びたい気持ちからずっと遊び続けていて、先生に何度も声をかけてもらってやっと片付けに向かう子どもがいる。	気持ちをコントロールする
	○次にする活動を楽しみだと思い、遊びに区切りを付けて片付けに向かおうとする子どもがいる一方で、まだ遊びたいと思い遊び続けている子どももいる。	自ら決める・選ぶ
	○自分の周りや友達が使っていた場所を見て、綺麗にした方がよいと思い、自分の使った場所を見て片付けようとする子どもや、先生に知らされて使っていた物を片付けようとして子どももいる。	場や状況を整える
野菜・生き物の世話をする	○カメやメダカがどれくらい餌を食べるか考えて餌をあげたり、どのように餌を食べたり動いたりするのか見てみたいと思って触ったり観察したりしている。	生き物・命を見つめる
	○毎日育てている野菜の様子を見て生長を楽しみに水やりをしている子どもや、先生に気付かされたり友達の姿を見たりして水やりをする子どもがいる。	生き物・命を見つめる
	○自分が育てる野菜を観察しながら葉っぱが増えたり茎が伸びたことに気付いて嬉しく思ったり、葉っぱが生き物に食べられてなくなっていることを不思議に思ったりしている。	生き物・命を見つめる
手洗いうがいをする	○戸外から帰ってきた後に手洗いやうがいをして手や口内を清潔にしようとしたり、先生に声をかけられ気付いて手洗い場に向かったりしている。	体の健康を保つ
	○手についた汚れを落としたいと思い、絵表示を見て手首や爪の間まで丁寧に手を洗ったり、うがいをしたりしている子どもや、泡をつけてすぐに流していたり、うがいをしていなかったりする子どもがいる。	体の健康を保つ
遊びの振り返りをする	○明日もしたいことを話したり、友達の話を聞いて自分もしてみたいと思ったりしている。	自ら決める・選ぶ
	○自分がしたい遊びを振り返ったり、友達の話を聞いたりして明日やりたい遊びを決めたり楽しみに思ったりしている。	自ら決める・選ぶ
	○自分の楽しかった遊びや頑張ったこと、困ったことを伝えたいと思って伝えたり、友達の話を聞いて思ったことを話したりしている。	自分のことを伝える
	○友達が楽しんでいる遊びやしたいと思っていることを感じている。	他者のことを知る
牛乳とおやつを食べる	○おやつの袋が同じ絵や色だったことを嬉しく思ったり、好きなおやつだったことに喜んだりして、一緒におやつを食べて笑顔になっている。	食を見つめる
絵本を見る	○読みたい絵本を持っている友達に「見せて」と言ったり、「これ見て」と声をかけたりして、一緒に見ることを喜んでいる。	他者といる喜びを感じる
	○先生に絵本を読んでもらって登場人物の心情を感じたり、話の展開や内容を楽しんでいる。	文芸に表す
降園準備をする・降園する	○帽子や水筒、タオルなどの忘れ物が無いように確認しながら降園準備をしている。	自ら決める・選ぶ
	○タオルを丁寧に畳んだり、ロッカーを綺麗に整えようとしている子どもがいる一方で、早く外に出て１番に並びたいという気持ちからタオルを畳まずに鞄に入れたり、ロッカーが整っていないままの子どももいる。	住空間を整える

３．本日のねらい

①	昨日した遊びを今日もしたいと思って遊びに向かったり、忍者・敵ごっこで忍者になって逃げたい、敵になって追いかけたい、ガッチャードや忍者になって闘いたい、推しの子になって踊りたい、温泉やプールを作りたいなど、こんな風にやってみたいと思ってやったり、試してみたりする。	自ら決める・選ぶ
②	前よりもシュートが決まるようになった、ドリブルをたくさんつけた、自分が作りたかったものが作れたなど、やりたかったことができたり、自分の頑張りを感じたりして喜ぶ。	自分に満足する
③	片付けの時間だとわかり、遊びに区切りをつけて片付けを始めようとしたり、困った時や悲しい時、やりたいことが叶わなかった時に思いを受け止めてもらって一緒に考えたりすることで、気持ちを落ち着けたりする。	気持ちをコントロールする
④	先生や友達と挨拶や話をしたり、忍者やガッチャードになって一緒に遊んだり、遊びに誘ったり誘われたりする嬉しさを感じたりする。	他者といる喜びを感じる
⑤	友達のしていることを見たり聞いたりして、友達が楽しんでいることや友達の優しさ、面白さ、頑張りに気付いたりする。	他者のことを知る
⑥	自分が考えたこと、したいことやしてほしいと思うことを友達や先生に言葉や態度で伝えようとしたり、伝わってよかったと感じたりする。	自分のことを伝える
⑦	友達と一緒に目的を共有したり、より遊びが面白くなるように自分の考えを友達に伝えたり、友達の話を聞いてみんなが納得するよう考え進めていこうとする。	人と物事を進める
⑧	登園時や戸外から戻ってきた時やおやつを食べる前には、手や口内についたバイ菌を除こうと思って手洗いうがいをする。	体の健康を保つ
⑨	流したい場所に水が流れるようにポンプを押す力を調節したり、バスケットゴールにシュートをしようとゴールを見て膝を使ってボールを投げたり、友達の動きを見て方向転換したり、手や足を様々な方向に動かして踊ったり、体勢や体の動かし方などを考えたり試したりする。	身体を操作する
⑩	野菜の葉っぱの大きさや茎の長さ、太さを見て変化に気付いたり、愛着をもってカメやメダカ、ザリガニを観察したり餌をあげたり、育てるために環境を整えたりする。	生き物・命を見つめる
⑪	樋の置き方や組み立て方、高さによって水の勢いと流れ方が変わっていくことを感じたり、水の流れが変化していくのを見て土を掘ったり道具を組み合わせたりする。	事物・現象を捉える 問題を認識する
⑫	遊びに使いたい物や作りたい物を思い浮かべて素材や色、形、道具を選んだり組み合わせたり切ったり貼ったりすることを楽しむ。	造形に表す
⑬	曲のリズムやテンポを感じて身体を動かしたり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。	音楽に表す
⑭	「ともだちになろうよ」を読んでもらい、友達を思う優しさを感じたり、友達がいる素敵さを感じたりする。	文芸に表す
⑮	ガッチャードや忍者になって走ったり闘ったり、推しの子になって踊ったり、友達の踊りを真似して踊ったりすることを楽しむ。	身体の動きに表す
⑯	友達と一緒に顔を見ながらおやつや牛乳を飲食する楽しさを感じる。	食を見つめる
⑰	自分の周りや友達が使っていた場所を見て、自分や友達が気持ちよく遊べる場となるように、作りたい物や使いたい物を作るために机や鏡、ゲームボックスを出したり、自分が使ったものを片付けたり使い終わったら道具を片付けようとしたりする。	場や状況を整える

４．展 開

時刻	予想される子どもの活動	＊環境の構成及び再構成　◎教師の援助	◇評価の観点
9:00	登園する ・挨拶する ・持ち物の始末をする ・通園ノートにシールを貼る ・手洗いうがいをする	◎友達や先生と挨拶をしたり、会って話をする喜びを感じられたりするように、視線を合わせて名前を呼んだり、笑顔で挨拶を返したり、話を聞いて答えたりする。 ＊昨日の遊びの続きややりたい遊びを見付けられるように、昨日の遊びの様子や話していたことがわかるように、写真を掲示したりする。 ◎バイキンを取り除くために丁寧に手洗いとうがいをしようと思えるように、丁寧にうがいをする姿を褒めたり、手洗いうがいをする友達の姿を知らせたり声をかけたりして気付かせたりする。	◇友達や先生と挨拶をしたり話をしたりして笑顔になっているか④ ◇写真を見て「○○して遊ぶ」としたい遊びを見付けているか① ◇手洗い場に向かい、手を洗ったりうがいをしたりしているか⑧

9:15	好きな遊びをする ・友達や教師を誘って好きな遊びを始める ・友達とイメージを共有しながら遊ぶ ・自分の考えや気持ちを友達に伝えて遊びを進めていこうとする	◎遊びたい気持ちが増すように、すでに遊んでいる友達の姿を知らせたり、誘いかけたりする。 ◎友達との関わりが上手くいかずに困ったりトラブルになったりした時には、友達や先生に気持ちを伝えながら気持ちを落ち着かせられるように、気持ちを受け止めたり、どのようにすれば納得するのか一緒に考えたりする。 ◎友達が楽しんでいる遊びを知れるように、友達が遊ぶ姿を言葉にしたり一緒に遊んで楽しさに共感したりする。 ◎自分の気持ちが伝わらずに困ったり黙っていたりするときには、自分の気持ちを伝えるきっかけになるよう、何に困っているのか何をしたいのか子どもの気持ちを尋ねながら傍で見守ったり言葉を加えたり伝えることを勧めたりする。	◇すぐに遊び始めているか① ◇落ち着いて話し始めているか③ ◇友達がしている遊びを見たり一緒に遊んだりしているか⑤ ◇自分の思いを友達や先生に伝えているか⑥
	〇生き物の世話をする ・餌をあげる ・観察する	◎餌をあげたり観察したりしようとするように、カメやメダカ、ザリガニの様子を一緒に見たりどんな気持ちか想像する言葉をかけたりする。	◇生き物の気持ちを予想して言葉にしたり餌をあげたりしているか⑩
	〇作ったり描いたりする遊びをする ・折り紙を折る ・恐竜や国旗の絵を描く	＊作りたいものをイメージして使いたい道具や素材を選んだり使ったりして作る楽しさを感じられるように、画用紙や折り紙、テープ等をテラスや保育室の出入り口に置いておく。 ◎作りたいものが作れた嬉しさを感じられるように、作品の素敵な所や頑張りを具体的に言葉で伝えたりする。	◇自分がイメージするものに合わせて素材や道具を選んだり、作ったものを言葉にしたりしているか⑫ ◇素敵な所や頑張りを聞いて笑顔になっているか②
	〇ボール遊び ・バスケットゴールにシュートする ・ドリブルをつく ・試合をする	＊遊びの目的を共有して楽しめるよう、得点やチーム名が書けるホワイトボードやペン、タイマーを取り出しやすい場所に置いておく。 ◎シュートを前よりも多く入れられことを嬉しく感じたり、頑張ってきた自分を感じて自信をもてたりするように、頑張っていた姿を具体的に褒めたり感心したりする。 ◎友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、友達の名前を呼んだり友達と一緒に遊ぶ嬉しさに共感したりする。 ◎自分の思いを友達に伝えたり、友達の話を聞いたりして、みんなで遊びを進めていこうと思えるように、教師も遊びの一員として思いを伝えたり、伝えるように促したり、思いを尋ねたりする。 ◎シュートが入るように体勢や体の動かし方を知ってやってみたりするように、教師も一緒に遊んでやって見せたり、コツが掴めそうな瞬間を言葉にしたり、子どもが動かしている体の部位を具体的に言葉にして伝えたりする。	◇ホワイトボードやタイマーを取り出し、得点を書いたり時間を計ろうとしたりしているか⑦ ◇頑張りを褒められて笑顔になっているか② ◇友達と顔を合わせて笑顔になったり話しかけたりしているか④ ◇自分の思いを伝えたり、友達の話を聞こうとしたりしているか⑦ ◇体勢や体の動きを変えて何度もやっているか⑨
	〇忍者・ガッチャードごっこ ・ガッチャードになる ・忍者になる ・闘いごっこをする ・秘密基地を作る	＊武器や衣装を作ったり使ったりして遊ぶ楽しさを感じられるように、忍者やガッチャードの武器や衣装、装飾品がわかる写真を掲示しておく。 ◎武器や衣装を作れたことを感じて嬉しく思えるように、工夫したり考えたりしているところを具体的に褒めたり、したいことができていることを言葉にしたりする。 ◎忍者やガッチャードになって一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、友達が同じ動きをしていることを知らせたり、友達の名前を呼んだりする。 ◎闘いごっこをより楽しいと思えるように、考えを伝えて決めたことで遊びがより楽しくなりそうなことを言葉にしたり、困ったことをみんなで話し合うように促したりする。 ◎忍者やガッチャードになりきって役らしい振り付けや動き、闘いごっこを楽しめるように、設定や役柄を尋ねたり子どもの表現のよさを言葉にしたり、なりきってい	◇写真を見て作るものを言葉にしているか① ◇褒められたり、作ったりしたものを見て笑顔になっているか② ◇友達の顔や動きを見て笑顔になっているか④ ◇話し合ったり決まったりしことをしようとしているか⑦ ◇忍者やガッチャードになって表情やポーズを決めたり闘ったりして

		る姿を言葉にしたりする。	いるか⑮
	○ごちそう作り	◎こんなケーキやプリンが作りたい、珈琲を作りたいなどと思って木の実や花を選んで作れるように、いろいろな色の花があることを知らせたり、木の実が落ちている場所を一緒に探したり、試したりする。	◇使いたい木の実や花を選んでいるか①
		◎友達や教師を誘ったり誘われたりして、一緒に遊ぶ楽しさを感じられるように、友達と一緒に遊ぶ姿を言葉にしたり、教師もお客さんになって料理を食べたりする。	◇笑顔で友達や教師を誘ったり、一緒に料理を作ったり食べたりしているか④
	○アイドルごっこ ・CDデッキを持ってくる ・曲をかける ・鏡やゲームボックスを出す ・友達と一緒に踊る	＊自分達がしたい遊びが遊びやすくなるように考えて舞台を作っていけるように、前日と同じ物を少し出して置いたり、近くに物を置いておいたりする。	◇自分達で必要な物を取り出し、整えたり作ったりしているか⑰
		◎推しの子になって踊りたい、こんな風にしたいと思って踊ったりするように、教師も一緒に踊ったり、子どものイメージを尋ねてみたりする。	◇推しの子になって踊ったり、したいことを言葉にしているか①
		◎踊りたい踊りができた、前回りや側転などの難しい動きができた、作りたかった楽器や装飾品ができたなど、したいことができた嬉しさを感じられるように、できた嬉しさに共感したり、具体的に褒めたりする。	◇できるようになったことを言ってもらい、笑顔になっているか②
		◎友達を誘ったり誘われたり、一緒に同じ踊りをしたりする嬉しさを感じられたりするように、友達と遊んでいる姿を言葉にしたり、誘ったり誘われたりする嬉しさに共感したりする。	◇友達の顔を見たり話をしたりして笑顔になっているか④
		◎指先や腕、脚などの身体の細かい部位を動かすことに意識を向けられるように、教師も一緒に踊ったり、身体の細かい部位を意識して踊る姿を具体的に言葉にしたりする。	◇身体の動かし方を変えているか⑨
		◎曲のリズムやテンポ、曲調の変化に気付き、踊りを楽しめるように、手拍子をしたり教師も一緒に楽器を鳴らしたり、曲調が変わったことを知らせたりする。	◇リズムやテンポ、曲調を感じて踊りを変えているか⑬
		◎推しの子になって踊る楽しさを感じられるように、教師も一緒に遊んだり、役の名前で呼んだりする。	◇役になって踊ったり、動いたりしているか⑮
	○土・水を使った遊び ・樋に水を流す ・橋やトンネル、温泉やプールを作る ・排水溝に向かって水を流す	＊自分が作りたいものに向けてすぐに取り出して試せるよう、樋や台、パイプ、スコップをポンプ台のすぐ傍に置いておく。	◇使いたい道具を選んで取り出しているか①
		◎自分が作りたいと思った温泉やプールができたり、樋を長く繋げられた嬉しさを感じたり、頑張って作ってきた自分を感じて自信をもったりするように、水が流れる様子を伝えたり、作っていた姿を具体的に伝え感心したりする。	◇作った温泉やプールを教師に見せたりして笑顔になっているか②
		◎こんな風にしたいと思うことを友達に伝えて遊んでいくよさを感じられるように、話したことが実現する方向に向けて教師も一緒にしたり、友達が聞いて同じようにし始めている姿を知らせたりする。	◇したいことを言葉にしているか⑥
		◎作ったトンネルを崩さず掘ったりポンプを押したりする力加減を調節しようとするように、掘る力を試せるよう教師も一緒にやってみたり、試してみている子どもの姿や試してみて起きた変化を具体的に知らせたりする。	◇押したり掘ったりする力加減を変えて遊んでいるか⑨
		◎樋の置き方や組み立て方、高さによって水の勢いと流れ方が変わっていくことを感じられるように、水が流れていく様子を言葉にしたり、変化で気付いたことを尋ねたりする。	◇水の様子を見たり言葉にしたりしているか⑪
		◎樋が斜めになっていたり、水が溜まっているところの土を掘ったりすると水が流れていくことを感じ、流したいところに水を流そうと樋を組み合わせたり掘ったりするように、していることとその後の水の流れを言葉にしたり、どこに問題がありそうか尋ねたり、教師もやってみたりする。	◇問題がどこにあるか考えたり、砂の形を変えたり樋を組み直したりしているか⑪
	○忍者修行をする ・平均台やラバーリング、フープを出す	◎新しいコースを作り何度も修行を楽しめるように、コースが変わっていく様子を言葉にしたり、したいことに近付いていることを知らせたりする。	◇新しいコースに必要な道具を選び、何度も修行をしているか①
		◎したかったことができた嬉しさを感じたり、自信をもっ	◇自分の頑張りや喜びを

		たりするように、頑張っている姿を具体的に言葉にしたり、教師が素敵だと思った姿を伝えたりする。 ◎いろいろな運動遊具を使ってコースを作る楽しさを感じるように、どんなコースにしたいのか尋ねたり、教師も一緒に考えたりする。	言葉にしているか② ◇遊具を取り出し組み合わせているか⑰
10:15	片付ける ・使った物を元の場所に戻す ・砂場道具を洗う ・使った場所を綺麗に片付けようとする ・手洗いうがいをする	＊砂場の片付けがしやすいように、タライの近くに玩具を片付けるカゴを移動しておく。 ◎まだ遊びたい気持ちを切り替えて楽しみながら片付けに向かえるように、今日の遊びの満足感に共感したり、次の活動の話をしたり、教師も一緒に片付けながら楽しい雰囲気を作ったりする。 ◎遊んだ場所を片付けて綺麗にしようと思えるように、個々が遊んでいた場所を把握しておき、自分で片付けるまで玩具を残しておいて思い出させたり、片付けようとしている姿を言葉にして褒めたりする。 ◎外から帰ってきた時に泥やバイキンを除こうと思って丁寧に手洗いやうがいをしようとするよう、教師の手が綺麗になっていく様子を見せたり、友達が丁寧に洗っていたりうがいをする姿を知らせたり、絵を見て丁寧に手を洗う姿に感心したりする。	◇写真表示を見ながら玩具を仕分けてカゴに入れるか⑭ ◇遊びを終えて玩具を洗ったり片付けたりしているか③ ◇使った場所を見て片付け始めているか⑰ ◇絵を見て丁寧に手を洗っていたりうがいをしたりしているか⑧
	野菜の世話をする ・ジョウロに水を汲む ・水をあげる ・野菜の様子を観察する ・絵本や図鑑で調べる	＊野菜の様子を気にかけて世話をしようと思えるように、これまでの世話の様子を知らせる写真を置いておく。 ◎野菜の生長を楽しみにして水をやったり様子を見たり葉っぱや茎などの特徴に気付いたりするように、教師が野菜の様子を気にして呟いたり、近付いて一緒に見たり触ったりする。 ◎野菜の葉っぱが虫に食べられていたり、成長していないことに気付き、どうすれば成長するか考えられるように、気付いた様子を言葉にしたり、疑問を投げかけたり、教師も一緒に絵本や図鑑で調べたりする。	◇写真を見て野菜の場所に向かっているか⑩ ◇水をやったり観察して気付いたことを言ったりしているか⑩ ◇野菜の様子を言葉にしたり、絵本や図鑑で調べたりしようとしているか⑩
10：35	遊びの振り返りをする ・誰とどんな遊びをしたか話す ・新しい発見をしたことを話す ・明日もしたいことを話す	◎自分が遊んで楽しかったことや頑張ったこと、工夫したことを感じられるように、考えややってみたことを尋ねてみたり、教師が見ていたことを言葉にしたりする。 ◎友達が好きな遊びやどんな遊びを楽しんでいるかを知ろうと思えるように、教師が関心を寄せている姿を見せたり、聞きたいことがないか尋ねてみたりする。 ◎言いたいと思ったことを伝えてよかったと思えるように、子どもが言ったことに反応したり質問したりする。 ◎自分から発言しない子どもも自分の考えを伝えようと思えるように、遊びの最中に教師と共有した話について尋ねる機会を設ける。	◇楽しかったことや頑張ったこと、やってみたことを言葉にしているか② ◇話をしている友達の顔を見て話を聞いたり、聞きたいことを尋ねたりしているか⑤ ◇言いたいことを言ったり伝えた後に笑顔になったりしているか⑥ ◇自分なりの言葉で伝えているか⑥
10:50	おやつ・牛乳を飲食する	◎友達と一緒に輪になって顔を見ながらおやつや牛乳を飲食する楽しさを感じられるように、みんなで一緒に食べ始めたり、楽しい話をしたりする。	◇笑顔で食べているか⑯
11:05	絵本をよんでもらう ・「ともだちになろうよ」を見る	◎「ともだちになろうよ」の絵本を読んでもらい、カイとウーの気持ちを考えられるように、心情やセリフを読む時に心情によって読むスピードや声の高さを変えたりする。	◇絵本をじっと見たり、カイとウーの気持ちを言葉にしたりしているか⑭
11:20 11:30	降園準備・降園 ・用便身支度をする ・明日の話をする ・降園する	◎明日の遊びに期待をもてるように、明日したいと思っている話をしたり好きな遊びでしたいことを尋ねたりする。	◇どんな遊びをしようか楽しみにしていたり、明日しようと思っていることを言ったりしているか①

背番号　青 21～39

４歳児　もも２組（男 8　女 11　計 19 名）保育指導案

指導者　千葉　加奈子

１．日　時　　令和６年１１月３０日（土）９：００～１１：３０

２．最近の具体的な子どもの姿

登園する・持ち物の始末をする	○自分から先生の名前や友達の名前を呼んで挨拶をしたり、仲良しの友達と一緒に写真カードを並べて貼ったり、靴を履き替えながら友達と話をしたり、家で作ってきたものを先生や友達に見せたりしている。 ○忘れずに自分から丁寧に手洗い・うがいをしようとしたり、先生に知らされて、思い出してしようとしたり、必要であることがわかっているが、遊びたい気持ちが優先してそのまま遊び始める子どももいる。	他者といる喜びを感じる 体の健康を保つ
生き物の観察や世話をする	○メダカの泳ぐ様子や、エビや貝が動いている姿を見たり、餌をあげて食べる様子を見たりして喜んでいる。 ○カタツムリが飼育ケースの蓋のうらにぶらさがったまま落ちないことに驚いている。 ○メダカの餌や、カタツムリを触った時には、手に見えない汚れがついていることを知り、石鹸で手洗いをしようとしている。	生き物・命を見つめる 事物・現象を捉える 体の健康を保つ
野菜の世話をする	○自分が植えた野菜を見て、葉や茎の変化を先生や友達に知らせたり、生長していることを喜んだりしている。	生き物・命を見つめる
忍者修行	○かっこいい忍者になりたいと思って、高い所からジャンプをしたり、バランスをとりながらプレイウォールの高くて細い道を歩いたり、雲梯にぶら下がったりして、何度も挑戦している。 ○前よりも高くジャンプができた、ジャンプをして的にタッチができたなど、挑戦したことがうまくいったことを喜んでいる。 ○平均台を渡ったり、鉄棒の前周りをしたりして、友だちと一緒に、挑戦することを嬉しく思っている。 ○挑戦してうまくいったことや、難しかったことを先生や友達に伝えようとしている。 ○忍者修行で、遊具の置き方やどんなコースにするかを話し合って、遊びを進めようとしている。 ○プレイウォールを渡ろうと上半身でバランスを取ったり、膝を使って高くジャンプをしたり、手の指にしっかり力を入れて雲梯を握ったりして、色々な身体の使い方をしようとしている。	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 他者といる喜びを感じる 自分のことを伝える 人と物事を進める 身体操作をする
アイドルごっこ	○ブリッジや側転を上手くなりたい、フラフープを長く回したい、１本だけでなく、たくさんのフープを一度に回せるようになりたいと思って何度も挑戦しようとしている。 ○アイドルになりきって踊りたい、側転やブリッジをやってみた、フラフープを前より長く回せた、いっぱいのフラフープを一度に回せるように挑戦したなど、やりたい遊びができて嬉しいと思っている。 ○アイドルごっこをしたいと思い、友達を誘ったり、誘われたりして、同じ遊びを一緒にすることを喜んだり、お客さんになって、手拍子をしたり、楽器を使って応援することを楽しんだりしている。 ○友達の踊っている姿や側転やブリッジなどをしている様子を見てかっこいいと思ったり、素敵だと思ったりしている。 ○アイドルごっこをするために、衣装やステッキ、アクセサリーなど、必要なものを作って身につけている。 ○リズミカルに身体を動かしたり、ブリッジや側転に挑戦しようとしたりしている。 ○お客さんが見えやすいように、マットやゲームボックスの上に乗ったり、椅子を並べたりして、場を整えようとしている。 ○音楽のリズムを感じながら、踊ったり、楽器を鳴らしたりすることを楽しんでいる。	自ら決める・選ぶ 自分に満足する 他者といる喜びを感じる 他者のことを知る 演出に表す 身体を操作する 場や状況を整える 音楽に表す
土・水を使った遊び	○ポンプから水を流したい、穴を掘って水を溜めたい、排水溝まで水を流したいなどと思って、シャベルで穴や水の流れる道を掘ったり、ポンプから水を流したり、トロトロスープを作りたい、ピザを作りたいなど、必要な道具を選んで、自分の作りたいものを作ろうとしている。 ○樋の高さや向き、繋げ方を考えて水を流したら、水がこぼれずに流れた、穴を掘って水を流したらすぐに土が吸ってしまったなど、土や水の現象を不思議に感じる。 ○水の溜まったところに、足をつけて冷たいと感じたり、クローバーを入れて、水に浮いている様子に気付いたりしている。	自ら決める・選ぶ 事物・現象を捉える 事物・現象を捉える
ごちそうを作る	○友達にごちそうをふるまうためにメニューのリクエストを聞いて作ろうとしたりそのごちそうを友達と一緒に食べたりすることを楽しんでいる	他者といる喜びを感じる

ガッチャードごっこ	○自分で作ったお気に入りの武器を先生や友達に見せて、工夫して作ったところを伝えたり、どうやって作ったかを尋ねられて、作り方を教えたり、かっこいいと言われて笑顔になって喜んだりしている。 ○武器を持って、ジェットジムに集まり、武器の見せ合いをしたり、ガッチャードのことについて話をしたりして、仲間が集まってきていることを喜んでいる。 ○どんな乗り物を作るか友達と相談しながら、大型ブロックで仲間と一緒に出かけるための乗り物を作ることを楽しんでいる。 ○武器を持って、走り回ったり、思い切り逃げたり、武器が当たらないように身をかわしたりしている。 ○武器があたらないように遊ぼうとしていたが、気持ちが昂り、武器を友達の身体に当ててしまったことや、痛かったこと、相手の痛そうな表情を見て、謝ろうとしている。	自分に満足する 他者といる喜びを感じる 人と物事を進める 身体を操作する 自分の気持ちを伝える
固定遊具での遊び	○思いきり足を曲げたり伸ばしたりして、ブランコをこいでいる。 ○鉄棒やブランコから落ちないように、手をしっかり力を入れて握ろうとしている。	身体を操作する 身を守る
描いたり作ったりする遊び	○作りたいものをイメージして、丁寧に色を塗ったり、細かく描こうとしたり、色々な廃材やテープ等を利用して、描いたり、作ったりしている。 ○友達が描いた絵を見ながら真似てみたり、キャラクターの話をしながら絵を見せあったりして、友達と一緒にいることを喜んでいる。	造形に捉える 他者といる喜びを感じる
片付け	○自分で使った物をきれいに洗ったり、元の場所に収めようとしたりして最後まで自分たちで片付けようとしている。 ○片付け始めた方がよいと感じているが、まだ遊びたくて先生にあと 1 回だけと伝えて、遊びの続きをして切り替えた後、片付け始めようとしている。 ○自分たちで最後まできれいに片付けられたことに満足して、きれいに片付けられたことを先生に知らせている。	自ら決める・選ぶ 気持ちをコントロールする 自分に満足する
振り返りをする	○自分がした遊びを紹介したり、友達が遊んだ楽しかったことや挑戦したことなどを聞いたりして、次の日にどんな遊びをしたいかを考えようとしている。 ○色々な友達の考えていることや、挑戦したこと、困っていることなど聞いて友達のことを知ろうとしている。	自ら決める・選ぶ 他者のことを知る
おやつを食べる	○石鹸で丁寧に手洗いをしようとしたり、ガラガラうがいとブクブクうがいの違いをわかって、口の中をきれいにしようしたりしている。 ○今日のおやつが何かを予想したり、好きなおやつだったことを喜んだり、おやつを食べて美味しいねと言ったりしている。	体の健康を保つ 食をみつめる
降園準備・降園をする	○外靴を履く時は、手足を踏まれないように広い場所を見つけるといいことを教えてもらい、場所を見つけて履こうとしている。	身を守る

3．本日のねらい

① 修行をしてかっこいい忍者になりたい、お気に入りの武器を持ってガッチャードごっこをしたい、アイドルごっこをしたい、土山を掘って水を流したい、砂で美味しそうなご馳走を作りたいなど、前日の続きの遊びをしようとしたり、その日に遊びたいことを決めて遊ぼうとしたりする。 自ら決める・選ぶ

② 忍者修行で難しいことにも挑戦した、ブランコで木の葉に届きそうになるくらいまで勢いよくこげた、フープが続けて何回も回せるようになった、美味しそうなご馳走が作れたなど、自分がしたい遊びをして楽しい、挑戦してよかった、こんな素敵な物が作れた、きれいに片付けられた、忘れ物がないように降園準備をしたなど嬉しく思う。 自分に満足する

③ まだ遊びたい気持ちはあるが、あと１回だけと言って自分で折り合いをつけようとしたり、友達と自分の考えが違って困っていることを、先生や友達と一緒に話をして相手の考えや気持ちを知り、受け入れたり、譲ったりしようとする。 気持ちをコントロールする

④ 先生や友達と挨拶をすることを嬉しいと感じたり、仲間と同じ遊びをしたり、一緒に挑戦したり、作ったごちそうを友達に食べてもらった、おしゃべりをしながらおやつを食べた、遊びに誘ってくれた、困った時に助けてくれたなど、友達と遊んだり、一緒に過ごしたりしたことを、嬉しいと感じる。 他者といる喜びを感じる

⑤ 友達が遊んでいる様子や、挑戦している姿を見たり、楽しかったことや困っていることを教えてもらったりして、素敵な姿や考えていることなど、友達のことを知ろうとする。 他者のことを知る

⑥ 自分のしたい遊びを伝えたり、楽しかったことや困った事、嫌だった気持ちを先生や友達に言葉や表情で伝えようとしたりする。 自分のことを伝える

⑦ 友達と一緒に遊ぶために、準備をしたり、自分の考えを伝えたり、友達の話を聞いて相談したりして、一緒に遊びを進めようとする。 人と物事を進める

⑧ 生き物を触った時には石鹸で手を洗おうとしたり、ガラガラうがいとブクブクうがいの違いをわかって、口の中や喉をきれいにしようとしたりする。 体の健康を保つ

⑨ ブランコが動いているときぶつからないように、危険であることを知ったり、感じたり、確かめたり、危なくない方法一緒に考えたりして身体を守ろうとする。 身を守る

⑩ バランスを取ったり、高くジャンプをしたり、手足を使ったり、手の指でしっかり握ったり、フープを落とさないように身体を動かしたり、走って逃げたり、身をかわしたりしている姿など、色々な身体の使い方をして、身体を動かす楽しさを感じる。、 身体を操作する

⑪ メダカの餌をあげようとしたり、ドングリ虫や、飼育ケースの蓋にくっついて落ちないカタツムリの様子を見て驚いたり、野菜の生長に興味を持って観察しようとしたりする。 生き物・命を見つめる

⑫ 11 月の水たまりの水の冷たさや、水に浮いたり沈んだりする不思議さを感じる。 事物・現象を捉える

⑬ 武器に必要なものなど、自分の作りたい物をイメージして、素材を選んだり、形を工夫したり、友達の作っているものを見て、その良さを感じて取り入れたりしながら作ることを楽しむ。 造形に表す

⑭ 音楽のリズムやテンポに合わせて、歌を歌ったり、踊ったり、フラフープを回したり、楽器を使って応援したりすることを楽しむ。 音楽に表す

⑮ 秋のきれいな葉っぱや木の実、きのこなど、美しい秋の情景を感じたり、動物の手と葉っぱの大きさの違いに気付いたりするように、ゆっくり間をとって読む。 文芸に表す

⑯ なりたいアイドルに近づくために、必要な物を考え用意しようとする。 演出に表す

⑰ 今日のおやつが何かを予想したり、好きなおやつだったことを喜んだり食べた感想を言ったりして、おやつの時間を楽しむ。 食を見つめる

⑱ 遊びに必要な道具や客席の椅子を並べたり、大型ブロックを運んで組み立てたり、砂場道具やリヤカーなど元の場所に収めようとしたり、ままごと道具のカートが置けるように他の物を移動させて倉庫に収めようとしたりして、使いやすいように場を整えようとする。 場や状況を整える

４．展　開

時刻	予想される子どもの活動	＊環境の構成及び再構成　◎教師の援助	◇評価の観点
9:00	登園する ・通園ノートにシールを貼る ・持ち物の始末をする ・用便をする ・手洗い・うがいをする ・水分補給をする	◎先生や友達と挨拶をして嬉しいと感じられるように、視線を合わせて挨拶をしたり、挨拶をしてもらって気持ちがいいことを伝えたりする。 ◎自分の身体が清潔に保てるように、手洗い・うがいで丁寧にしていることを具体的に知らせたり、きれいになって気持ちが良いことを共感したりする。	◇先生や友達に自分から挨拶をしているか④ ◇手洗い・うがいを忘れずにしているか⑧
	生き物の観察・世話をする ・メダカ ・カタツムリ ・ドングリ虫 ・赤ちゃんザリガニ	＊メダカやドングリ虫、カタツムリなどの生き物の観察をしたり、世話をしたりしようと思えるように、目のつく場所に餌や虫眼鏡、霧吹きを置く。 ◎生き物の餌を食べている姿や動いている姿に興味が持てるように、メダカが餌を食べている様子や、ドングリ虫が大きくなっている様子など、教師も一緒に見たり、話を聞いたりする。 ◎カタツムリが飼育ケースの蓋にぶら下がって落ちない様子を不思議に思えるように、教師も一緒に蓋をあけて見る。 ◎メダカの餌や生き物を触った時には、石鹸で手洗いをしようと思えるように、見えない汚れがあることを知らせる。	◇メダカの餌をあげたり、生き物をじっくり見たりしているか⑪ ◇発見したことや面白いと思ったことを呟いているか⑪ ◇カタツムリが落ちないことに驚いているか⑪ ◇石鹸で手を洗っているか⑧

	野菜の観察をする	◎野菜の生長に気付けるように、教師も一緒に見たり、変化に気付いて呟いている言葉に共感したりして、生長している様子を一緒に喜ぶ。	◇野菜を見て、生長している様子を呟いているか⑪
9:15	好きな遊びをする	＊前日の遊びの続きをしたいと思えるように、遊びの姿の写真を貼ったり、目のつくところに遊びに必要なものを置いておいたりする。	◇遊びの写真を見ているか①
		◎自分でしたいことや遊びを決めて、取り組めるように、今日はどんな遊びをしたいと思っているかを尋ねたり、昨日の遊びのことについて話したりして、いってらっしゃいと明るい声で送り出す。	◇したい遊びを言葉にしたり、道具を触ったりして、遊びに向かっているか①
		◎楽しんでいること、友達と自分の考えが違って困っていることを知ろうと思えるように、話を聞いて相手の考えや気持ちを知ったり、受け入れたり、譲ったりしようとする。	◇友達の話を聞こうとしているか⑤
		◎自分のしたいことや気持ちが伝えられるように、自分のしたい遊びを伝えたり、楽しかったことや困った事、嫌だった気持ちなど、言葉や表情で伝えようとしている姿を見守ったり、代弁したりする。	◇自分のことを伝えているか⑥
		◎友達と一緒に遊ぶために、準備をしたり、自分の考えを伝えたり、友達の話を聞いて相談したりして、一緒に遊びを進めようとする。	◇友達と相談して遊びを進めているか⑦
		◎色々な身体の使い方をして遊べるように、バランスを取ったり、高くジャンプをしたり、手の指でしっかり握ったり、フープを落とさないようにしたりしている姿を具体的に褒める。	◇色々な身体の動かし方をしているか⑩
	○忍者修行 ・ジャンプをする ・プレイウォールを歩く ・すべり台を滑る ・ケンケンパーをする ・ジャンプをして目標物にタッチする	＊色々な動きや挑戦する場作りをすることを楽しめるように、必要な道具を取り出しやすい場所に置いておく。	◇必要な道具を出そうとしているか⑱
		◎プレイウォールの高くて細い道を歩いたり、高いところからジャンプをしたり、雲梯にぶら下がったりすることなど、難しいことに挑戦したいと思えるように、応援したり励ましたりする。	◇自分がしたい修行を決めて挑戦しているか①
		◎挑戦したことが成功して嬉しいと思えるように、前よりも高くジャンプをしたり、ジャンプをして的にタッチしたりしたことなどを一緒に喜ぶ。	◇嬉しい気持ちを言葉や表情で表しているか②
		◎友達と一緒に挑戦することが楽しいと思えるように、友達の挑戦している姿を伝えたり、応援したりする。	◇友達と顔を見合わせたり、呟いたりしているか④
		◎修行をしてうまくいったことや、難しかったことを、先生や友達に伝えられるように、挑戦したことを聞いたり、難しくても頑張ったことを伝えたりする。	◇挑戦した内容や頑張ったことを話しているか⑥
		◎より楽しい遊びになるように、遊具の置き方を、どのようにしたいかを尋ねたり、他児の考えも聞いて相談してみたらいいことを伝える。	◇遊具の置き方を相談しているか⑦
		◎バランスを取ったり、膝を使って高くジャンプをしたり、手の指をしっかり力を入れて雲梯を握ったりするよさに気付けるように、身体の使い方の工夫をしているところを言葉にして具体的に褒める。	◇いろいろな身体の使い方をして遊んでいるか⑩
	○アイドルごっこ ・フープをする ・側転やブリッジをする ・踊る	＊自分のしたいことがすぐに始められるように、色やサイズの違うフープ、CD デッキや CD を置いておく。	◇すぐに音楽を鳴らして踊っているか①
		◎ブリッジや側転をしたい、フープを長く回したい、一度にたくさんのフープを回したいなど、挑戦したいことを自分で決めてしようと思えるように、何に挑戦するかを尋ねる。	◇自分でしたいことを決めて挑戦しているか①

		◎フープが長く回せた、一度にたくさんのフープを回せたなど、挑戦したことを嬉しいと思えるように、何度も頑張っている姿を褒めたり、応援したりする。	◇笑顔で何度も挑戦しているか②
		◎友達と一緒にアイドルごっこをする楽しさ存分に味わえるように、友達に誘われてどんな気持ちかを尋ねたり、教師もお客さんになって、手拍子や楽器を使って応援してくれる嬉しさを一緒に喜んだりする。	◇嬉しい気持ちを言葉に表して喜んでいるか④
		◎友達の踊っている姿や、側転やブリッジなど挑戦していることが素敵と思えるように、友達姿を紹介したり、素敵な姿を言葉で伝えたりする。	◇友達が挑戦していることを見ているか⑤
		◎腕を上に上げてバランスをとったり、腰より下にフープが落ちそうになっても、足のバランスをとりながら、フープを長く回し続けたいと思えるように、回し続けている姿を応援したり、身体の使い方を言葉で伝える。	◇フープを回し続けているか⑩
		◎リズムを感じながら、遊ぶことが楽しいと思えるように、踊っている姿を具体的に褒める。	◇音楽に合わせて、アイドルになりきって踊っているか⑭
		◎なりたいアイドルに近づくためには何があるとよさそうか考えられるように、どんなものが必要か尋ねたり、工夫して作っている姿を褒めたりする。	◇作った物を使ってアイドルになりきっているか⑯
		◎踊っている姿を見るための鏡を置く場所を決めたり、お客さんが見やすいように椅子を並べたりし、必要な物を考えて場づくりの準備をするように見守ったり、知らせたりして準備していることを褒めたりする。	◇考えて場を整えているか⑱
	○土・水を使った遊び ・穴を掘る ・ガチャポンプを使う ・水を流す ・ごちそうを作る	＊すぐにしたいと思っていることが取りかかれルように、樋やシャベル、樋を支える角材など、必要な物を土山の近くに置いておく。	◇必要な道具を使って遊んでいるか①
		◎ポンプから水を流して、穴を掘って水を溜めたい、排水溝まで水を流したいなど思っていることにじっくり取り組めるうように、シャベルで穴や水の流れる道を掘ったり、ポンプから水を流したりして、したいことが実現に向かっていることを言葉にして根気強くしている姿を褒める。	◇遊びたいと思っていることにじっくり取り組んでいるか①
		◎流たい所に水が流れるように、呼水を運んだり、必要な水の勢いや樋の向きを考えている姿を見守ったり一緒に考えたりする。	◇流したい所に水が流れて喜んでいるか②
		◎水の溜まったところに足をつけたり物を浮かべたりして、水の冷たさや水に浮いたり沈んだりする不思議さを感じられるように、呟いていることや驚いたことに共感する。	◇水の冷たさや、水の中に物が浮くことに気付いているか⑫
	○ごちそうを作る ・ごちそうを作る ・飲み物を作る	◎ケーキを作りたい、ピザを作りたい、トロトロスープを作りたいと思って、自分がイメージしたご馳走が作れるように、ドングリを近くに置いたり、紅葉した葉っぱや木の枝があることを知らせたりする。	◇自分の作りたい物を作っているか①
		◎友達のためにごちそうを作って食べてもらうことを嬉しいと感じられるように、注文を聞いたり、一緒に食べたりする。	◇友達に食べてもらって笑顔なっているか④
	○ガッチャードごっこ ・武器を持ってジェットジムに集まる ・大型ブロックで乗り物を作る	＊かっこいい武器やベルトが作れるように、色々な廃材を組み合わせたり、テープの貼り方や長さを考えたりして、作りたいものを作れるように、廃材やテープ類などを準備しておく。	◇自分の作った武器を見て笑顔で喜んでいるか⑬
		◎仲間が集まって一緒に遊び始められるように、どこに集まるのか尋ねてみたり、仲間が集まってどんな気持ちかを尋ねたりする。	◇仲間が集まって一緒に遊び始めているか④

	・戦いごっこをする	◎仲間が集まって一緒に遊び始められるように、どこに集まるのか尋ねてみたり、仲間が集まってどんな気持ちかを尋ねたりする。 ◎仲間と出かける乗り物を大型ブロックで一緒に作ろうと思えるように、今日はどんな乗り物を作るかを尋ねたり、相談している姿を見守ったり応援したりする。 ◎身体を動かしてごっこ遊びが楽しいと思えるように、友達の動きを見て走って逃げたり、身をかわしたりしている身体の使い方を具体的に褒める。	◇友達と相談して作る物を決めているか⑦ ◇友達の動きを見て、走ったり、身をかわしたりしているか⑩ ◇自分の気持ちを伝えているか⑥
	○固定遊具での遊び ・ブランコ ・ジェットジム ・鉄棒	◎痛かったことや嫌だった気持ち、その気持ちを知って謝りたいと思う気持ちが伝えられるように、自分の気持ちを伝えたり、相手の話を聞こうとしたりする姿を見守る。 ◎思いきり足を曲げたり伸ばしたりしてブランコをこぐことが楽しいと思えるように、木の葉に届きそうなことを伝える。 ◎どうすると危ない状況になるのか気付くように、周りをよく見ることを知らせたり、危なくない方法を一緒に考えたりする。	◇足を曲げたり伸ばしたりしてブランコをこいでいるか⑩ ◇周りをよく見て遊んでいるか⑨
	○描いたり作ったりする遊び ・作りたい物を作る ・好きな絵を描く	＊絵を描きたい、作りたいと思ったものができるように、廃材や紙類、テープ類、ペンや色鉛筆、自然物など、自分がイメージした物が作れるように準備しておく。 ◎描いたり作ったりした物が作れた嬉しさが感じられるように紹介したり、展示したりして、満足感を味わえるようにする。	◇使いたい材料を選んで作りたい物を作っているか⑬ ◇出来上がったものを見て笑顔になっているか②
10：15	**片付ける** ・自分の使った物を洗う ・自分の使った物を元の場所に戻す ・ゴミが落ちていないか見る	＊きれいな水で気持ちよく洗えるように、汚れた水の入ったタライの水をきれいな水に入れ替えておく。 ◎遊びたい気持ちに折り合いをつけられるように、あと１回だけと言っている子どもには、その気持ちを受け入れ、片付け始めている姿を褒める。 ◎最後まで自分たちで片付けようと思えるように、丁寧に洗おうとしたり、元の場所に戻そうとしたり、残っているゴミを拾おうとしたりしている姿を褒める。	◇きれいな水で玩具を洗おうとしているか① ◇気持ちに折り合いをつけて片付けているか③ ◇最後まできれいに片付けて、保育室に戻ってきているか⑱
10：40	**振り返りをする** ・自分のした遊びを伝える ・友達のした遊びを知る	◎次の日にどんな遊びをしたいかを考えられるように、自分がした遊びを紹介したり、友達が遊んでいた遊びを知ったりして、次の日にどんな風に遊びをしたいかを聞いたり、どんな物を作りたいかなどを尋ねたりする。	◇次の日にしたい遊びを、先生や友達に話しているか⑥
10：55	**おやつを食べる** ・手洗い・うがいをする ・おやつを食べ牛乳を飲む ・うがいをする	◎ガラガラうがいとブクブクうがいの違いをわかってうがいをするように、喉や口の中がきれいになったか尋ねる。 ◎おやつの時間が楽しいと思えるように、今日のおやつが何かを尋ねてみたり、食べた感想を聞いてみたりする。	◇ガラガラうがいとブクブクうがいを使い分けてしているか⑧ ◇どんな味かを言ったり美味しいと言たりして食べているか⑰
11:10	**絵本を読んでもらう「もりのてぶくろ」** ・絵本が見える場所に座る	◎自分で考えて絵本の見える場所に座ろうと思えるように、見えにくそうな子どもに座っている場所から見えるか尋ねたり、もっと見やすい場所がないか探したりすることを尋ねてみる。 ◎秋のきれいな葉っぱや木の実、きのこなど、美しい秋の情景を感じたり、動物の手と葉っぱの大きさの違いに気付いたりするように、ゆっくり間をとって読む。	◇絵本の見える位置に座っているか⑱ ◇絵をじっくりみたり、気付いたことを呟いたりしているか⑮
11:20 11:30	**降園準備・降園をする** ・用便をする ・水分補給をする	◎忘れ物がないか自分で気付いたよさが感じられるように、尋ねてみたり、自分で気付いたことをほめたり、喜んだりする。 ◎手足を踏まれない場所を見つけられるように、靴を履き替える時には、どうしたらいいかたずねて考えさせ、思いついた子どものの考えを知らせる。	◇自分から気付いて持ち物を持ち帰っているか② ◇踏まれない方法を考えたり、考えたことを試しているか⑨

背番号　黄１～19　　５歳児　さくら１組（男 9　女 10　計 19 名）
背番号　黄 21～39　　５歳児　さくら２組（男 10　女 9　計 19 名）

５歳児学年合同保育（グループ別）指導案

指導者　小園佳歩・筒井日奈子

１．　日　時　　令和６年１１月３０日（土）９：００～１１：３０

２．　最近の具体的な子どもの姿

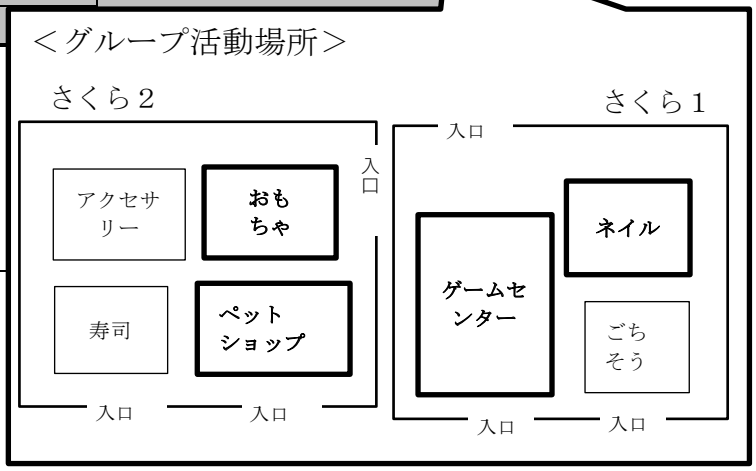
３．　本日のねらい

→ お店屋さんごっこグループ別指導案（１）～（７）参照

４．　展　開

時刻	予想される子どもの活動
9：00	登園する ○持ち物や上着の始末 ○野菜の世話 好きな遊びをする ○ボール当て ○アイドルごっこ 片付けをする
9：50	グループでお店屋さんの準備をする グループ別指導案（１）～（７）参照 **（１）ゲームセンター（武器・お化け屋敷・忍者・紙飛行機・ゲームセンター）** **（２）ネイル** （３）ごちそう（ドーナツ・レストラン・お団子・パン） **（４）おもちゃ（おもちゃ・ポケモン・本・ぬりえ）** **（５）ペットショップ（ペットショップ・くじ引き）** （６）お寿司 （７）アクセサリー・服 「お店屋さんごっこ」の計画　４.展開Ｂ　参照 片付けをする グループでおやつや牛乳を飲食する
11：15	各クラスでの活動
11：20	降園準備をする
11：30	降園する

＜グループ活動場所＞



グループ別指導案（1） ゲームセンター（武器・お化け屋敷・忍者・紙飛行機・ゲームセンター）

最近の具体的な姿	○ もっと本物らしい武器を作りたい、面白い仕組みのゲームや忍者屋敷を作りたい、いろいろな紙飛行機を折ってみたいなどと思い、いろいろ考えたり試したりしている。	自ら決める・選ぶ
	○ あまり馴染みのない友達が面白いアイディアをもっていることやお化けが好きであること、話してみたり一緒に作ってみたりしたら楽しいことなど、好きなことや考え、個性などを感じたり、知ろうとしたり、認めたりしている。	他者のことを知る
	○ 仲のよい友達には自分の考えや気持ちを直接伝えているが、あまり馴染みのない友達や全員で話し合いをする際には、自分の考えや気持ちを伝えることを躊躇ったり、教師に後押ししてもらって伝えたりしている。	自分のことを伝える
	○ したいことが違う友達もいる中で１つのお店をするために、自分が必要だと思うものを作ったり、グループの友達の作りたいものを知って一緒により面白く素敵になるように一緒に考えたり作ったりしている。一方で、１つのお店としてどう繋げていくか話し合いが進まないことがある。	人と物事を進める
	○ 両面テープは貼った時にテープが見えない、ゴムを引っ張りものを引っ掛けて離すとよく飛ぶなど素材の特徴を感じたりして、教師の助けを借りながらその特徴を活かして使い分けている。	事物・現象を捉える
	○ 本当に矢が飛ぶ弓を作るためにストローを繋げて弓がしなるようにしたり、本物らしいバスケットボールを作るためにバスケットボールをよく見て模様を描いたりして、作りたいものに合わせて素材を選んだり、組み合わせたりして工夫して描いたり作ったりして表現することを楽しんでいる。	造形に表す
	○ 武器にガムテープで色を着けたり、もう貼っている箇所にセロテープを貼り続けたりしてもったいない道具や素材の使い方をしていることが多い。	資源の活用を見つめる
ねらい	① 自分のしたいこと、友達にしてほしいこと、遊びをもっと面白くする考え、気持ちなどを友達に直接伝えようとしたり、実物を見せたり言い方を変えたり繰り返し伝えたりして、友達に伝わるまで伝えようとして伝えるよさを感じる。	自分のことを伝える 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
	② １つの素敵なお店をするために、自分ができることを考えてしようとしたり、それぞれのしたいことをどう繋げられそうかみんなが納得するまで話し合おうとしたり、友達がしていることを知って一緒に考えたり試したり作ったりしようとする。	人と物事を進める
	③ お客さんが楽しく、また本物らしくするために、形や色、感触などを感じて素材を選んだり、組み合わせたり、友達の表現のよさを取り入れたりして、様々に工夫しながらこだわって作ったり、作ったものを試して作り替えたりすることを楽しむ。	造形に表す 豊かに発想し、追求の手立てを構想する 実行し、その結果を基に判断する

予想される子どもの活動	＊環境の構成　◎教師の援助	◇評価の観点
・必要な道具や素材を準備する ・作ろうと思っていたものを作ったり作り替えたりする	＊お客さんが楽しく本物らしくするためにいろいろに工夫してこだわって作ろうと思えるように、本物の矢や武器の図鑑などを子どもが手に取れる場所に置いておいたり、インターネットですぐに調べられるパソコンを用意しておく。	◇矢や図鑑などをよく見て特徴を話したり素材を見比べたりしているか③
・友達の作ったものを見て感じたことを伝える	◎お客さんが楽しく本物らしくするために作ったものを試して作り替えようと思えるように、試してみて感じたことを尋ねたり、どうしたらもっと素敵になるか一緒に考えたりする。	◇試したり考えを話したり作り替えたりしているか③
	◎自分の考えや気持ちを直接伝えたり伝え方を工夫して伝わるまで伝えたりしようと思えるように、伝え方の方法をいくつか提案して伝える姿を見守ったり、伝えたことで友達が分かってくれたことを一緒に喜んだりする。	◇友達に直接伝えたり伝え方を変えながら何度も伝えたりしているか①
・今日したことを振り返って、考えや気持ち、明日進めたいことなどをグループの友達と話し合う	◎みんなで１つのお店にするために納得するまで話し合おうと思えるように、みんなが納得しているのか尋ねたり、考えを伝えていない子どもの存在を知らせたり、教師も一緒に考える姿を見せたりする。	◇自分の考えを伝えたり友達の考えを聞いたりしているか②

グループ別指導案（2） ネイル

最近の具体的な姿	○ 本当にネイルを塗ってもらえたりマニキュアを買ったりできる本物らしいお店にしたいと思い、様々なネイルチップを作ったり、どうしたら実際に塗れるマニキュアが作れるか考え続けたりいろいろな方法を試したりしている。	自ら決める・選ぶ
	○ 自分が話したい気持ちや自分の考えを通したい気持ちを、友達の考えを聞いたり、お互いが納得できるところを探ったり、より素敵なお店にする目的を思い出したりして、気持ちを落ち着けたり気持ちを切り替えたりしようとしている。	気持ちをコントロールする
	○ 言い合いになってしまうこともあるが、一緒に素敵なネイルを作ったり考えを出し合ってすることを決めたりして、一緒に頑張ったり考えを出し合ったりする友達がいる嬉しさを感じ始めている。	他者といる喜びを感じる
	○ 本物の爪のように細かく形作っていることや面白い考えを出してくれること、物がなくなって困っている時に手伝ってくれることなど、友達の工夫や考え、気持ち、優しさなどを知ったり認めたりし始めている。	他者のことを知る
	○ 自分の考えや伝えたい気持ちを強くもっている子どもが多く、友達に伝わるまで伝えようとする子どもがいる一方で、あまり馴染みのない友達に自分の考えや気持ちを自分から伝えようとしない子どももいる。	自分のことを伝える
	○ みんなで本物らしいネイルやさんをするめに、自分の考えを伝わるまで伝えたり、教師に促されて友達が納得しているか確かめたり、お店の開店までに何をどの順番でした方がよいかみんなで決めようとしたりしている。	人と物事を進める
	○ 付けたり外したりできる本物のネイルチップのようにストローに切り込みを入れて付けられるようにしたり、ネイルをする時に手を置くクッションの感触も素材にこだわったりして、工夫したりこだわったりしながら作ることを楽しんでいる。	造形に表す
	○ どうしたら相手に自分の考えや気持ちが伝わるか教師と一緒に考えて、言葉を変えたり、理由を添えたり、相手が言い終わったタイミングで話し始めたり、「まず」と言って最初に決めた方がいいことを分かりやすく話したりしている。	文章の構成を整える
ねらい	① ネイルやさんを素敵にするための友達の考えや自分の考えも話させてほしいとずっと言っている友達の気持ち、あまり考えを伝えてこない友達の考えや気持ちなどを知りたいと思ったり、友達の個性を認めたりする。	他者のことを知る
	② みんなで素敵なネイルやさんにするために、自分の考えを話したり友達が納得しているか確かめたり、友達の考えを受けてどう思うか伝えたり、みんなですることを話し合って決めようとしたりする。	人と物事を進める
	③ より本物らしいネイルにするために、素材や材質、色や大きさ、形、くっ付けるものの見え方にこだわって工夫したり、友達の表現のよさを感じたり、そのよさを取り入れたり、作ってみたことを振り返って作り替えたりしようとする。	造形に表す 豊かに発想し、追求の手立てを構想する 実行し、その結果を基に判断する

予想される子どもの活動	＊環境の構成　◎教師の援助	◇評価の観点
・今日することをみんなで確かめる ・様々な素材を使ってマニキュアやネイルチップなどを作ったり作り替えたりする ・作ったものを友達に見せたり自分の考えを伝えたりする ・片付けをする	＊本物らしくするためにこだわって作ろうと思えるように、本物のマニキュアや様々なネイルチップの写真やネイルに使えそうな大きさや形の違う様々なストローやフェルトなどの素材を用意しておく。 ◎本物らしくするためにこだわって作ったり作り替えようと思えるように、マニキュアの光沢やすぐ乾く特徴などを知らせたり、素材を一緒に探したり、作ってみてどうだったか尋ねたりする。 ◎友達の考えや気持ちを知りたいと思ったり個性を認めたりするように、話していない友達の気持ちを聞きたいと思う教師の姿を見せたり、友達の個性を認めている姿を言葉にしたりする。 ◎みんなで素敵なネイルやさんにするために納得するまで話し合おうと思えるように、友達の考えを聞いた後に反応がなかったらその状態を言葉にしたり、みんなで話し合ったからこそ、全員が納得して進められていることを一緒に喜んだりする。	◇感触や模様について話したり素材を見比べたりしているか③ ◇本物の特徴について話したり素材を見に行ったりしているか③ ◇友達の考えを尋ねたり個性を話したりしているか① ◇友達の考えを聞いたり聞いた上で自分の考えを伝えたりしているか②
・今日の進捗状況や次にしたいことをみんなで話し合う		

グループ別指導案（3）　ごちそう（ドーナツ・レストラン・お団子・パン）

最近の具体的な姿	○ 美味しそうなお団子をたくさん作りたい、クリスマスらしいドーナツにしたいなどと思い、作り方をいろいろ考えたり試したり何個も作ったりしている。	自ら決める・選ぶ
	○ 焼きたてのような色味のパンができた、素敵なお団子を作る面白い考えが浮かんだ、ずっと作り続けていたお子様ランチがようやく完成したなどと思い、素敵な商品ができたことや少しずつ商品が増えていることを嬉しく思っている。	自分に満足する
	○ あまり馴染みがなかった友達と進めていく中で、自分の作ったものを友達が素敵だと思ってくれたり、より商品が素敵になる考えを出してくれたりして、一緒に進める楽しさを感じたり一緒に頑張る仲間がいることを嬉しく思ったりしている。	他者といる喜びを感じる
	○ 作り始める時に友達を呼び集めたり、次何を作るかみんなで考えを出し合ったりする一方で、教師の支えがないと自ら友達にどう思うか尋ねたり自分の考えを進んで伝えたりすることは少ない。	人と物事を進める
	○ 紙粘土に絵の具を少しつけてこねると紙粘土全体に色が広がることや、柔らかい包装紙をねじるとパンやドーナツのようになることに気付き、面白いと思ったり、何度も試したりしている。	事物・現象を捉える
	○ ウサギドーナツを作るためにパーツごとに絵の具をこねて色を着けたものをくっ付けたり、メロンパンの模様を付けるために竹串を紙粘土に押し当てたりして、様々な方法を試しながら作ることを楽しんでいる。	造形に表す
	○ たくさんの道具や素材を使う時にどう場を整えたらすっきりするのか、絵の具で汚れなくて済むのか、作ったものをどう置いておくと壊れたり汚れたりせず、さらに美味しそうに見えるのかなどを考えたりやってみて感じたりしている。	場や状況を整える
	○ 必要以上に絵の具を出しすぎたり、粘土の色がしっかり着いているにも関わらずさらに絵の具で色をつけようとしたり、絵の具の蓋をしないまま置いて零してしまっていたりして、もったいない使い方をしていることがある。	資源の活用を見つめる
ねらい	① みんなで１つのお店をするために、自分の考えやしようと思っていることを伝えたり、友達の考えや気持ちを尋ねたり、より素敵なものにしていくためにみんなを呼び集めてみんなが納得するまで自分達で話し合おうとしたりする。	人と物事を進める
	② より美味しそうな、本物らしい商品にするために、素材を選んだり組み合わせたりして、作ったり作ってみてどうだったか考えて作り替えたりしようとする。	造形に表す 実行し、その結果を基に判断する
	③ 整った場で作れるように、作る場を整えたり、汚れていたらすぐに拭いたり洗ったりしようとしたり、どうして場が乱雑になってしまったのか振り返ったり、作ったものが汚れず美味しそうに見えるようにどんな入れ物にどのように入れたらよいか考えたり試したりする。	場や状況を整える 実行し、その結果を基に判断する

予想される子どもの活動	＊環境の構成　◎教師の援助	◇評価の観点
・今日することをみんなで確かめる ・様々な素材を使ってパンやドーナツなどの商品を作ったり作り替えたりする ・作ったものを友達に見せたり自分の考えを伝えたりする ・片付けをする	＊より美味しそうで本物らしい商品を作ろうと思えるように、パンやお菓子の図鑑やレストランのメニューの写真などを用意しておく。 ◎より美味しそうで本物らしい商品を作ったり作り替えたりしようと思えるように、団子の形や色、食感や作ってみてどうだったかを尋ねる。 ◎気持ちよい場にしようと思えるように、場が乱雑になり始めた時に気持ちよい場になっているか尋ねたり、どうして乱雑になってしまったのか一緒に考えたりする。 ◎作ったものの入れ方や置き方を考えようと思えるように、どんな入れ方だと整っていると感じるか尋ねて考えるきっかけを作ったり、様々な形や大きさ、仕切りのある入れ物を一緒に見に行ったりする。	◇図鑑や写真を見ながら作っているか② ◇商品の特徴や感じたことを話しているか② ◇場を整えたり場が乱雑になった原因を話したりしているか③ ◇入れ物を見に行ったり種類で分けて入れたりしているか③
・友達を呼び集めて、今日の進捗状況や次にしたいことをみんなで話し合う	◎みんなで１つのお店をするために自分達で話し合おうと思えるように、話し合おうとしている子どもを後押ししたり、みんなで話し合ったことでお店のことが決まってきていることを言葉にして喜んだりする。	◇友達を呼び集めて自分の考えを伝えたり聞いたりしているか①

グループ別指導案（4） おもちゃ（おもちゃ・ポケモン・本・ぬりえ）

最近の具体的な姿	○ 車やプリキュアのグッズ、ポケモンのグッズ、物語の本、ウルトラマンの塗り絵など素敵なものを作りたいと思って今日の作りたいものを決めたりやり遂げようと思ったりして、使えそうな材料を選んでいる。	自ら決める・選ぶ
	○ たくさんのおもちゃやグッズを作ることができた、納得のいく迷路を作ることができた、ずっと作っていたものが完成したことを嬉しく思っている。	自分に満足する
	○ お店やさんごっこの活動が楽しくて、グループの友達と片付けようと決めていた時間を過ぎていることに気付いたり知らされたりしていても、作り続けている時もあれば、きりのよいところを自分で決めて片付けに向かおうとする時もある。	気持ちをコントロールする
	○ 作る中で困ったことをグループの友達に伝えようとしているが、何回か呼んで反応がないと感じたら伝えることを諦めてしまうことがある。	自分のことを伝える
	○ 自分の作ったものを教師や友達に見てもらうことに嬉しく思ったり、お店の看板を友達と作ることで親しみを感じたりしている子もいれば、みんなでする意識が薄く自分のやりたいことだけを黙々と進めている子もいる。	他者といる喜びを感じる
	○ みんなが買いたいと思ってもらえるようなおもちゃ・ポケモン・本・ぬりえやさんにしたいと思って、お店に必要なものをグループの友達と相談したり相談したことを書き出したりしているが、自分達だけで集まることに難しさを感じている。	人と物事を進める
	○ 自分の作りたい車やモンスターボール、ぬりえのイラスト等イメージしたものを作るために、どのように廃材や素材を組み合わせたらよりイメージしているものらしくなるかを試してみたり他に材料はないか教師に聞いたりしている。	造形に表す
	○ 使い終わったハサミやペンの蓋をせずに置いてなくなったり、画用紙の切れ端を床に落としたりしたまま作り、片付けの際にものを探し始めたりして、片付けるものが多くてどこから片付ければよいのか分からなくなっていることがある。	場や状況を整える
ねらい	④ 自分の困っていることやしたいことを友達に聞いてもらうために話す声の大きさやタイミングを工夫して伝えようとしたり、伝えることで自分の気持ちが伝わったことのよさを感じたり分かってもらえるまで伝えようとしたりする。	自分のことを伝える
	⑤ みんなが買いたいと思ってもらえるようなおもちゃ・ポケモン・本・ぬりえやさんにするために、お店で売るには他にどんなおもちゃを作ればよいのか考えを出し合ったり作るものを決めて役割を決めたりしようとする。	人と物事を進める
	⑥ 作りたいおもちゃやグッズをイメージして、どの素材や廃材を組み合わせるとより本物らしくなるのかを考え、いろいろな素材を試してみたり使えそうな素材を教師と探したりして、本物と比べたり作り替えたりする。	造形に表す 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する
	⑦ グループの友達や自分がものを作ったり置いたりする時に、どうしたら作りやすく片付けやすい場になるかを考えて、場を整えようとする。	場や状況を整える

予想される子どもの活動	＊環境の構成　◎教師の援助	◇評価の観点
・何を作るのかみんなで役割を決めて作る ・作っているもので困っていることや悩んでいることを友達に相談する ・使ったものを片付けながら作っていく ・片付けるタイミングを考えて、片付け始める。 ・おやつを食べるタイミングを決めて食べる	◎今日作るものを集まって決められるように、今日することを尋ねたり前回の進捗について触れたり話し合おうとしていることを知らせたりする。 ◎自分の困っていることや手伝ってほしいことを友達に聞いてもらうために、話す声の大きさやタイミングを工夫して伝えられるように、今の声では友達に届いていないことや伝えたい友達が近くにいないこと、話し方を変えたから友達に伝わったことを言葉にする。 ◎作りたいものを思い浮かべて本物らしくなるように素材を組み合わせたり試してみたりするように、どんなもので作れそうか尋ねたり一緒に素材を探したりする。 ◎どうしたら自分たちが作りやすく片付けやすいか意識して物作りが進められるように、机や床に置かれた画用紙や段ボールは今使っているのか尋ねたり片付けながら作っていくことで場がすっきりして作りやすそうなことを言葉したりする。	◇全員を集めて話し合おうとしているか② ◇友達に声の大きさやタイミングを変えて伝えているか① ◇素材を手に取ったり組み合わせたりしているか③ ◇使ったものをその都度元に戻したり、整った場でものを作ったりしているか③

グループ別指導案（５）　ペットショップ（ペットショップ・くじ引き）

最近の具体的な姿	○ かわいいハムスターや猫、動物が使うおやつや首輪等の小物を作りたいと思って、ペットショップに何が必要か考えて自分が作りたいと思ったものを決めてから作り始めている。	自ら決める・選ぶ
	○ 何日もかけて作りきることができた、かわいい動物になったことを嬉しく思ったり素敵なものが作れたことに満足したりして、作った動物やものを棚に大切に飾ろうとしたり何度も見たりしている。	自分に満足する
	○ 自分の作ったものを教師や友達に見てもらって、何日も諦めずに作り続けたことを認めてもらったり日頃の園生活でも見られる素敵な姿であることを伝えてもらったりして、自分の頑張りを感じたり性格に気付いたりしている。	自分のことを知る
	○ 友達と自分の作った動物や小物を見せ合って素敵なものができたことを認め合ったり一緒に作ることに誘い誘われることを嬉しく感じたりしている。	他者といる喜びを感じる
	○ 友達とかわいい動物や小物を売るために、自分が何を作ろうと思っているのか親しい友達と話し合っているが、あまり慣れていない友達とは声をかけて集まろうとすることに躊躇っている。	人と物事を進める
	○ 毛糸にはセロハンテープが付きにくいことを感じたり耳を立てたい時にボンドだと付きやすいことを教師に知らせてもらったりして、素材によって特徴を感じながらテープやボンドを使い分けようとしている。	事物・現象を捉える
	○ どうしたら動物の柔らかい質感を表現できるのか、別の素材はないか教師に尋ねたり毛糸やお花紙、不織布等自分達で新しい素材を試したりしている子どももいれば、近くにあるもので簡単に済ませてしまう子どももいる。	造形に表す
	○ 次回も気持ちよくお店やさんごっこの活動を始められるように、製作シートを雑巾で拭いて綺麗にしようとしたり、作っている途中のものをグループで決めた置き場所に片付けようとしたりして整えている。	場や状況を整える
	○ 必要以上に絵の具を出したり紙粘土を大きな塊で取ったりすると使いきれなかった時にもったいなくなることを感じて、次も使えるように絵の具パレットにラップをしたり紙粘土を密封できるケースに入れたりして工夫している。	資源の活用を見つめる
ねらい	④ 友達とかわいい動物や小物を売るために、どんな素材を使ってみようか自分たちで相談しようと友達を呼び合って集まったり、役割を見付けて作るものを分担しようとしたりする。	人と物事を進める
	⑤ どうしたら動物の柔らかい感触を表現できるのか、別の素材はないか教師に尋ねたり毛糸やお花紙、不織布等自分達で新しい素材を考えたり試したりして、作りたいものに合った素材を使おうとする。	造形に表す 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する 実行し、その結果を基に判断する

予想される子どもの活動	＊環境の構成　◎教師の援助	◇評価の観点
・今日することを友達と話し合って確かめる ・様々な素材を使って自分のイメージする動物や小物を組み合わせながら作っていく ・自分の作ったものを棚に飾ろうとする ・片付けるタイミングを考えて、片付ける ・おやつを食べるタイミングを決めて食べる	◎グループで集まって話し合おうと思えるように、どんなことを相談したいのか、残りの日数でグループの友達と協力してどんなことができそうか尋ねたりする。 ＊動物の柔らかい感触や大きさに近付けて作ろうと思えるように、毛糸やお花紙、不織布、綿などを出しておく。 ◎動物の特徴をイメージしてそれにピッタリな素材を見付けたり試したりしてみようと思えるように、動物の柔らかい感触に似た素材を出していることを伝えたり実際に作ってみてどうだったのか尋ねたりする。 ＊動物のイメージをもって本物らしく作ろうと思えるように動物の写真を印刷しておく。	◇全員を呼び集めて話し合っているか① ◇動物に似た感触の素材を選んでいるか② ◇素材を試してどうだったのか言葉にしているか② ◇写真を見ながら作っているか②

グループ別指導案（６）　お寿司

最近の具体的な姿	○ マグロやイクラ、サーモンなど自分の作りたいネタを決めてたくさん作ることを楽しんでいる。	自ら決める・選ぶ
	○ 自分の作ったものや頑張りを教師に言葉にしてもらって、笑顔になったり工夫したことを言葉にしたりしている。	自分に満足する
	○ グループで決めた片付けの時間がきたことを周りのグループに知らされても、きりのよいところまで作り切りたい気持ちが強く、作り続けている時がある。	気持ちをコントロールする
	○ 教師には自分の作ったものを見てほしいことや工夫したところを知らせたくて伝えているが、グループの友達と一緒に作る気持ちが薄く、黙々と作り込んでいる。	他者といる喜びを感じる
	○ グループの友達が作っているものに気付いて作り方について尋ねたり素敵と思ったことを言葉にして認めたりしている。	他者のことを知る
	○ 自分のしたいことや考え、気持ちをグループの友達にも伝えたり、実物を見せたりなどして、分かってもらえるように詳しく伝えようとしている。	自分のことを伝える
	○ いろいろなネタがあるお寿司やさんにしたいと思っているが、自分の作りたいものを作ることに楽しさを感じており、役割を決めていても作っている途中で別のものを作っている時がある。	人と物事を進める
	○ 自分のイメージするものを具体的に思い浮かべたり、どうしたらより本物らしくなるのかお寿司の図鑑や絵本を見たりして、似たような色や形、質感の材料がないか探して試しており、こだわって作ることを楽しんでいる。	造形に表す
	○ お寿司やさんらしく、作ったお寿司が美味しく見えるように、お寿司やさんで使いそうなお皿にお寿司を並べたりお寿司やさんで見たような箱にネタを入れようとしたりしている。	演出に表す
	○ 自分達の作ったものが床に落ちても気にしておらず、そのまま作り続けていたり、片付けの際にものが多くてどこから片付ければよいのか分からなく雑になっていることがある。	場や状況を整える
	○ 紙粘土を次も使いたいと思って乾燥しないように蓋付きの箱に保管し、大切に使おうとしている子どももいれば、紙粘土に絵の具を混ぜることが楽しくなって、何色も絵の具を混ぜたり必要以上に紙粘土を取ったりしている子どももいる。	資源の活用を見つめる
ねらい	① グループで今日することを話したり自分の役割を考えて、お店に必要なものを話し合ったり話したことを付箋に書き出したりして決めた役割を果たそうとする。	人と物事を進める
	② 本物のお寿司やさんのように、どう置いたららしく見えるか場所や並べ方、お寿司やさんがネタを入れいている写真を見ながらいろいろな方法を試そうそする。	演出に表す
	③ 自分達が作りやすく片付けやすくするために、使い終わったものから元の場所に戻したり床に落ちているものに気付いたら片付けようとする。	場や状況を整える

予想される子どもの活動	＊環境の構成　◎教師の援助	◇評価の観点
・今日することを話し合い、役割を決める ・お寿司やさんに必要なものを作る ・お寿司やさんのネタを盛り付けたり箱に並べたりする ・片付けるタイミングを考えて、片付ける ・おやつを食べるタイミングを決めて食べる	◎グループの友達と今日することを話したり自分の役割を考えたりするように、お店に必要なもので話し合ったことを付箋に書き出したり、お店やさんごっこまで残り数日どうやって進めていくか尋ねたりする。 ◎本物のお寿司やさんのように見えるにはネタやシャリをどうやって並べたらよいかいろいろな並べ方を試そうと思えるように、教師がお客さんとしてどう見えるかを伝えたりどうやって並べているのか絵本やパソコンを使って調べたりする。 ＊お寿司やさんらしくネタやシャリを並べてみようと思えるように、お寿司やさんのネタを保管している写真や使えそうな箱、お皿を出しておく。 ◎どうしたら自分たちが作りやすく片付けやすいか意識して物作りが進められるように、机や床に置かれた画用紙や段ボールは今使っているのか尋ねたり、片付けながら作っていくことで場がすっきりして作りやすそうなことを言葉したりする。	◇話し合って役割を分担しているか① ◇教師の言葉を聞いたり絵本や写真を見たりして置き場所を変えているか② ◇写真を見てお皿や箱に盛り付けているか② ◇教師に尋ねられてものを拾ったり場を整えたりしているか③

グループ別指導案(7)　アクセサリー（アクセサリー・服）

最近の具体的な姿	○ 今日はブローチを作りたい、ペンダントトップを作りたいと決めていたりたくさんお客さんに来てほしいと思っていたりして、お店やさんごっこの準備をすることに楽しみにしている。	自ら決める・選ぶ
	○ かわいいアクセサリーを作ることができた、イメージに近い工夫を凝らしたものができたと思って、自分の作ったものを何度も見たり大切に扱おうとしたりして嬉しく思っている。	自分に満足する
	○ グループの友達と一緒にアクセサリーや服を作ることを楽しんでおり、作りながらお互いの作ったものを見せ合ったり作り方を教えたりしている。	他者といる喜びを感じる
	○ グループの友達の作ったものに興味をもち、作り方を尋ねたり友達の考えが素敵であることを言葉にして認めたりしている。	他者のことを知る
	○ 自分の考えたことやしたいことを友達に聞いてもらえるまで伝えようとしている。	自分のことを伝える
	○ 綺麗なアクセサリーや服をグループの友達と一緒に作りたいと思って、今日はどんなアクセサリーや服を作るのか話し合おうと思って集まったり、他にどんなものを作ればよいのか書き出していったボードを見ながら役割分担をして作り始めようとしたりしている。	人と物事を進める
	○ 小さいビーズを指先で摘む力を調節したり、ビーズが落ちないようにビーズを止めている反対側の糸も持ちながら糸にビーズを通したり、指先の力を調節しながら細い糸を穴に通して結んだりしている。	身体を操作する
	○ 自分のイメージするネックレスやブローチ、服を具体的に思い浮かべ、別の素材を使って代用できないか考えたり試したり、教師や友達の考えを取り入れたりしながらこだわって作ることを楽しんでいる。	造形に表す
	○ 本物のお店のようにアクセサリーや服を並べようと思っているが、作ることに必死になり棚にそのまま置いたりいろいろなアクセサリーが混ざり合って置かれていたりしている。	演出に表す
ねらい	① 自分の作ったものがかわいくできた、ビーズの組み合わせが素敵にできたことを教師や友達に言葉にしてもらったりして、自分の作ったものに愛着をもつ。	自分に満足する
	② 作りたいものをイメージし、それに合った素材や材料を選んで組み合わせたり他の材料でも作ることができるのか試してみたりして、こだわって作ろうとする。	造形に表す
	③ どうしたらお客さんがアクセサリーや服を素敵だと思ってくれるのか商品の並べ方を考えたりアクセサリー商品が並んでいる写真を見たりして並べ方や入れ物を工夫しようとする。	演出に表す 問題を認識する 豊かに発想し、追求の手立てを構想する

予想される子どもの活動	＊環境の構成　◎教師の援助	◇評価の観点
・今日はどんなものを作ろうと思っているのか話し合う ・アクセサリー・服やさんに必要なものを作る ・アクセサリーや服をどうやって飾ったり本物のお店のように置き場を作ったりする ・片付けるタイミングを考えて、片付ける ・おやつを食べるタイミングを決めて食べる	◎作りたいアクセサリーや服をイメージし、それに合った素材や材料を選んで組み合わせたり他の素材でも作ったりして試そうと思えるように、素材を組み合わせることで教師が感じたよさを言葉にしたり、使っているもので似た素材があることを伝えたりする。 ＊お店のように置き場を作ったり飾り方を整えたりしようと思えるようにアクセサリーやさんの写真を印刷して出しておく。 ◎どうしたらお客さんがアクセサリーや服を素敵だと思ってくれるのか商品の並べ方を考えたり置き場を作ろうと思えるように、お店やさん巡りをしてどのように置かれていたのかを尋ねたりアクセサリーを入れられるような箱を一緒に探したりする。 ◎素敵なものを作ることができた、何度もやり直したけど最後まで作ってよかったと思えるように、素敵なアクセサリーが増えてきたことを言葉にしたり諦めずに何度も作り直していた頑張りを認めたりする。	◇いろいろな素材を組み合わせたり違う素材で試したりしているか② ◇写真を見て品物の置き場を作っているか③ ◇飾り付けたり置く場所を決めているか③ ◇大切に自分の作ったものを扱ったり教師の言葉を聞いて笑顔になっているか①

【 研 究 担 当 者 】

神戸大学附属幼稚園

園長・副園長	田中　孝尚	
教　諭	浅原　麻美	
教　諭	小園　佳歩	
教　諭	髙橋　梨花	
教　諭	千葉 加奈子	（７月～）
教　諭	筒井 日奈子	
教　諭	長野　萌映	
教　諭	松本　法尊	
教　諭	森　香奈子	
教　諭	吉田　紘子	（～７月）（五十音順）

尼崎市立幼稚園教育研究会

園　長	廣瀬　身佳	尼崎市立竹谷幼稚園
園　長	谷澤 三千起	尼崎市立長洲幼稚園
園　長	小寺　秀樹	尼崎市立大島幼稚園
園　長	保田　明子	尼崎市立立花幼稚園
園　長	伊藤　和子	尼崎市立塚口幼稚園
園　長	上田　晶子	尼崎市立武庫幼稚園
園　長	中根　孝介	尼崎市立園田幼稚園
園　長	日下 恵理子	尼崎市立園和北幼稚園
園　長	山崎　祥子	尼崎市立小園幼稚園
指導主事	川口　祐子	尼崎市教育委員会事務局 学校教育部就学前教育課

【 研 究 協 力 者 】

神戸大学大学院

教　授	北野　幸子
教　授	林　　創
特命教諭	永瀬　裕朗

神戸大学附属小学校

指導教諭	俣野　源晃	
教　諭	青戸　正裕	
教　諭	田淵　知紗	
教　諭	友永　達也	
教　諭	長川　智彦	
教　諭	宮本 誠一郎	（五十音順）